

首都圏中央連絡自動車道
戸田高架橋耐震補強工事

設 計 図

【本郷矢部高架橋】

令和8年9月

東日本高速道路株式会社
関東支社市原管理事務所

図 面 目 次

図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
1 . 本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その1～8)	・ ・ ・ ・ 1 ～ 8	31 . 本郷矢部高架橋 P15橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 75 ～ 78
2 . 本郷矢部高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 9	32 . 本郷矢部高架橋 P16橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 79
3 . 本郷矢部高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～3)	・ ・ ・ ・ 10 ～ 12	33 . 本郷矢部高架橋 P17橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 80
4 . 本郷矢部高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 13	34 . 本郷矢部高架橋 P17橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 81 ～ 84
5 . 本郷矢部高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 14 ～ 17	35 . 本郷矢部高架橋 P18橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 85
6 . 本郷矢部高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 18	36 . 本郷矢部高架橋 P18橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 86 ～ 89
7 . 本郷矢部高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 19 ～ 22	37 . 本郷矢部高架橋 P19橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 90
8 . 本郷矢部高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 23	38 . 本郷矢部高架橋 P19橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 91 ～ 94
9 . 本郷矢部高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 24 ～ 27	39 . 本郷矢部高架橋 P20橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 95
10 . 本郷矢部高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 28	40 . 本郷矢部高架橋 P20橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 96 ～ 99
11 . 本郷矢部高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 29 ～ 32	41 . 本郷矢部高架橋 P21橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 100
12 . 本郷矢部高架橋 P6橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 33	42 . 本郷矢部高架橋 P21橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～3)	・ ・ ・ ・ 101 ～ 103
13 . 本郷矢部高架橋 P6橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 34 ～ 37	43 . 本郷矢部高架橋 P22橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 104
14 . 本郷矢部高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 38	44 . 本郷矢部高架橋 A1橋台 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 105
15 . 本郷矢部高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 39 ～ 42	45 . 本郷矢部高架橋 P8橋脚(終) 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 106
16 . 本郷矢部高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 43	46 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚(終) 縁端拡幅工B詳細図(その1～2)	・ ・ ・ ・ 107 ～ 108
17 . 本郷矢部高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～2)	・ ・ ・ ・ 44 ～ 45	47 . 本郷矢部高架橋 A2橋台 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 109
18 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 46	48 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚(終) 横変位拘束構造M詳細図	・ ・ ・ ・ 110
19 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～2)	・ ・ ・ ・ 47 ～ 48	49 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚(起) 落橋防止構造P2配置図	・ ・ ・ ・ 111
20 . 本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 49	50 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚(起) 落橋防止構造P2構造図(その1)(参考図)	・ ・ ・ ・ 112
21 . 本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 50 ～ 53	51 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚(起) 落橋防止構造P2構造図(その2～3)	・ ・ ・ ・ 113 ～ 114
22 . 本郷矢部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 54	52 . 本郷矢部高架橋 下部工施工要領図(参考図)(その1～2)	・ ・ ・ ・ 115 ～ 116
23 . 本郷矢部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 55 ～ 58	53 . 本郷矢部高架橋 上部工施工要領図(参考図)(その1～2)	・ ・ ・ ・ 117 ～ 118
24 . 本郷矢部高架橋 P12橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 59	54 . 本郷矢部高架橋 コンクリート打設要領図(参考図)	・ ・ ・ ・ 119
25 . 本郷矢部高架橋 P12橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 60 ～ 63	55 . 本郷矢部高架橋 P5橋脚 施工計画図(参考)	・ ・ ・ ・ 120
26 . 本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 64	56 . 本郷矢部高架橋 P1橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 121
27 . 本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 65 ～ 68	57 . 本郷矢部高架橋 P2橋脚 構造物掘削図(特殊部)	・ ・ ・ ・ 122
28 . 本郷矢部高架橋 P14橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 69	58 . 本郷矢部高架橋 P3橋脚 構造物掘削図(特殊部)	・ ・ ・ ・ 123
29 . 本郷矢部高架橋 P14橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 70 ～ 73	59 . 本郷矢部高架橋 P4橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 124
30 . 本郷矢部高架橋 P15橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 74	60 . 本郷矢部高架橋 P5橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 125

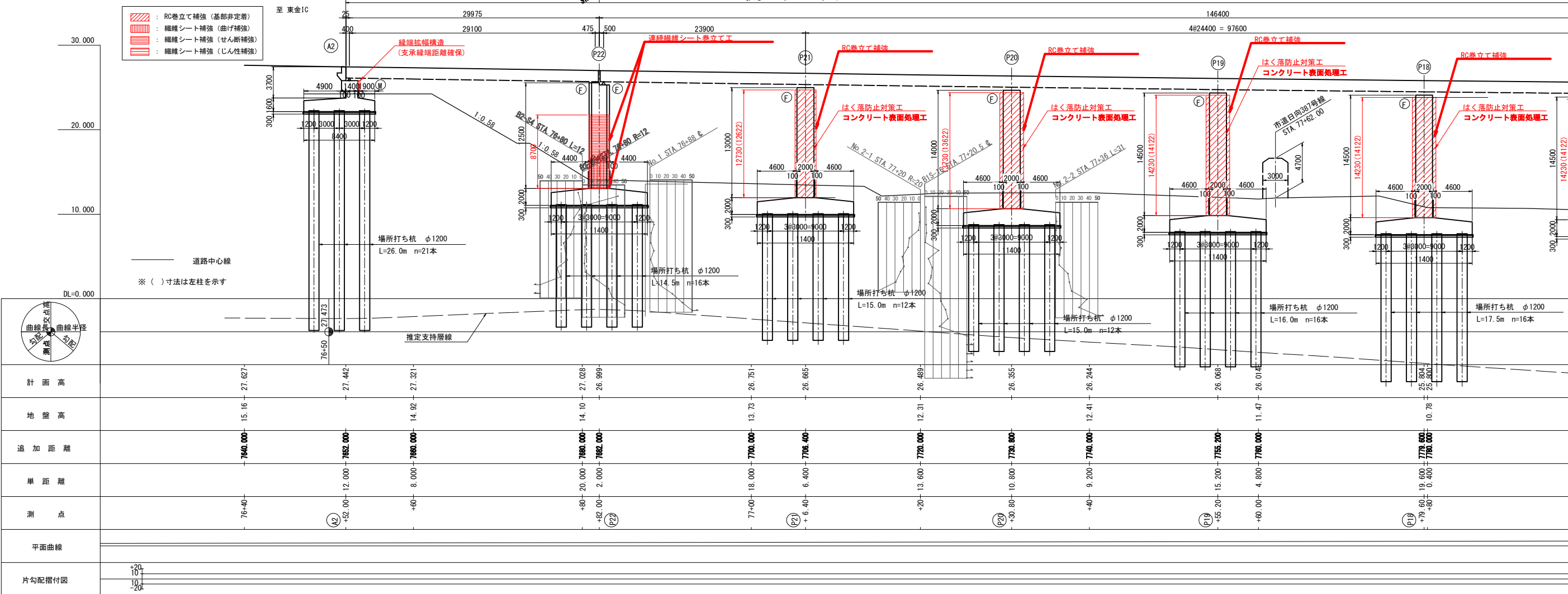
図 面 目 次

図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
61 . 本郷矢部高架橋 P6橋脚 構造物掘削図	126	91 . 本郷矢部高架橋 P14橋脚 足場工図(参考図)	156
62 . 本郷矢部高架橋 P7橋脚 構造物掘削図	127	92 . 本郷矢部高架橋 P15橋脚 足場工図(参考図)	157
63 . 本郷矢部高架橋 P8橋脚 構造物掘削図	128	93 . 本郷矢部高架橋 P16橋脚 足場工図(参考図)	158
64 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚 構造物掘削図	129	94 . 本郷矢部高架橋 P17橋脚 足場工図(参考図)	159
65 . 本郷矢部高架橋 P10橋脚 構造物掘削図	130	95 . 本郷矢部高架橋 P18橋脚 足場工図(参考図)	160
66 . 本郷矢部高架橋 P11橋脚 構造物掘削図	131	96 . 本郷矢部高架橋 P19橋脚 足場工図(参考図)	161
67 . 本郷矢部高架橋 P12橋脚 構造物掘削図	132	97 . 本郷矢部高架橋 P20橋脚 足場工図(参考図)	162
68 . 本郷矢部高架橋 P13橋脚 構造物掘削図	133	98 . 本郷矢部高架橋 P21橋脚 足場工図(参考図)	163
69 . 本郷矢部高架橋 P14橋脚 構造物掘削図	134	99 . 本郷矢部高架橋 P22橋脚 足場工図(参考図)	164
70 . 本郷矢部高架橋 P15橋脚 構造物掘削図	135	100 . 本郷矢部高架橋 A1橋台 上部工施工用足場工図(参考図)	165
71 . 本郷矢部高架橋 P16橋脚 構造物掘削図	136	101 . 本郷矢部高架橋 P8橋脚 上部工施工用足場工図(参考図)	166
72 . 本郷矢部高架橋 P17橋脚 構造物掘削図	137	102 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚 上部工施工用足場工図(参考図)	167
73 . 本郷矢部高架橋 P18橋脚 構造物掘削図	138	103 . 本郷矢部高架橋 A2橋台 上部工施工用足場工図(参考図)	168
74 . 本郷矢部高架橋 P19橋脚 構造物掘削図	139	104 . 本郷矢部高架橋 仮橋詳細図(その1～3)	169 ～ 171
75 . 本郷矢部高架橋 P20橋脚 構造物掘削図	140	105 . 本郷矢部高架橋 P2橋脚 仮設構造物詳細図	172
76 . 本郷矢部高架橋 P21橋脚 構造物掘削図	141	106 . 本郷矢部高架橋 P3橋脚 仮設構造物詳細図	173
77 . 本郷矢部高架橋 P22橋脚 構造物掘削図	142	107 . 本郷矢部高架橋 交通保安要員配置図(その1～3)(参考図)(その1～3)	174 ～ 176
78 . 本郷矢部高架橋 P1橋脚 足場工図(参考図)	143	108 . 本郷矢部高架橋 P5橋脚 補修図	177
79 . 本郷矢部高架橋 P2橋脚 足場工図(参考図)	144	109 . 本郷矢部高架橋 P17橋脚 補修図	178
80 . 本郷矢部高架橋 P3橋脚 足場工図(参考図)	145	110 . 本郷矢部高架橋 A2橋台 補修図	179
81 . 本郷矢部高架橋 P4橋脚 足場工図(参考図)	146		
82 . 本郷矢部高架橋 P5橋脚 足場工図(参考図)	147		
83 . 本郷矢部高架橋 P6橋脚 足場工図(参考図)	148		
84 . 本郷矢部高架橋 P7橋脚 足場工図(参考図)	149		
85 . 本郷矢部高架橋 P8橋脚 足場工図(参考図)	150		
86 . 本郷矢部高架橋 P9橋脚 足場工図(参考図)	151		
87 . 本郷矢部高架橋 P10橋脚 足場工図(参考図)	152		
88 . 本郷矢部高架橋 P11橋脚 足場工図(参考図)	153		
89 . 本郷矢部高架橋 P12橋脚 足場工図(参考図)	154		
90 . 本郷矢部高架橋 P13橋脚 足場工図(参考図)	155		

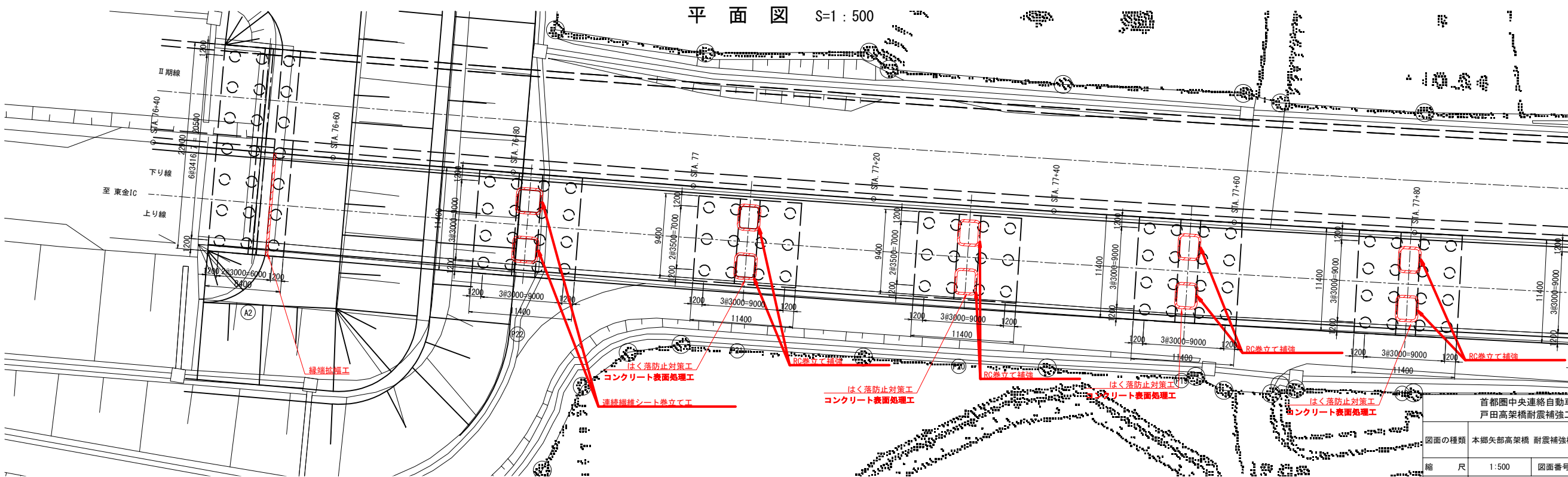
本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その1)

側面図 S=1:500

1 / 179



平面図 S=1:500



注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

図面の種類	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
縮尺	1:500	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

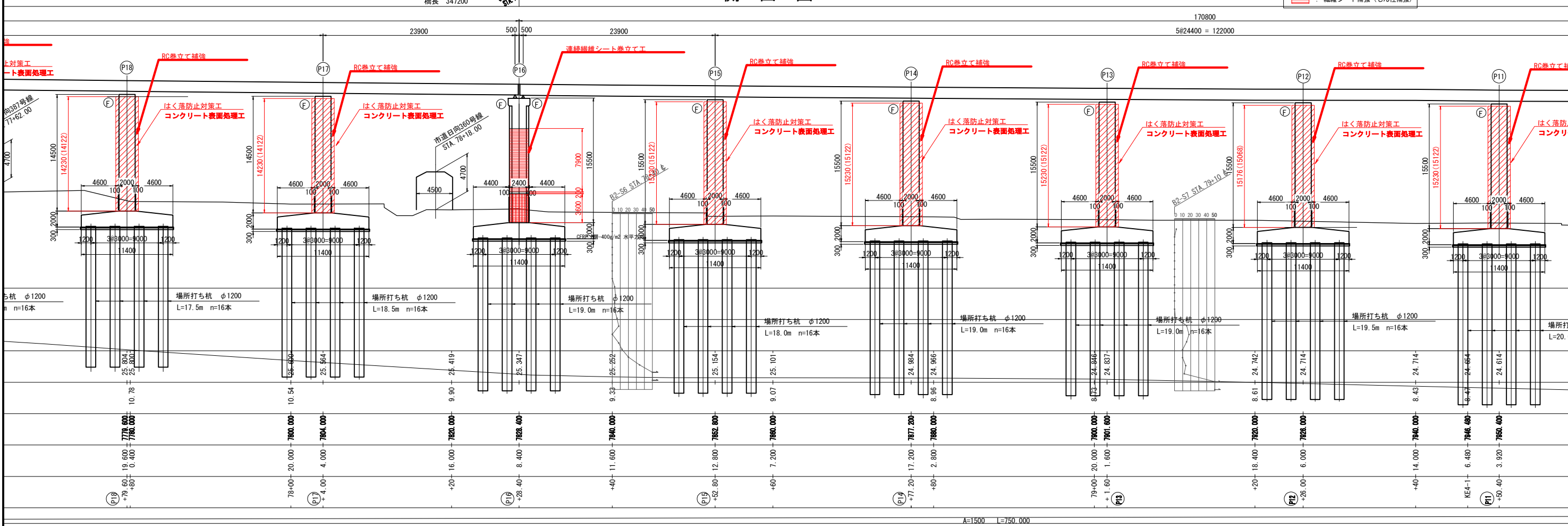
本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その2)

側面図 S=1:500

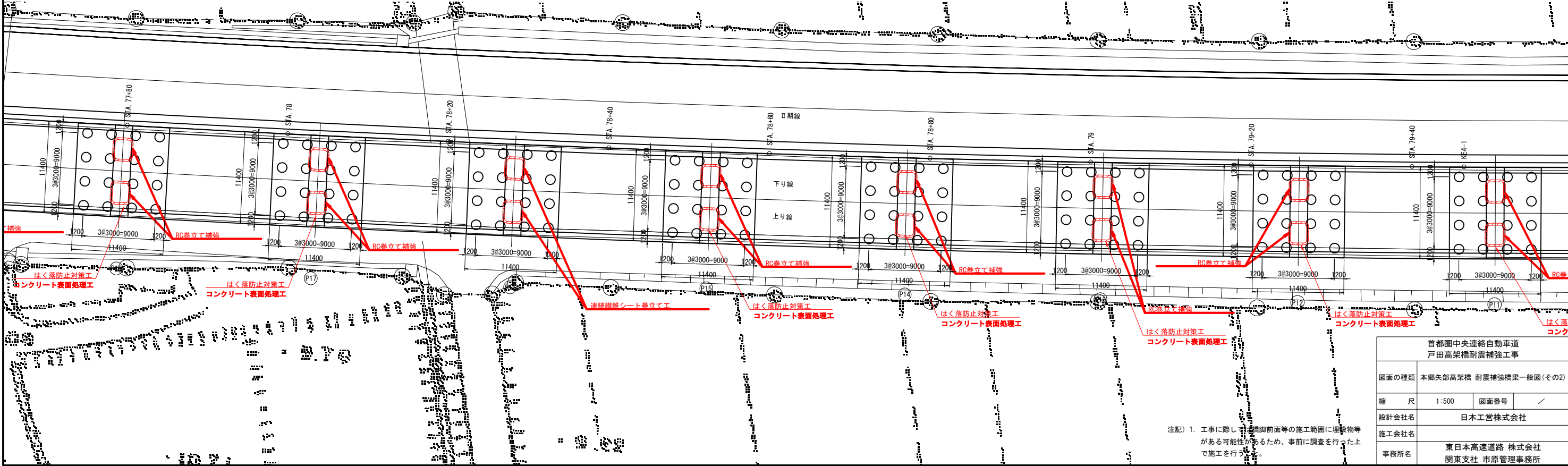
※ () 寸法は左柱を示す 道路中心線

- RC巻立て補強 (基部非定着)
- 繊維シート補強 (曲げ補強)
- 繊維シート補強 (せん断補強)
- 繊維シート補強 (じん性補強)

2 / 179



平面図 S=1:500



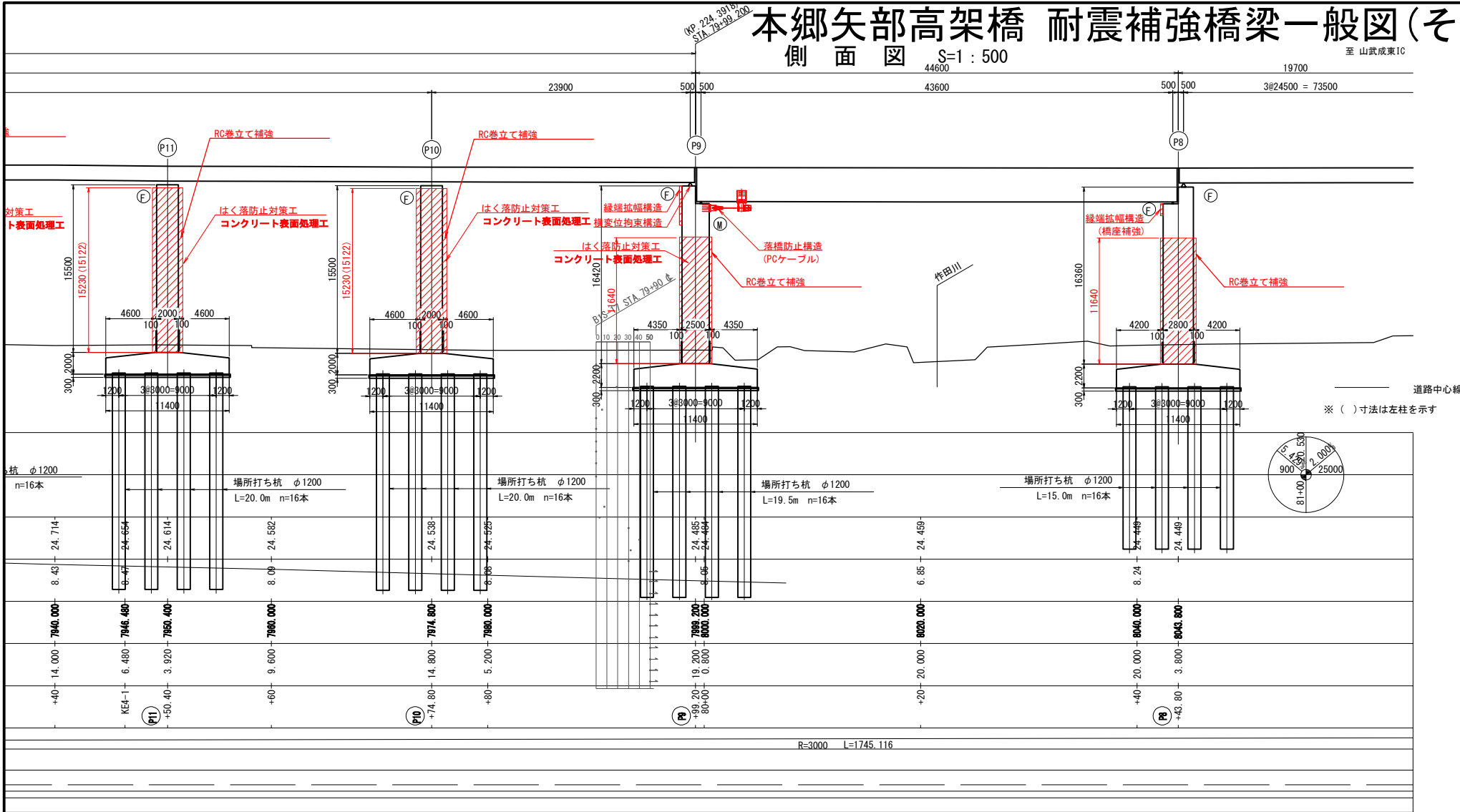
注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性のあるため、事前に調査を行った上で施工を行う。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その2)		
縮 尺	1:500	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その3)

側面図 S=1:500

至 山武成東IC

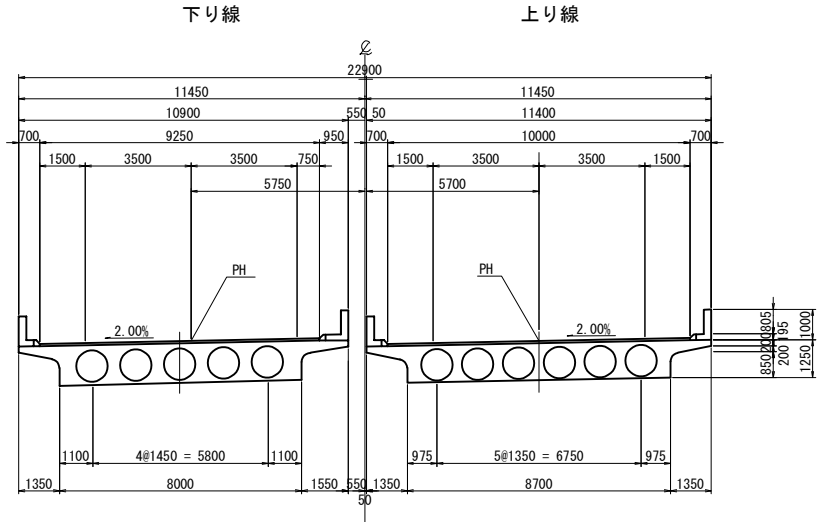


	RC巻立て補強 (基非定着)
	繊維シート補強 (曲げ補強)
	繊維シート補強 (せん断補強)
	繊維シート補強 (じん性補強)

設計条件

橋 長		347m200	桁長		29m900、146m200、176m600	
道路規格		第1種 第2級 B規格				
荷 重		TL-20、TT-43				
型 式		PC単純中空床版橋、PC6径間連続中空床版橋、PC7径間連続中空床版橋				
支 間		29m100、23m900+4#24m400+23m900、23m900+5#24m400+23m900				
有効幅員		10m000	斜角		90° 00' ~ 85° 00'	
横断勾配		← 2.000%				
縦断勾配		1.5429% ← 2.000%				
平面曲線		A=1500m、R=3000m				
設計震度		橋軸方向	P10～P19 (Ⅲ種地盤)			kh=0.30
			P20～A2 (Ⅱ種地盤)			kh=0.25
		直角方向	P10～P19 (Ⅲ種地盤)			kh=0.30
			P20～A2 (Ⅱ種地盤)			kh=0.25
使用材質	上部工	コンクリート	主桁	σ _{ck} =350kgf/cm ²	地覆・高欄	σ _{ck} =240kgf/cm ²
		鉄 筋	SD345			
	下部工	PC鋼材	SNPR7A 12T124			
		コンクリート	σ _{ck} = 240kgf/cm ²			
	下部工型式	鉄 筋	SD345			
		盛りこぼし橋台 2柱式橋脚				
基礎型式		場所打ちコンクリート杭 φ1200				
適用基準等		平成2年2月 道路橋示方書 同解説				

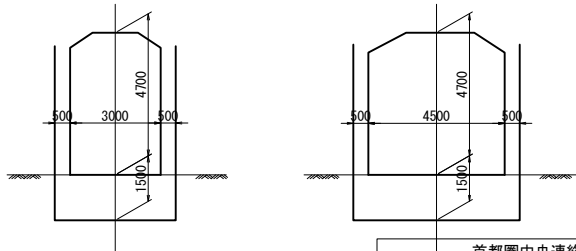
標準断面図 S=1:250



交差条件 S=1:250

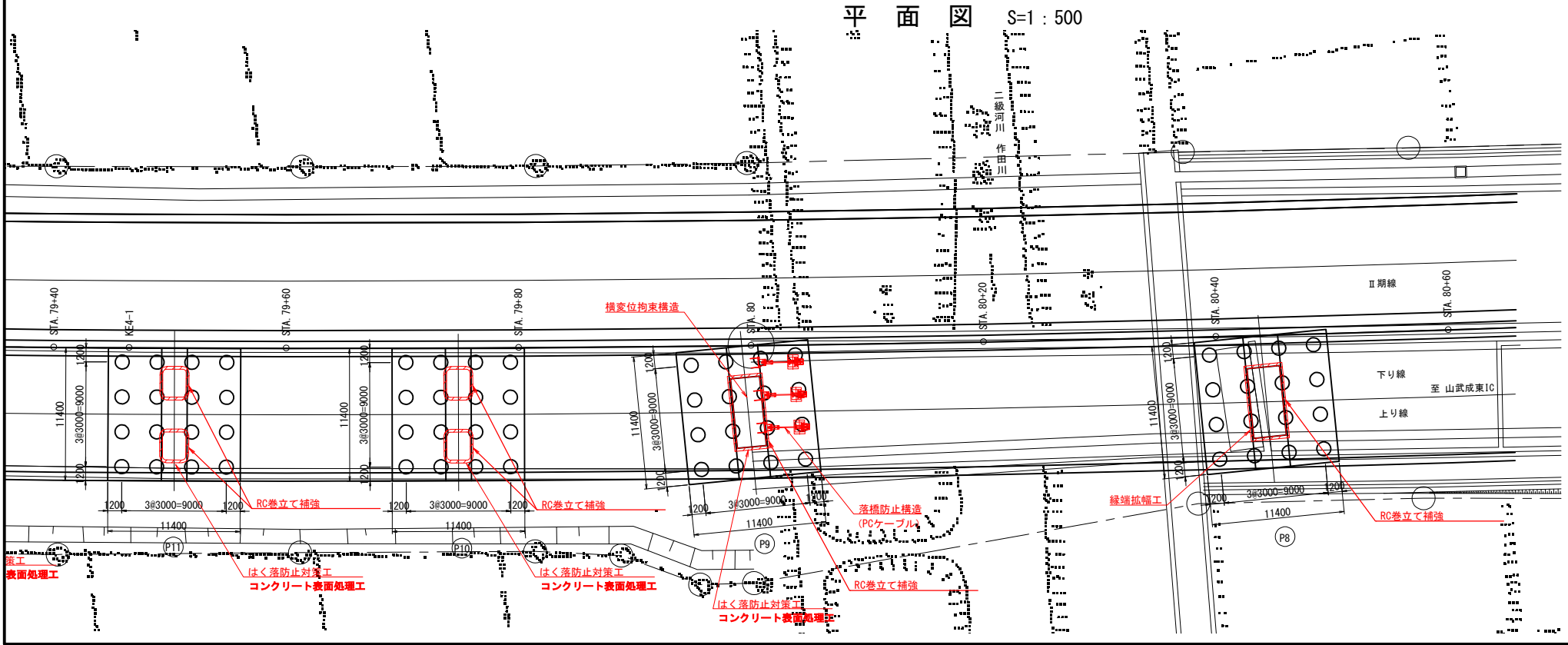
町道(1887道路) STA. 77+62.00

町道(1981道路) STA. 78+18.00



注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

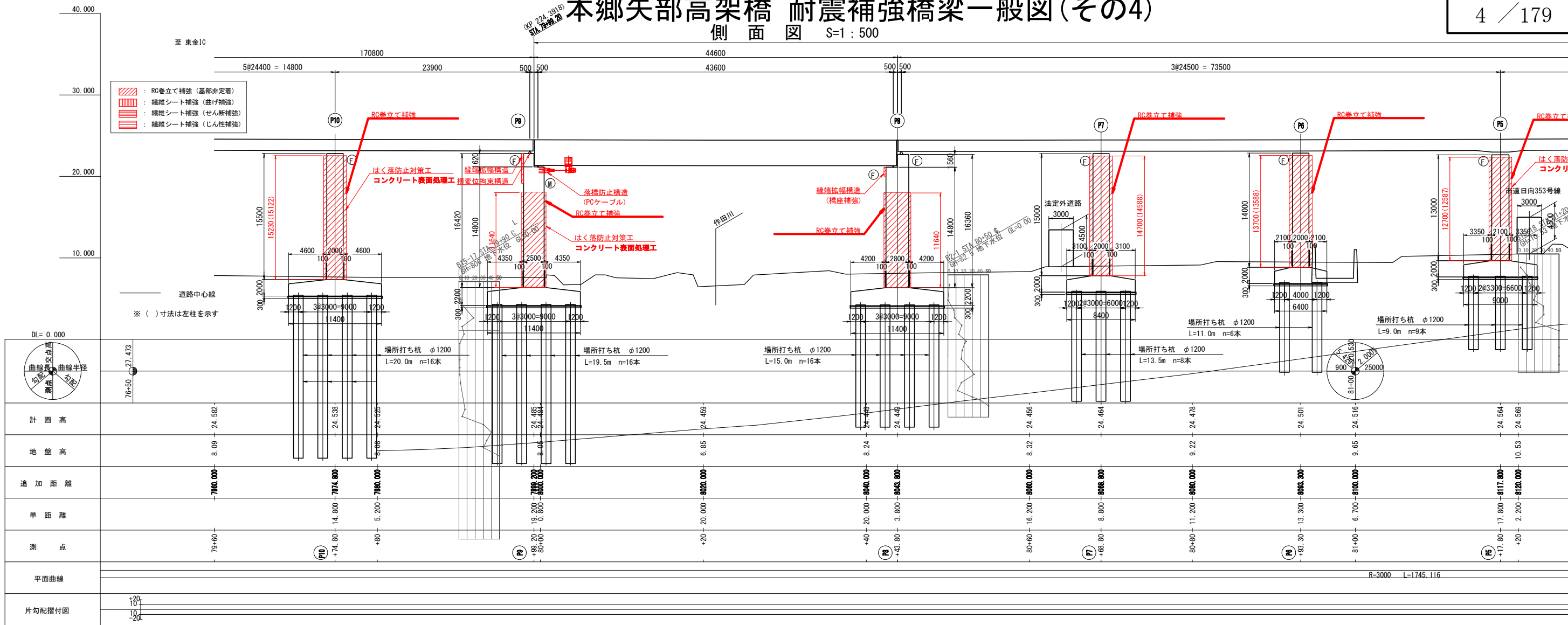
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その3)		
縮尺	1:500	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



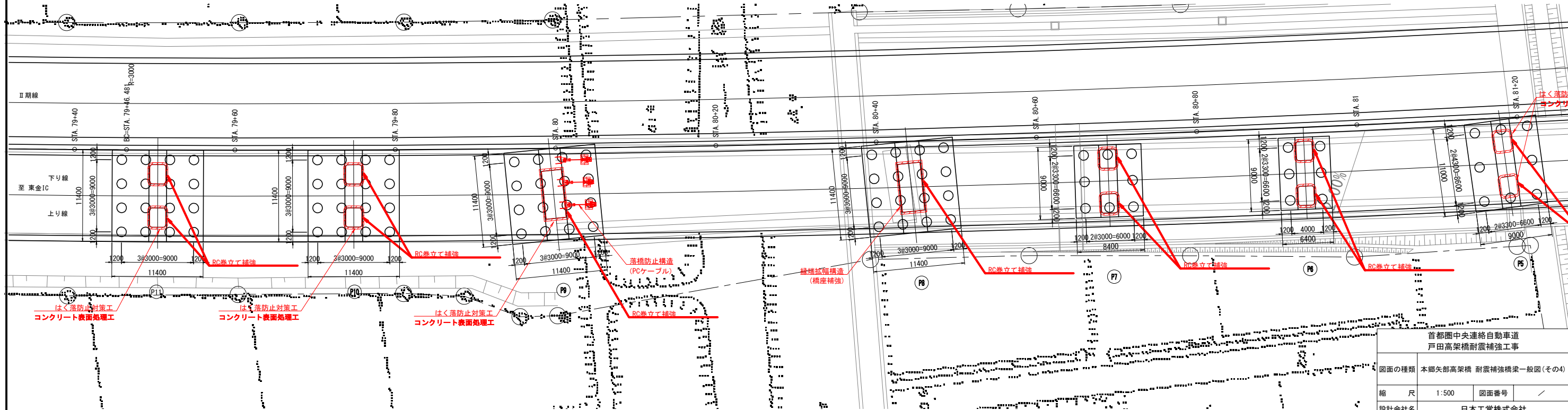
本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その4)

側面図 S=1:500

4 / 179



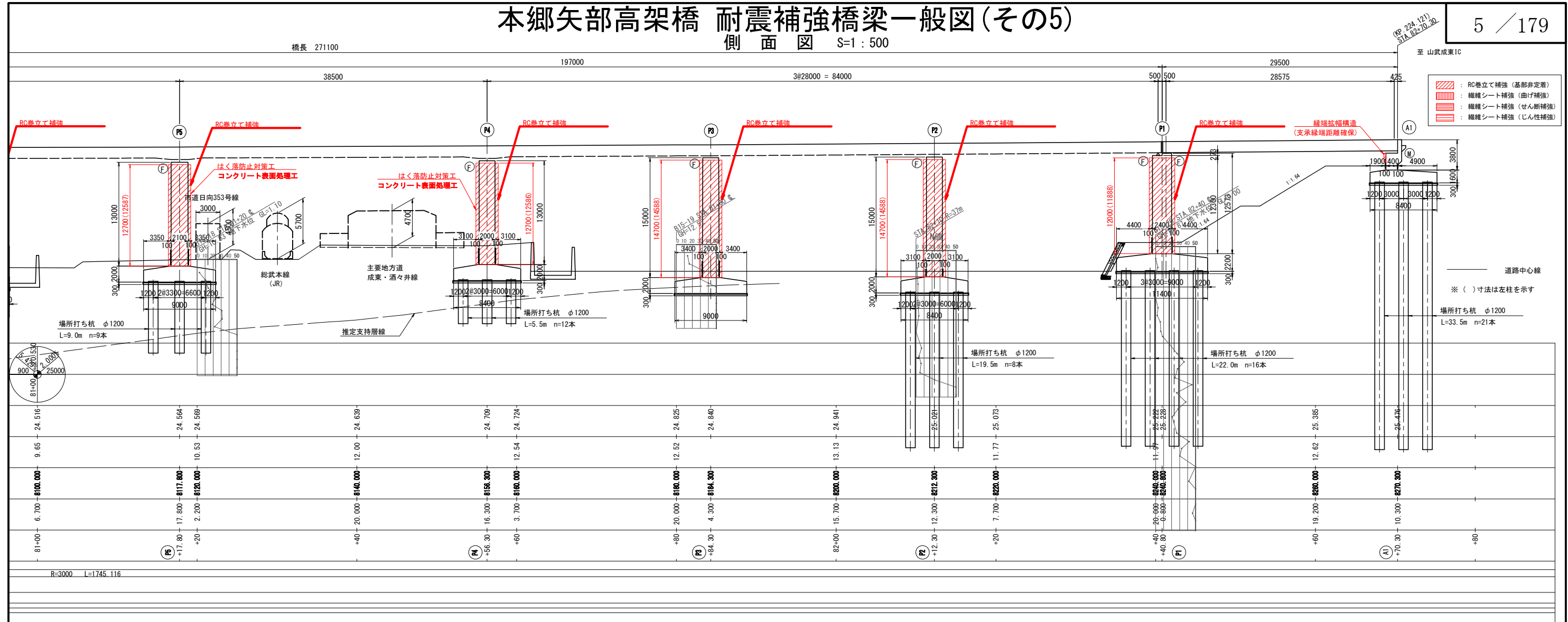
平面図 S=1:500



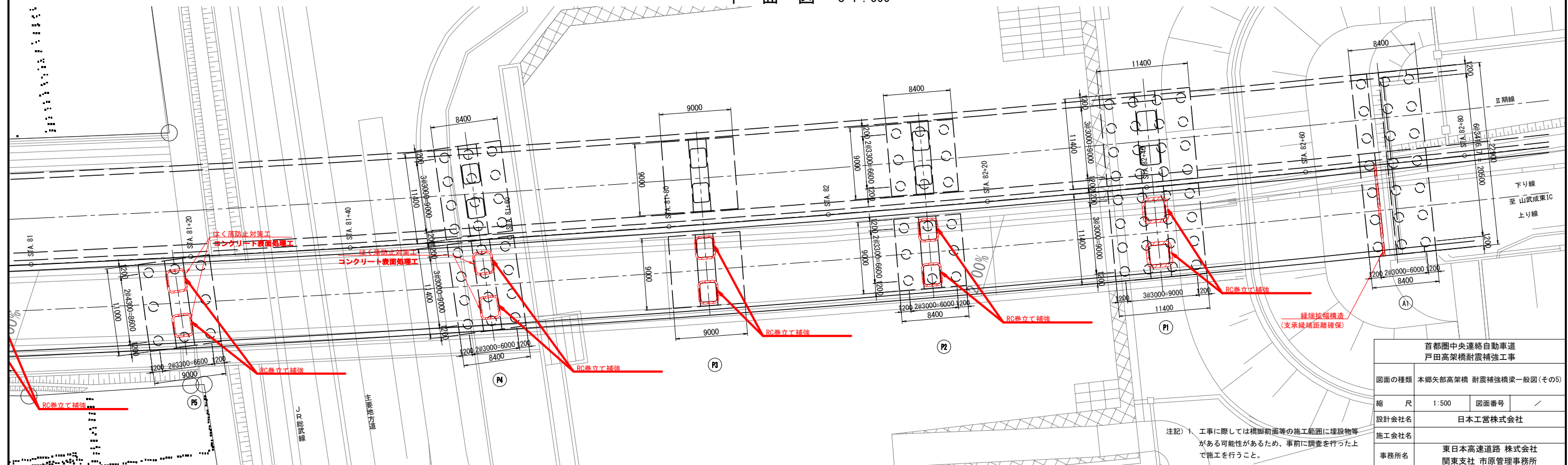
注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その4)	図面番号	／
縮尺	1:500	設計会社名	日本工営株式会社
施工会社名	東日本高速道路 株式会社	事務所名	関東支社 市原管理事務所

側 面 図 S=1 : 500



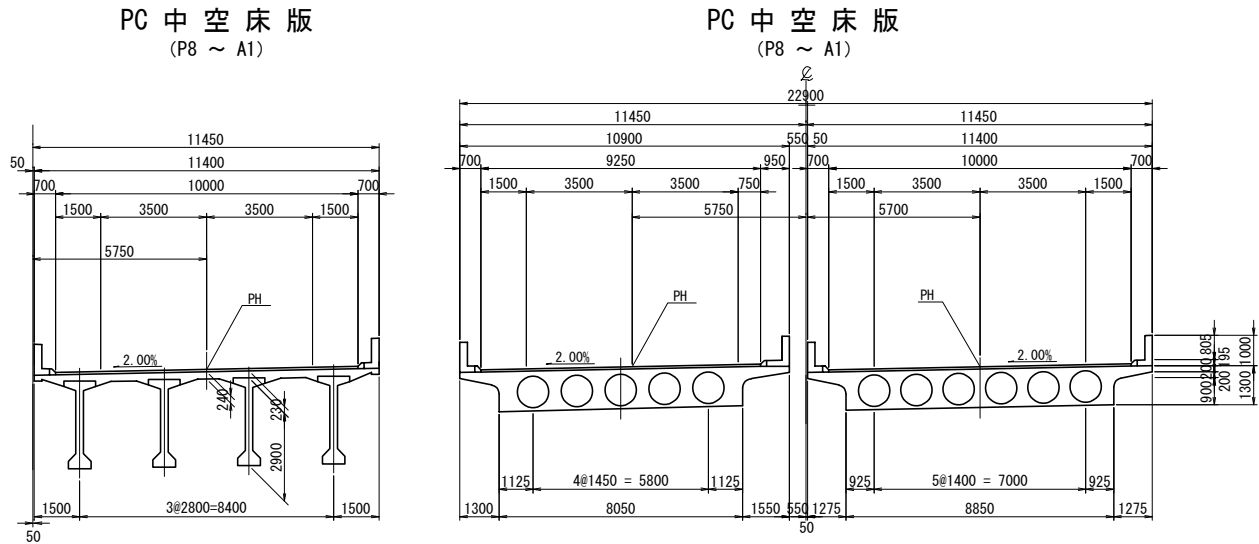
平面图 S=1 : 500



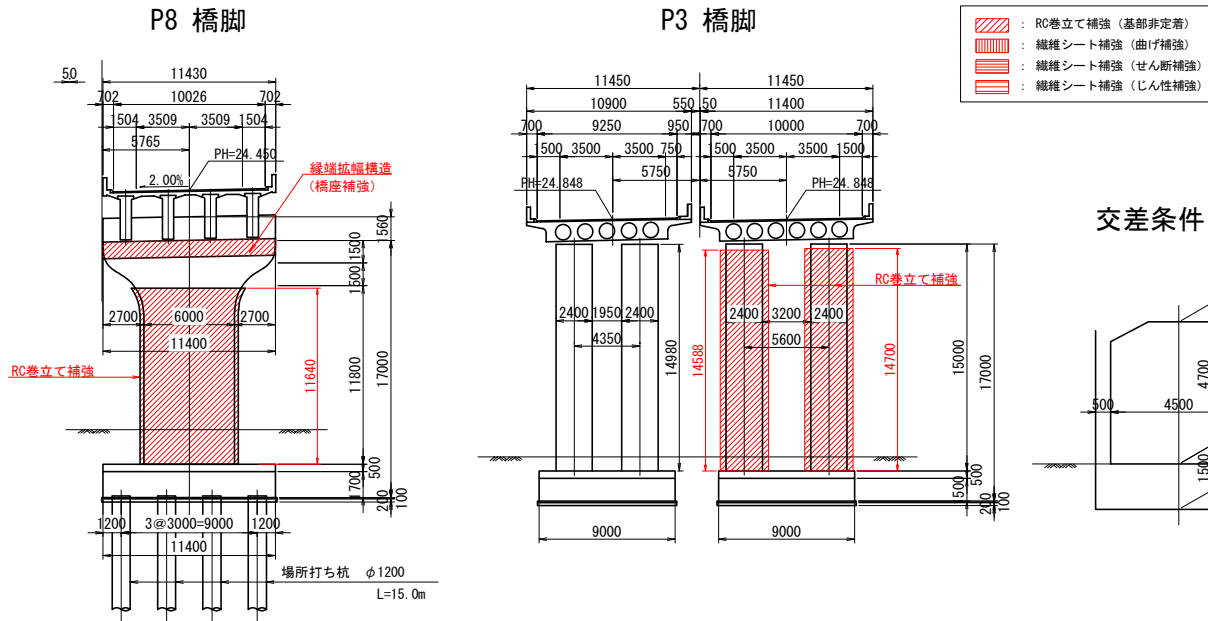
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷支度高架橋 耐震補強橋梁一般図 (その5)		
縮 尺	1:500	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その6)

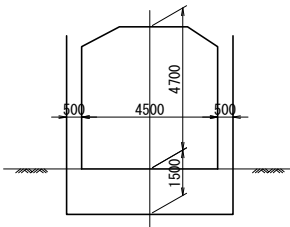
上部工標準断面図 S=1:250



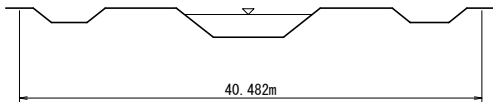
下部工正面図 S=1:500



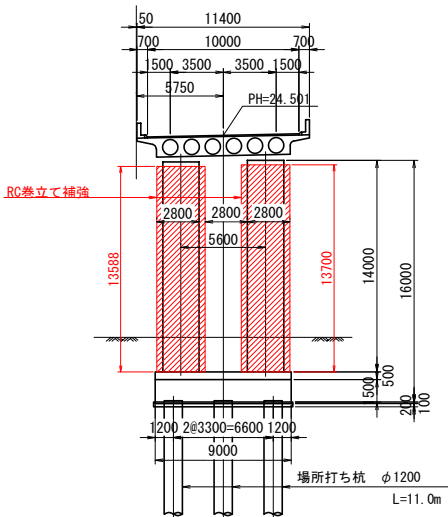
交差条件 町道 S=1:250



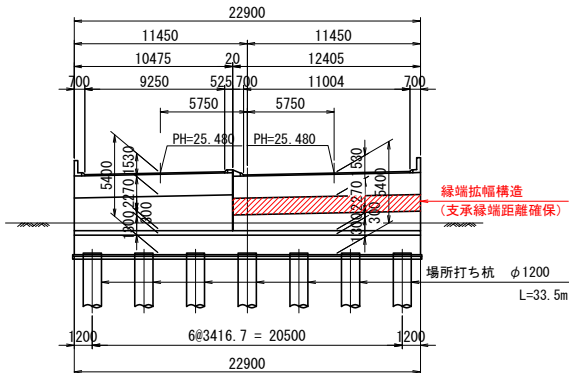
作田川 標準断面図 NON SCALE



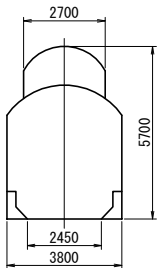
P6 橋脚



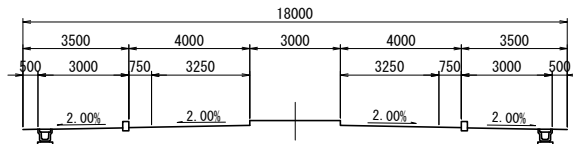
A1 橋台



総武本線 (JR) S=1:250



主要地方道 成東・酒々井線 S=1:250



設計条件

橋 長	271m100		桁 長	44m600、197m000、29m500	
道路規格	第1種 第2級 B規格				
荷 重	TL-20、TT-43				
型 式	PC単純合成桁橋、PC7径間連続中空床版橋、PC単純中空床版橋				
支 間	43m600、3#24m500+38m500+3#28m000、28m575				
有効幅員	10m000	斜 角	90° 00'		
横断勾配	2.000%				
縦断勾配	1.5429% 2.000%				
平面曲線	A=1500m、R=3000m				
設計震度	橋軸方向	A1 (Ⅲ種地盤)	kh=0.30		
		P1～P2 (Ⅲ種地盤)	kh=0.30		
		P3～P4 (Ⅰ種地盤)	kh=0.20		
		P5～P8 (Ⅱ種地盤)	kh=0.25		
		P9 (Ⅲ種地盤)	kh=0.30		
	直角方向	P1～P2 (Ⅲ種地盤)	kh=0.30		
		P3～P4 (Ⅰ種地盤)	kh=0.20		
		P5～P8 (Ⅱ種地盤)	kh=0.25		
		P9 (Ⅲ種地盤)	kh=0.30		
使用材質	上部工	コンクリート	主桁 σck=350kgf/cm2	地覆・高欄 σck=240kgf/cm2	
		鉄 筋	SD345		
	下部工	PC鋼材	SWPR7A 12T124		
		コンクリート	σck = 240kgf/cm2		
		鉄 筋	SD345		
下部工型式		盛りこぼし橋台 2柱式橋脚 張り出し式橋脚			
基礎型式		場所打ちコンクリート杭 φ1200			
適用基準等		平成2年2月 道路橋示方書 同解説			

設計条件表 (補強設計時)

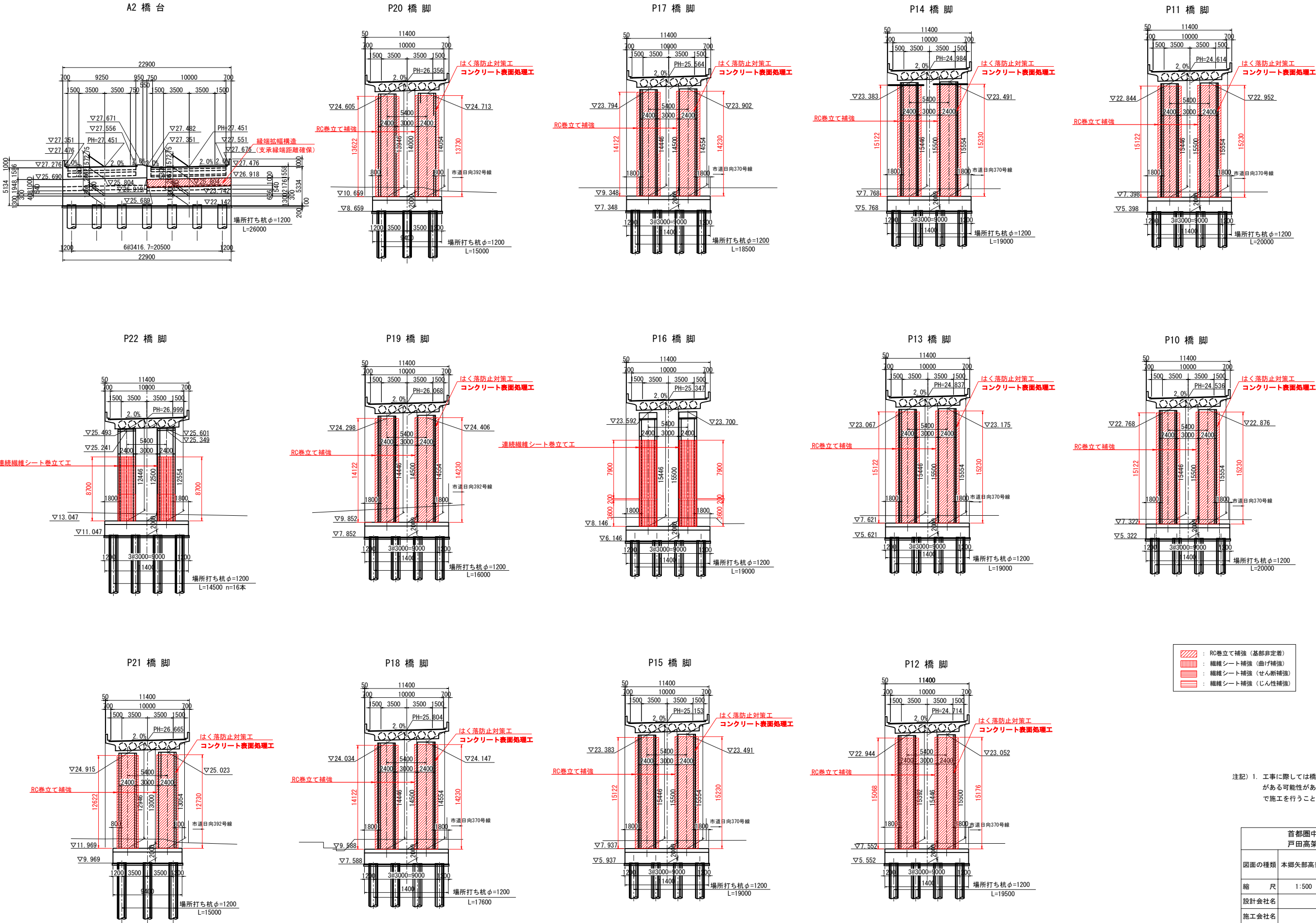
設計年次	令和8年4月			
橋 長	619.400m		桁 長	29.900m+146.200m+176.600m +44.600m+197.000m+29.500m
道路規格	第1種 第2級 B規格		設計速度	V= 100km/h
荷 重	TL-20、TT-43			
補強形式	上部工	---		
	下部工	RC巻き立て補強、炭素繊維巻き立て補強		
	基礎工	---		
支 間	29.100m + 23.900m + 4@24.400m + 23.900m、23.900m + 5@24.400m + 23.900m、 43.600m、3@24.500m + 38.500m + 3@28.000m + 28.575m			
有効幅員	10.000m			
幅員構成	1.500m + 3.500m + 3.500m + 1.500m			
斜 角	A1~P7: 90° 00' 00", P8: 85° 24' 34", P9: 94° 59' 32", P9~A2: 90° 00' 00"			
横断勾配	2.000%		縦断勾配	1.5429%~2.000%
架設工法	---			
舗 装	アスファルト舗装 t = 80mm			
床 版	PC合成単純版、PC中空床版			
壁高欄	RC壁高欄			
添架物	---			
使用材料	上 部 工	鋼 材	---	
		コンクリート	---	
		鉄 筋	---	
		PC鋼材	---	
		連続繊維シート	炭素繊維シート：引張強度3400N/mm2	
	下 部 工	コンクリート	σ _{ck} =30N/mm2	
		鉄 筋	SD345	
		基 礎 工	鋼 材	---
	コンクリート		---	
	鉄 筋		---	
重要度区分	B種			
地域区分	レベル1		A2地域(C _z =1.0)	
	レベル2	タイプⅠ		A2地域(CⅠ _z =1.00)
		タイプⅡ		A2地域(CⅡ _z =1.00)
地盤種別	A1~P3：Ⅱ種地盤、P4~P14：Ⅲ種地盤、P15~P18：Ⅱ種地盤、P19~P20：Ⅰ種地盤、P21~A2：Ⅲ種地盤			
支保条件	形 式	A1、A2：すべりゴム支保、P14終、P15起：パッド番 +アンカーバー、P1~P14起、P15~P22：積層ゴム支保		
	橋軸方向	A1、P14終、A2：可動、P1~P14起、P15~P22：固定分散		
	直角方向(レベル1)	全支点：固定		
	直角方向(レベル2)	全支点：固定		
橋脚柱補強	RC巻き立て補強	P1~P15、P17~P21		
	炭素繊維巻き立て補強	P16、P22		
落橋防止 システム	落橋防止構造	PCケーブル	P9起	
	横変位拘束構造	鋼製ブロック	P9終	
	縁端拡幅	RC縁端拡幅	A1、A2：支保端距離確保、P6終：橋座補強	
	レベル1	---		
固有周期 ※各連毎に記 載する	レベル1		---	
	レベル2(タイプⅠ)		A1~P6：1.30s、P6~P14：1.32s、P15~A2：1.485 [可動橋脚別途]	
	レベル2(タイプⅡ)		A1~P6：1.30s、P6~P14：1.32s、P15~A2：1.485 [可動橋脚別途]	
耐震性能	レベル1		耐震性能1	
	レベル2		耐震性能2 主たる塑性化を考慮する部位：橋脚柱基部	
設計水平震度	レベル1		動的照査法を適用	
	レベル2(タイプⅠ)		動的照査法を適用	
	レベル2(タイプⅡ)		動的照査法を適用	
適用基準等	道路橋示方書・同解説(平成24年3月)			
	道路橋示方書・同解説(平成14年3月)			
	設計要領第二集 橋梁保全編 (東日本高速道路株式会社：令和6年7月)			

注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その6)	縮尺	図示
設計会社名	日本工営株式会社	図面番号	／
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その7)

下部正面図 S:1:500

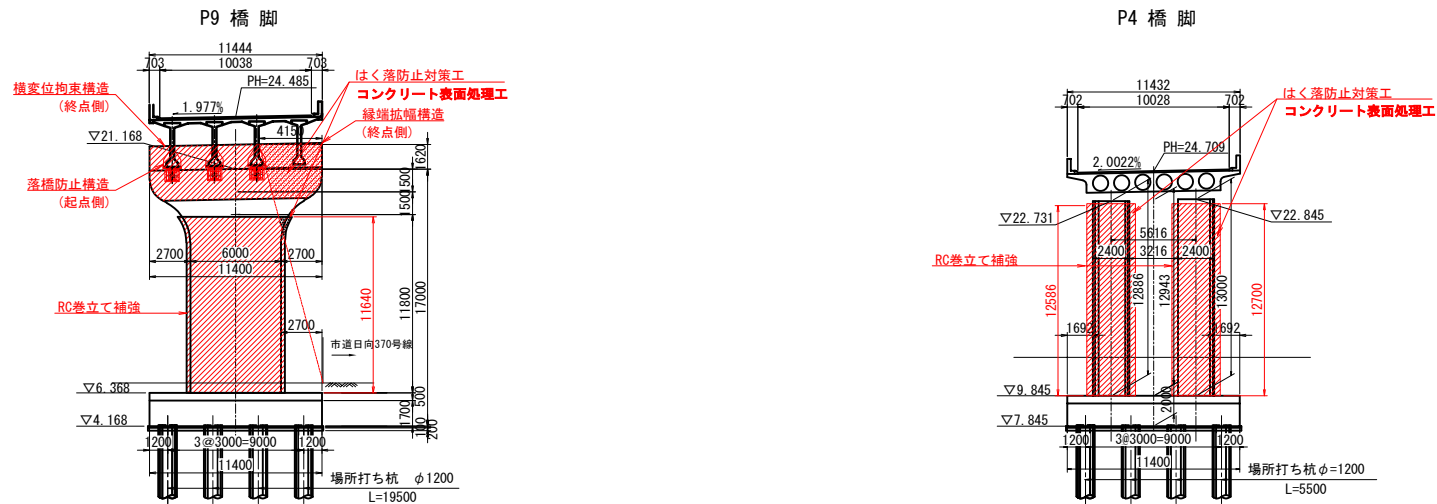


注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

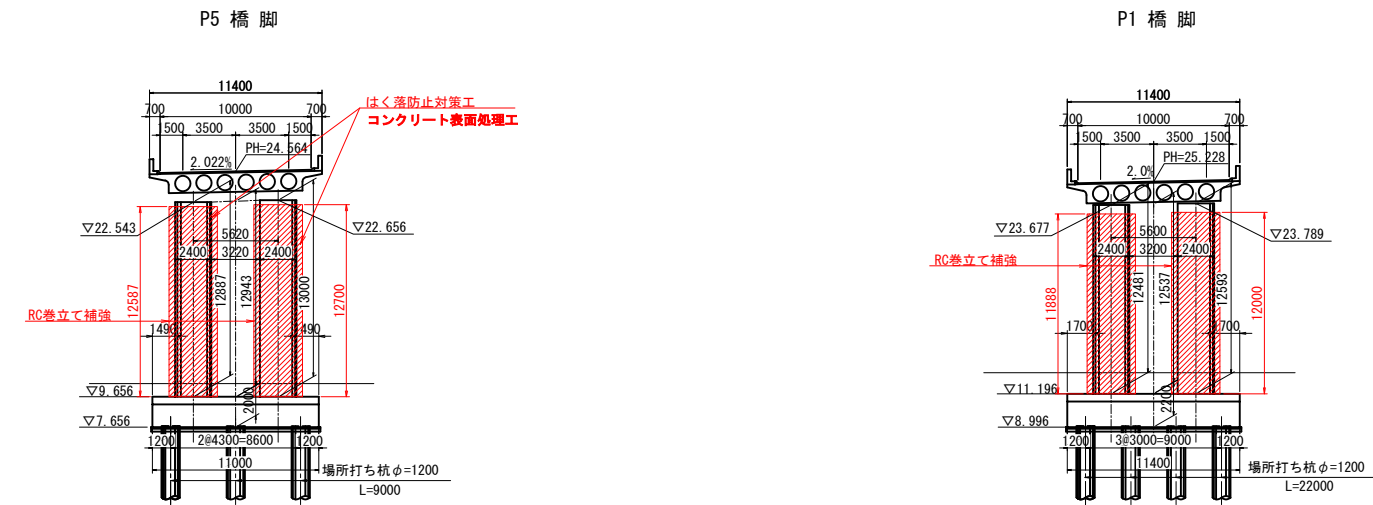
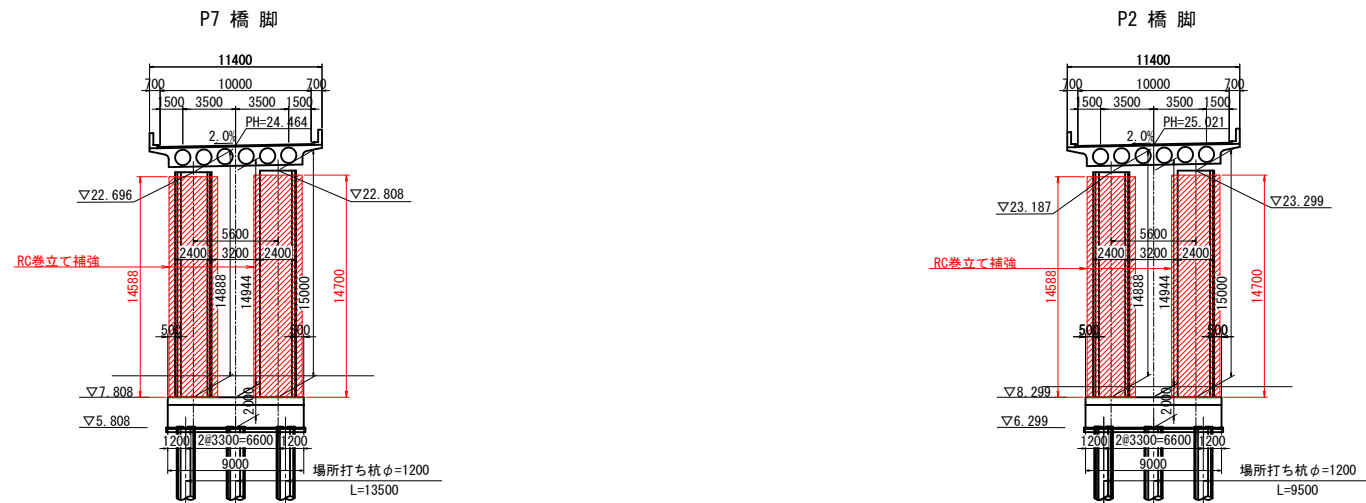
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その7)		
縮 尺	1:500	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その8)

下部正面図 S=1 : 500



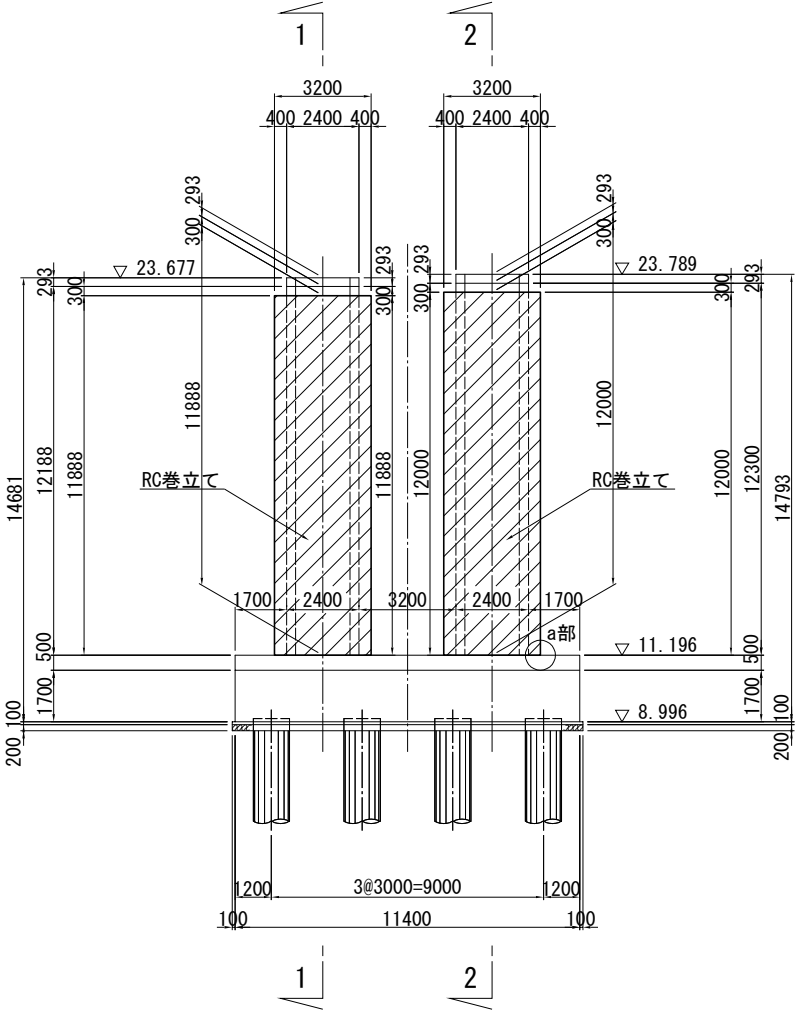
- RC巻立て補強 (基部非定着)
- 繊維シート補強 (曲げ補強)
- 繊維シート補強 (せん断補強)
- 繊維シート補強 (じん性補強)



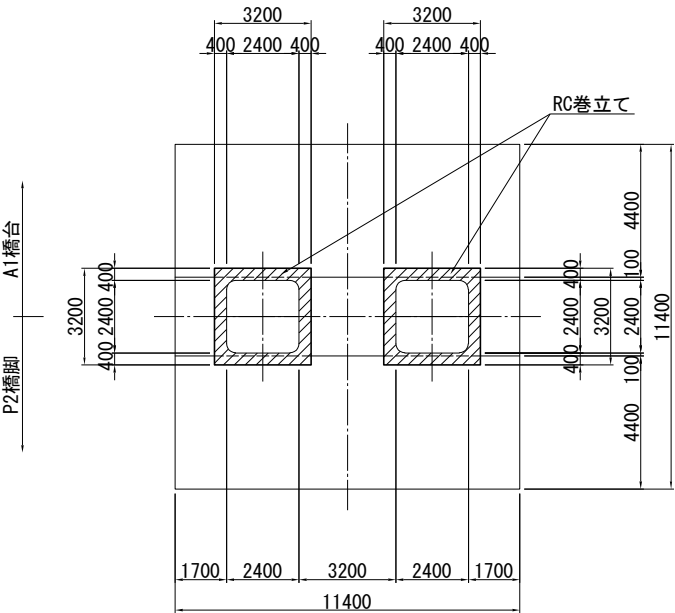
注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 耐震補強橋梁一般図(その8)		
縮 尺	1:500	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

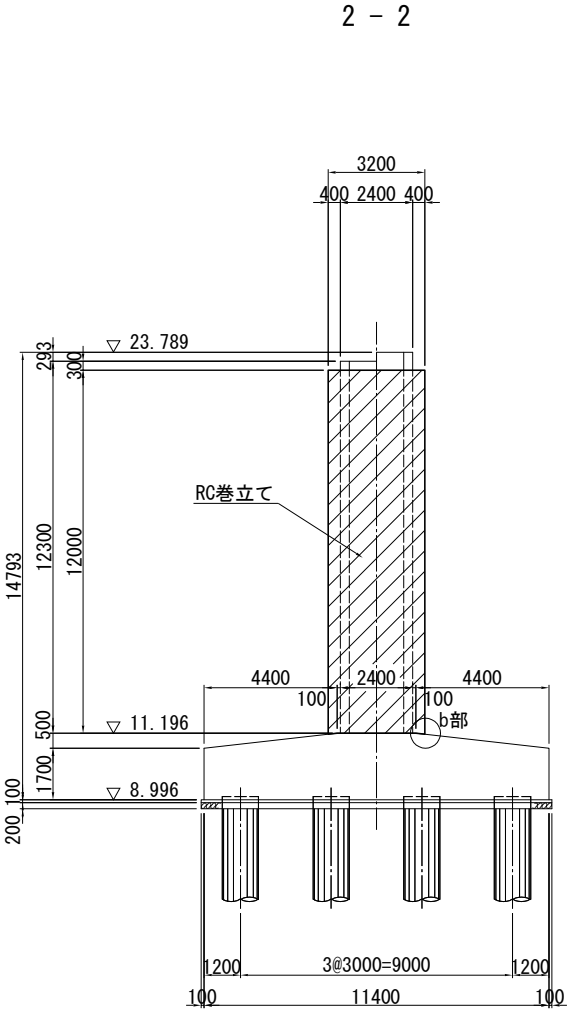
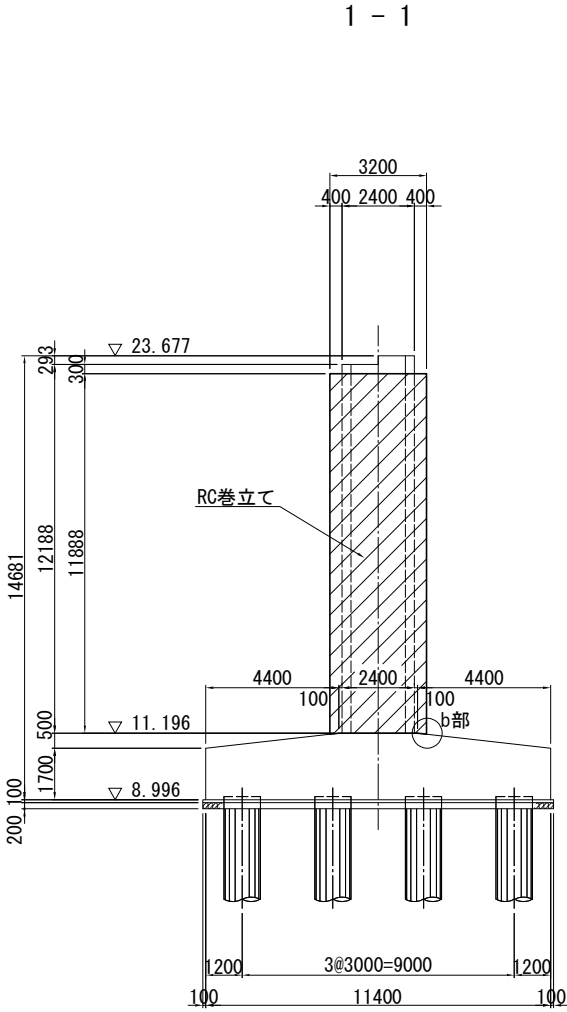
正面図



平面図

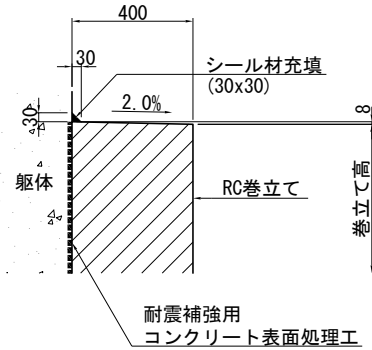


側面図

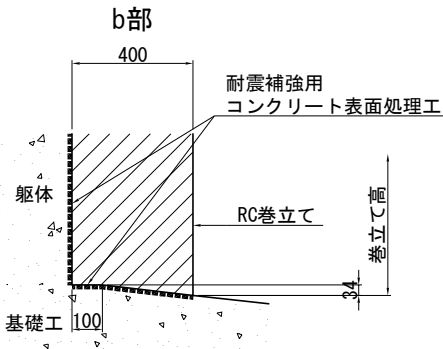
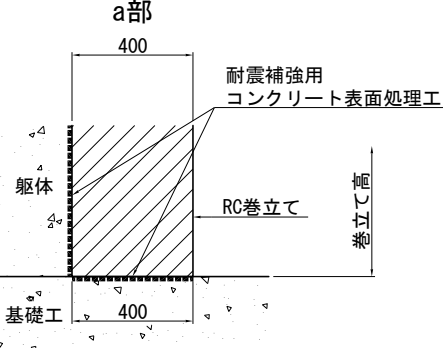


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

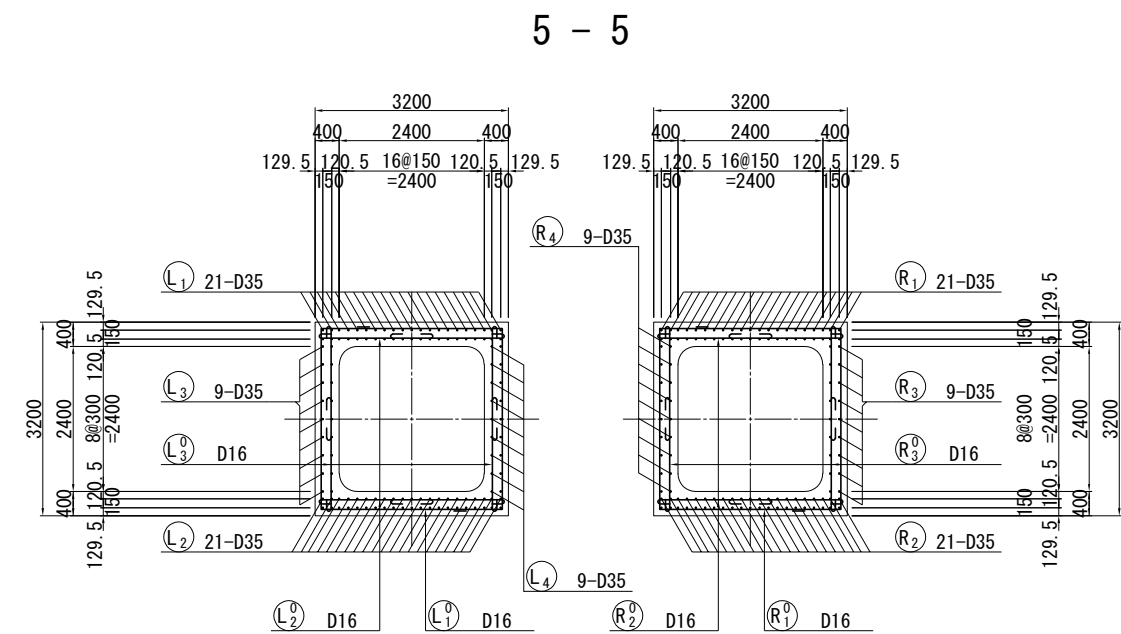
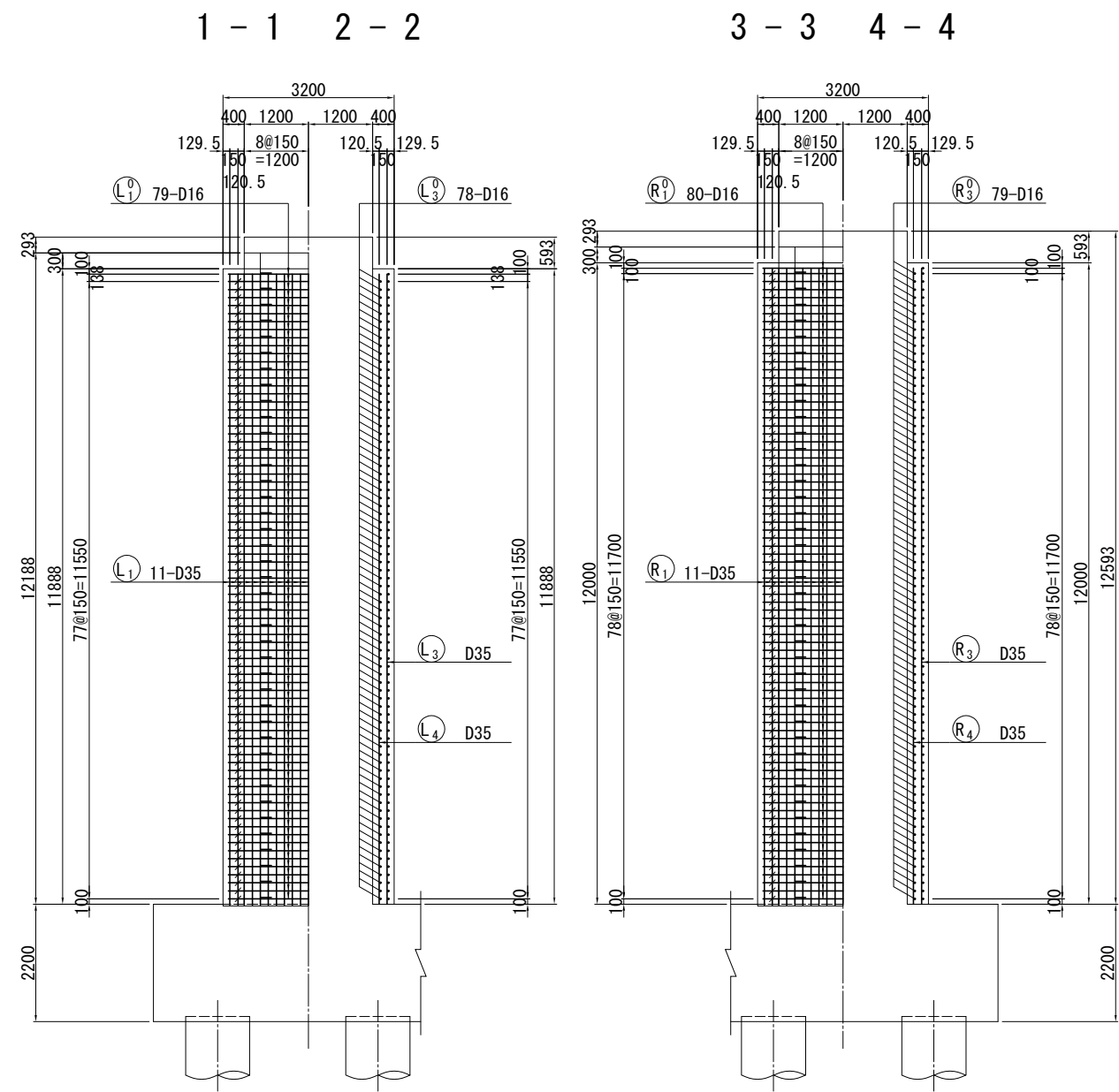


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

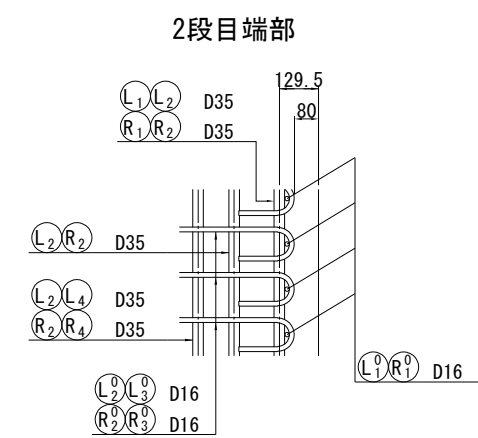
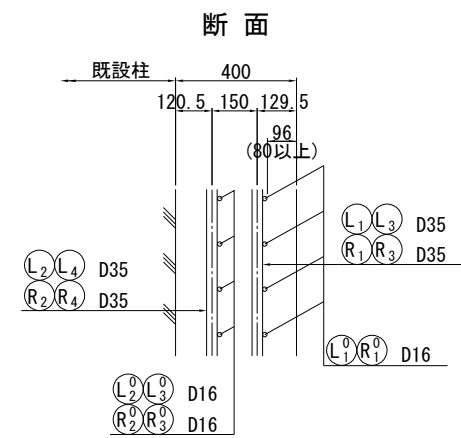
使用材料

工 種	仕 様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄 筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345

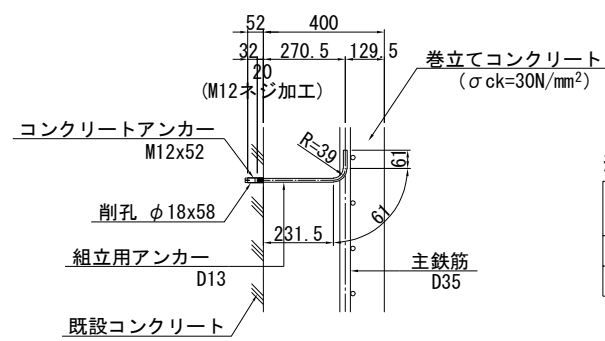
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

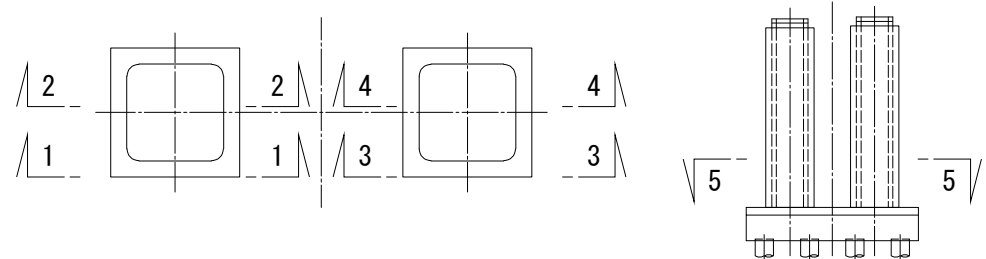


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	114	43
右柱	380	115	43

※組立用アンカー本数
N=114.2m²/1本/m²=114本
N=115.3m²/1本/m²=115本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

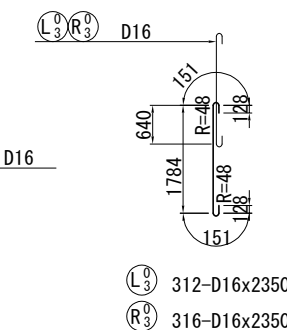
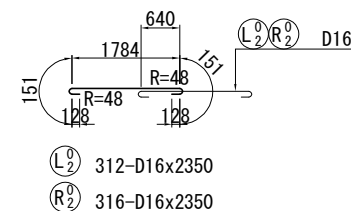
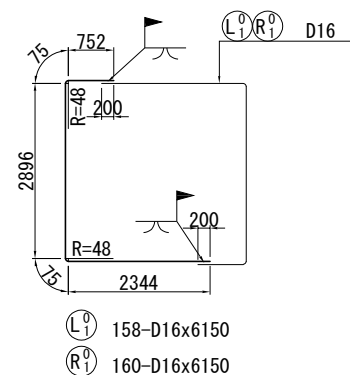
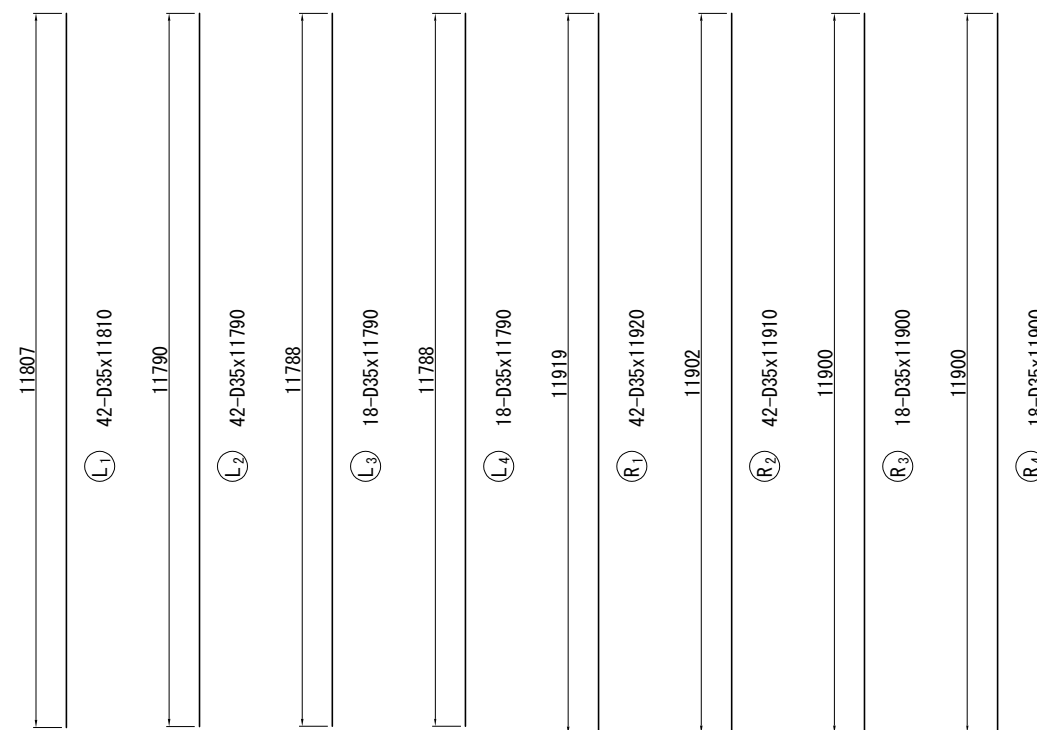
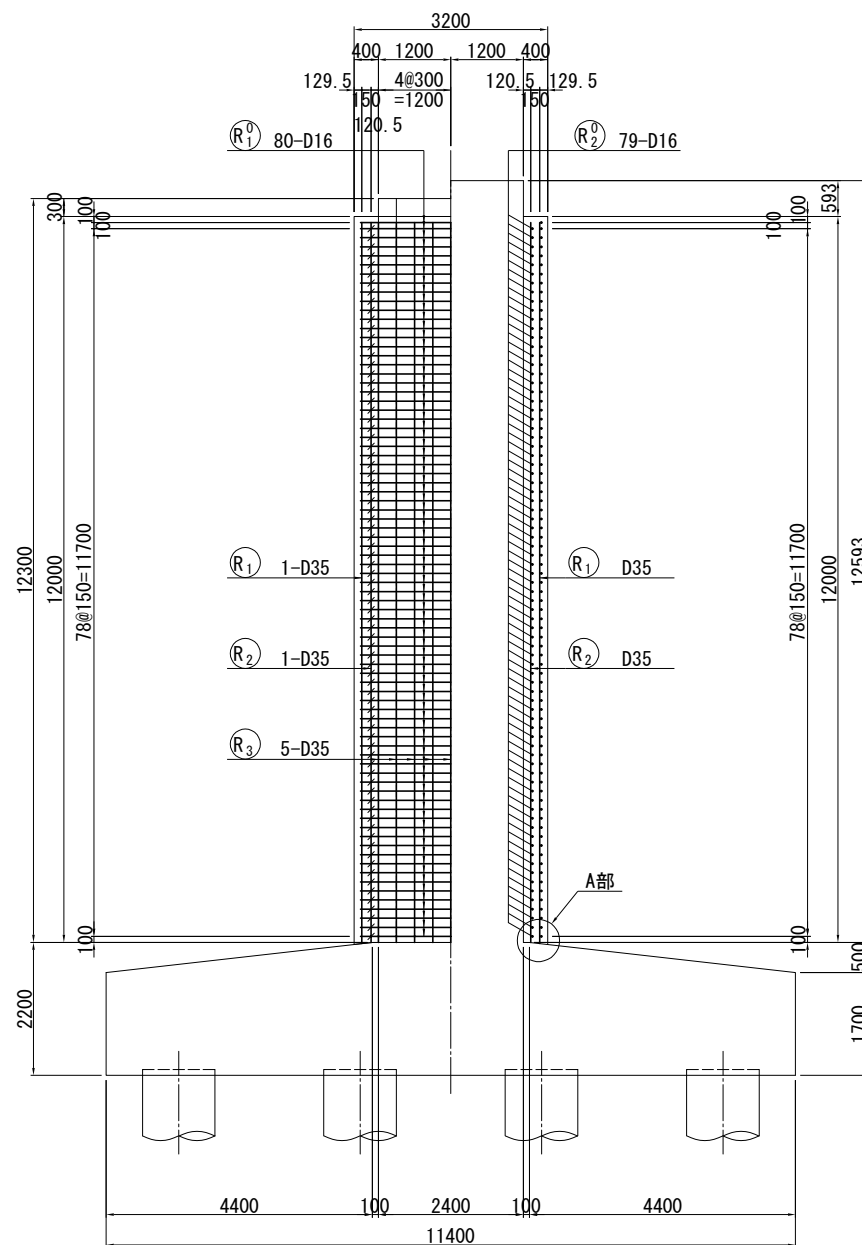
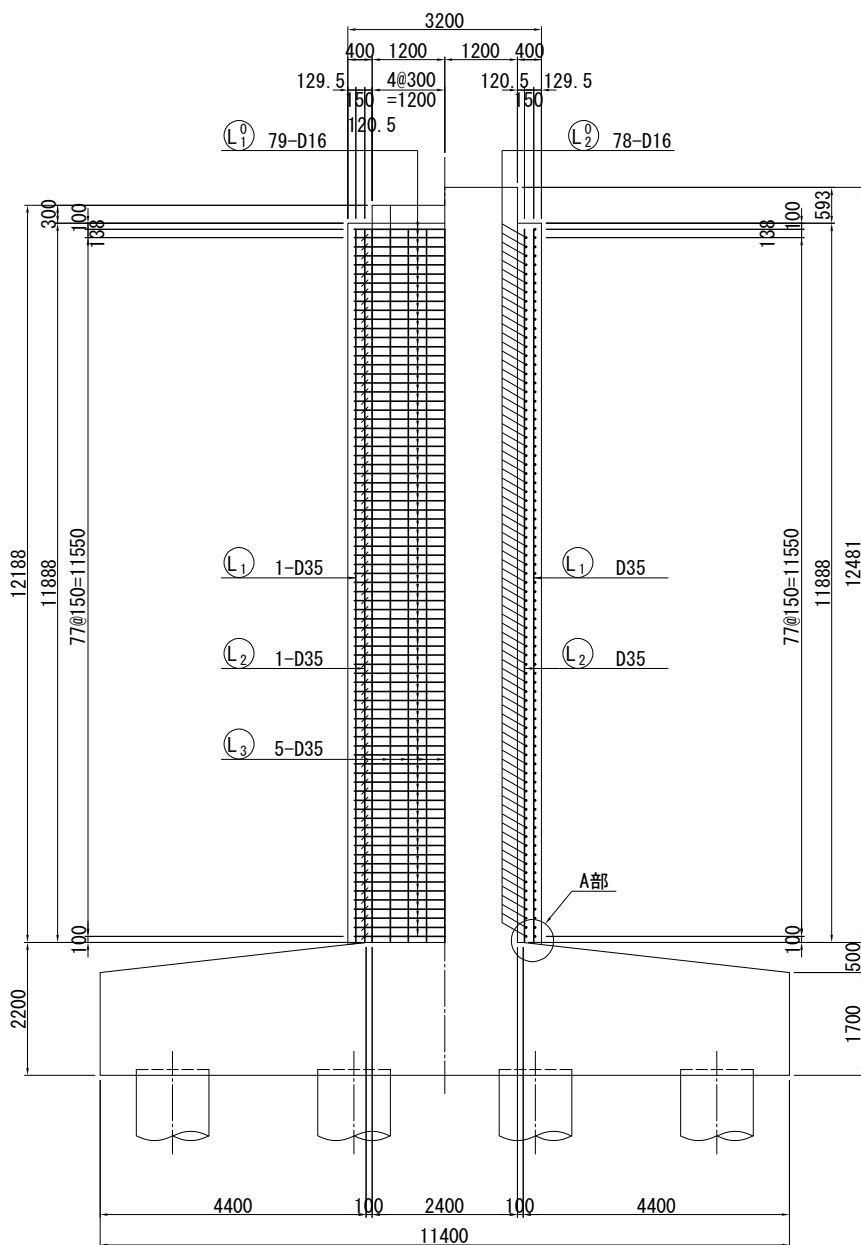
使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 鉄 筋
	30 N/mm ² SD345

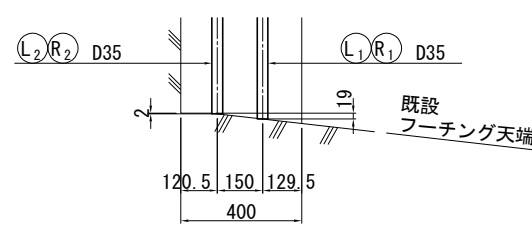
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

6 - 6 7 - 7

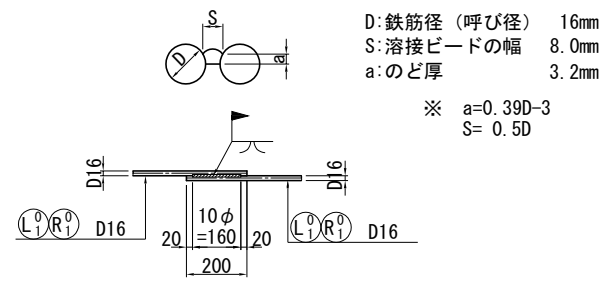
8 - 8 9 - 9



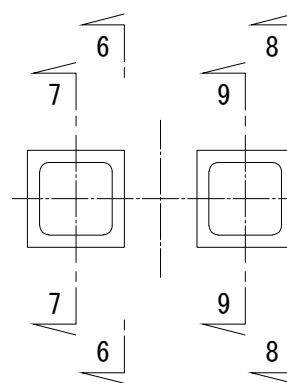
A部詳細図 S=1:25



フleaー溶接詳細図 S=1:25



位置図



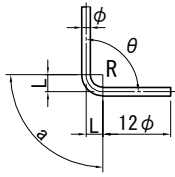
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表（左柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1	D35	11810	42	7. 51	88. 7	3725	
L 2	D35	11790	42	7. 51	88. 5	3717	
L 3	D35	11790	18	7. 51	88. 5	1593	
L 4	D35	11790	18	7. 51	88. 5	1593	
10628 kg							
L 1 0	D16	6150	158	1. 56	9. 59	1515	┐ [158]
L 2 0	D16	2350	312	1. 56	3. 67	1145	┐
L 3 0	D16	2350	312	1. 56	3. 67	1145	┐
3805 kg							
T				フレアー溶接箇所数			
D35			10628 kg	-			
D16			3805 kg	[158]			
合 計			14433 kg	[158]			
コンクリートアンカー					M12x52	114	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3. 0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5. 5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71. 5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104. 5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137. 5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159. 5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192. 5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225. 5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280. 5	360	379	320	210	240	66	220	12

鉄筋質量表（右柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1	D35	11920	42	7. 51	89. 5	3759	
R 2	D35	11910	42	7. 51	89. 4	3755	
R 3	D35	11900	18	7. 51	89. 4	1609	
R 4	D35	11900	18	7. 51	89. 4	1609	
10732 ^{kg}							
R 1 ⁰	D16	6150	160	1. 56	9. 59	1534	┐ ^[160]
R 2 ⁰	D16	2350	316	1. 56	3. 67	1160	┐
R 3 ⁰	D16	2350	316	1. 56	3. 67	1160	┐
3854 ^{kg}							
T				フレアー溶接箇所数			
D35		10732 ^{kg}		-			
D16		3854 ^{kg}		[160]			
合 計		14586 ^{kg}		[160]			
コンクリートアンカー				M12x52	115	個	
(削孔 φ18x58)							

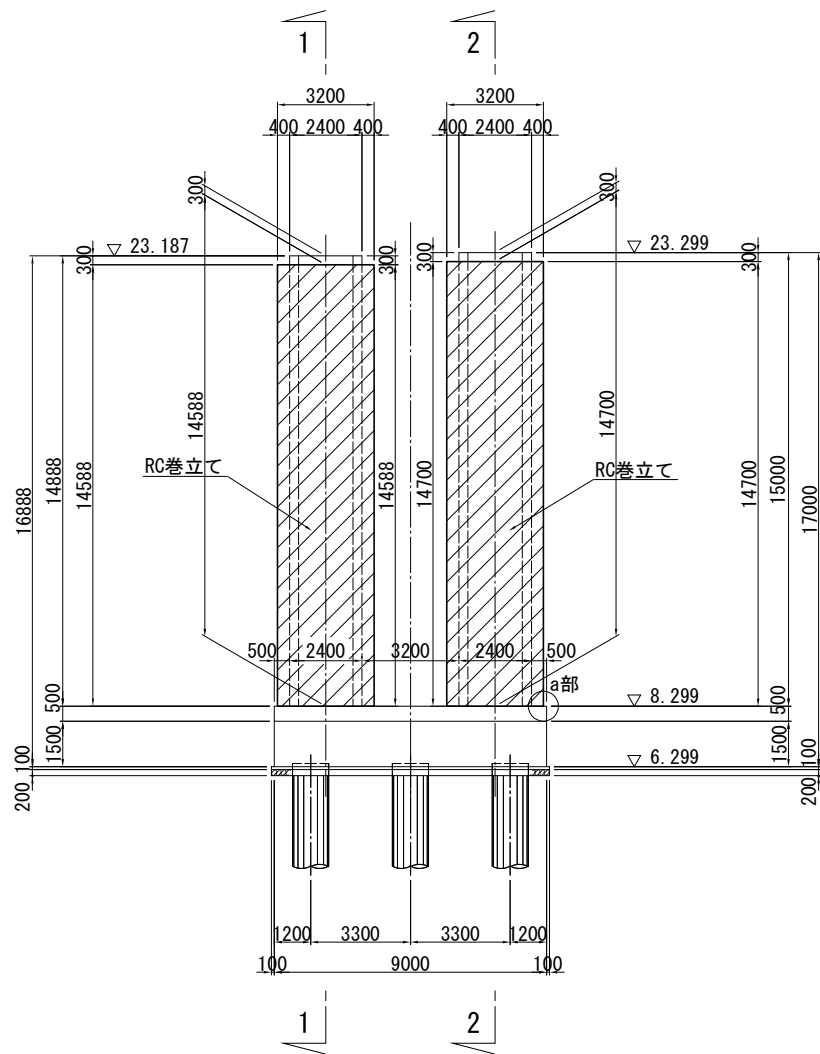
注記）鉄筋質量表内の〔 〕はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

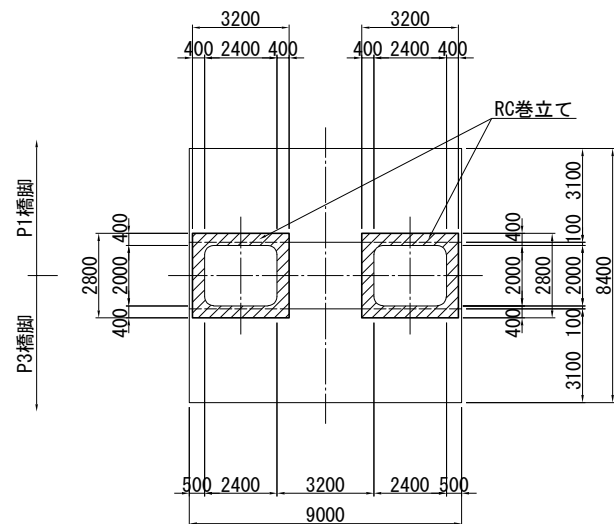
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

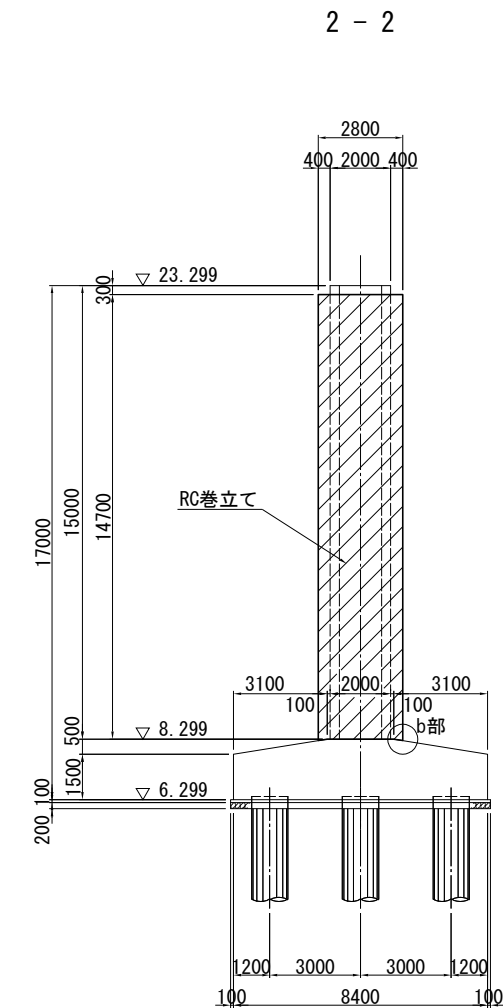
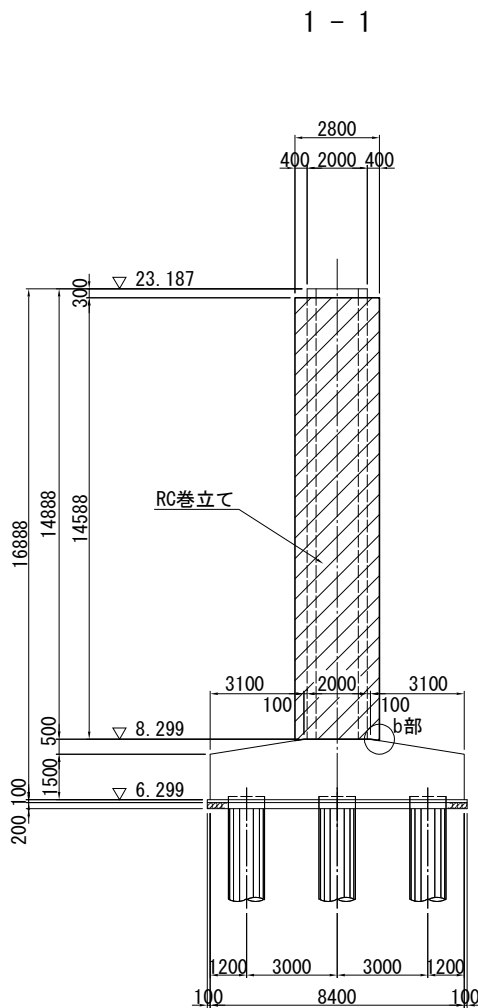
正面図



平面図

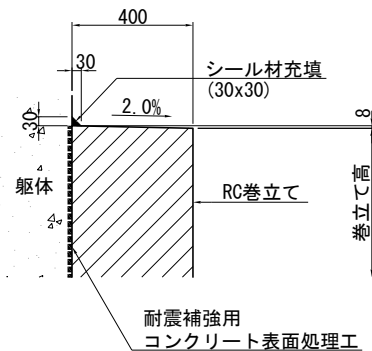


側面図

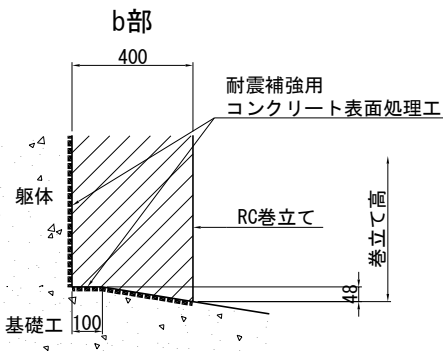
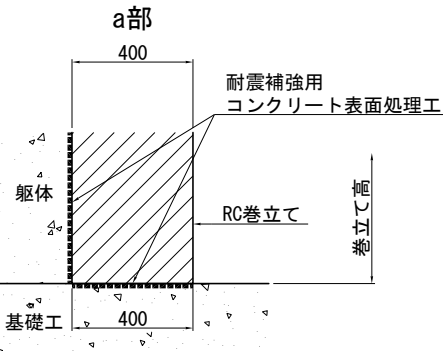


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

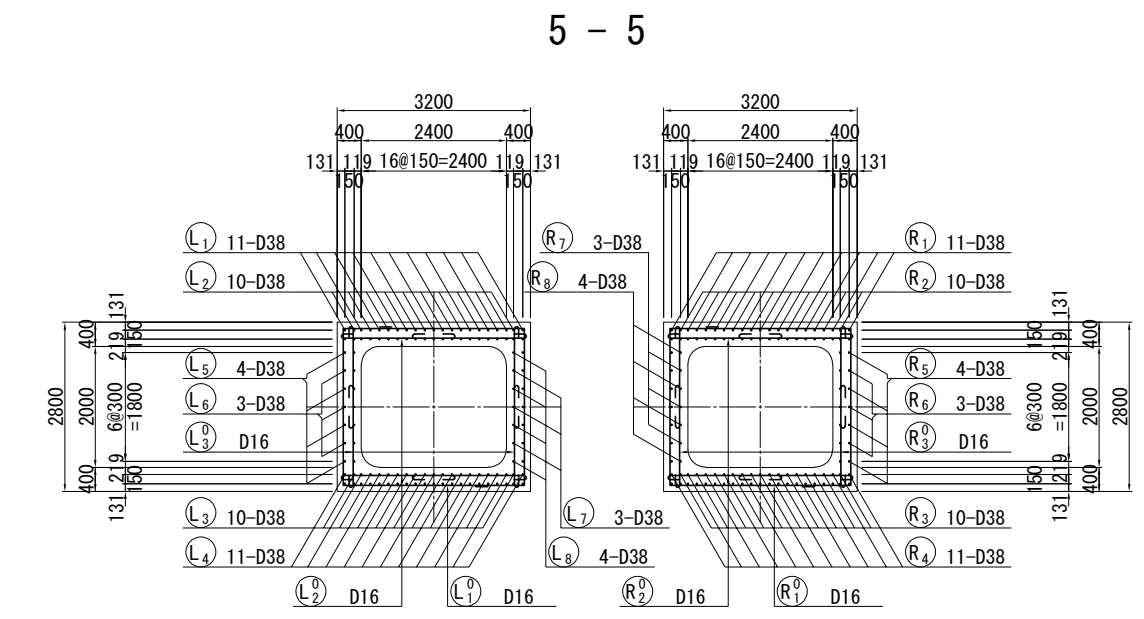
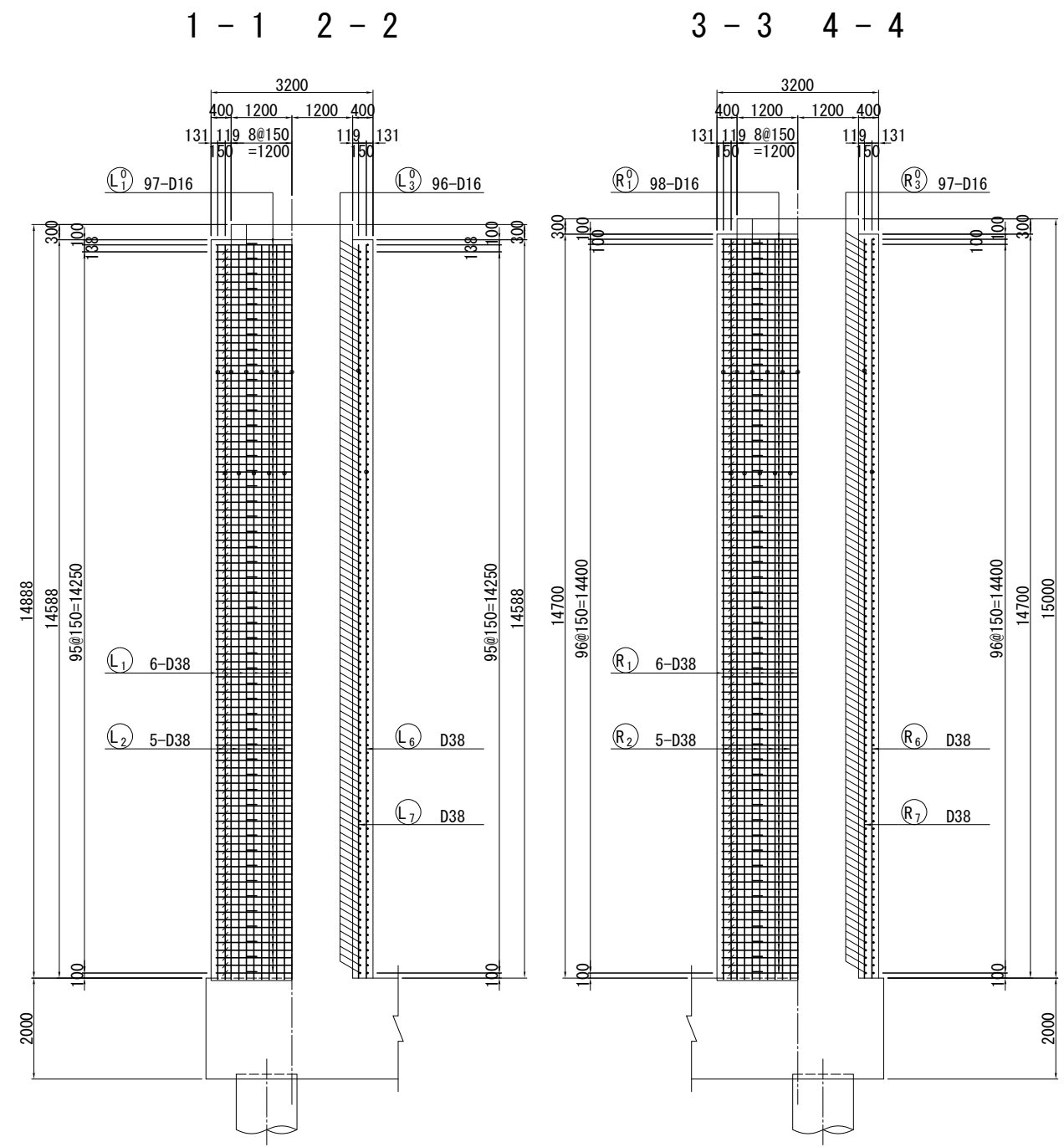


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

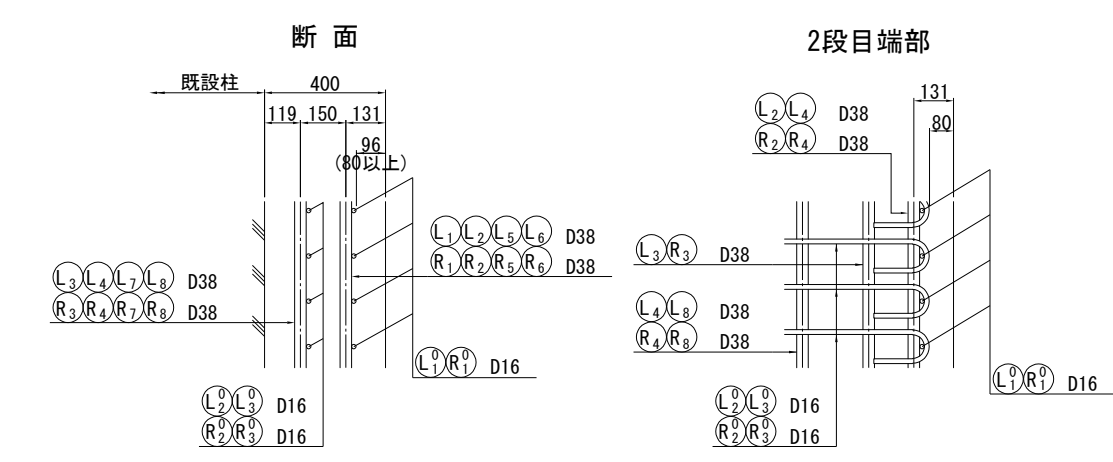
使用材料

工 種	仕 様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄 筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345

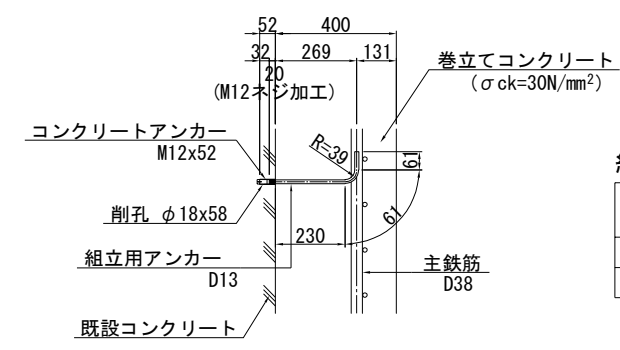
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

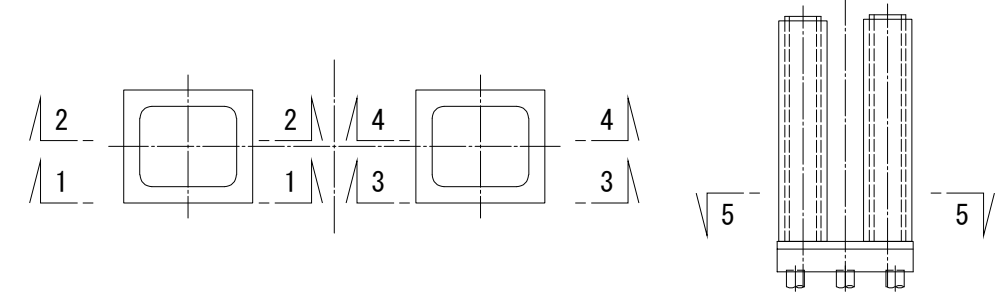


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	128	48
右柱	380	129	49

※組立用アンカー本数
N=128. 4m²/1本/m²=128本
N=129. 4m²/1本/m²=129本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

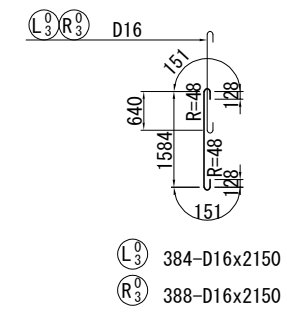
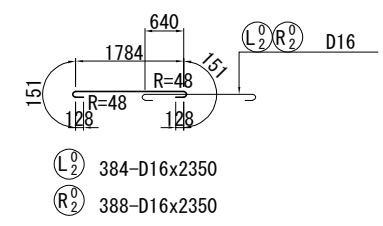
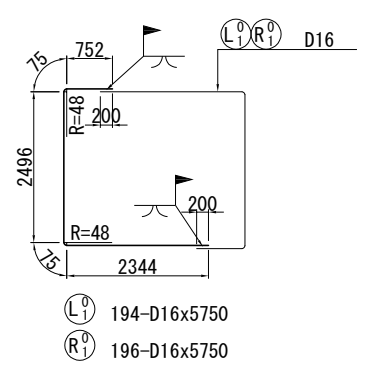
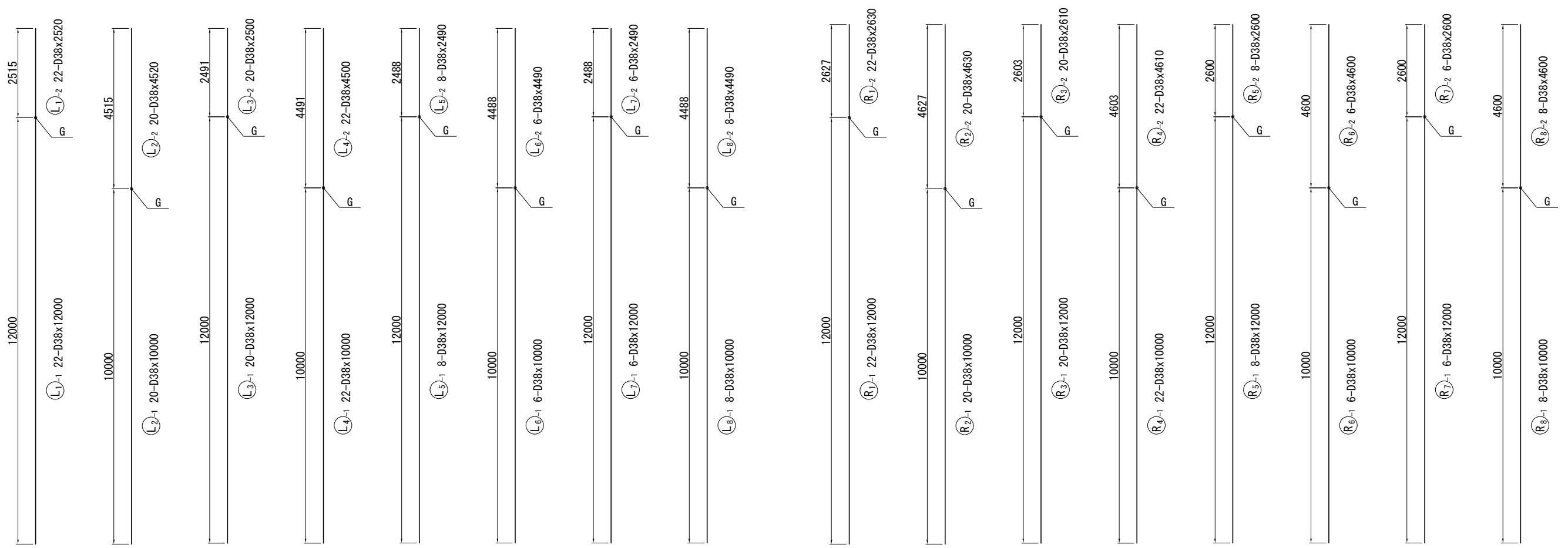
位置図



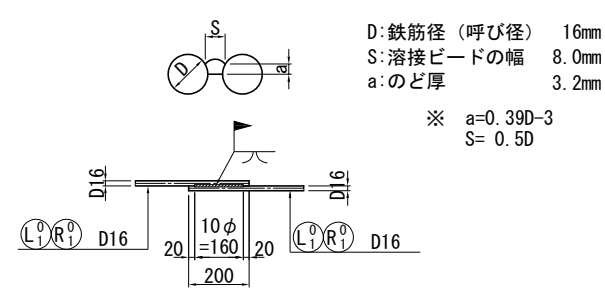
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

使用材料		仕様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

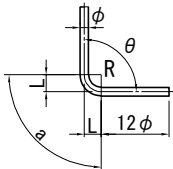
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	2520	22	8.95	22.6	497	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	4520	20	8.95	40.5	810	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	2500	20	8.95	22.4	448	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	4500	22	8.95	40.3	887	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	2490	8	8.95	22.3	178	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	4490	6	8.95	40.2	241	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	2490	6	8.95	22.3	134	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	4490	8	8.95	40.2	322	
14521 ^{kg}							
L 1 ⁰	D16	5750	194	1.56	8.97	1740	┐ [194]
L 2 ⁰	D16	2350	384	1.56	3.67	1409	┐
L 3 ⁰	D16	2150	384	1.56	3.35	1286	┐
4435 ^{kg}							
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			14521 ^{kg}	(112)		-	
D16			4435 ^{kg}	-		[194]	
合 計			18956 ^{kg}	(112)		[194]	
コンクリートアンカー					M12x52	128	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	2630	22	8.95	23.5	517	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	4630	20	8.95	41.4	828	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	2610	20	8.95	23.4	468	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	4610	22	8.95	41.3	909	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	2600	8	8.95	23.3	186	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	4600	6	8.95	41.2	247	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	2600	6	8.95	23.3	140	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	4600	8	8.95	41.2	330	
						14629	kg
R 1 ⁰	D16	5750	196	1.56	8.97	1758	┐ [196]
R 2 ⁰	D16	2350	388	1.56	3.67	1424	┐
R 3 ⁰	D16	2150	388	1.56	3.35	1300	┐
						4482	kg
T		ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数			
D38		14629 kg		(112)		-	
D16		4482 kg		-		[196]	
合 計		19111 kg		(112)		[196]	
コンクリートアンカー				M12x52		129 個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

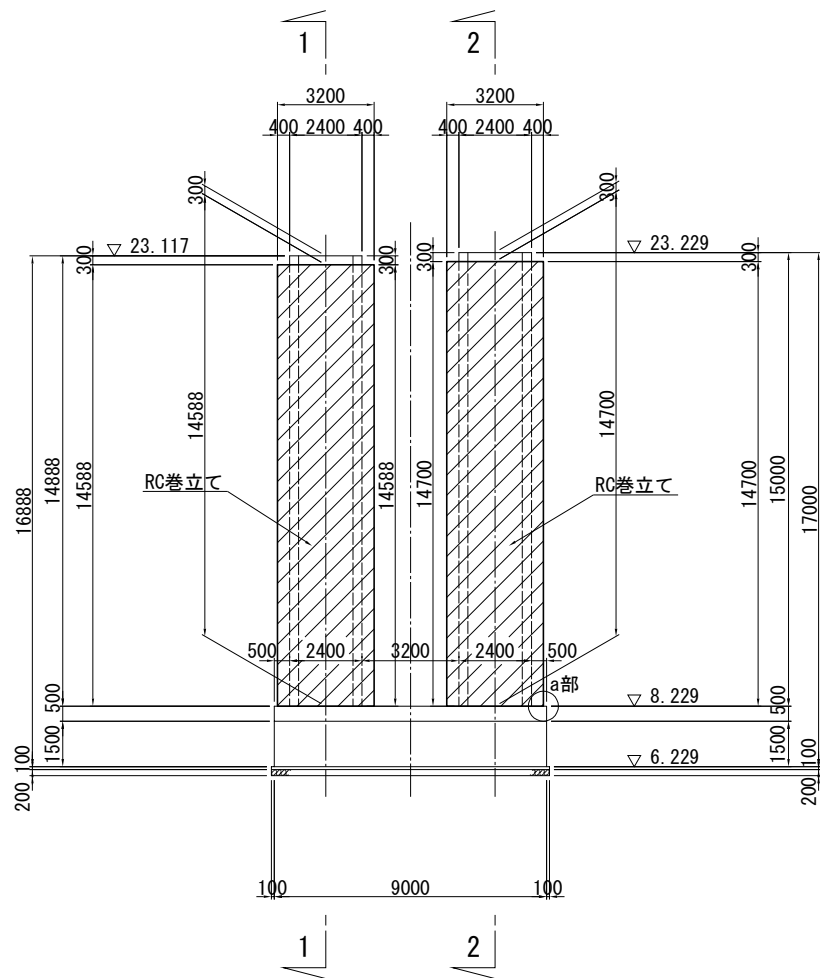
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

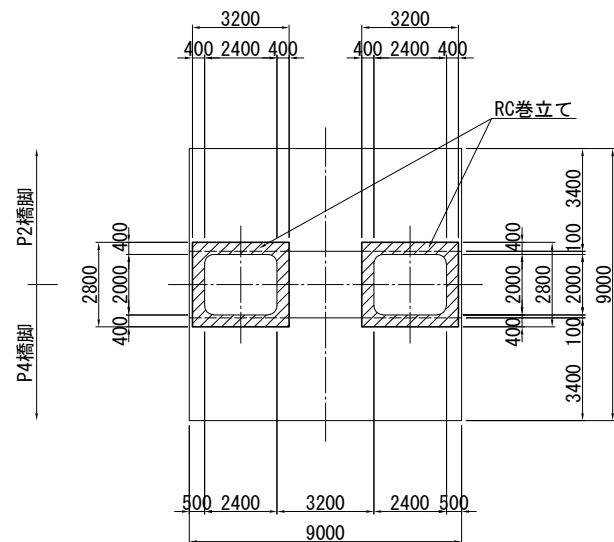
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

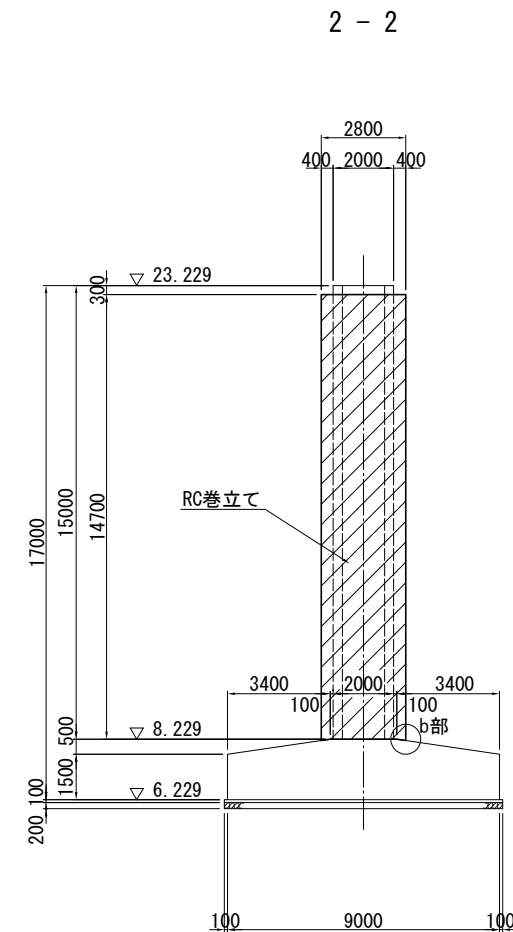
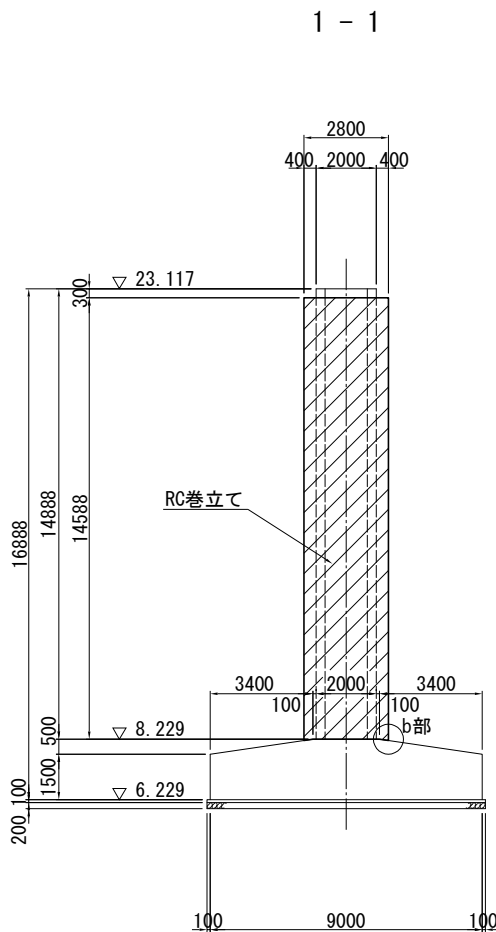
正面図



平面図

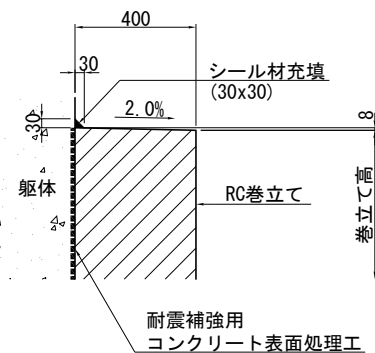


側面図

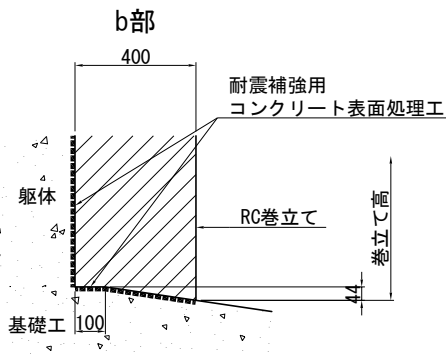
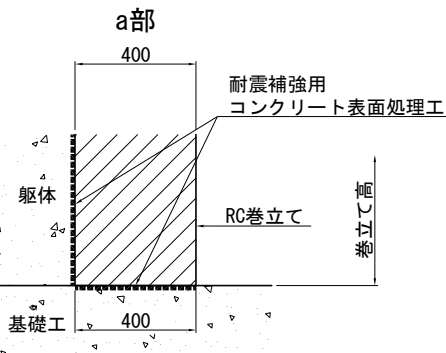


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)



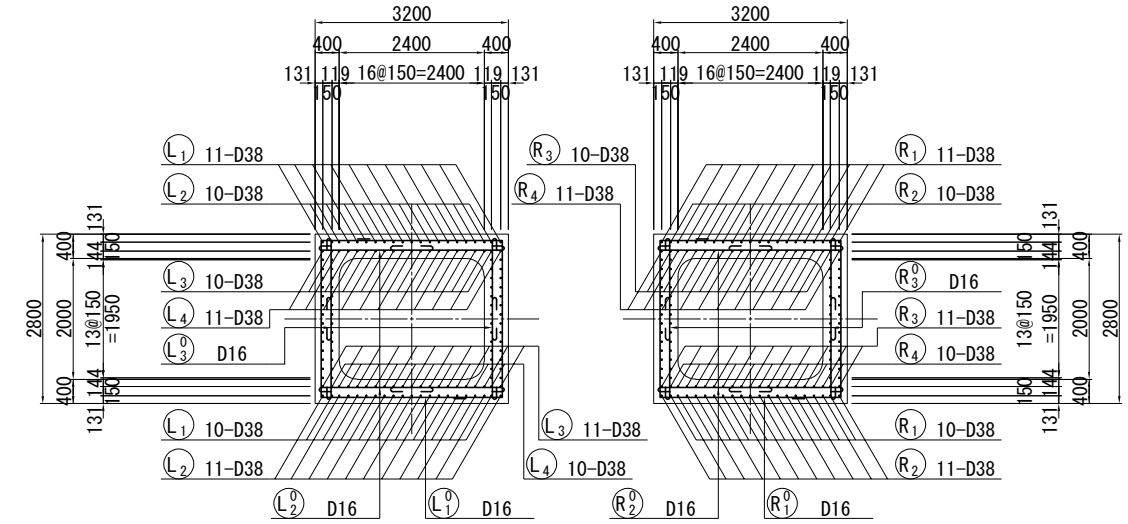
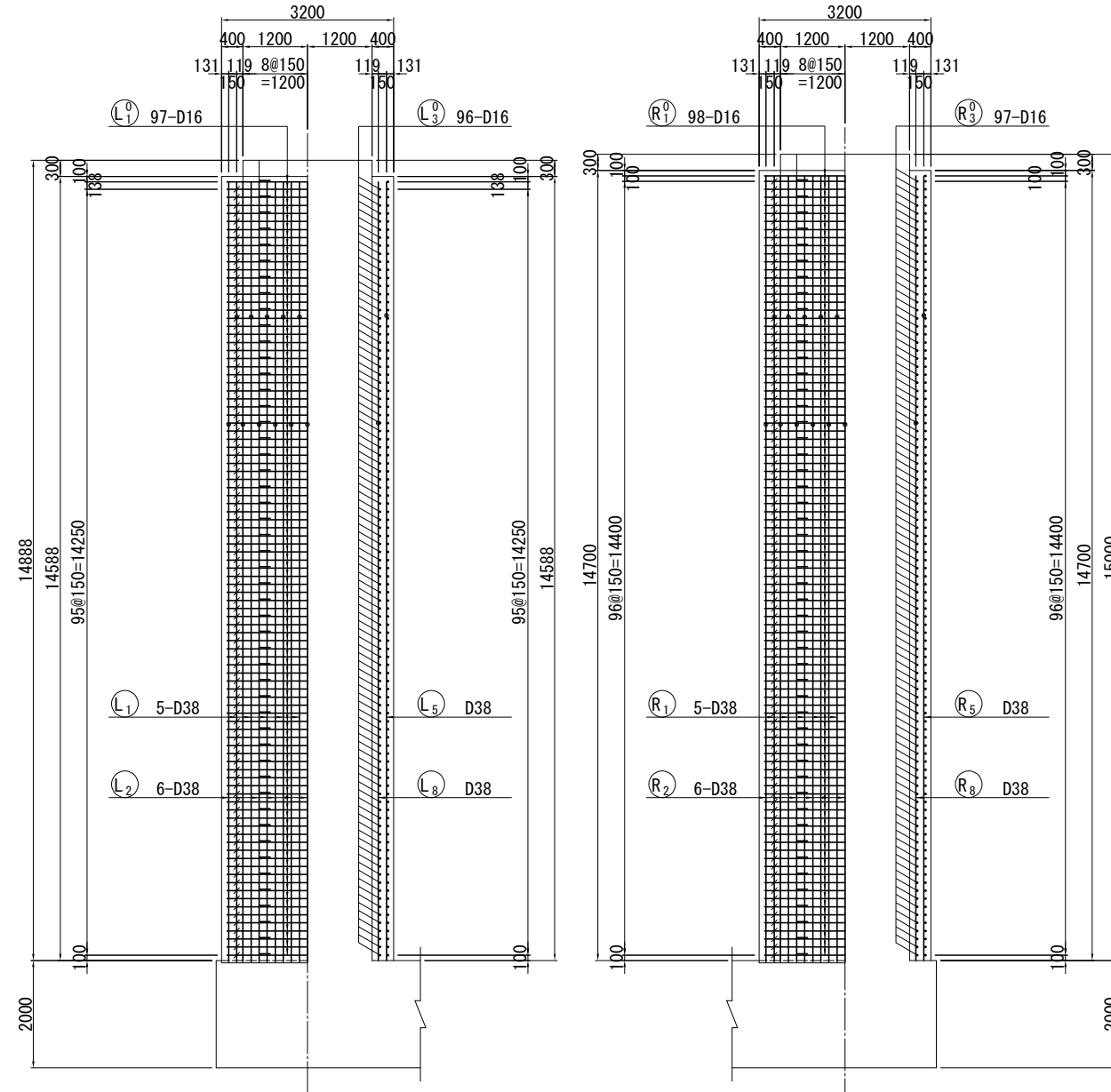
注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

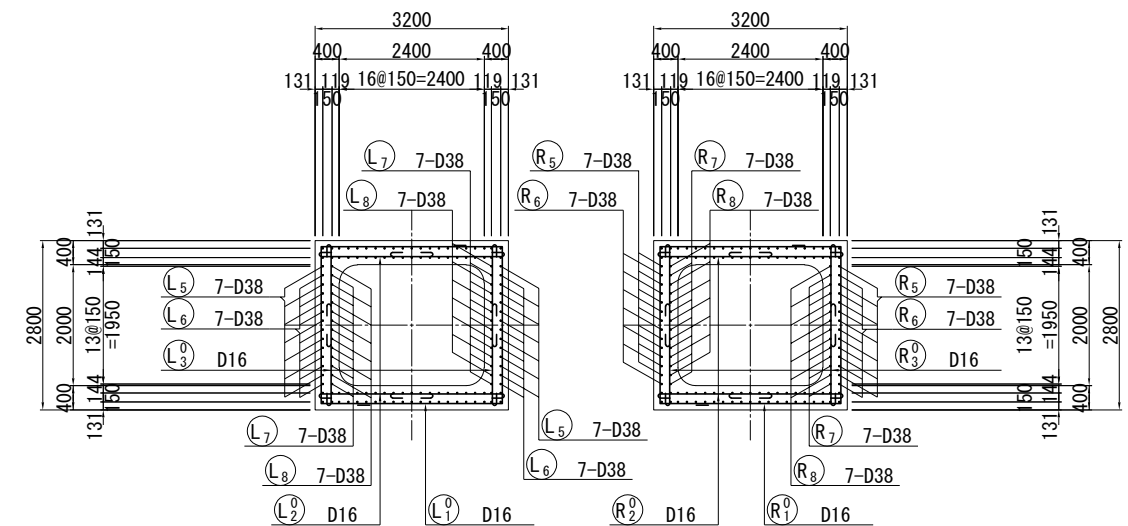
工 種	仕 様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄 筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

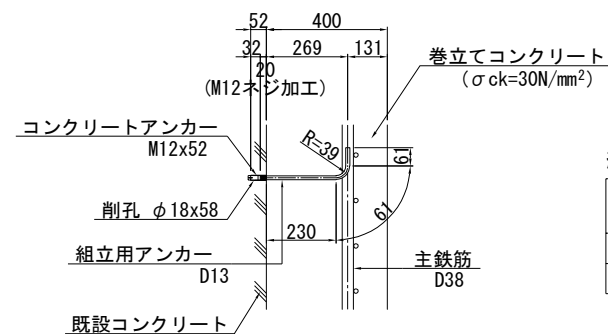
5 - 5



6 - 6



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



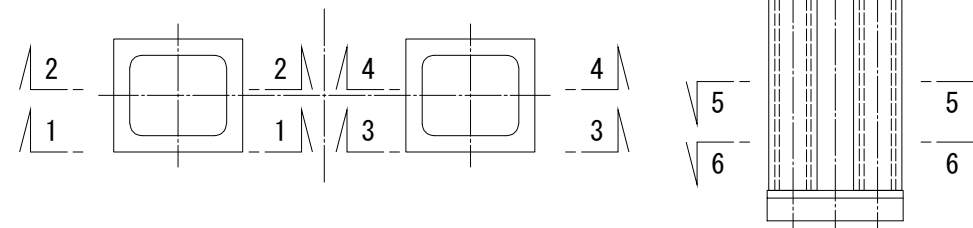
組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	128	48
右柱	380	129	49

※組立用アンカー本数
N=128. $4m^2/1本/m^2=128本$
N=129. $4m^2/1本/m^2=129本$

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



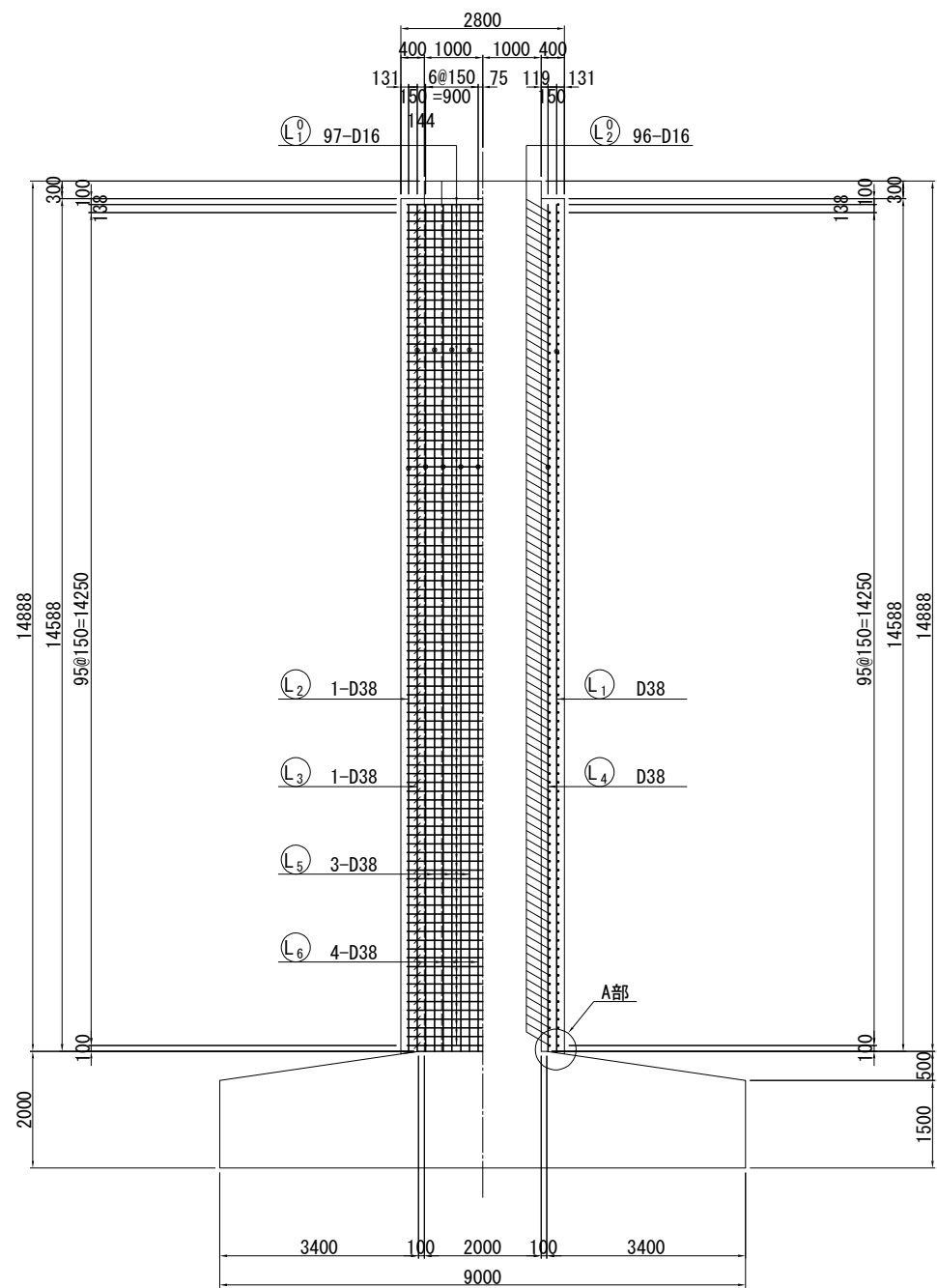
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は 1 断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

使用材料

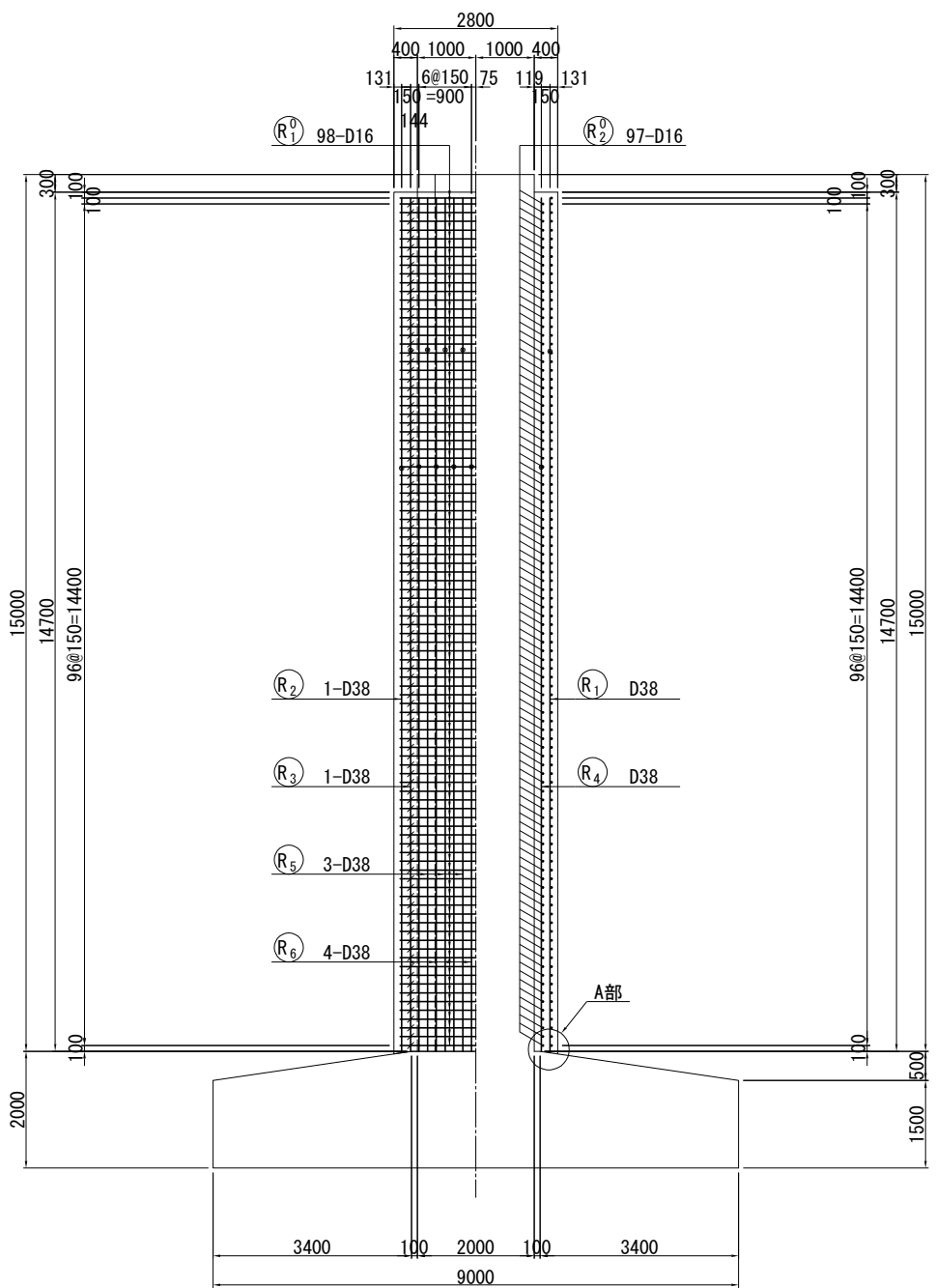
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本鋼矢部高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

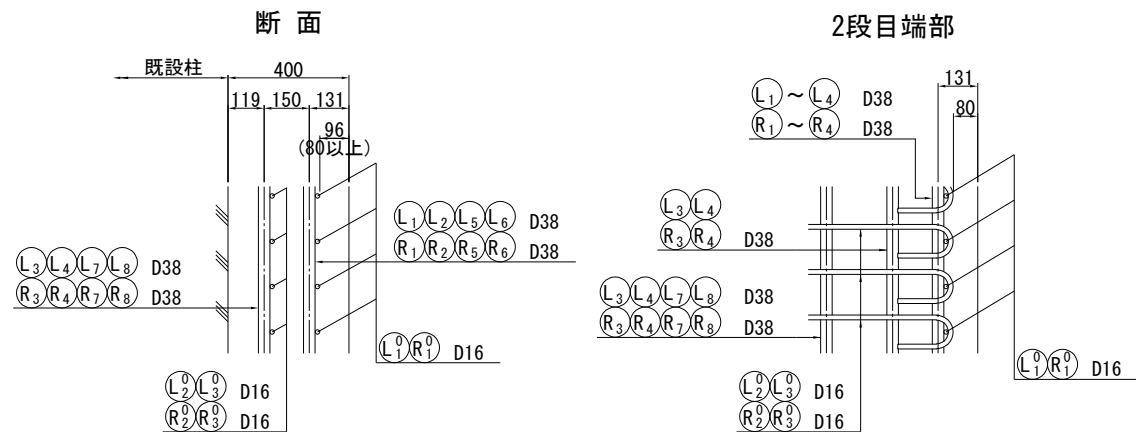
7 - 7 8 - 8



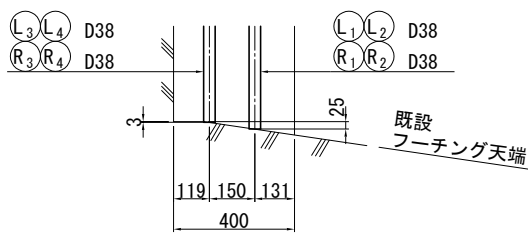
9 - 9 10 - 10



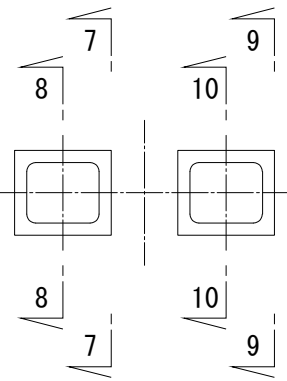
かぶり詳細図 S=1:25



A部詳細図 S=1:25



位置図



注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

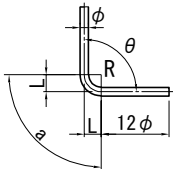
鉄筋質量表（左柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
L 1 -2	D38	2520	21	8.95	22.6	475	
L 2 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
L 2 -2	D38	4520	21	8.95	40.5	851	
L 3 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
L 3 -2	D38	2500	21	8.95	22.4	470	
L 4 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
L 4 -2	D38	4500	21	8.95	40.3	846	
L 5 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
L 5 -2	D38	2490	14	8.95	22.3	312	
L 6 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
L 6 -2	D38	4490	14	8.95	40.2	563	
L 7 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
L 7 -2	D38	2490	14	8.95	22.3	312	
L 8 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
L 8 -2	D38	4490	14	8.95	40.2	563	
						18148 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	194	1.56	8.97	1740	┐ [194]
L 2 ⁰	D16	2350	384	1.56	3.67	1409	┐
L 3 ⁰	D16	2150	384	1.56	3.35	1286	┐
						4435 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			18148 ^{kg}	(140)	-		
D16			4435 ^{kg}	-	[194]		
合 計			22583 ^{kg}	(140)	[194]		
コンクリートアンカー					M12x52	128	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表（右柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
R 1 -2	D38	2630	21	8.95	23.5	494	
R 2 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
R 2 -2	D38	4630	21	8.95	41.4	869	
R 3 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
R 3 -2	D38	2610	21	8.95	23.4	491	
R 4 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
R 4 -2	D38	4610	21	8.95	41.3	867	
R 5 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
R 5 -2	D38	2600	14	8.95	23.3	326	
R 6 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
R 6 -2	D38	4600	14	8.95	41.2	577	
R 7 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
R 7 -2	D38	2600	14	8.95	23.3	326	
R 8 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
R 8 -2	D38	4600	14	8.95	41.2	577	
						18283	kg
R 1 ⁰	D16	5750	196	1.56	8.97	1758	┐ [196]
R 2 ⁰	D16	2350	388	1.56	3.67	1424	┐
R 3 ⁰	D16	2150	388	1.56	3.35	1300	┐
						4482	kg
		T	ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		18283	kg	(140)		-	
D16		4482	kg	-		[196]	
合 計		22765	kg	(140)		[196]	
コンクリートアンカー				M12x52	129	個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

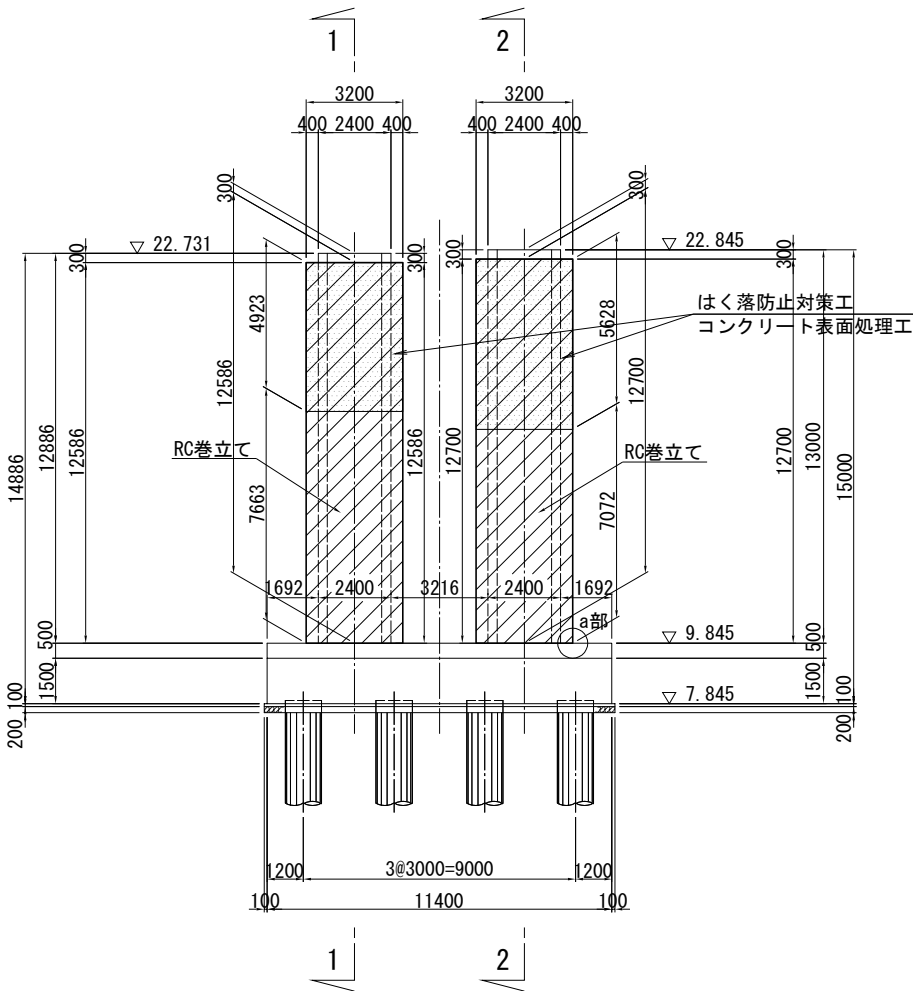
注記）鉄筋質量表内の（ ）はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

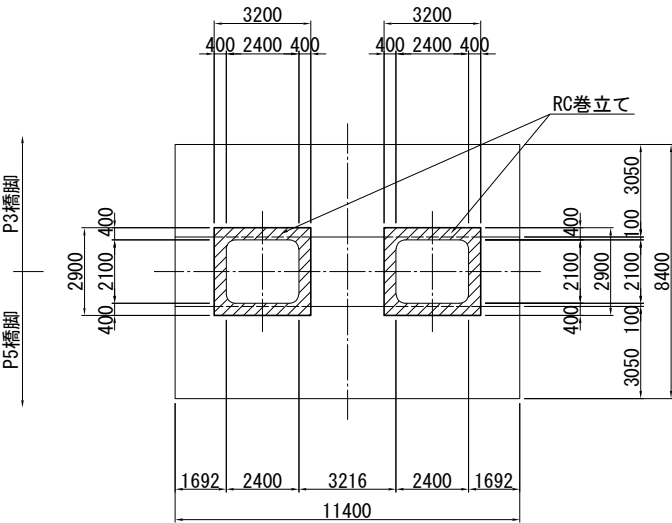
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

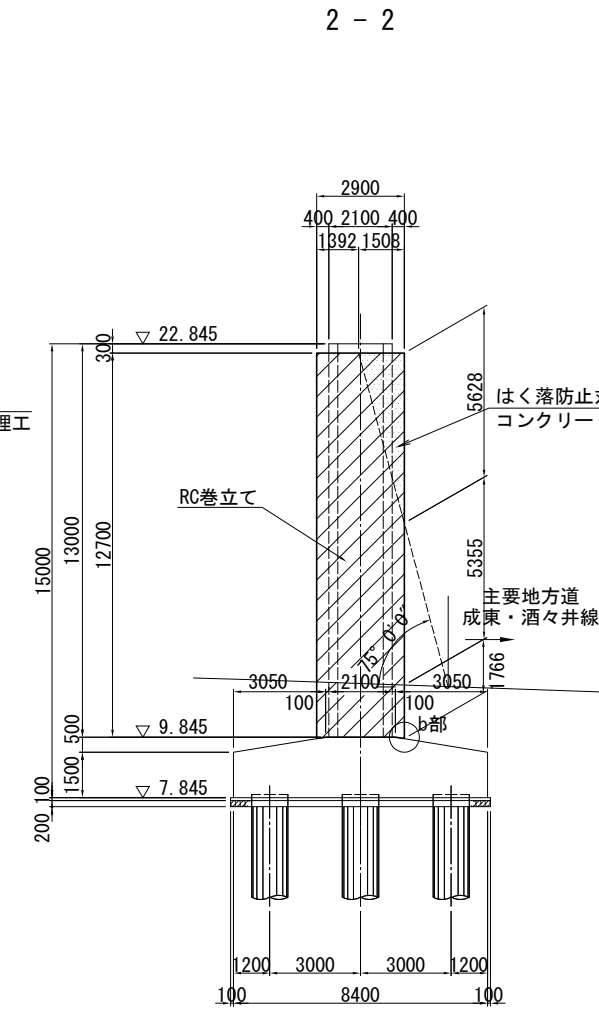
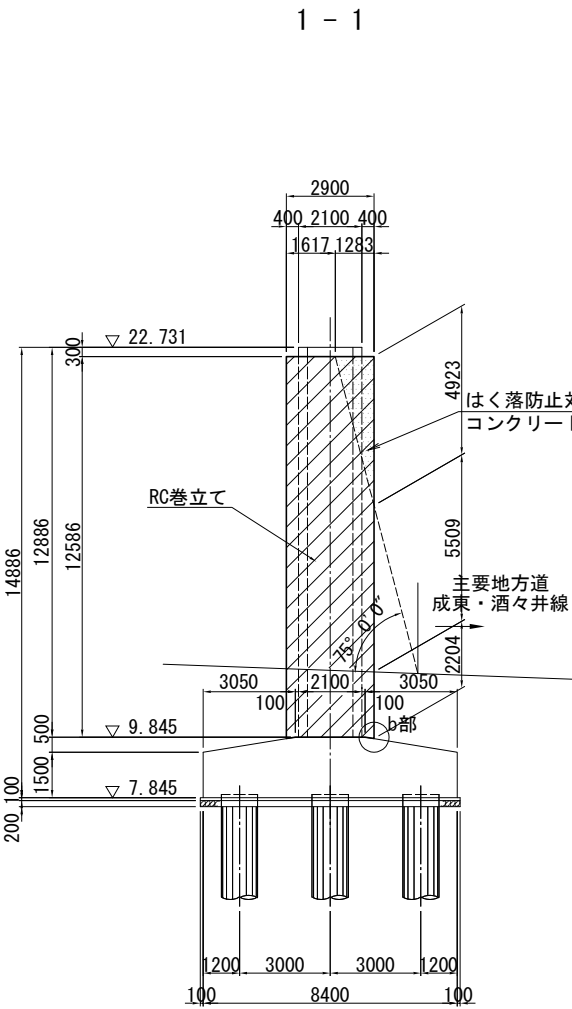
正面図



平面図

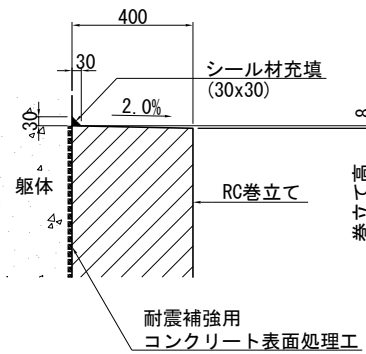


側面図

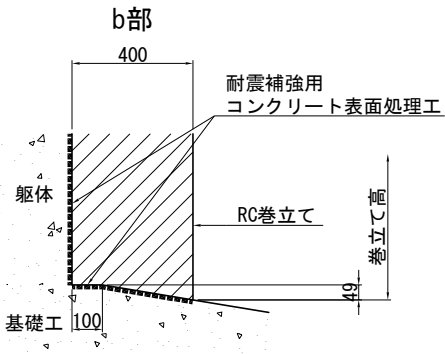
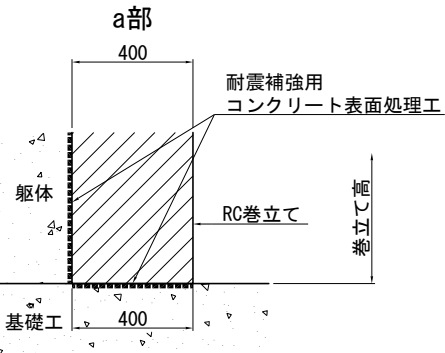


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

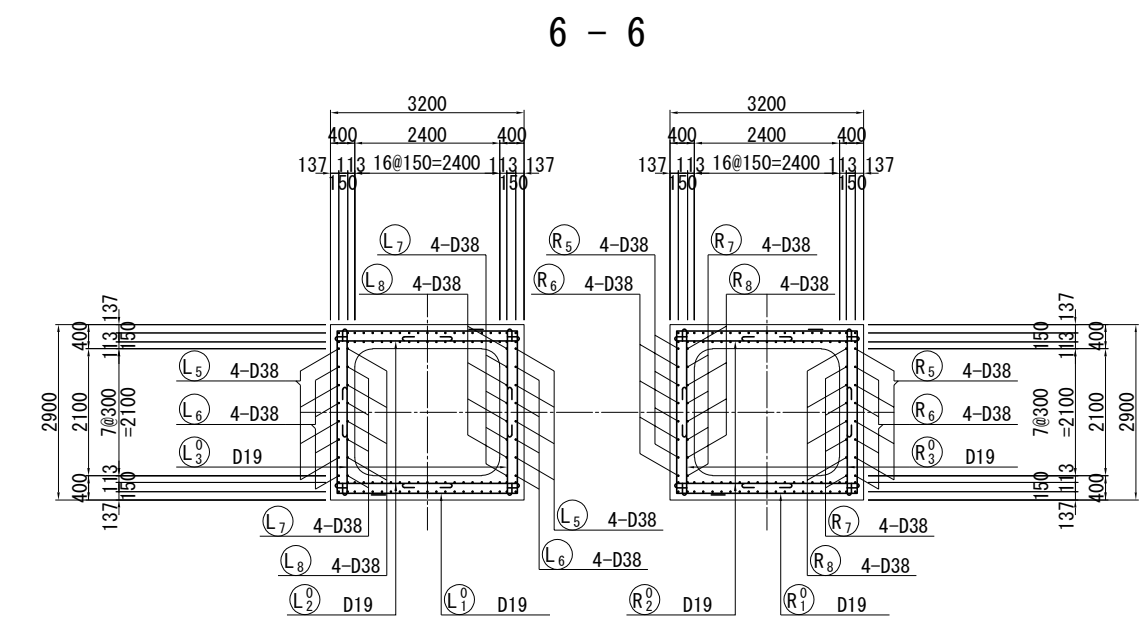
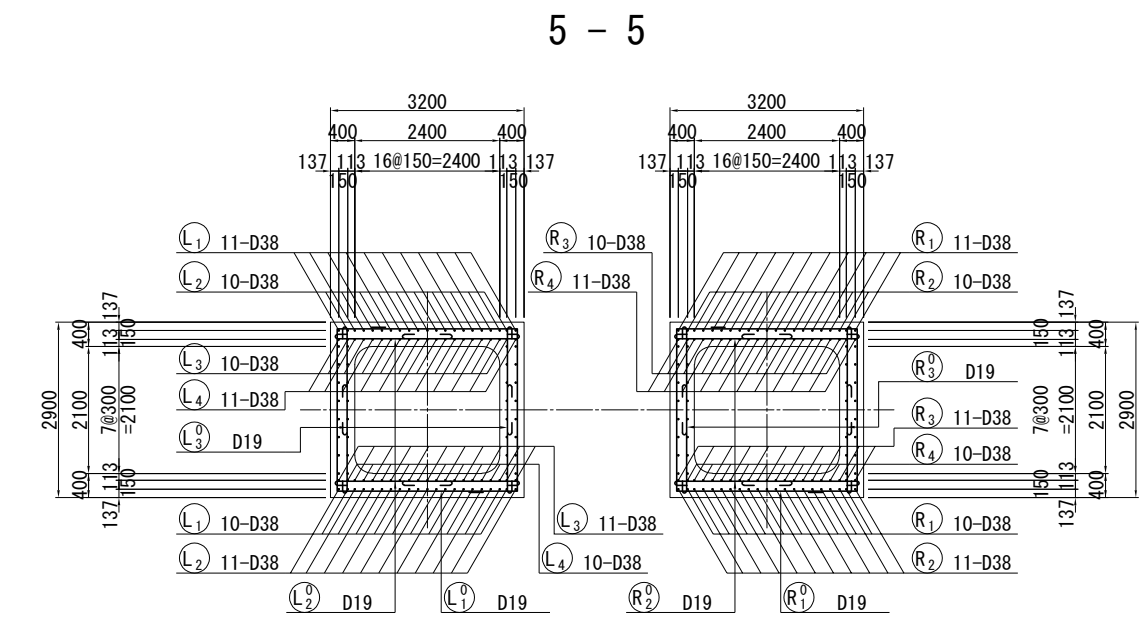
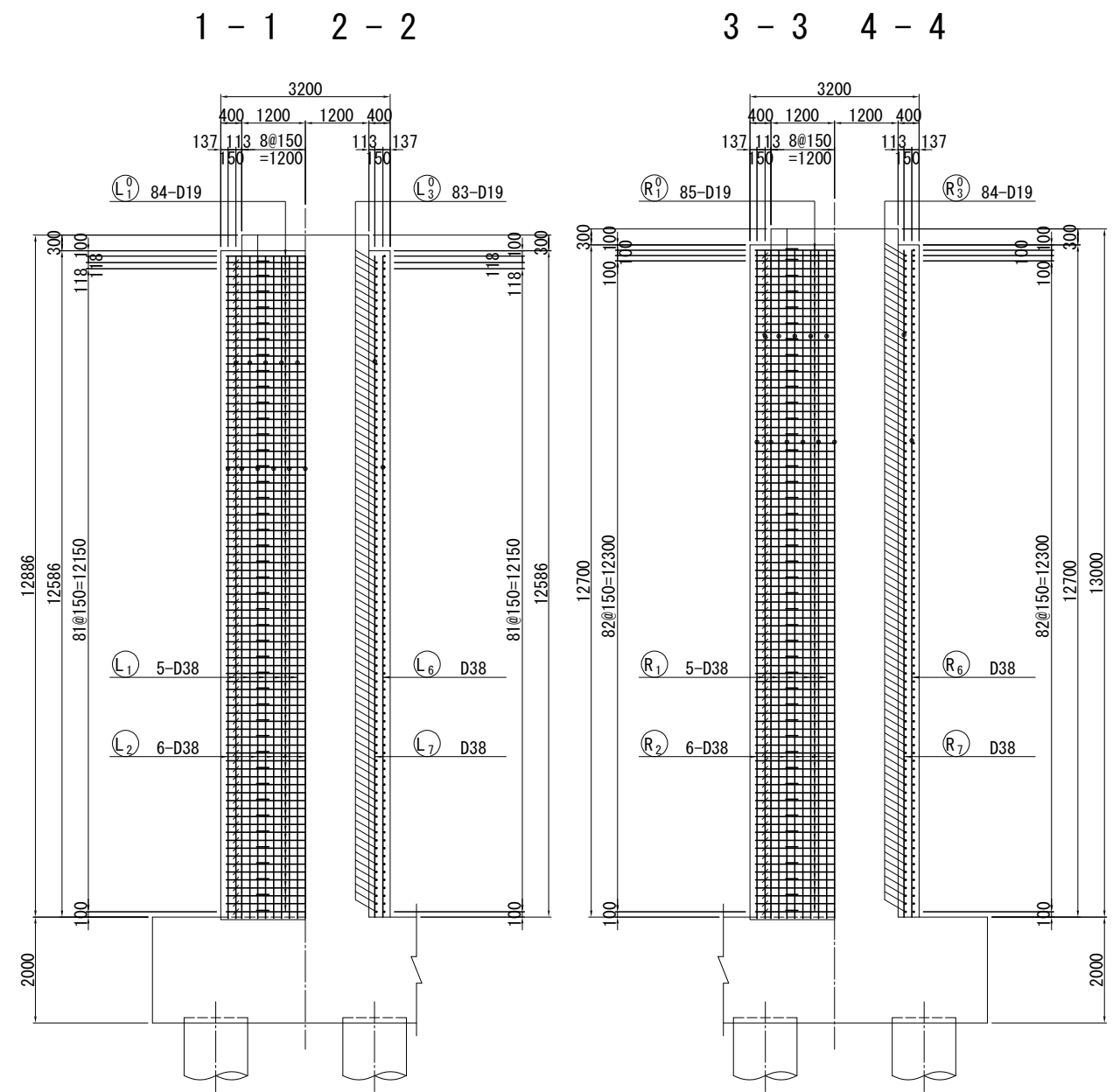


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

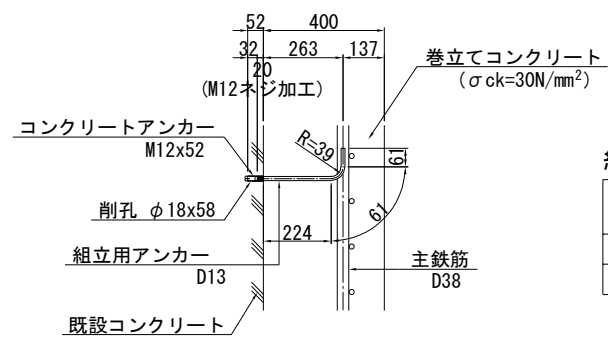
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	370	113	42
右柱	370	114	42

※組立用アンカー本数
N=113. 3m²/1本/m²=113本
N=114. 4m²/1本/m²=114本

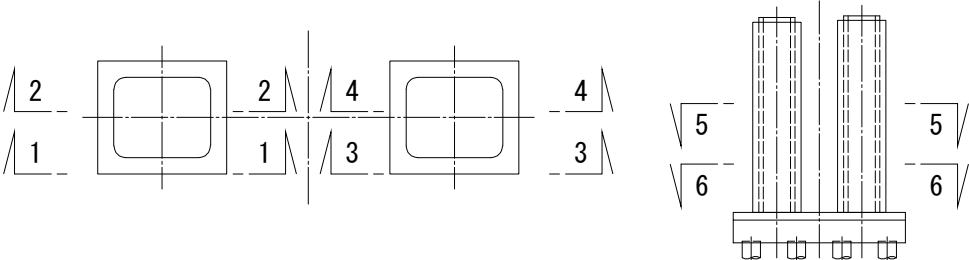
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

使用材料

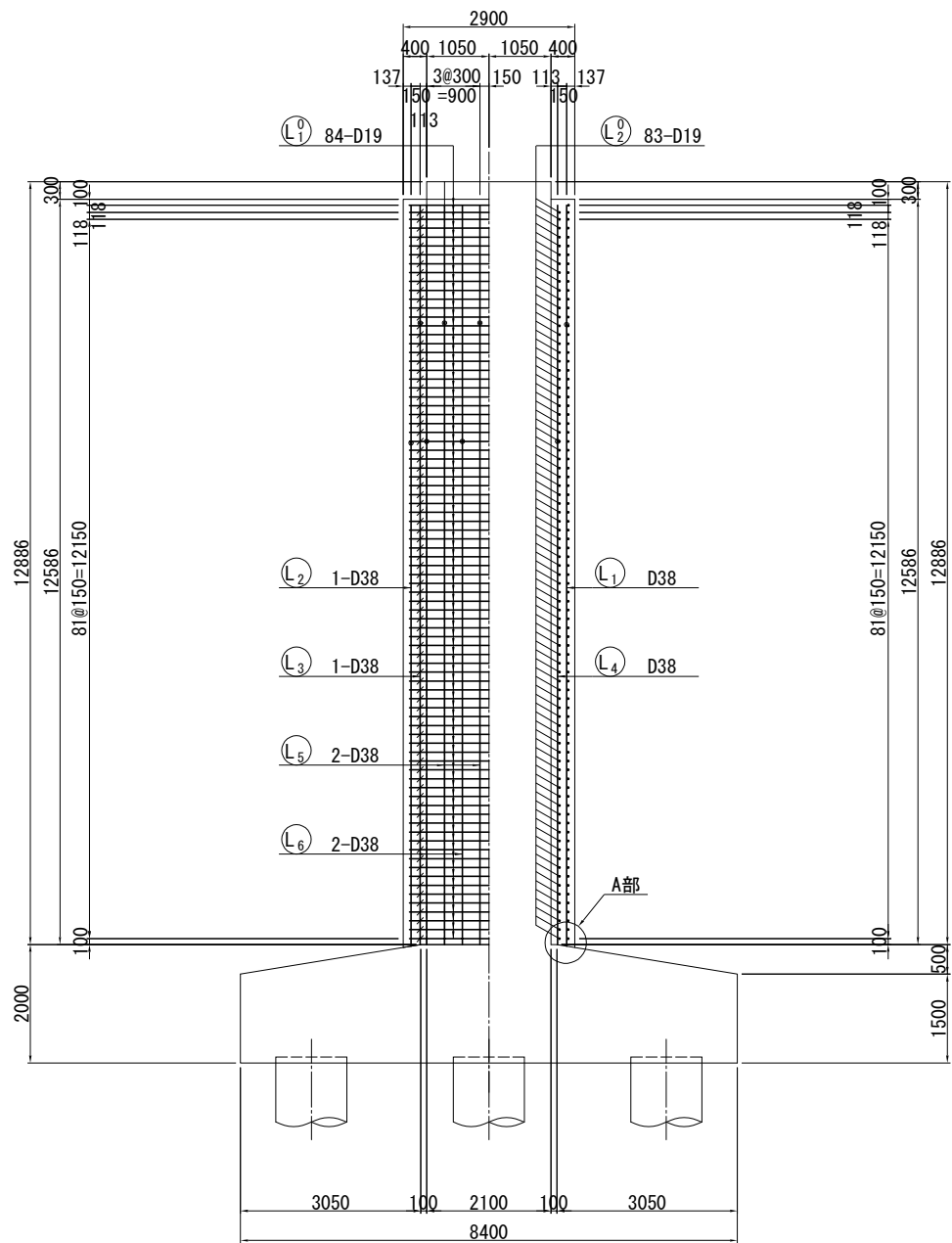
工 種	仕 様
補強部	コンクリート 鉄 筋
	30 N/mm ² SD345

位 置 図

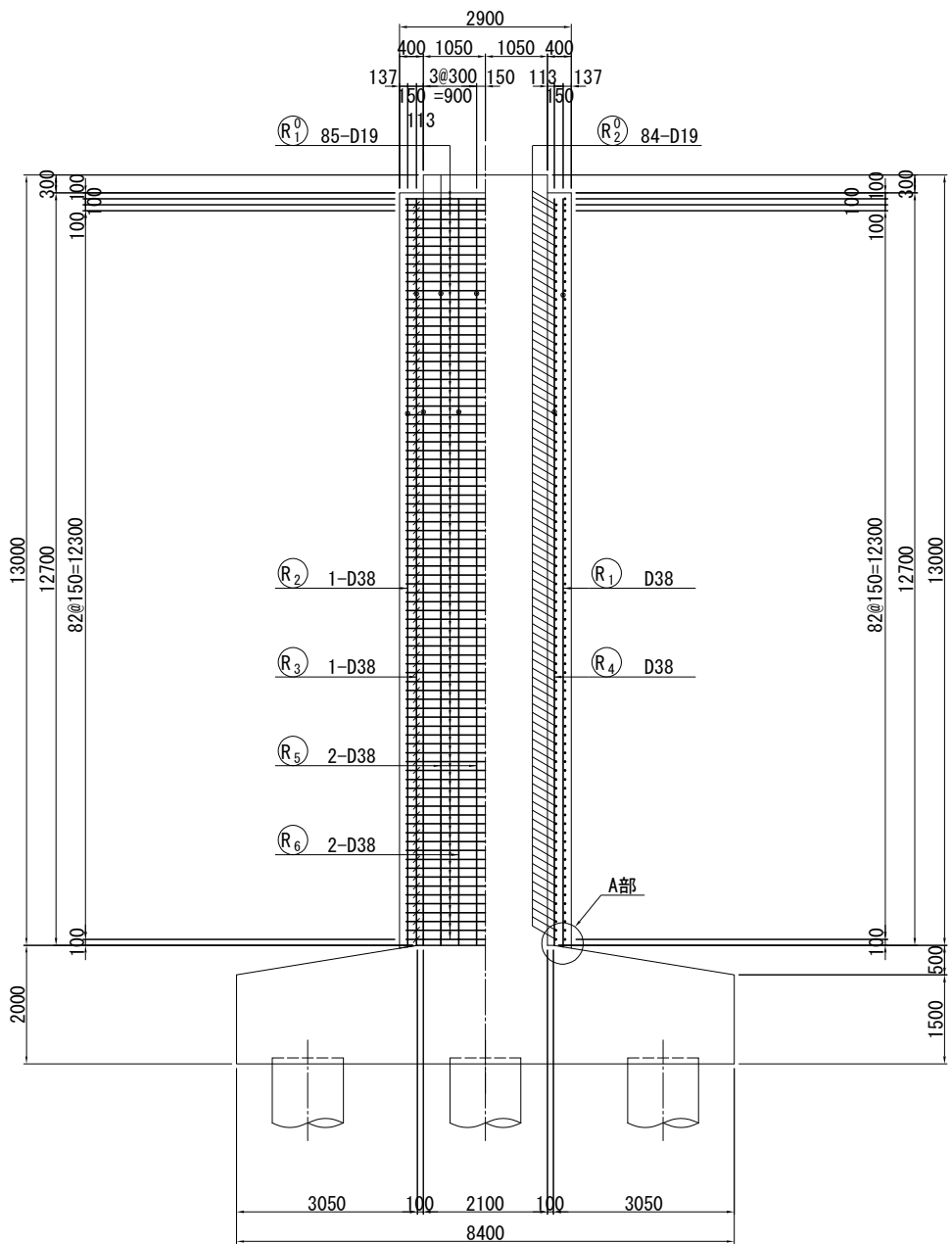


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

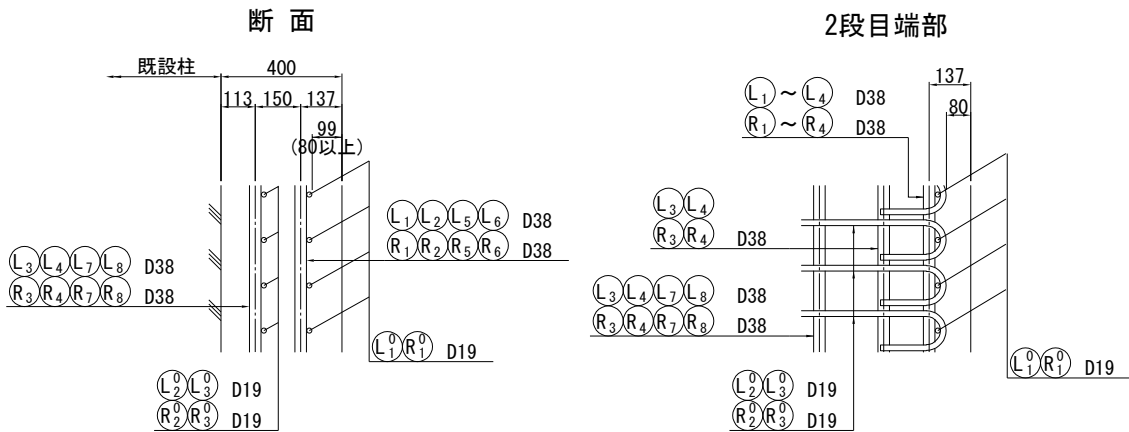
7 - 7 8 - 8



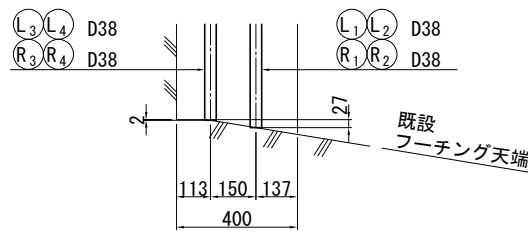
9 - 9 10 - 10



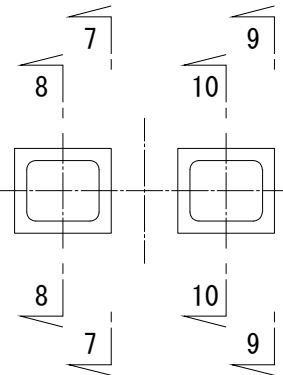
かぶり詳細図 S=1:25



A部詳細図 S=1:25

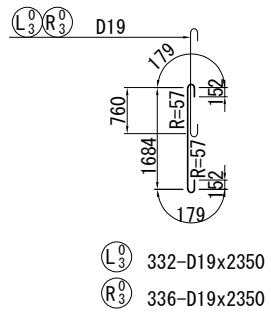
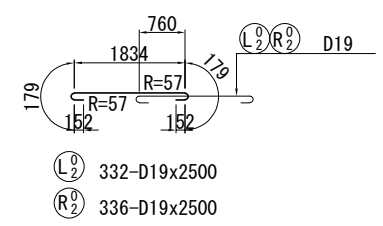
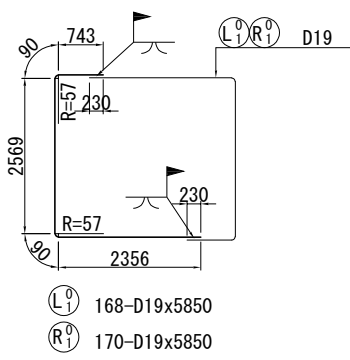
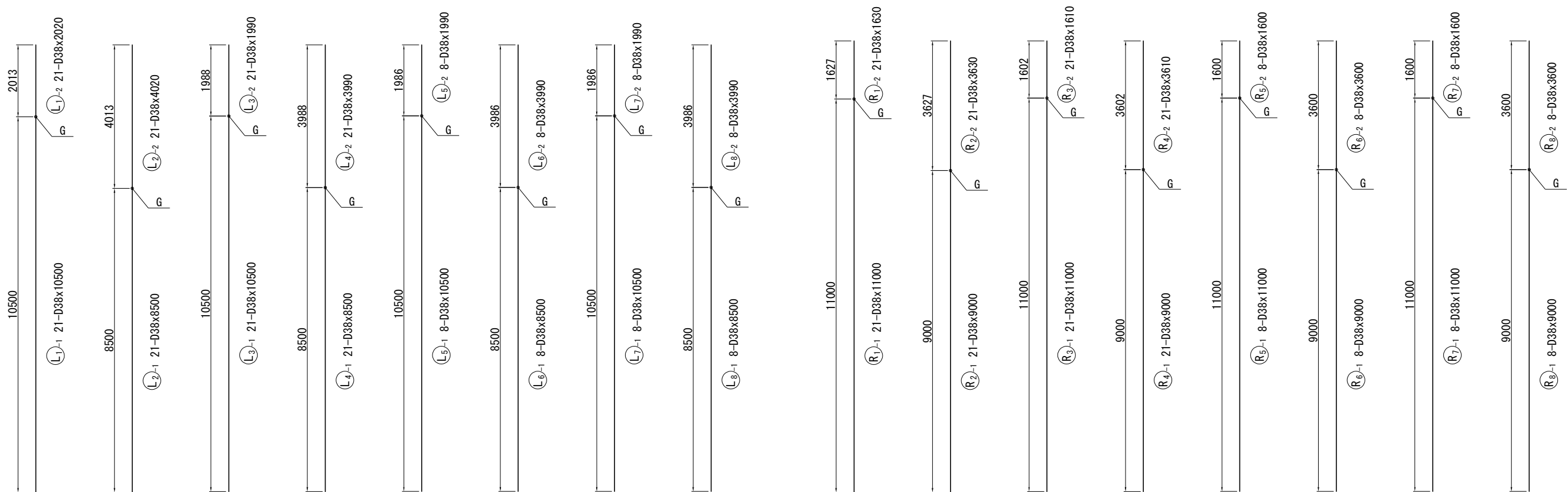


位置図

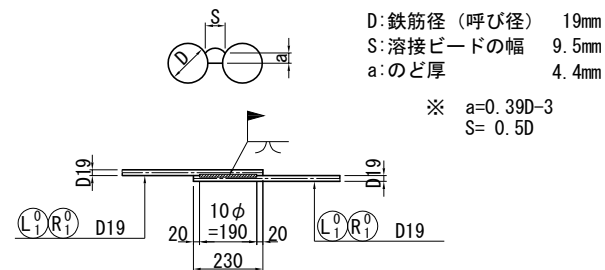


注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

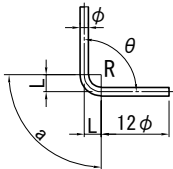
鉄筋質量表（左柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	10500	21	8.95	94.0	1974	↑ (21)
L 1 -2	D38	2020	21	8.95	18.1	380	
L 2 -1	D38	8500	21	8.95	76.1	1598	↑ (21)
L 2 -2	D38	4020	21	8.95	36.0	756	
L 3 -1	D38	10500	21	8.95	94.0	1974	↑ (21)
L 3 -2	D38	1990	21	8.95	17.8	374	
L 4 -1	D38	8500	21	8.95	76.1	1598	↑ (21)
L 4 -2	D38	3990	21	8.95	35.7	750	
L 5 -1	D38	10500	8	8.95	94.0	752	↑ (8)
L 5 -2	D38	1990	8	8.95	17.8	142	
L 6 -1	D38	8500	8	8.95	76.1	609	↑ (8)
L 6 -2	D38	3990	8	8.95	35.7	286	
L 7 -1	D38	10500	8	8.95	94.0	752	↑ (8)
L 7 -2	D38	1990	8	8.95	17.8	142	
L 8 -1	D38	8500	8	8.95	76.1	609	↑ (8)
L 8 -2	D38	3990	8	8.95	35.7	286	
						12982 kg	
L 1 ⁰	D19	5850	168	2.25	13.2	2218	┐ [168]
L 2 ⁰	D19	2500	332	2.25	5.63	1869	┐
L 3 ⁰	D19	2350	332	2.25	5.29	1756	┐
						5843 kg	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		12982 kg	(116)		-		
D19		5843 kg	-		[168]		
合 計		18825 kg	(116)		[168]		
コンクリートアンカー					M12x52	113	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表（右柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	11000	21	8.95	98.5	2069	↑ (21)
R 1 -2	D38	1630	21	8.95	14.6	307	
R 2 -1	D38	9000	21	8.95	80.6	1693	↑ (21)
R 2 -2	D38	3630	21	8.95	32.5	683	
R 3 -1	D38	11000	21	8.95	98.5	2069	↑ (21)
R 3 -2	D38	1610	21	8.95	14.4	302	
R 4 -1	D38	9000	21	8.95	80.6	1693	↑ (21)
R 4 -2	D38	3610	21	8.95	32.3	678	
R 5 -1	D38	11000	8	8.95	98.5	788	↑ (8)
R 5 -2	D38	1600	8	8.95	14.3	114	
R 6 -1	D38	9000	8	8.95	80.6	645	↑ (8)
R 6 -2	D38	3600	8	8.95	32.2	258	
R 7 -1	D38	11000	8	8.95	98.5	788	↑ (8)
R 7 -2	D38	1600	8	8.95	14.3	114	
R 8 -1	D38	9000	8	8.95	80.6	645	↑ (8)
R 8 -2	D38	3600	8	8.95	32.2	258	
						13104	kg
R 1 ⁰	D19	5850	170	2.25	13.2	2244	┐ [170]
R 2 ⁰	D19	2500	336	2.25	5.63	1892	┐
R 3 ⁰	D19	2350	336	2.25	5.29	1777	┐
						5913	kg
		T	ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		13104	kg	(116)		-	
D19		5913	kg	-		[170]	
合 計		19017	kg	(116)		[170]	
コンクリートアンカー				M12x52	114	個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

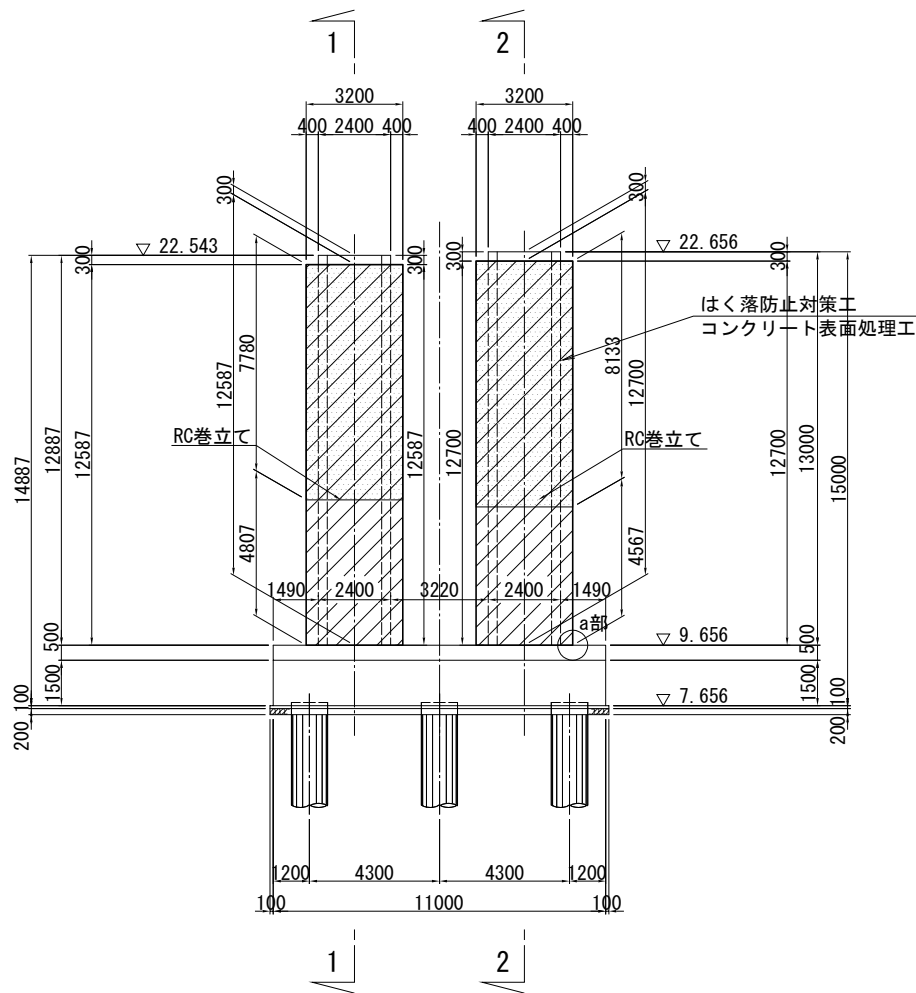
注記）鉄筋質量表内の（ ）はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

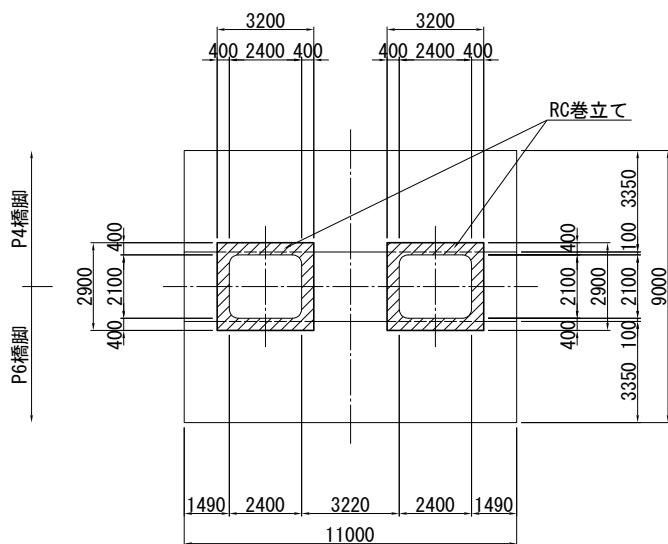
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

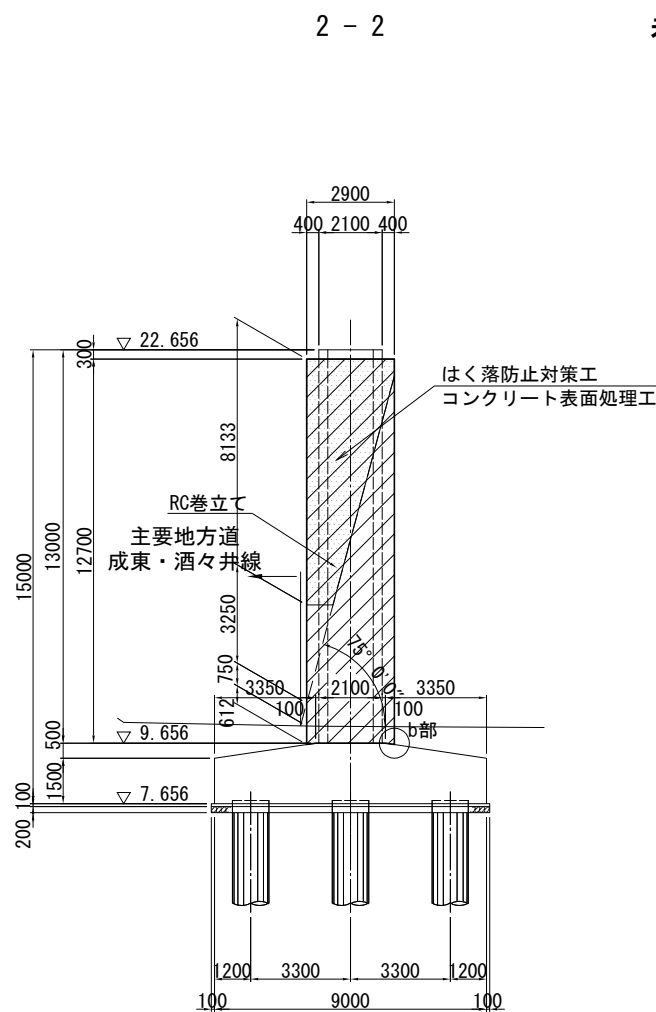
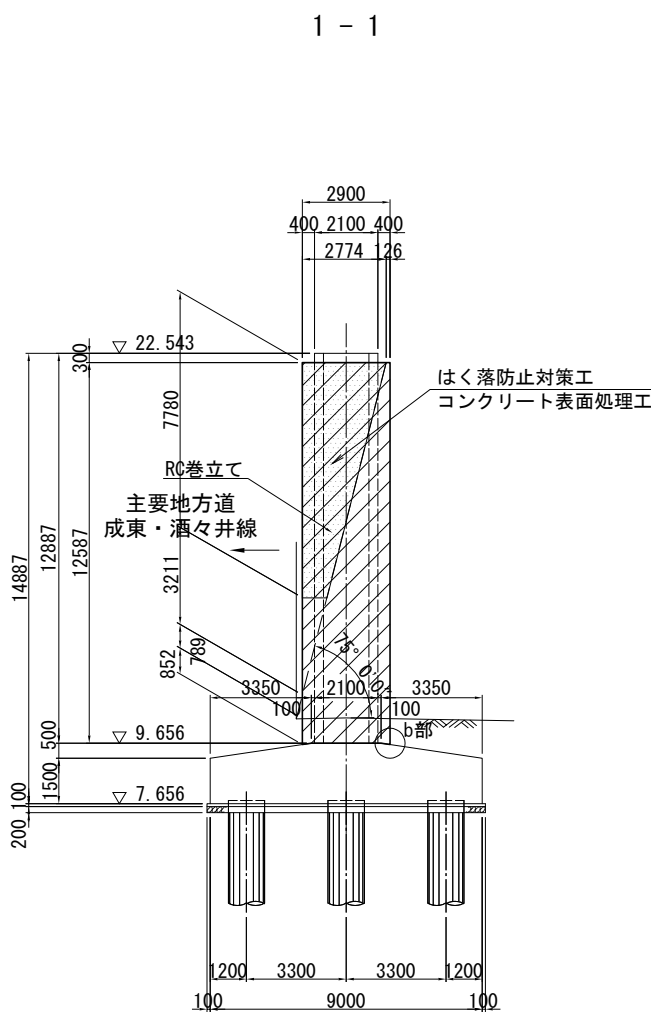
正面図



平面図

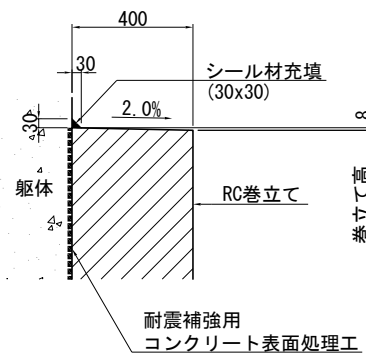


側面図

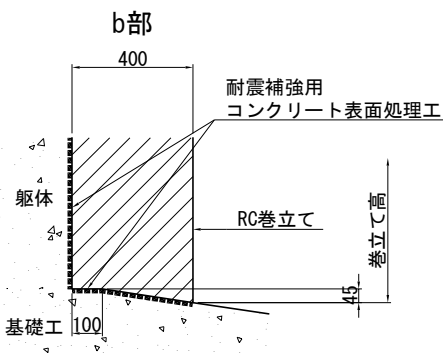
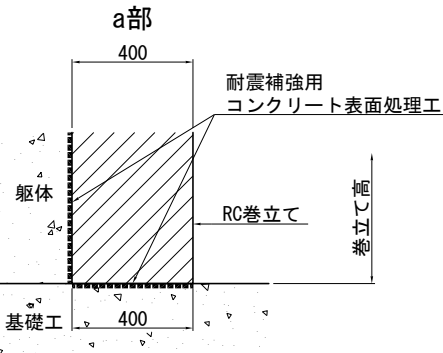


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

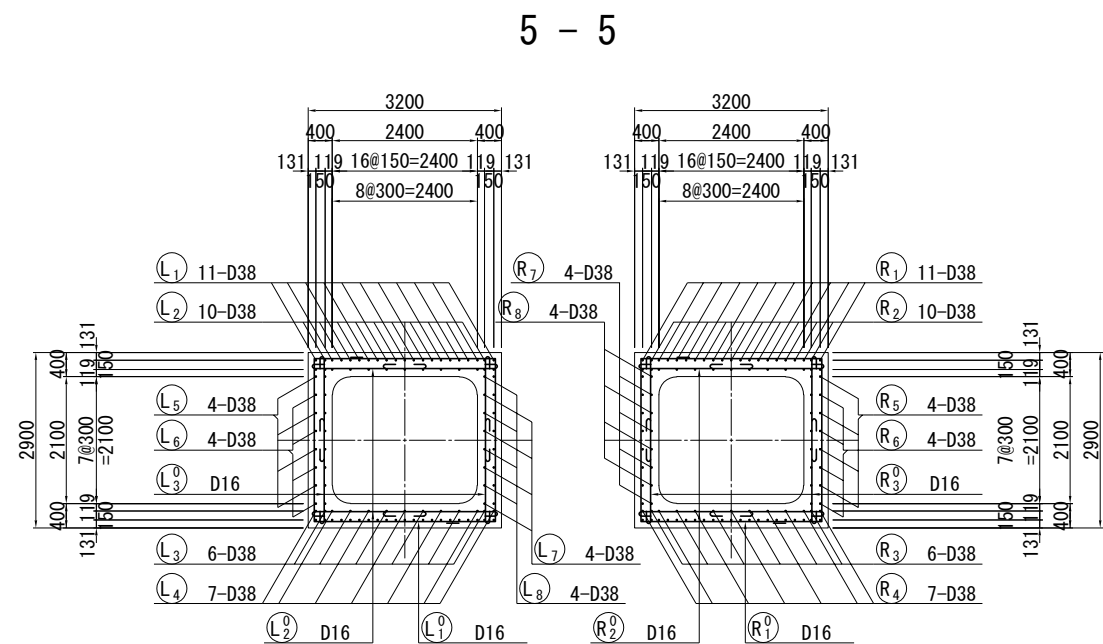
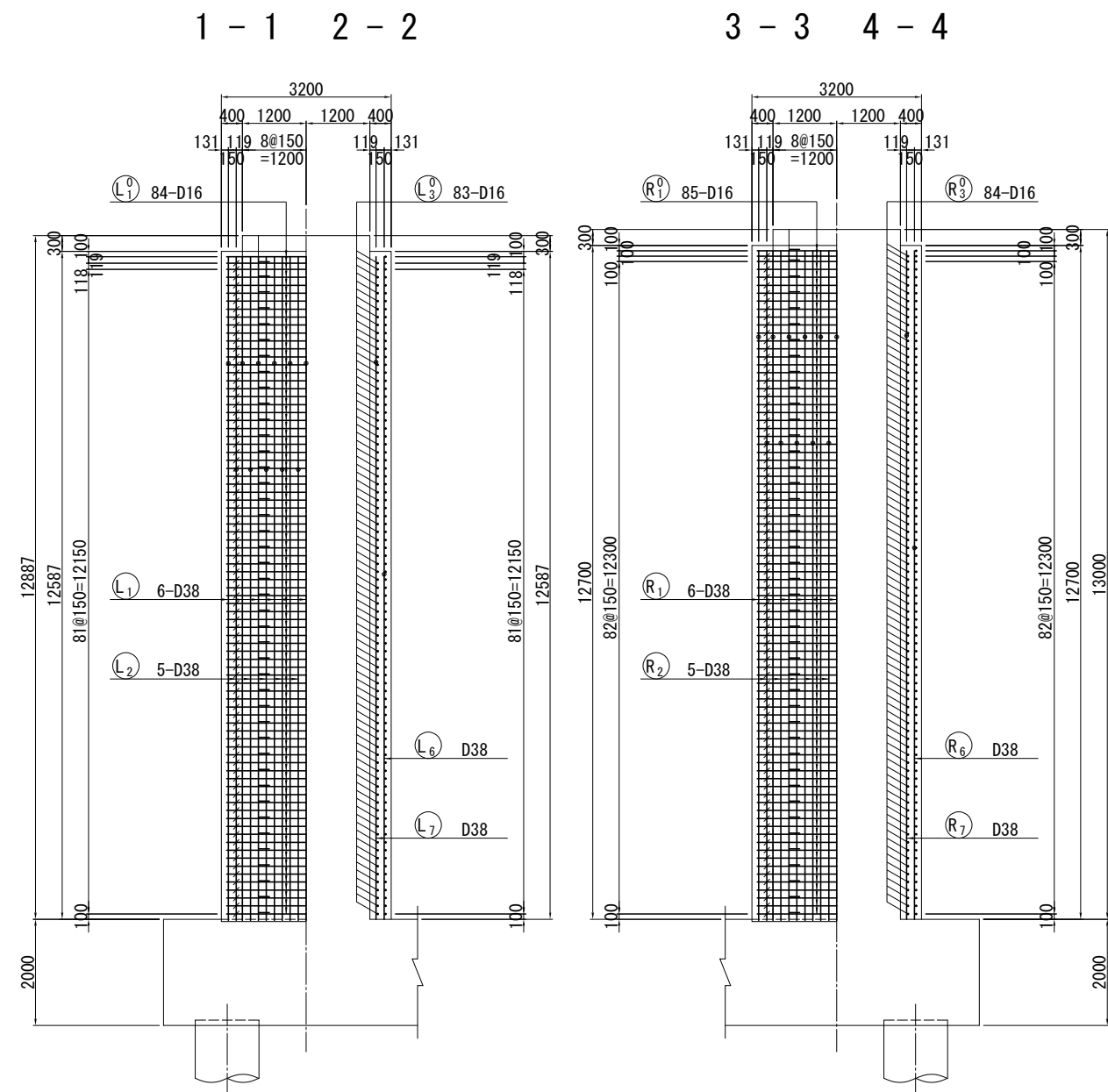


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

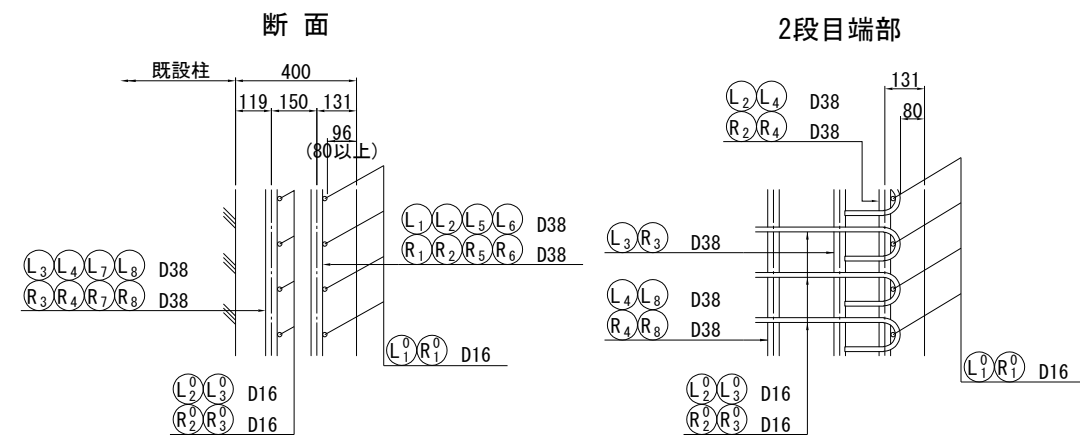
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

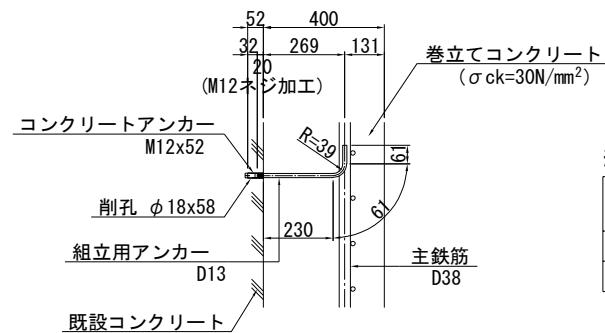
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



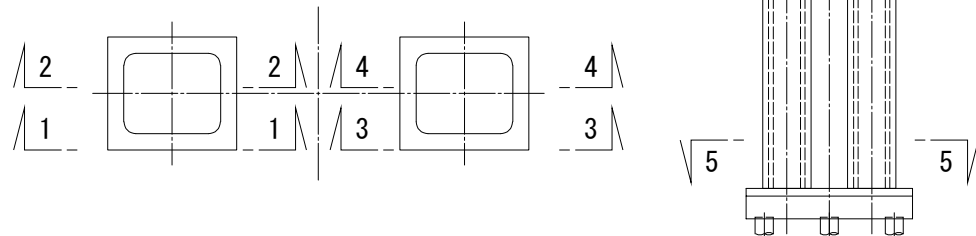
組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	113	43
右柱	380	114	43

※組立用アンカー本数
N=113. 4m²/1本/m²=113本
N=114. 4m²/1本/m²=114本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



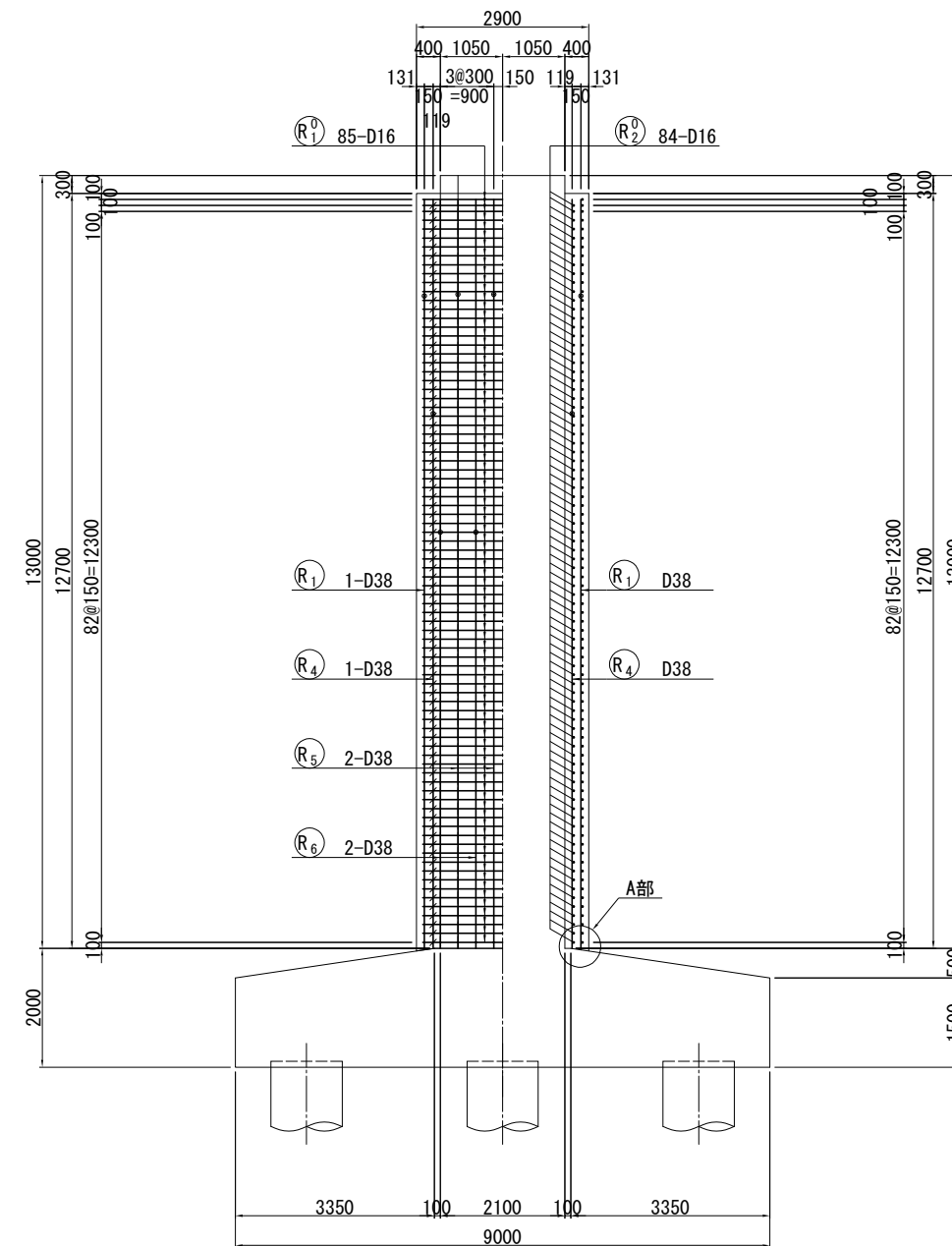
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

使用材料

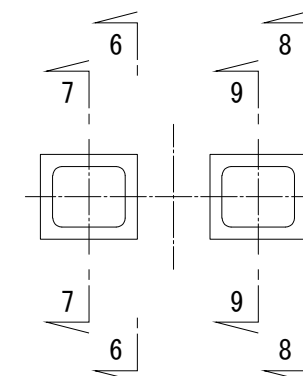
工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

8 - 8 9 - 9



位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は 1 断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		本郷矢部高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その2)	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

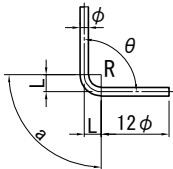
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	10500	22	8.95	94.0	2068	↑ (22)
L 1 -2	D38	2020	22	8.95	18.1	398	
L 2 -1	D38	8500	20	8.95	76.1	1522	↑ (20)
L 2 -2	D38	4020	20	8.95	36.0	720	
L 3 -1	D38	6500	12	8.95	58.2	698	↑ (12)
L 3 -2	D38	5990	12	8.95	53.6	643	
L 4 -1	D38	8500	14	8.95	76.1	1065	↑ (14)
L 4 -2	D38	3990	14	8.95	35.7	500	
L 5 -1	D38	10500	8	8.95	94.0	752	↑ (8)
L 5 -2	D38	1990	8	8.95	17.8	142	
L 6 -1	D38	6500	8	8.95	58.2	466	↑ (8)
L 6 -2	D38	5990	8	8.95	53.6	429	
L 7 -1	D38	10500	8	8.95	94.0	752	↑ (8)
L 7 -2	D38	1990	8	8.95	17.8	142	
L 8 -1	D38	8500	8	8.95	76.1	609	↑ (8)
L 8 -2	D38	3990	8	8.95	35.7	286	
11192 ^{kg}							
L 1 ⁰	D16	5850	168	1.56	9.13	1534	┐ [168]
L 2 ⁰	D16	2350	332	1.56	3.67	1218	┐
L 3 ⁰	D16	2200	332	1.56	3.43	1139	┐
3891 ^{kg}							
T				ガス圧接箇所数	フレアー溶接箇所数		
D38		11192 ^{kg}	(100)		-		
D16		3891 ^{kg}	-		[168]		
合 計		15083 ^{kg}	(100)		[168]		
コンクリートアンカー					M12x52	113	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	11000	22	8.95	98.5	2167	↑ (22)
R 1 -2	D38	1630	22	8.95	14.6	321	
R 2 -1	D38	9000	20	8.95	80.6	1612	↑ (20)
R 2 -2	D38	3630	20	8.95	32.5	650	
R 3 -1	D38	7000	12	8.95	62.7	752	↑ (12)
R 3 -2	D38	5610	12	8.95	50.2	602	
R 4 -1	D38	9000	14	8.95	80.6	1128	↑ (14)
R 4 -2	D38	3610	14	8.95	32.3	452	
R 5 -1	D38	11000	8	8.95	98.5	788	↑ (8)
R 5 -2	D38	1600	8	8.95	14.3	114	
R 6 -1	D38	7000	8	8.95	62.7	502	↑ (8)
R 6 -2	D38	5600	8	8.95	50.1	401	
R 7 -1	D38	11000	8	8.95	98.5	788	↑ (8)
R 7 -2	D38	1600	8	8.95	14.3	114	
R 8 -1	D38	9000	8	8.95	80.6	645	↑ (8)
R 8 -2	D38	3600	8	8.95	32.2	258	
11294 ^{kg}							
R 1 ⁰	D16	5850	170	1.56	9.13	1552	┐ [170]
R 2 ⁰	D16	2350	336	1.56	3.67	1233	┐
R 3 ⁰	D16	2200	336	1.56	3.43	1152	┐
3937 ^{kg}							
T				ガス圧接箇所数	フレアー溶接箇所数		
D38		11294 ^{kg}	(100)		-		
D16		3937 ^{kg}	-		[170]		
合 計		15231 ^{kg}	(100)		[170]		
コンクリートアンカー				M12x52	114	個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

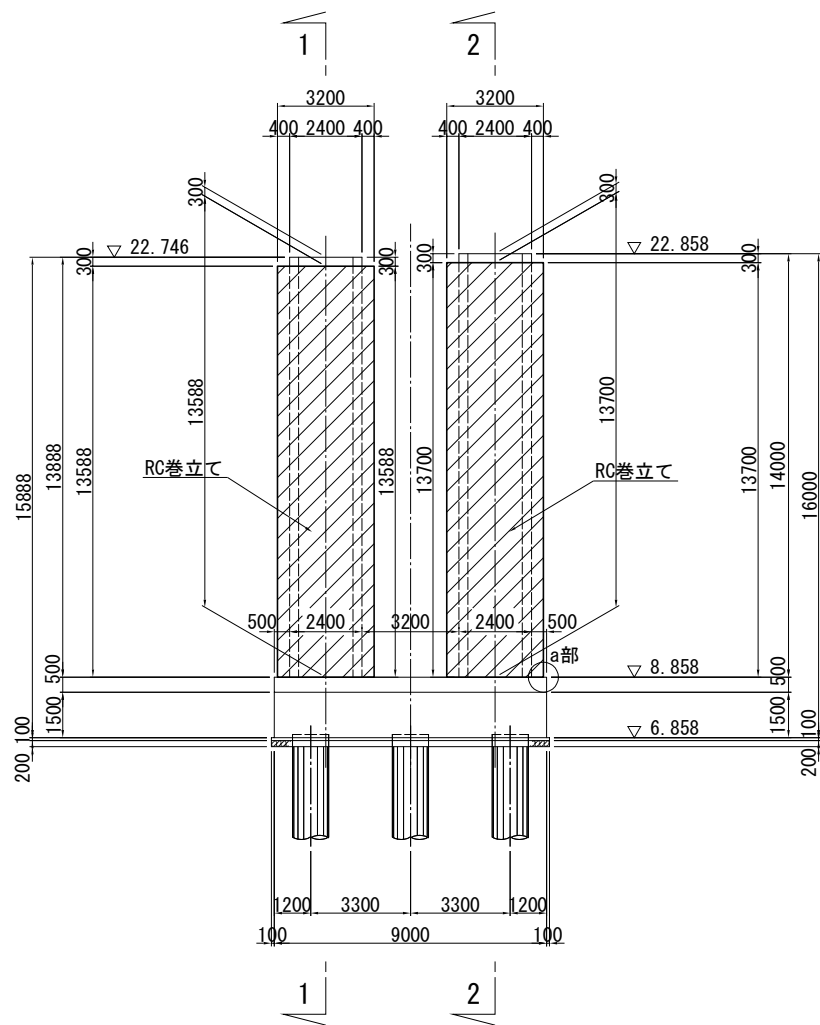
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

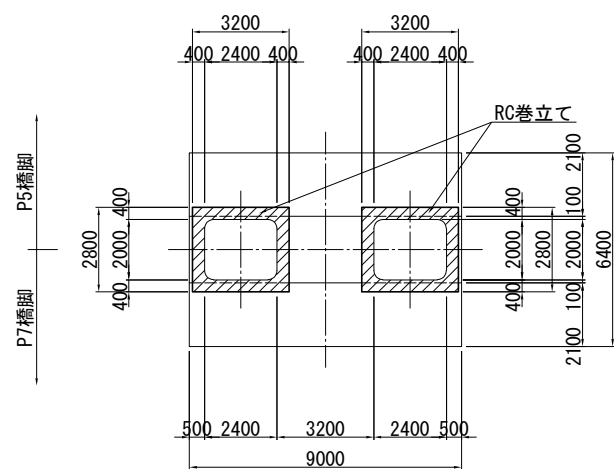
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

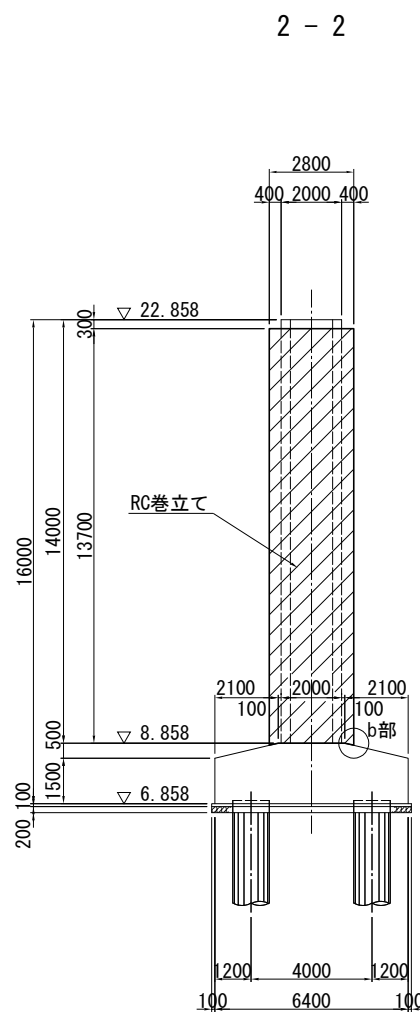
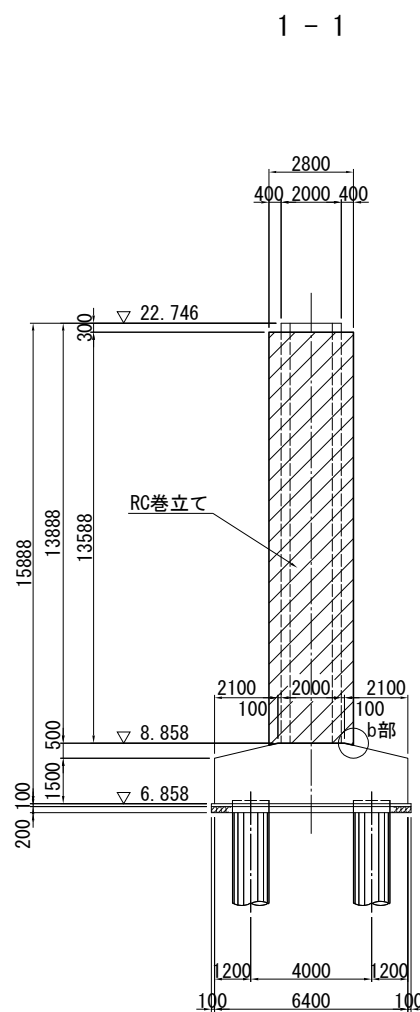
正面図



平面図

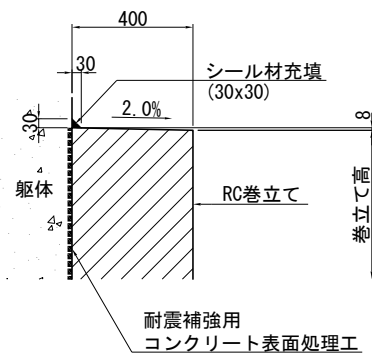


側面図

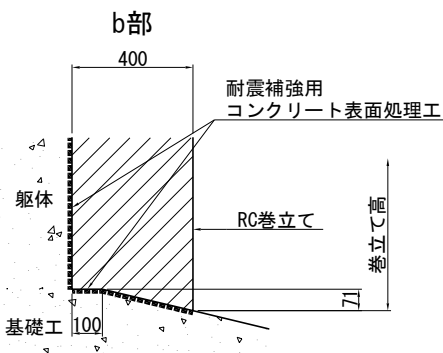
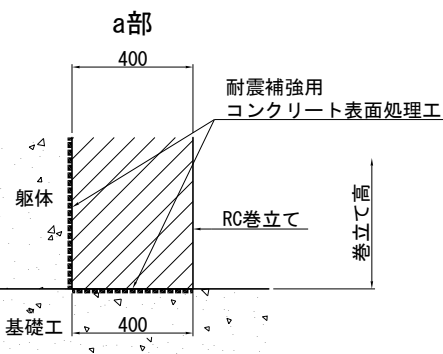


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

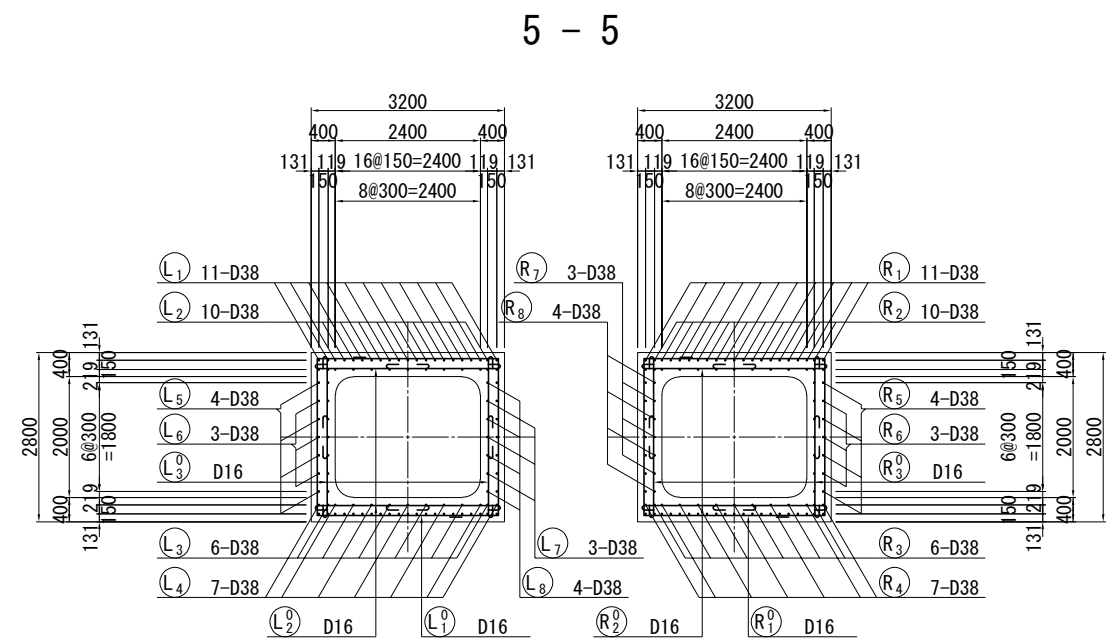
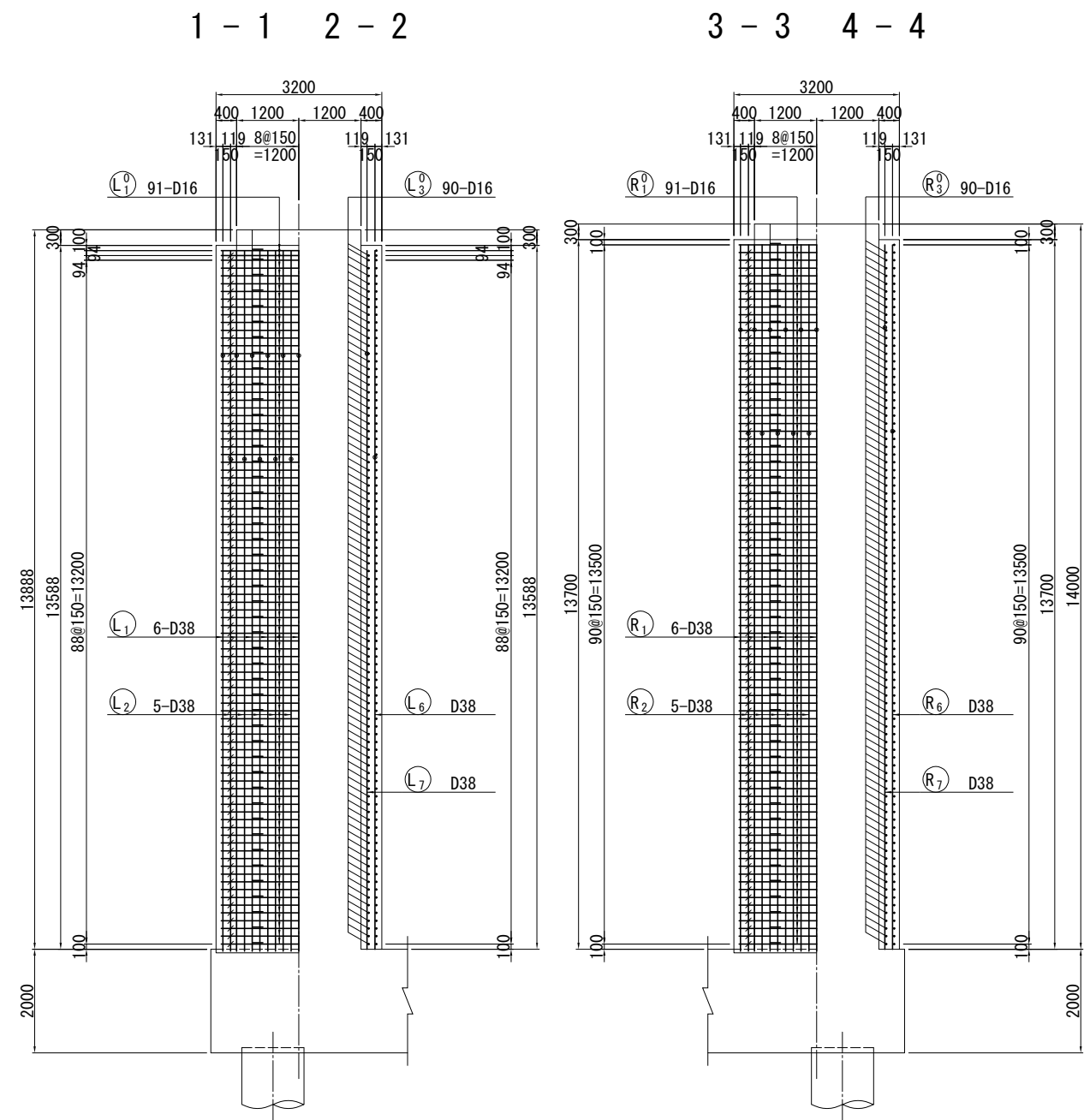


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

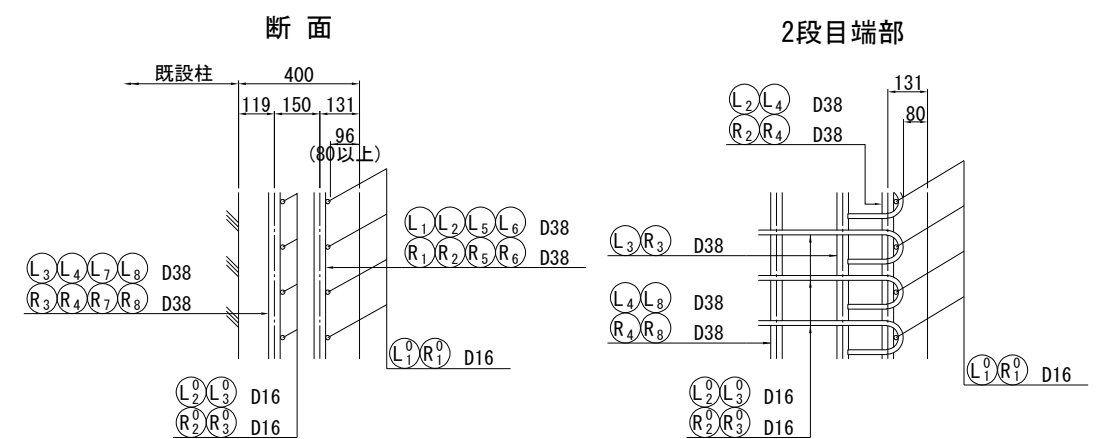
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345
補強部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345

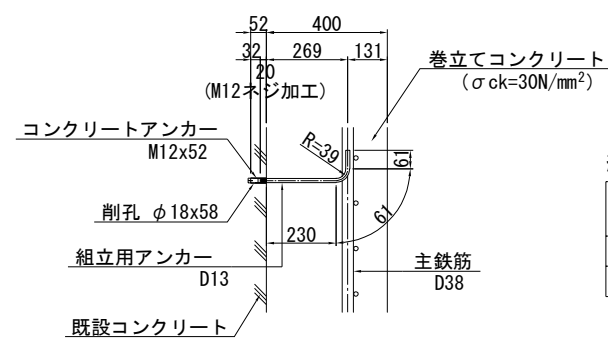
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P6橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25 (参考図)

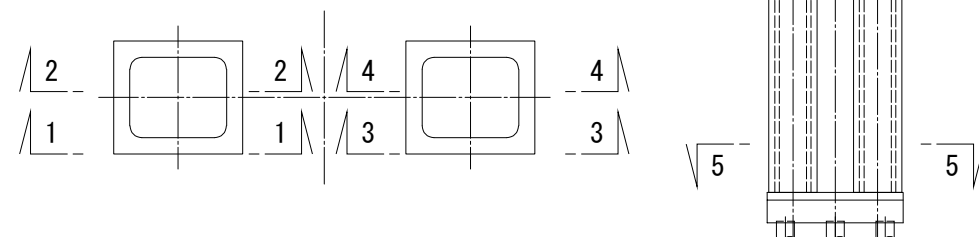


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	120	45
右柱	380	121	46

※組立用アンカー本数
N=119.6m²/1本/m²=120本
N=120.6m²/1本/m²=121本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



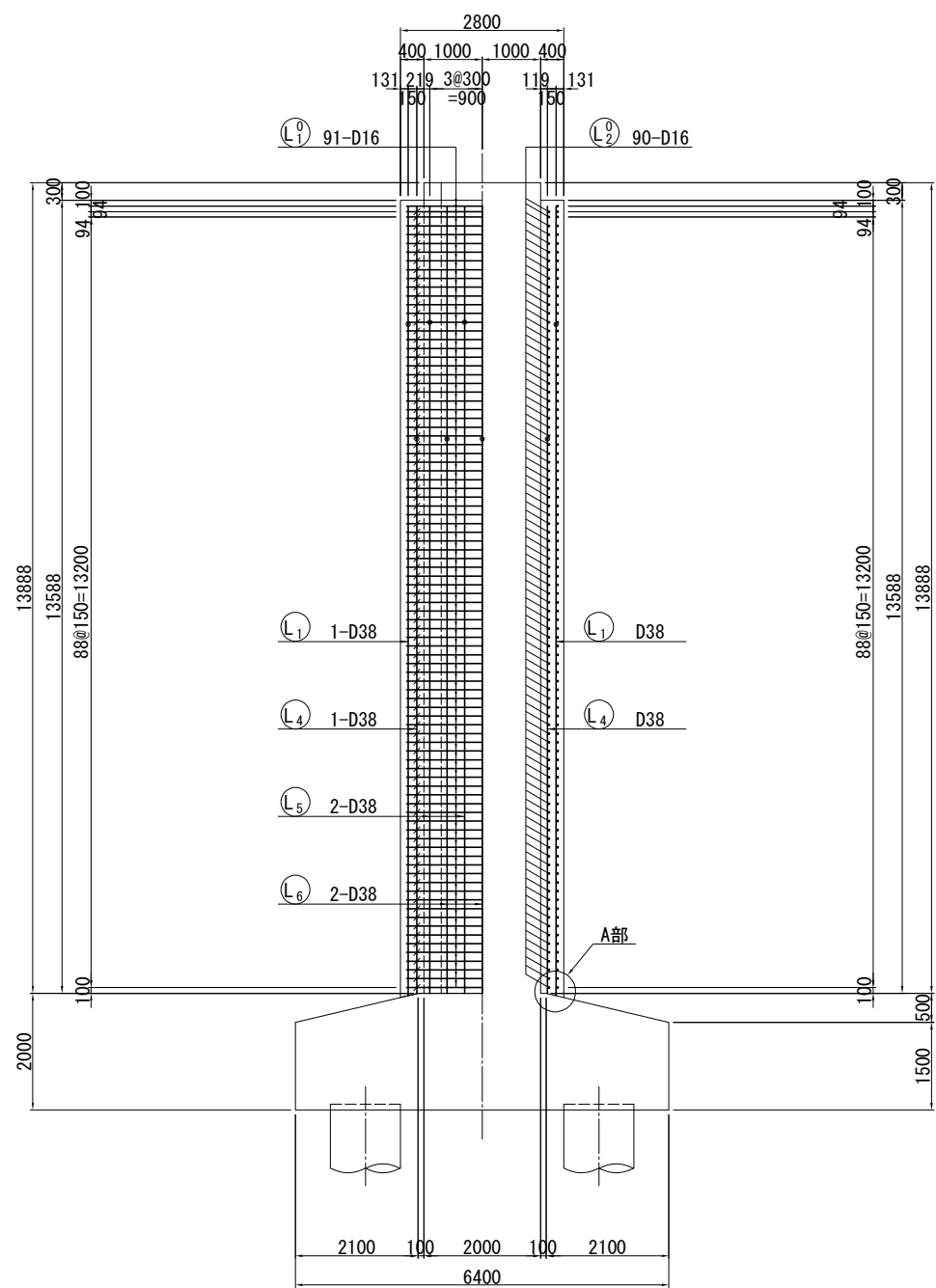
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

使用材料

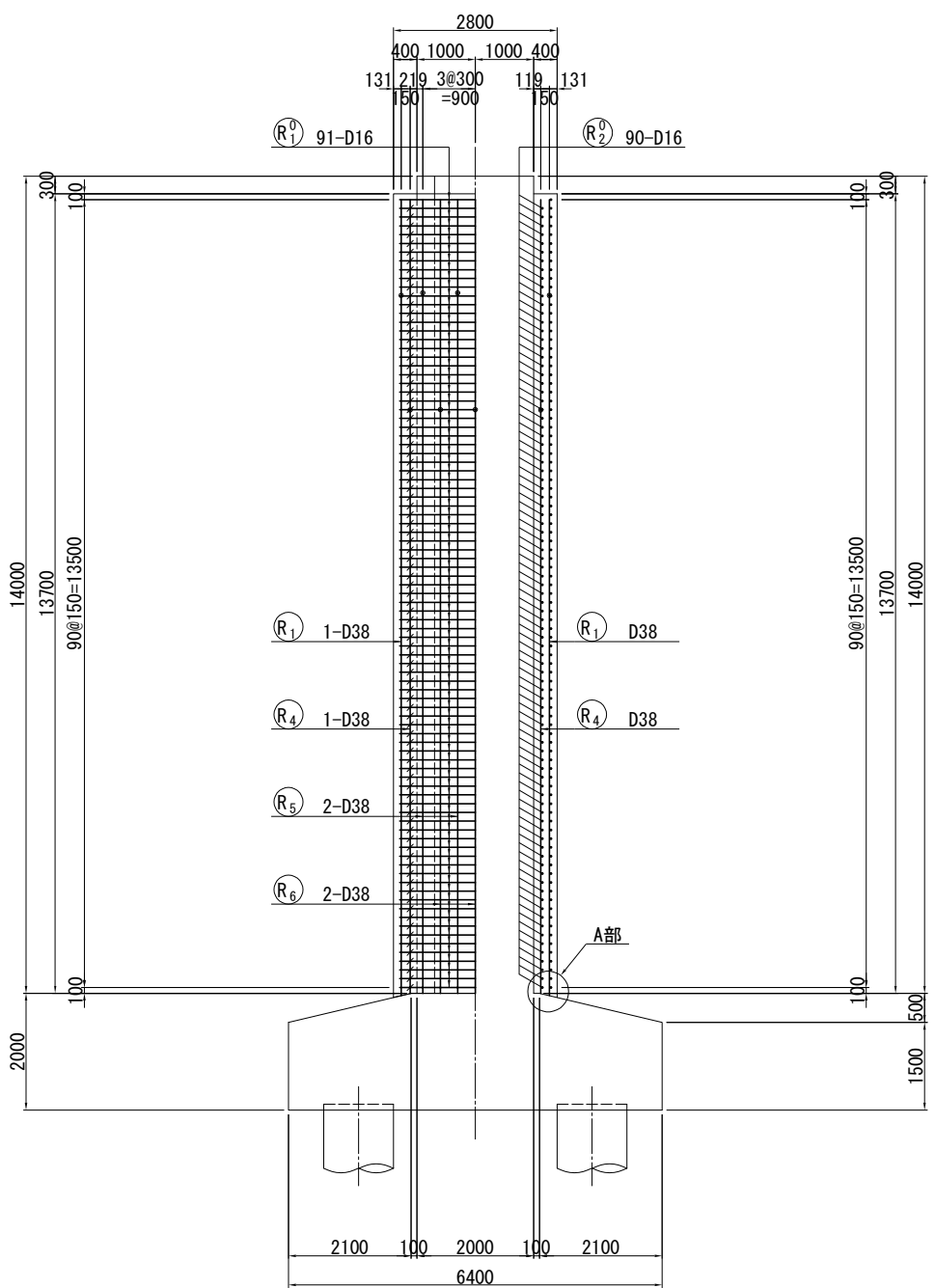
工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ²
	鉄 筋 SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P6橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

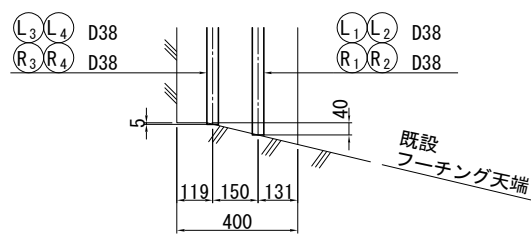
6 - 6 7 - 7



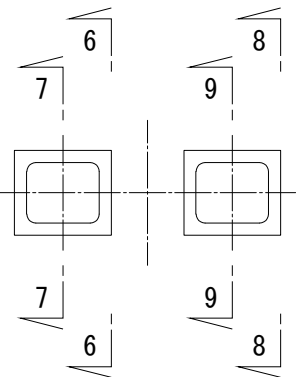
8 - 8 9 - 9



A部詳細図 S=1:25

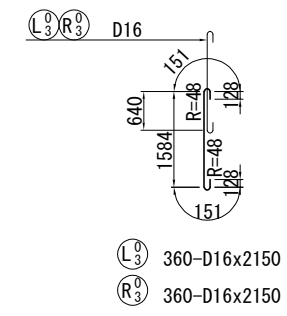
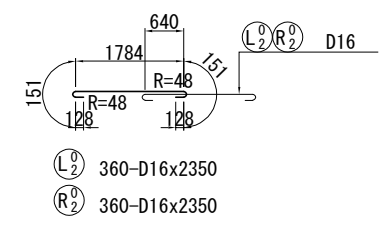
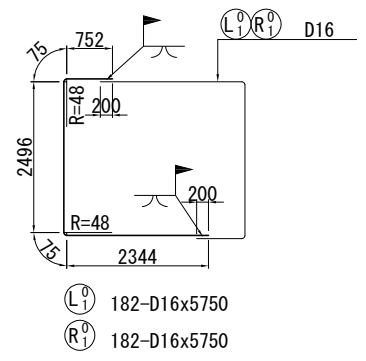
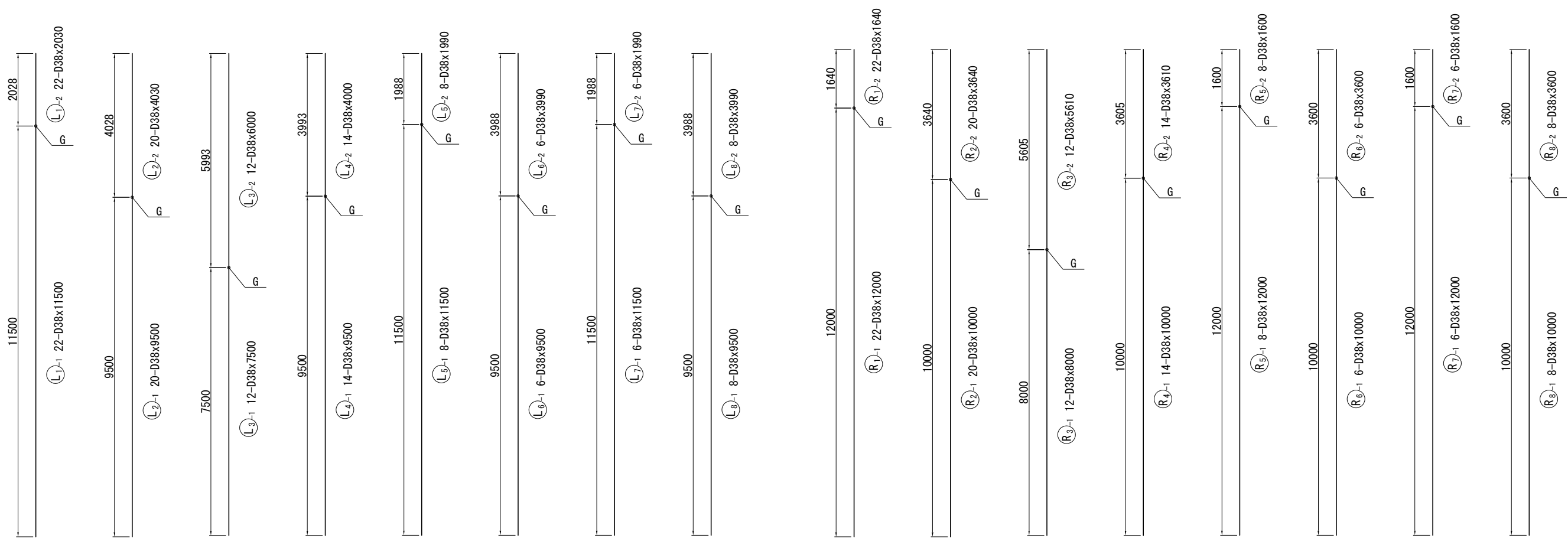


位置図

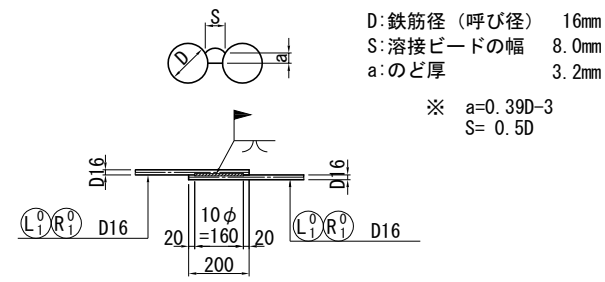


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P6橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P6橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

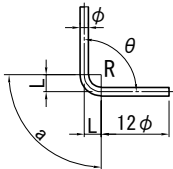
鉄筋質量表（左柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	11500	22	8.95	103	2266	↑ (22)
L 1 -2	D38	2030	22	8.95	18.2	400	
L 2 -1	D38	9500	20	8.95	85.0	1700	↑ (20)
L 2 -2	D38	4030	20	8.95	36.1	722	↑
L 3 -1	D38	7500	12	8.95	67.1	805	↑ (12)
L 3 -2	D38	6000	12	8.95	53.7	644	
L 4 -1	D38	9500	14	8.95	85.0	1190	↑ (14)
L 4 -2	D38	4000	14	8.95	35.8	501	
L 5 -1	D38	11500	8	8.95	103	824	↑ (8)
L 5 -2	D38	1990	8	8.95	17.8	142	
L 6 -1	D38	9500	6	8.95	85.0	510	↑ (6)
L 6 -2	D38	3990	6	8.95	35.7	214	
L 7 -1	D38	11500	6	8.95	103	618	↑ (6)
L 7 -2	D38	1990	6	8.95	17.8	107	
L 8 -1	D38	9500	8	8.95	85.0	680	↑ (8)
L 8 -2	D38	3990	8	8.95	35.7	286	
						11609 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	182	1.56	8.97	1633	┐ [182]
L 2 ⁰	D16	2350	360	1.56	3.67	1321	┐
L 3 ⁰	D16	2150	360	1.56	3.35	1206	┐
						4160 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			11609 ^{kg}	(96)	-		
D16			4160 ^{kg}	-	[182]		
合 計			15769 ^{kg}	(96)	[182]		
コンクリートアンカー					M12x52	120	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表（右柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	1640	22	8.95	14.7	323	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	3640	20	8.95	32.6	652	
R 3 -1	D38	8000	12	8.95	71.6	859	↑ (12)
R 3 -2	D38	5610	12	8.95	50.2	602	
R 4 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
R 4 -2	D38	3610	14	8.95	32.3	452	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	1600	8	8.95	14.3	114	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	3600	6	8.95	32.2	193	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	1600	6	8.95	14.3	86	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	3600	8	8.95	32.2	258	
						11687	kg
R 1 ⁰	D16	5750	182	1.56	8.97	1633	┐ [182]
R 2 ⁰	D16	2350	360	1.56	3.67	1321	┐
R 3 ⁰	D16	2150	360	1.56	3.35	1206	┐
						4160	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			11687	kg	(96)	-	
D16			4160	kg	-	[182]	
合 計			15847	kg	(96)	[182]	
コンクリートアンカー					M12x52	121	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤90° R=3.0φ	θ >90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

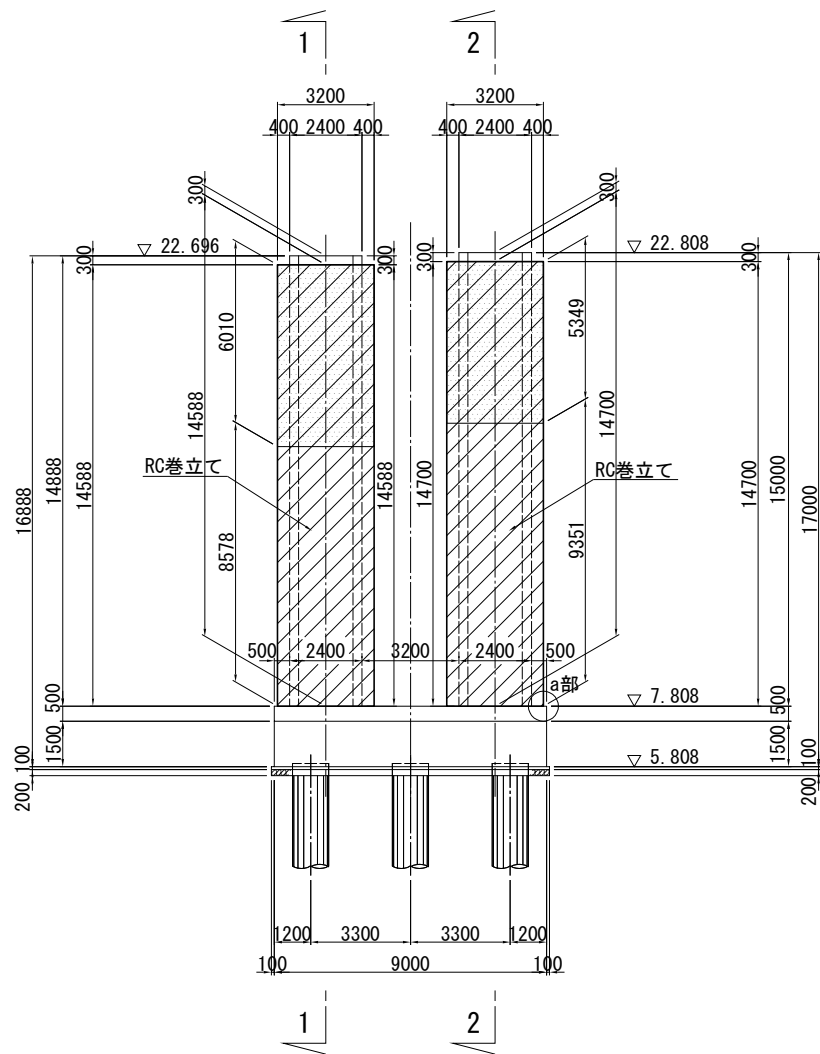
注記）鉄筋質量表内の（ ）はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

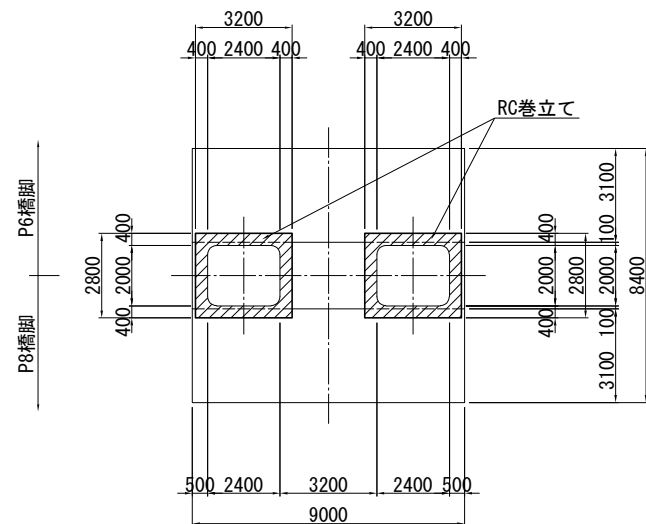
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P6橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

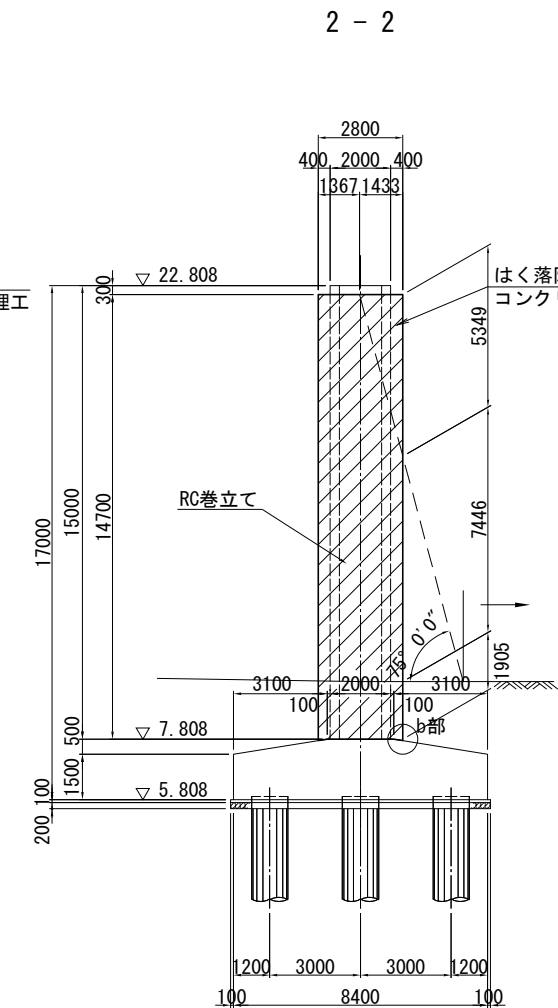
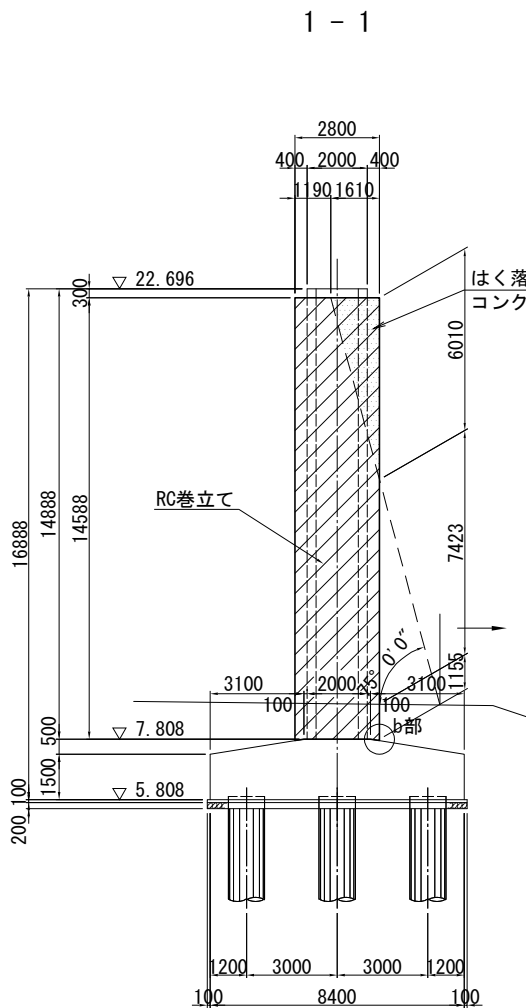
正面図



平面図

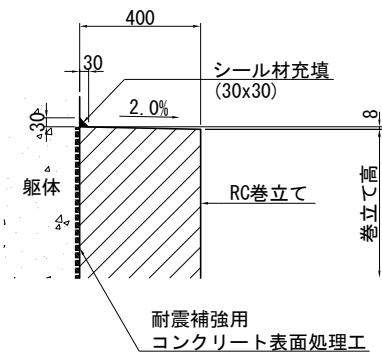


側面図

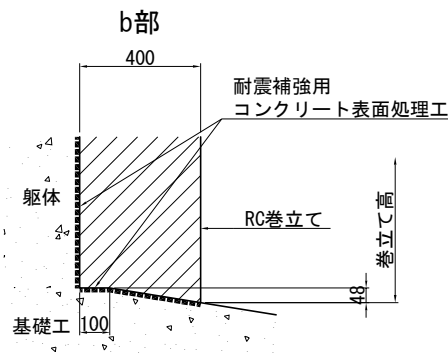
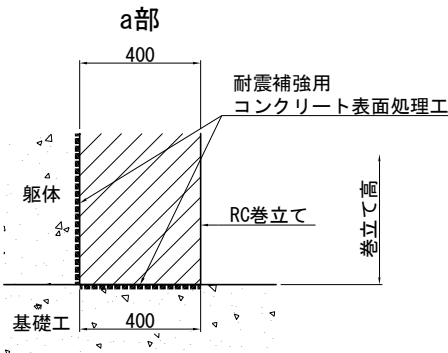


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)



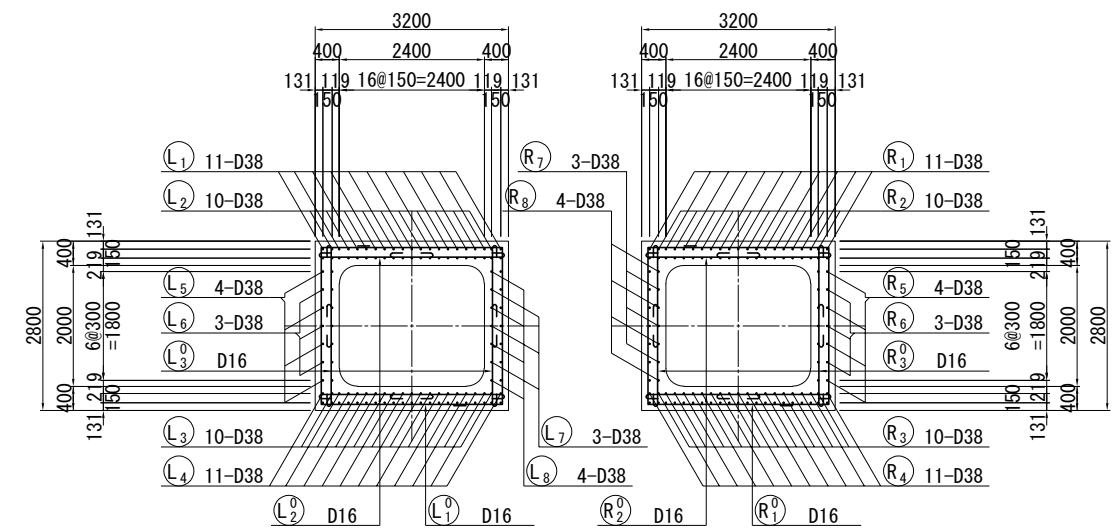
注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

5 - 5



断面

既設柱 400

119 150 131

96 (80以上)

131 80

2段目端部

Reinforcement details and dimensions are shown, including bar counts (e.g., 4 bars for D38, 2 bars for D16) and section widths.

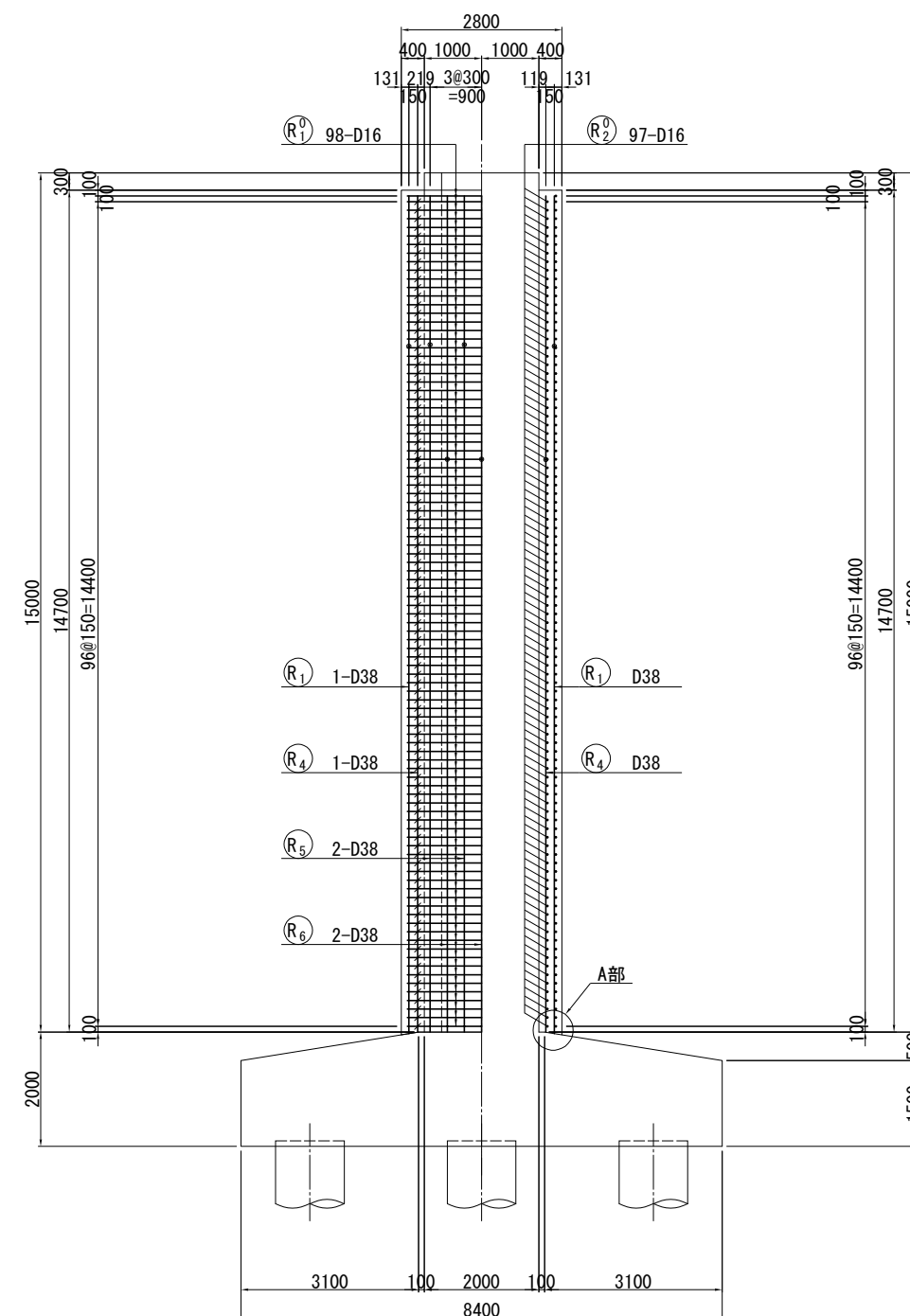
[illegible]

	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	129	49
右柱	380	129	49

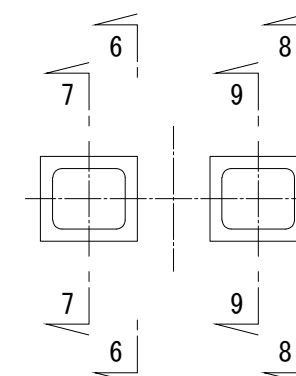
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本鋼矢部高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)	
縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

8 - 8 9 - 9

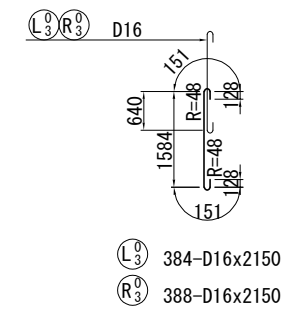
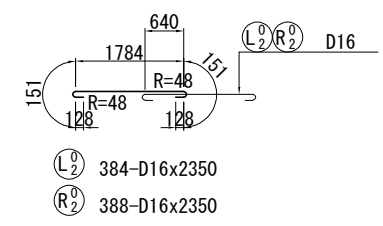
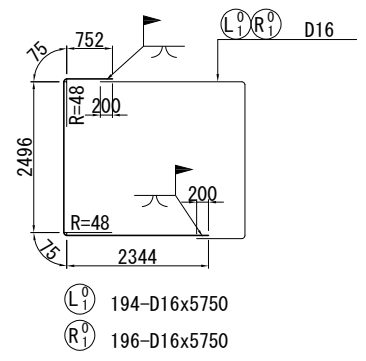
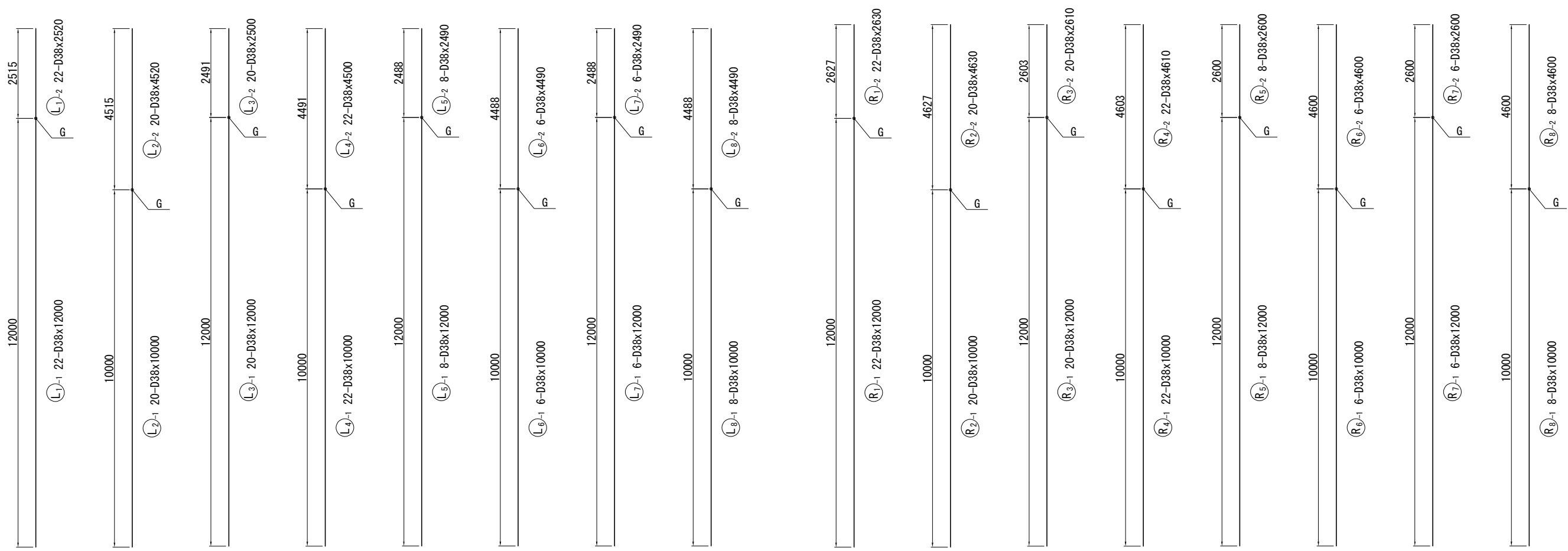


位置図

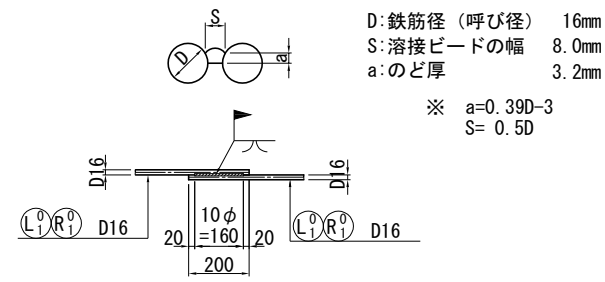


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷支脚高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

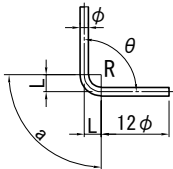
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	2520	22	8.95	22.6	497	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	4520	20	8.95	40.5	810	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	2500	20	8.95	22.4	448	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	4500	22	8.95	40.3	887	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	2490	8	8.95	22.3	178	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	4490	6	8.95	40.2	241	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	2490	6	8.95	22.3	134	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	4490	8	8.95	40.2	322	
						14521 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	194	1.56	8.97	1740	┐ [194]
L 2 ⁰	D16	2350	384	1.56	3.67	1409	┐
L 3 ⁰	D16	2150	384	1.56	3.35	1286	┐
						4435 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			14521 ^{kg}	(112)		-	
D16			4435 ^{kg}	-		[194]	
合 計			18956 ^{kg}	(112)		[194]	
コンクリートアンカー					M12x52	129 個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	2630	22	8.95	23.5	517	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	4630	20	8.95	41.4	828	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	2610	20	8.95	23.4	468	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	4610	22	8.95	41.3	909	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	2600	8	8.95	23.3	186	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	4600	6	8.95	41.2	247	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	2600	6	8.95	23.3	140	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	4600	8	8.95	41.2	330	
						14629	kg
R 1 ⁰	D16	5750	196	1.56	8.97	1758	┐ [196]
R 2 ⁰	D16	2350	388	1.56	3.67	1424	┐
R 3 ⁰	D16	2150	388	1.56	3.35	1300	┐
						4482	kg
T		ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数			
D38		14629 kg		(112)		-	
D16		4482 kg		-		[196]	
合 計		19111 kg		(112)		[196]	
コンクリートアンカー				M12x52		129 個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

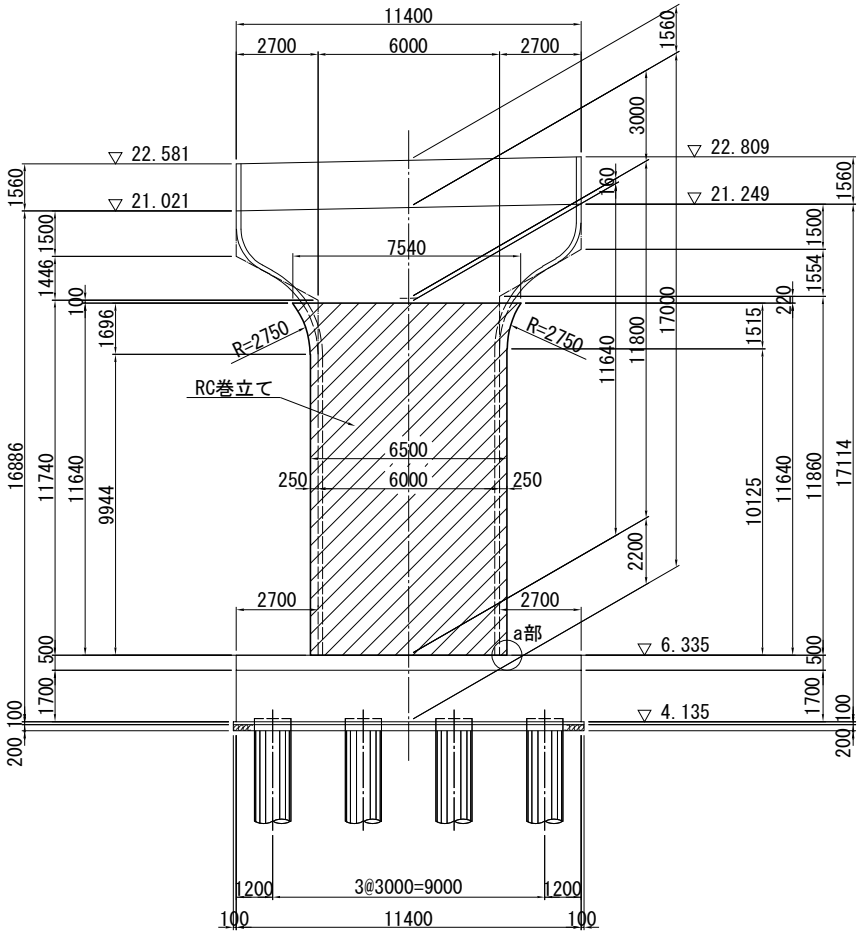
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

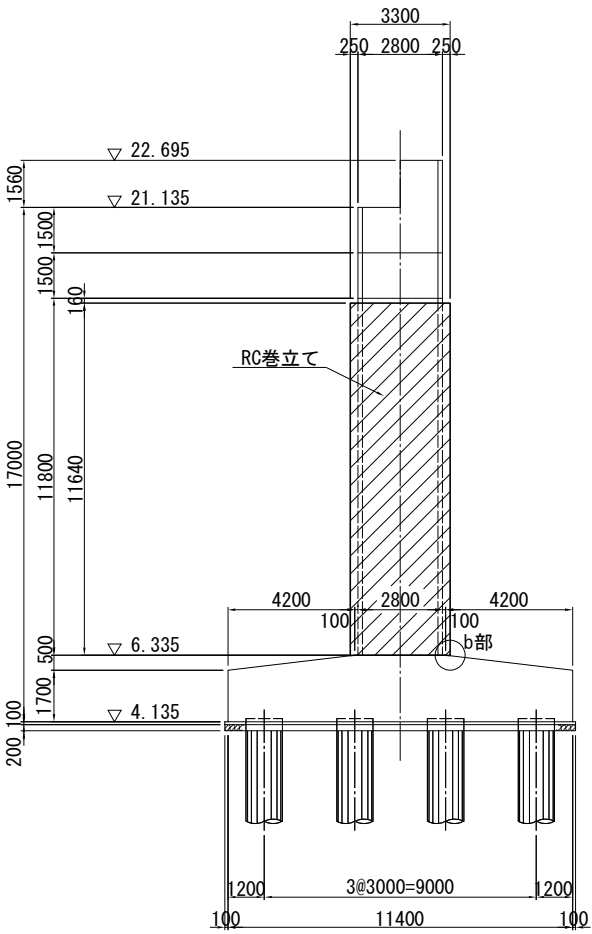
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

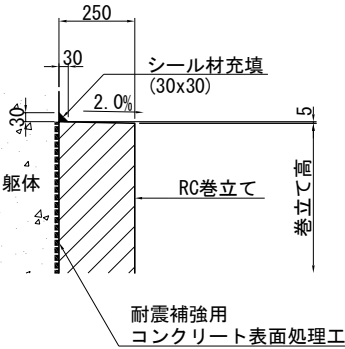


側面図

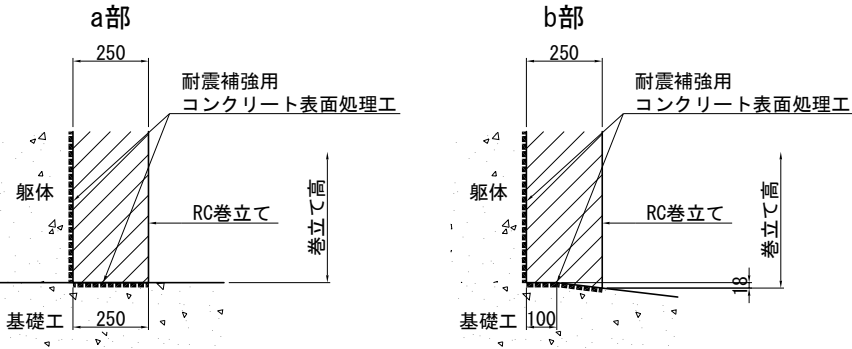


巻立て部詳細図 S=1:25

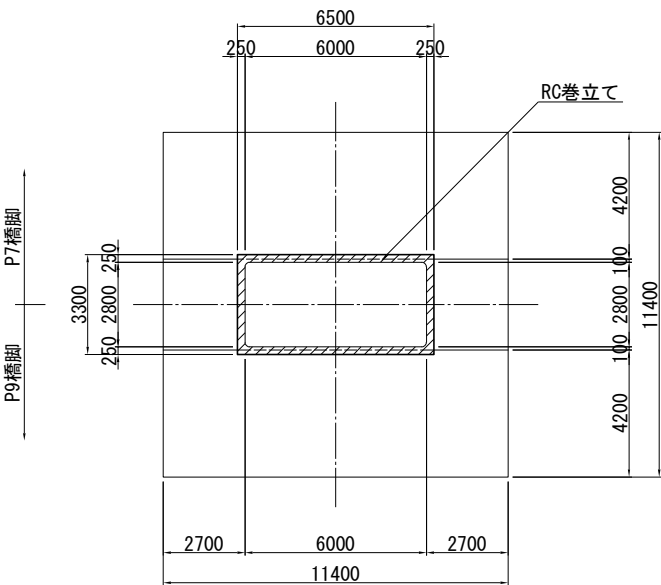
巻立て部(上部)



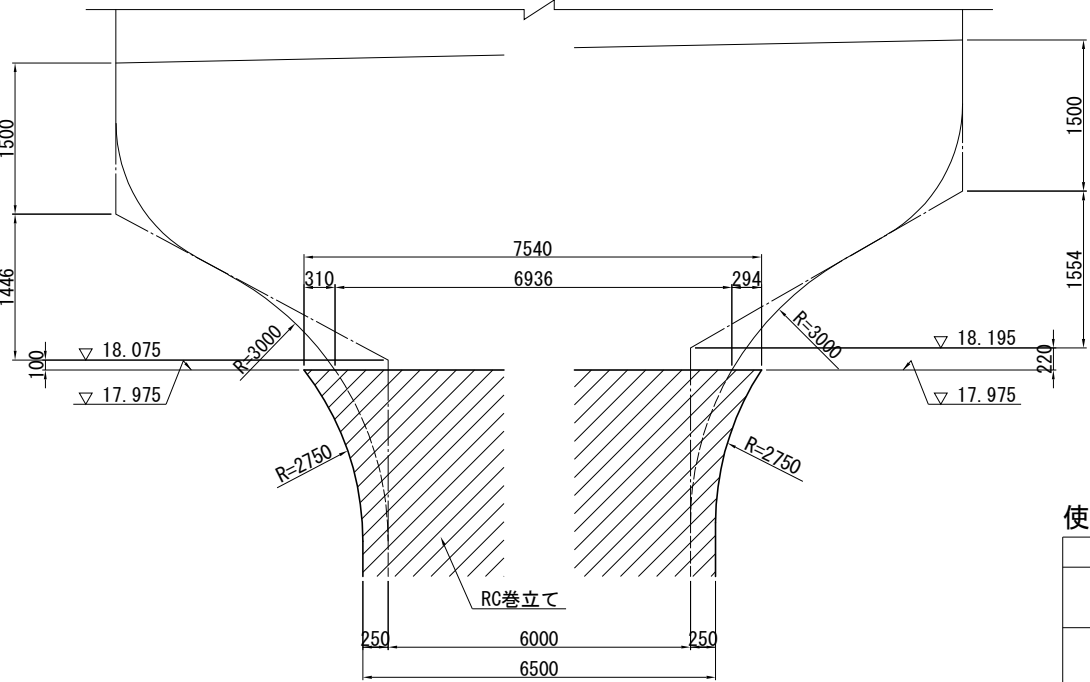
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75

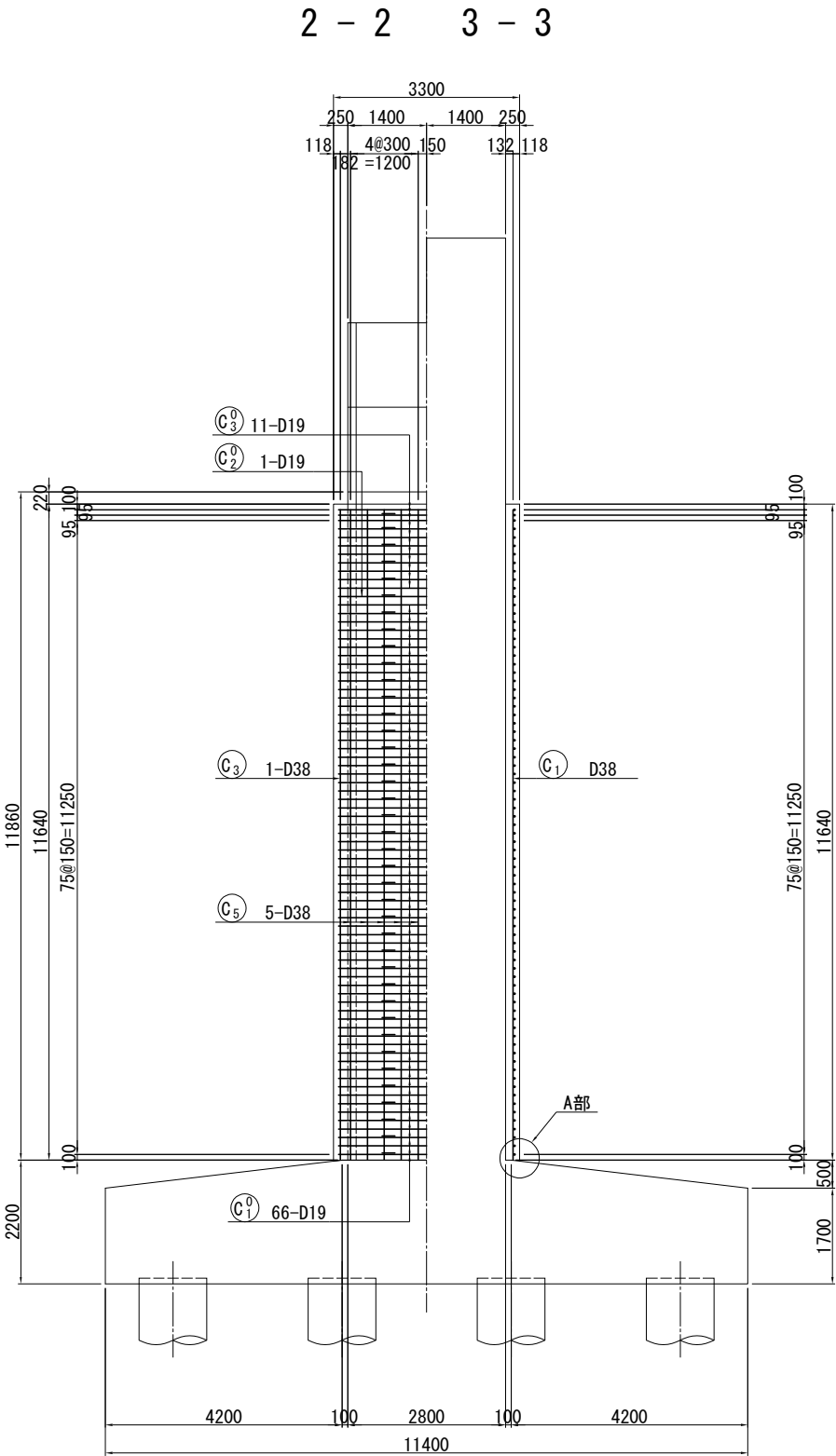
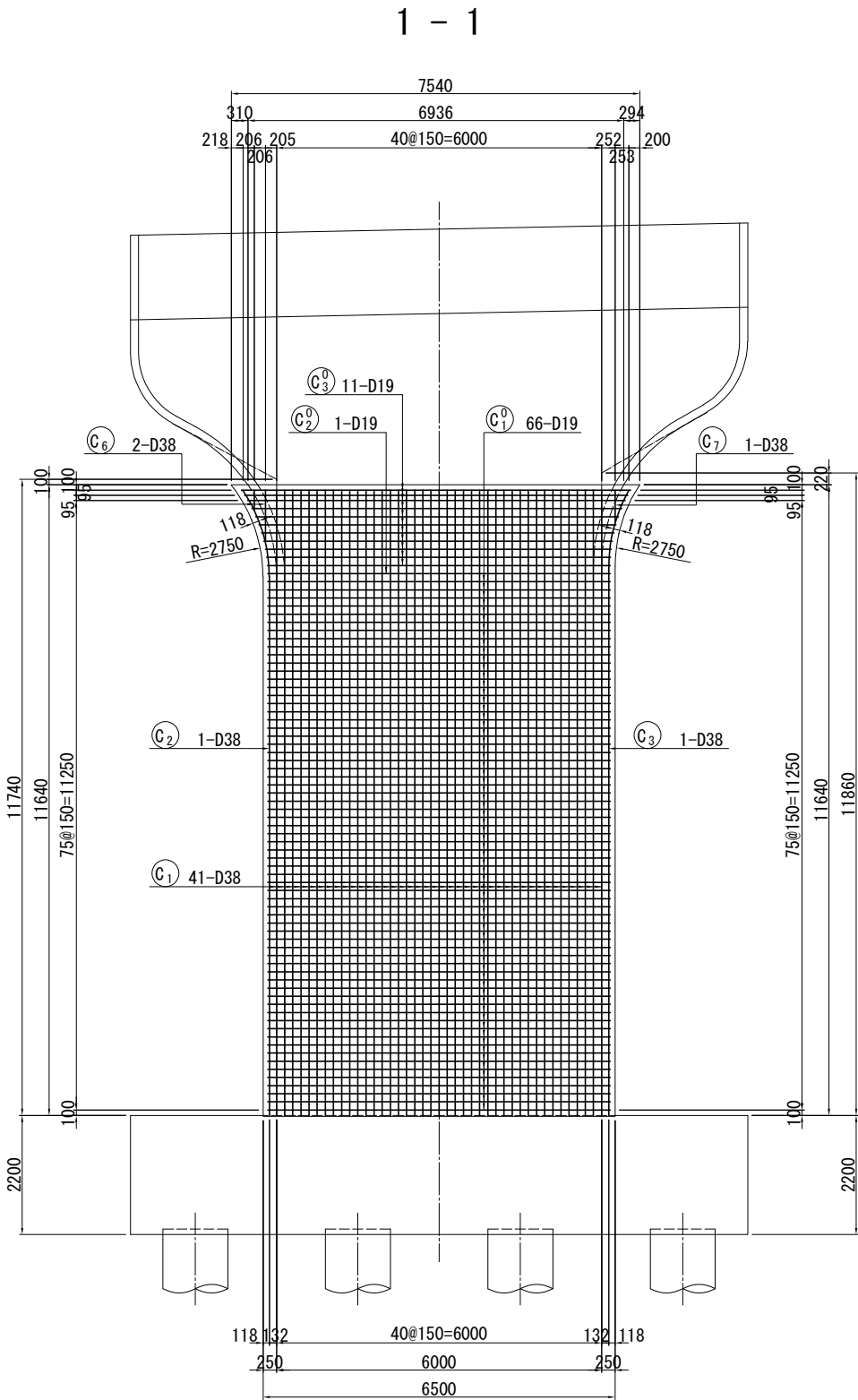


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

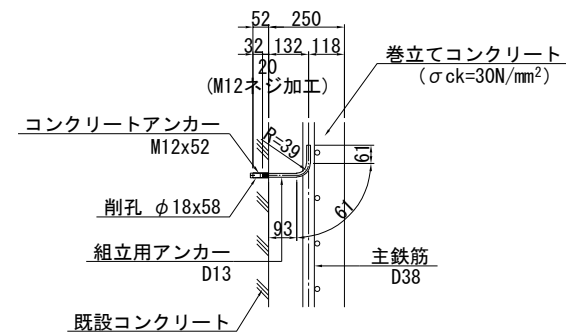
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345
補強部	30 N/mm ²	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



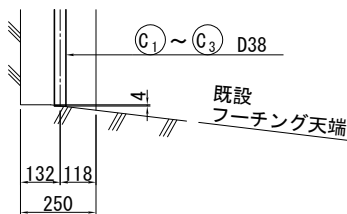
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

組立用アンカー数量表

L (mm)	本数	質量 (kg)
240	206	49

※組立用アンカー本数
N=205.6m²/1本/m²=206本

A部詳細図 S=1:25

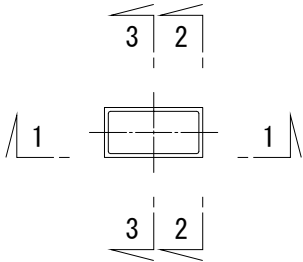


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。

使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

位 置 図



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

4 - 4

記号	径	本数	L1	L
1	D38	2	954	960
2	D38	2	363	370
平均		4	659	660

[illegible]

Figure 1: Reinforcement details of the column. The diagram shows a cross-section of a column with a width of 250mm. The reinforcement includes 132mm and 118mm diameter bars, with a spacing of 80mm. The reinforcement is labeled as C1 to C5, D38, and C1, D19.

D:鉄筋径(呼び径) 19mm
 S:溶接ビードの幅 9.5mm
 a:のど厚 4.4mm

※ a=0.39D-3
 S= 0.5D

$\Delta L = 2L - a$										
徑	$\theta \leq 90^\circ$ $R = 3.0 \phi$	$\theta > 90^\circ$ $R = 5.5 \phi$	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

注記) 1. 鉄筋の継手位置は 1 断面に集中させないように交互に配置すること。

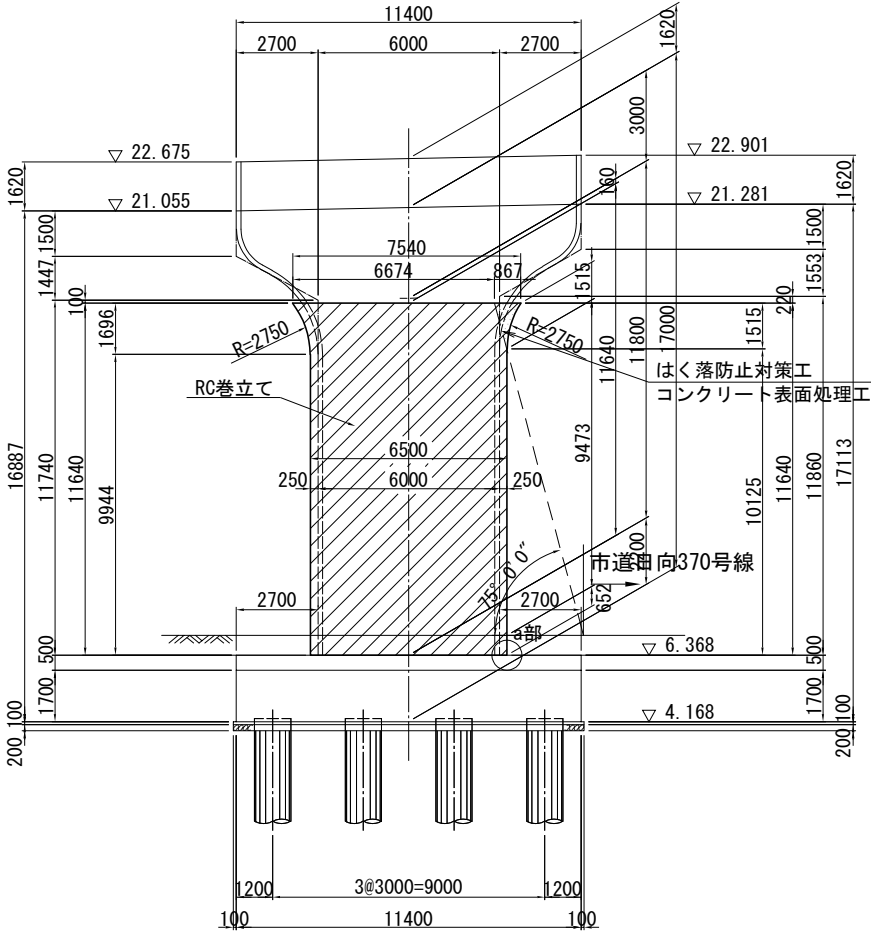
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。

3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

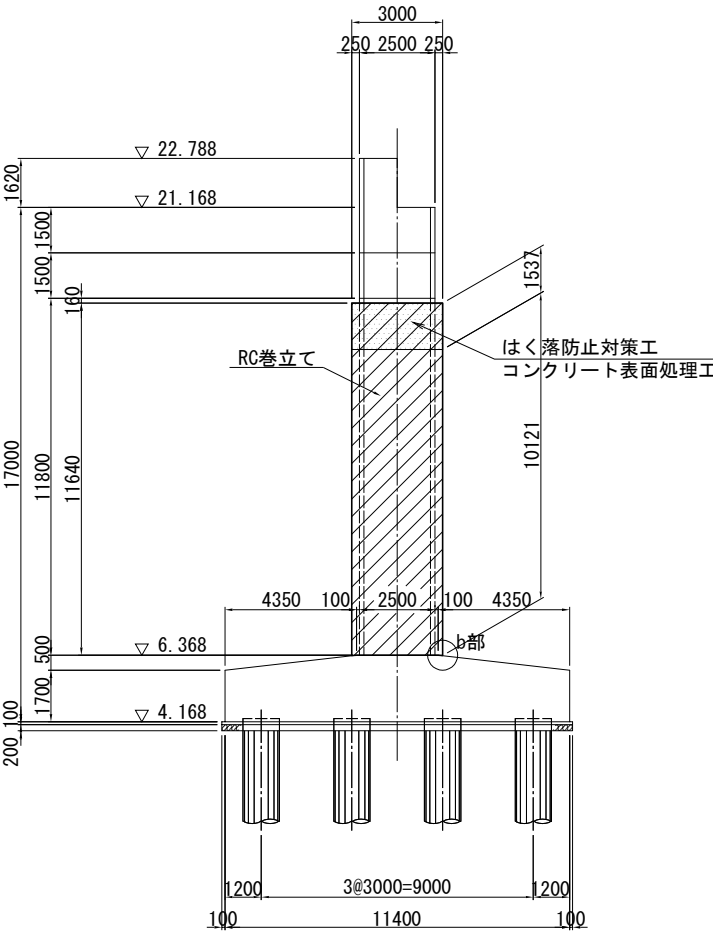
4. 鉄筋質量表内の[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

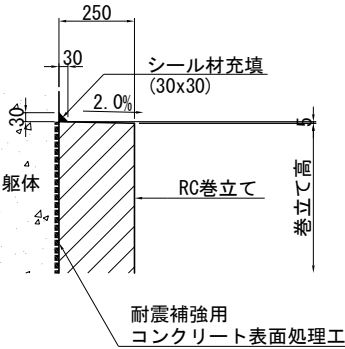


側面図

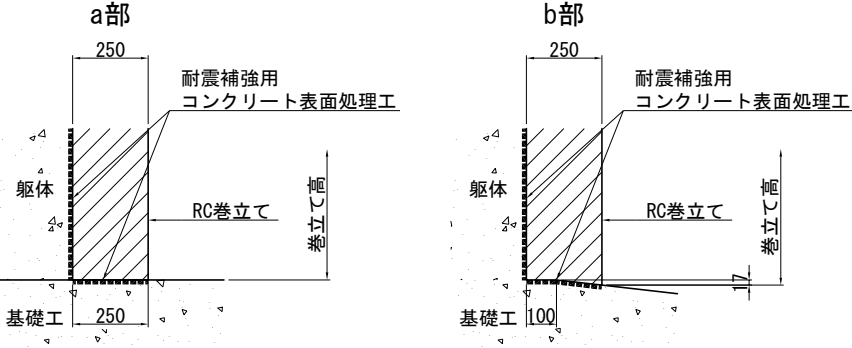


巻立て部詳細図 S=1:25

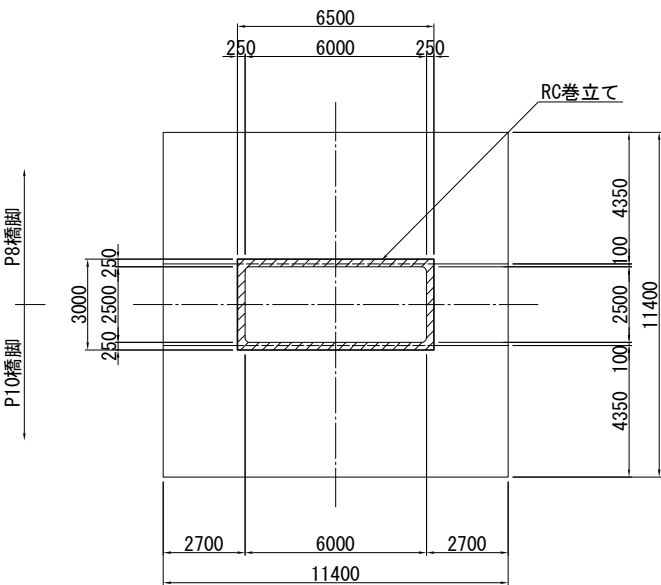
巻立て部(上部)



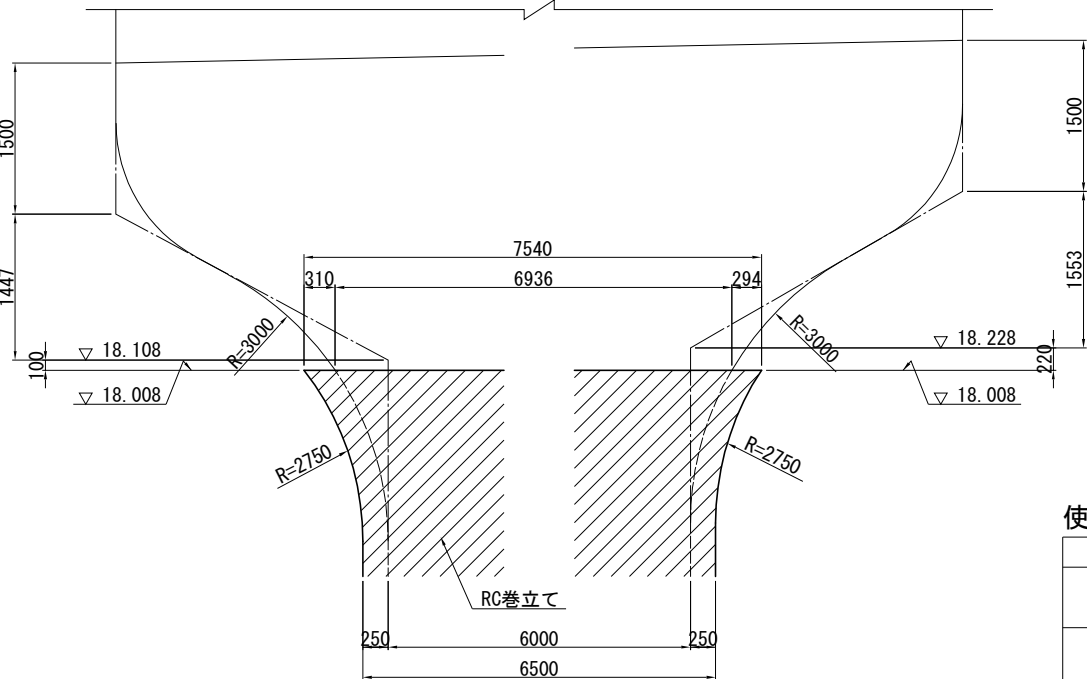
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75

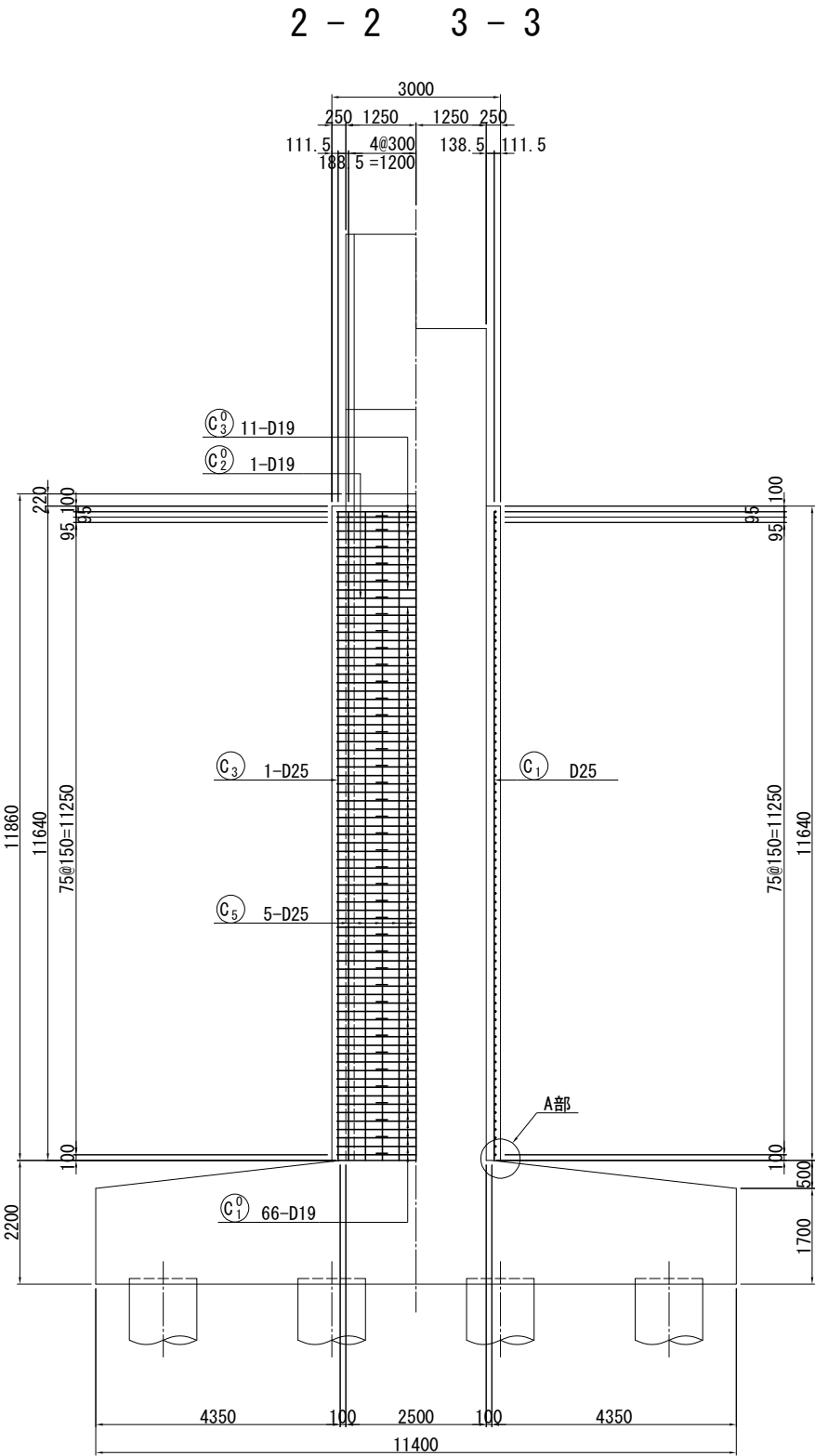
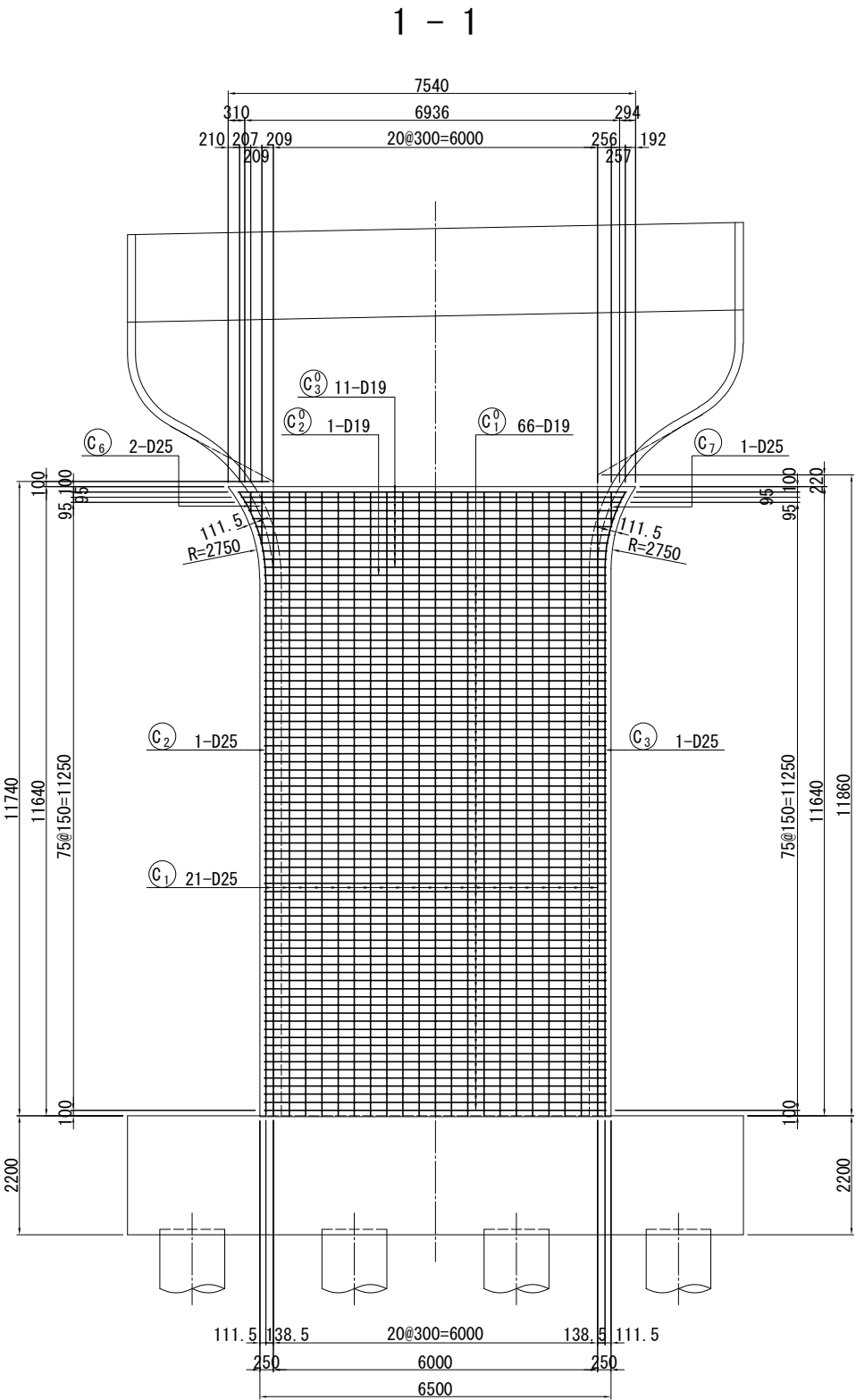


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

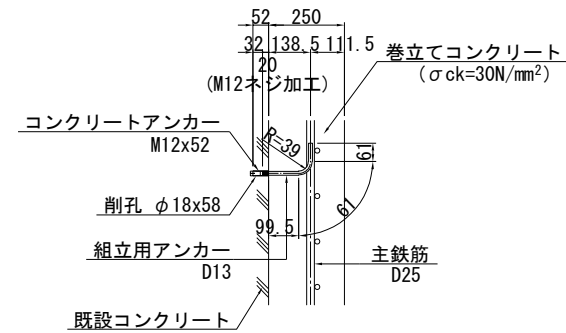
使用材料

工 種		仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



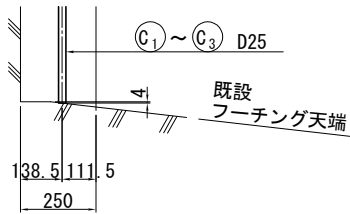
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

組立用アンカー数量表

L (mm)	本数	質量 (kg)
250	199	50

※組立用アンカー本数
N=198.5m²/1本/m²=199本

A部詳細図 S=1:25

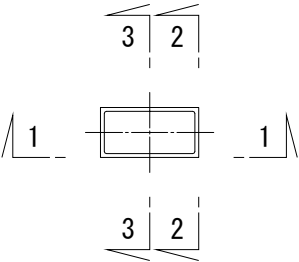


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。

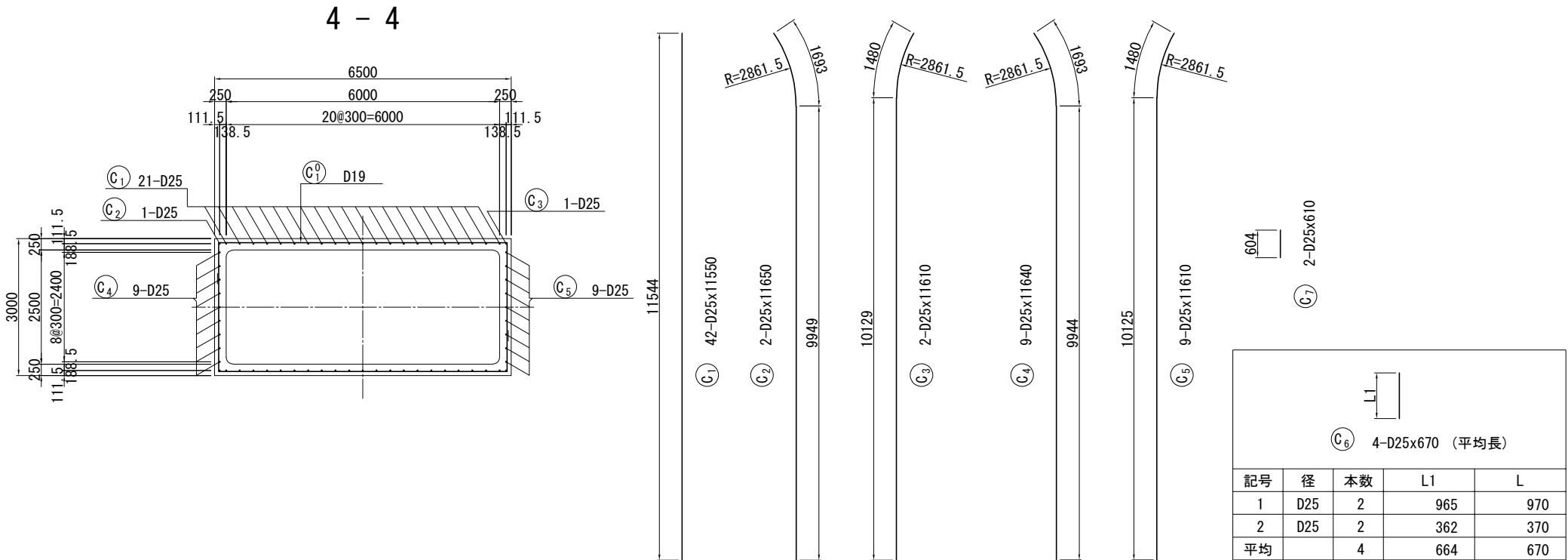
使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

位 置 図



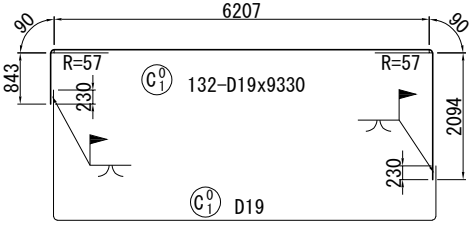
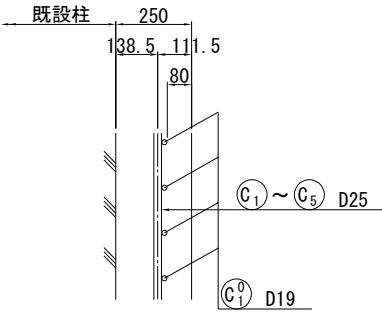
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



鉄筋質量表

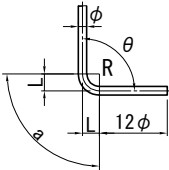
種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1	D25	11550	42	3.98	46.0	1932	
C 2	D25	11650	2	3.98	46.4	93	}
C 3	D25	11610	2	3.98	46.2	92	{
C 4	D25	11640	9	3.98	46.3	417	}
C 5	D25	11610	9	3.98	46.2	416	{
C 6	D25	670	4	3.98	2.67	11	平均長
C 7	D25	610	2	3.98	2.43	5	
2966 kg							
C 0 1	D19	9330	132	2.25	21.0	2772	┌ [132]
C 0 2	D19	9330	2	2.25	21.0	42	┌ [2]
C 0 3	D19	9680	22	2.25	21.8	480	┌ 平均長 [22]
3294 kg							
T フレアー溶接箇所数							
D25			2966 kg	-			
D19			3294 kg	[156]			
合 計			6260 kg	[156]			
コンクリートアンカー M12x52 199 個							
(削孔 径 18x58)							

かぶり詳細図 S=1:25

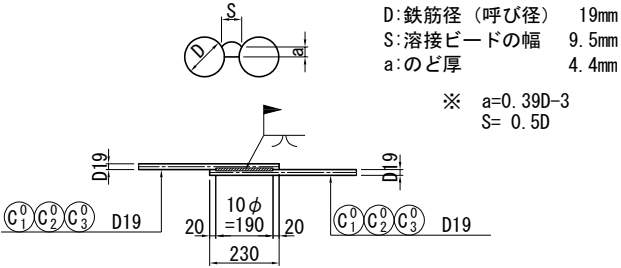


記号	径	本数	L1	L
1	D19	2	7076	10200
2	D19	2	6962	10080
3	D19	2	6858	9980
4	D19	2	6711	9830
5	D19	2	6586	9710
6	D19	2	6481	9600
7	D19	2	6394	9520
8	D19	2	6324	9450
9	D19	2	6271	9390
10	D19	2	6235	9360
11	D19	2	6215	9340
平均		22	6556	9680

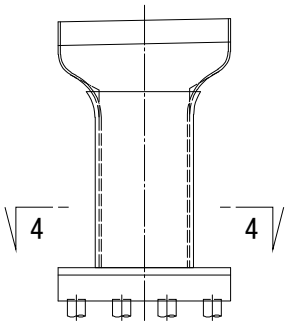
鉄筋加工寸法表

										
ΔL=2L-a										
径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ = 45°		θ = 60°		θ = 90°		θ = 135°	
	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

フレアー溶接詳細図 S=1:25



位置図



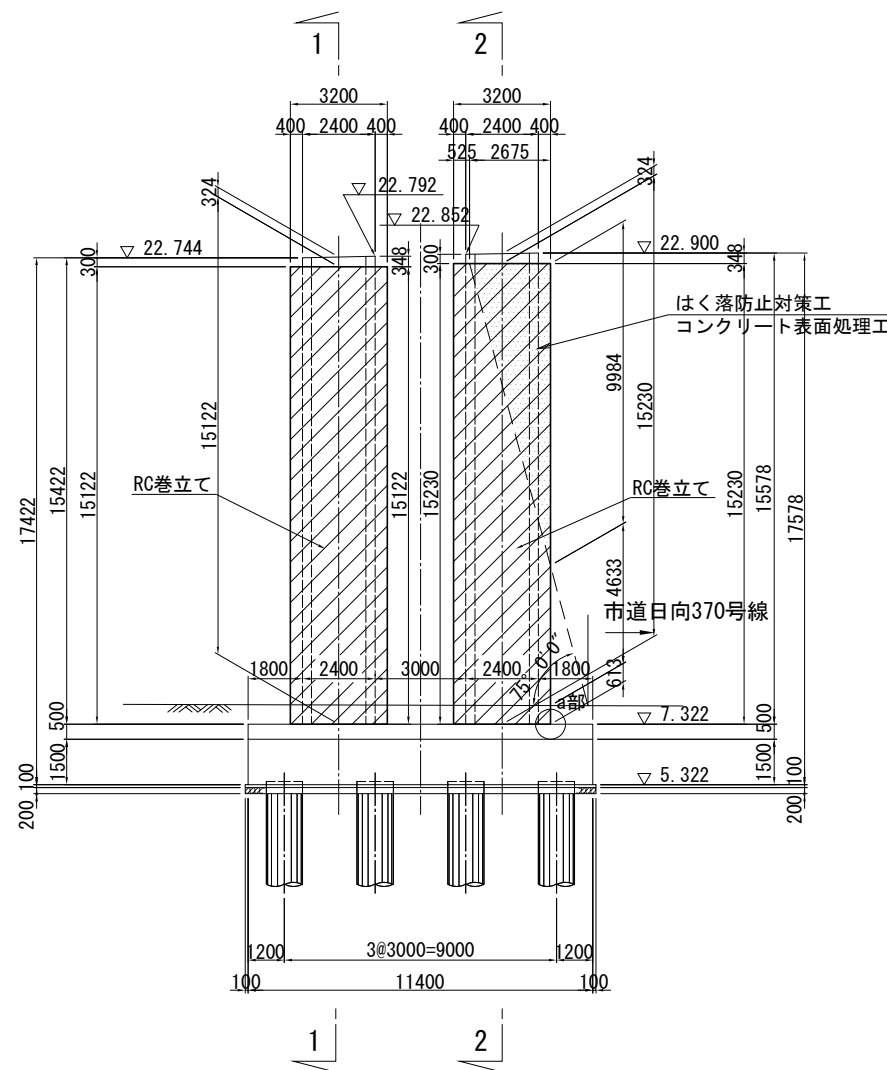
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 鉄筋質量表内の[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

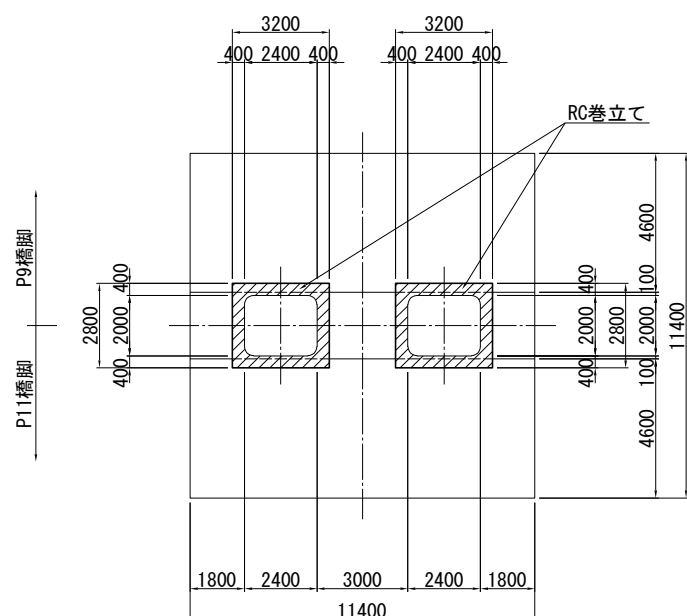
工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ²
	鉄 筋 SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

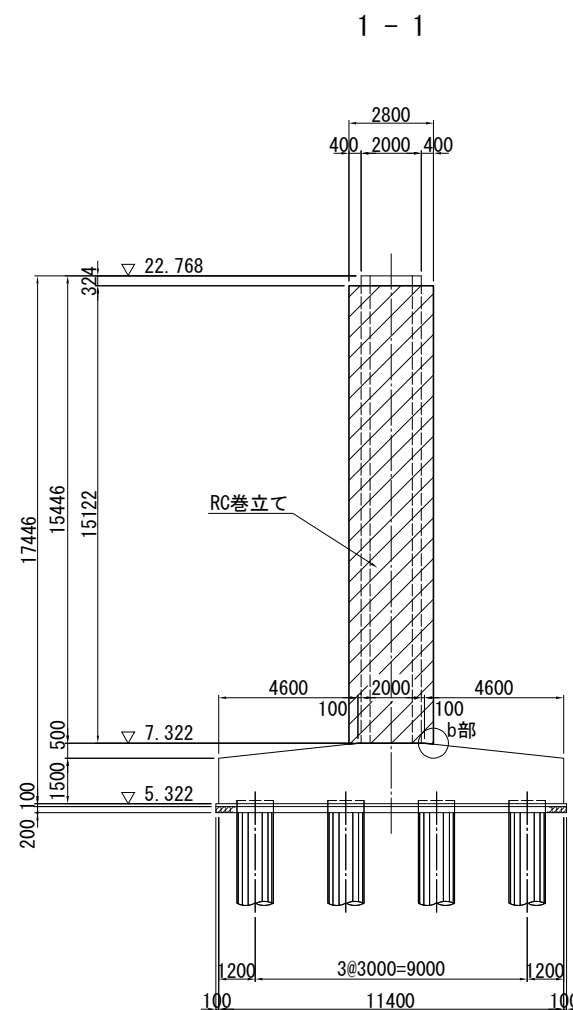
正面図



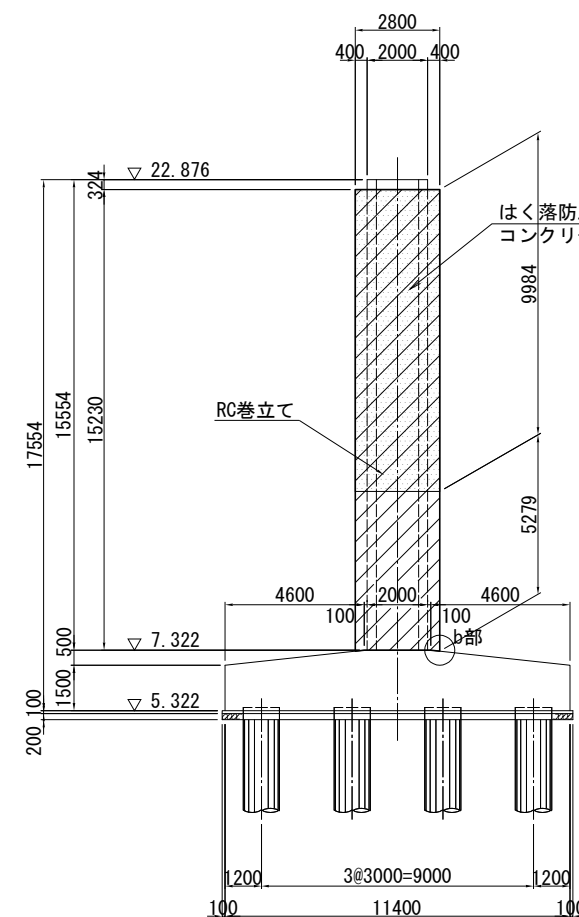
平面図



側面図

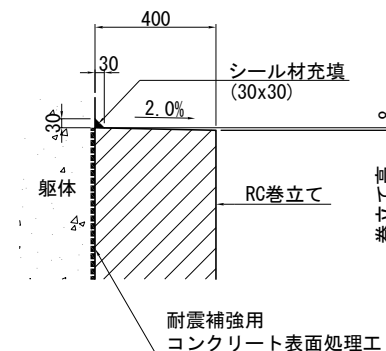


2 - 2

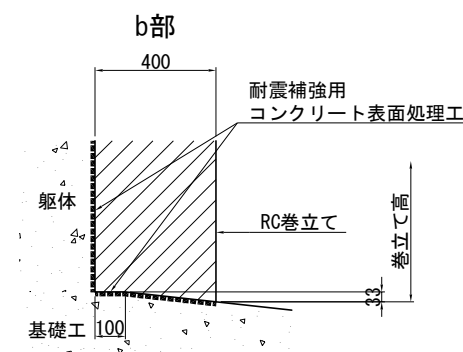
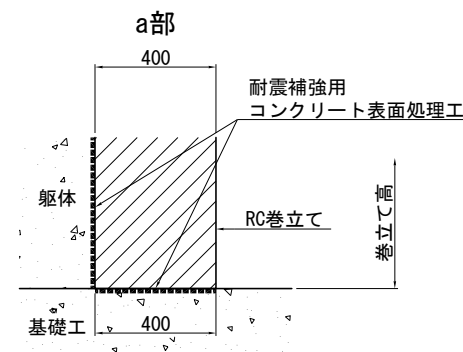


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

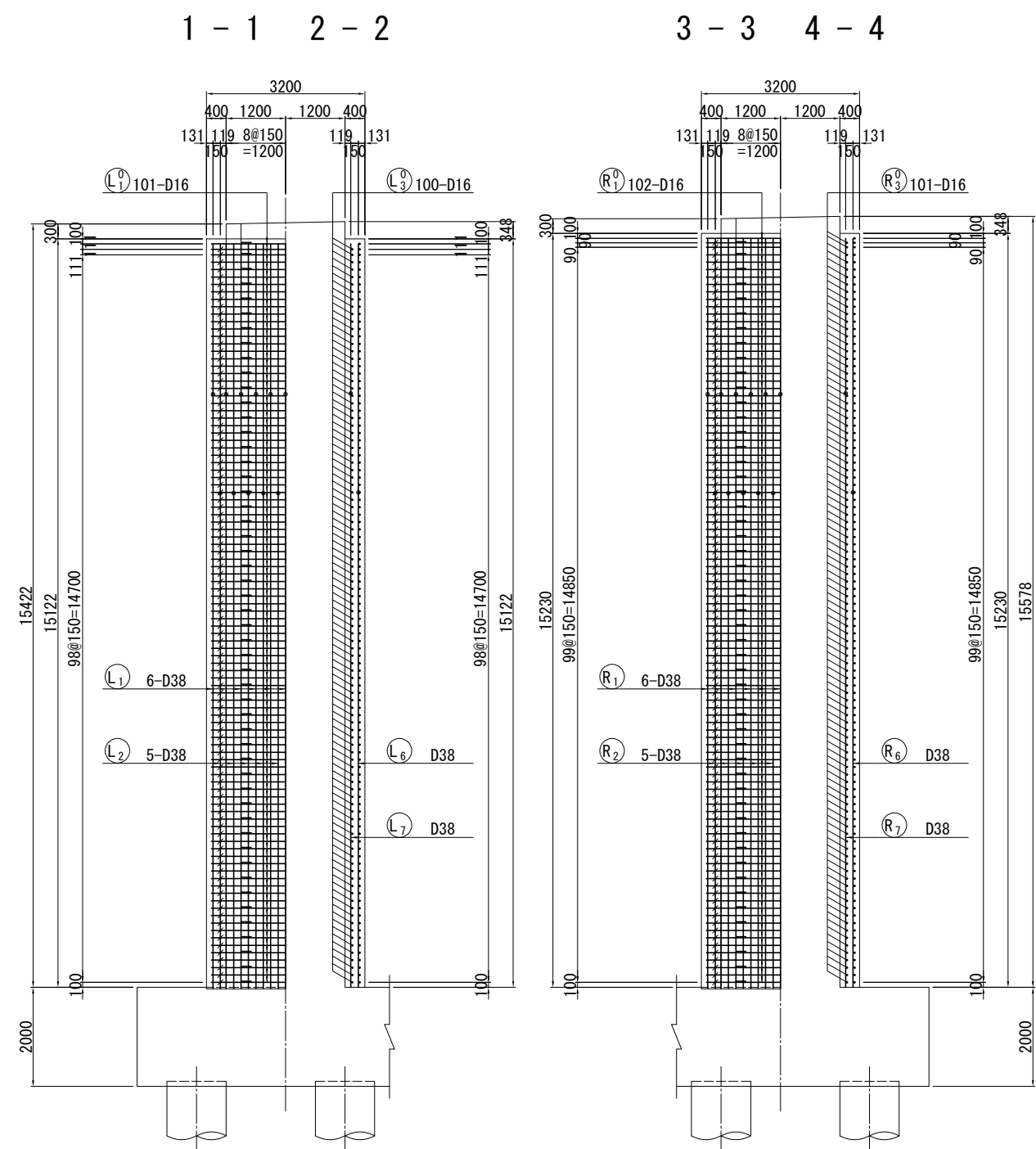


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

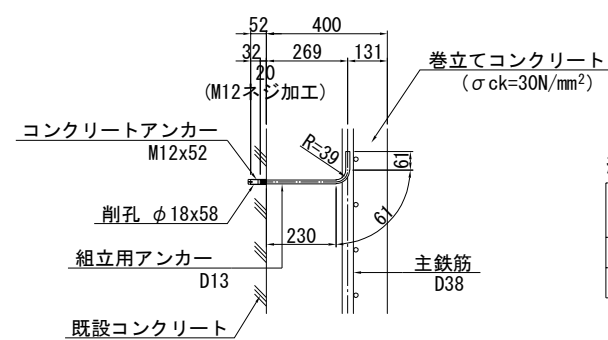
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



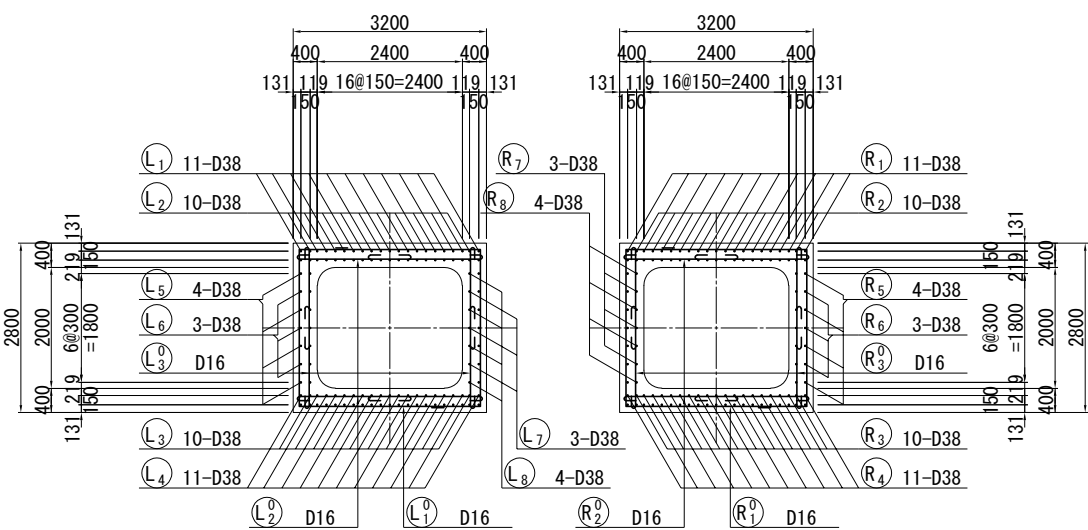
組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



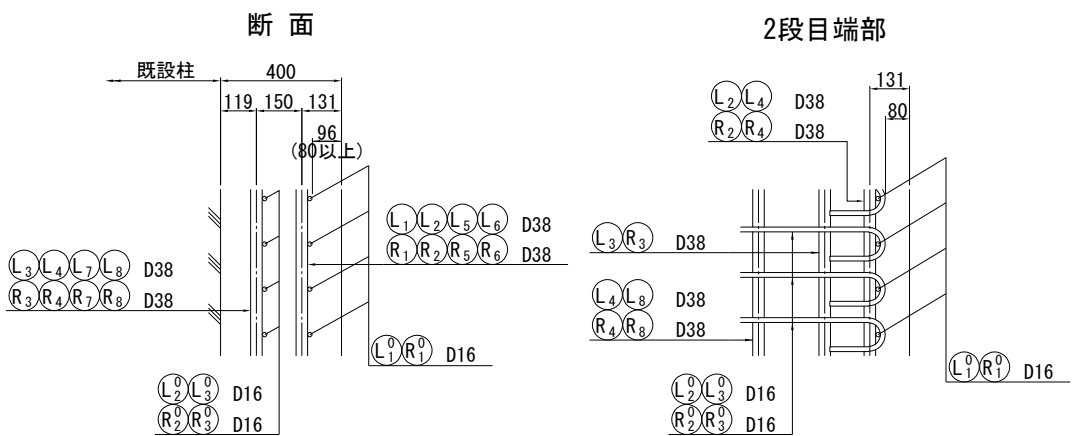
組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	133	50
右柱	380	134	51

※組立用アンカー本数
N=133. 1m²/1本/m²=133本
N=134. 1m²/1本/m²=134本

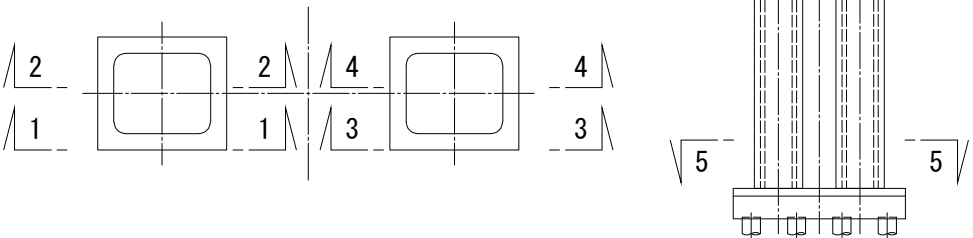
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。



かぶり詳細図 S=1:25



位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

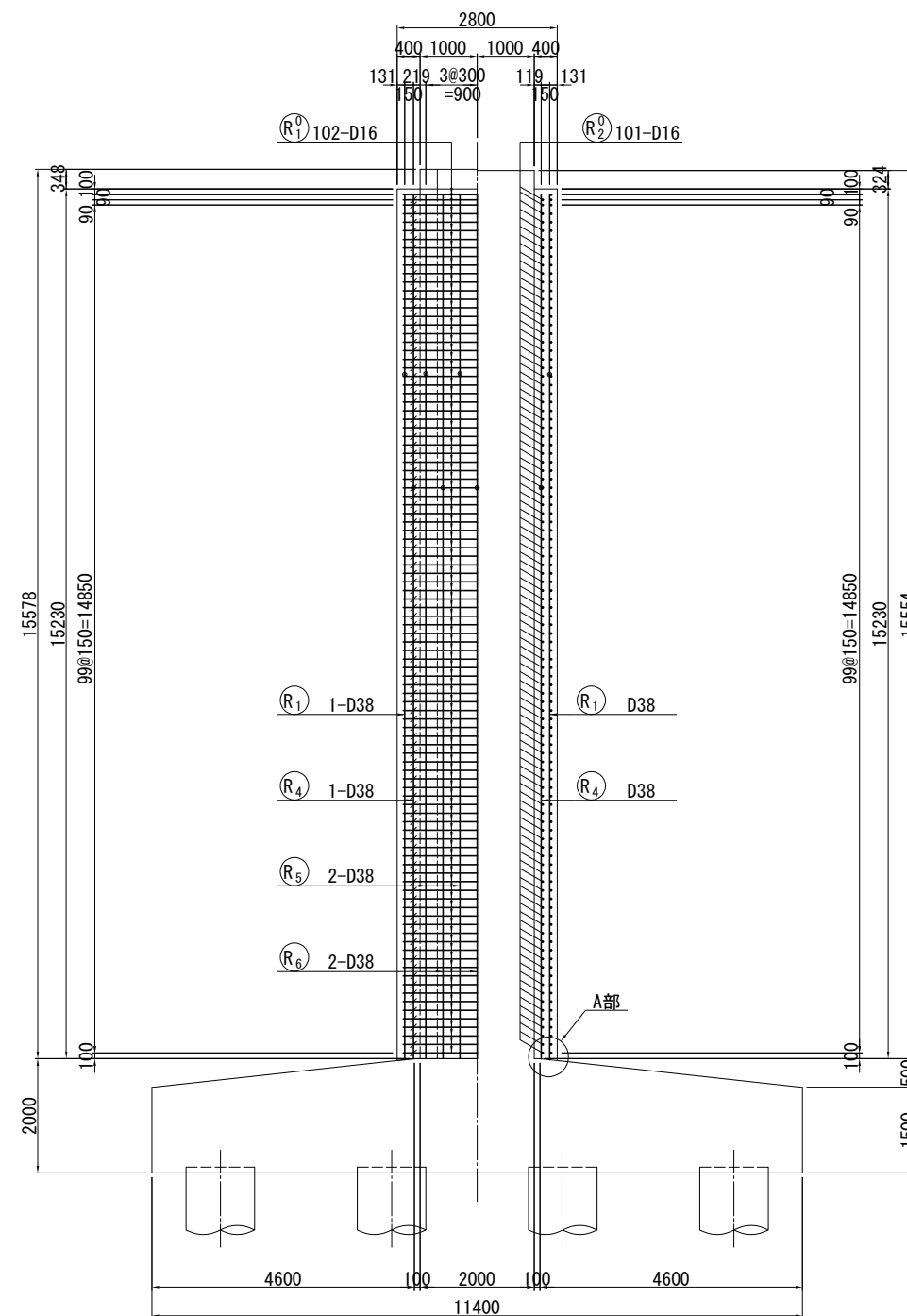
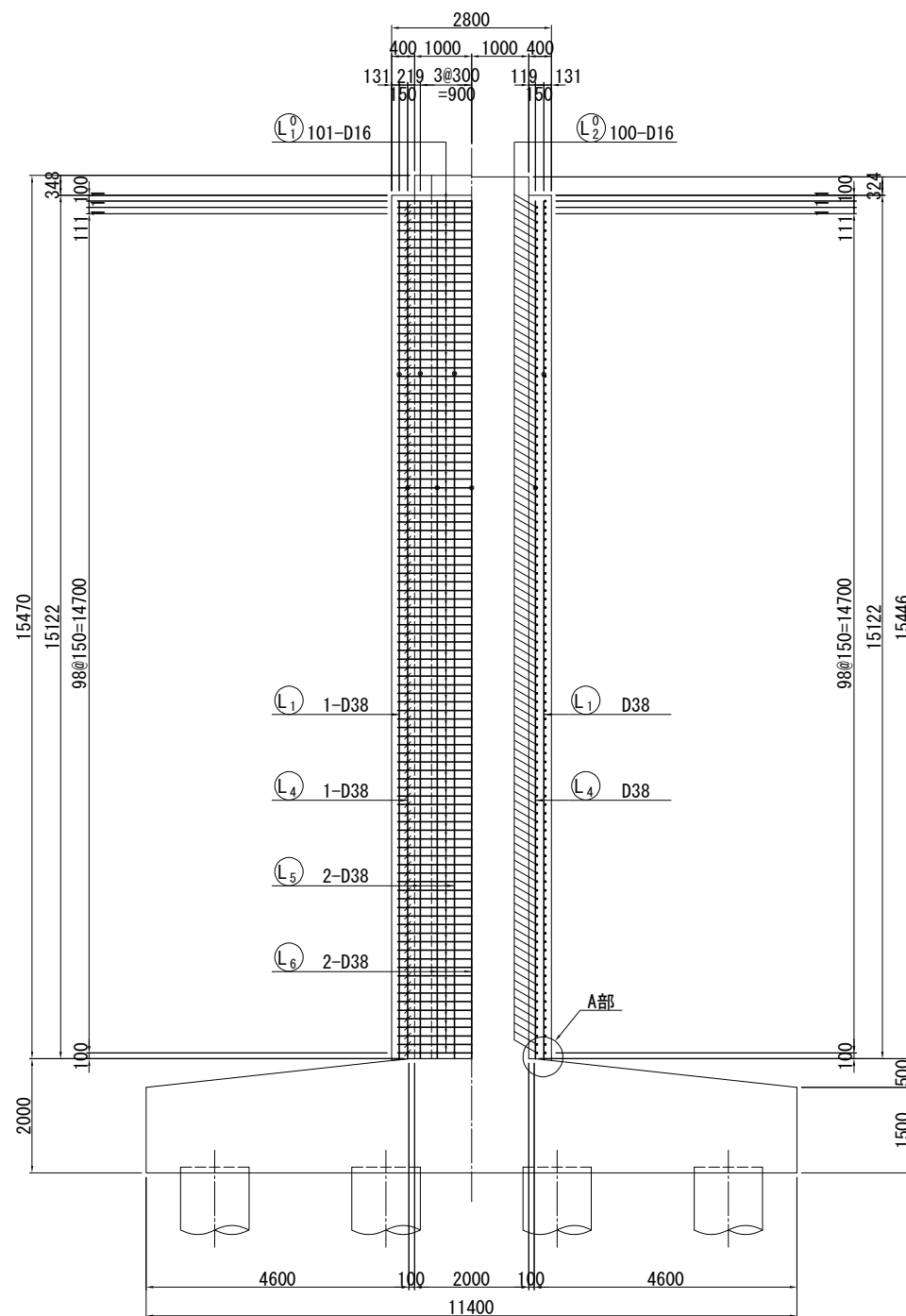
使用材料	
工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ²
	鉄 筋 SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2) S=1:125

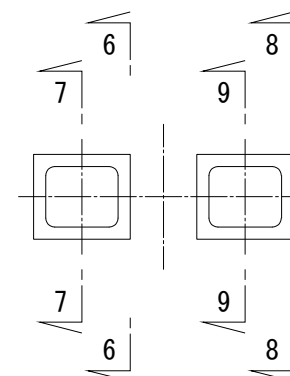
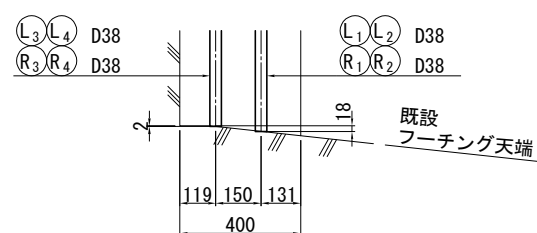
6 - 6 7 - 7

8 - 8 9 - 9



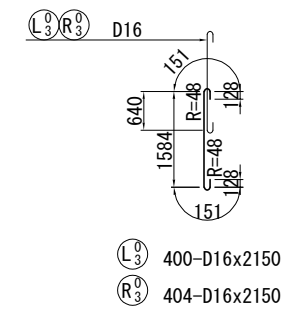
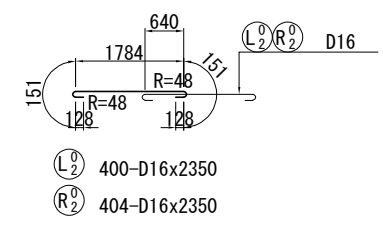
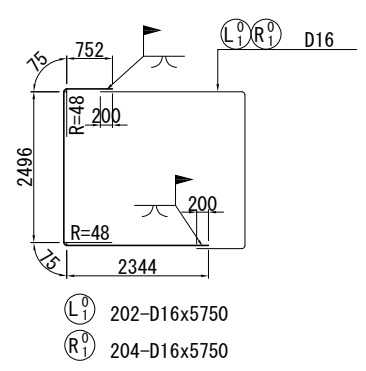
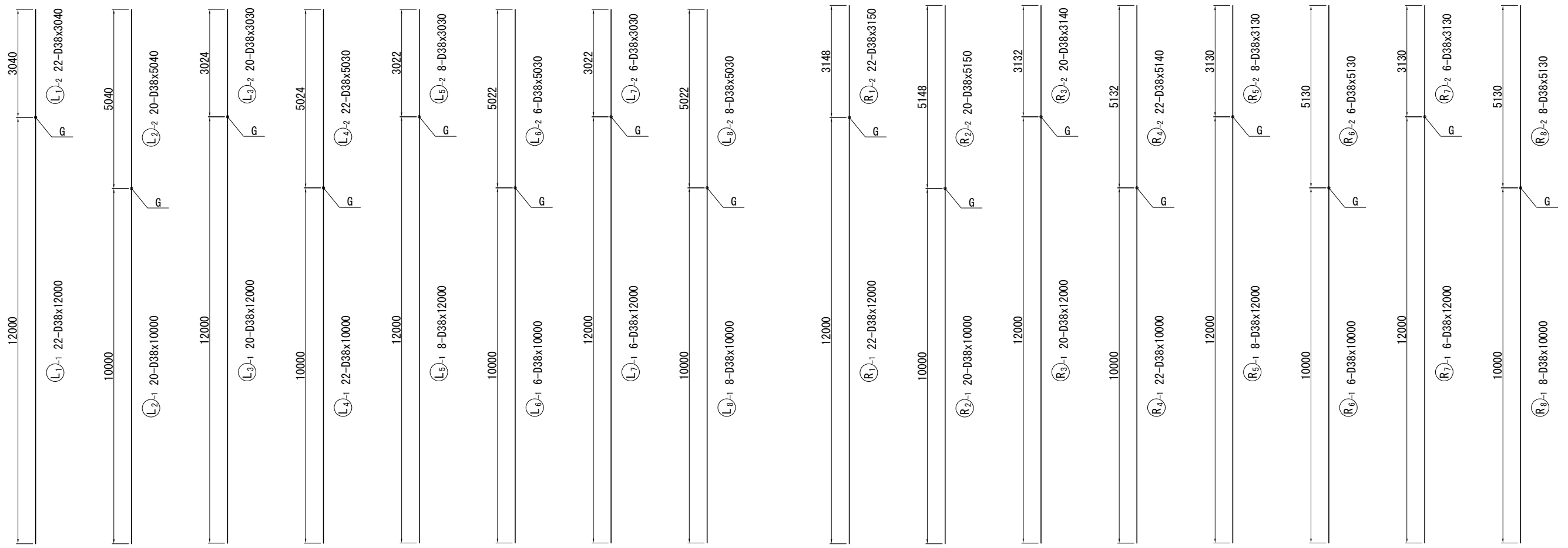
位置図

A部詳細図 S=1:25

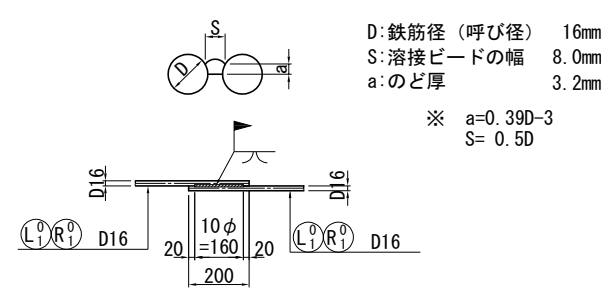


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は 1 断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

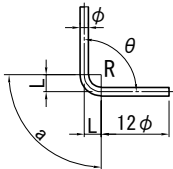
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	3040	22	8.95	27.2	598	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	5040	20	8.95	45.1	902	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	3030	20	8.95	27.1	542	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	5030	22	8.95	45.0	990	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	3030	8	8.95	27.1	217	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	5030	6	8.95	45.0	270	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	3030	6	8.95	27.1	163	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	5030	8	8.95	45.0	360	
						15046 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	202	1.56	8.97	1812	┐ [202]
L 2 ⁰	D16	2350	400	1.56	3.67	1468	┐
L 3 ⁰	D16	2150	400	1.56	3.35	1340	┐
						4620 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			15046 ^{kg}	(112)	-		
D16			4620 ^{kg}	-	[202]		
合 計			19666 ^{kg}	(112)	[202]		
コンクリートアンカー					M12x52	133	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	3150	22	8.95	28.2	620	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	5150	20	8.95	46.1	922	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	3140	20	8.95	28.1	562	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	5140	22	8.95	46.0	1012	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	3130	8	8.95	28.0	224	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	5130	6	8.95	45.9	275	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	3130	6	8.95	28.0	168	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	5130	8	8.95	45.9	367	
						15154	kg
R 1 ⁰	D16	5750	204	1.56	8.97	1830	┐ [204]
R 2 ⁰	D16	2350	404	1.56	3.67	1483	┐
R 3 ⁰	D16	2150	404	1.56	3.35	1353	┐
						4666	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			15154	kg	(112)	-	
D16			4666	kg	-	[204]	
合 計			19820	kg	(112)	[204]	
コンクリートアンカー					M12x52	134	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

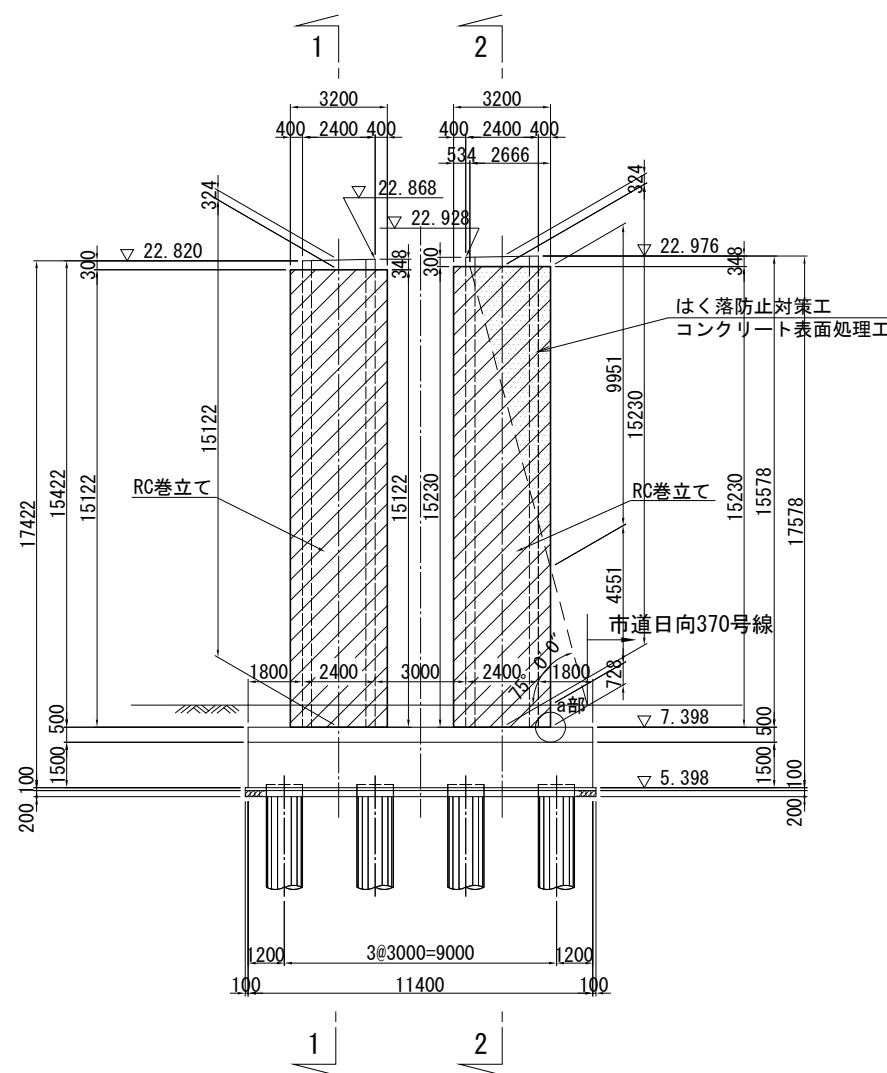
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

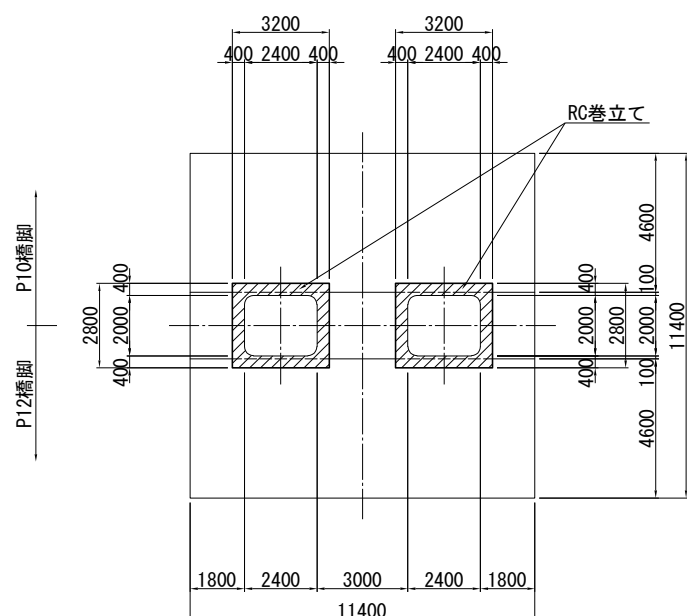
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

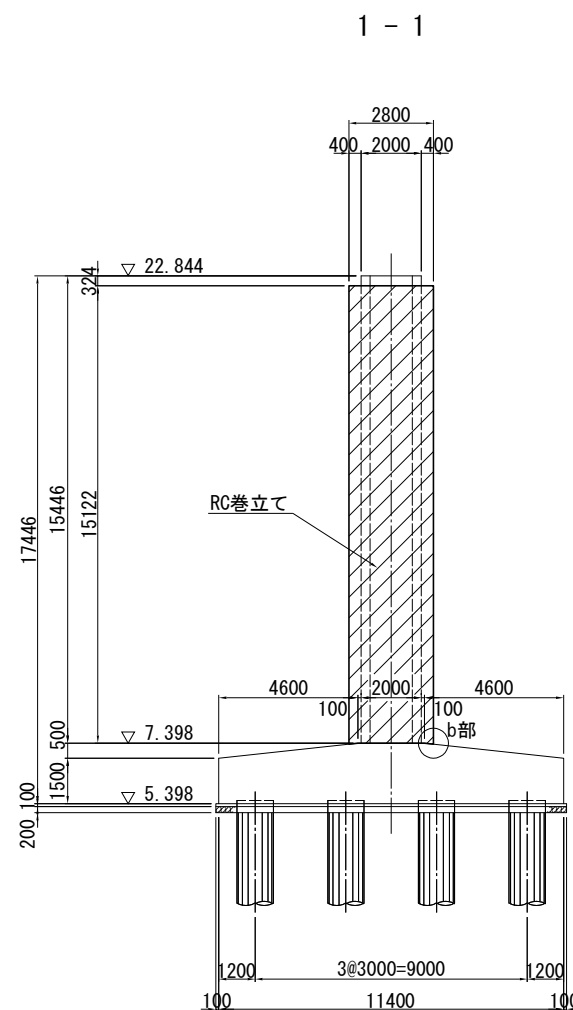
正面図



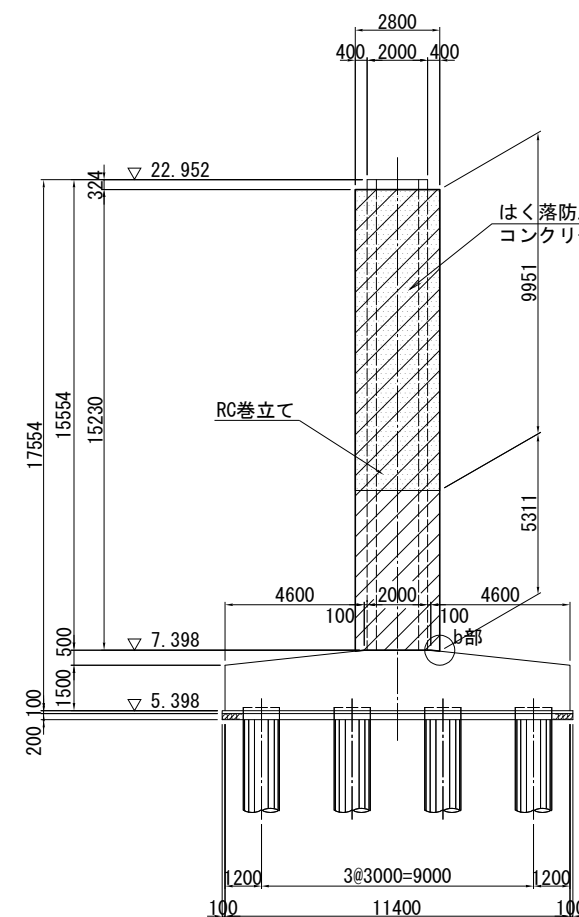
平面図



側面図

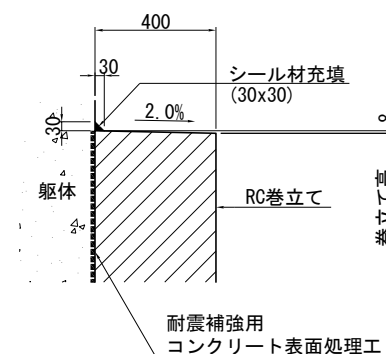


2-2

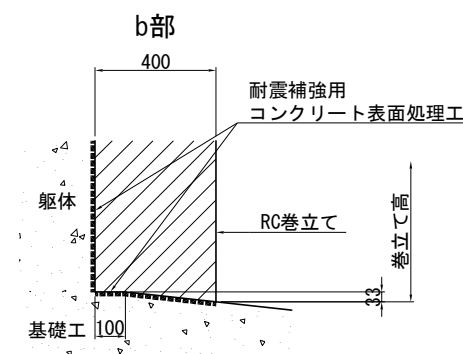
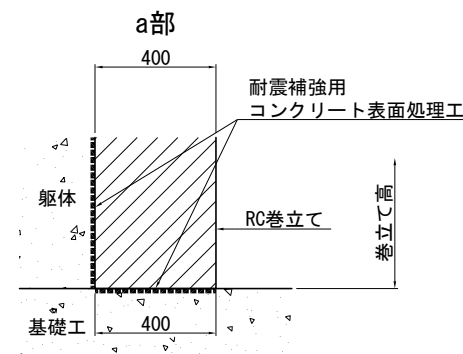


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

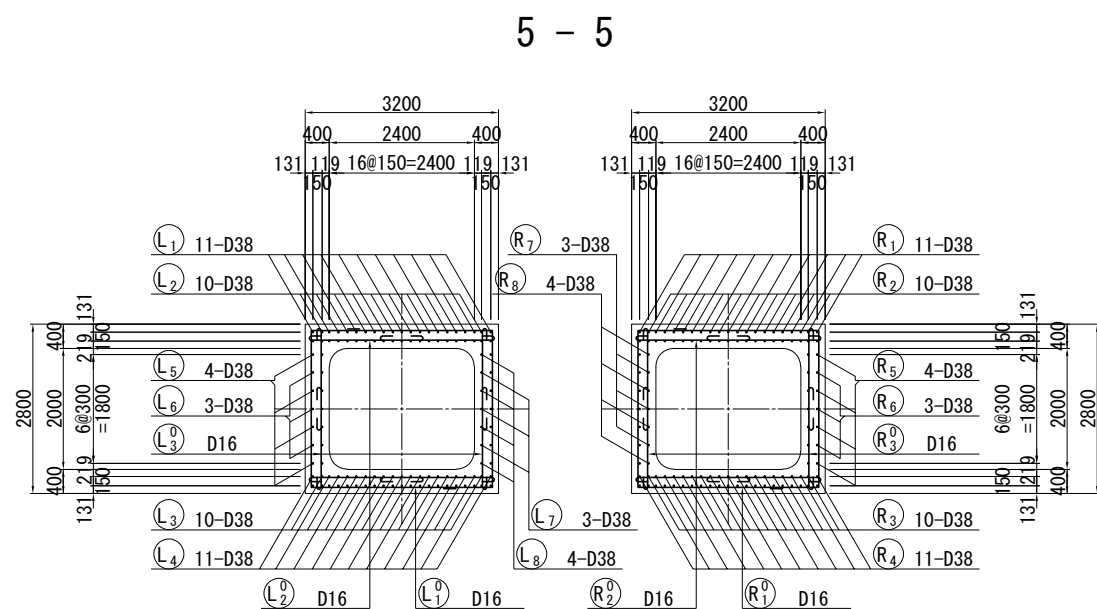
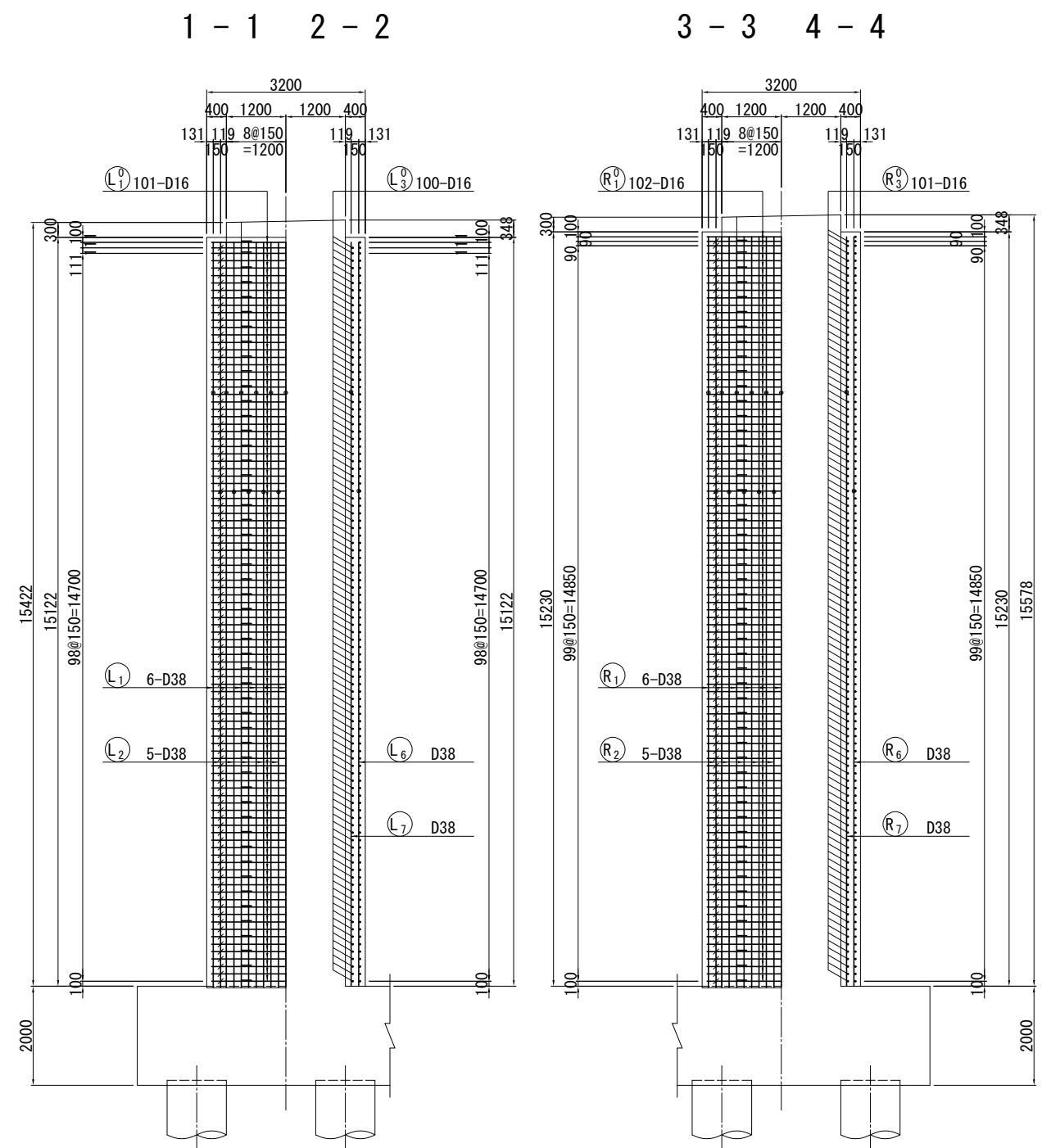


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

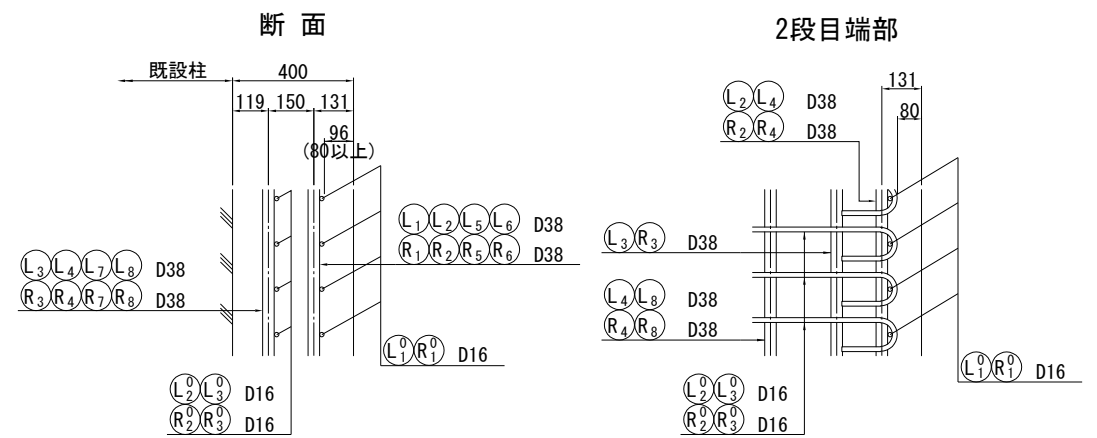
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345
補強部	30 N/mm ²	SD345

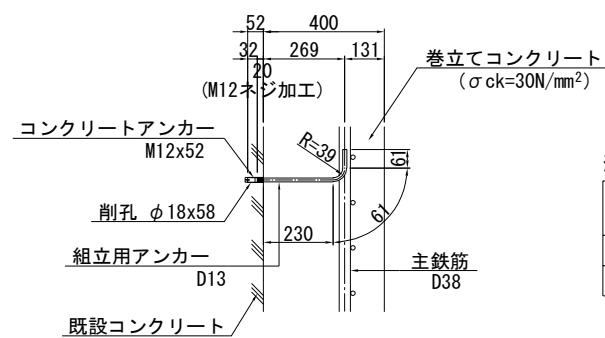
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

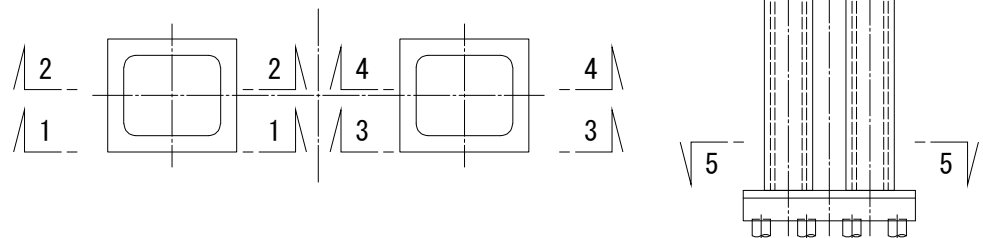


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	133	50
右柱	380	134	51

※組立用アンカー本数
N=133. 1m / 1本/m²=133本
N=134. 1m / 1本/m²=134本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

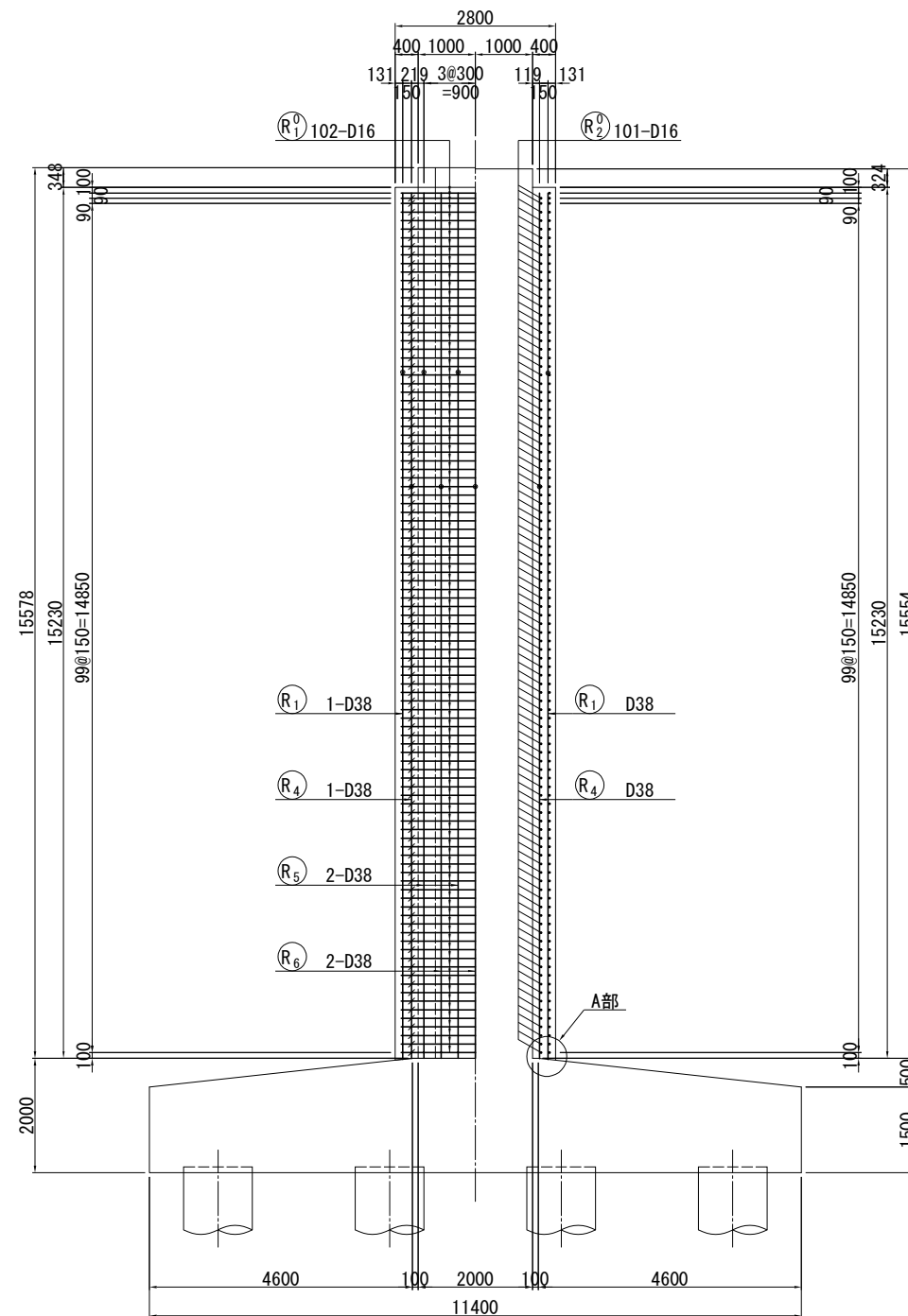
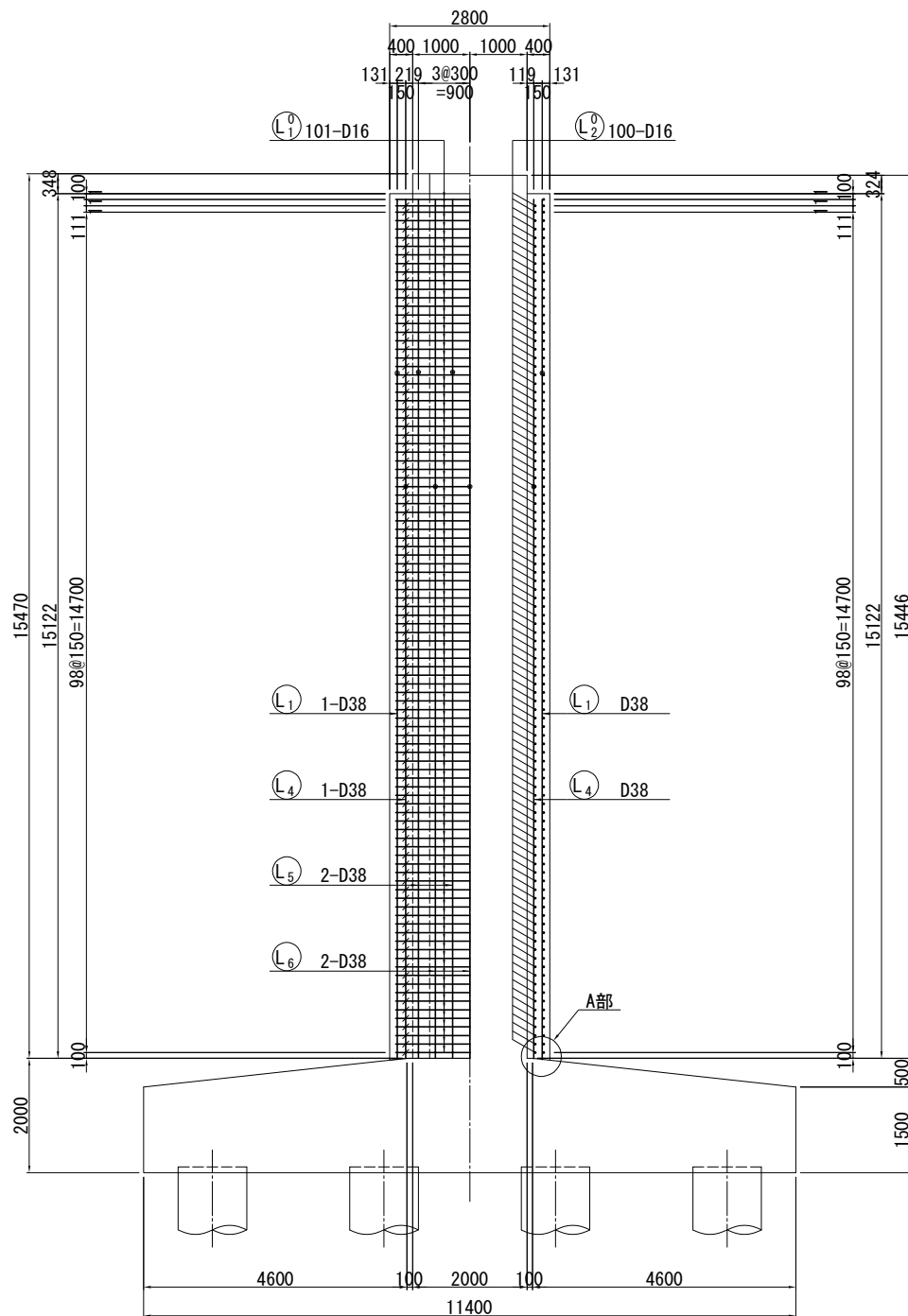
使用材料		仕様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2) S=1:125

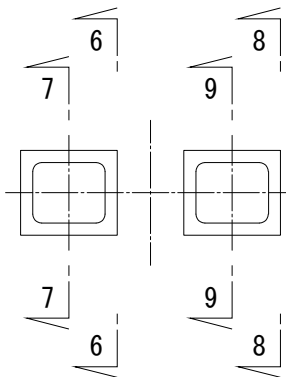
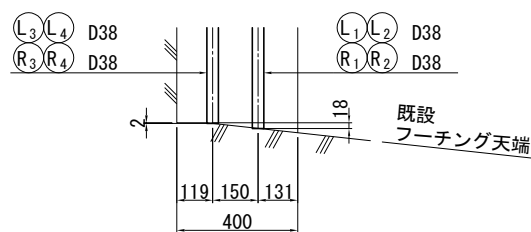
6 - 6 7 - 7

8 - 8 9 - 9



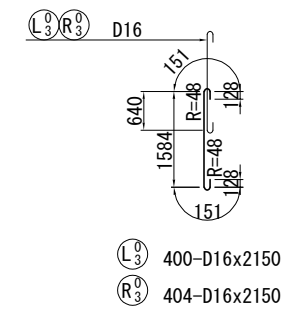
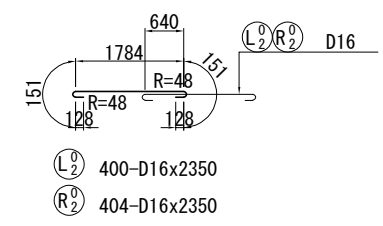
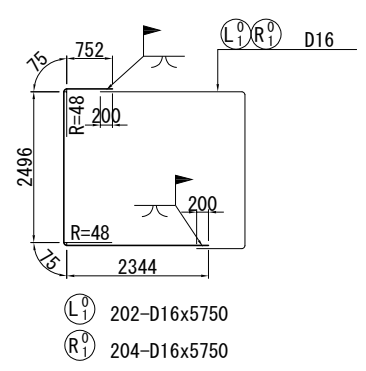
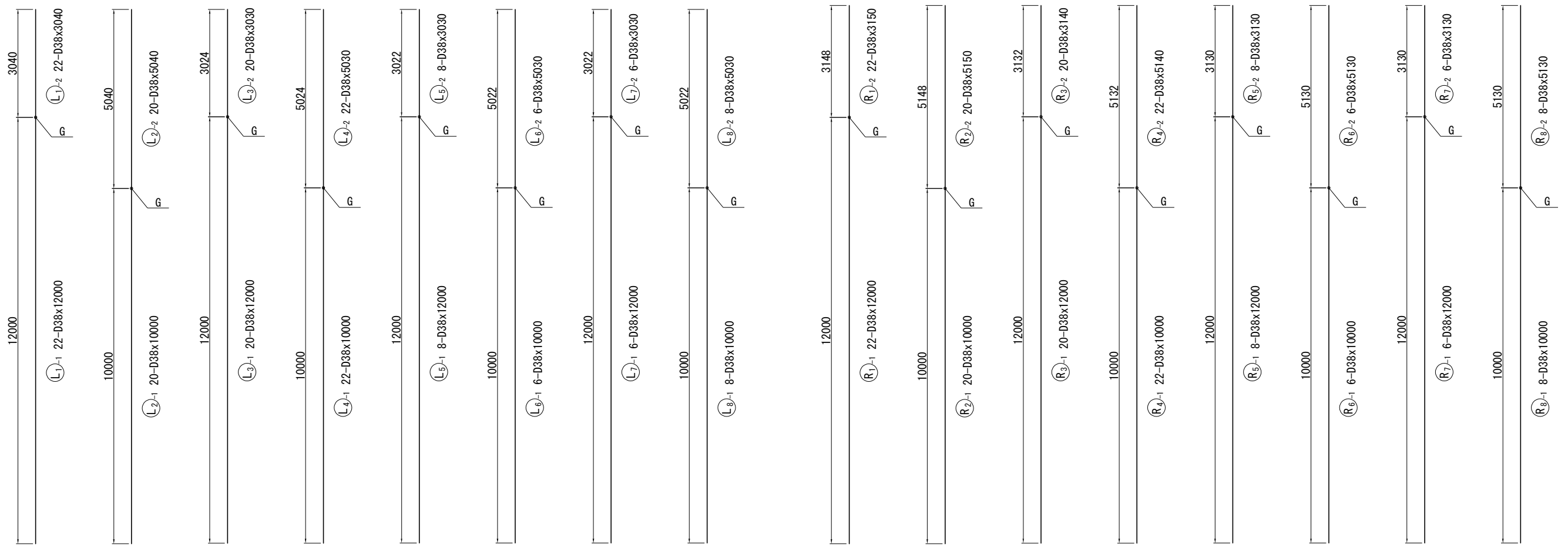
位置図

A部詳細図 S=1:25

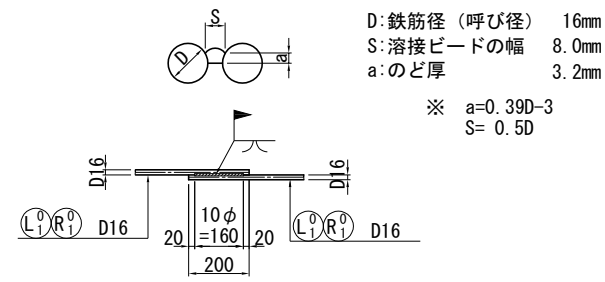


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は 1 断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷支部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

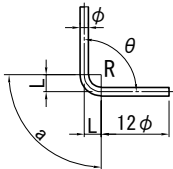
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	3040	22	8.95	27.2	598	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	5040	20	8.95	45.1	902	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	3030	20	8.95	27.1	542	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	5030	22	8.95	45.0	990	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	3030	8	8.95	27.1	217	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	5030	6	8.95	45.0	270	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	3030	6	8.95	27.1	163	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	5030	8	8.95	45.0	360	
						15046 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	202	1.56	8.97	1812	┐ [202]
L 2 ⁰	D16	2350	400	1.56	3.67	1468	┐
L 3 ⁰	D16	2150	400	1.56	3.35	1340	┐
						4620 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			15046 ^{kg}	(112)	-		
D16			4620 ^{kg}	-	[202]		
合 計			19666 ^{kg}	(112)	[202]		
コンクリートアンカー					M12x52	133	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	3150	22	8.95	28.2	620	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	5150	20	8.95	46.1	922	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	3140	20	8.95	28.1	562	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	5140	22	8.95	46.0	1012	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	3130	8	8.95	28.0	224	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	5130	6	8.95	45.9	275	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	3130	6	8.95	28.0	168	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	5130	8	8.95	45.9	367	
						15154	kg
R 1 ⁰	D16	5750	204	1.56	8.97	1830	┐ [204]
R 2 ⁰	D16	2350	404	1.56	3.67	1483	┐
R 3 ⁰	D16	2150	404	1.56	3.35	1353	┐
						4666	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			15154	kg	(112)	-	
D16			4666	kg	-	[204]	
合 計			19820	kg	(112)	[204]	
コンクリートアンカー					M12x52	134	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

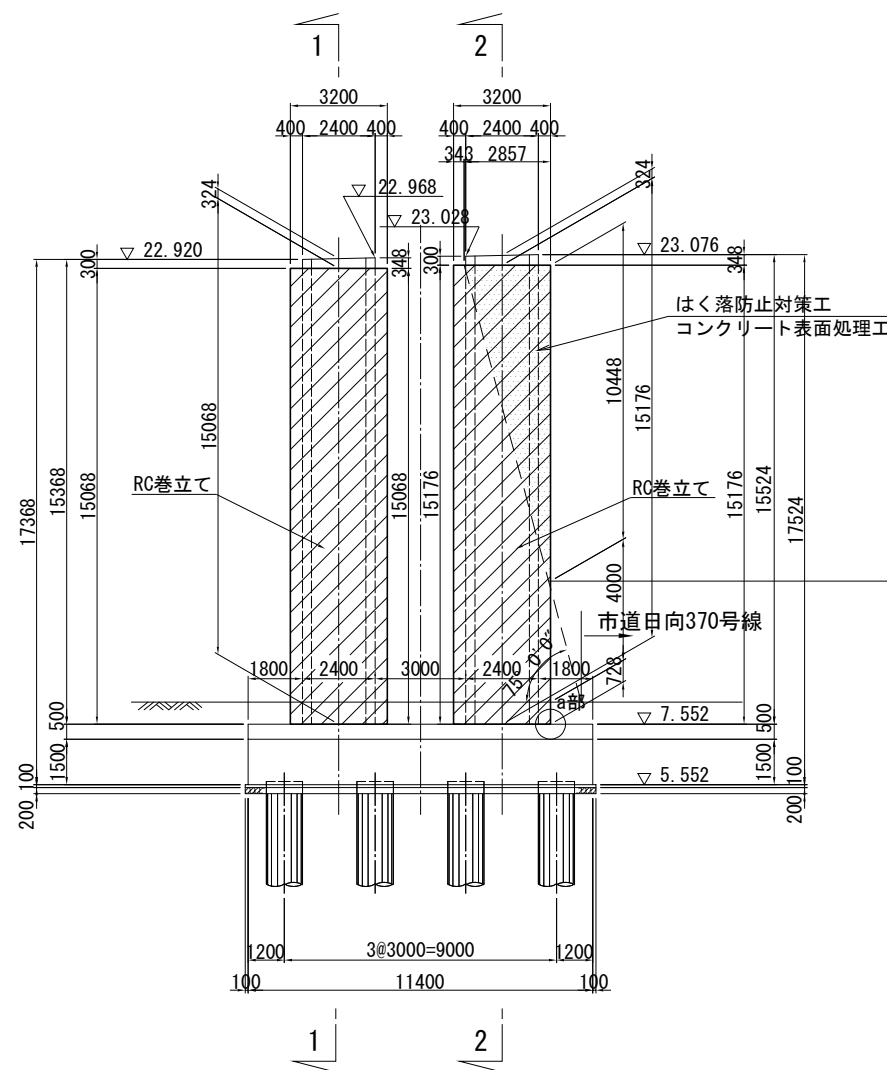
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

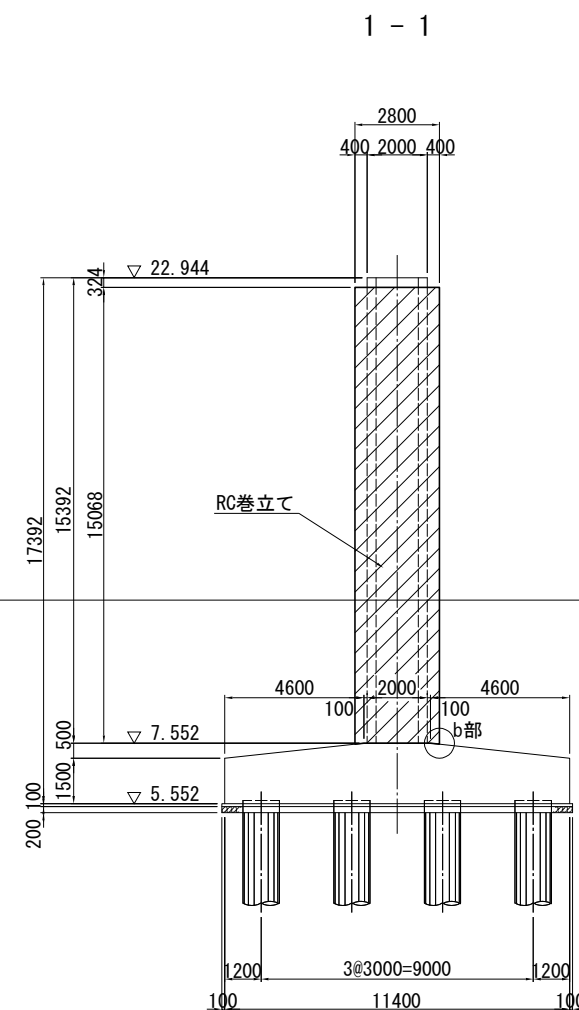
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

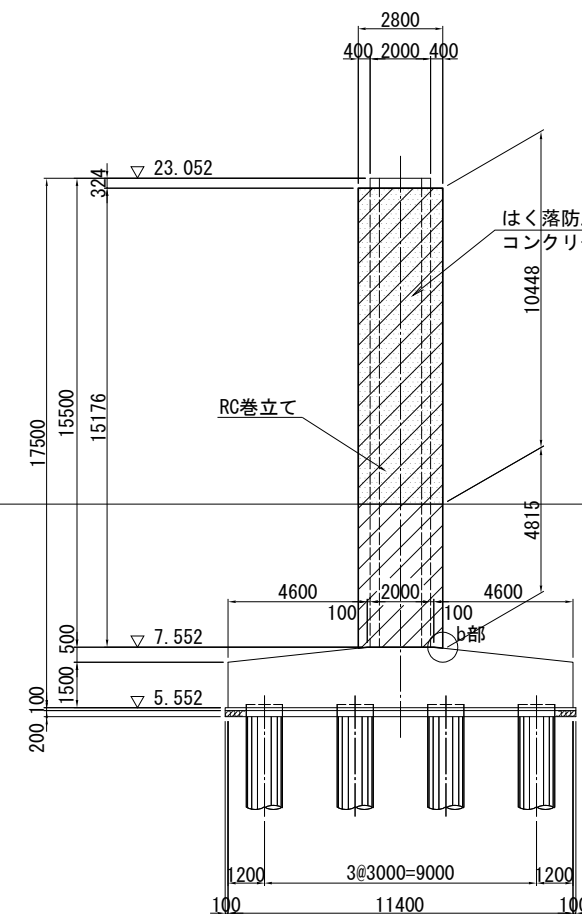
正面図



側面図

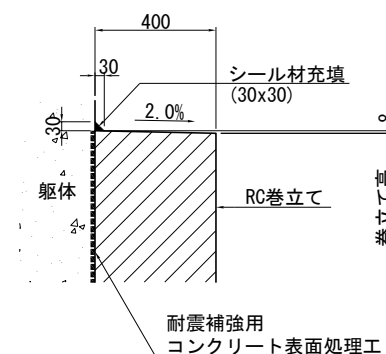


2-2

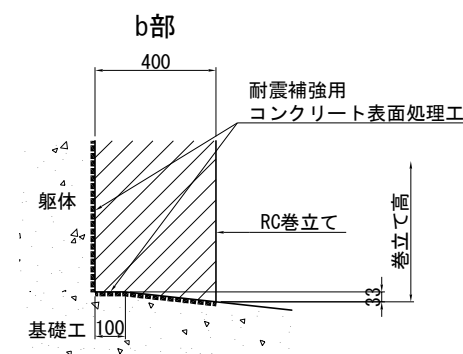
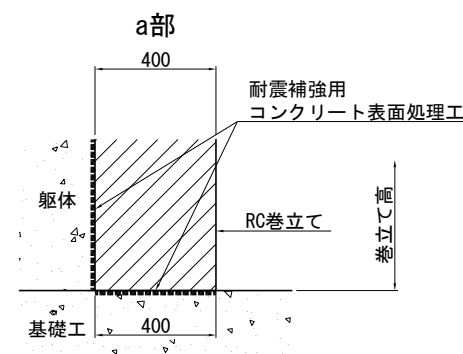


巻立て部詳細図 S=1:25

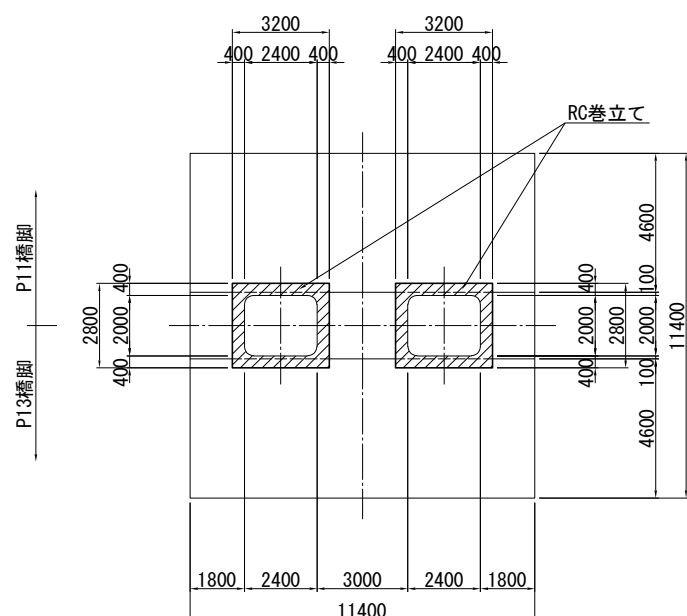
巻立て部(上部)



巻立て部(下部)



平面図

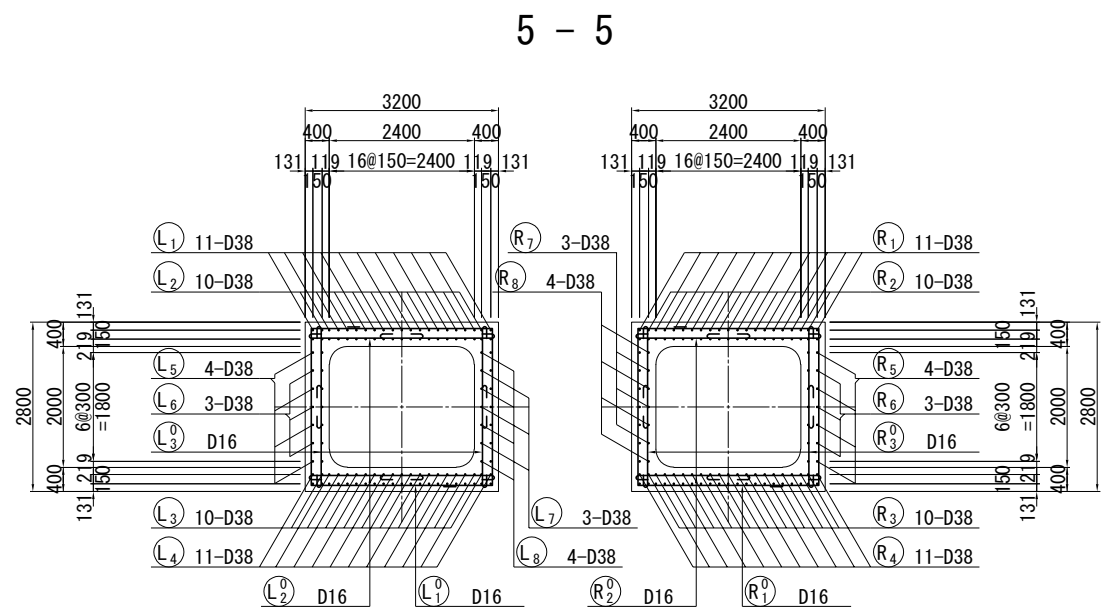
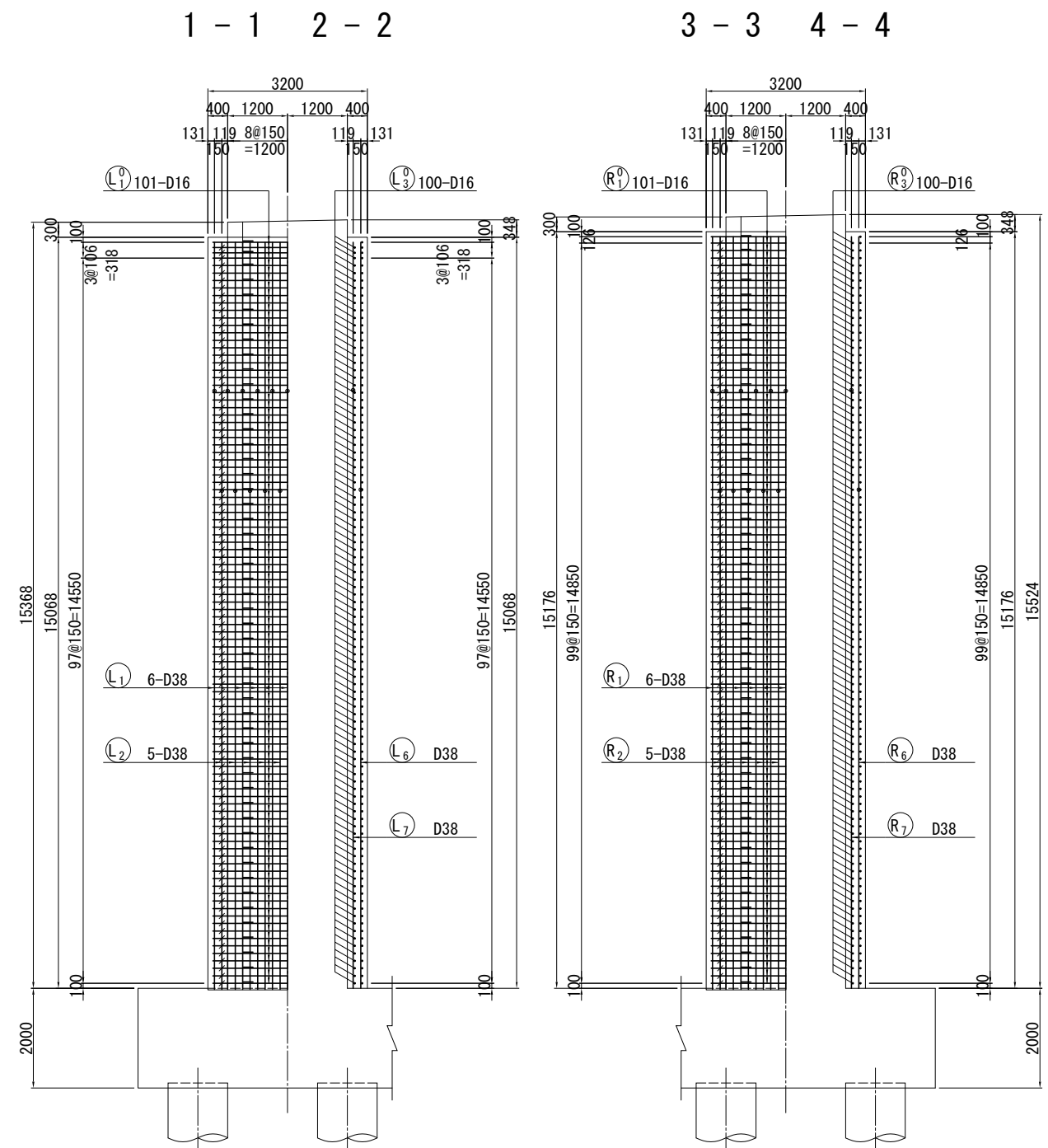


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

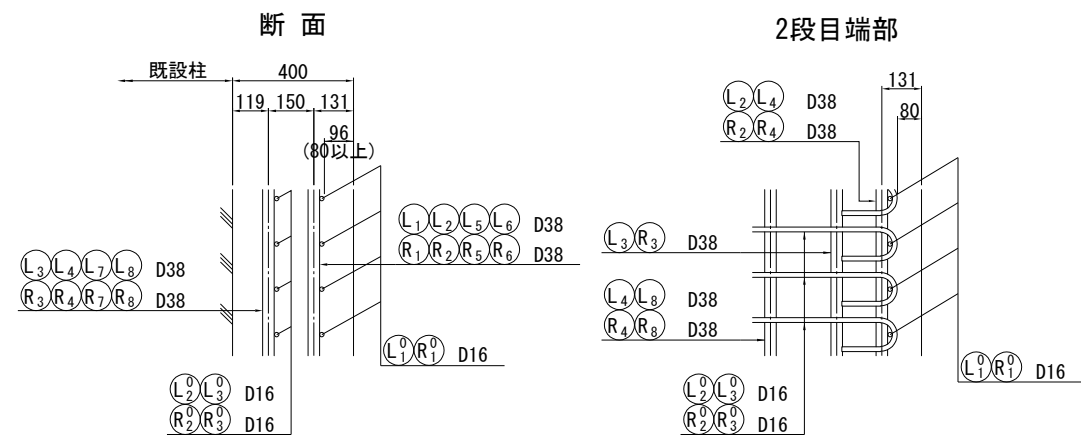
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

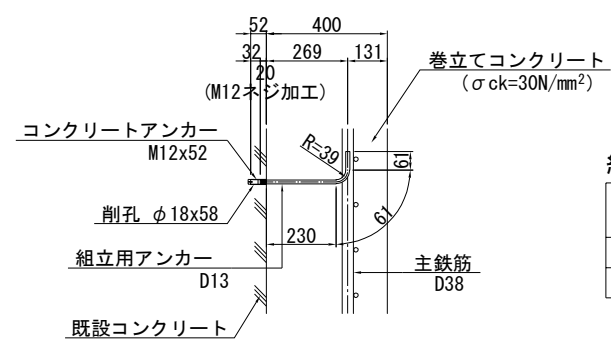
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P12橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

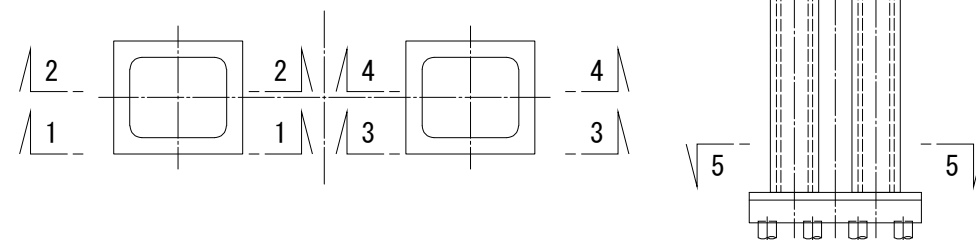


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	133	50
右柱	380	134	51

※組立用アンカー本数
N=132.6m²/1本/m²=133本
N=133.6m²/1本/m²=134本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図

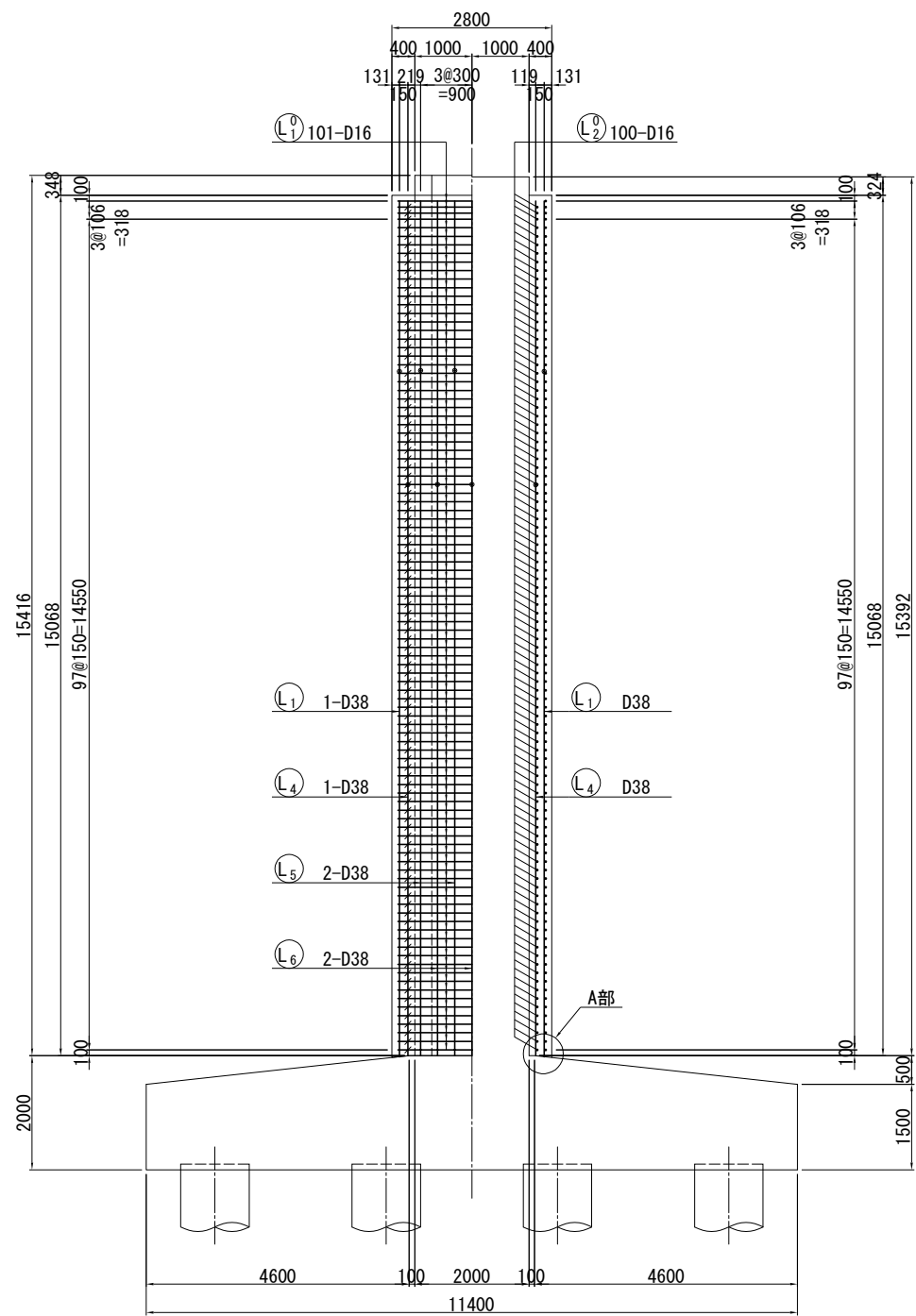


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

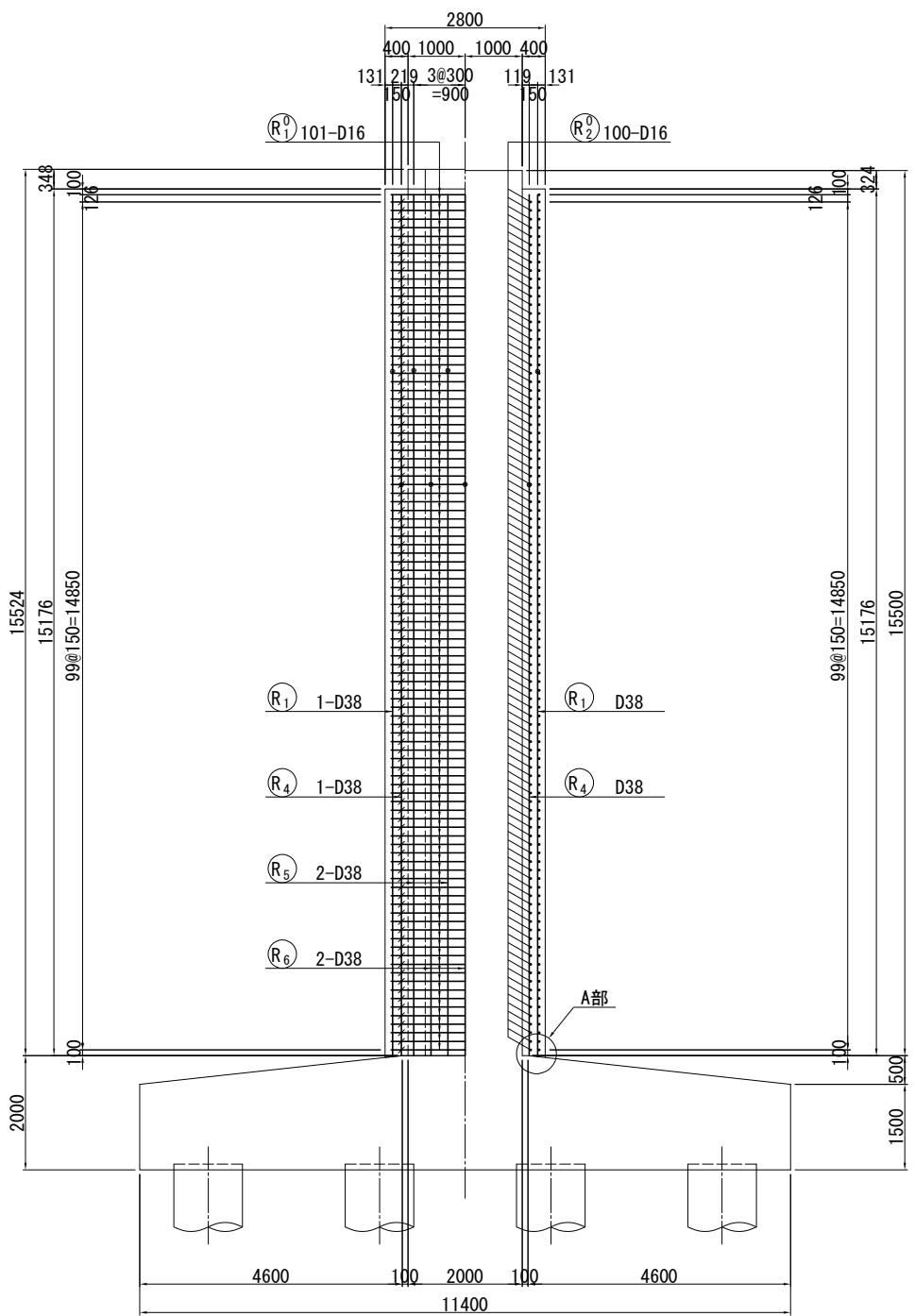
使用材料		仕様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P12橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

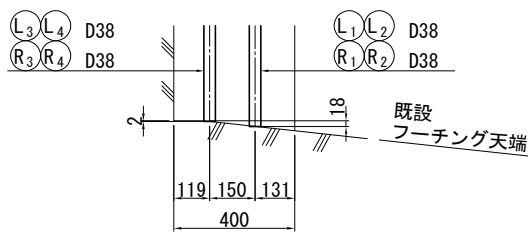
6 - 6 7 - 7



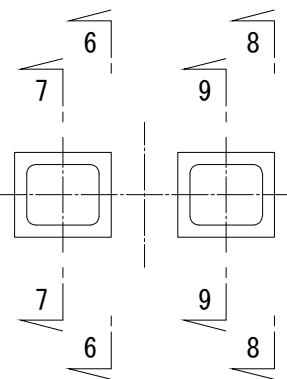
8 - 8 9 - 9



A部詳細図 S=1:25

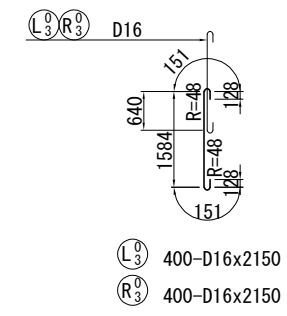
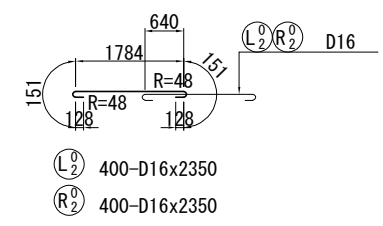
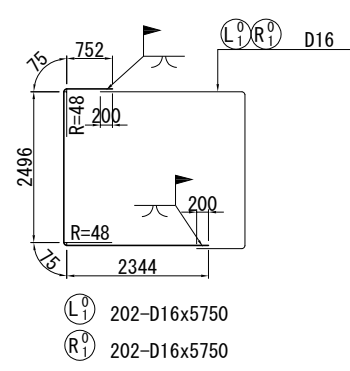
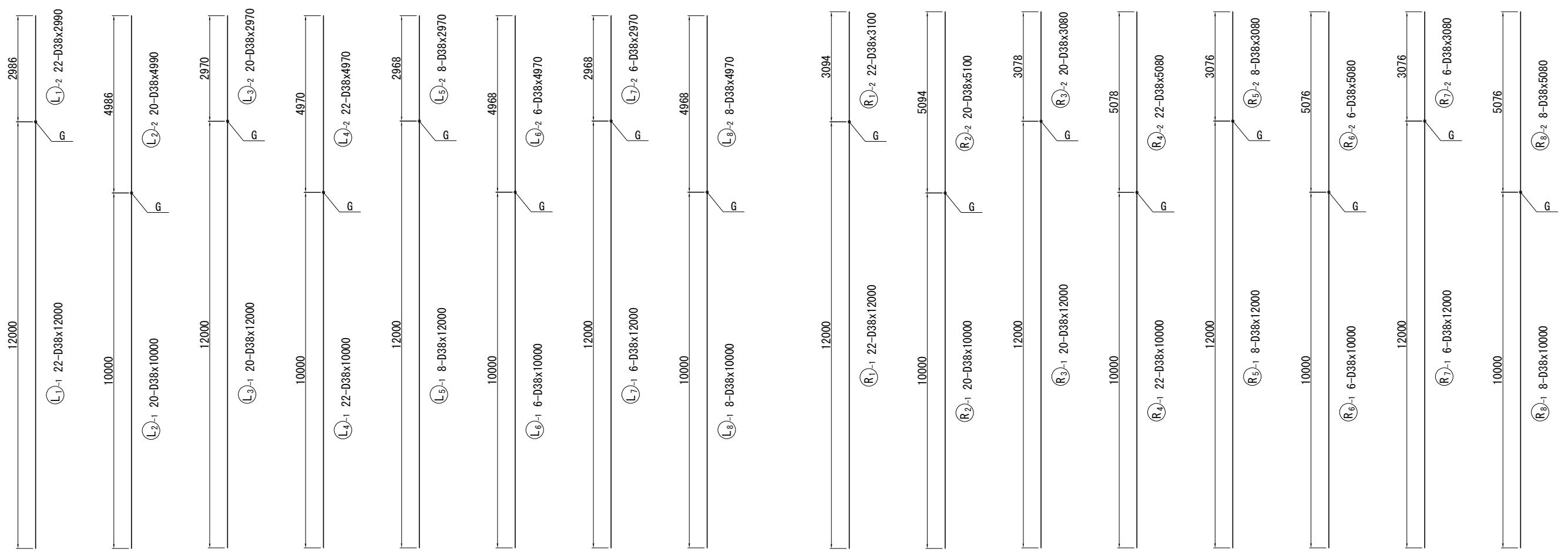


位置図

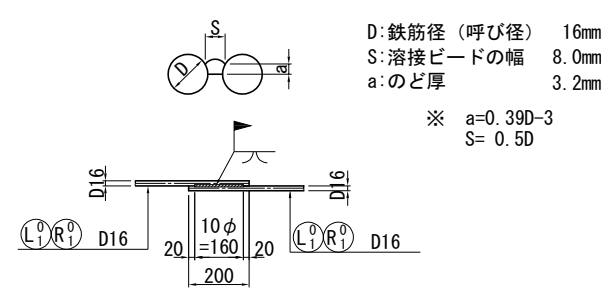


注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P12橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P12橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

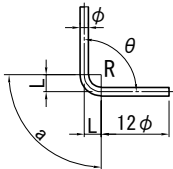
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	2990	22	8.95	26.8	590	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	4990	20	8.95	44.7	894	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	2970	20	8.95	26.6	532	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	4970	22	8.95	44.5	979	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	2970	8	8.95	26.6	213	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	4970	6	8.95	44.5	267	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	2970	6	8.95	26.6	160	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	4970	8	8.95	44.5	356	
14995 ^{kg}							
L 1 ⁰	D16	5750	202	1.56	8.97	1812	┐ [202]
L 2 ⁰	D16	2350	400	1.56	3.67	1468	┐
L 3 ⁰	D16	2150	400	1.56	3.35	1340	┐
4620 ^{kg}							
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			14995 ^{kg}	(112)	-		
D16			4620 ^{kg}	-	[202]		
合 計			19615 ^{kg}	(112)	[202]		
コンクリートアンカー					M12x52	133	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	3100	22	8.95	27.7	609	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	5100	20	8.95	45.6	912	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	3080	20	8.95	27.6	552	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	5080	22	8.95	45.5	1001	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	3080	8	8.95	27.6	221	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	5080	6	8.95	45.5	273	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	3080	6	8.95	27.6	166	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	5080	8	8.95	45.5	364	
						15102	kg
R 1 ⁰	D16	5750	202	1.56	8.97	1812	┐ [202]
R 2 ⁰	D16	2350	400	1.56	3.67	1468	┐
R 3 ⁰	D16	2150	400	1.56	3.35	1340	┐
						4620	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			15102	kg	(112)	-	
D16			4620	kg	-	[202]	
合 計			19722	kg	(112)	[202]	
コンクリートアンカー					M12x52	134	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

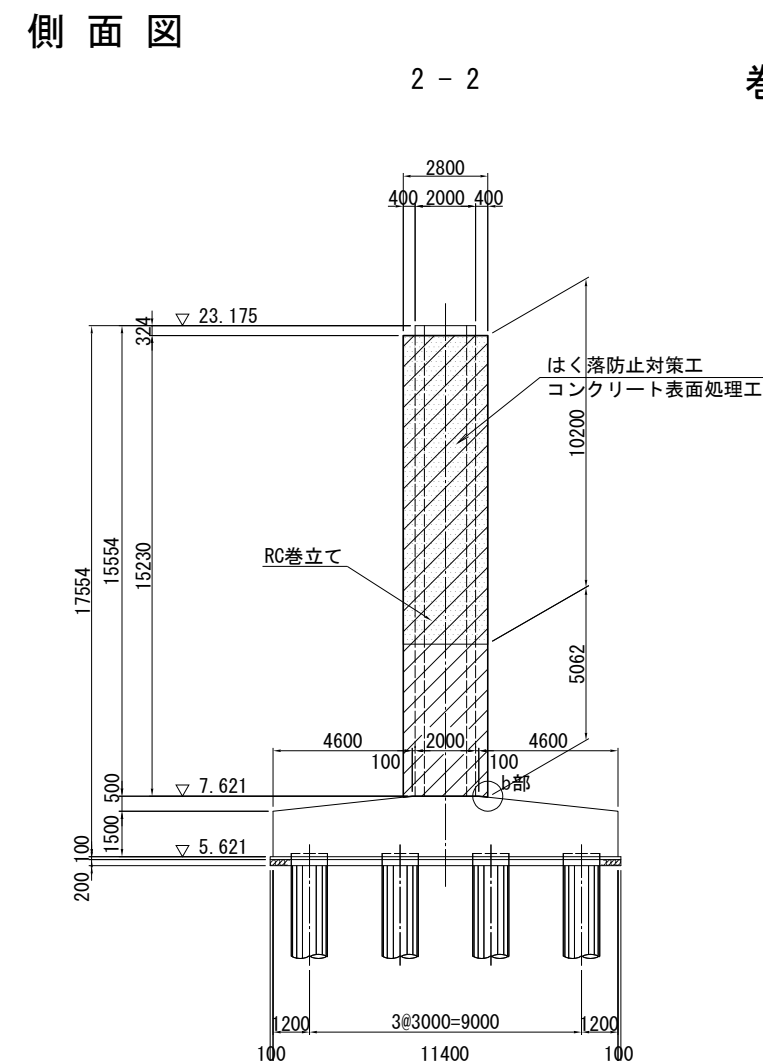
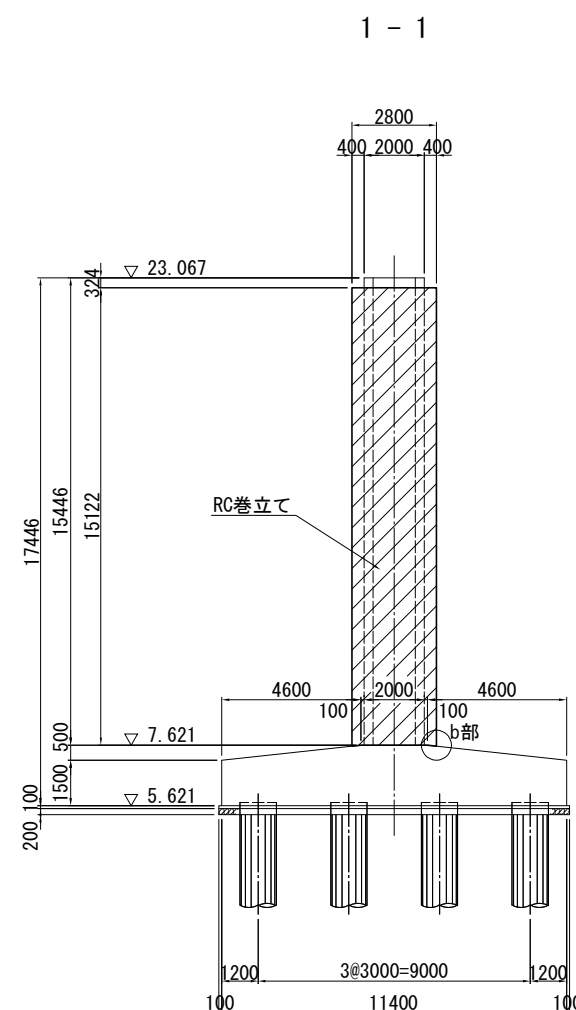
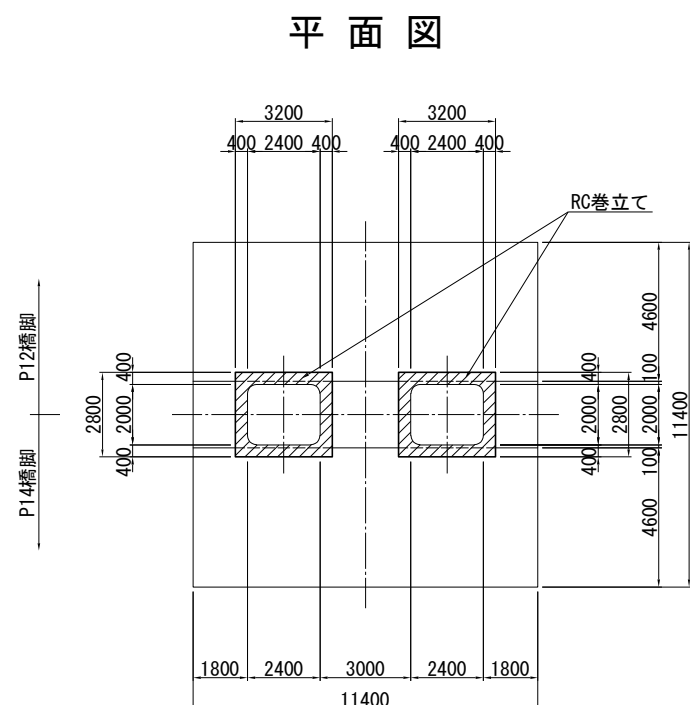
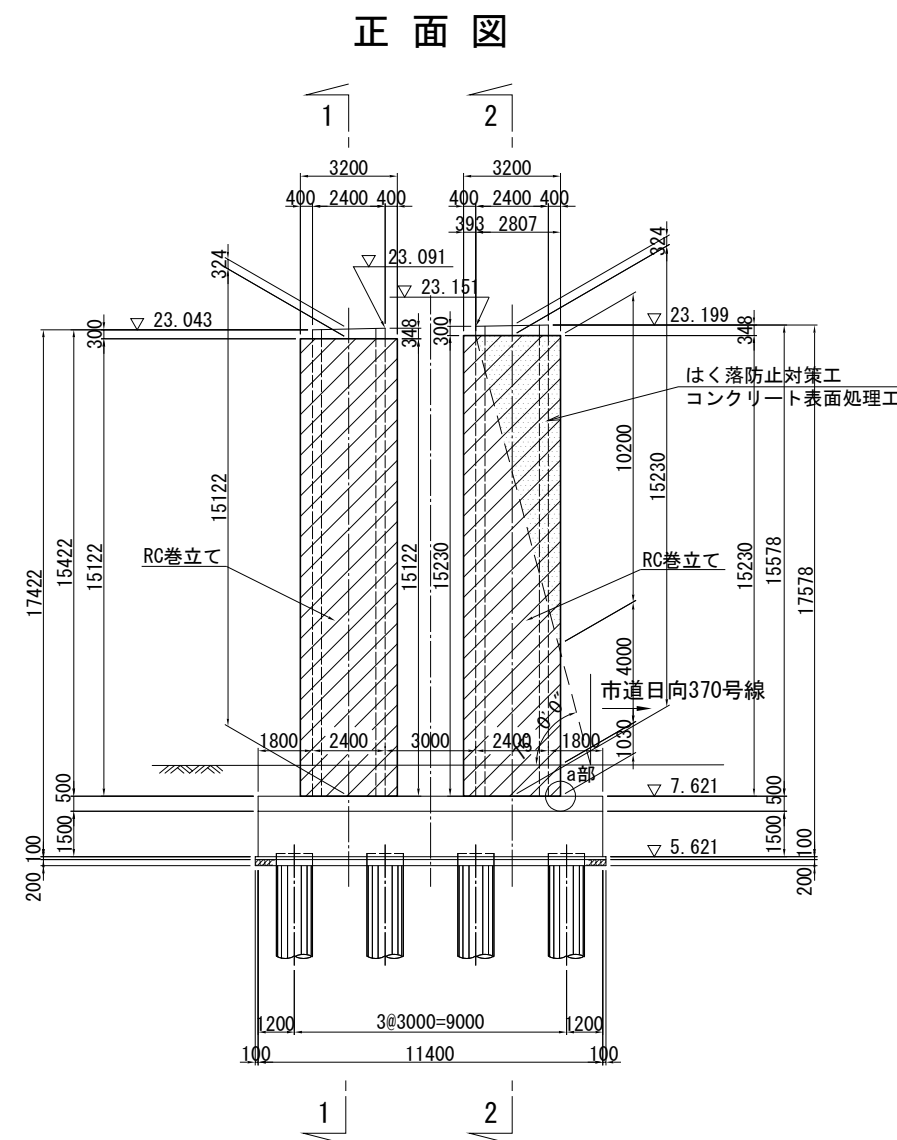
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

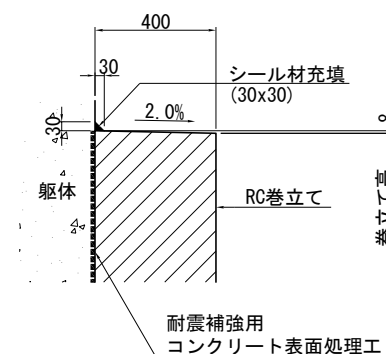
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P12橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強一般図 S=1:250

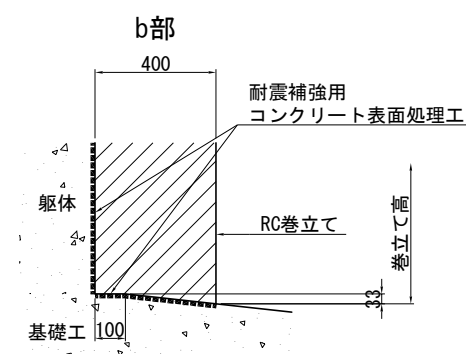
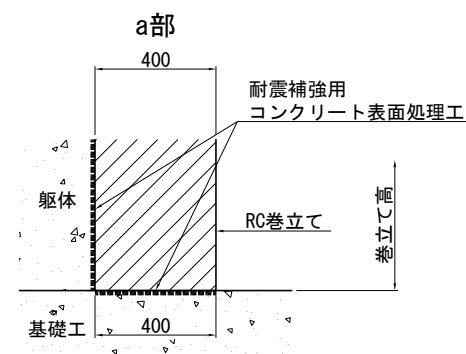


巻立て部詳細図 S=1:25

卷立て部(上部)



卷立て部(下部)

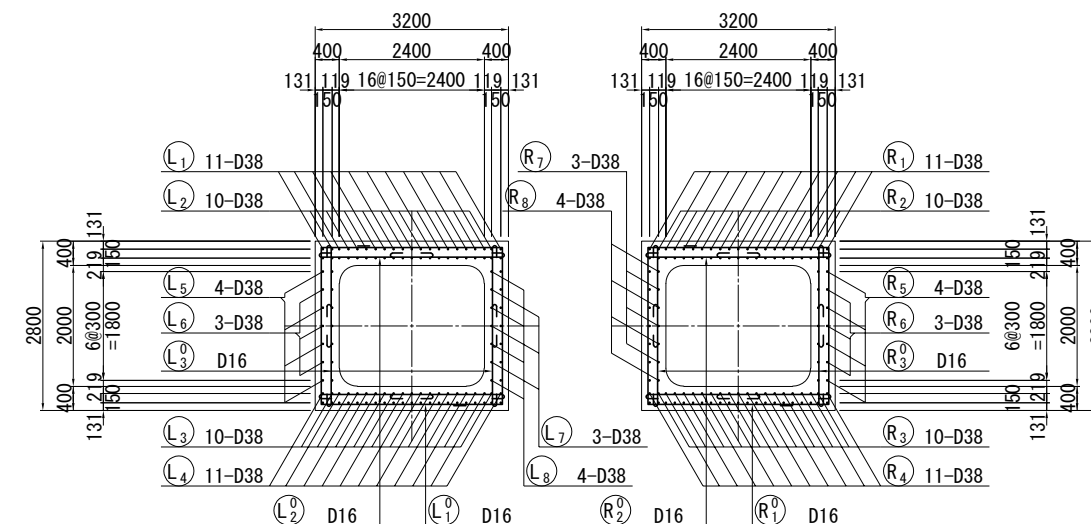
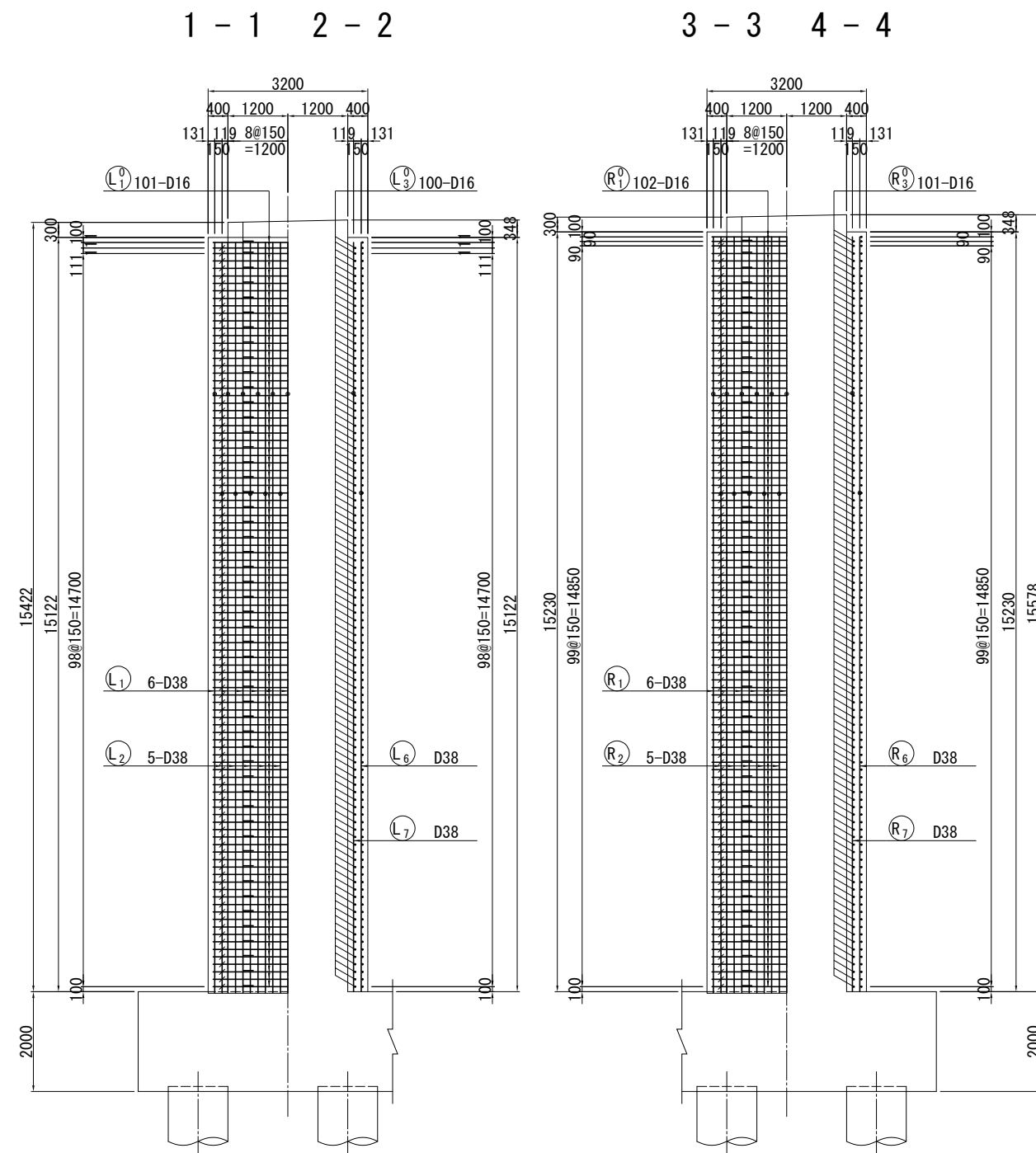


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

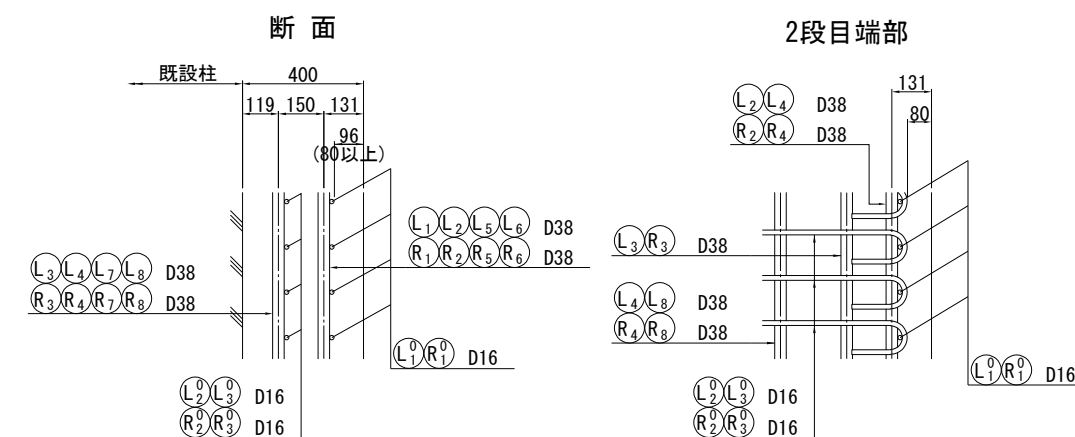
使用材料

工 種		仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

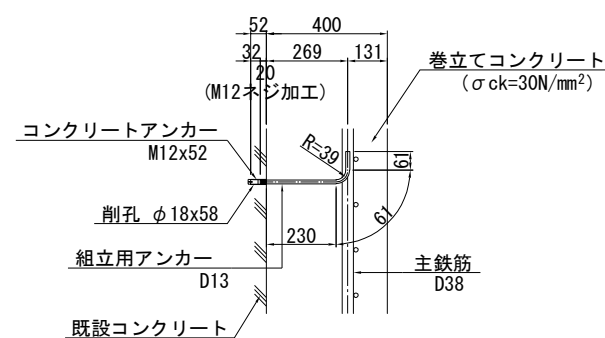
	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



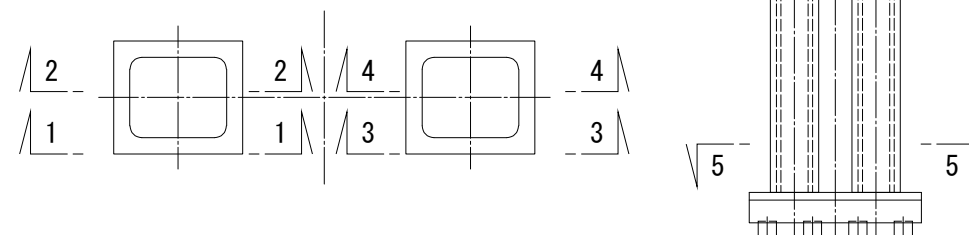
組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	133	50
右柱	380	134	51

※組立用アンカー本数
N=133. 1m²/1本/m²=133本
N=134. 1m²/1本/m²=134本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図

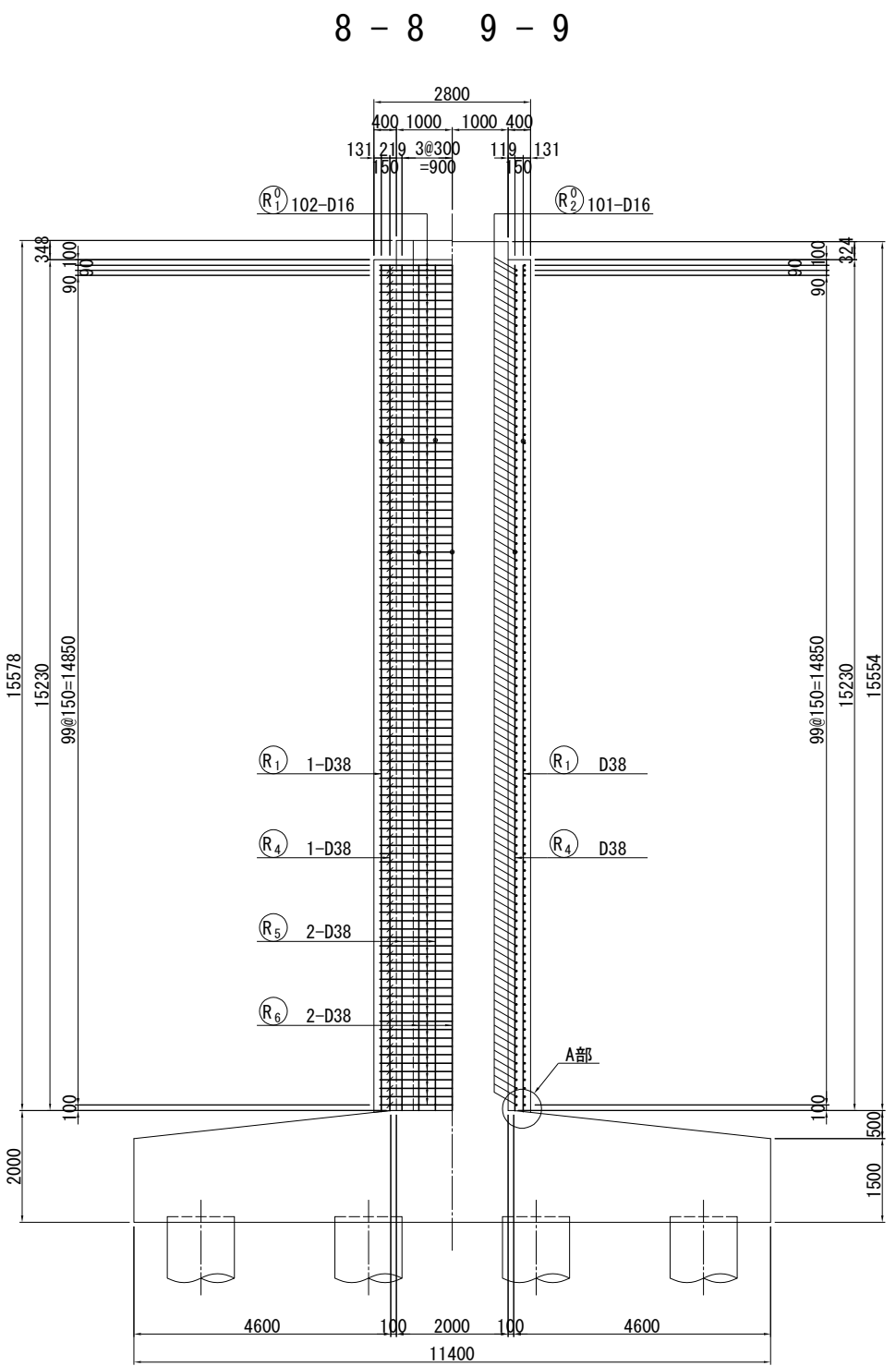
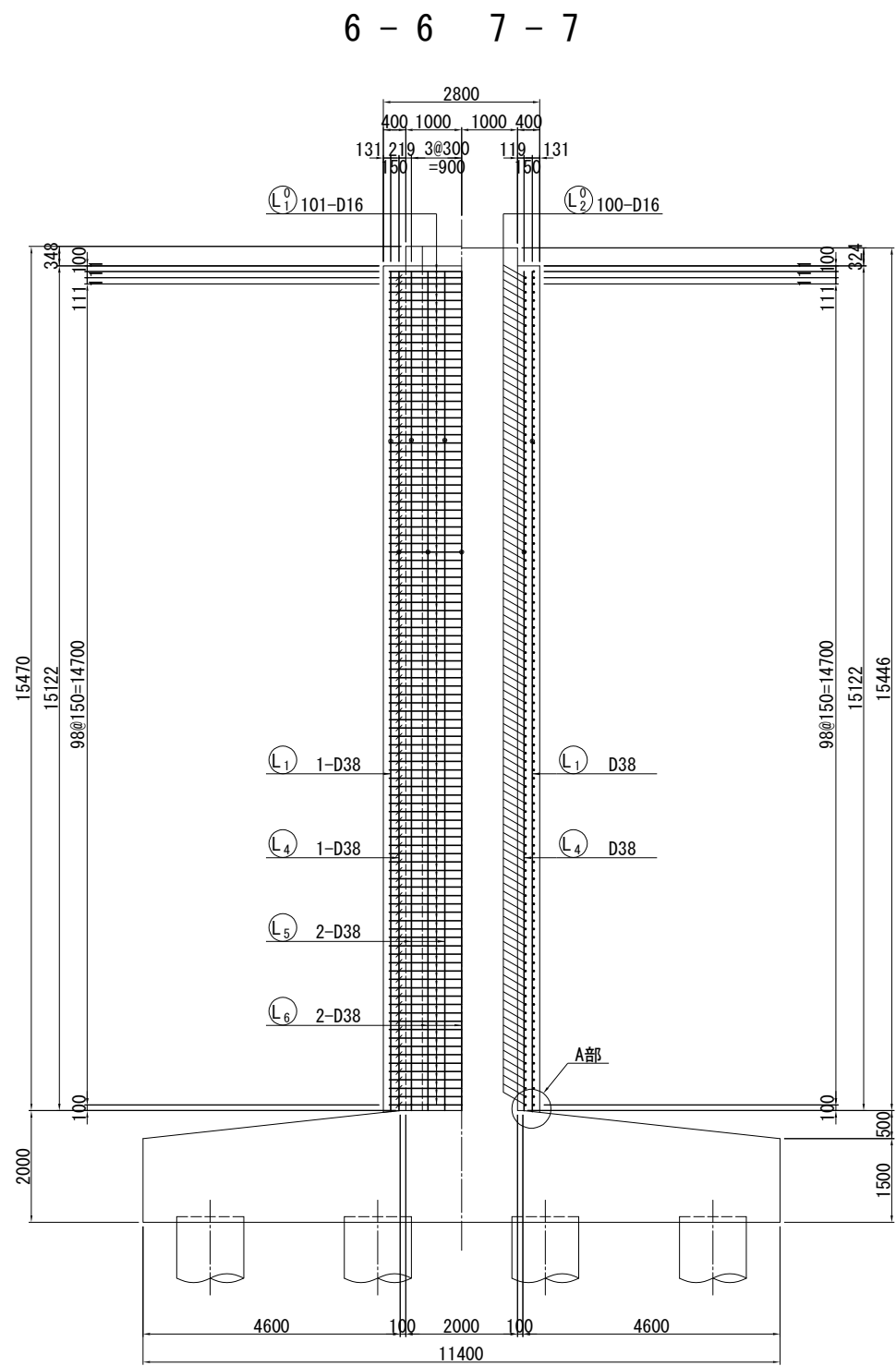


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

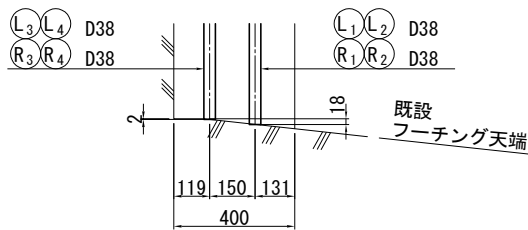
使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

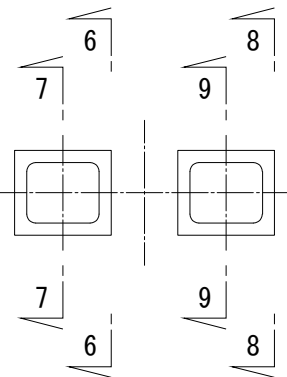
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



A部詳細図 S=1:25

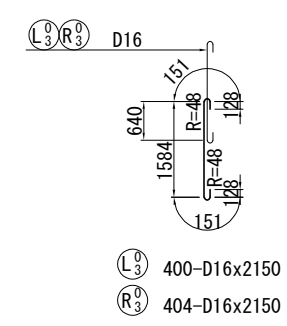
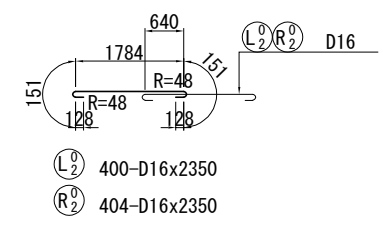
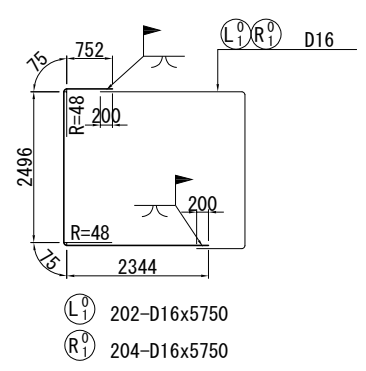
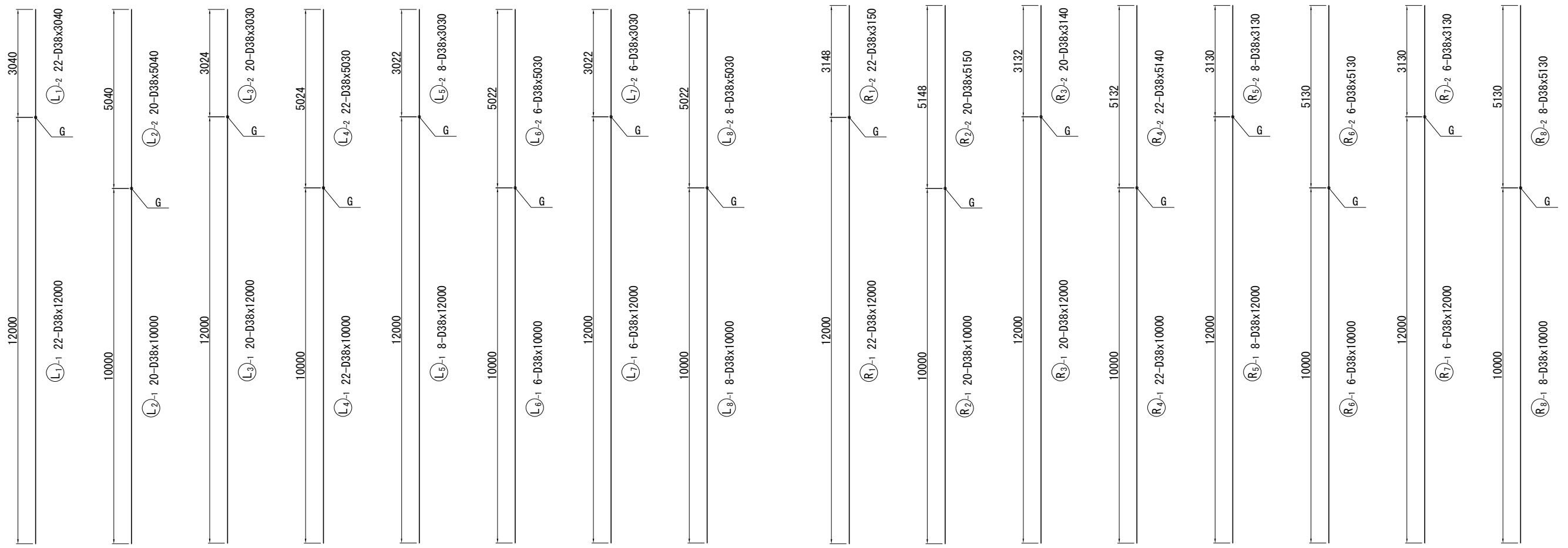


位置図

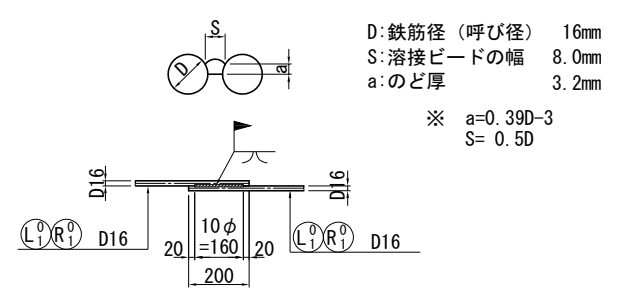


注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

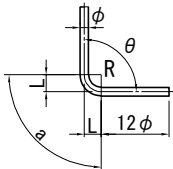
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	3040	22	8.95	27.2	598	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	5040	20	8.95	45.1	902	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	3030	20	8.95	27.1	542	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	5030	22	8.95	45.0	990	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	3030	8	8.95	27.1	217	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	5030	6	8.95	45.0	270	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	3030	6	8.95	27.1	163	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	5030	8	8.95	45.0	360	
						15046 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	202	1.56	8.97	1812	┐ [202]
L 2 ⁰	D16	2350	400	1.56	3.67	1468	┐
L 3 ⁰	D16	2150	400	1.56	3.35	1340	┐
						4620 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			15046 ^{kg}	(112)	-		
D16			4620 ^{kg}	-	[202]		
合 計			19666 ^{kg}	(112)	[202]		
コンクリートアンカー					M12x52	133	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	3150	22	8.95	28.2	620	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	5150	20	8.95	46.1	922	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	3140	20	8.95	28.1	562	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	5140	22	8.95	46.0	1012	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	3130	8	8.95	28.0	224	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	5130	6	8.95	45.9	275	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	3130	6	8.95	28.0	168	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	5130	8	8.95	45.9	367	
						15154	kg
R 1 ⁰	D16	5750	204	1.56	8.97	1830	┐ [204]
R 2 ⁰	D16	2350	404	1.56	3.67	1483	┐
R 3 ⁰	D16	2150	404	1.56	3.35	1353	┐
						4666	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			15154	kg	(112)	-	
D16			4666	kg	-	[204]	
合 計			19820	kg	(112)	[204]	
コンクリートアンカー					M12x52	134	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

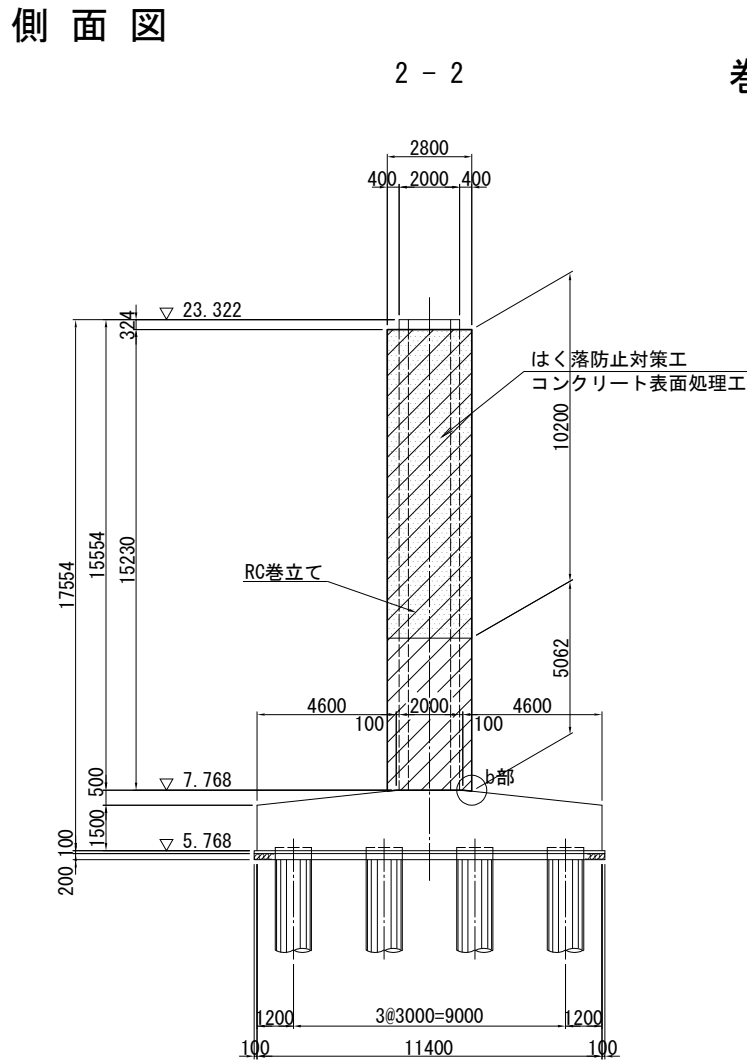
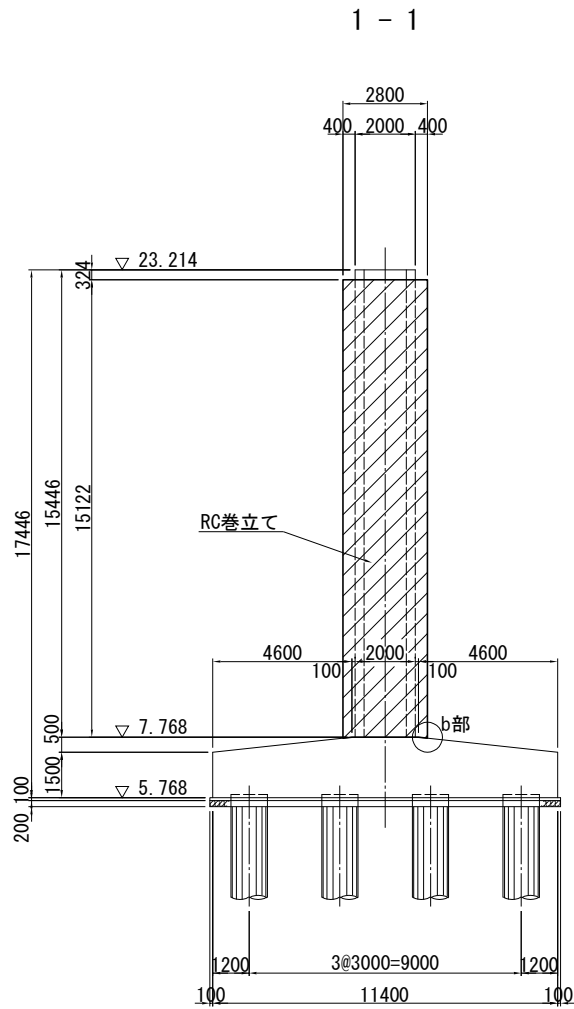
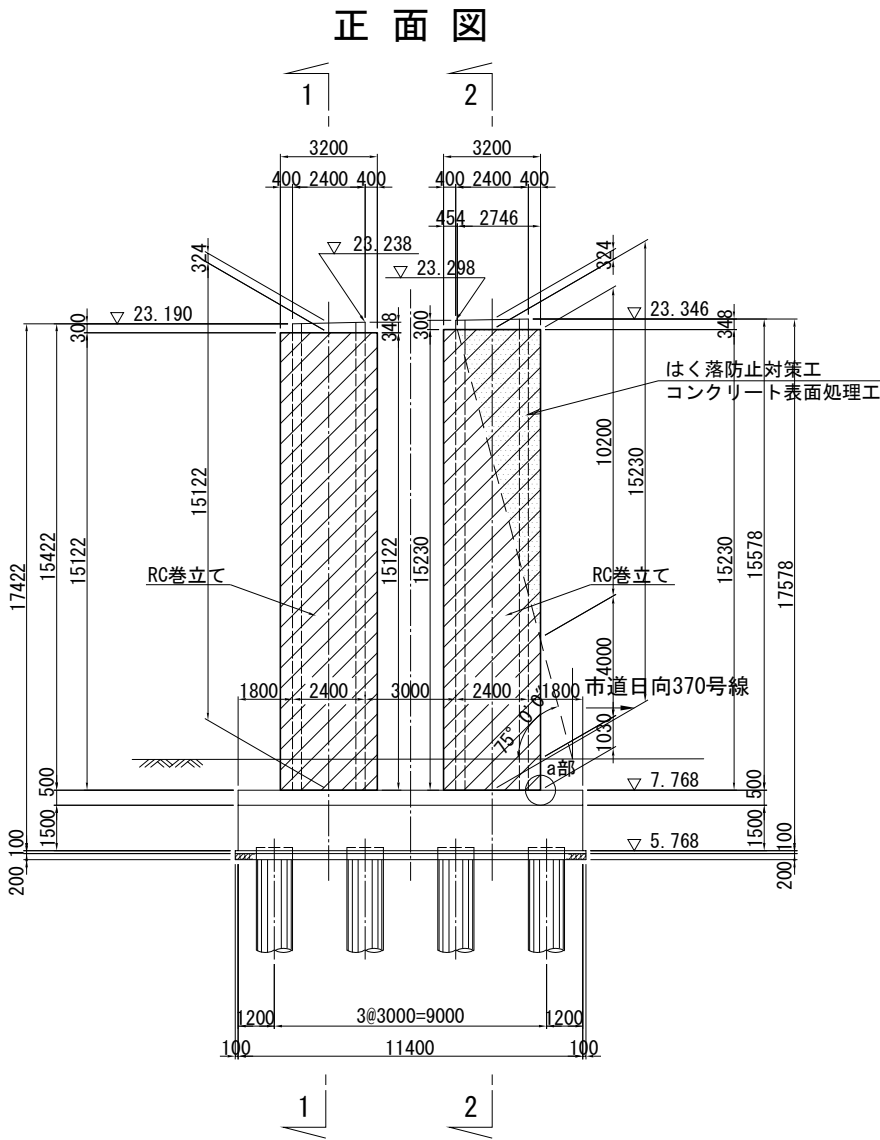
										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

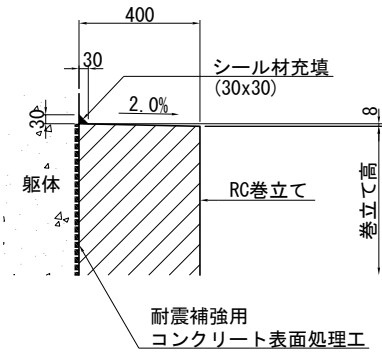
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P13橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

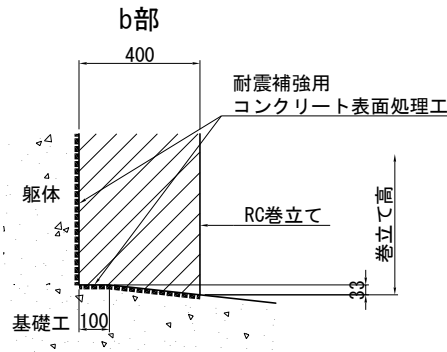
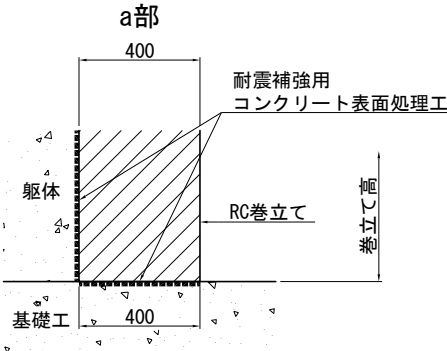


巻立て部詳細図 S=1:25

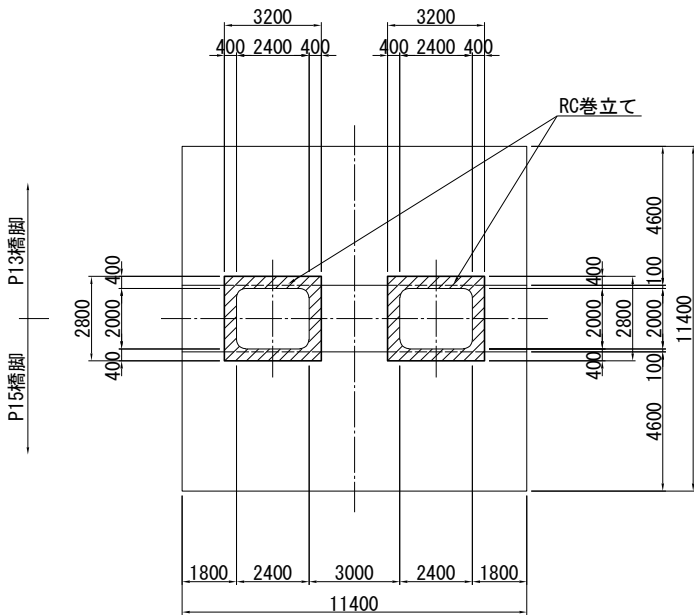
巻立て部(上部)



巻立て部(下部)



平面図

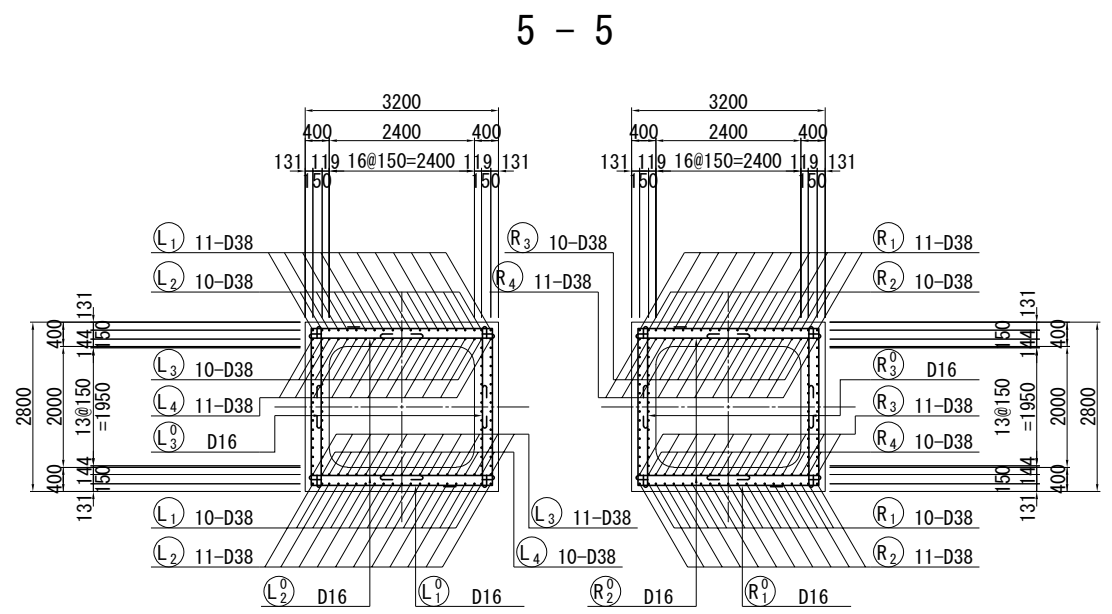
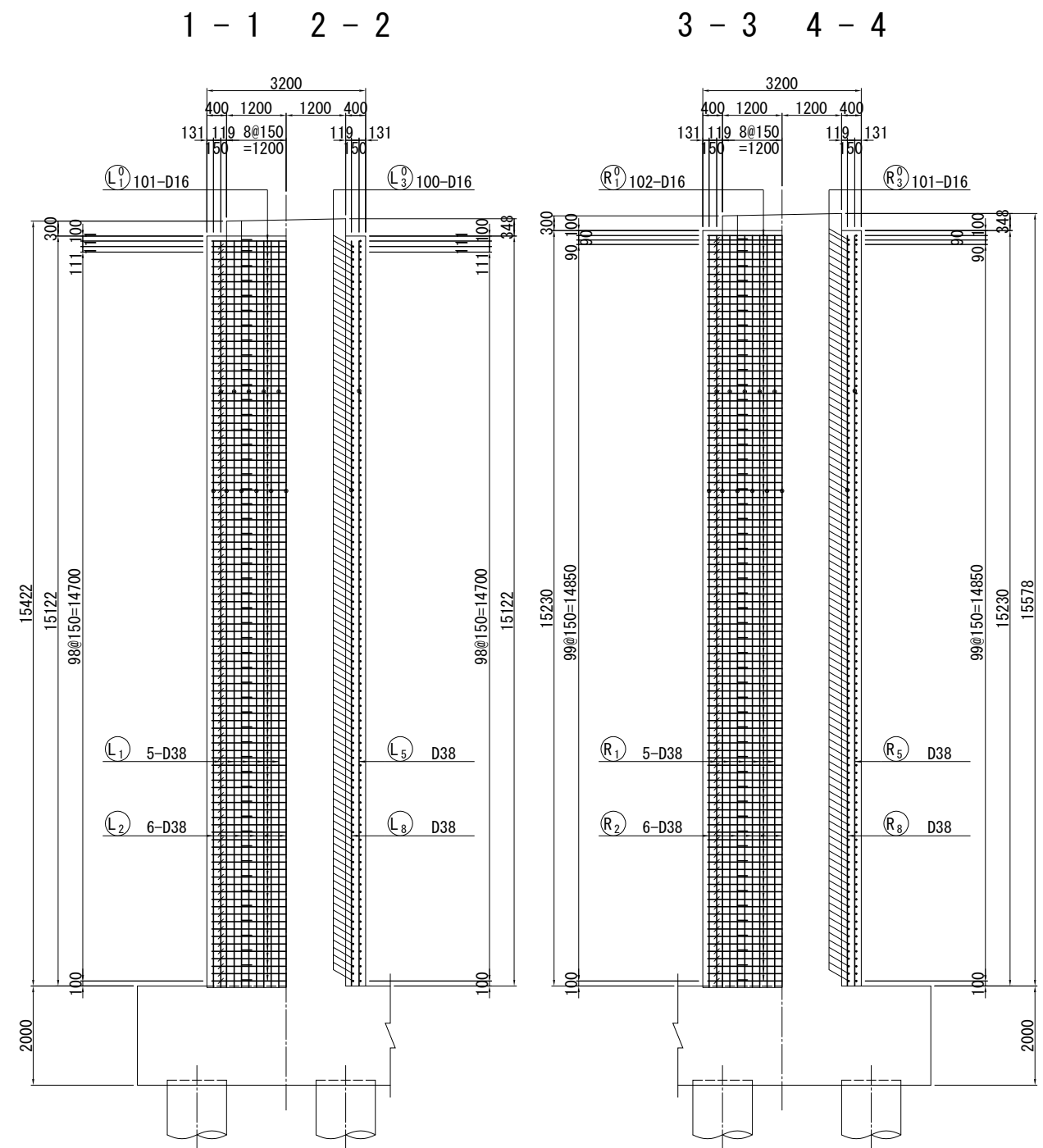


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

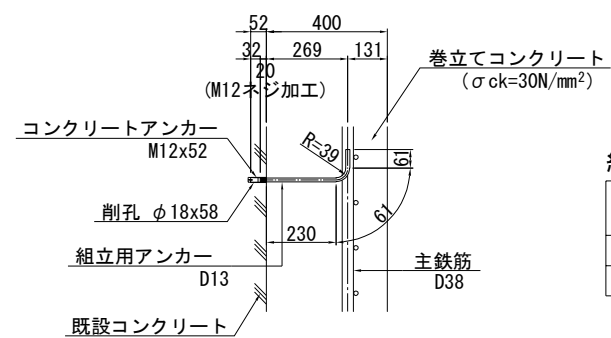
使用材料

工 種	仕 様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄 筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P14橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

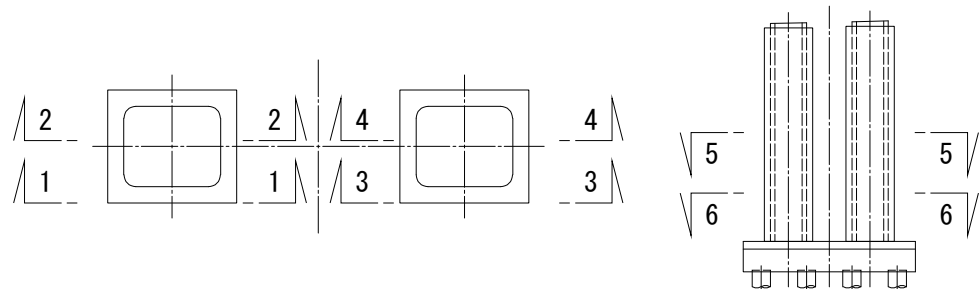


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	133	50
右柱	380	134	51

※組立用アンカー本数
N=133. 1m²/1本/m²=133本
N=134. 1m²/1本/m²=134本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

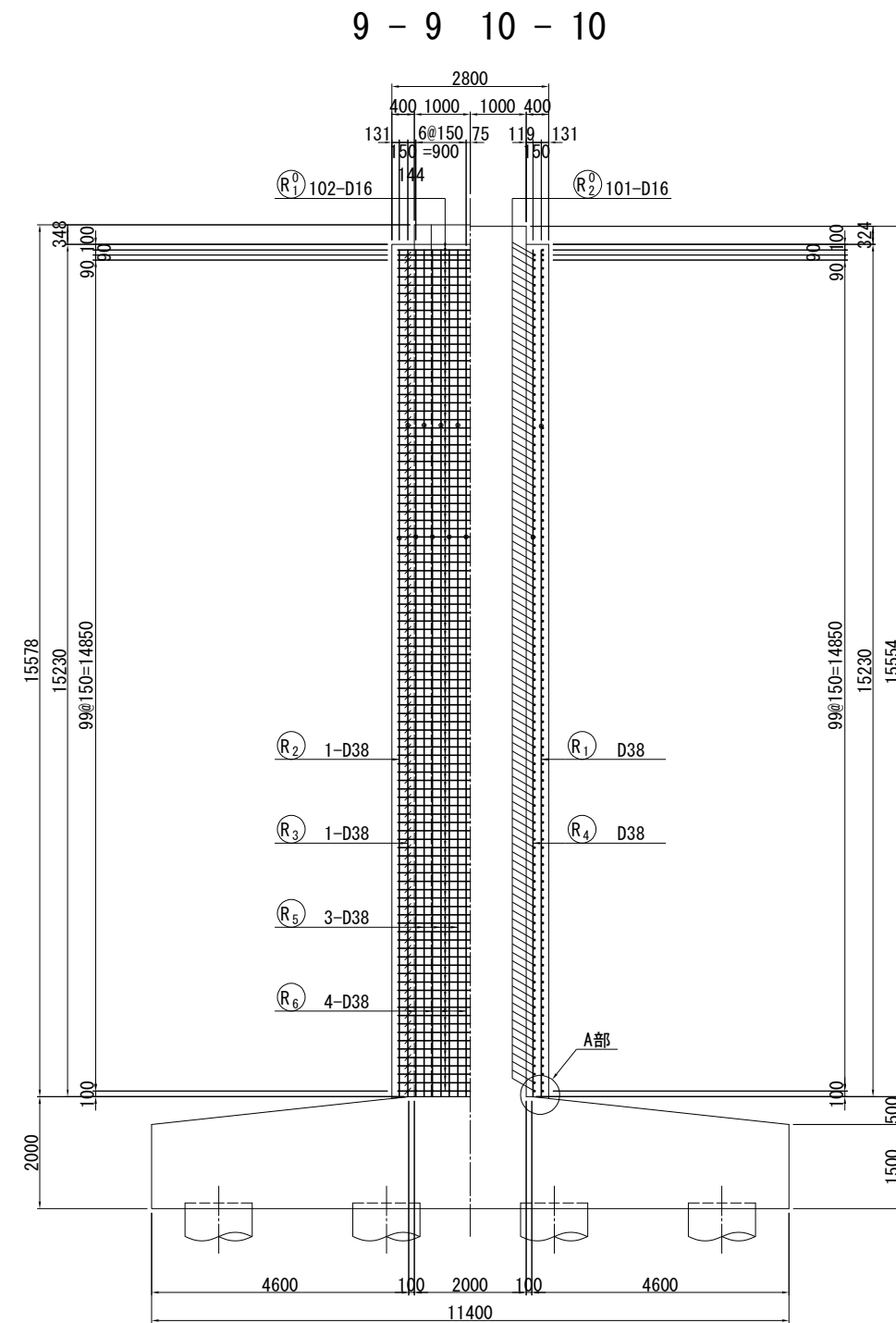
位置図



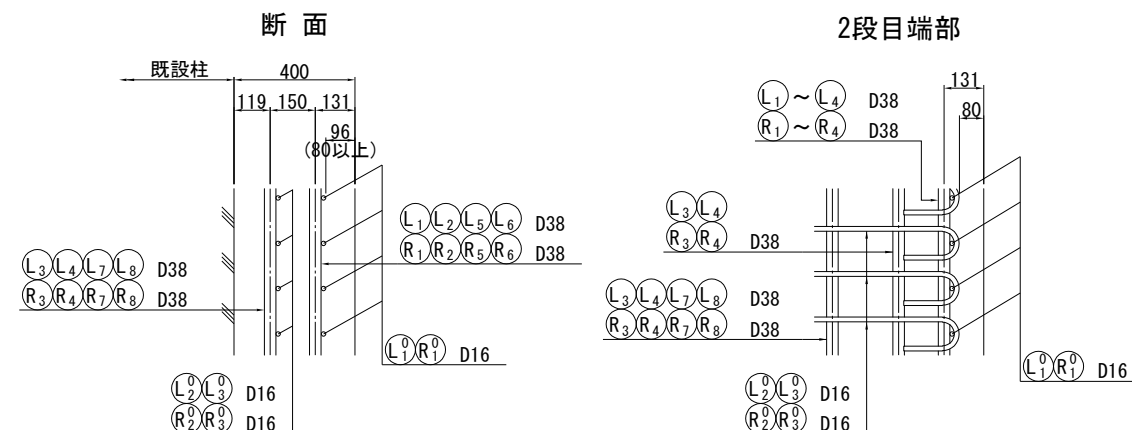
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

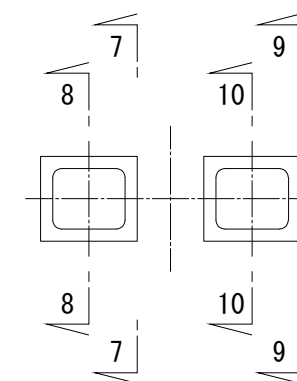
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P14橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



A部詳細図 S=1:25

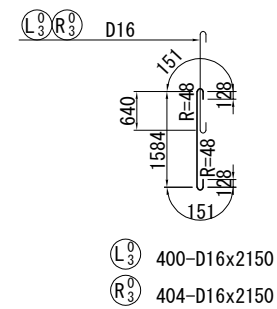
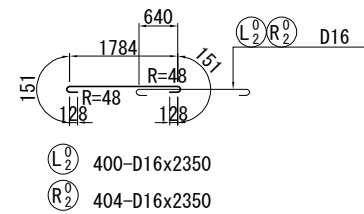
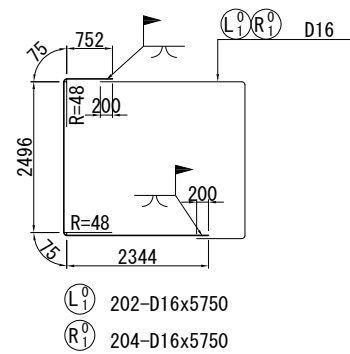
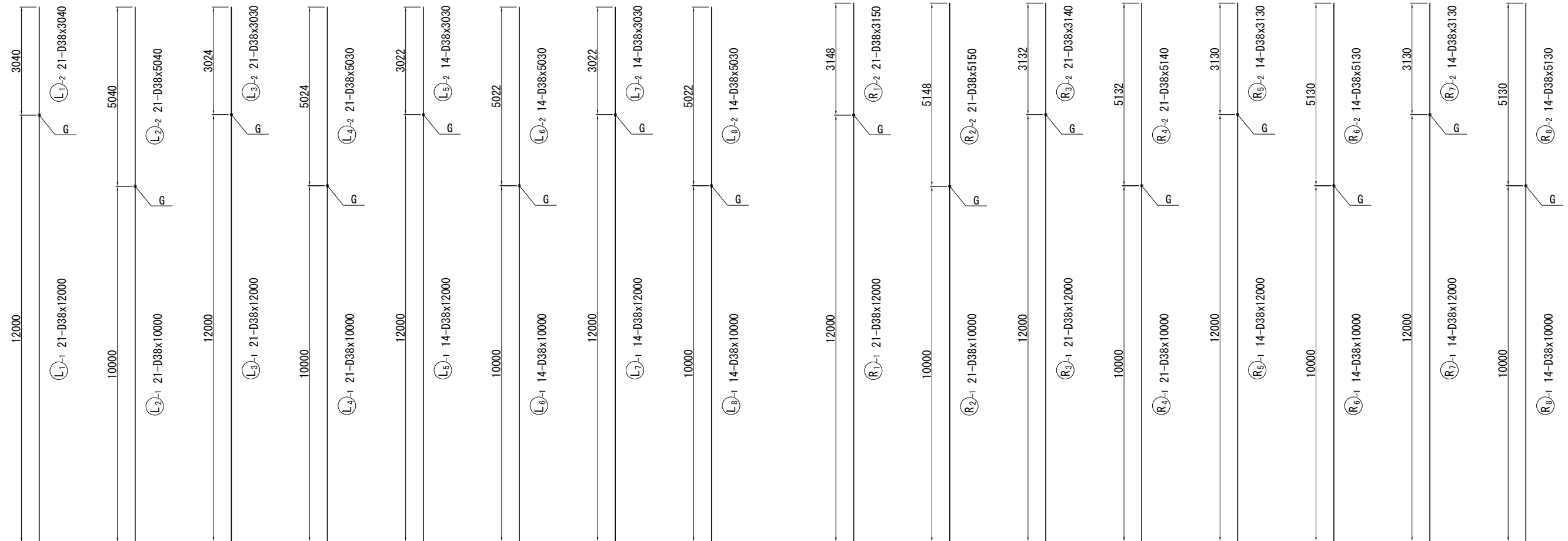


位置図

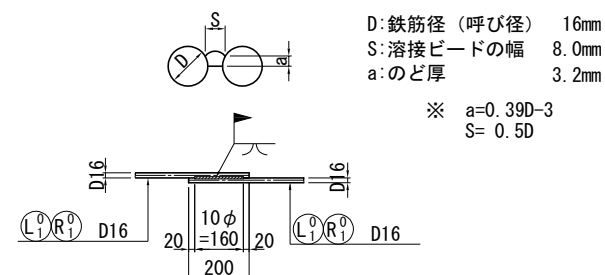


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P14橋脚		
	RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P14橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
	縮	尺	図示
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

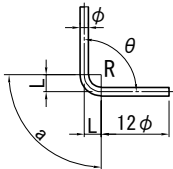
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
L 1 -2	D38	3040	21	8.95	27.2	571	
L 2 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
L 2 -2	D38	5040	21	8.95	45.1	947	
L 3 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
L 3 -2	D38	3030	21	8.95	27.1	569	
L 4 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
L 4 -2	D38	5030	21	8.95	45.0	945	
L 5 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
L 5 -2	D38	3030	14	8.95	27.1	379	
L 6 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
L 6 -2	D38	5030	14	8.95	45.0	630	
L 7 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
L 7 -2	D38	3030	14	8.95	27.1	379	
L 8 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
L 8 -2	D38	5030	14	8.95	45.0	630	
						18806 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	202	1.56	8.97	1812	┐ [202]
L 2 ⁰	D16	2350	400	1.56	3.67	1468	┐
L 3 ⁰	D16	2150	400	1.56	3.35	1340	┐
						4620 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			18806 ^{kg}	(140)	-		
D16			4620 ^{kg}	-	[202]		
合 計			23426 ^{kg}	(140)	[202]		
コンクリートアンカー					M12x52	133	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
R 1 -2	D38	3150	21	8.95	28.2	592	
R 2 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
R 2 -2	D38	5150	21	8.95	46.1	968	
R 3 -1	D38	12000	21	8.95	107	2247	↑ (21)
R 3 -2	D38	3140	21	8.95	28.1	590	
R 4 -1	D38	10000	21	8.95	89.5	1880	↑ (21)
R 4 -2	D38	5140	21	8.95	46.0	966	
R 5 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
R 5 -2	D38	3130	14	8.95	28.0	392	
R 6 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
R 6 -2	D38	5130	14	8.95	45.9	643	
R 7 -1	D38	12000	14	8.95	107	1498	↑ (14)
R 7 -2	D38	3130	14	8.95	28.0	392	
R 8 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
R 8 -2	D38	5130	14	8.95	45.9	643	
						18942	kg
R 1 ⁰	D16	5750	204	1.56	8.97	1830	┐ [204]
R 2 ⁰	D16	2350	404	1.56	3.67	1483	┐
R 3 ⁰	D16	2150	404	1.56	3.35	1353	┐
						4666	kg
		T	ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		18942	kg	(140)		-	
D16		4666	kg	-		[204]	
合 計		23608	kg	(140)		[204]	
コンクリートアンカー				M12x52	134 個		
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

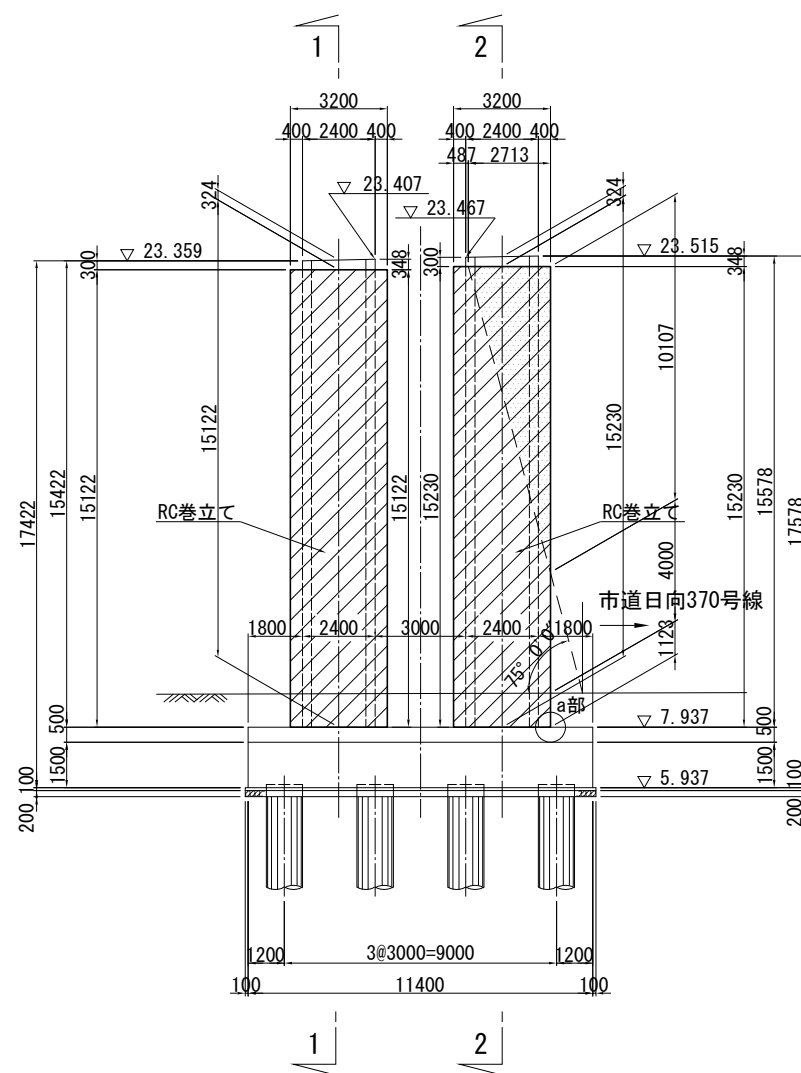
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

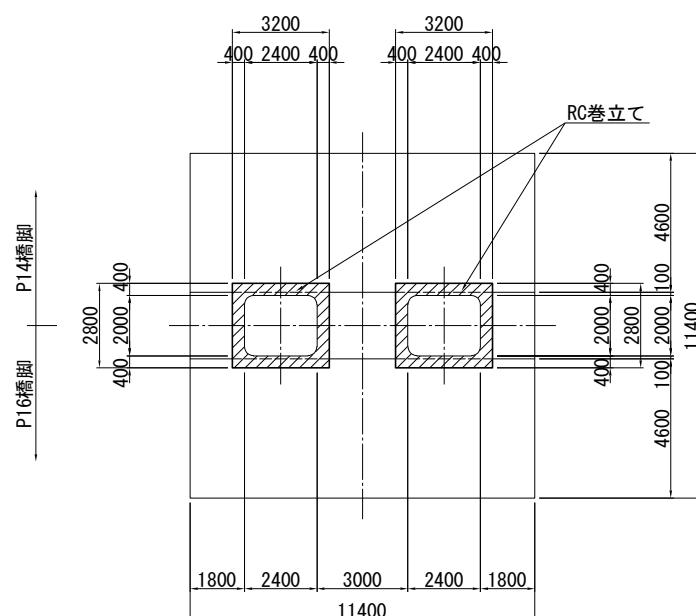
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P14橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

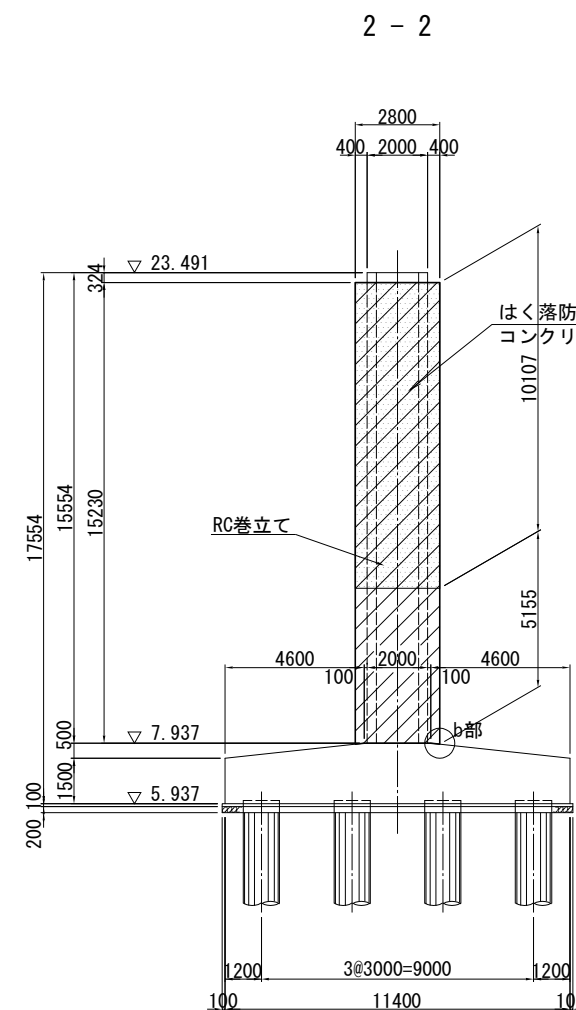
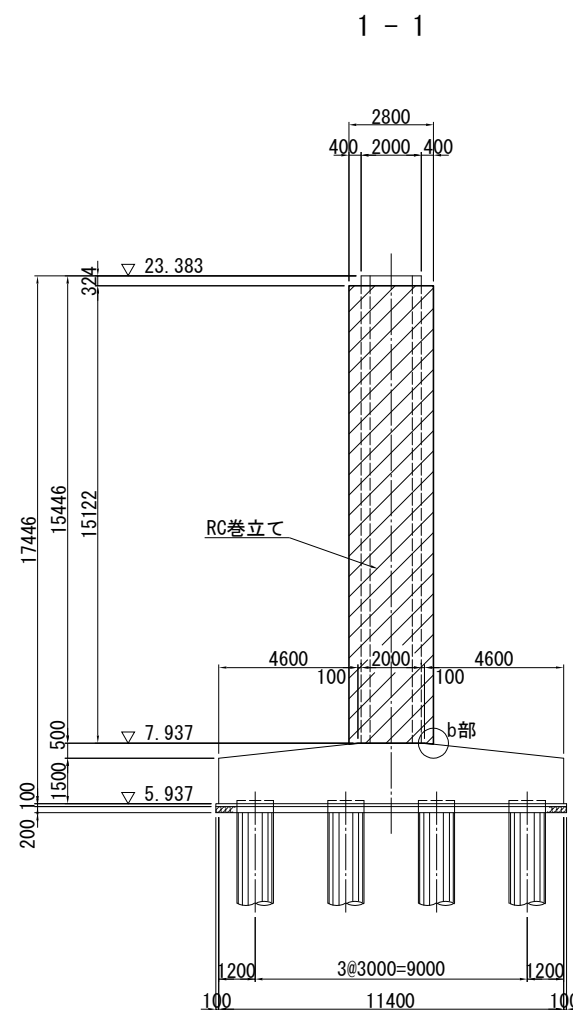
正面図



平面図

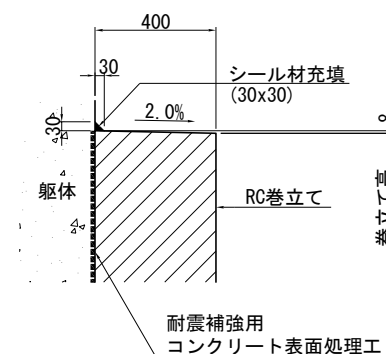


側面図

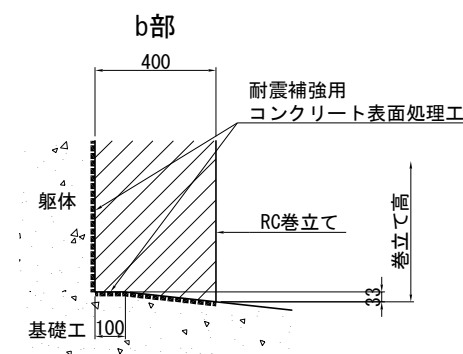
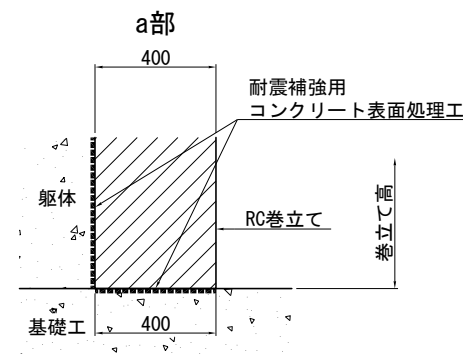


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

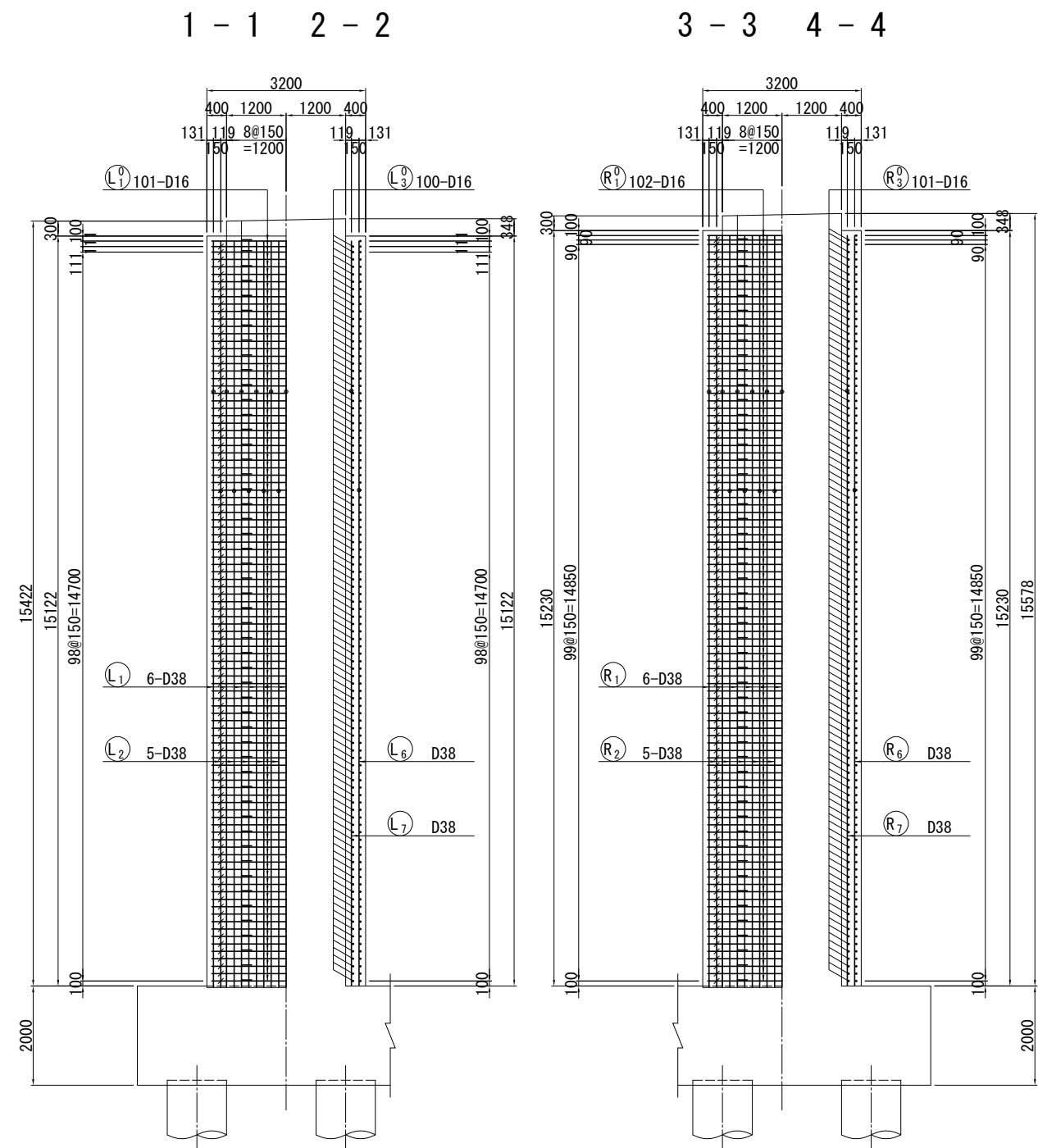


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

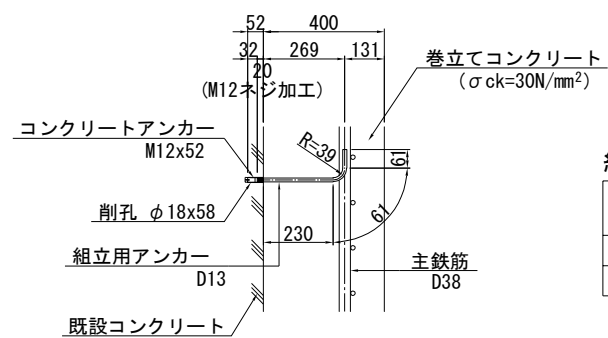
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P15橋脚 RC巻立て補強一般図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



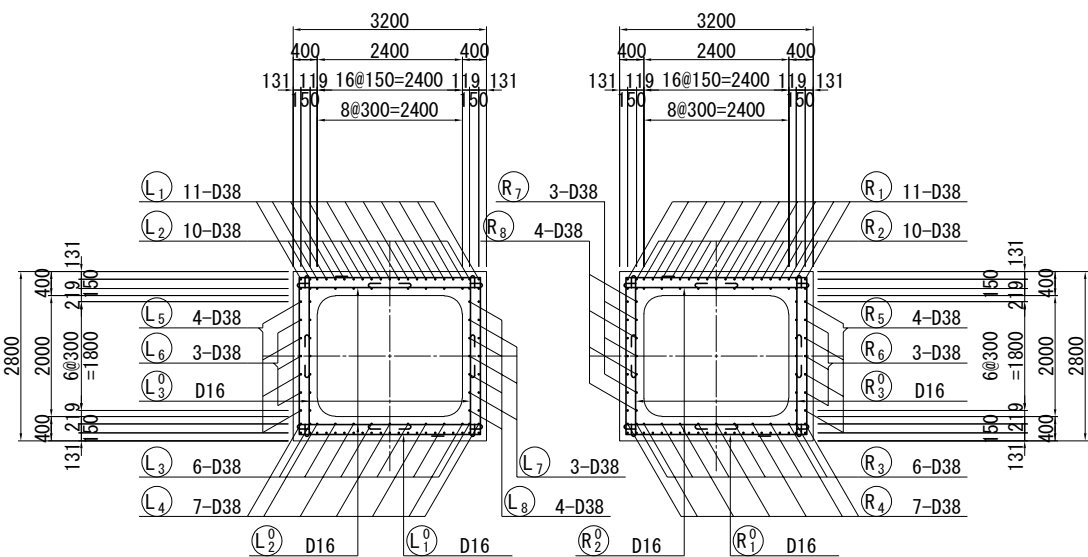
組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



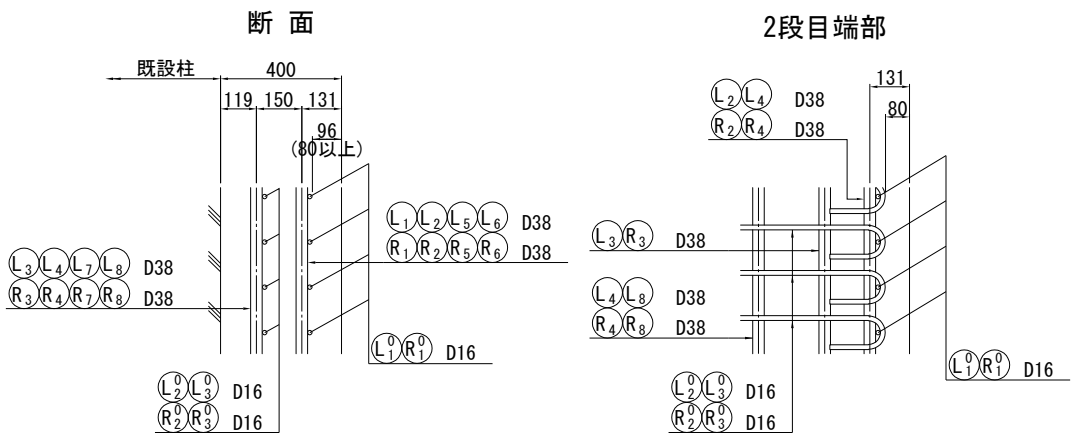
組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	133	50
右柱	380	134	51

※組立用アンカー本数
N=133. 1m²/1本/m²=133本
N=134. 1m²/1本/m²=134本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

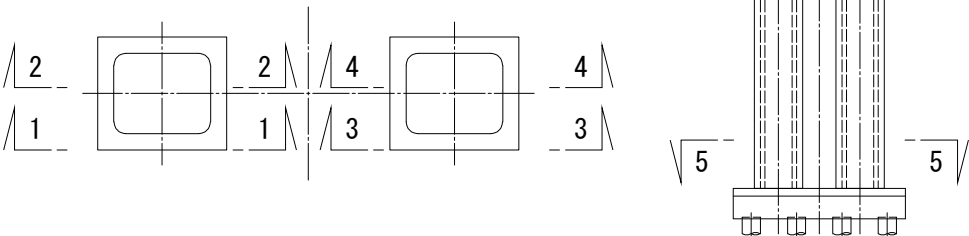


かぶり詳細図 S=1:25



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

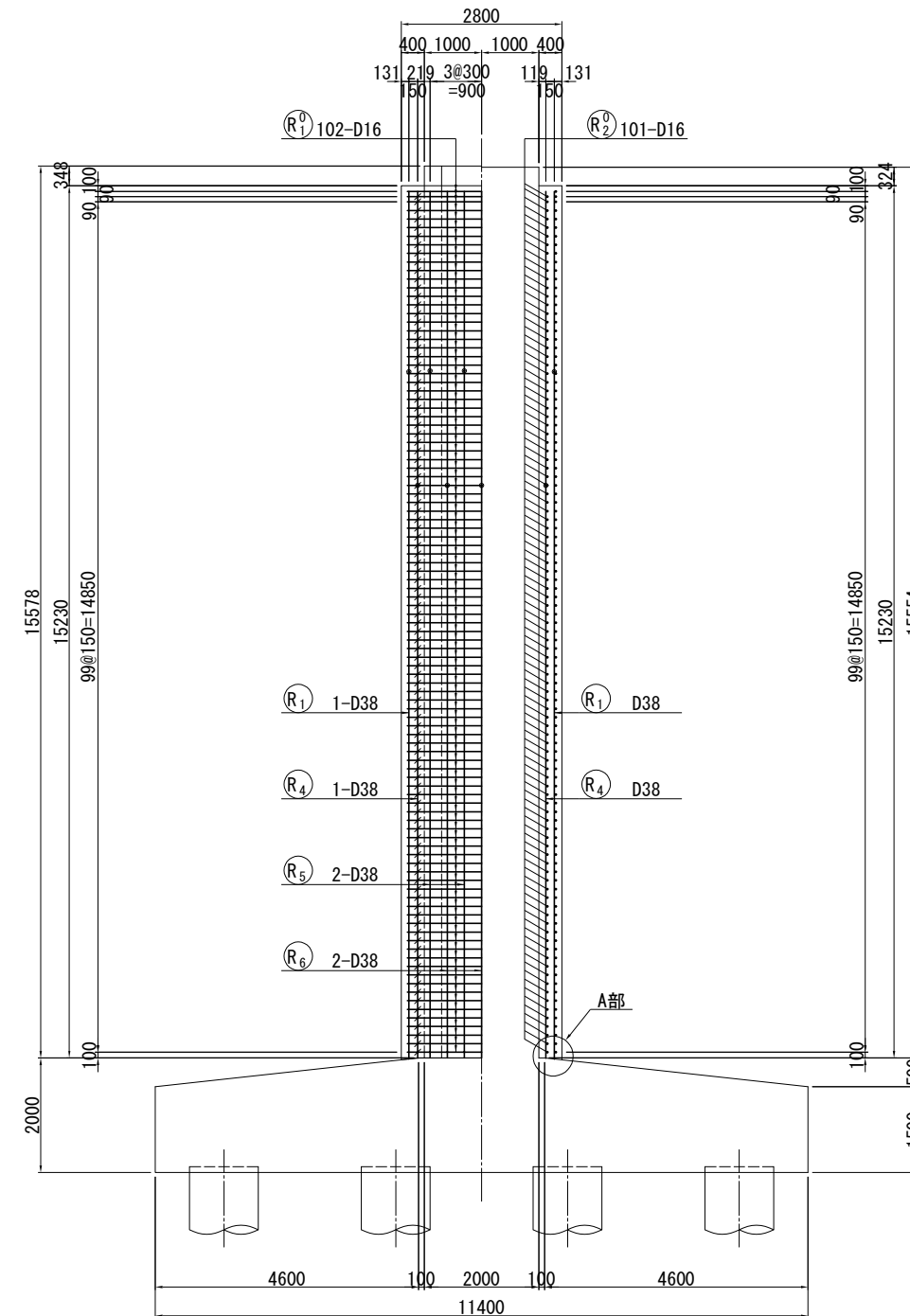
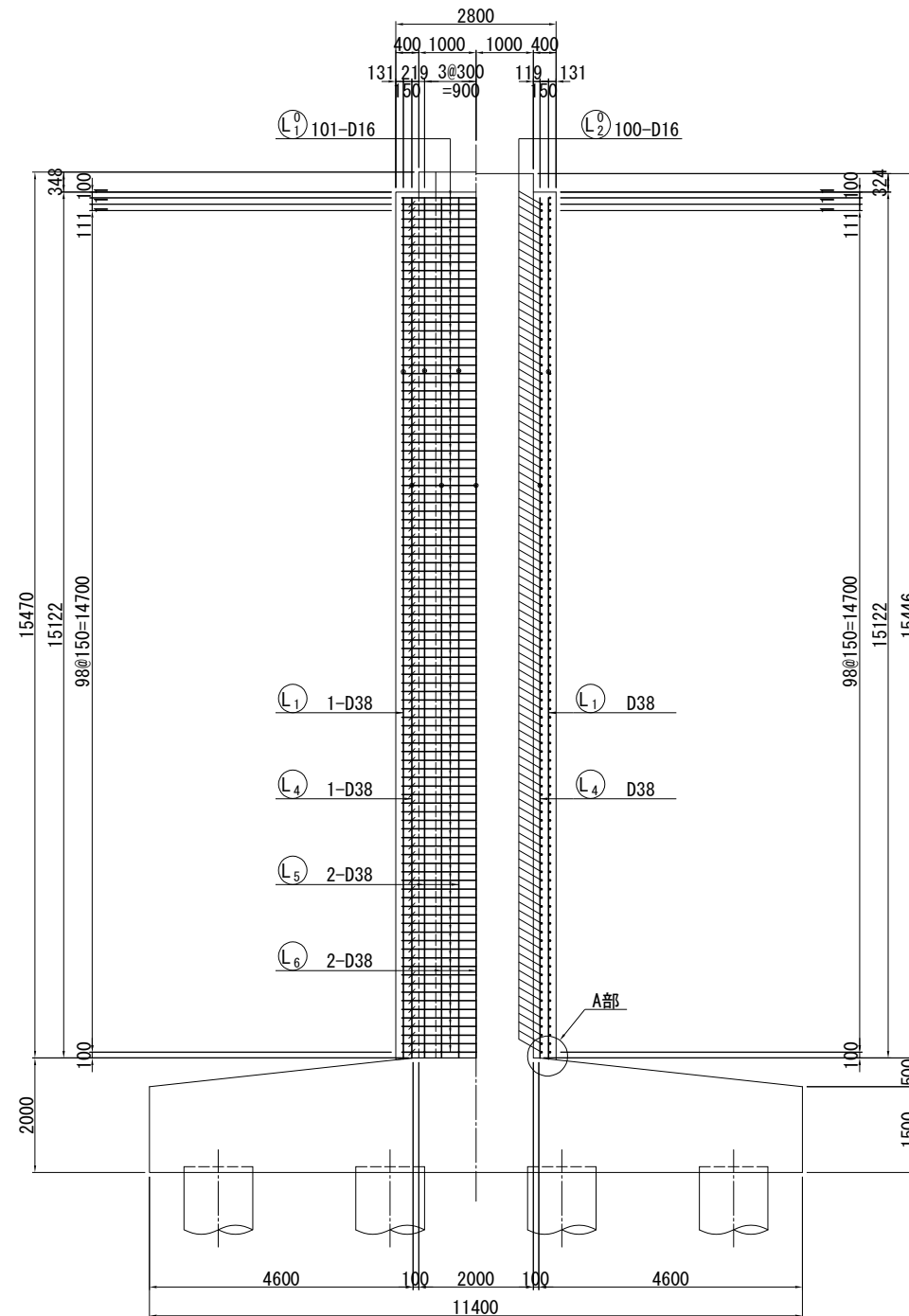
位置図



工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

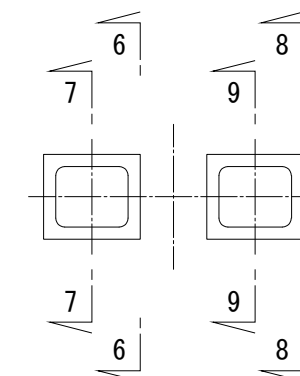
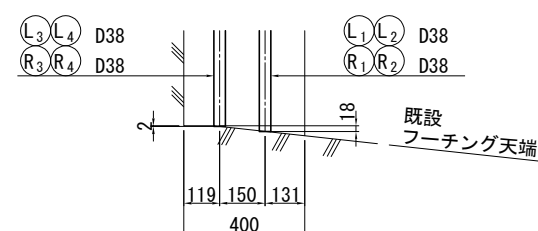
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P15橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

8 - 8 9 - 9



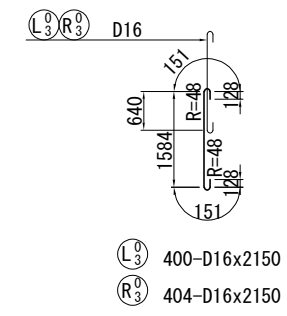
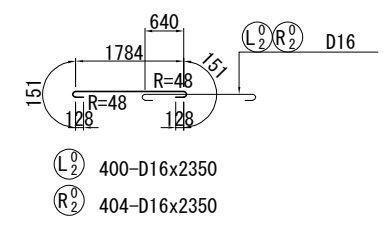
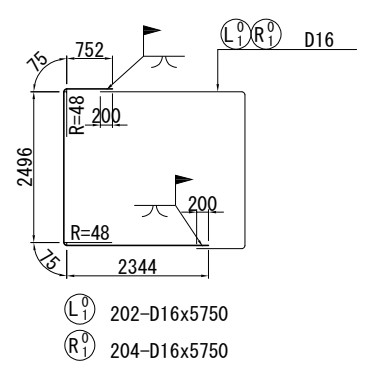
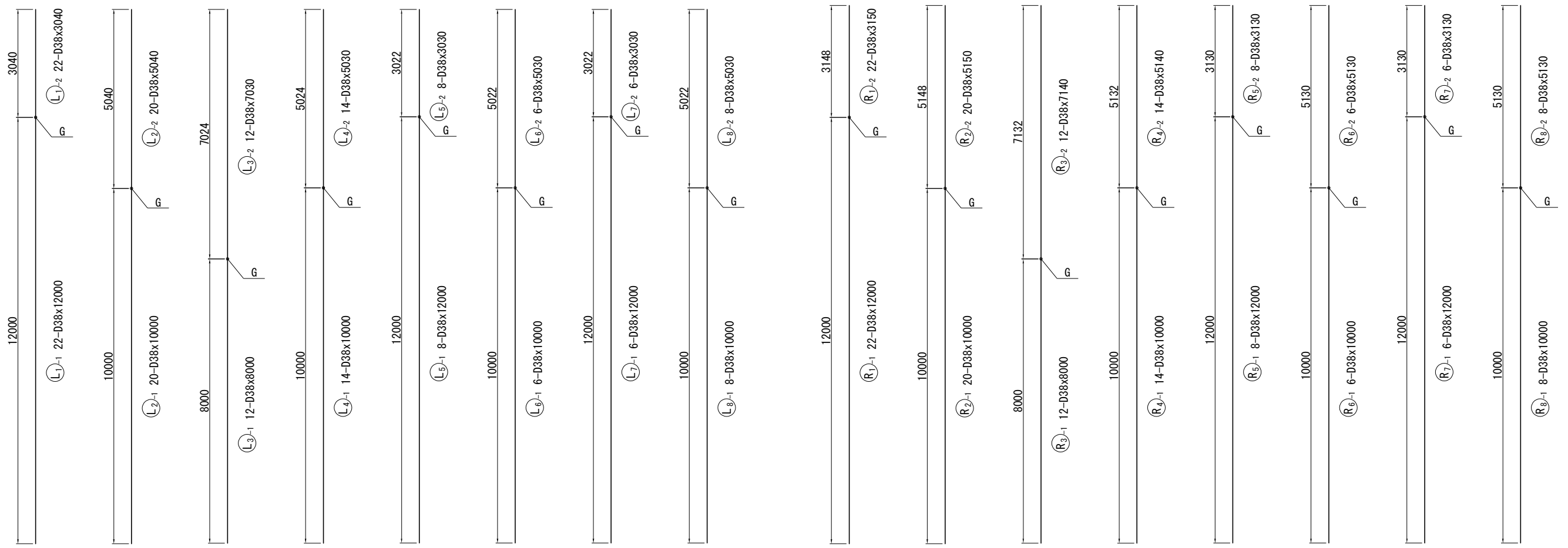
位置図

A部詳細図 S=1:25

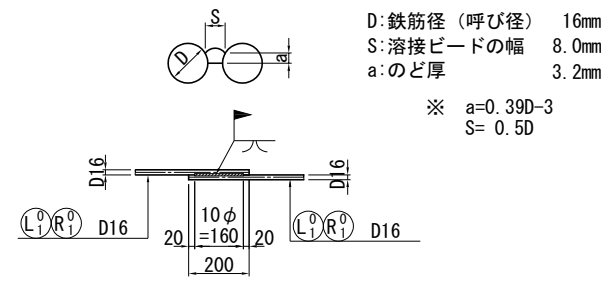


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 P15橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P15橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

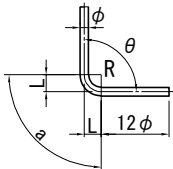
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	3040	22	8.95	27.2	598	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	5040	20	8.95	45.1	902	
L 3 -1	D38	8000	12	8.95	71.6	859	↑ (12)
L 3 -2	D38	7030	12	8.95	62.9	755	
L 4 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
L 4 -2	D38	5030	14	8.95	45.0	630	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	3030	8	8.95	27.1	217	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	5030	6	8.95	45.0	270	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	3030	6	8.95	27.1	163	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	5030	8	8.95	45.0	360	
						12902 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	202	1.56	8.97	1812	┐ [202]
L 2 ⁰	D16	2350	400	1.56	3.67	1468	┐
L 3 ⁰	D16	2150	400	1.56	3.35	1340	┐
						4620 ^{kg}	
			T	ガス圧接箇所数	フレアー溶接箇所数		
D38			12902 ^{kg}	(96)	-		
D16			4620 ^{kg}	-	[202]		
合 計			17522 ^{kg}	(96)	[202]		
コンクリートアンカー					M12x52	133	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	3150	22	8.95	28.2	620	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	5150	20	8.95	46.1	922	
R 3 -1	D38	8000	12	8.95	71.6	859	↑ (12)
R 3 -2	D38	7140	12	8.95	63.9	767	
R 4 -1	D38	10000	14	8.95	89.5	1253	↑ (14)
R 4 -2	D38	5140	14	8.95	46.0	644	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	3130	8	8.95	28.0	224	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	5130	6	8.95	45.9	275	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	3130	6	8.95	28.0	168	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	5130	8	8.95	45.9	367	
						12994	kg
R 1 ⁰	D16	5750	204	1.56	8.97	1830	┐ [204]
R 2 ⁰	D16	2350	404	1.56	3.67	1483	┐
R 3 ⁰	D16	2150	404	1.56	3.35	1353	┐
						4666	kg
			T	ガス圧接箇所数	フレアー溶接箇所数		
D38			12994	kg	(96)	-	
D16			4666	kg	-	[204]	
合 計			17660	kg	(96)	[204]	
			コンクリートアンカー		M12x52	134	個
			(削孔 φ18x58)				

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

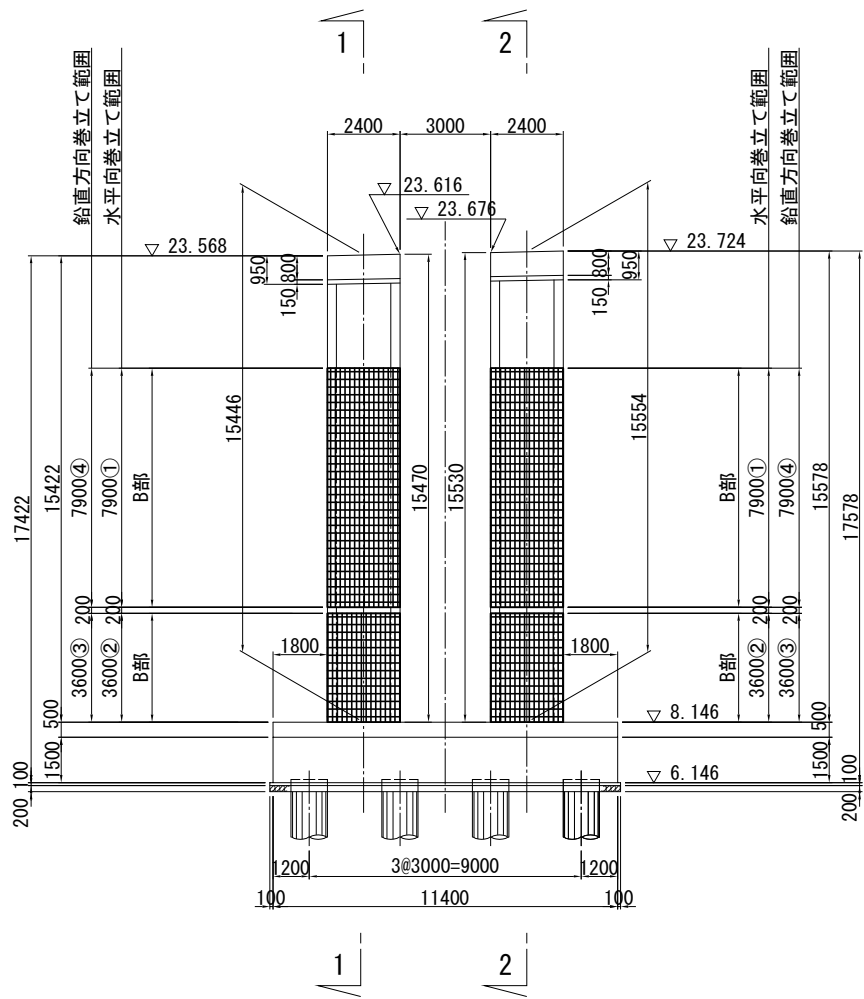
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

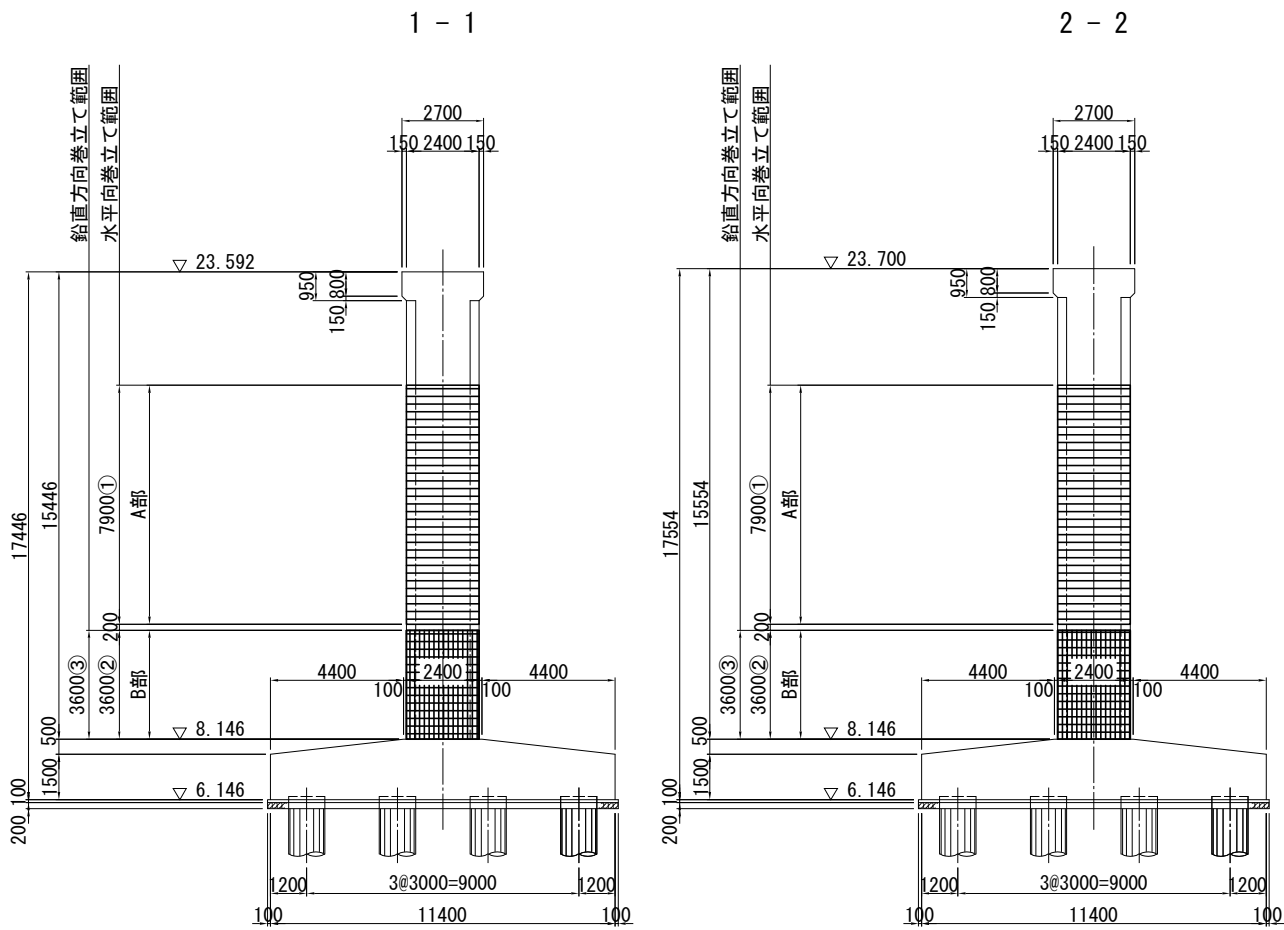
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P15橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図



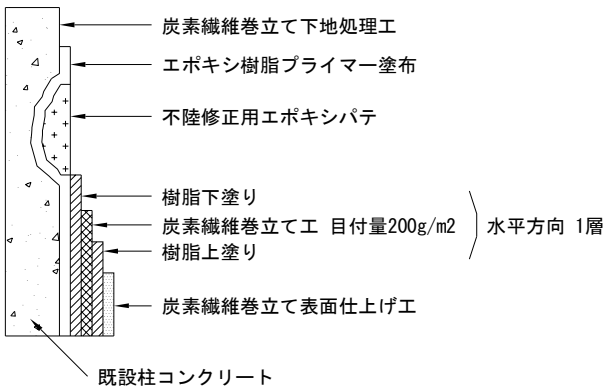
側面図



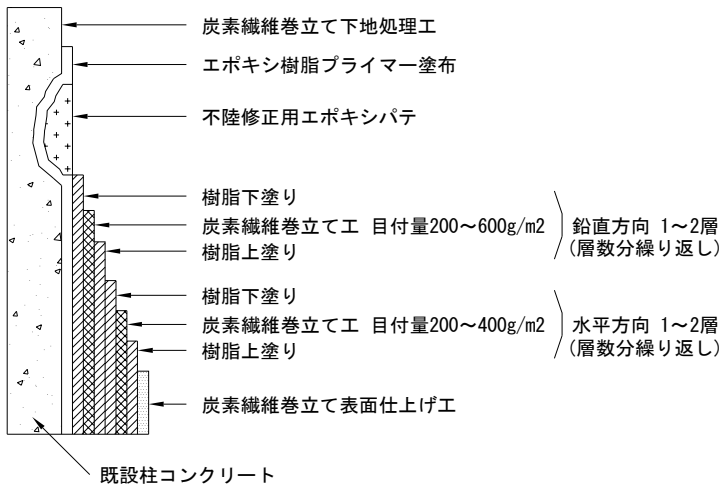
※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

炭素繊維シート施工断面図

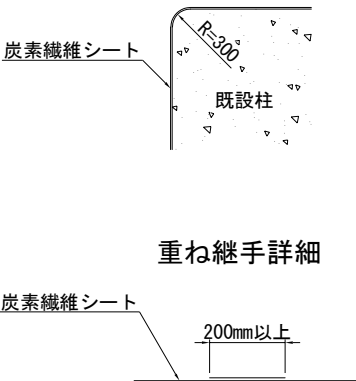
A部



B部



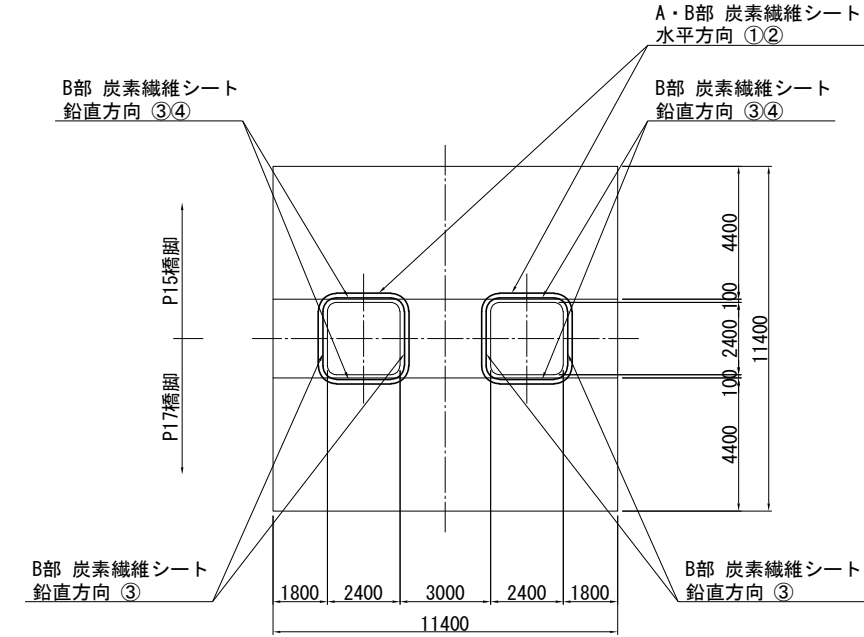
柱面曲り部詳細図 S=1:125



重ね継手詳細

※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

平面図



炭素繊維シート

	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	水平	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	200g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
④	600g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.333mm	高強度型

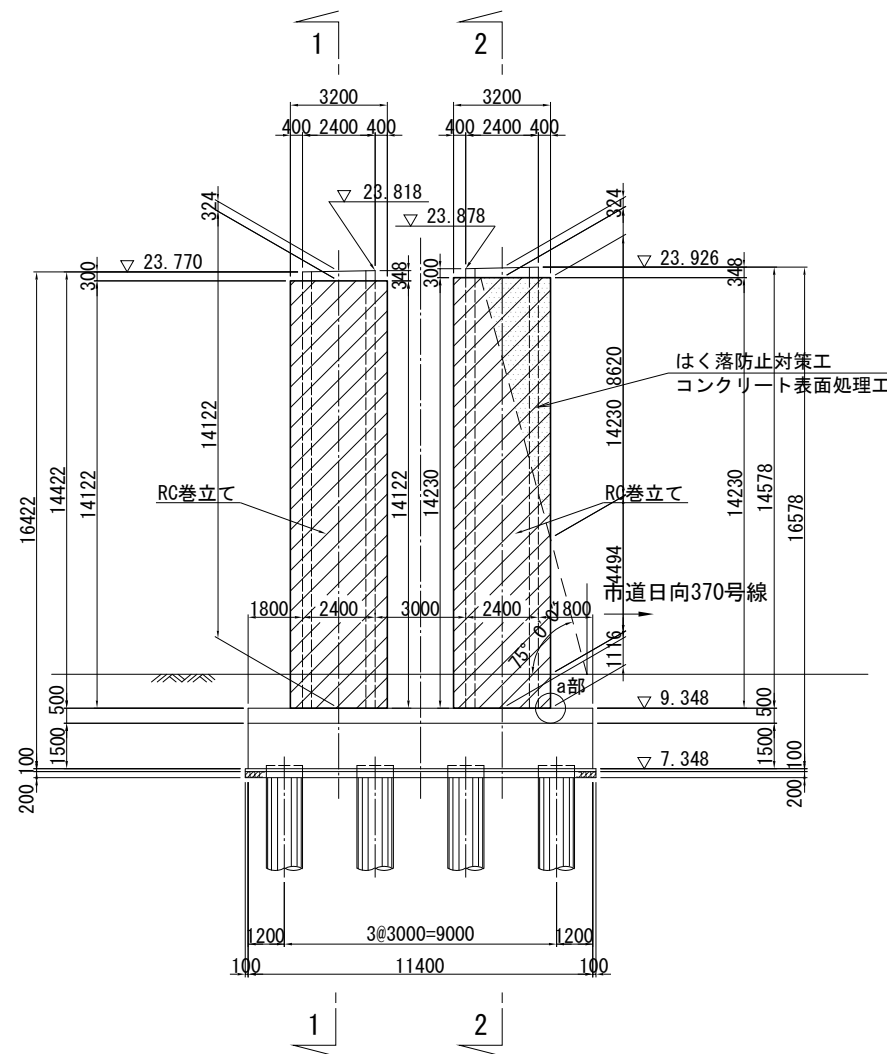
- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

使用材料

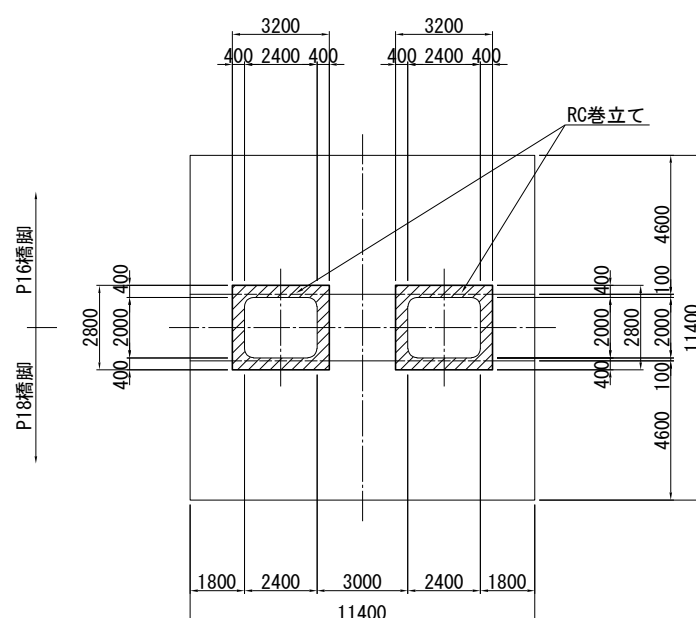
工 種	仕 様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄 筋	SD345
補強部	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P16橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

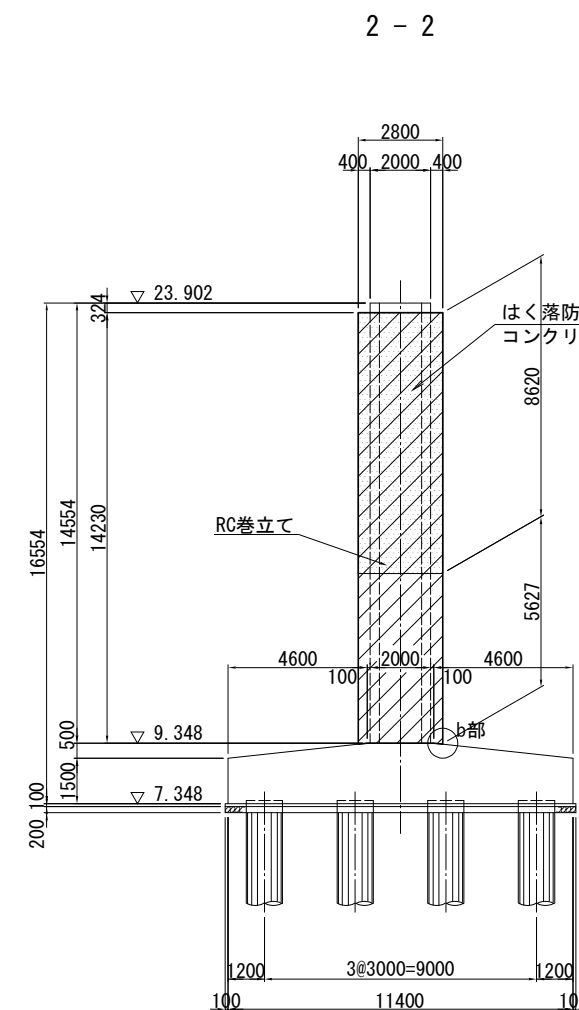
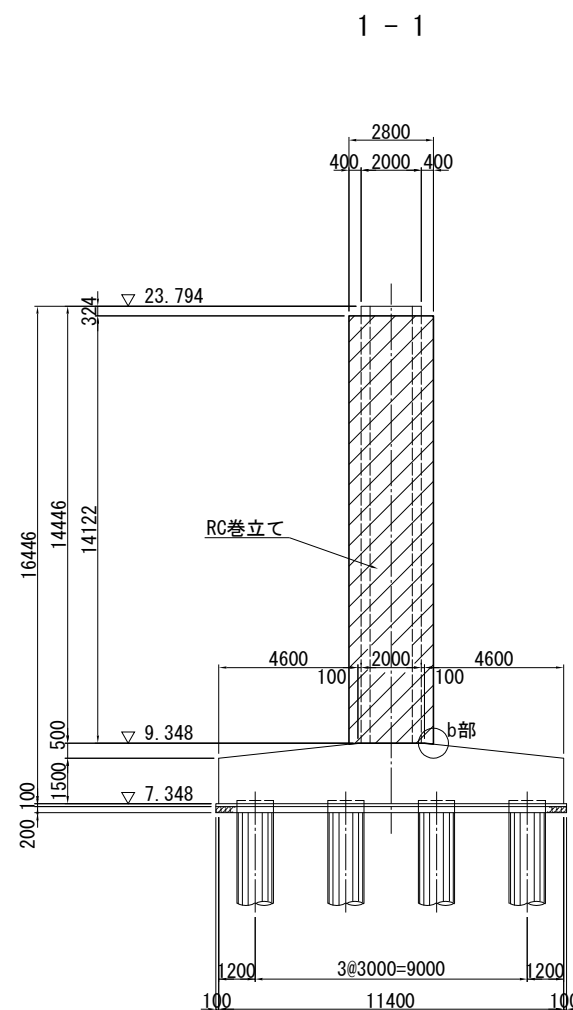
正面図



平面図

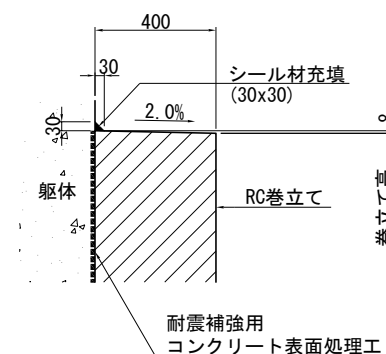


側面図

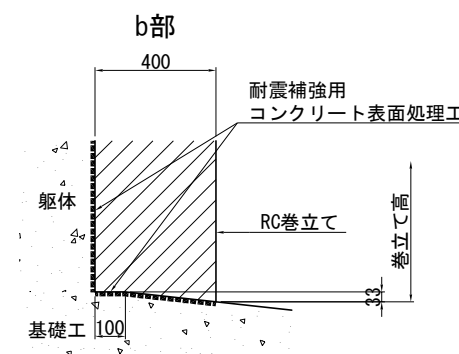
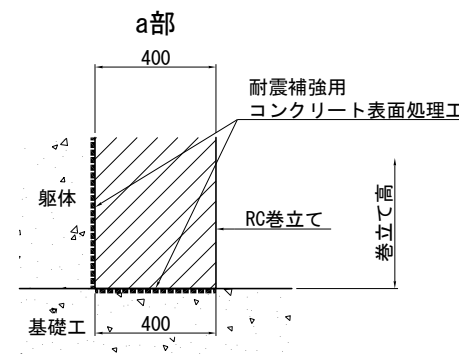


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)



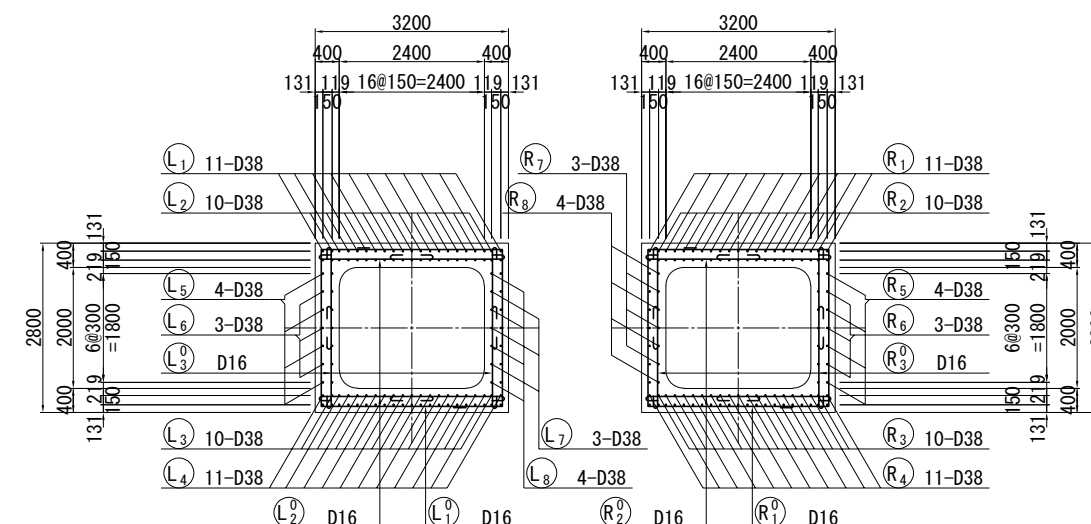
- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345
補強部	30 N/mm ²	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P17橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

5 - 5



Technical drawing of a reinforcement detail for a concrete structure. The drawing shows a cross-section of a wall or slab. Key components include:

- 巻立てコンクリート** (Cast-in-place concrete) with $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$.
- 主鉄筋** (Main reinforcement bar) of diameter **D38**.
- コンクリートアンカー** (Concrete anchor) of size **M12x52**.
- 削孔** (Hole) of diameter $\phi 18 \times 58$.
- 組立用アンカー** (Assembly anchor) of diameter **D13**.
- 既設コンクリート** (Existing concrete).
- Dimensions:** 400 (total width), 269 (width of concrete), 131 (width of reinforcement), 20 (thickness of concrete), 230 (height of reinforcement), 61 (radius $R=39$).
- Note:** (M12ネジ加工) indicating M12 screw processing.

	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	124	47
右柱	380	125	47

Technical drawing of a mechanical part showing front, top, and side views with dimensions.

Front View: A rectangle with a rounded interior. Dimensions: 2 (width), 1 (height).

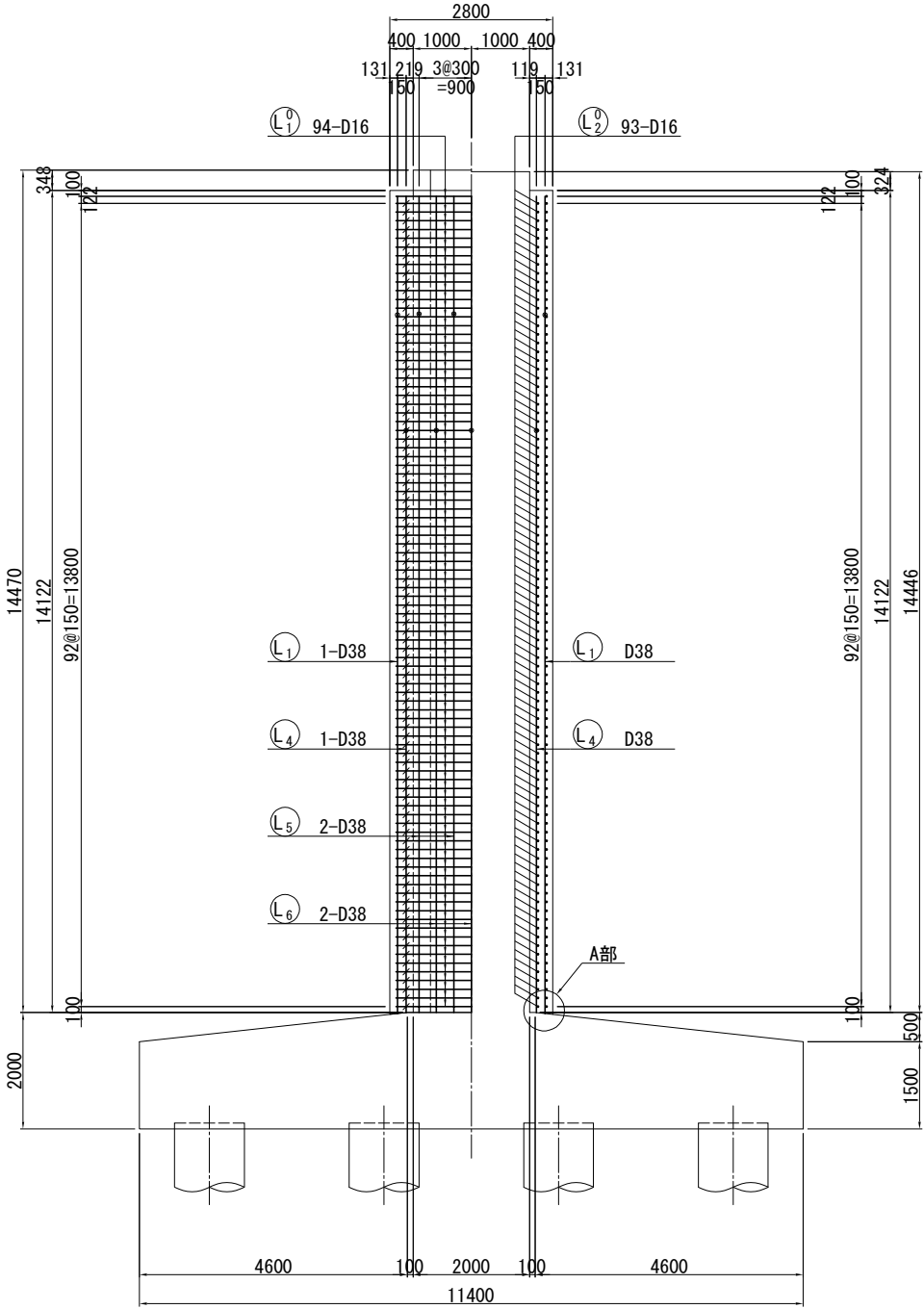
Top View: A rectangle with a rounded interior. Dimensions: 4 (width), 3 (depth).

Side View: A rectangle with a rounded interior. Dimensions: 5 (width), 5 (height).

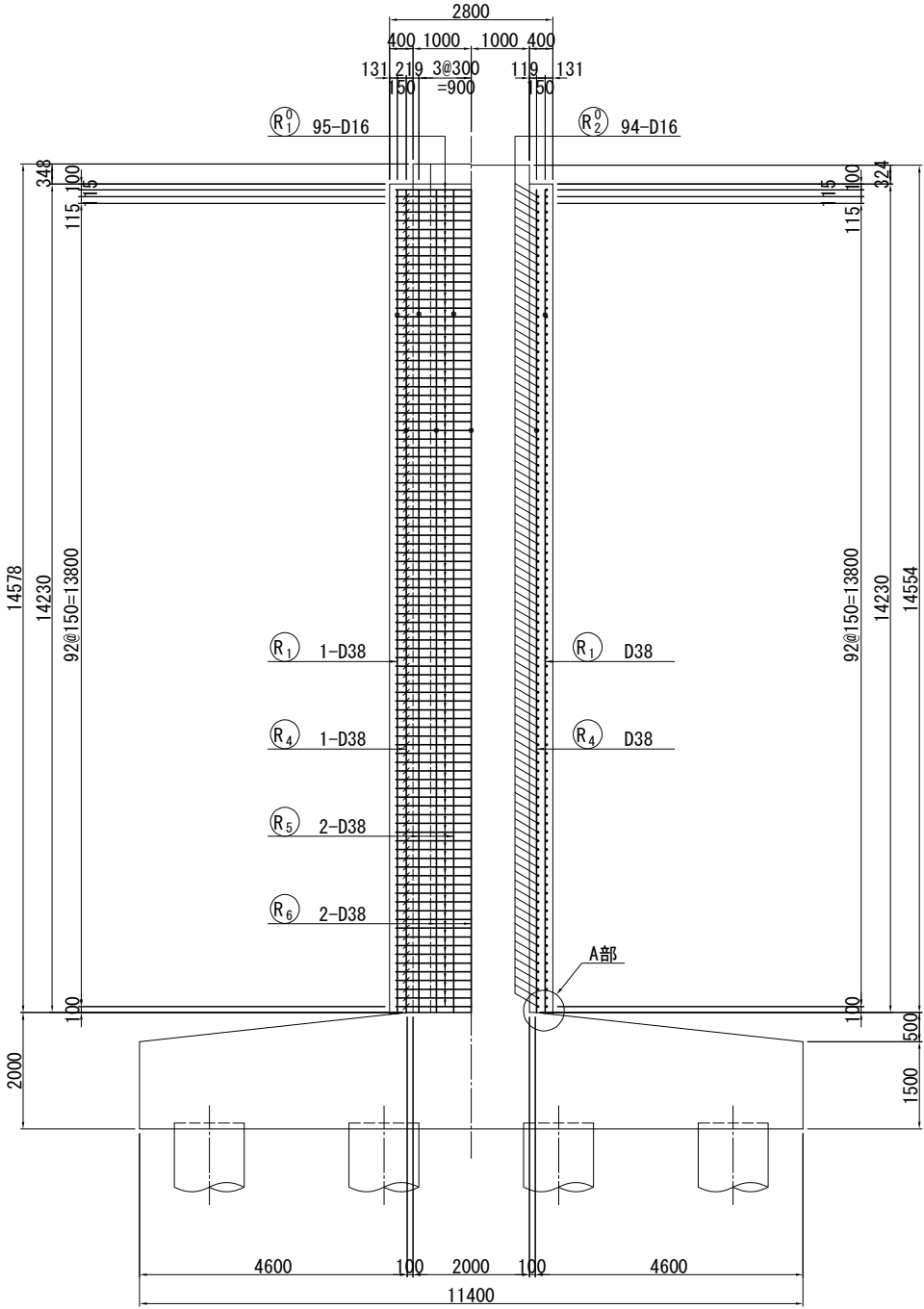
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷支線高架橋 P17橋脚		
	R0巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

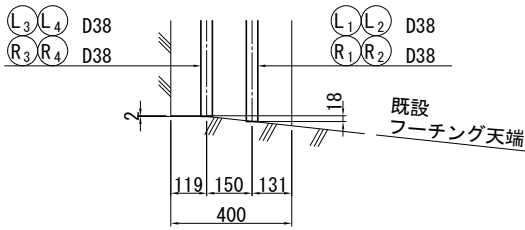
6 - 6 7 - 7



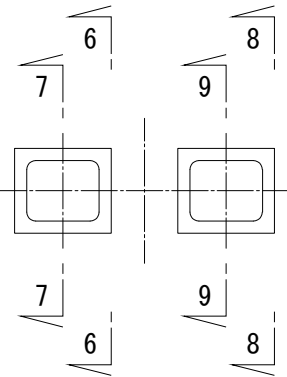
8 - 8 9 - 9



A部詳細図 S=1:25

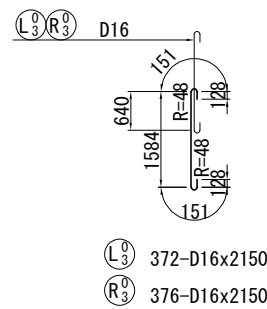
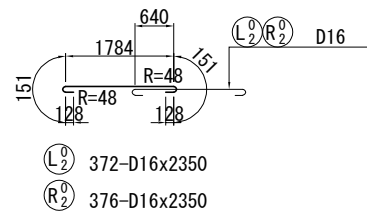
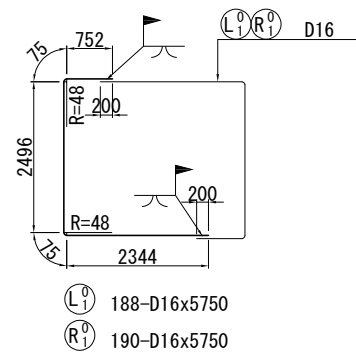
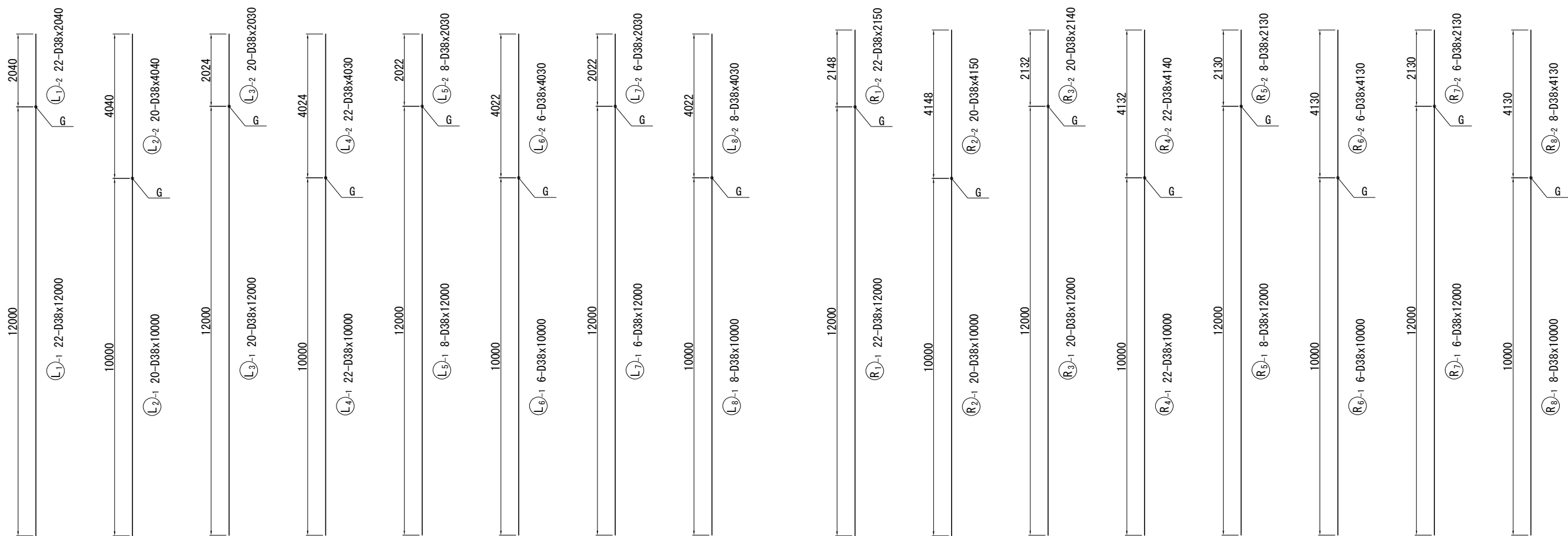


位置図

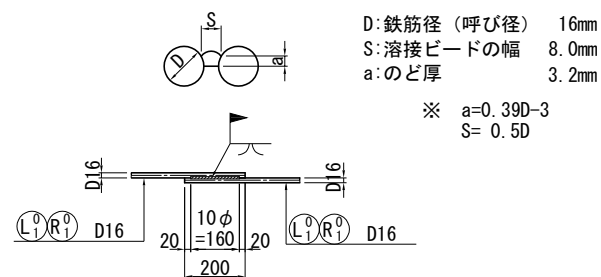


注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P17橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P17橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

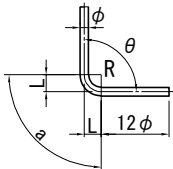
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	2040	22	8.95	18.3	403	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	4040	20	8.95	36.2	724	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	2030	20	8.95	18.2	364	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	4030	22	8.95	36.1	794	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	2030	8	8.95	18.2	146	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	4030	6	8.95	36.1	217	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	2030	6	8.95	18.2	109	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	4030	8	8.95	36.1	289	
14050 ^{kg}							
L 1 ⁰	D16	5750	188	1.56	8.97	1686	┐ [188]
L 2 ⁰	D16	2350	372	1.56	3.67	1365	┐
L 3 ⁰	D16	2150	372	1.56	3.35	1246	┐
4297 ^{kg}							
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		14050 ^{kg}	(112)		-		
D16		4297 ^{kg}	-		[188]		
合 計		18347 ^{kg}	(112)		[188]		
コンクリートアンカー					M12x52	124	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	2150	22	8.95	19.2	422	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	4150	20	8.95	37.1	742	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	2140	20	8.95	19.2	384	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	4140	22	8.95	37.1	816	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	2130	8	8.95	19.1	153	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	4130	6	8.95	37.0	222	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	2130	6	8.95	19.1	115	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	4130	8	8.95	37.0	296	
						14154	kg
R 1 ⁰	D16	5750	190	1.56	8.97	1704	┐ [190]
R 2 ⁰	D16	2350	376	1.56	3.67	1380	┐
R 3 ⁰	D16	2150	376	1.56	3.35	1260	┐
						4344	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		14154	kg	(112)		-	
D16		4344	kg	-		[190]	
合 計		18498	kg	(112)		[190]	
コンクリートアンカー				M12x52		125	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

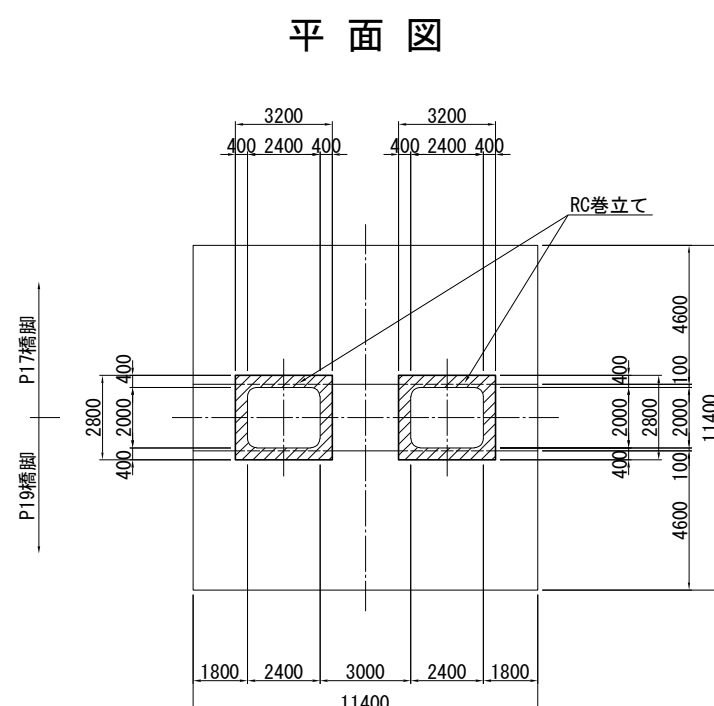
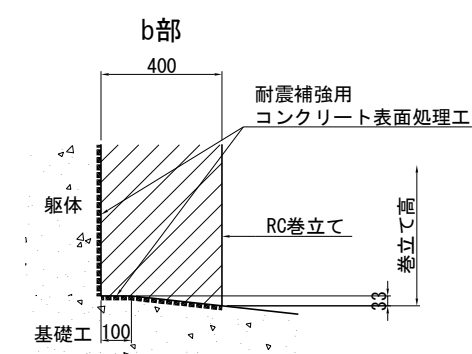
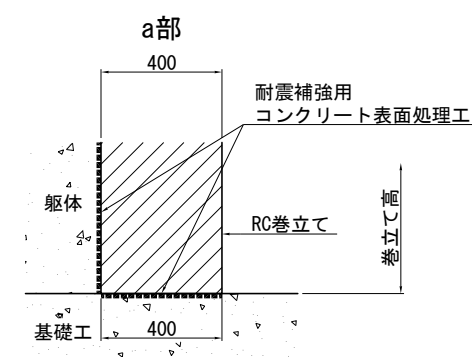
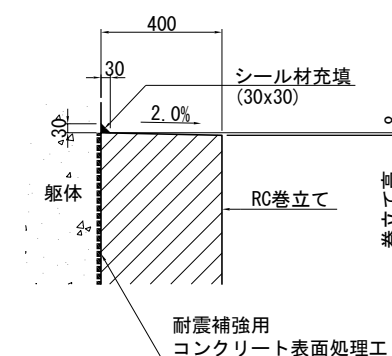
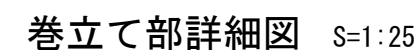
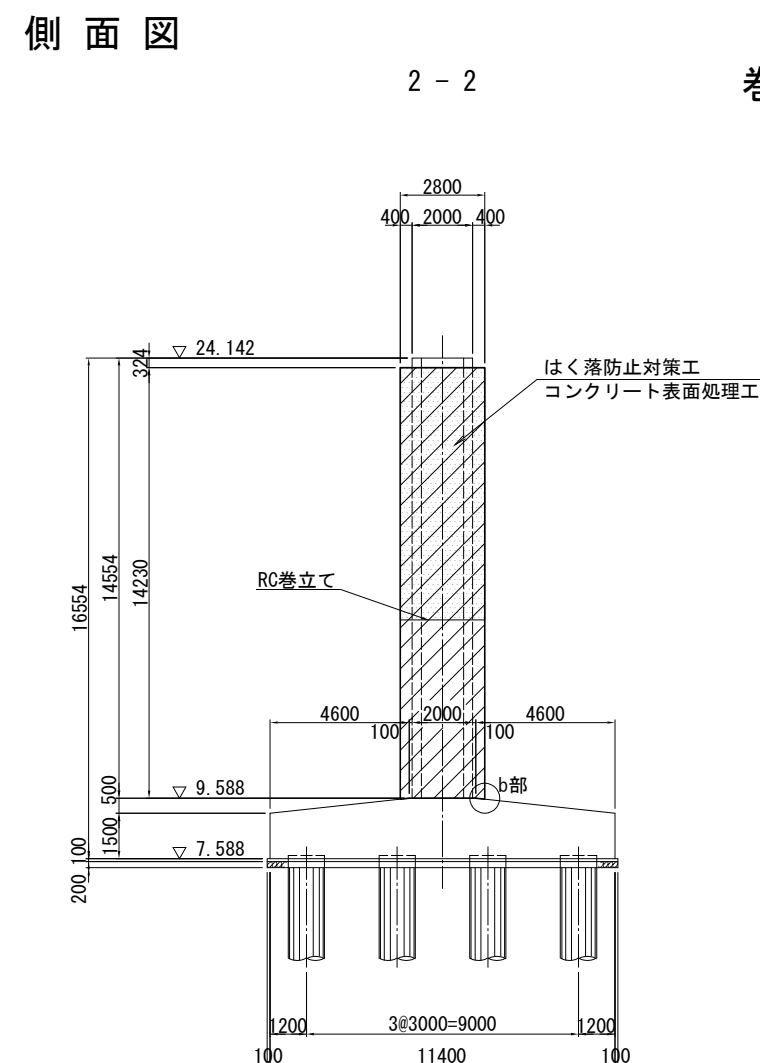
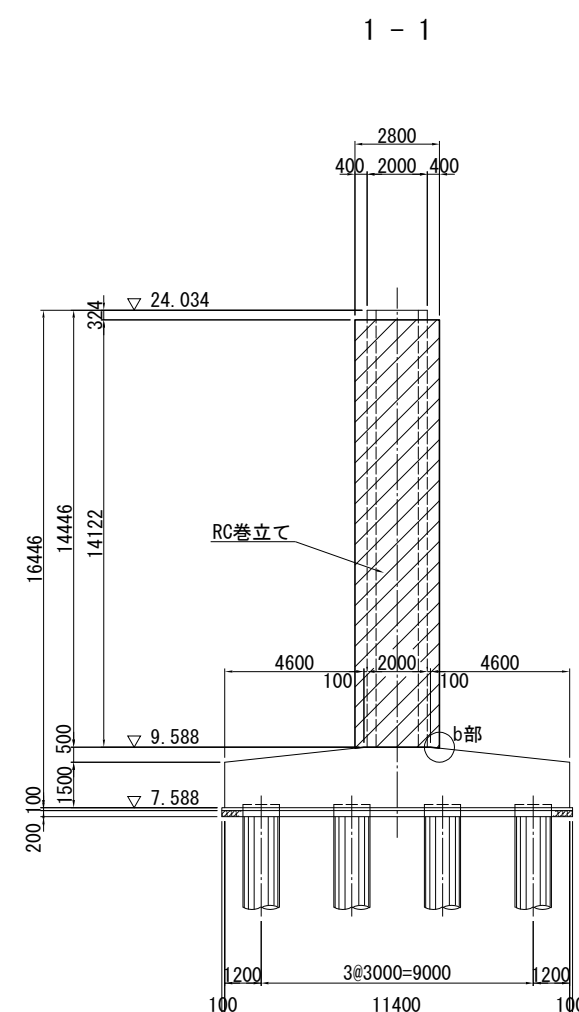
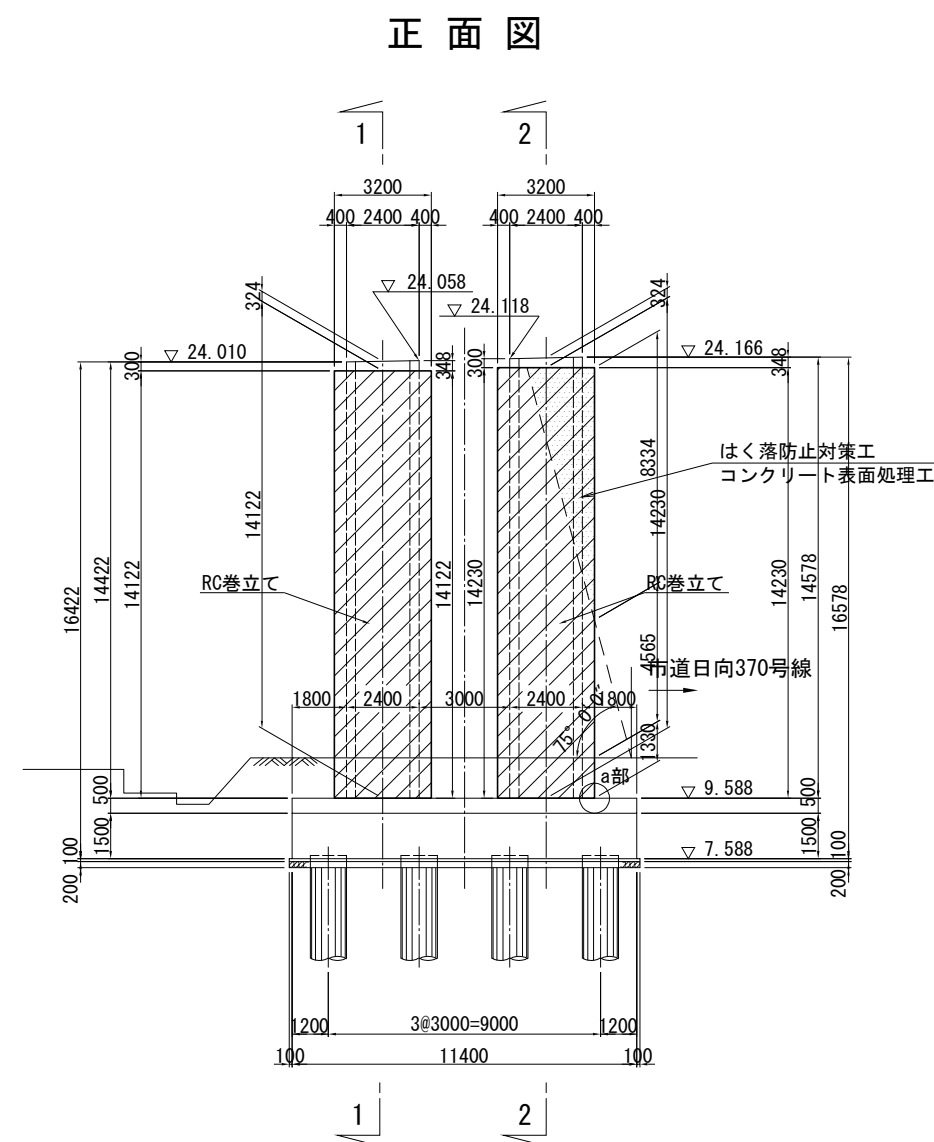
										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

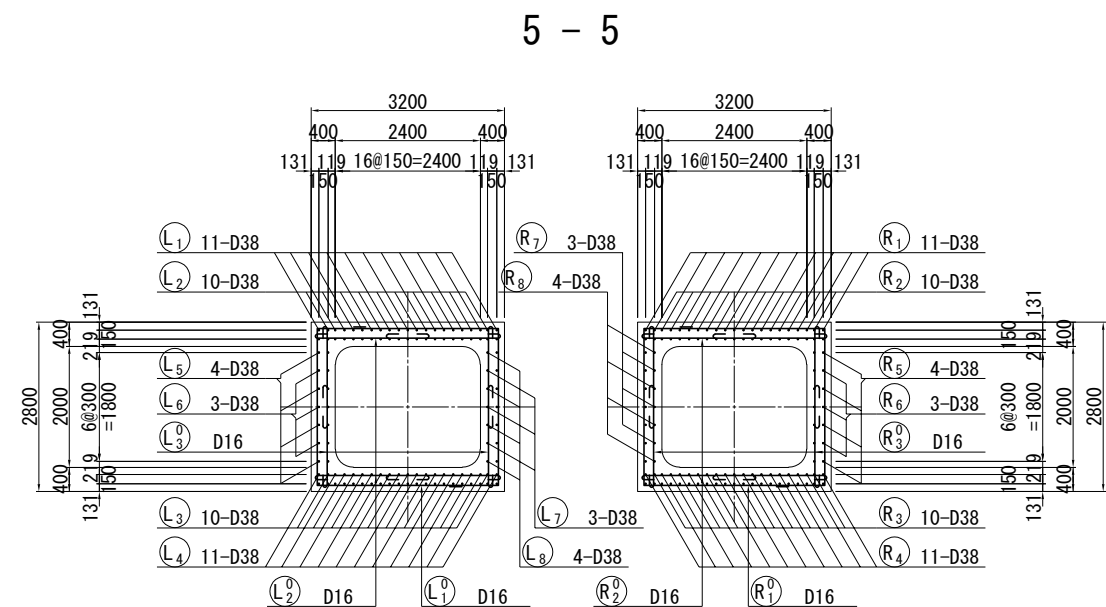
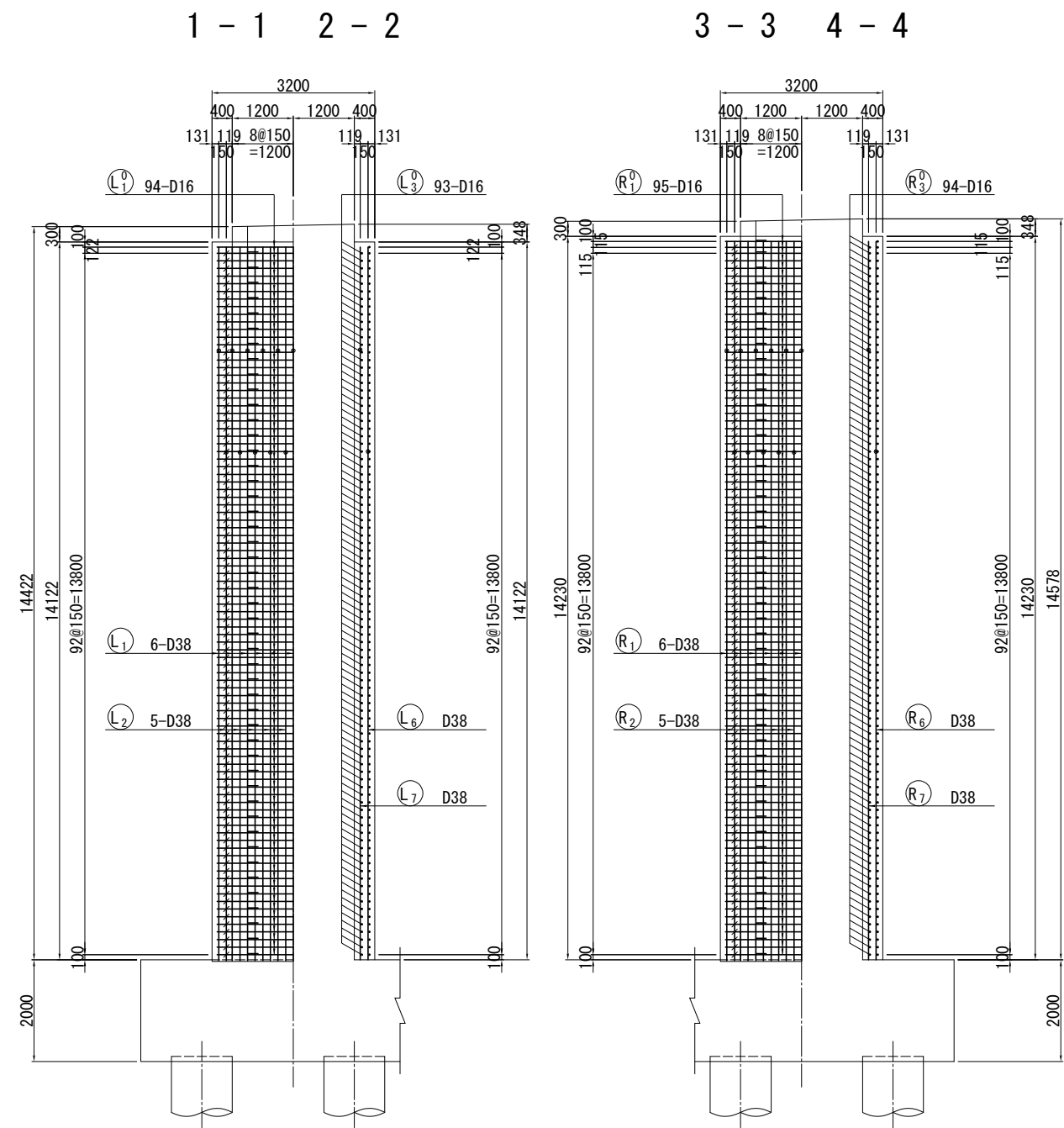
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P17橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



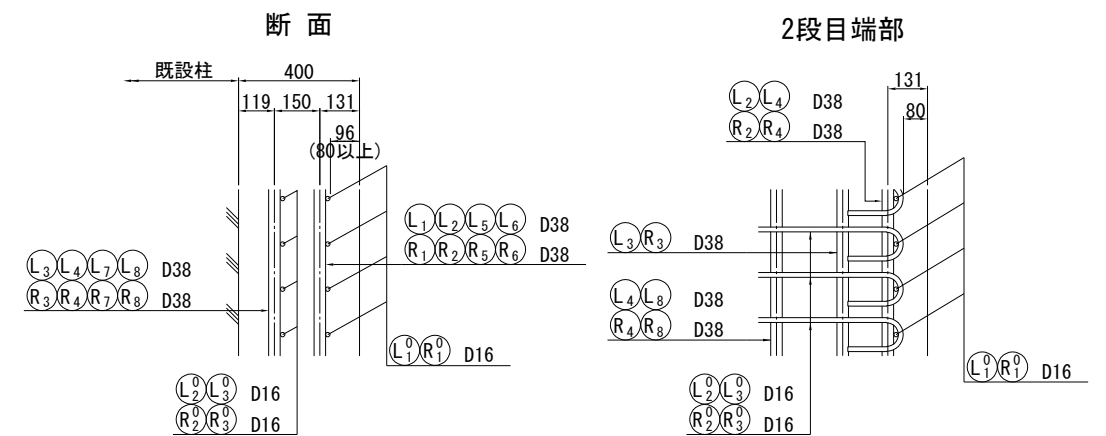
注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料		
	工 種	仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

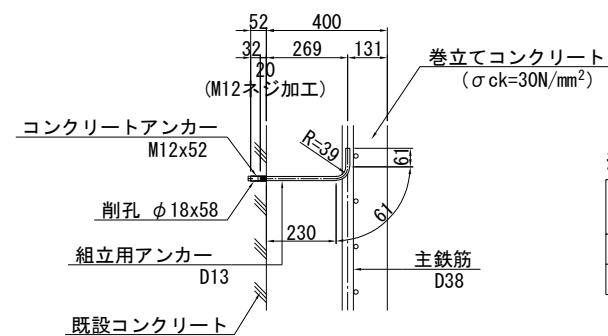
	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 P18橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

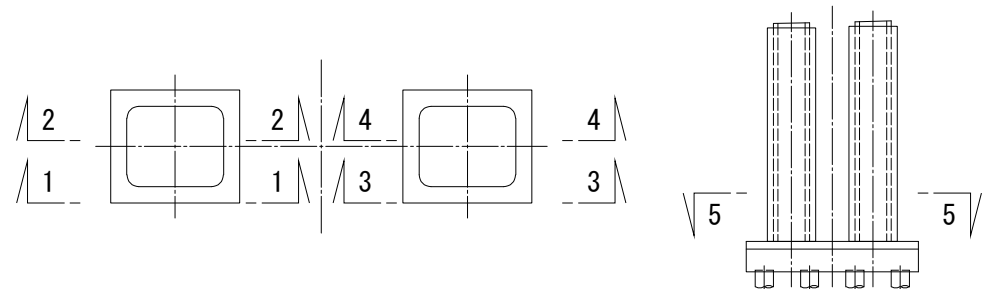


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	124	47
右柱	380	125	47

※組立用アンカー本数
N=124. 3m²/1本/m²=124本
N=125. 3m²/1本/m²=125本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図

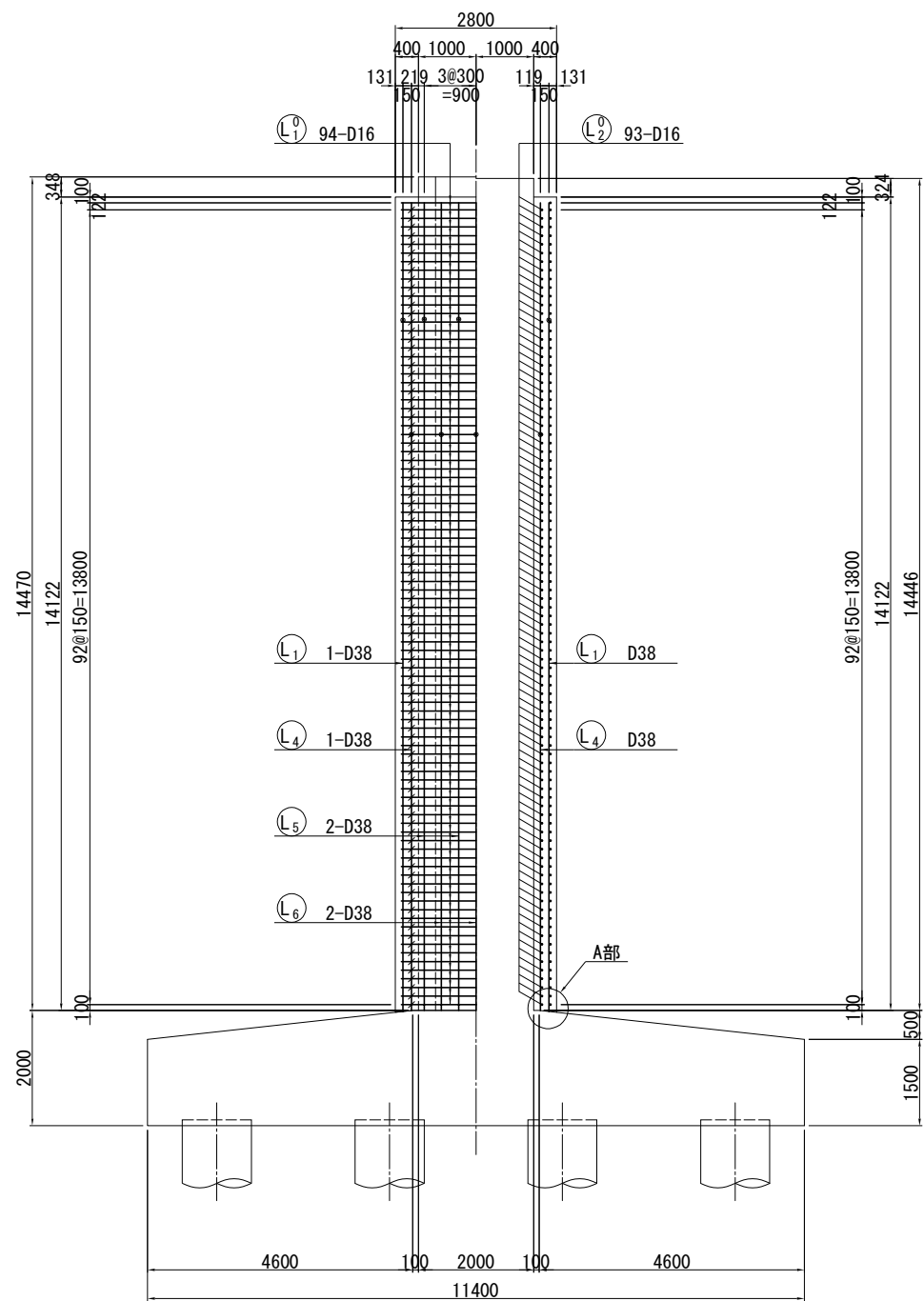


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

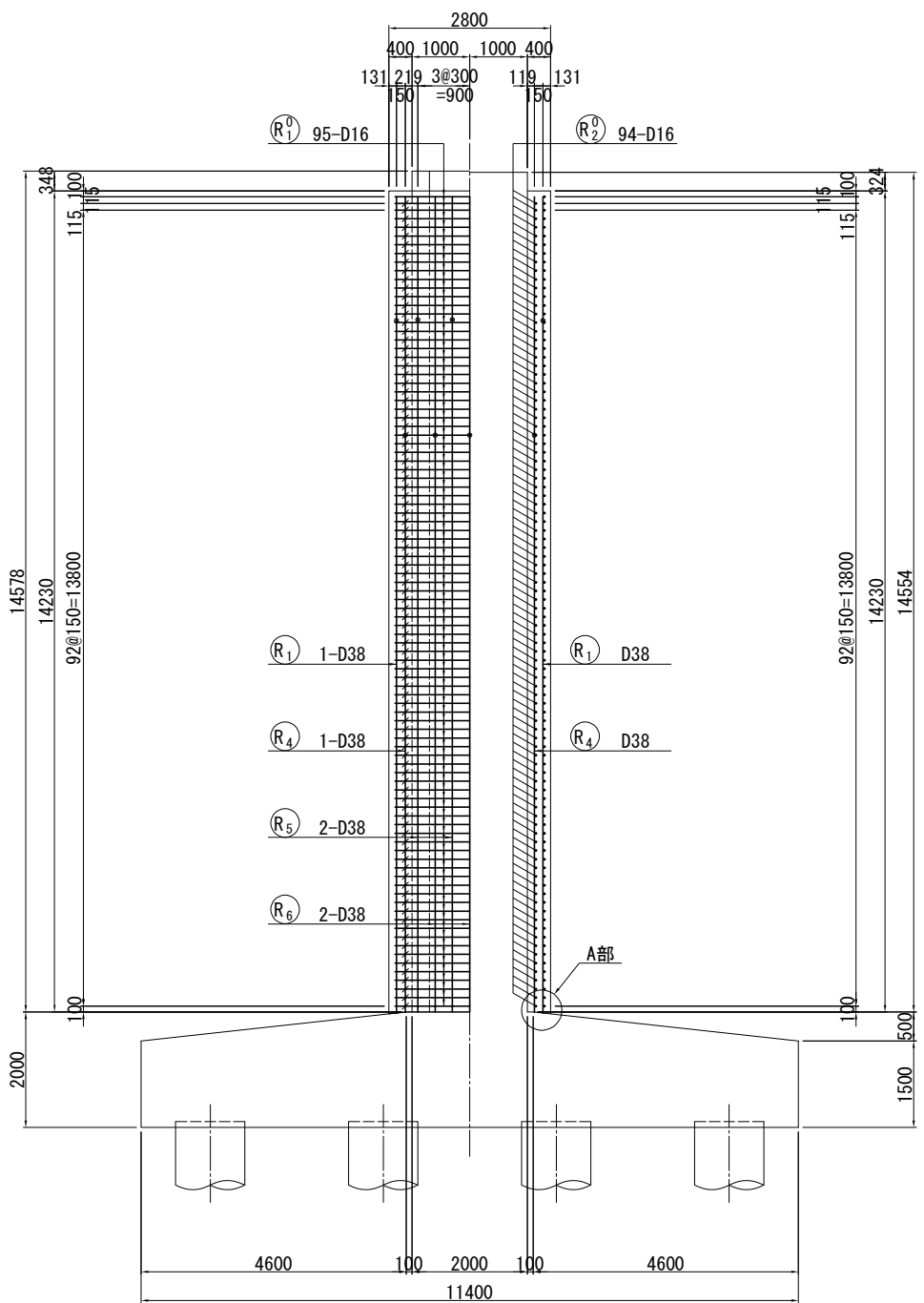
使用材料		仕様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P18橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

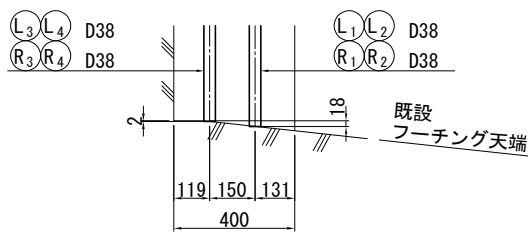
6 - 6 7 - 7



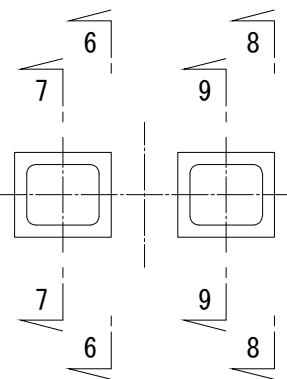
8 - 8 9 - 9



A部詳細図 S=1:25

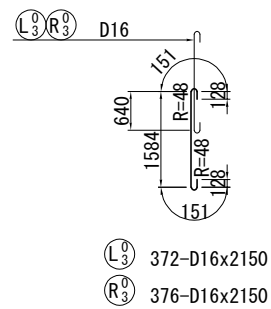
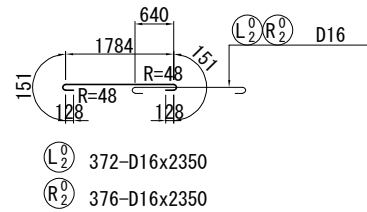
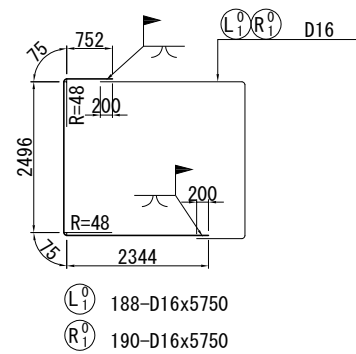
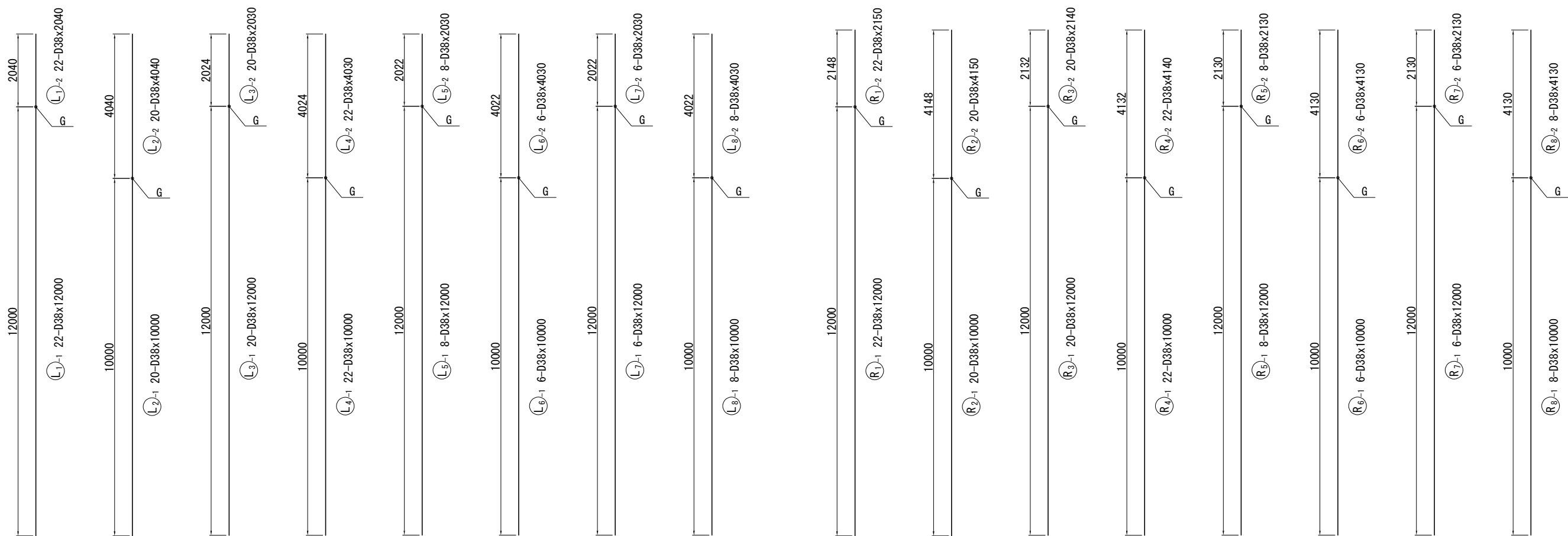


位置図

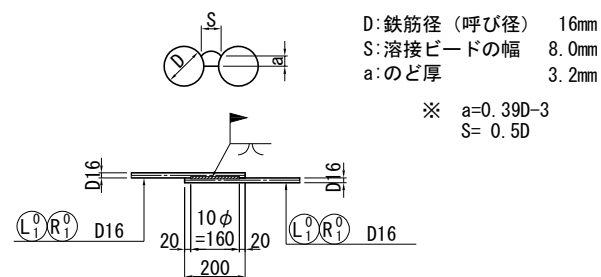


注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P18橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P18橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

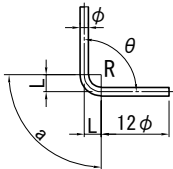
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	2040	22	8.95	18.3	403	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	4040	20	8.95	36.2	724	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	2030	20	8.95	18.2	364	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	4030	22	8.95	36.1	794	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	2030	8	8.95	18.2	146	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	4030	6	8.95	36.1	217	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	2030	6	8.95	18.2	109	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	4030	8	8.95	36.1	289	
14050 ^{kg}							
L 1 ⁰	D16	5750	188	1.56	8.97	1686	┐ [188]
L 2 ⁰	D16	2350	372	1.56	3.67	1365	┐
L 3 ⁰	D16	2150	372	1.56	3.35	1246	┐
4297 ^{kg}							
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			14050 ^{kg}	(112)	-		
D16			4297 ^{kg}	-	[188]		
合 計			18347 ^{kg}	(112)	[188]		
コンクリートアンカー					M12x52	124	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	2150	22	8.95	19.2	422	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	4150	20	8.95	37.1	742	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	2140	20	8.95	19.2	384	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	4140	22	8.95	37.1	816	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	2130	8	8.95	19.1	153	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	4130	6	8.95	37.0	222	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	2130	6	8.95	19.1	115	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	4130	8	8.95	37.0	296	
14154 ^{kg}							
R 1 ⁰	D16	5750	190	1.56	8.97	1704	┐ [190]
R 2 ⁰	D16	2350	376	1.56	3.67	1380	┐
R 3 ⁰	D16	2150	376	1.56	3.35	1260	┐
4344 ^{kg}							
T		ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数			
D38		14154 ^{kg}		(112)		-	
D16		4344 ^{kg}		-		[190]	
合 計		18498 ^{kg}		(112)		[190]	
コンクリートアンカー				M12x52		125 個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

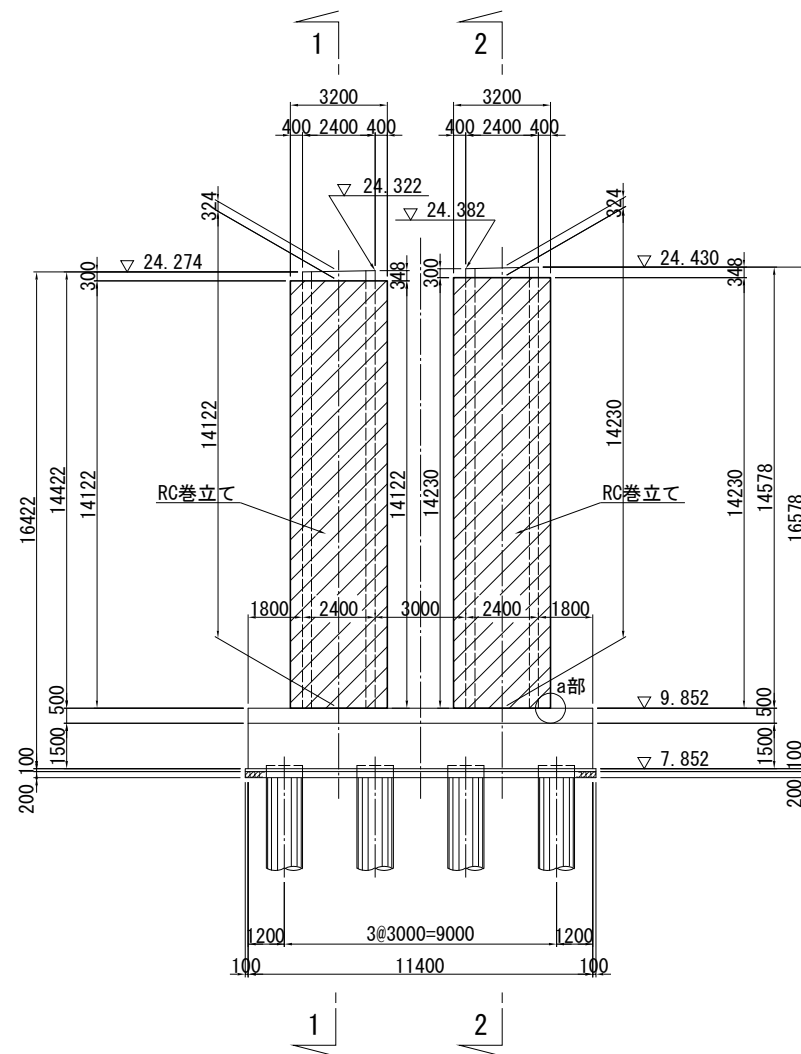
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

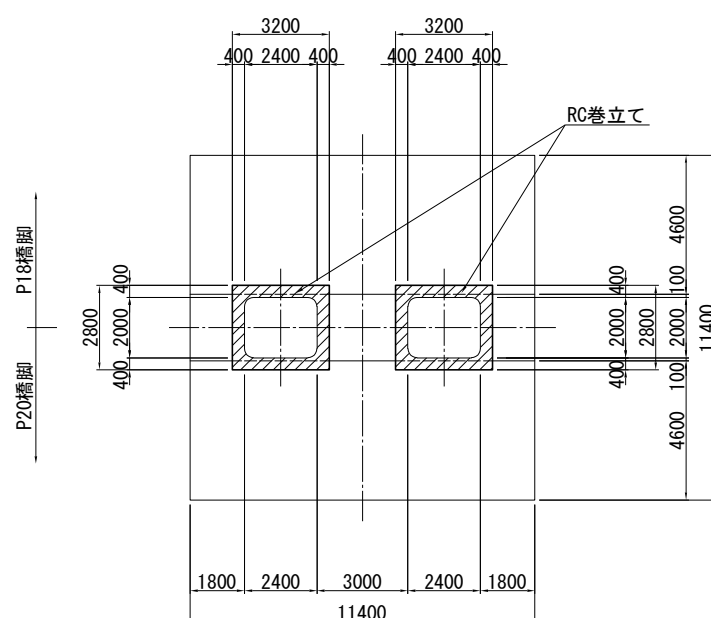
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P18橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

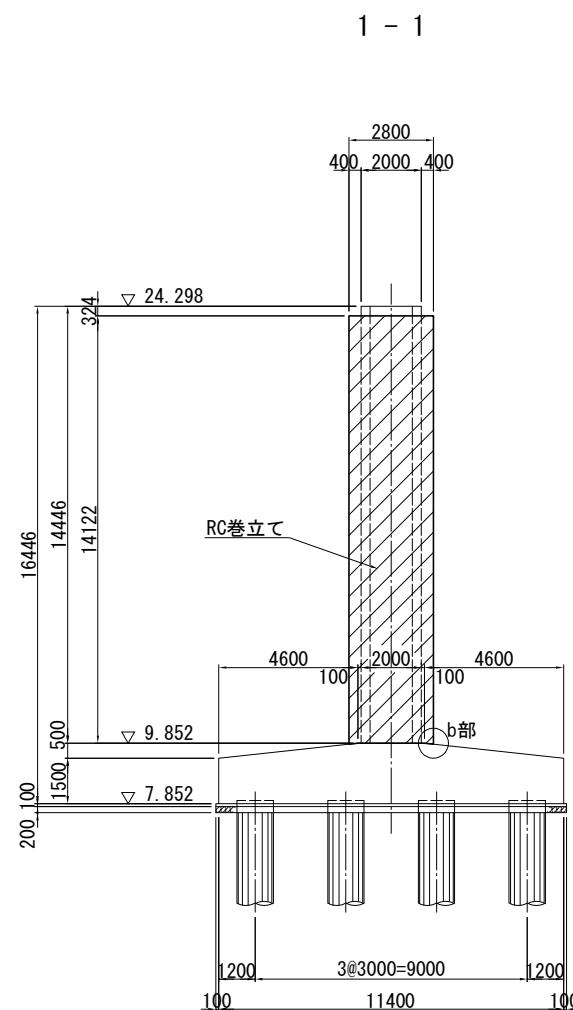
正面図



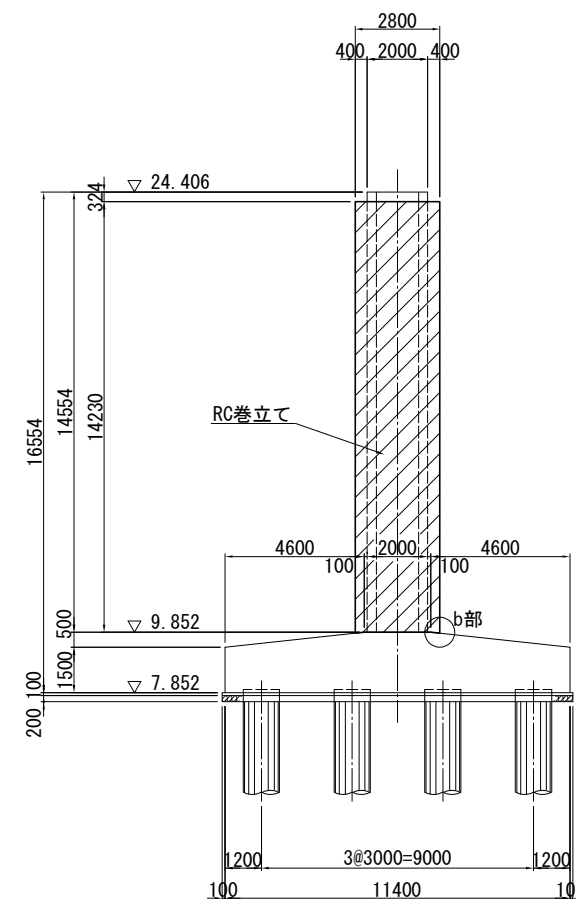
平面図



側面図

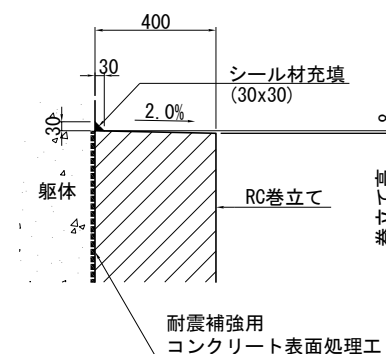


2-2

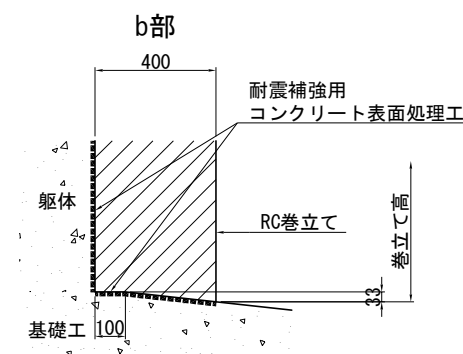
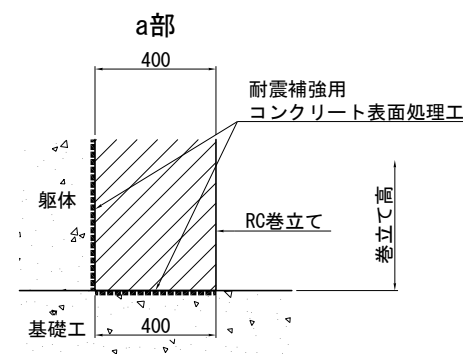


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

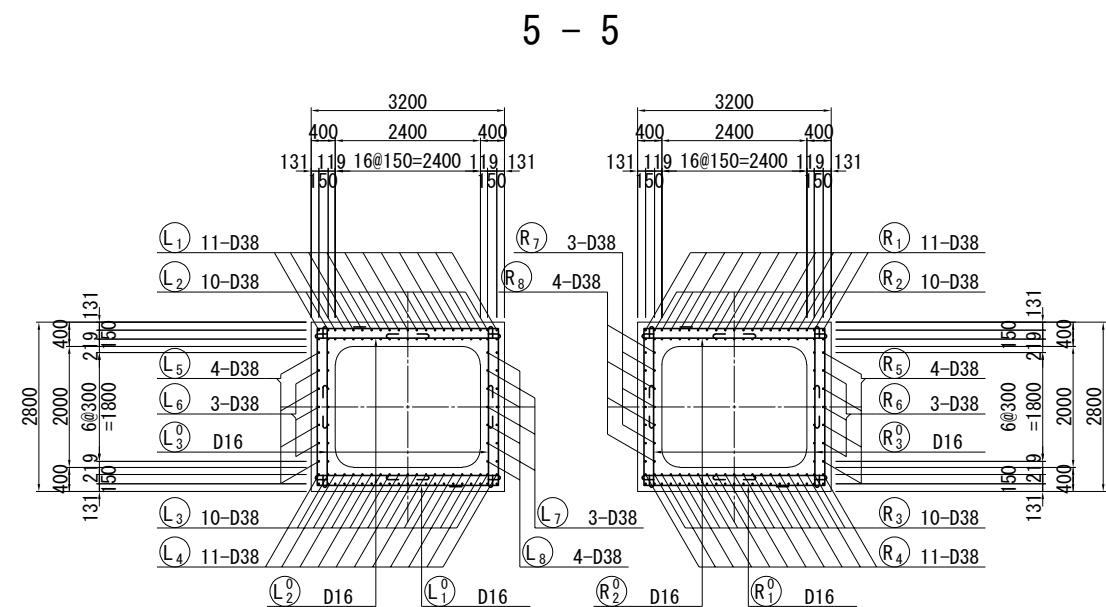
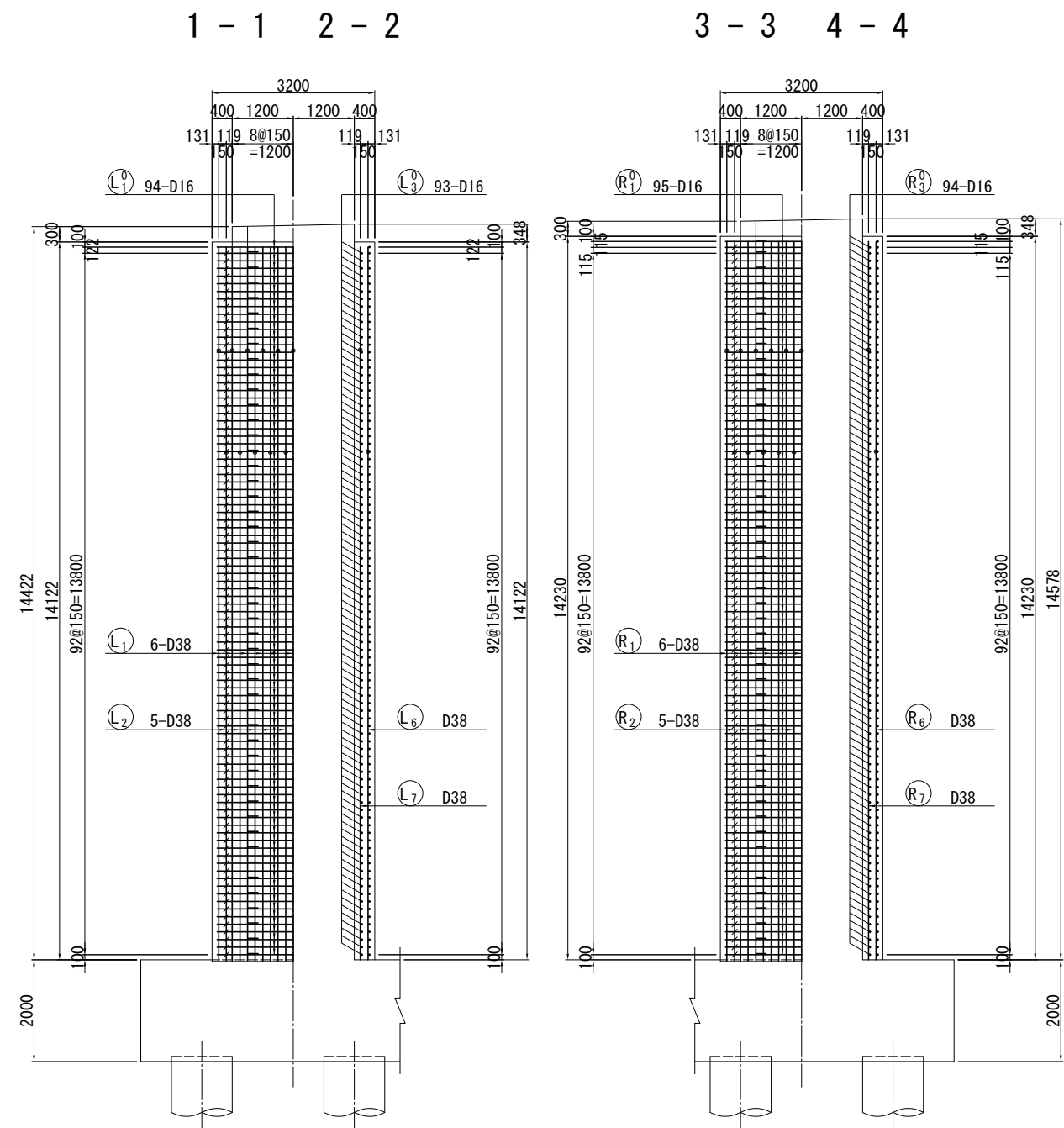


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

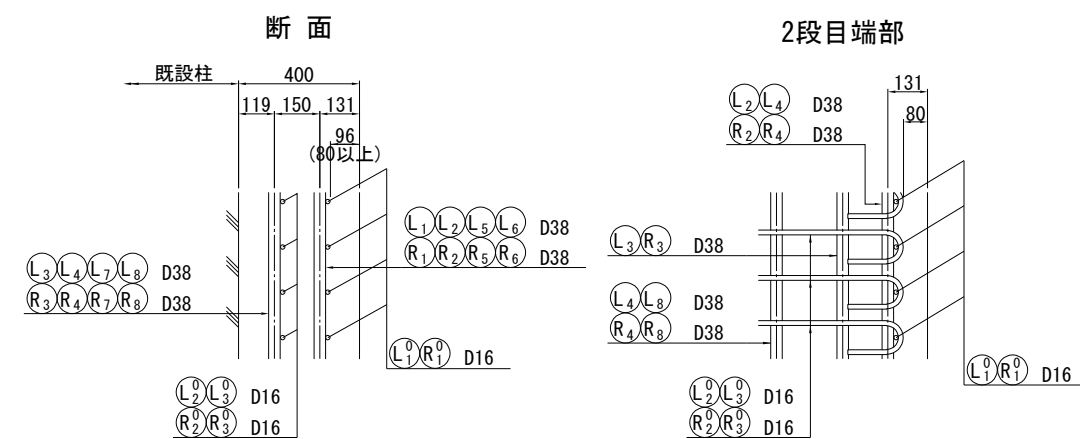
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

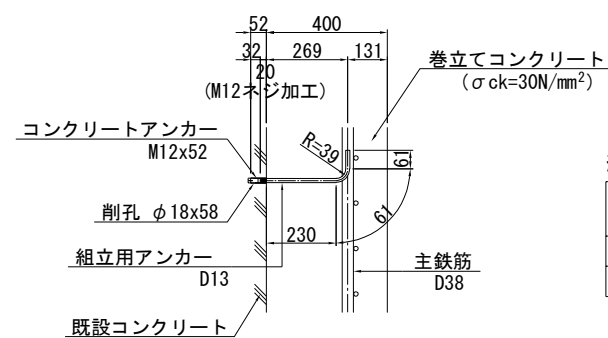
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P19橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25 (参考図)

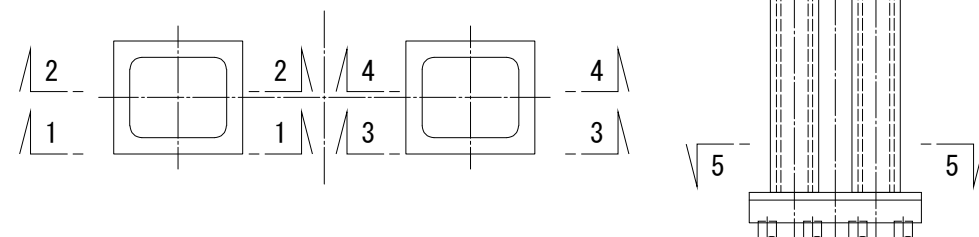


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	124	47
右柱	380	125	47

※組立用アンカー本数
N=124. 3m²/1本/m²=124本
N=125. 3m²/1本/m²=125本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

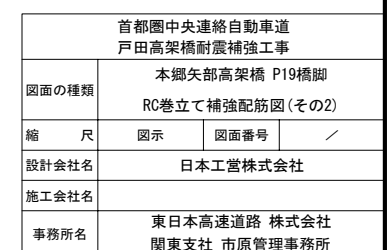
使用材料		仕様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄筋	SD345

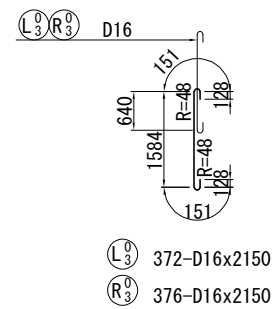
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P19橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

6 - 6 7 - 7



A部詳細図 S=1:25





D: 鉄筋径 (呼び径) 16mm
 S: 溶接ビードの幅 8.0mm
 a: のど厚 3.2mm

※ a=0.39D-3
 S= 0.5D

	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷支店高架橋 P19橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

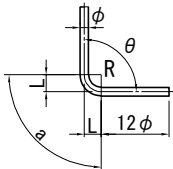
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	2040	22	8.95	18.3	403	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	4040	20	8.95	36.2	724	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	2030	20	8.95	18.2	364	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	4030	22	8.95	36.1	794	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	2030	8	8.95	18.2	146	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	4030	6	8.95	36.1	217	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	2030	6	8.95	18.2	109	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	4030	8	8.95	36.1	289	
						14050 ^{kg}	
L 1 ⁰	D16	5750	188	1.56	8.97	1686	┐ [188]
L 2 ⁰	D16	2350	372	1.56	3.67	1365	┐
L 3 ⁰	D16	2150	372	1.56	3.35	1246	┐
						4297 ^{kg}	
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			14050 ^{kg}	(112)	-		
D16			4297 ^{kg}	-	[188]		
合 計			18347 ^{kg}	(112)	[188]		
コンクリートアンカー					M12x52	124	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	2150	22	8.95	19.2	422	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	4150	20	8.95	37.1	742	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	2140	20	8.95	19.2	384	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	4140	22	8.95	37.1	816	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	2130	8	8.95	19.1	153	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	4130	6	8.95	37.0	222	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	2130	6	8.95	19.1	115	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	4130	8	8.95	37.0	296	
						14154	kg
R 1 ⁰	D16	5750	190	1.56	8.97	1704	┐ [190]
R 2 ⁰	D16	2350	376	1.56	3.67	1380	┐
R 3 ⁰	D16	2150	376	1.56	3.35	1260	┐
						4344	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			14154	kg	(112)	-	
D16			4344	kg	-	[190]	
合 計			18498	kg	(112)	[190]	
コンクリートアンカー				M12x52		125	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

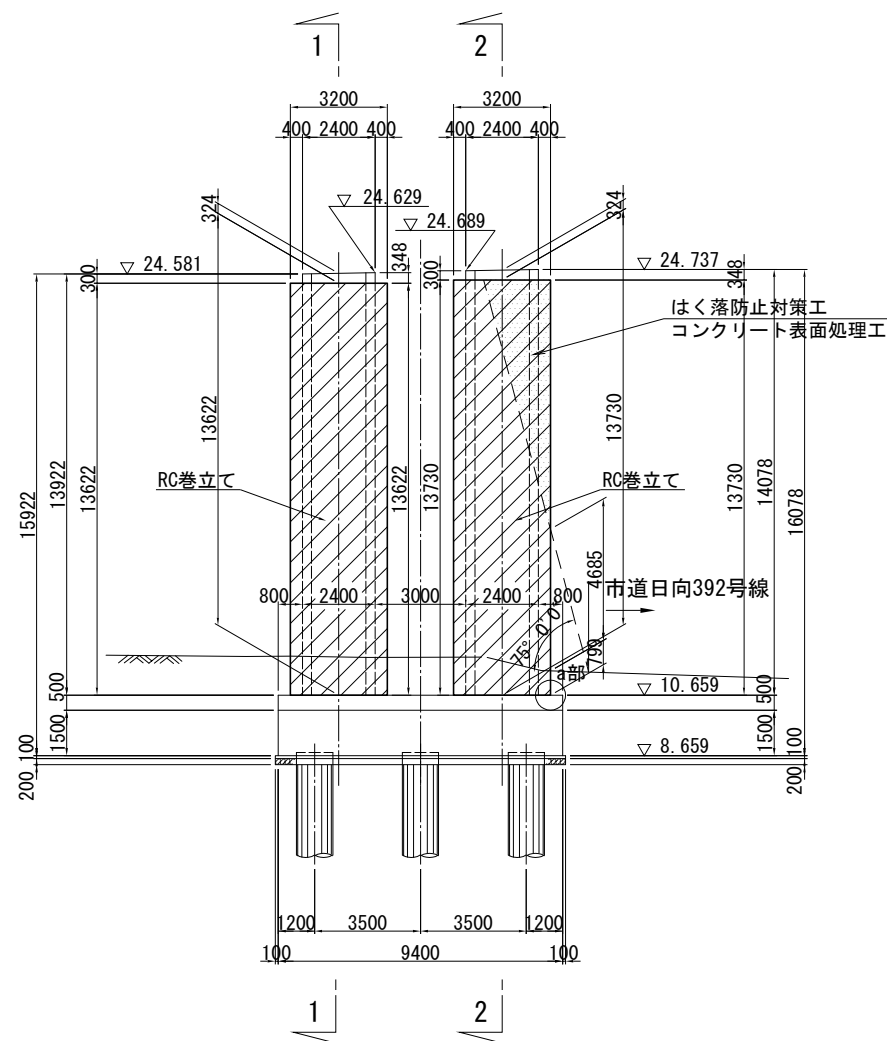
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

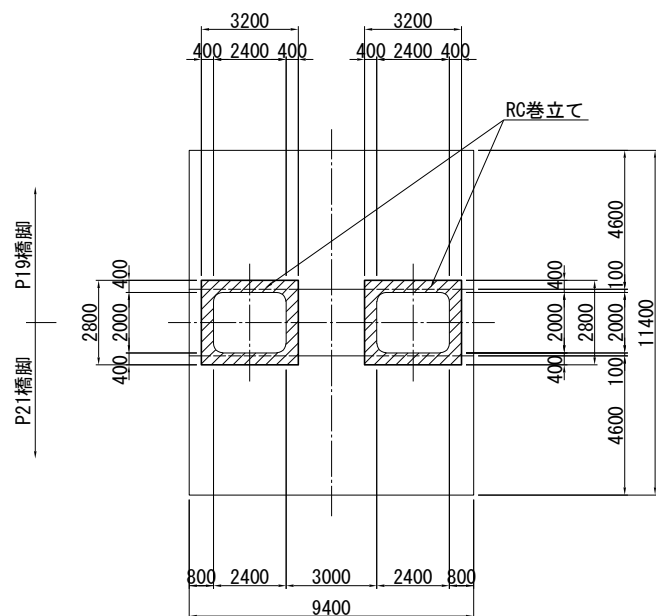
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P19橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

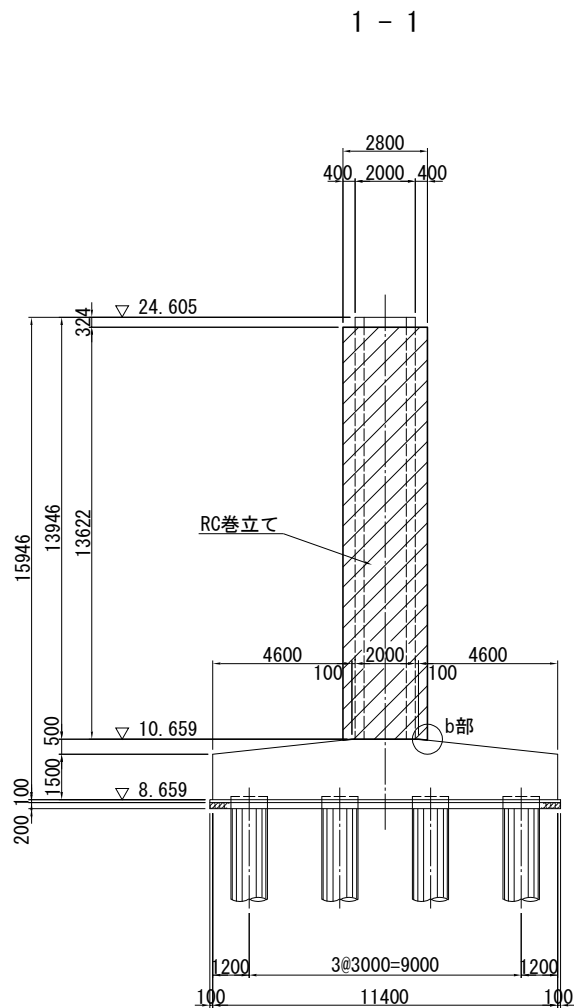
正面図



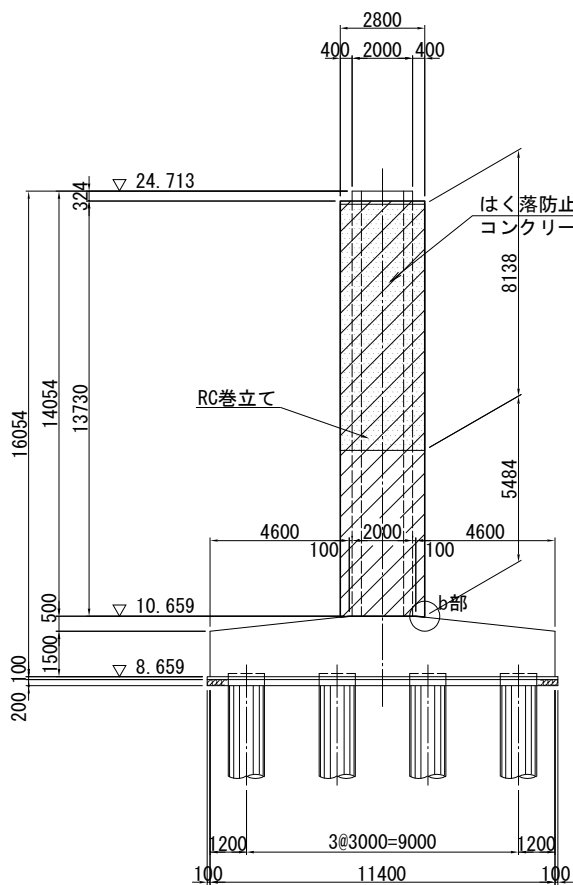
平面図



側面図

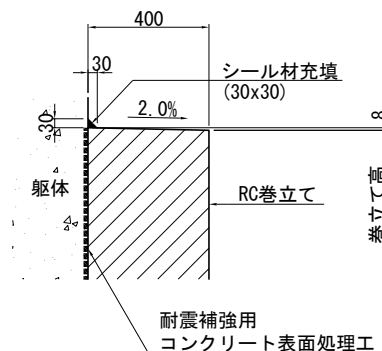


2-2

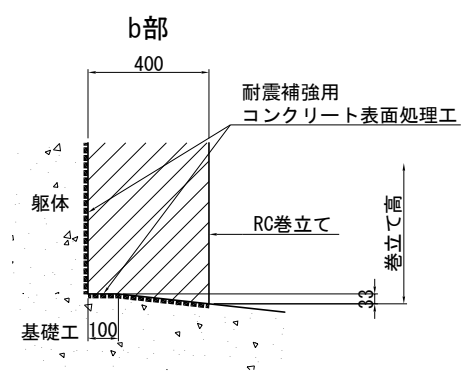
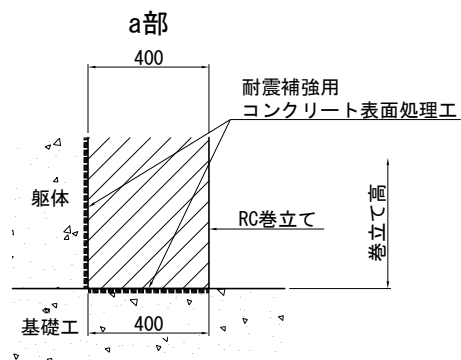


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)

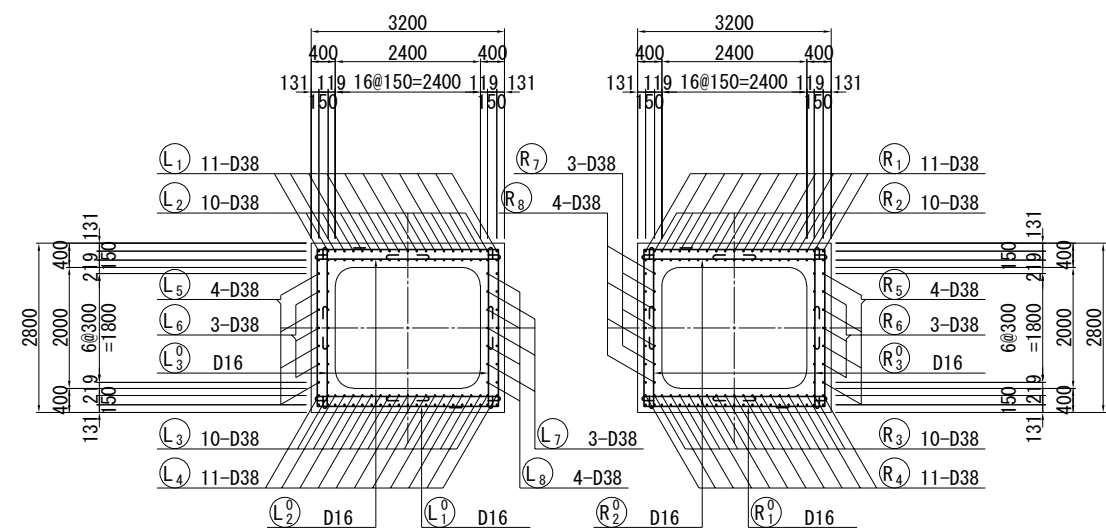
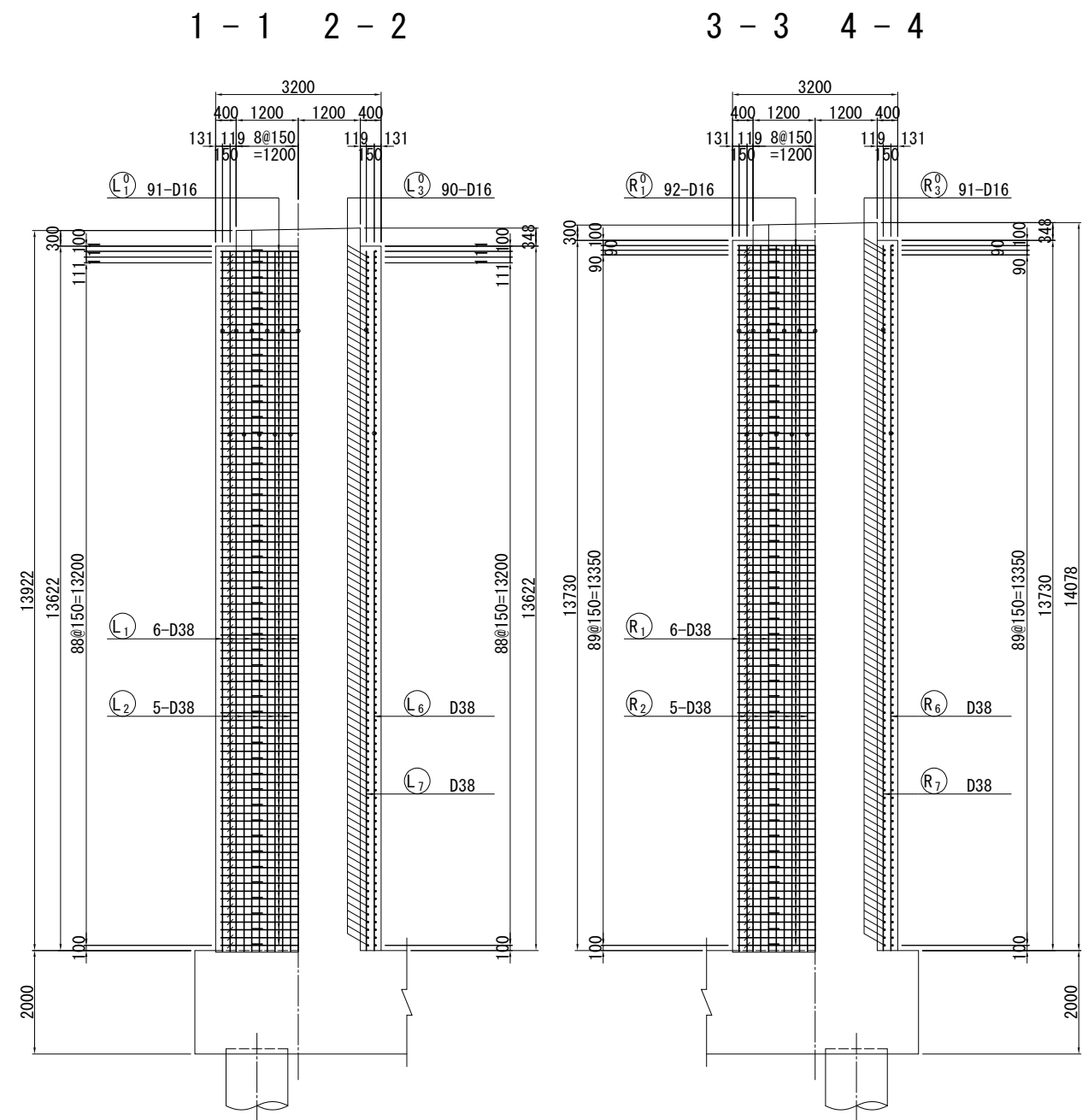


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

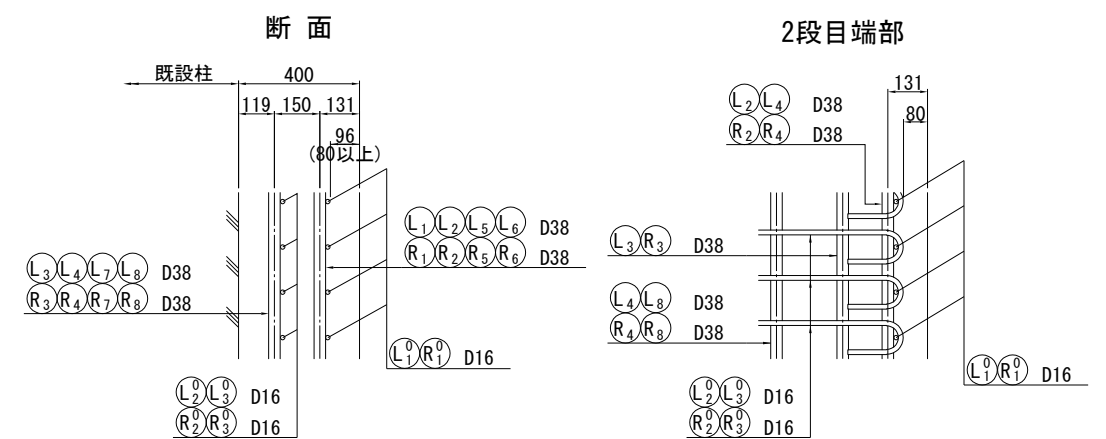
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

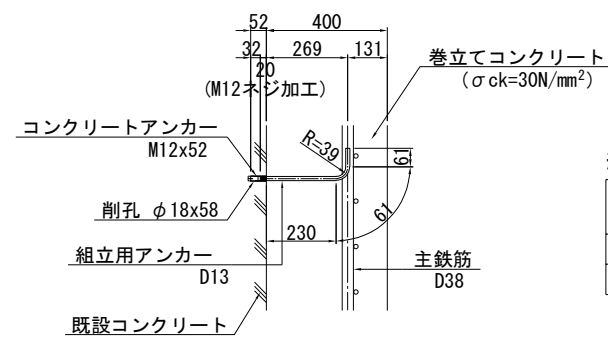
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P20橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

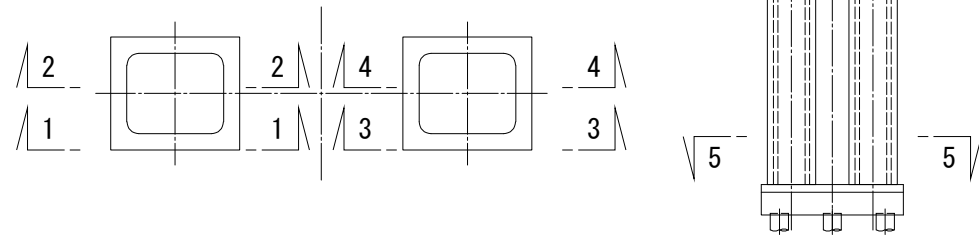


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	380	120	45
右柱	380	121	46

※組立用アンカー本数
N=119.9m²/1本/m²=120本
N=120.9m²/1本/m²=121本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



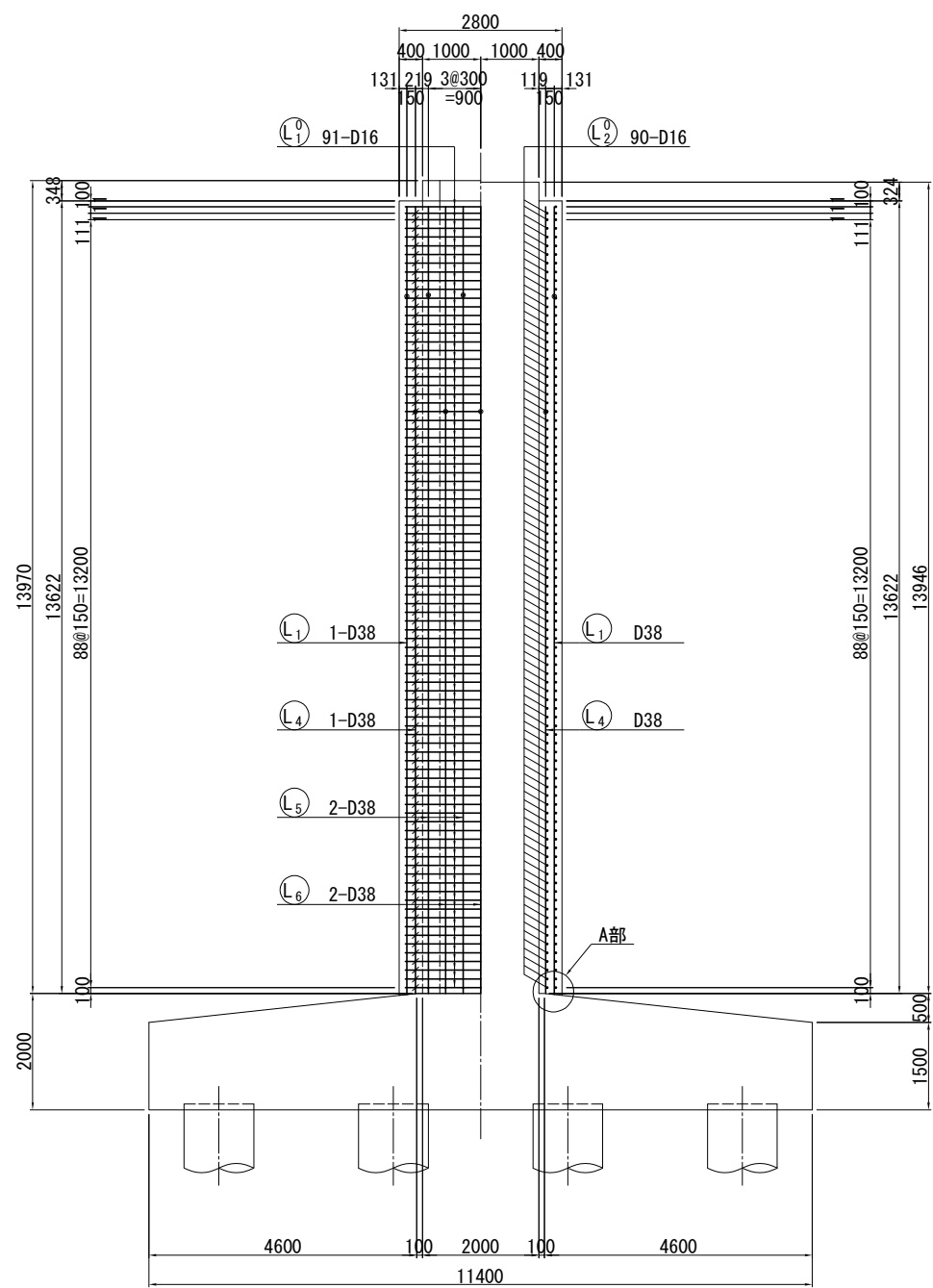
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

使用材料

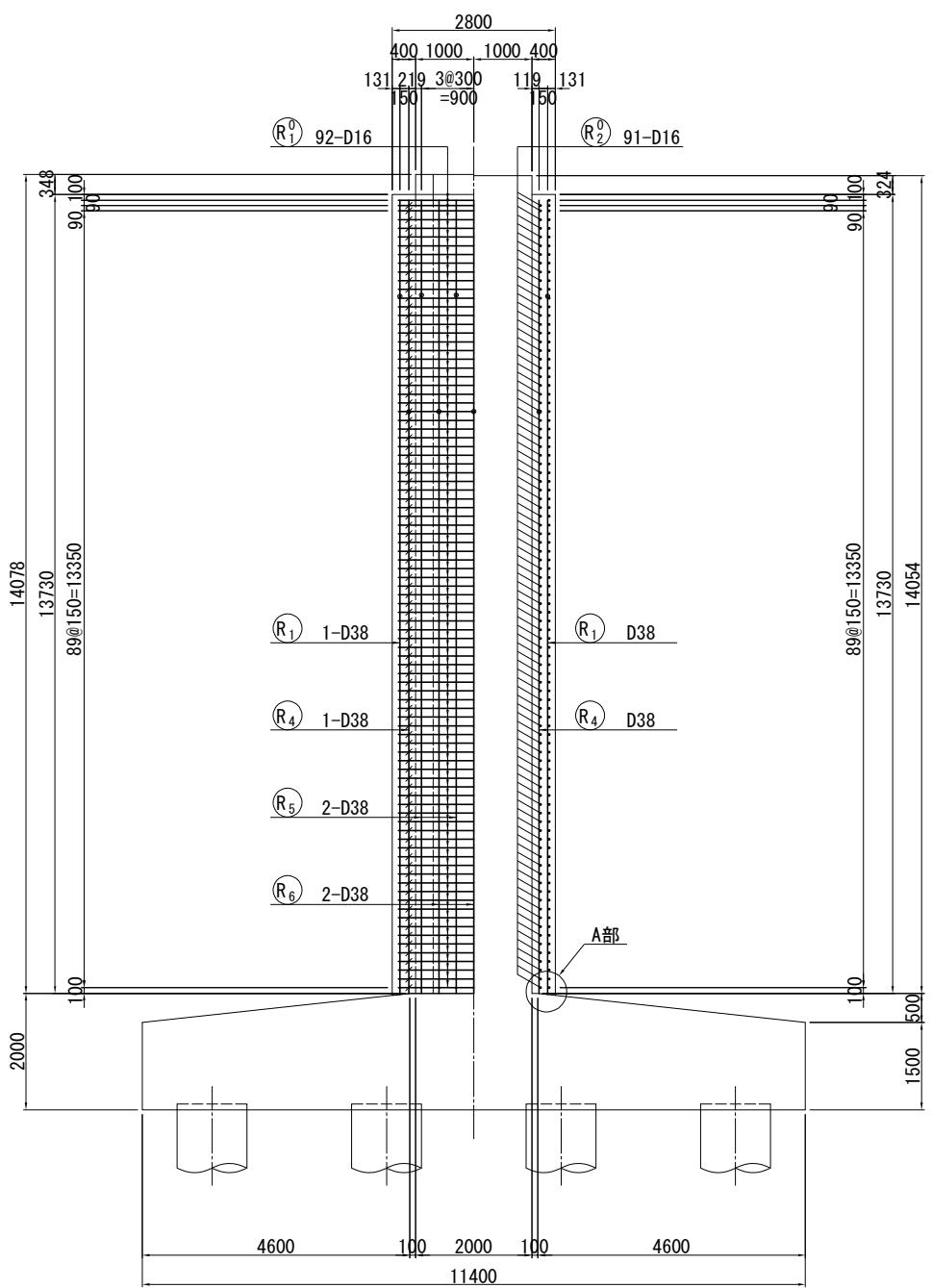
工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P20橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

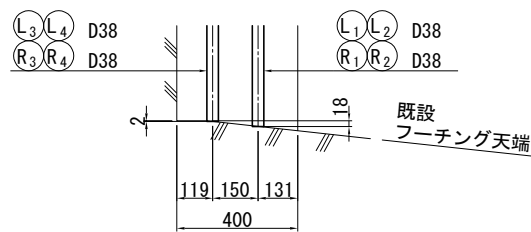
6 - 6 7 - 7



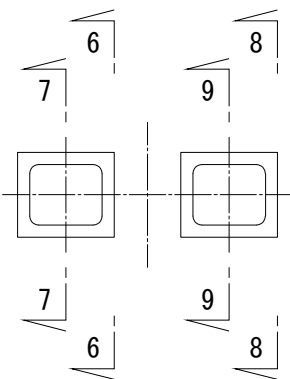
8 - 8 9 - 9



A部詳細図 S=1:25

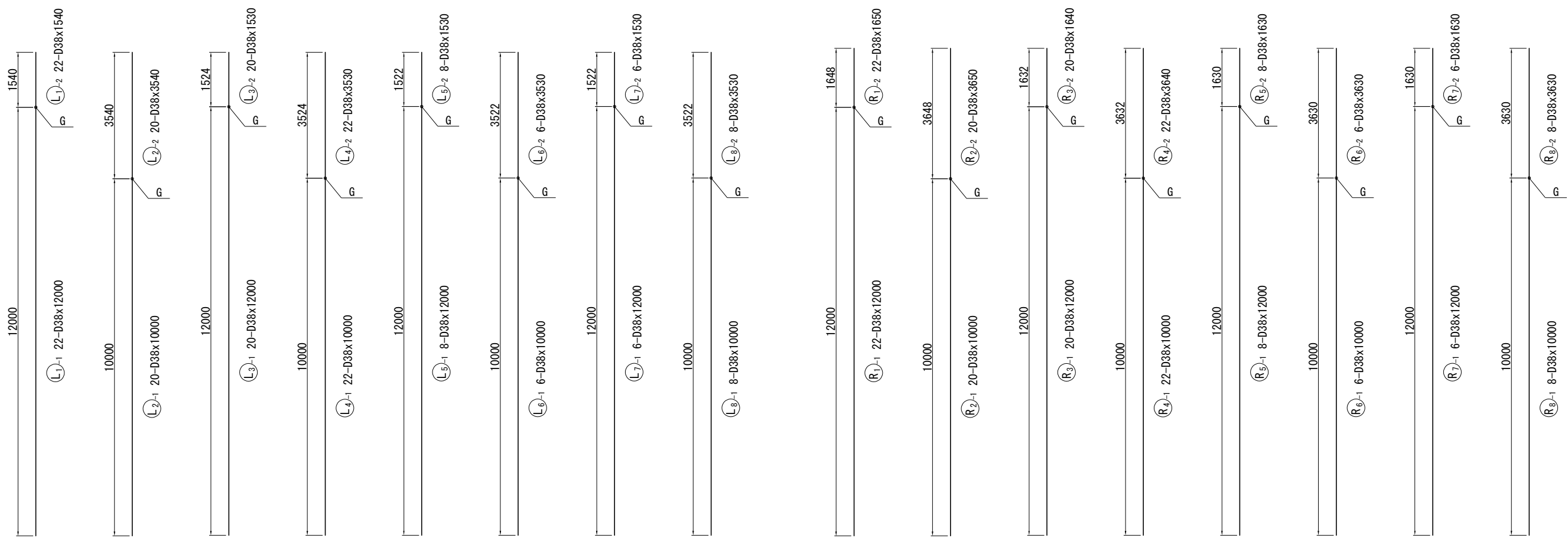


位置図



注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P20橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



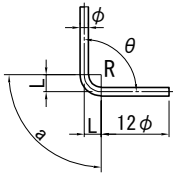
鉄筋質量表 (左柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
L 1 -2	D38	1540	22	8.95	13.8	304	
L 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
L 2 -2	D38	3540	20	8.95	31.7	634	
L 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
L 3 -2	D38	1530	20	8.95	13.7	274	
L 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
L 4 -2	D38	3530	22	8.95	31.6	695	
L 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
L 5 -2	D38	1530	8	8.95	13.7	110	
L 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
L 6 -2	D38	3530	6	8.95	31.6	190	
L 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
L 7 -2	D38	1530	6	8.95	13.7	82	
L 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
L 8 -2	D38	3530	8	8.95	31.6	253	
13546 ^{kg}							
L 1 ⁰	D16	5750	182	1.56	8.97	1633	┐ [182]
L 2 ⁰	D16	2350	360	1.56	3.67	1321	┐
L 3 ⁰	D16	2150	360	1.56	3.35	1206	┐
4160 ^{kg}							
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			13546 ^{kg}	(112)	-		
D16			4160 ^{kg}	-	[182]		
合 計			17706 ^{kg}	(112)	[182]		
コンクリートアンカー					M12x52	120	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋質量表 (右柱)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	12000	22	8.95	107	2354	↑ (22)
R 1 -2	D38	1650	22	8.95	14.8	326	
R 2 -1	D38	10000	20	8.95	89.5	1790	↑ (20)
R 2 -2	D38	3650	20	8.95	32.7	654	
R 3 -1	D38	12000	20	8.95	107	2140	↑ (20)
R 3 -2	D38	1640	20	8.95	14.7	294	
R 4 -1	D38	10000	22	8.95	89.5	1969	↑ (22)
R 4 -2	D38	3640	22	8.95	32.6	717	
R 5 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
R 5 -2	D38	1630	8	8.95	14.6	117	
R 6 -1	D38	10000	6	8.95	89.5	537	↑ (6)
R 6 -2	D38	3630	6	8.95	32.5	195	
R 7 -1	D38	12000	6	8.95	107	642	↑ (6)
R 7 -2	D38	1630	6	8.95	14.6	88	
R 8 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
R 8 -2	D38	3630	8	8.95	32.5	260	
						13655	kg
R 1 ⁰	D16	5750	184	1.56	8.97	1650	┐ [184]
R 2 ⁰	D16	2350	364	1.56	3.67	1336	┐
R 3 ⁰	D16	2150	364	1.56	3.35	1219	┐
						4205	kg
T		ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数			
D38		13655 kg		(112)		-	
D16		4205 kg		-		[184]	
合 計		17860 kg		(112)		[184]	
コンクリートアンカー				M12x52		121 個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

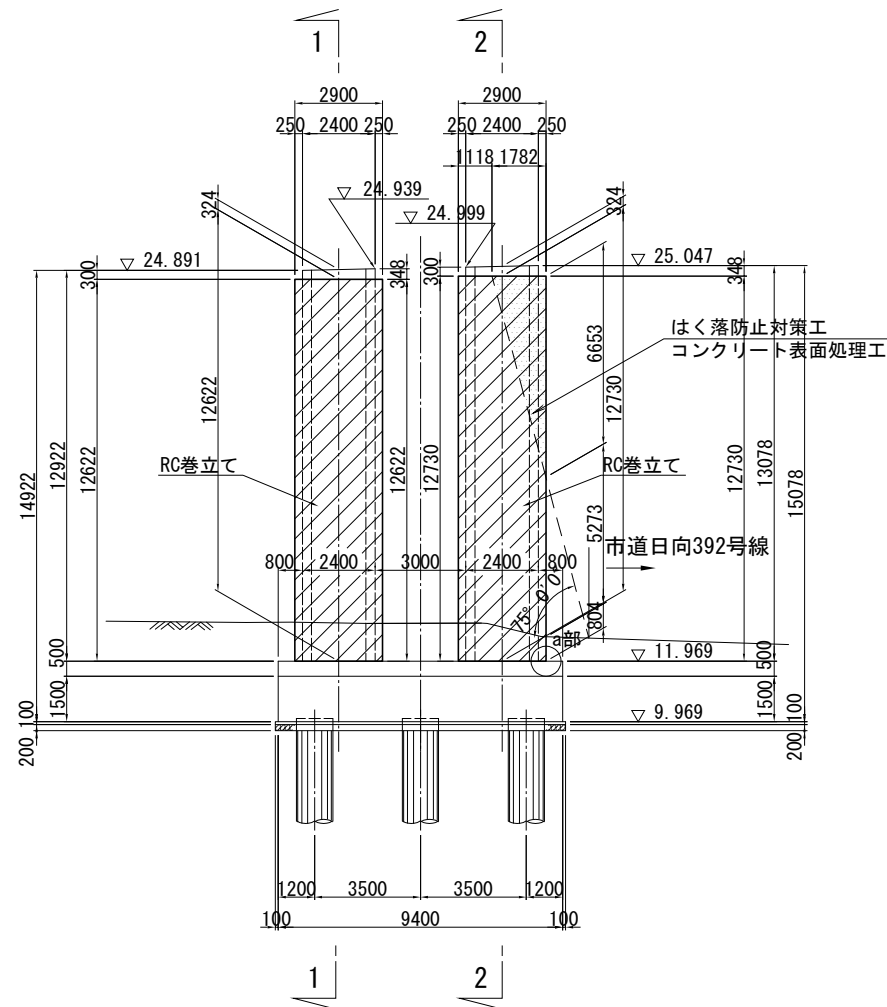
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

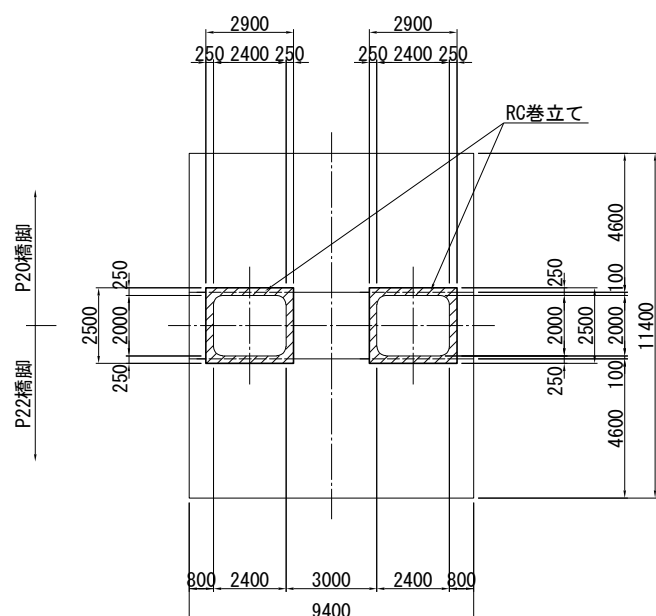
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P20橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

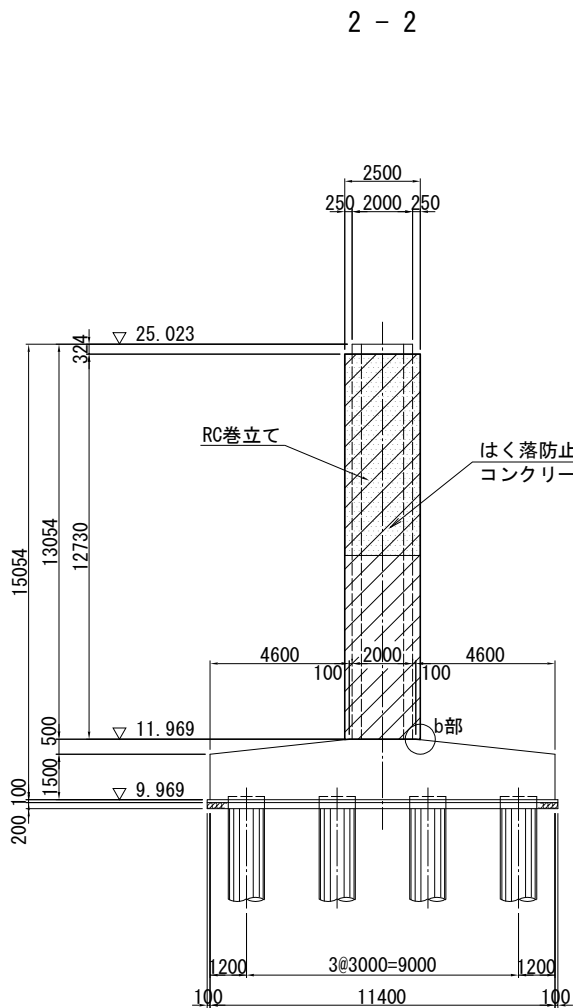
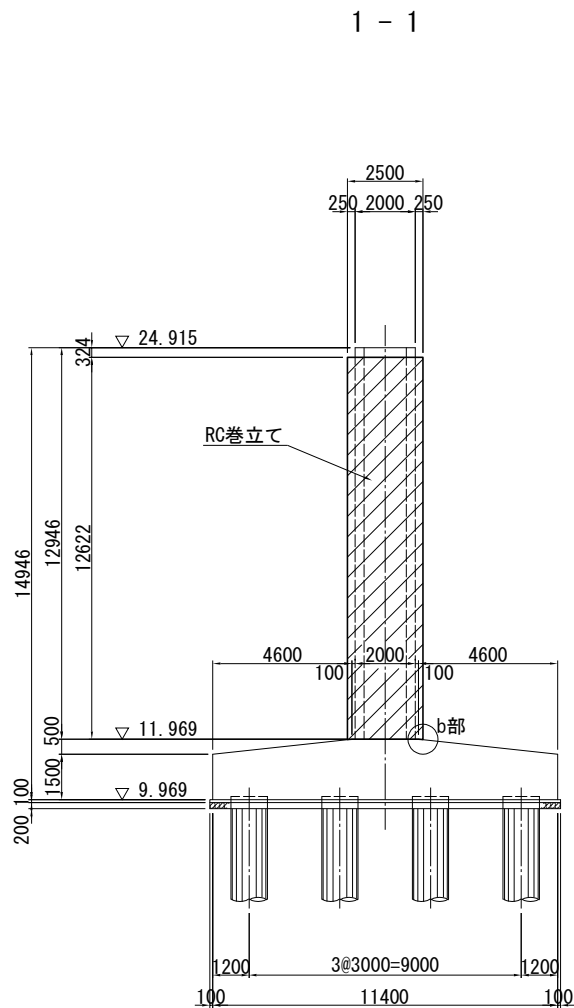
正面図



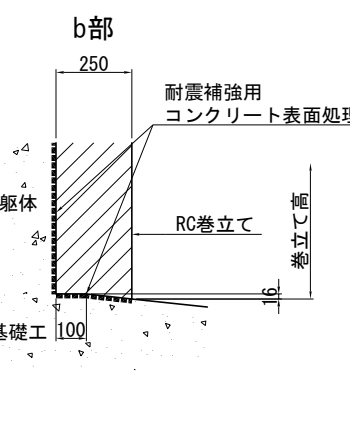
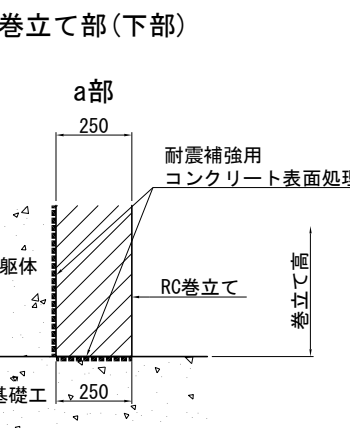
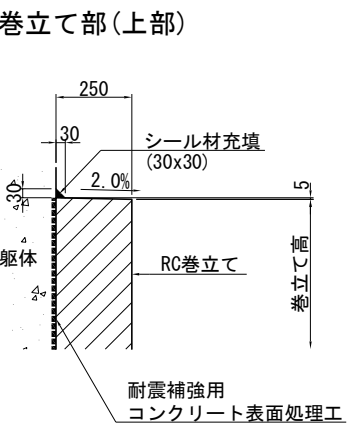
平面図



側面図



巻立て部詳細図 S=1:25

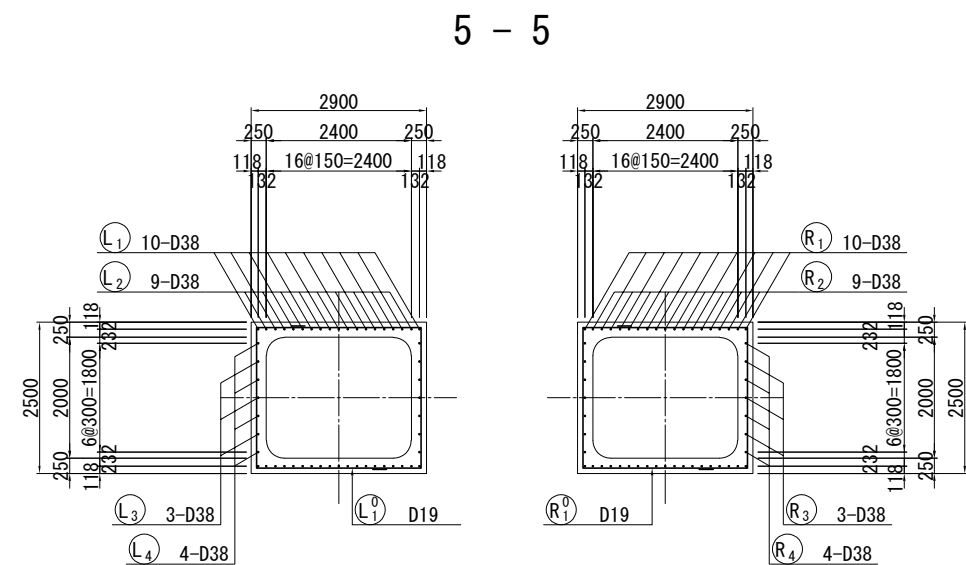
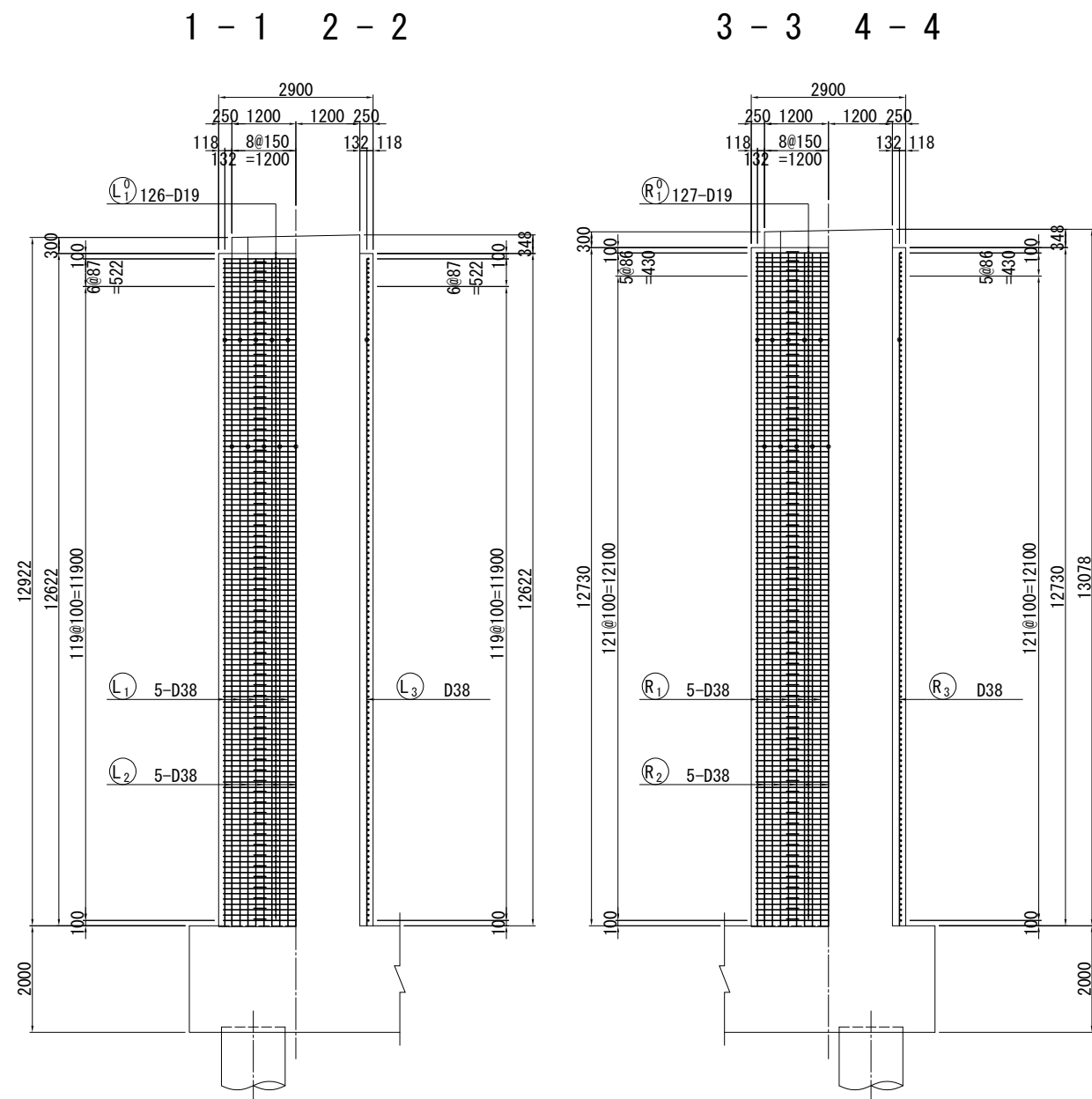


注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

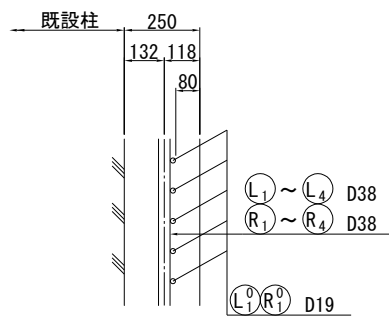
使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄筋	SD345
	コンクリート	30 N/mm ²
補強部	鉄筋	SD345

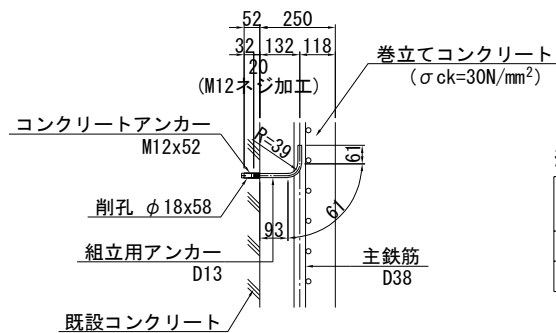
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P21橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



かぶり詳細図 S=1:25



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)

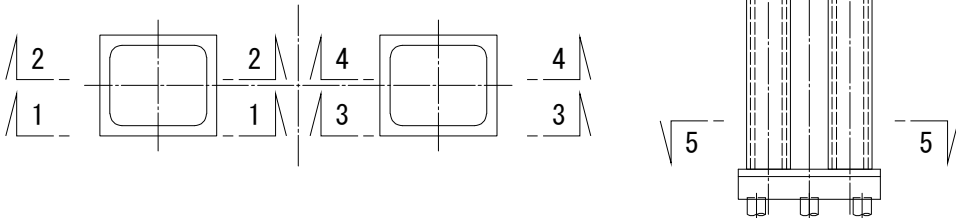


組立用アンカー数量表			
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	240	111	27
右柱	240	112	27

※組立用アンカー本数
N=111. 1m²/1本/m =111本
N=112. 1m²/1本/m =112本

※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

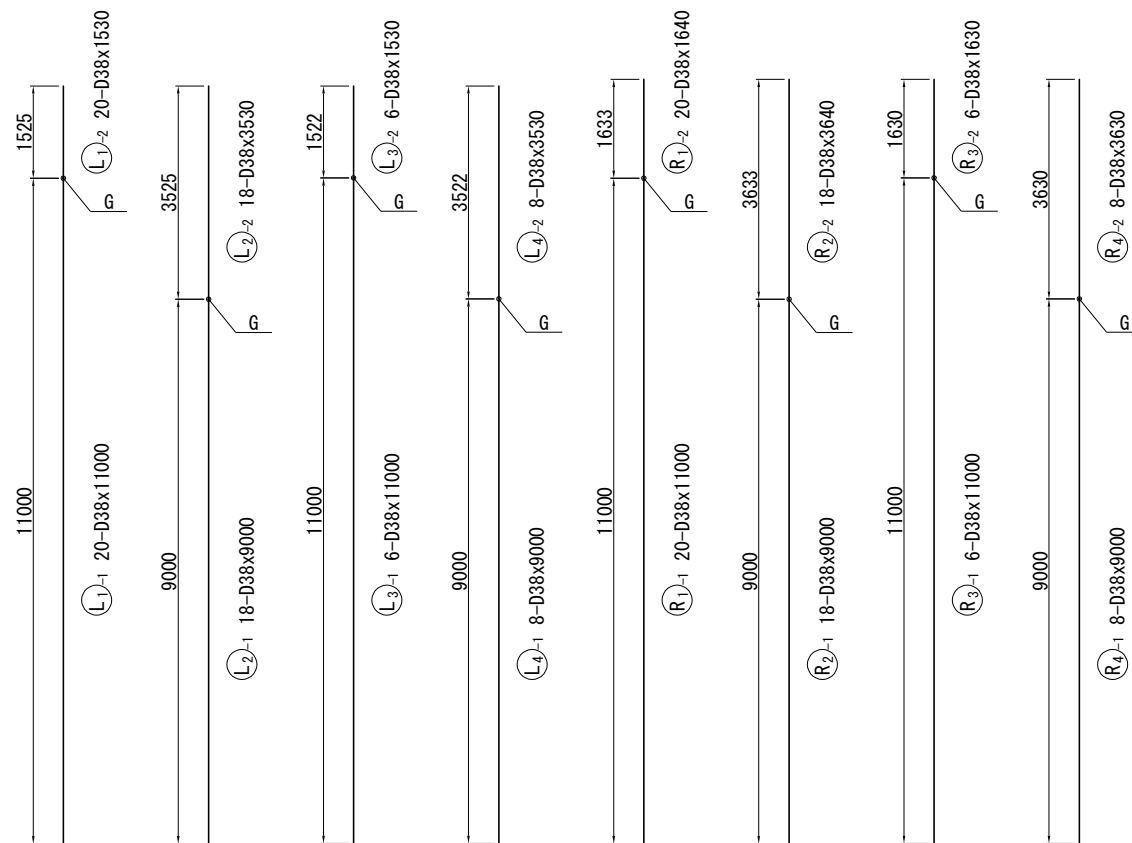
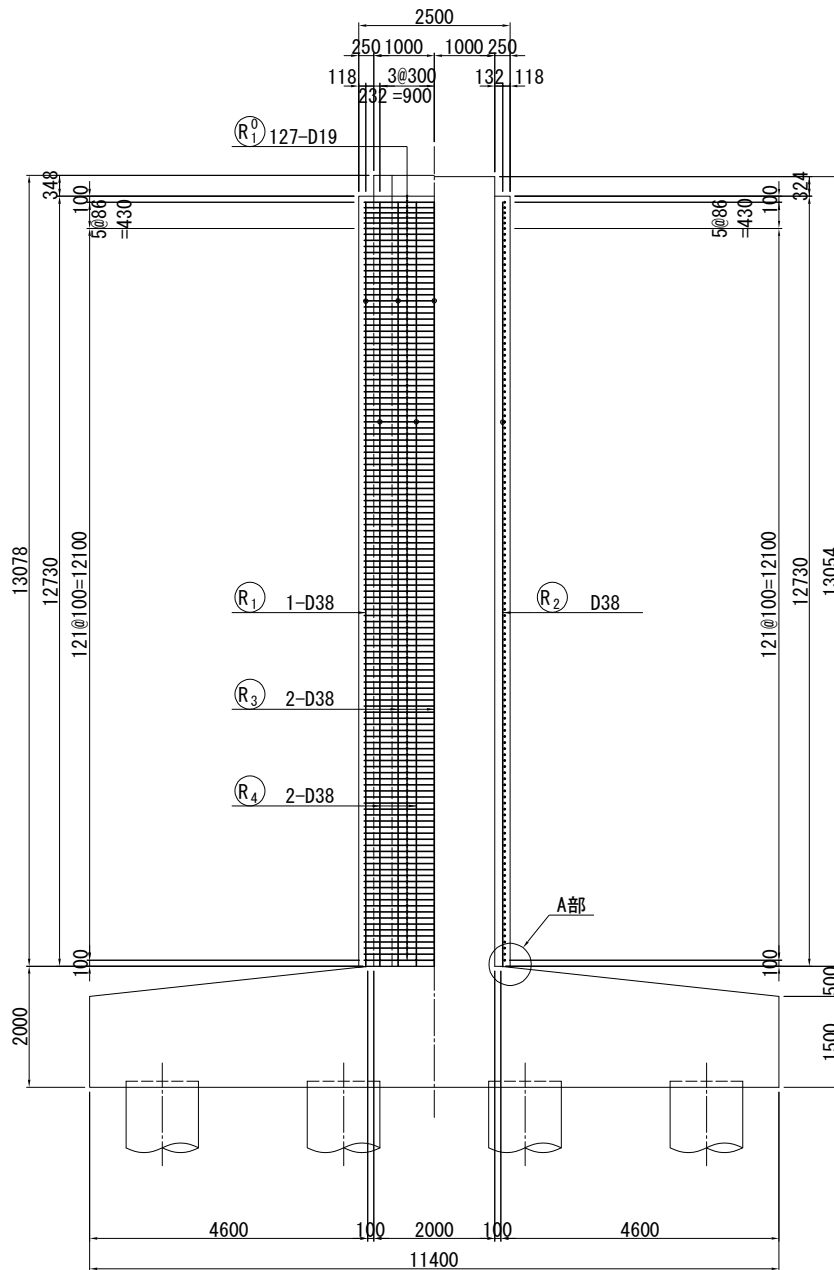
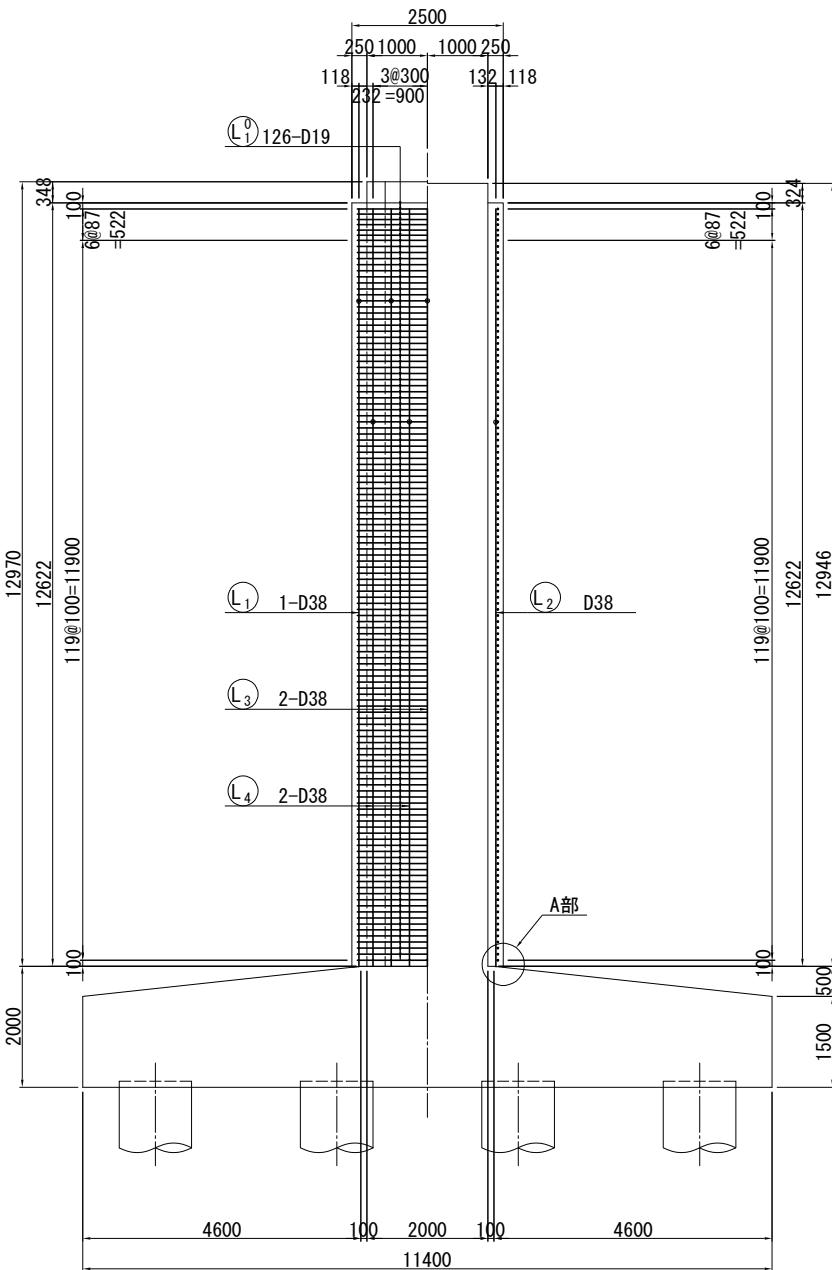
使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

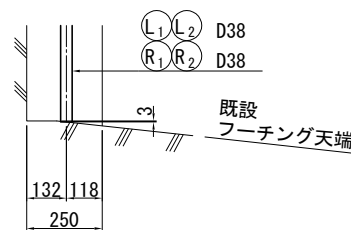
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P21橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

6 - 6 7 - 7

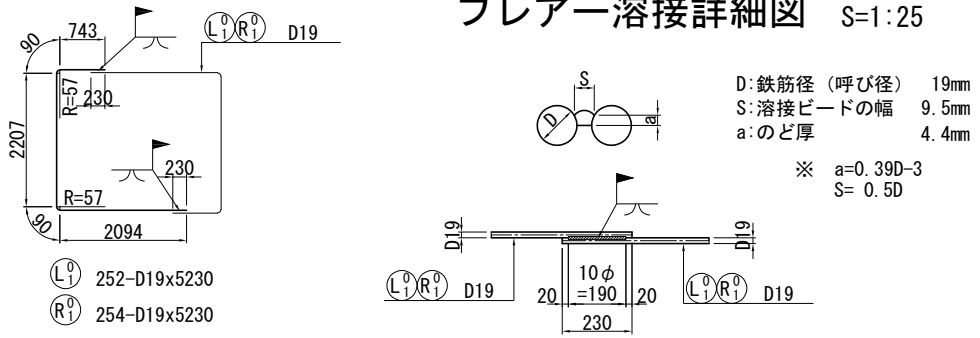
8 - 8 9 - 9



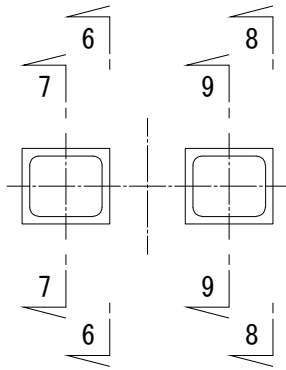
A部詳細図 S=1:25



フレアー溶接詳細図 S=1:25



位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P21橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋加工寸法表

使用材料

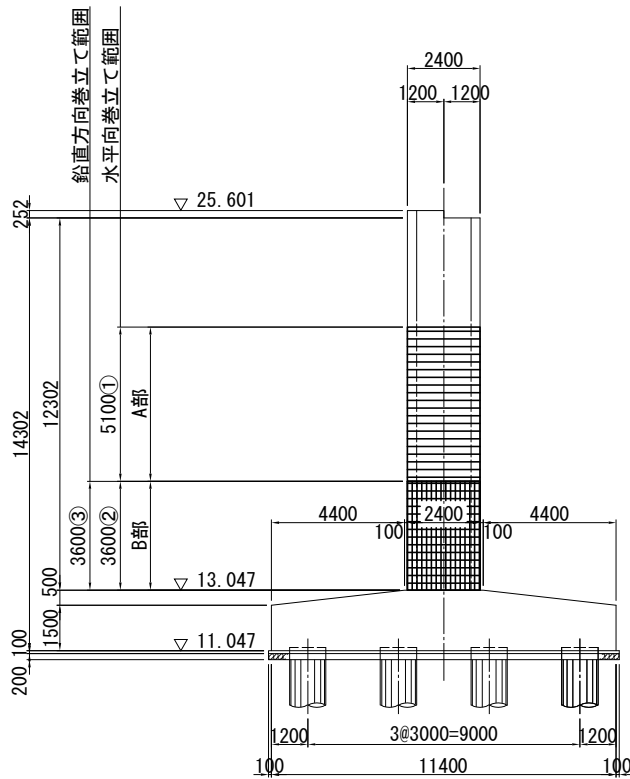
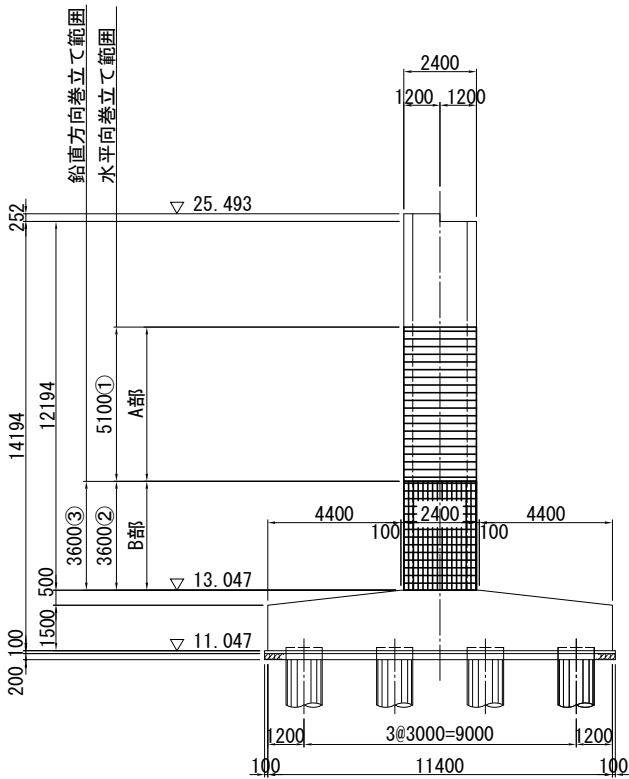
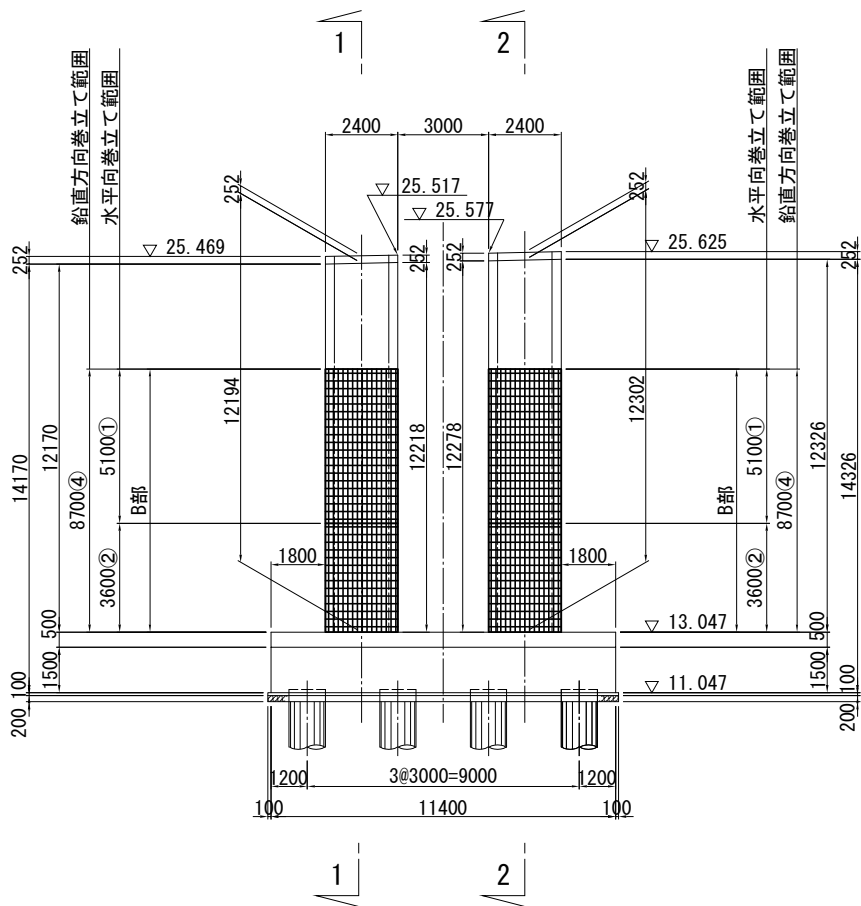
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架構耐震補強工事	
図面の種類	本郷支店高架構 P21橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その3)
縮 尺	- 図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所

正面図

側面図

1 - 1

2 - 2

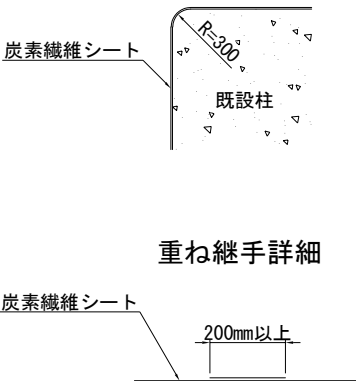
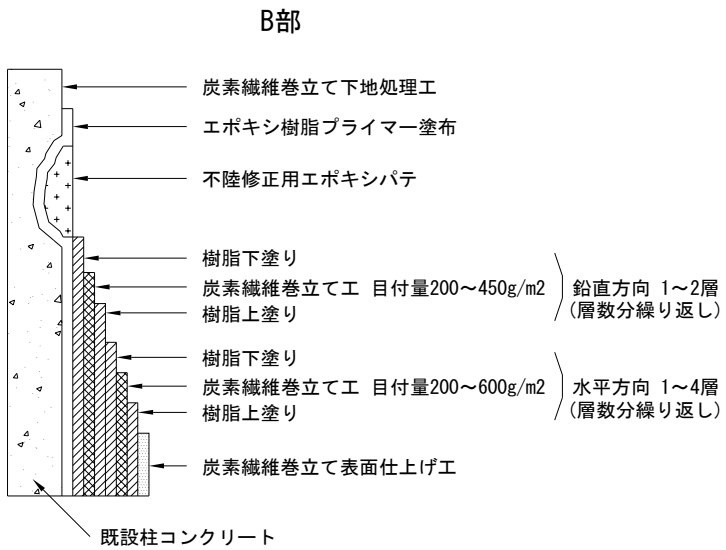
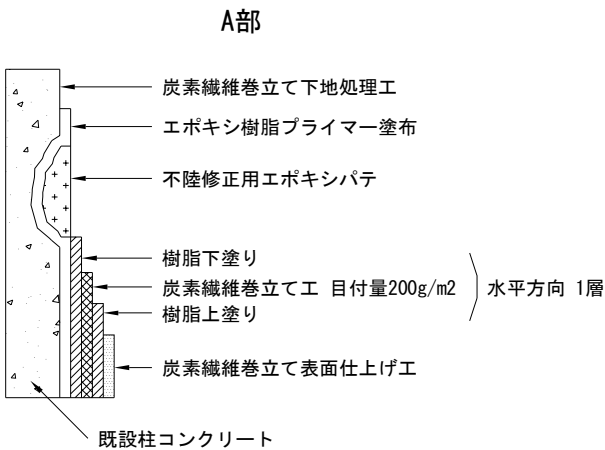
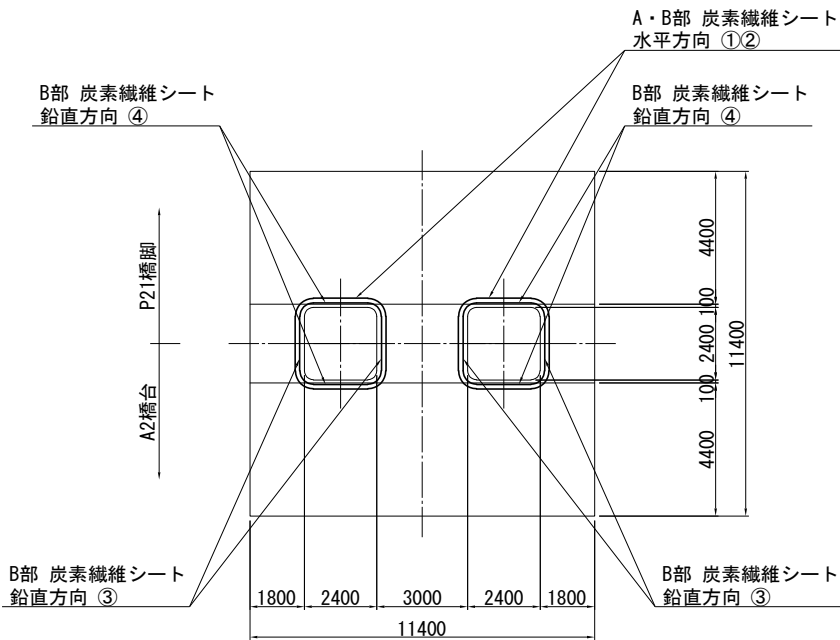


※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

平面図



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

炭素繊維シート

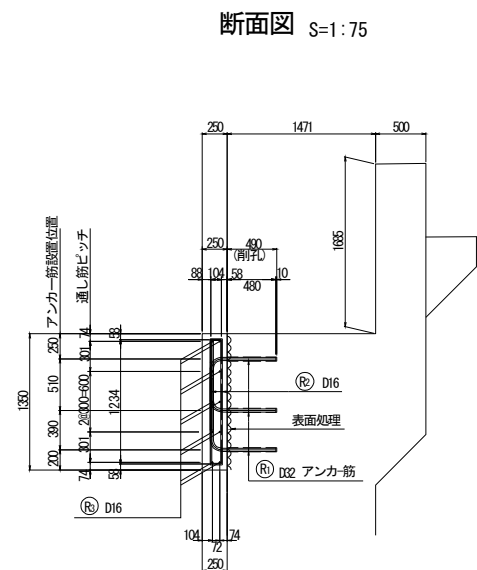
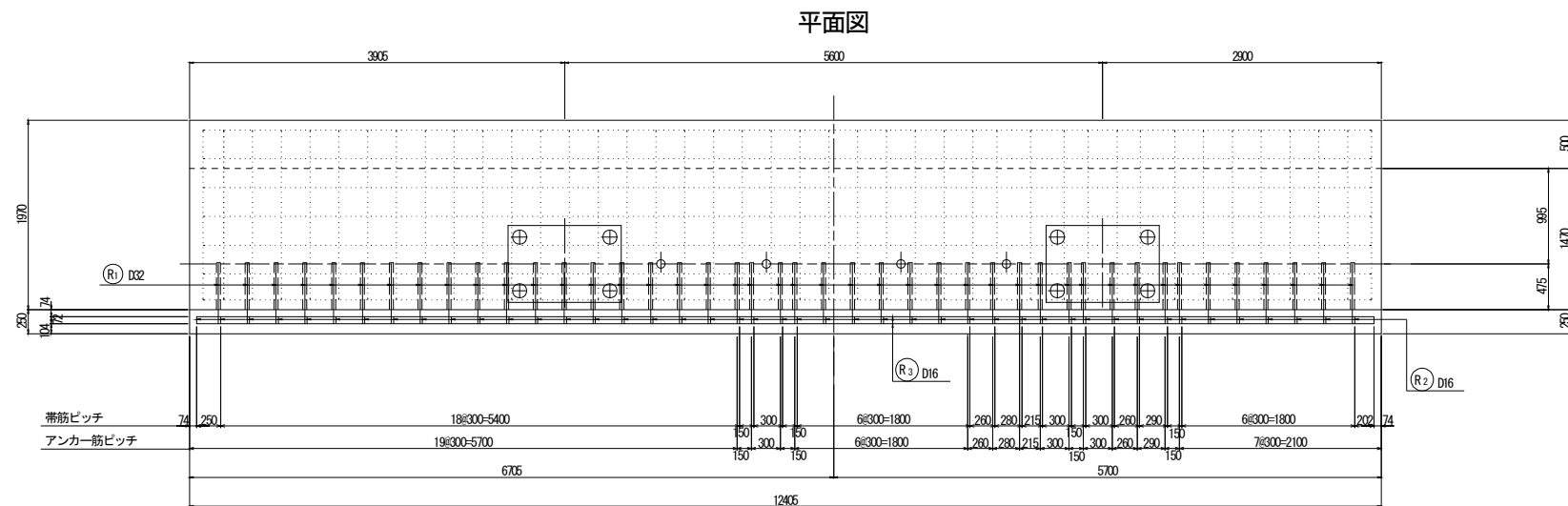
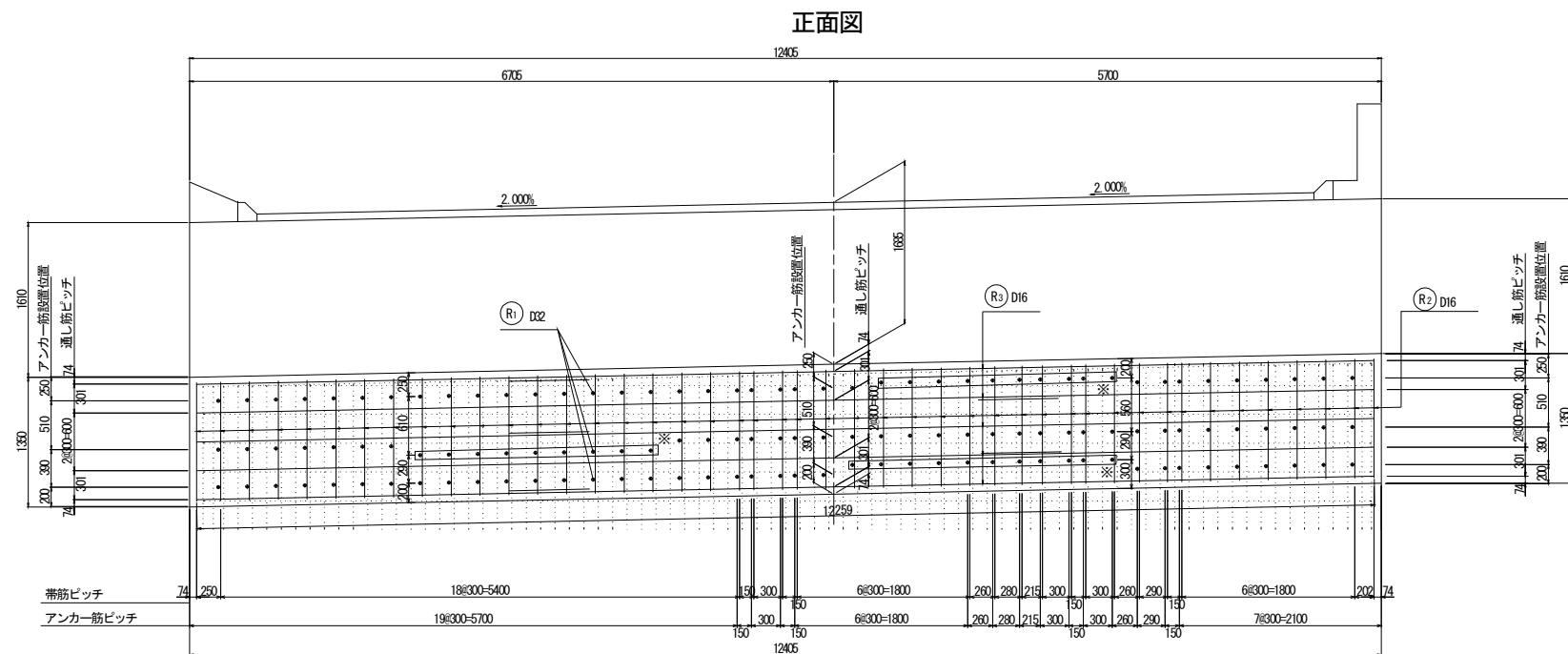
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm ²)	設計厚さ	種別
①	200g/m ²	水平	1 層	3400N/mm ²	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	600g/m ²	水平	4 層	3400N/mm ²	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.333mm	高強度型
③	200g/m ²	鉛直	1 層	3400N/mm ²	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
④	450g/m ²	鉛直	2 層	3400N/mm ²	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型

使用材料

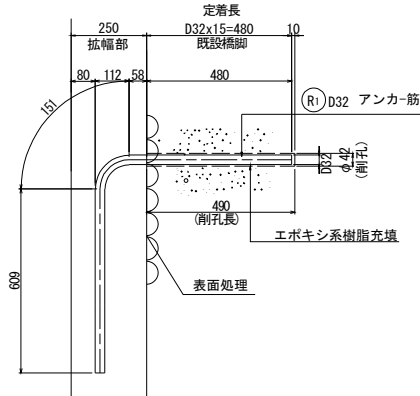
工 種	仕 様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄 筋	SD345
補強部	炭素繊維	図 示

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材（エポキシパテ）の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分（既設面）は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A（ポリマーセメントモルタルt=1mm）とする。

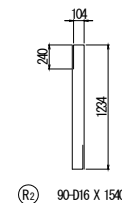
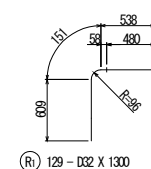
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P22橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



アンカー埋込み詳細図 S=1:25



鉄筋加工図



鉄筋質量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
R 1	D 32	1300	129	6.23	8.10	1045	アンカー筋
R 2	D 16	1540	90	1.56	2.40	206	帯筋
R 3-1	D 16	9000	10	1.56	14.0	140	通し筋
R 3-2	D 16	4000	10	1.56	6.24	62	通し筋
						SD345 D32	1045 kg
						SD345 D16	418 kg
						総質量	1401 kg
						削孔φ42×480	129箇所

鉄筋曲げ加工表

φ		θ=90°			θ=135°			スターラップ		
		R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5	51	14	
D16	48	75	21	88	69	4	40	63	17	
D19	57	89	25	104.5	82	5	47.5	75	20	
D22	66	104	28	121	95	5	55	86	24	

- 注記
1. コンクリート強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
 2. 鉄筋(SD345) $\sigma_s=200\text{N/mm}^2$
 3. 施工にあたっては現地地割を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 4. 縁端拡幅部の既設橋台面は、WJによる表面処理を行うこと。
 5. 施工にあたっては、鉄筋探索を行い、既設鉄筋の切断は避けるようにすること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 A1橋台 縁端拡幅工B詳細図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

106 ~~179~~

アンカー埋込み詳細図 S=1:25



平面图



鉄筋加工図

鉄筋曲げ加工表

- | | | | |
|-------|------------------------------|------|--|
| | 首都圏中央連絡自動車道
戸田高架橋耐震補強工事 | | |
| 図面の種類 | 本郷支店高架橋 P8橋脚(斜
縁端拡幅工)詳細図 | | |
| 縮 尺 | 図示 | 図面番号 | |
| 設計会社名 | 日本工営株式会社 | | |
| 施工会社名 | | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路 株式会社
関東支社 市原管理事務所 | | |

鉄筋質量表

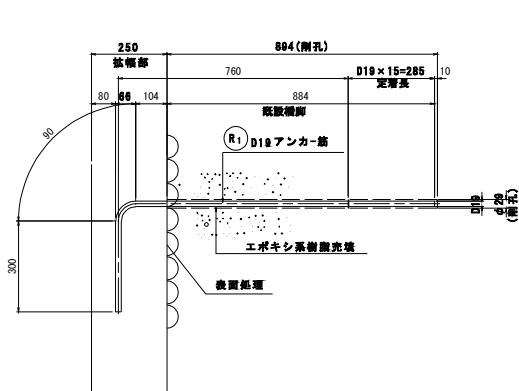
種 別	性	長 寸	本 数	単位質量	1本出し質量	質 量	備 考
R 1	D 38	1600	72	8.95	14.3	1031	アンター
R 2	D 19	1790	52	1.58	2.79	145	サ 形
R 3	D 19	10660	12	1.58	18.6	200	深 形
SD345 D38						1031 kg	
SD345 D16						345 kg	
総質量						1376 kg	
製孔φ48×580						72 箇所	

本郷矢部高架橋 P9橋脚(終)縁端拡幅工B詳細図(その1) S=1:75

107 / 179

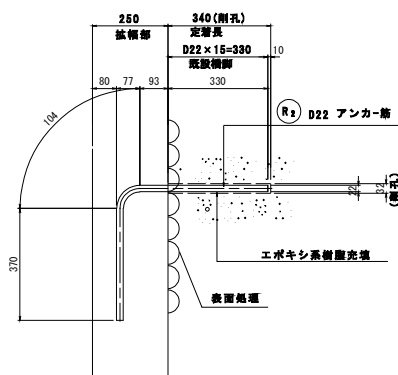
アンカー埋込み詳細図 S=1:25

上段部(1~3段 交互配置) D19アンカー筋

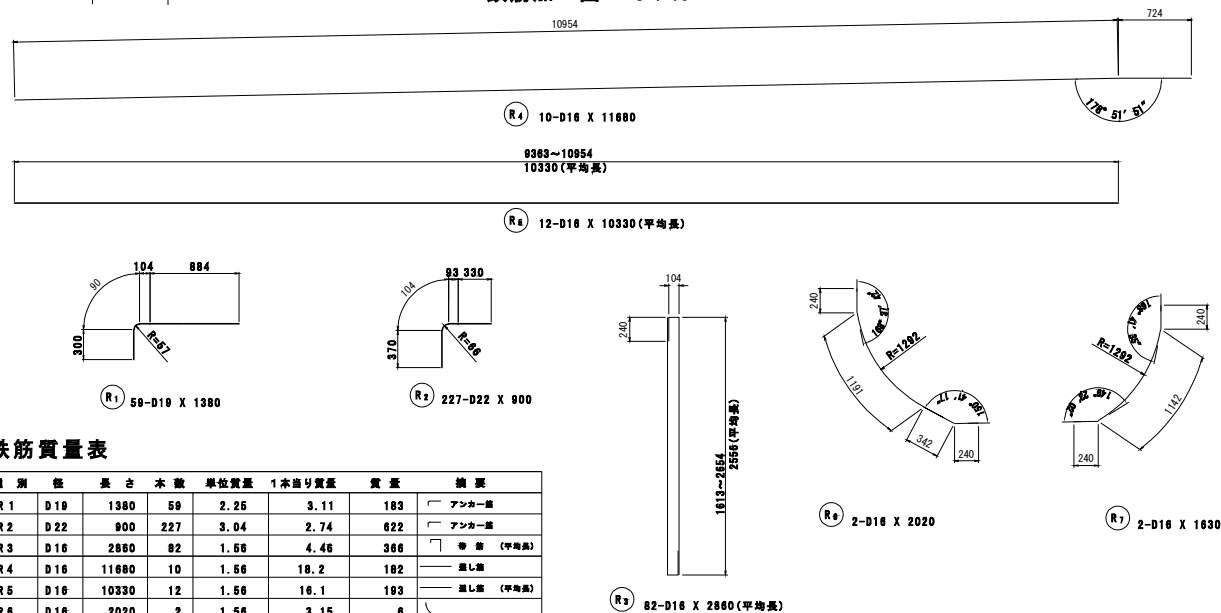


アンカー埋込み詳細図 S=1:25

下段部(4~9段) D22アンカー筋



鉄筋加工図 S=1:75



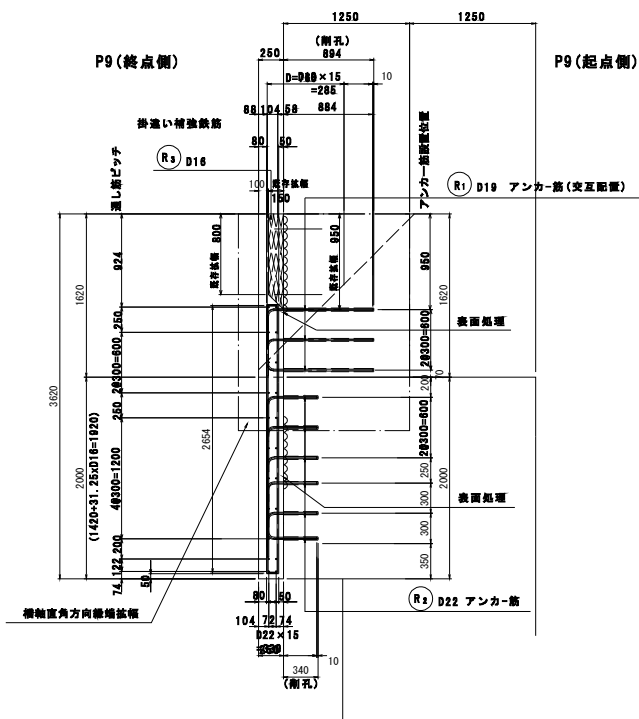
鉄筋質量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
R1	D19	1380	59	2.25	3.11	183	アンカー筋
R2	D22	900	227	3.04	2.74	622	アンカー筋
R3	D16	2880	82	1.56	4.46	366	帯筋 (平均長)
R4	D16	11680	10	1.56	18.2	182	差し筋
R5	D16	10330	12	1.56	16.1	193	差し筋 (平均長)
R6	D16	2020	2	1.56	3.15	6	
R7	D16	1630	2	1.56	2.54	5	
							SD345 D22 622 kg
							SD345 D19 183 kg
							SD345 D16 752 kg
							総質量 1557 kg
							耐孔φ29×884 59箇所
							耐孔φ32×340 227箇所

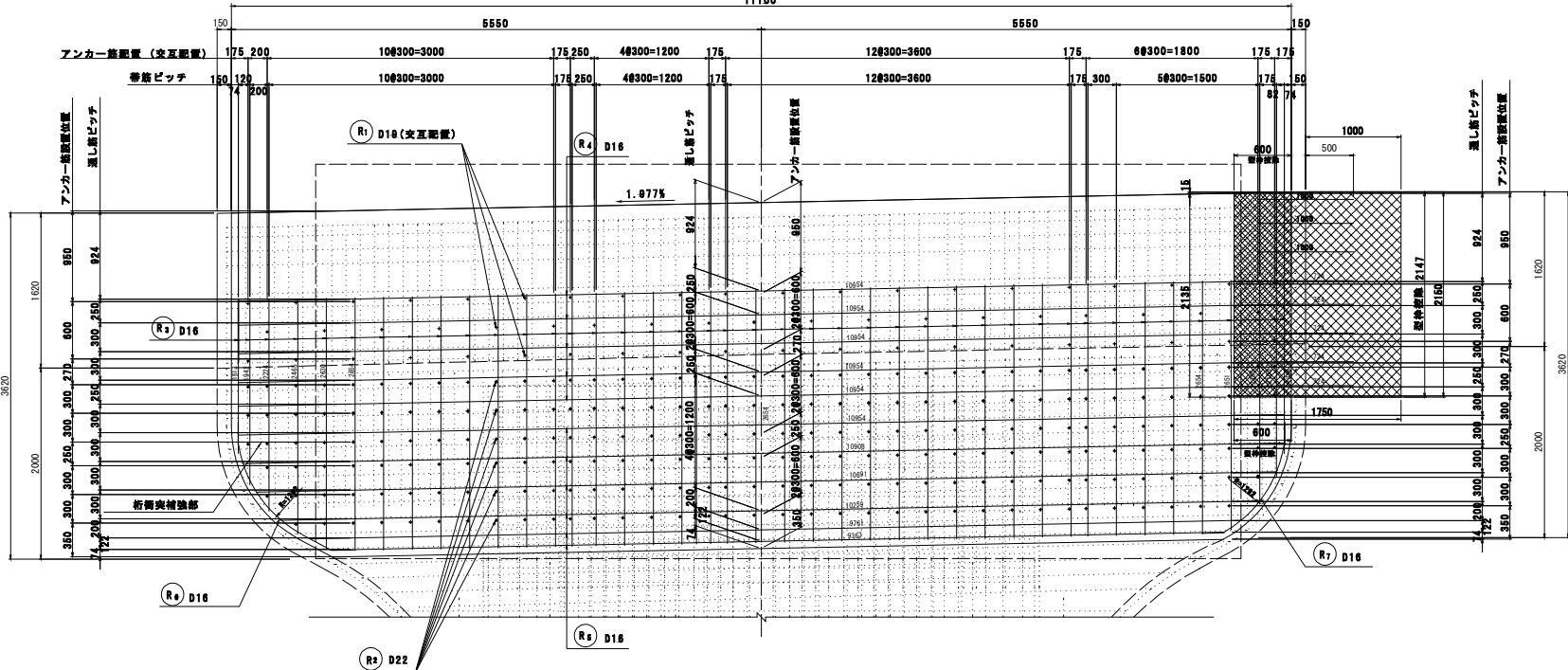
鉄筋曲げ加工表

φ		θ=90°		θ=135°		スターラップ	
		R	a	R	a	R	a
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5
D16	48	76	21	88	68	4	40
D19	57	89	25	104.5	82	5	47.5
D22	66	104	28	121	95	5	56

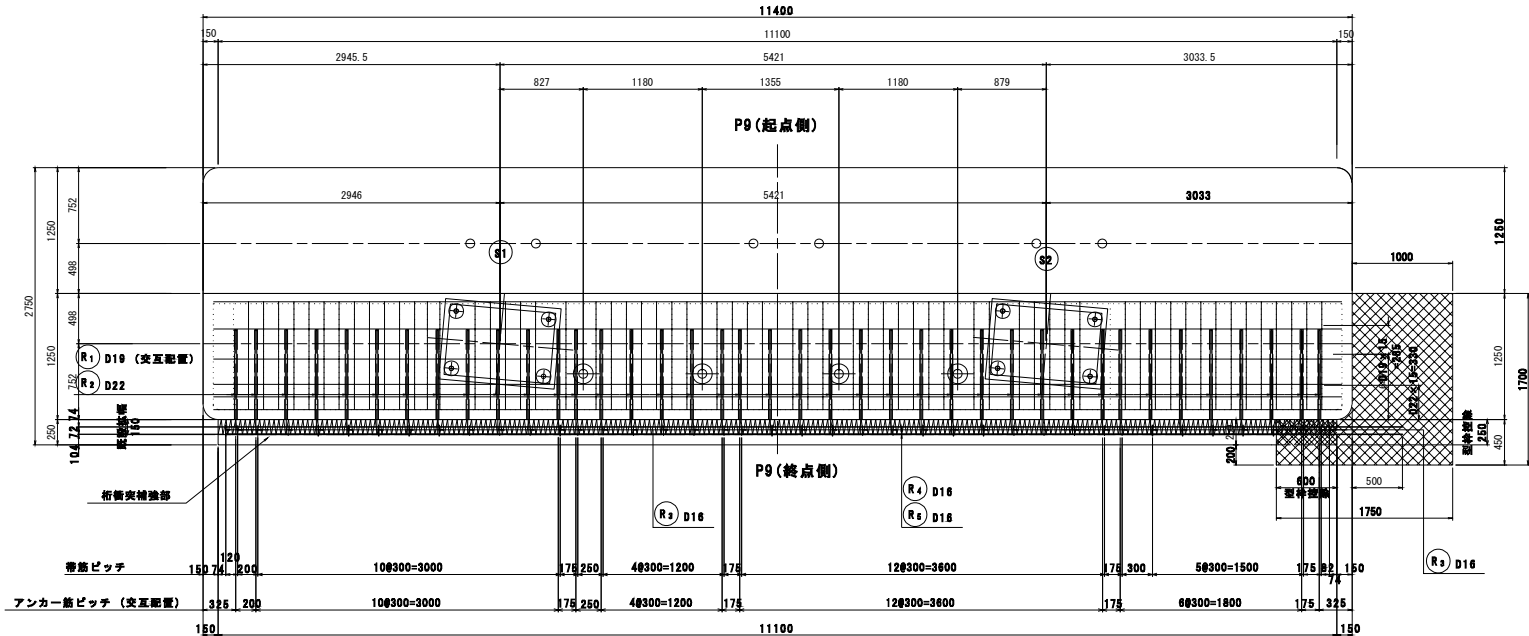
断面図 S=1:75



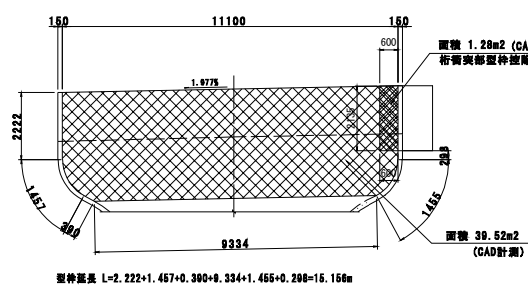
正面図 S=1:75



平面図 S=1:75



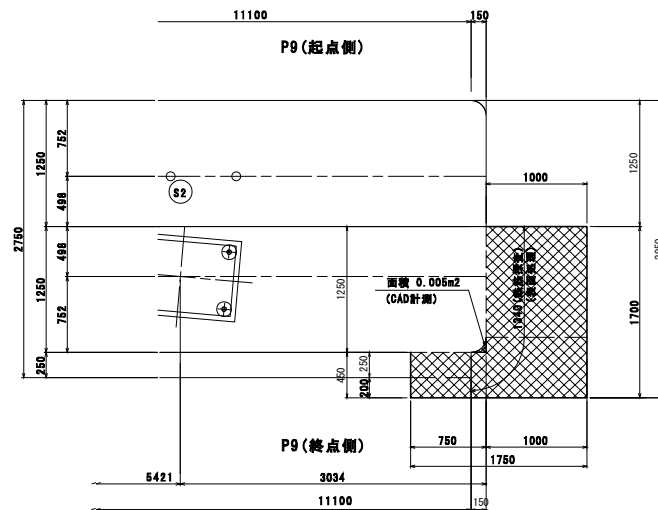
拡幅面積図 S=1:250



- 注記)
- コンクリート強度 $\sigma_{sk}=30\text{N/mm}^2$
 - 鉄筋 (SD345) $\sigma_s=200\text{N/mm}^2$
 - 施工にあたっては現場計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 - 縁端拡幅部の底鉄筋配置は、判による鉄筋配置図を行うこと。
 - 施工にあたっては、鉄筋検査を行い、底鉄筋の切断は避けるようにすること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事	
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚(終) 縁端拡幅工B詳細図(その1)
縮尺	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所

断面图 S=1:75



種 別	係	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
R 11	D19	1190	20	2.25	2.68	54	― 補強アンカー
R 12	D16	1600	20	1.56	2.50	50	― 直し筋
R 13	D16	1620	16	1.56	2.53	40	― 直し筋
R 14	D16	3090	16	1.56	4.82	77	□ 中 筋
R 15	D16	2570	8	1.56	4.01	32	□ 中 筋
SD345 D19						54 kg	補強アンカー
SD345 D16						199 kg	
総質量						259 kg	
剛孔φ20×1295						20	留 筋

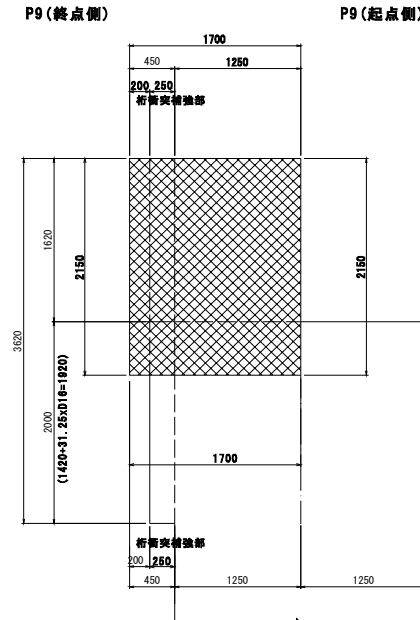
Diagram showing a crane hook with dimensions R (radius), a (hook thickness), and ΔL (hook length). The hook angle is θ .

Dimensions and formulas:

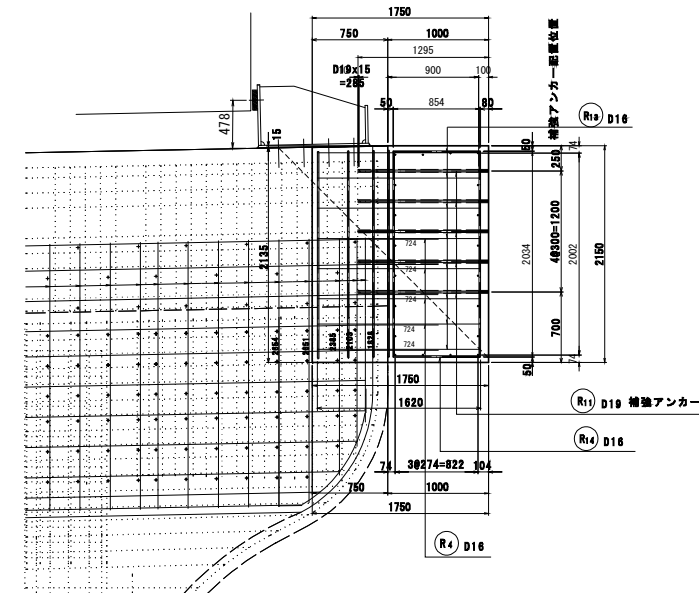
- $\theta \leq 90^\circ$: $R = 3\phi$
- $\theta > 90^\circ$: $R = 5\phi$
- スターラップ: $R = 2.5\phi$
- $\Delta L = \text{減量}$
- $2X\phi - a$

ϕ	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$			スターラップ		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	30	61	17	71	58	3	42	51	14
D16	48	75	21	88	69	3	65	63	17
D19	57	89	25	104	82	5	47.5	75	20
D22	66	104	29	121	95	5	55	86	24

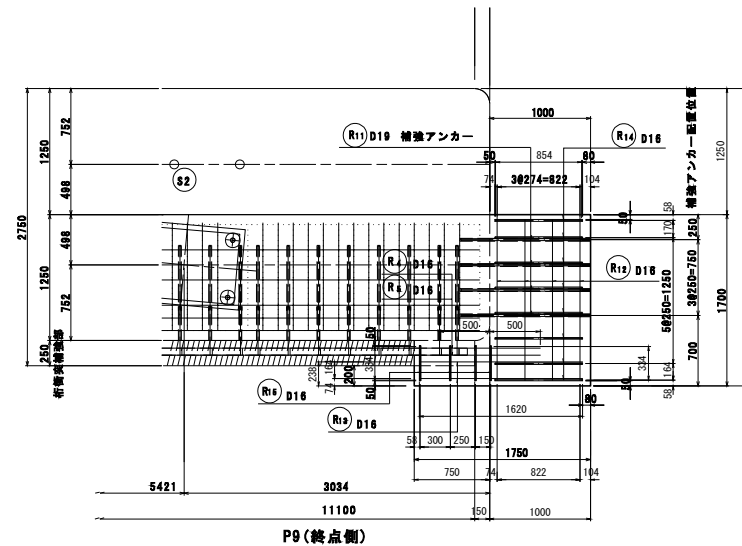
断面图 S=1:75



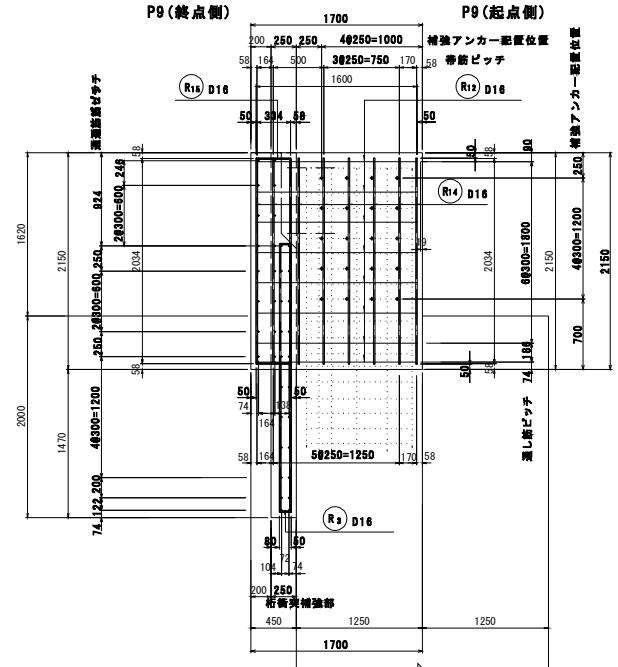
断面图 S=1:75



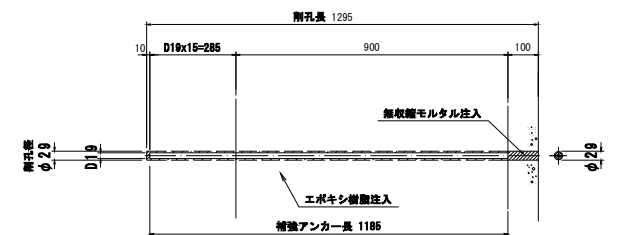
平面图 S=1:75



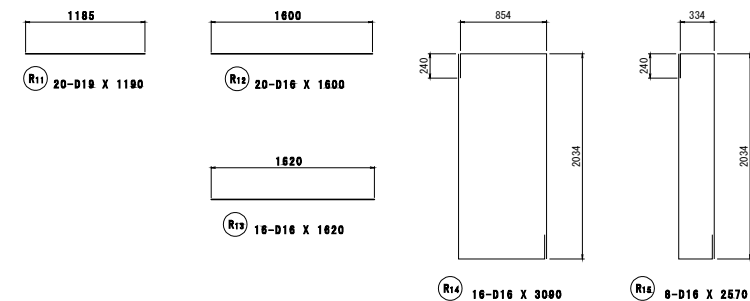
断面图 S=1:75



補強アンカー詳細図 (D19) S=1:25



鉄筋加工図 S=1:75

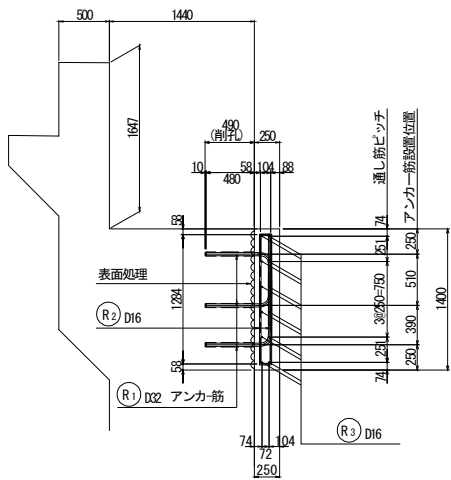


注記)

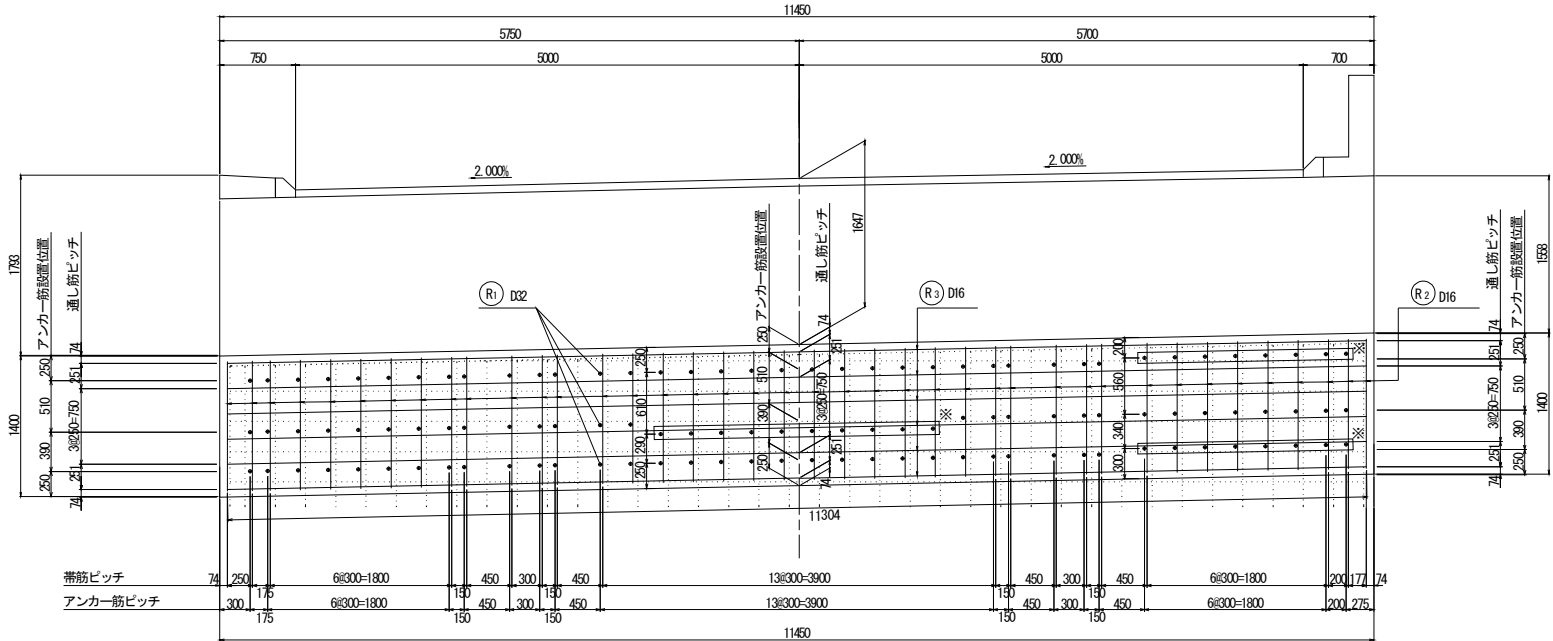
1. コンクリート強度 $\sigma_{ek}=30\text{N/mm}^2$
2. 鉄筋 (SD345) $\sigma_s=200\text{N/mm}^2$
3. 施工にあたっては現場計画を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
4. 端部低部筋の既設側面は、R1による表面処理を行うこと。
5. 施工にあたっては、鉄筋探査を行い、既設鉄筋の切断は避けるようにすること。

	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事	
図面の種類	本鋼欠部高架橋 P9橋脚(終) 緑線拡幅工B詳細図(その2)	
縮 尺	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

断面図

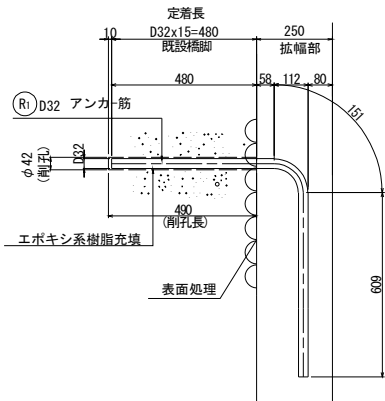


正面図

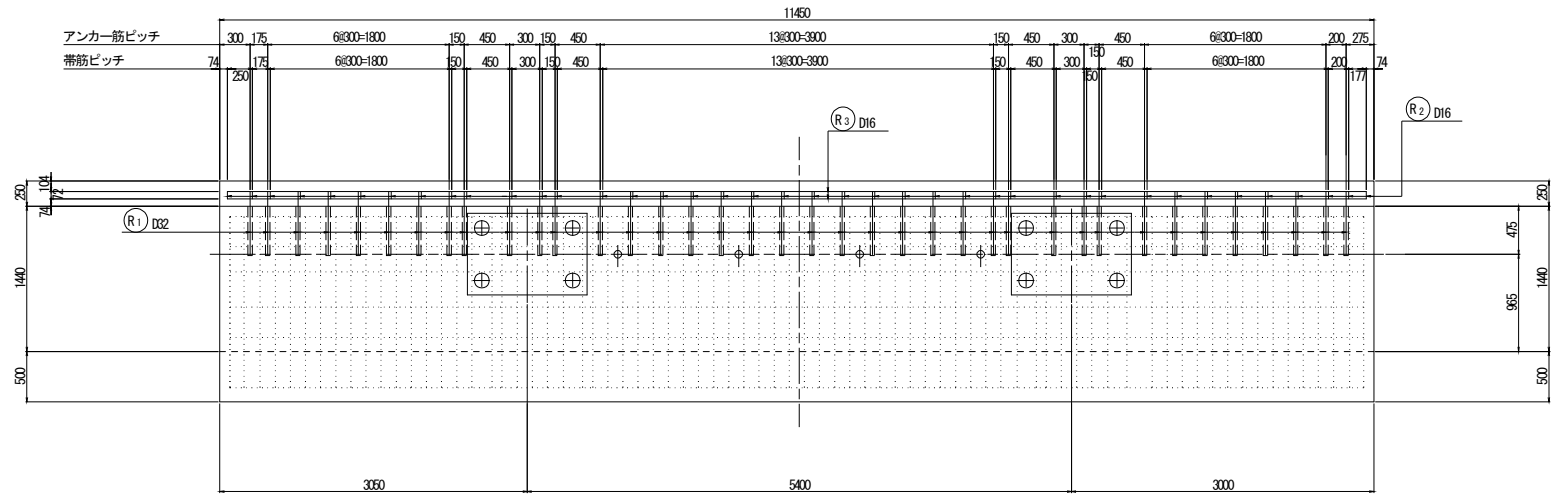


※…既設配筋と干渉の可能性があるためアンカー配置を変更。

アンカー埋込み詳細図 S=1:25



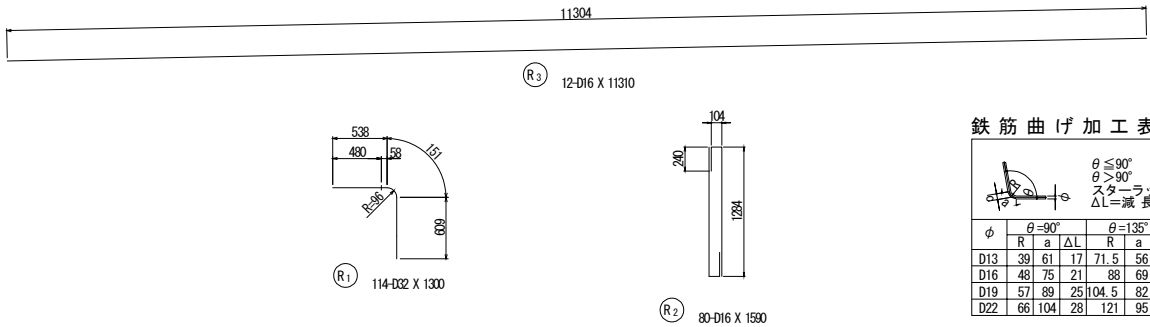
平面図



鉄筋質量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
R 1	D 32	1300	114	6.23	8.10	923	アンカー筋
R 2	D 16	1590	80	1.56	2.48	198	帯筋
R 3	D 16	11310	12	1.56	17.6	211	通し筋
SD345 D32							923 kg
SD345 D16							409 kg
総質量							1332 kg
削孔φ42×430							114箇所

鉄筋加工図



鉄筋曲げ加工表

φ	θ=90°			θ=135°			スターラップ		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71	5	56	3	32	51
D16	48	75	21	88	6	69	4	40	63
D19	57	89	25	104	5	82	5	47	75
D22	66	104	28	121	5	95	5	55	86

- 注記
- コンクリート強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
 - 鉄筋(SD345) $\sigma_s=200\text{N/mm}^2$
 - 施工にあたっては現地地質調査を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 - 縁端拡幅部の既設橋台面は、WJによる表面処理を行うこと。
 - 施工にあたっては、鉄筋探索を行い、既設鉄筋の切断は避けるようにすること。

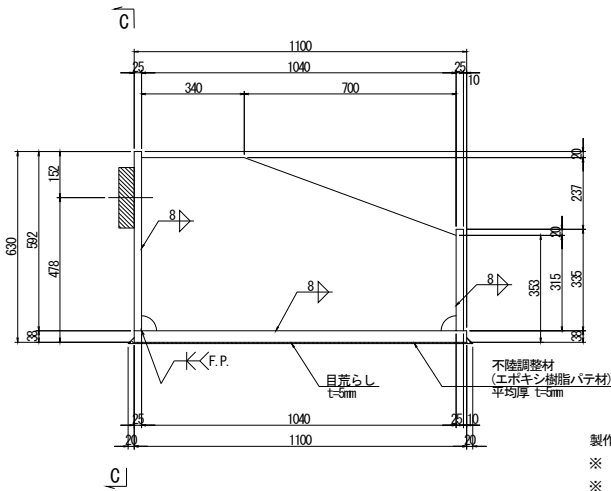
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 A2橋台 縁端拡幅工B詳細図	
縮尺	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

本郷矢部高架橋 P9橋脚(終) 横変位拘束構造M詳細図

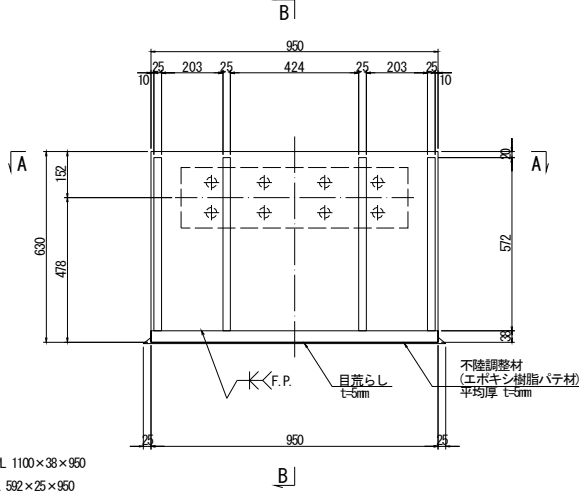
110 / 179

下部エブラケット詳細図 S=1:10

B-B 断面図



C-C 断面図

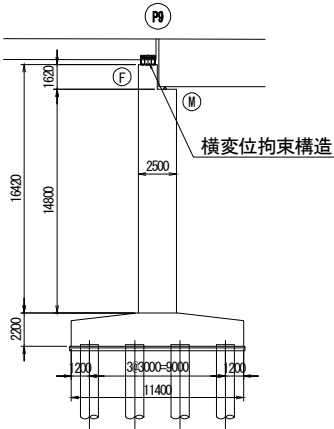


ブラケット削孔位置

	1列目	2列目	3列目	4列目
1段目	X : 137.5 Y : 870.0	X : 362.5 Y : 950.0	X : 612.5 Y : 950.0	X : 812.5 Y : 950.0
2段目	X : 137.5 Y : 720.0	X : 377.5 Y : 650.0	X : 622.5 Y : 665.0	X : 812.5 Y : 675.0
3段目	X : 137.5 Y : 450.0	X : 392.5 Y : 450.0	X : 552.5 Y : 450.0	X : 812.5 Y : 475.0
4段目	X : 162.5 Y : 175.0	X : 327.5 Y : 175.0	X : 562.5 Y : 200.0	X : 812.5 Y : 200.0

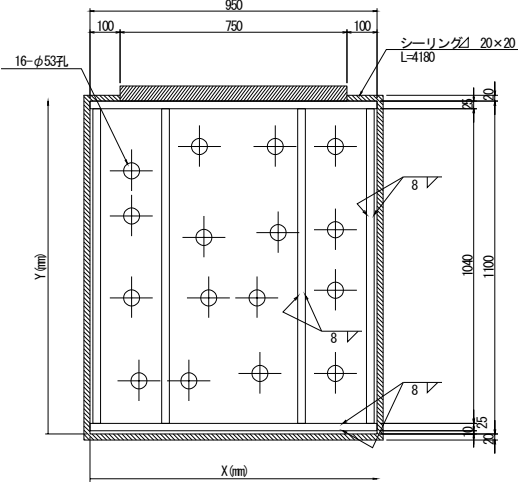
製作数 : 1組
※ 1-BASE PL 1100×38×950
※ 1-FLG PL 592×25×950
※ 1-FLG PL 335×25×950
※ 4-Rib PL 572×25×1040

配置図

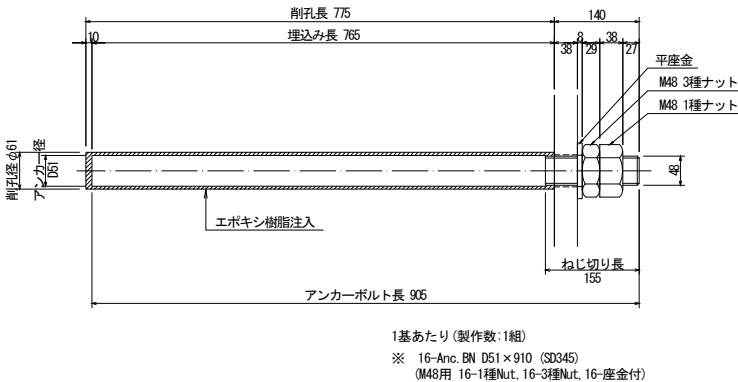


横変位拘束構造

A-A 断面図

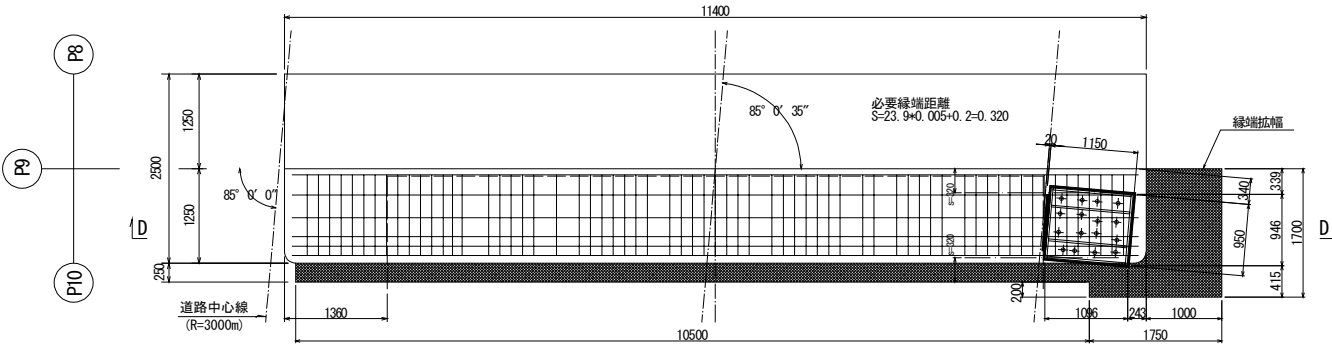


アンカーボルト詳細図 S=1:5

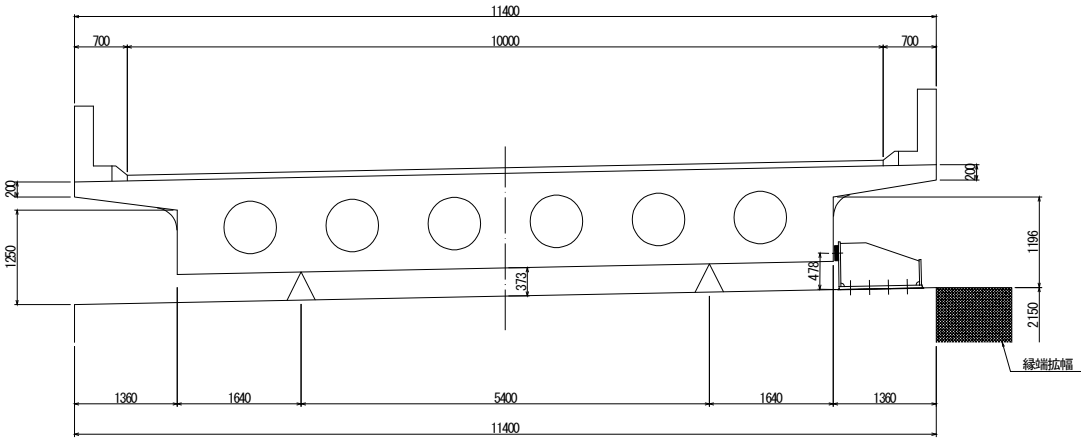


1基あたり(製作数:1組)
※ 16-Anc. BN D51×910 (SD345)
(M48用 16-1種Nut, 16-3種Nut, 16-座金付)

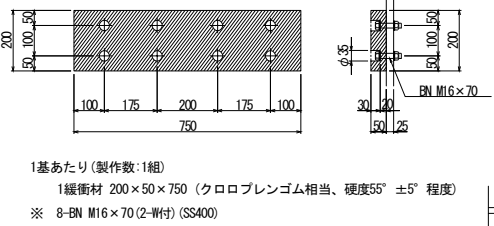
平面図 S=1:40



D-D 断面図 S=1:40

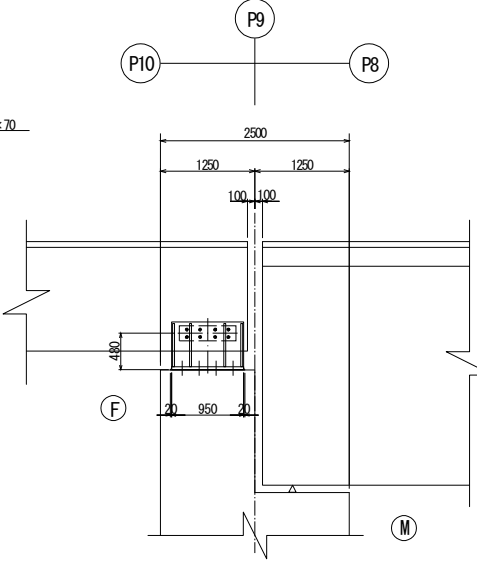


緩衝材詳細図 S=1:10

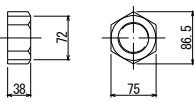


1基あたり(製作数:1組)
1緩衝材 200×50×750 (クロロレンゴム相当、硬度55° ±5° 程度)
※ 8-BN M16×70 (2-W付) (SS400)

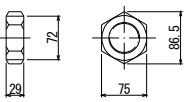
側面図 S=1:40



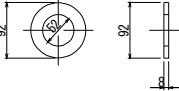
ナット(1種) S=1:5
JIS B 1181



ナット(3種) S=1:5
JIS B 1181



座金 S=1:5
JIS B 1256



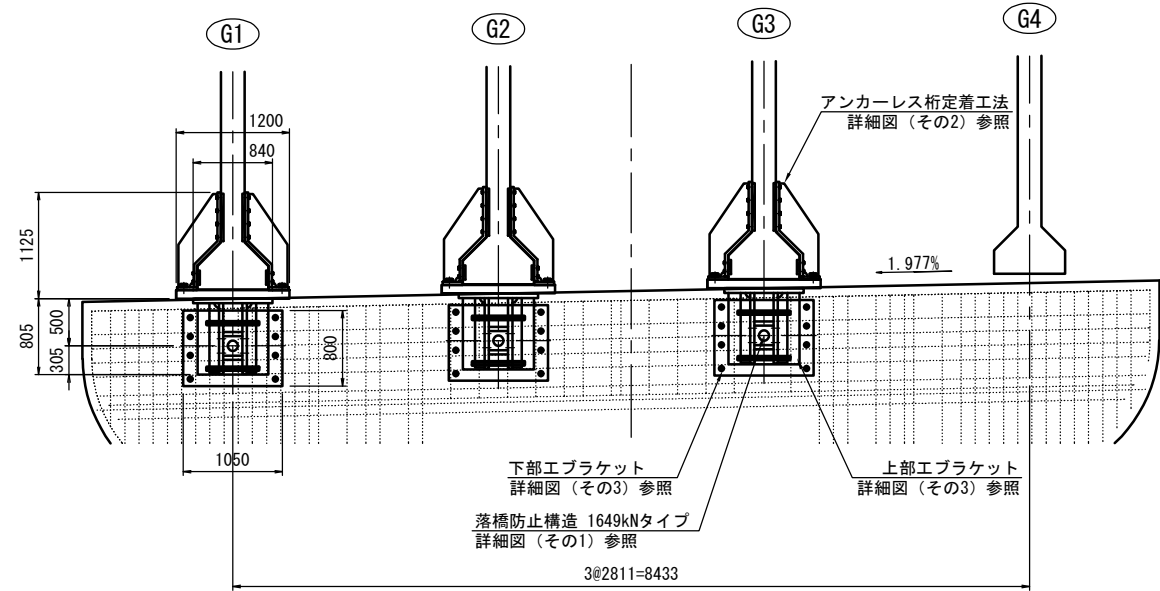
- 注記
- 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと
 - 特記なき鋼材の材質はすべてSM490Yとする。
 - 特記なきスカーラップはR50とする。
 - アンカーボルトを削孔する際に鉄筋探索を行い、既設部の鉄筋に干渉しないように注意すること。
 - 鉄筋干渉等によりアンカーボルトを移設する場合は、アンカーボルトの設計照査を行うこと。
 - ※印刷材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
膜厚は、JIS H2777とする。
ただし、ボルト・ナット類はH2749とする。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
本郷矢部高架橋			
図面の種類	P9橋脚(終) 横変位拘束構造図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

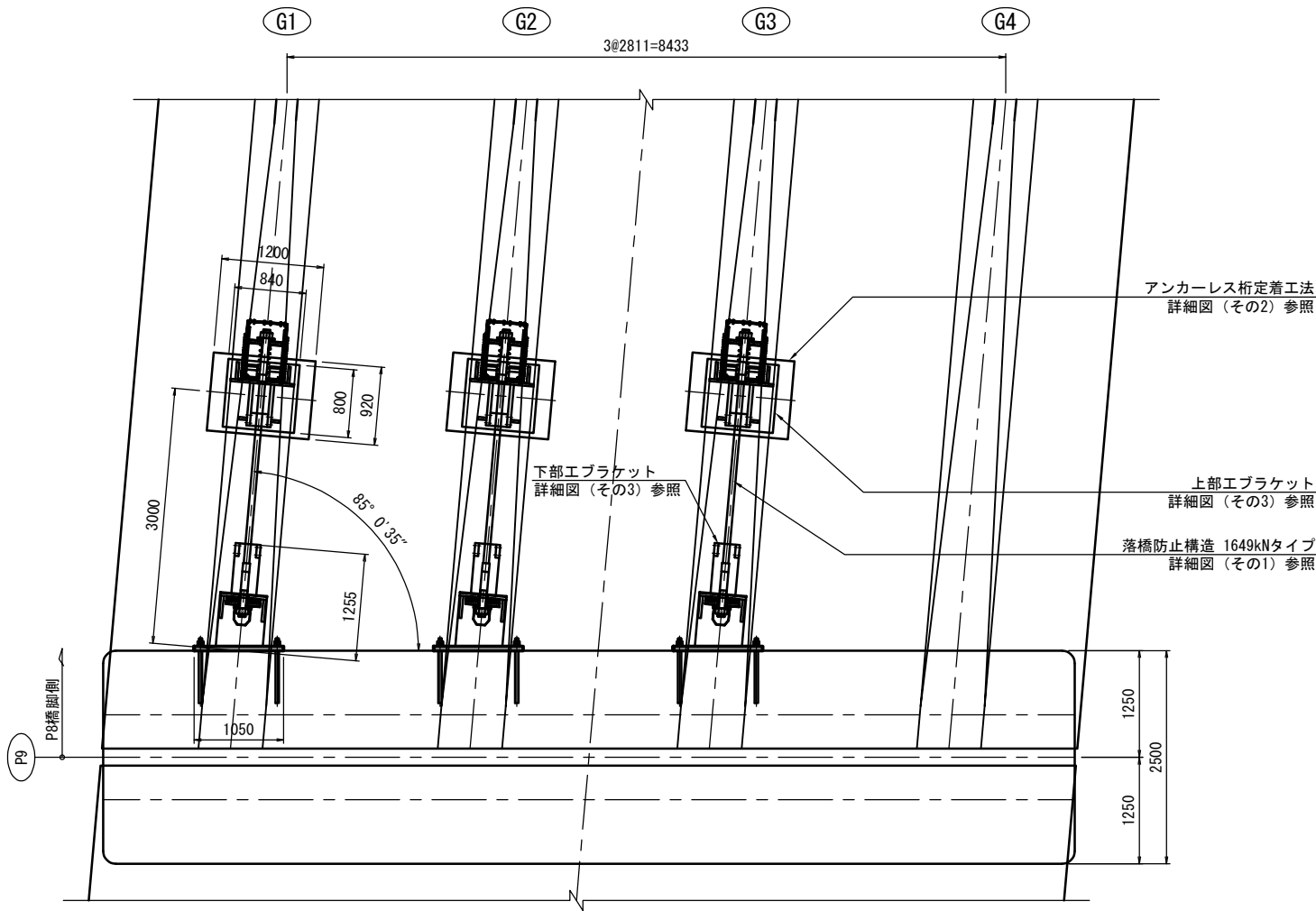
本郷矢部高架橋 P9橋脚(起点側) 落橋防止構造P2配置図 S=1:80

P2-1600 (250)

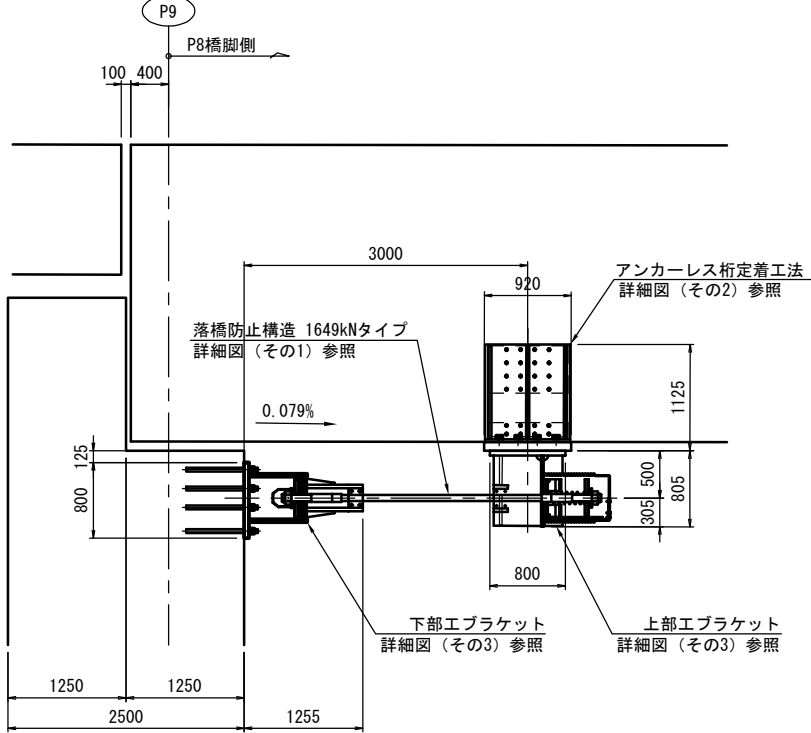
正面図



平面図



側面図



設計条件

死荷重反力 (R_d)	5700kN
設計反力 (H_e)	4800kN
1本あたりの設計反力 (P)	1600kN
設計遊間量	250mm

特記事項

- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
- 施工前に現況を再度調査・寸法計測・鉄筋探査を行い、施工計画書を作成し監督員等の承諾後に着手すること。
- 材質は製作納期、流通などを考慮し、同程度以上の材質に変更してもよい。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚(起点側) 落橋防止構造P2配置図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P2-1600 (250)
取付詳細図及び部品図



設計条件

部 品 図 S=1:10



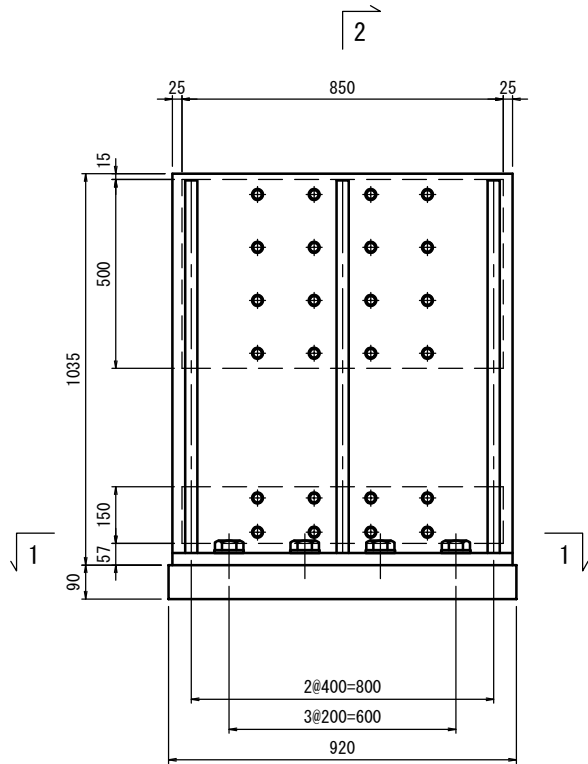
1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
2. 施工前に現況を再度調査・寸法計測・鉄筋探査を行い、施工計画書を作成し監督員等の承諾後に着手すること。
3. 材質は製作納期、流通などを考慮し、同程度以上の材質に変更してもよい。

	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷支店高架橋 P9橋脚(起点側) 落橋防止構造物P2構造図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支店 市原管理事務所		

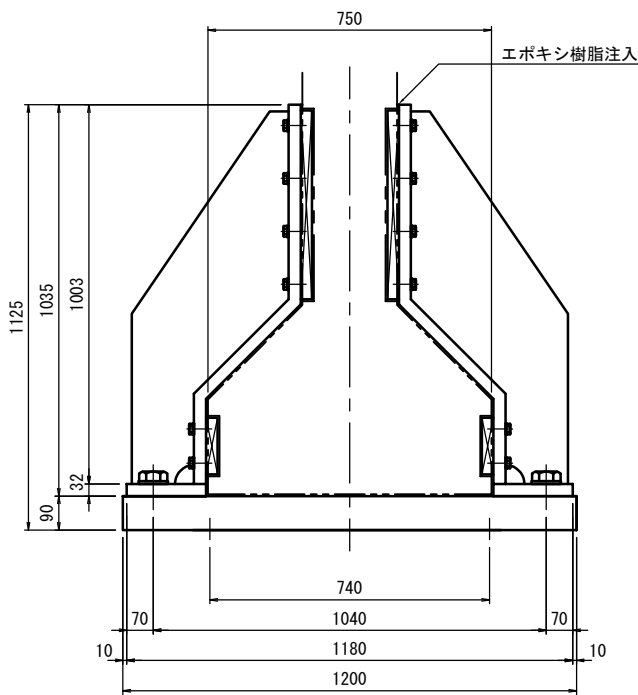
本郷矢部高架橋 P9橋脚(起点側) 落橋防止構造P2構造図(その2)(参考図) S=1:20

P2-1600 (250)
アンカーレス桁定着工法詳細図

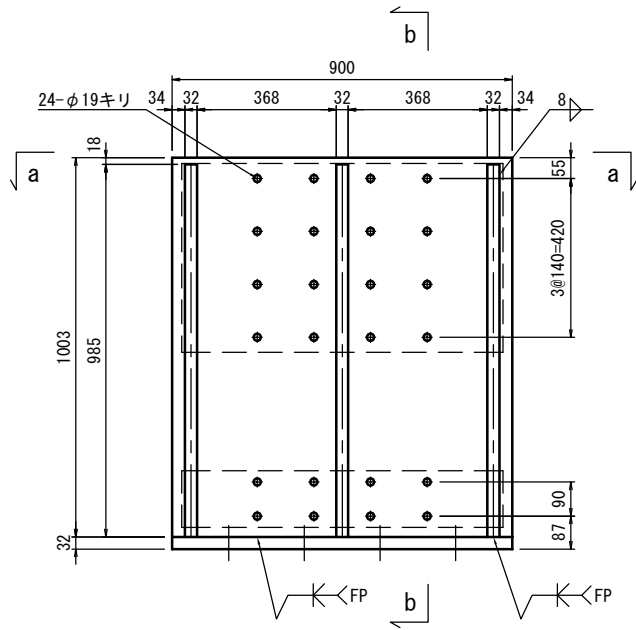
組立側面図



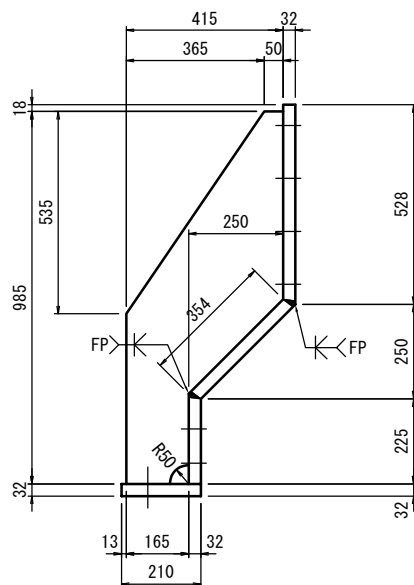
2 - 2



補強板詳細図



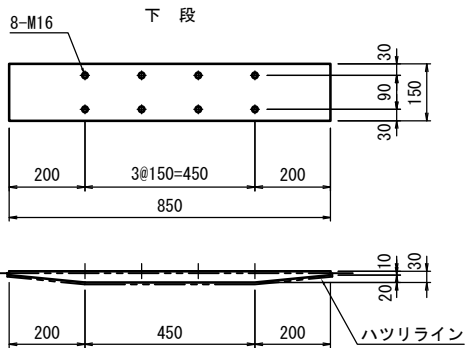
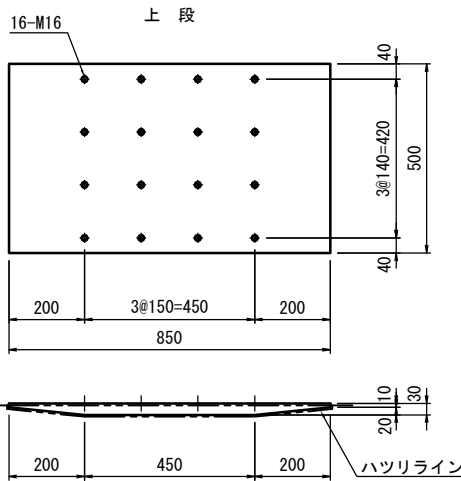
b - b



材料表 (1基当り)

1-P1	1200x 90x920	(SM490A)
2-P1	528x 32x900	(SM490A)
2-P1	354x 32x900	(SM490A)
2-P1	225x 32x900	(SM490A)
2-P1	210x 32x900	(SM490A)
6-P1	985x 32x415	(SM490A)
2-P1	500x 30x850	(SM490A)
2-P1	150x 30x850	(SM490A)
2-P1	750x4.5x 19	(SS400)
48-Bolt	M16 x 50	(強度区分8.8) 平座金付 (SS400)
8-Bolt	M45 x 80	(強度区分8.8) 平座金付 (SS400)

くさび板詳細図



特記事項

- 施工着手に先立ち、現地寸法等を確認し、製作時に鋼材の加工に反映すること。
- 鋼材は全て溶融亜鉛めっき仕様とする。鋼板 (HDZT77)、ボルト・ナット類 (HDZT49)
- 「FP」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
- くさび板挿入部のハツリ作業は、くさび形状になるよう十分注意すること。
- ハツリ範囲は、くさび板から5mm以上確保すること。
- 既設桁の下地処理を行うとともに、エポキシ樹脂注入前に接着面を清掃すること。
- ブラケット内側は無塗装とし、エッチングプライマー (膜厚15μm) を塗布すること。
- 製作施工に必要な吊り孔等は適宜設けること。
- 鋼材材質は図面に記載した材質を基本とするが、流通状況や機械的性質を考慮し適宜反映してもよい。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚(起点側) 落橋防止構造P2構造図(その2)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

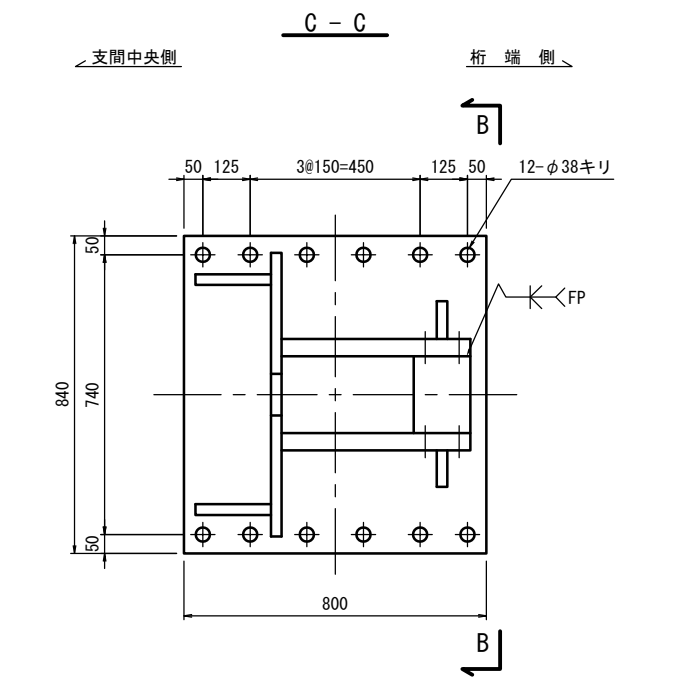
本郷矢部高架橋 P9橋脚(起点側) 落橋防止構造P2構造図(その3)

S=1:20

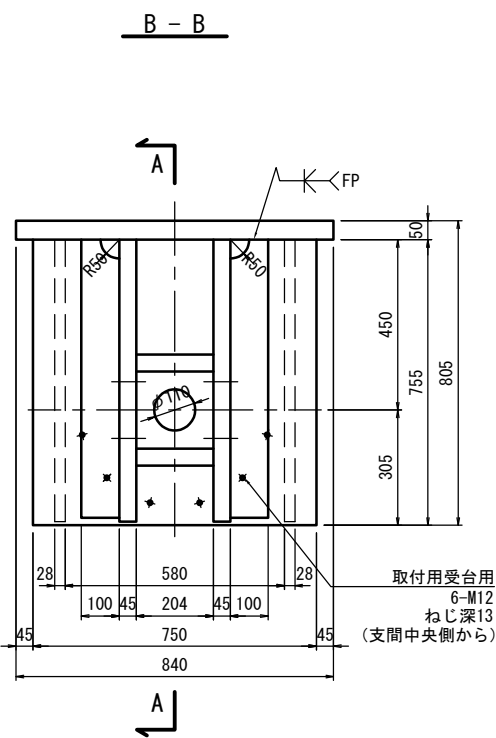
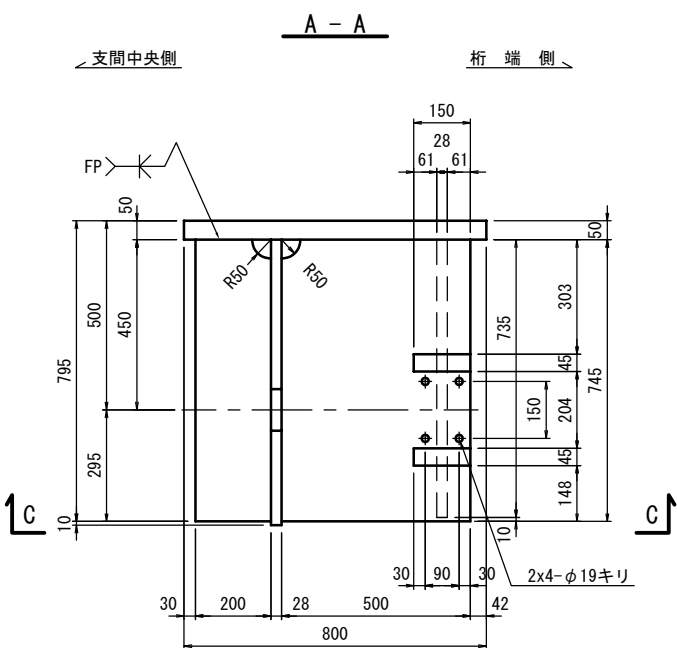
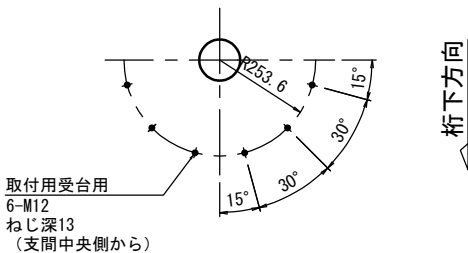
上部エブラケット

P2-1600 (250)
上下部エブラケット詳細図
P9橋脚 P8側

下部エブラケット



取付用受台ねじ孔詳細

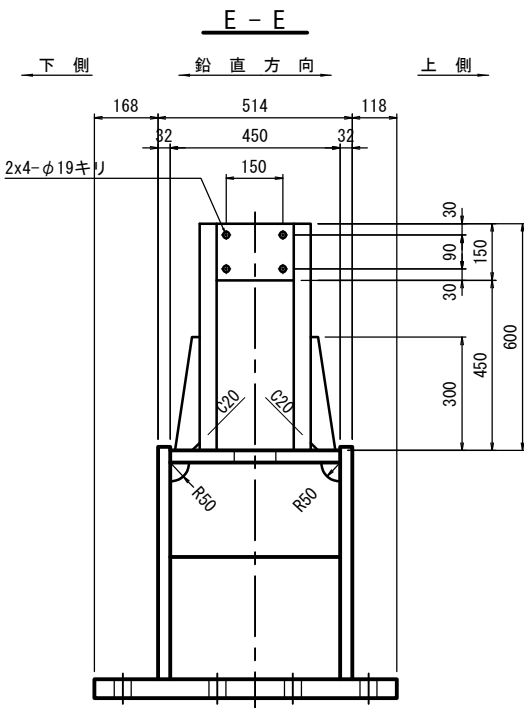


上部エブラケット材料 (1基当たり)

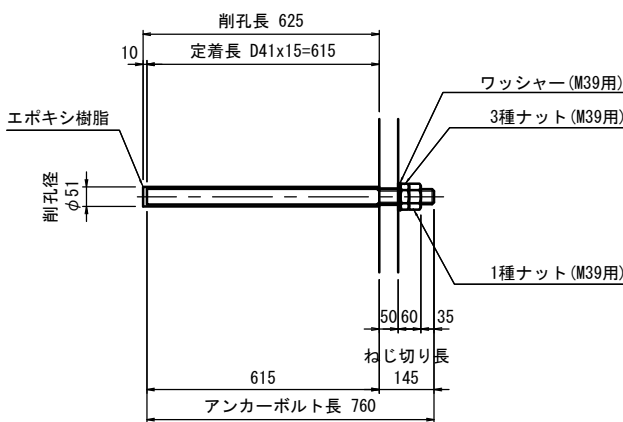
- 1-PL 800x50x840 (SM520C)
- 1-PL 750x28x755 (SM490YB)
- 2-PL 500x45x745 (SM520C)
- 2-PL 200x28x745 (SM490YB)
- 2-PL 100x28x735 (SM490YB)
- 2-PL 150x45x204 (SM520C)
- 12-Bolt M33x85 (強度区分8.8) 平座金付 (SS400)

下部エブラケット材料 (1基当たり)

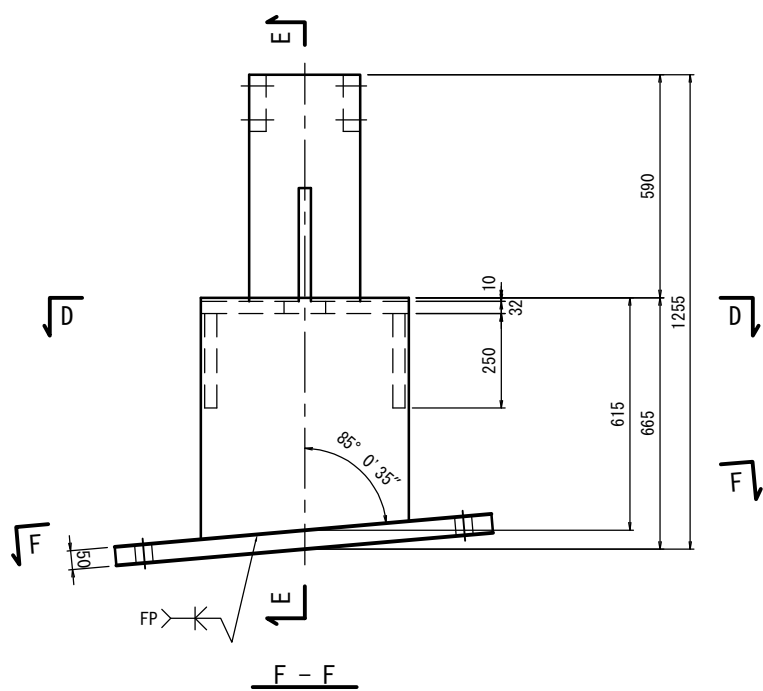
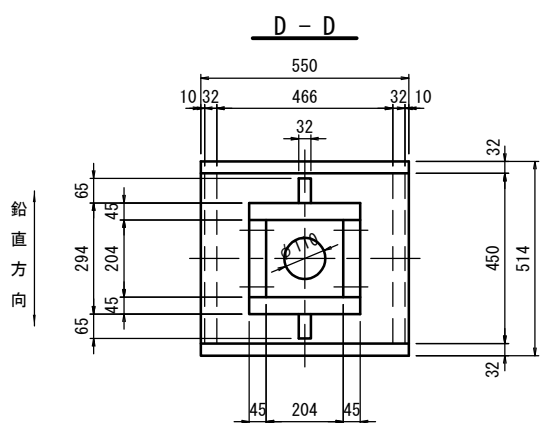
- 1-PL 1050x50x800 (SM520C)
- 2-PL 550x32x615 (SM490YB)
- 2-PL 250x32x450 (SM490YB)
- 1-PL 550x32x450 (SM490YB)
- 2-PL 294x45x600 (SM520C)
- 2-PL 150x45x204 (SM520C)
- 2-PL 300x32x 65 (SM490YB)
- 8 - Anc Bolt D41x760 (SD345)
- 8 - Nut M39 (1種) (SS400)
- 8 - Nut M39 (3種) (SS400)
- 8 - Wash M39 (SS400)



下部アンカーボルト詳細図



※ アンカーボルトはねじ切り部のみ防錆処理を施すものとする。



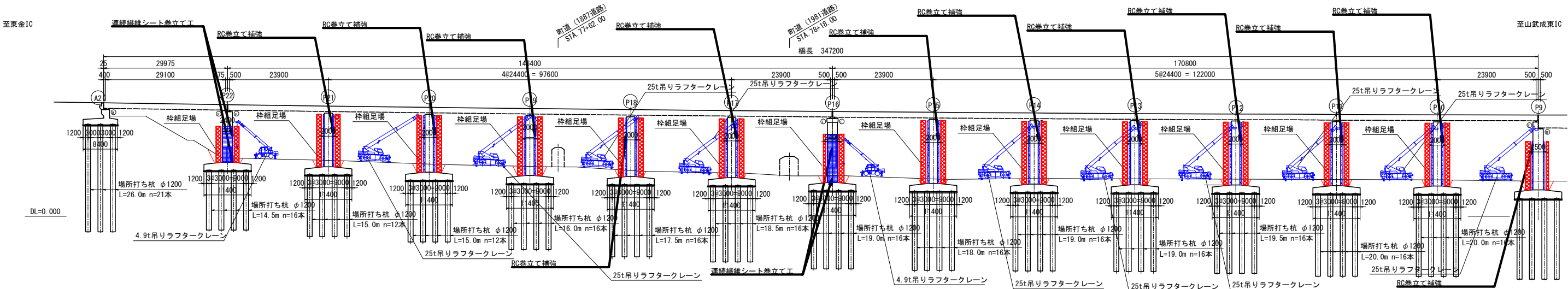
特記事項

1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
2. 施工前に現況を再度調査・寸法計測・鉄筋探査を行い、施工計画書を作成し監督員等の承諾後に着手すること。
3. 鋼材防錆処理は溶融亜鉛めっき仕様、もしくは現場塗装とする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
4. 「FP」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
5. 製作施工に必要な吊り孔等は適宜設けること。
6. 鋼材材質は図面に記載した材質を基本とするが、流通状況や機械的性質を考慮し適宜反映してもよい。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚(起点側) 落橋防止構造P2構造図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 下部工施工要領図(参考図) (その1)

側面図 S=1:1000



平面図 S=1:1000



P17橋脚～P21橋脚
①下部補強施工 :RC巻立て
②補強材設置方法:下から施工(枠組足場設置)、オープン掘削
③搬入方法 :バックホウにて掘削を行い、枠組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。
④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。
※掘削が側道に干渉するため、奥側(P22)より順次施工し市道日向392号線を一時通行止めとする

P9橋脚～P15橋脚
①下部補強施工 :RC巻立て
②補強材設置方法:下から施工(枠組足場設置)、オープン掘削
③搬入方法 :バックホウにて掘削を行い、枠組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。
④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。
※掘削が側道に干渉するため、奥側(P9)より順次施工し市道日向392号線を一時通行止めとする

■起点側進入路
市道日向387号線から進入しP9～P22橋脚へ進入する

P16、22橋脚
①下部補強施工 :炭素繊維巻立て
②補強材設置方法:下から施工(枠組足場設置)、オープン掘削
③搬入方法 :バックホウにて掘削を行い、枠組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。
④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。

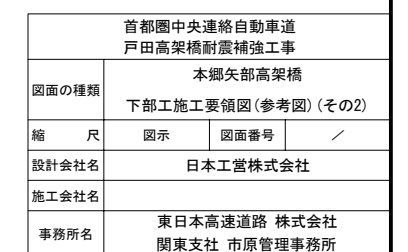
注記
1) 施工時に必要に応じて現地盤を確認し、
地盤の状況、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

凡例

—	施工中
—	重機、補強
⊗	足場工

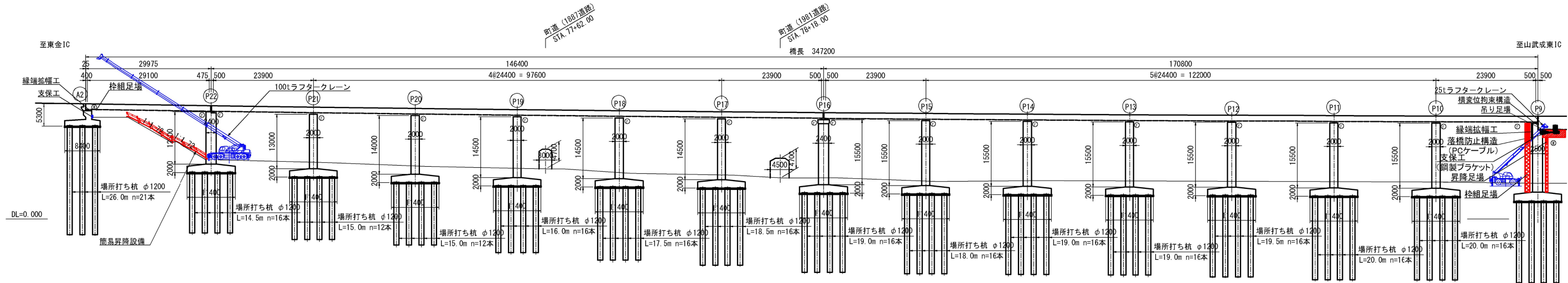
図面の種類	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
	本郷矢部高架橋 下部工施工要領図(参考図) (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

平面图 S=1:1000

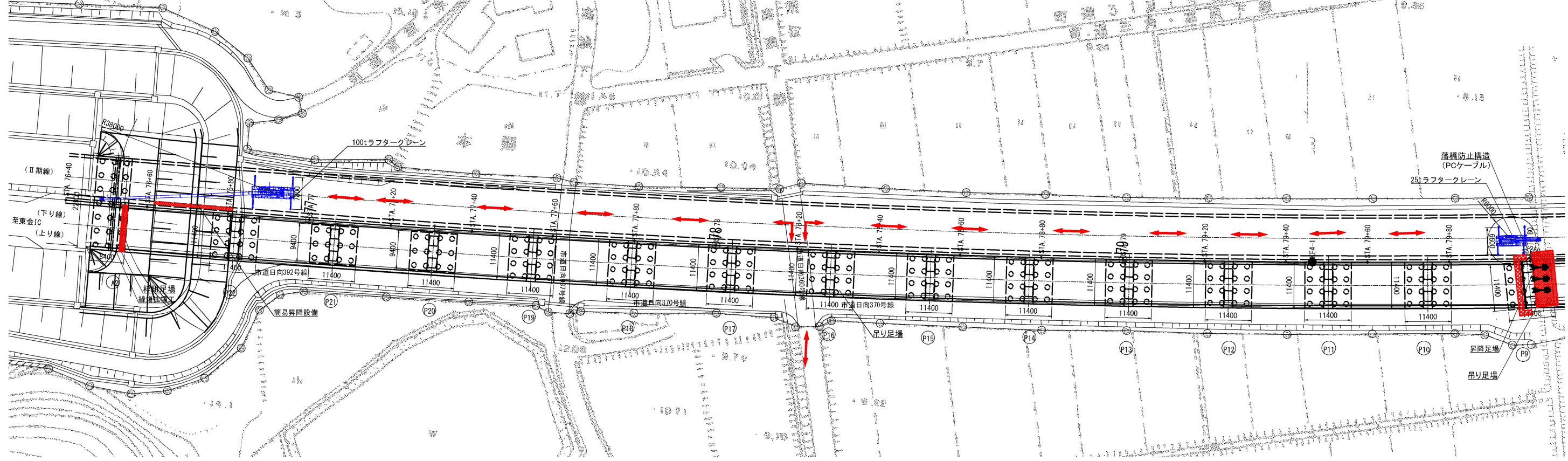


本郷矢部高架橋 上部工施工要領図(その1) (参考図)

側面図 S=1:1000



平面図 S=1:1000



A2橋台

- ①上部補強施工:縁端拡幅
- ②補強材設置方法:下から施工(枠組足場設置)
- ③吊り上げ重機:100tラフタークレーン(アウトリガー幅7.8m)(最大張り出し)
- ④搬入～設置まで:現道より進入し吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)-チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

P9橋脚

- ①上部補強施工:縁端拡幅、横変位拘束構造
- ②補強材設置方法:下から施工(吊り足場設置)
- ③吊り上げ重機:25tラフタークレーン(アウトリガー幅6.6m)(最大張り出し)
- ④搬入～設置まで:現道より進入し吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)-チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

【定格総荷重量表:100tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出7.8m) 単位(t)

ブーム長さ (m)	41.7	45.2
作業半径		
36.0	1.85	1.60
38.0	1.60	1.35
40.0		1.10

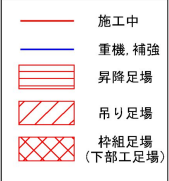
吊り可能重量: ①吊り上げ能力 1.60t
②吊り具・フック(主巻) 0.43t
①-②
1.60-0.43
 $\Sigma=1.17t \times 0.9=1.053t$
※資材搬入時は1.0t程度の吊り重量にて搬入させること

【定格総荷重量表:25tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出6.6m) 単位(t)

ブーム長さ (m)	9.35	16.4
作業半径		
5.5	17.80	17.00
6.0	16.30	16.00
6.5	15.10	15.00

吊り可能重量: ①吊り上げ能力 16.30t
②吊り具・フック(主巻) 0.22t
③補強材 0.5t
①-②
16.30-0.22
 $\Sigma=16.08t \times 0.9=14.472t$
0.5t<14.4t...ok
※資材搬入時は14.4t程度の吊り重量にて搬入させること

凡例

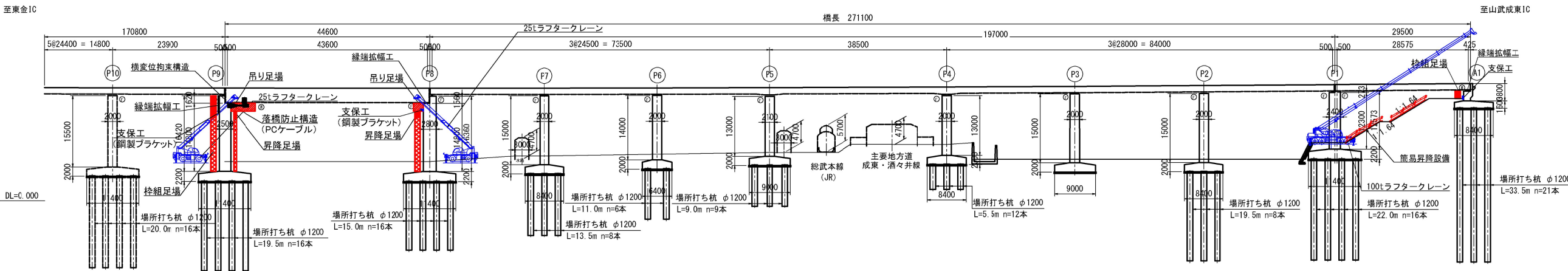


注記
1) 施工時に必要に応じ現地実を確認し、
地盤の変状、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

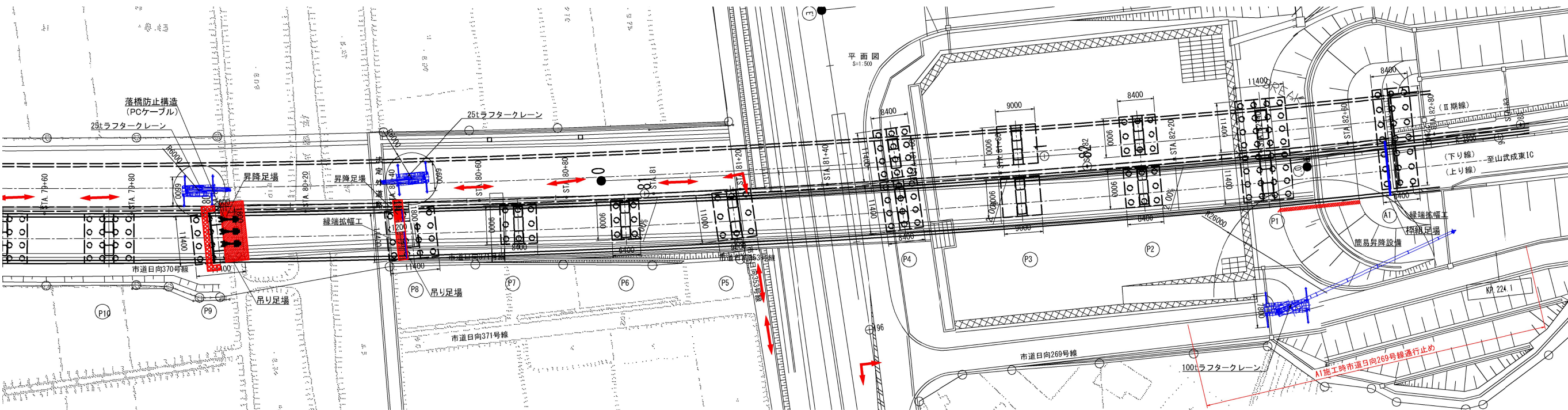
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋		
	上部工施工要領図(その1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 上部工施工要領図(その2) (参考図)

側面図 S=1:1000



平面図 S=1:1000



【定格総荷重量表 25tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出6.6m)
単位(t)

ブーム長さ (m)	9.35	16.4
作業半径		
5.5	17.80	17.00
6.0	16.30	16.00
6.5	15.10	15.00

吊り可能重量: ①吊上げ能力 16.30t
①-② ②吊り具・フック(主巻) 0.22t
16.30-0.22
Σ=16.08t×0.9=14.472t
※資材搬入時は14.4t程度の吊り重量にて搬入させること

【定格総荷重量表 100tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出7.8m)
単位(t)

ブーム長さ (m)	31.2	34.7
作業半径		
24.0	4.55	4.90
26.0	4.05	4.25
28.0	3.75	3.70

吊り可能重量: ①吊上げ能力 4.05t
①-② ②吊り具・フック(主巻) 0.43t
4.05-0.43
Σ=3.62t×0.9=3.258t
※資材搬入時は3.2t程度の吊り重量にて搬入させること

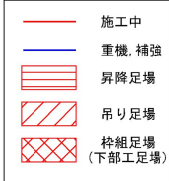
P8橋脚

- ①上部補強施工:縁端拡幅
- ②補強材設置方法:下から施工(吊り足場設置)
- ③吊り上げ重機:25tラフタークレーン(アウトリガー幅6.6m)(最大張り出し)
- ④搬入～設置まで:現道より進入し吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

A1橋台

- ①上部補強施工:縁端拡幅
- ②補強材設置方法:下から施工(枠組足場設置)
- ③吊り上げ重機:100tラフタークレーン(アウトリガー幅7.8m)(最大張り出し)
- ④搬入～設置まで:仮棧橋上より資材を搬入し吊り足場を設置、その後、クレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

凡例

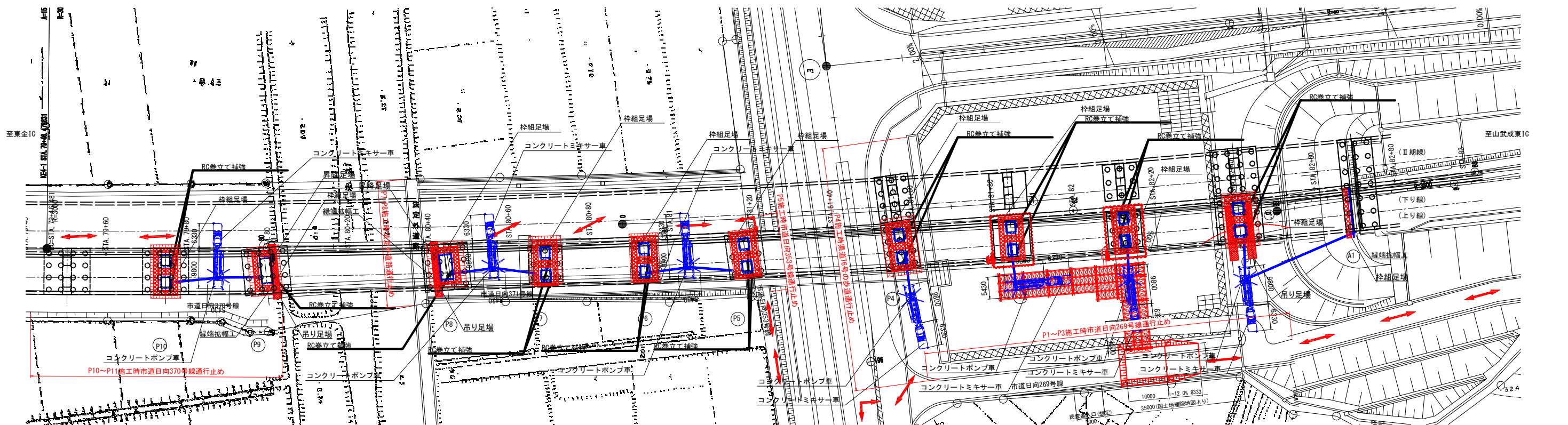
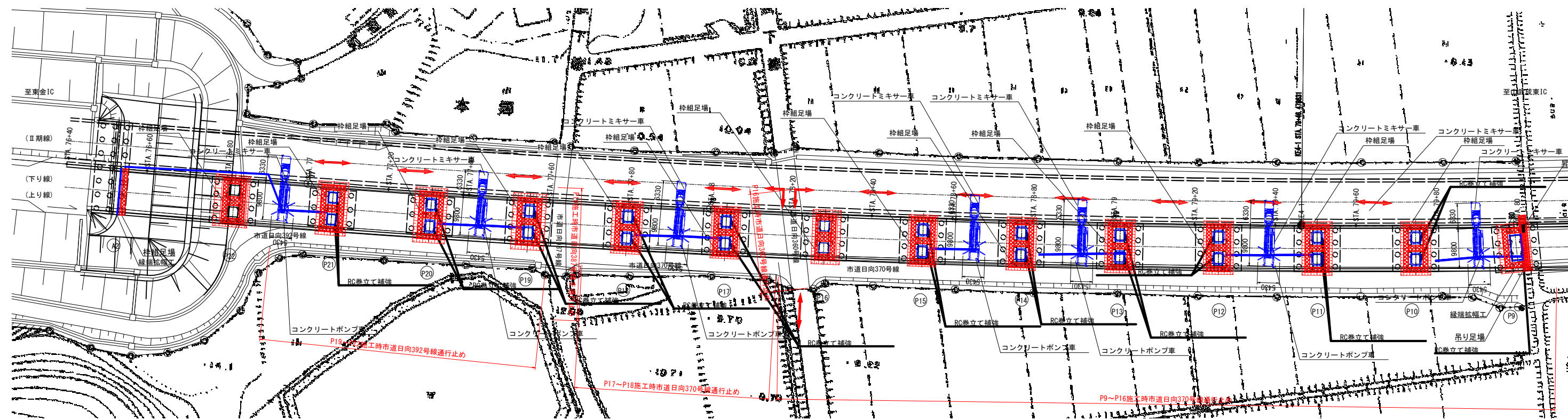


注記
1) 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、地盤の変状、支保物等がある場合は適宜修正を行うこと

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 上部工施工要領図(その2)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 コンクリート打設要領図(参考図)

平面図 S=1:1000



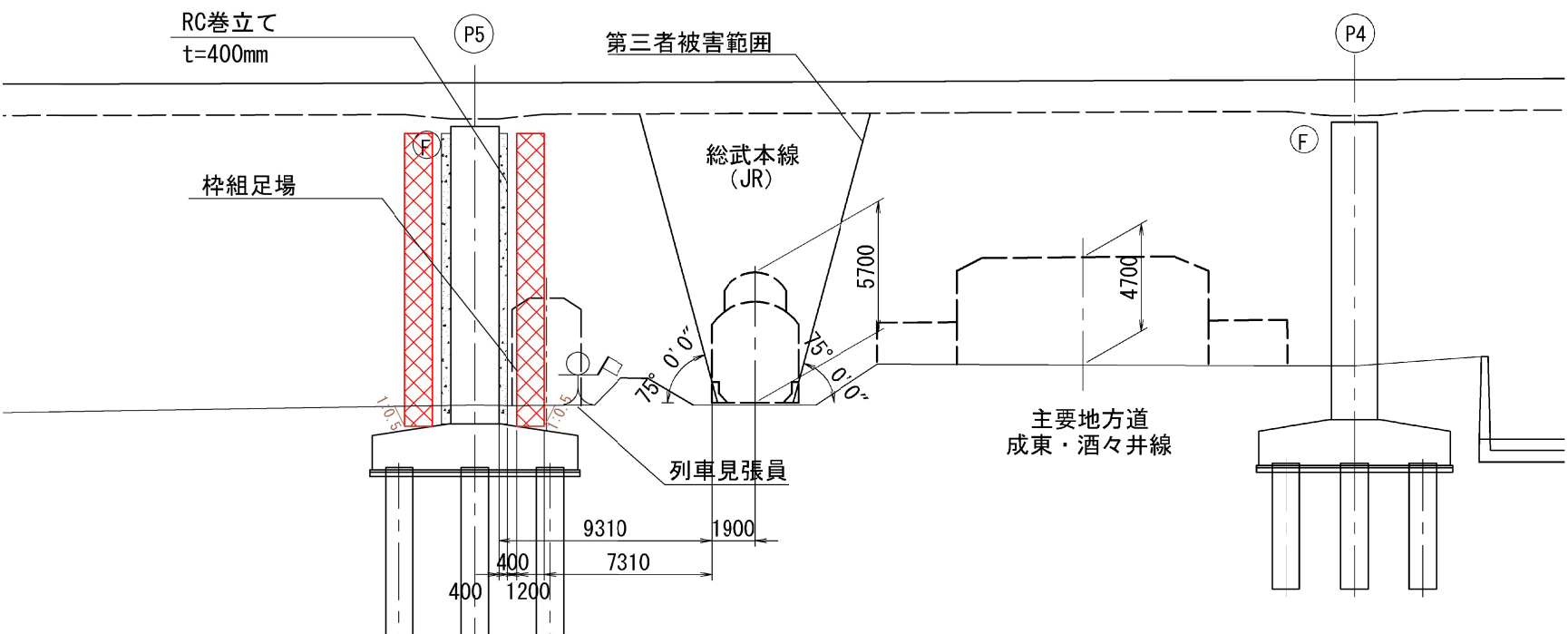
1) 施工時に必要に応じて現地盤を確認し、地盤の状況、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

- 凡例
- 施工中
 - 重機、補強
 - 足場工
 - 吊り足場

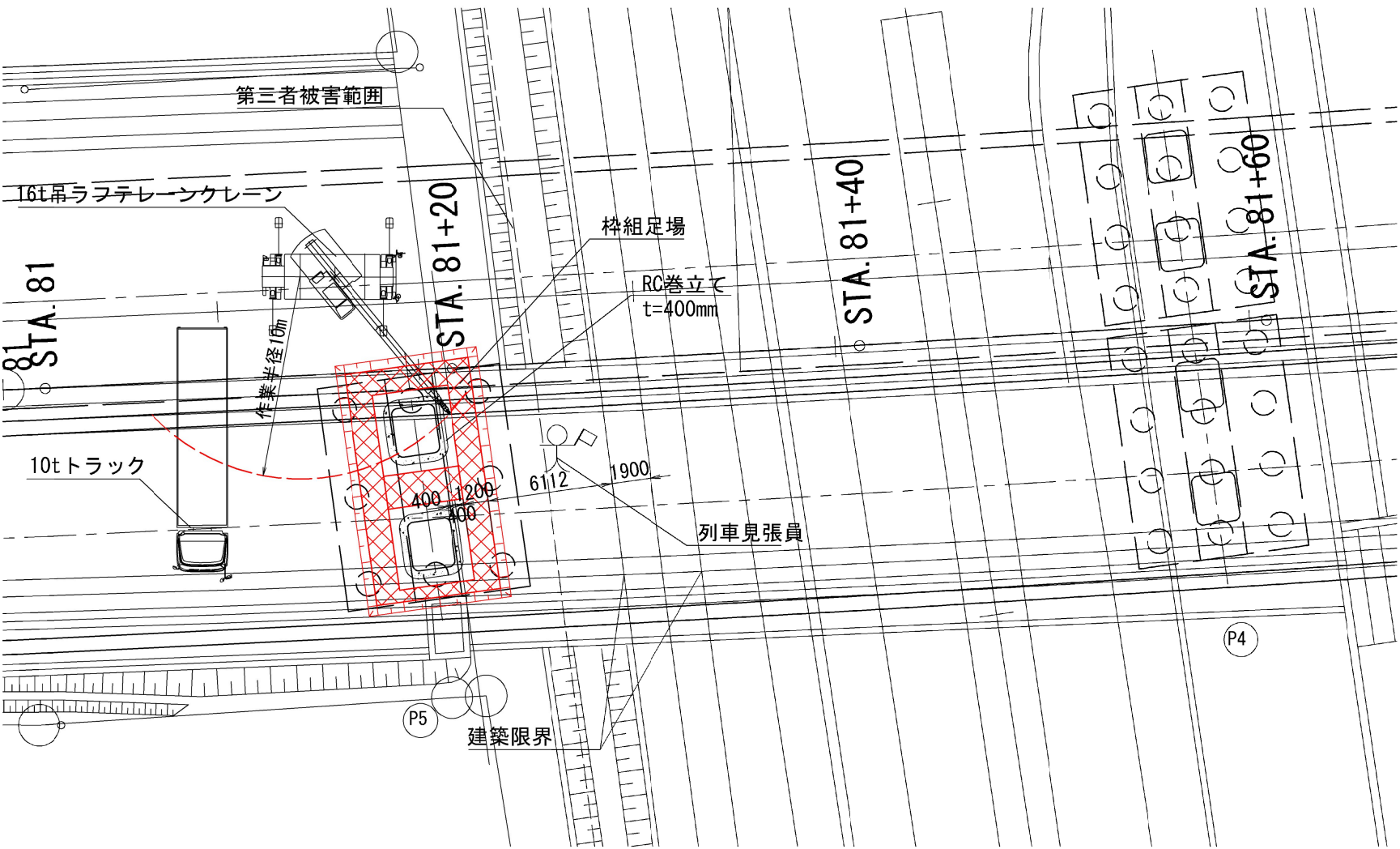
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
本郷矢部高架橋			
図面の種類	コンクリート打設要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P5橋脚 施工計画図（参考）

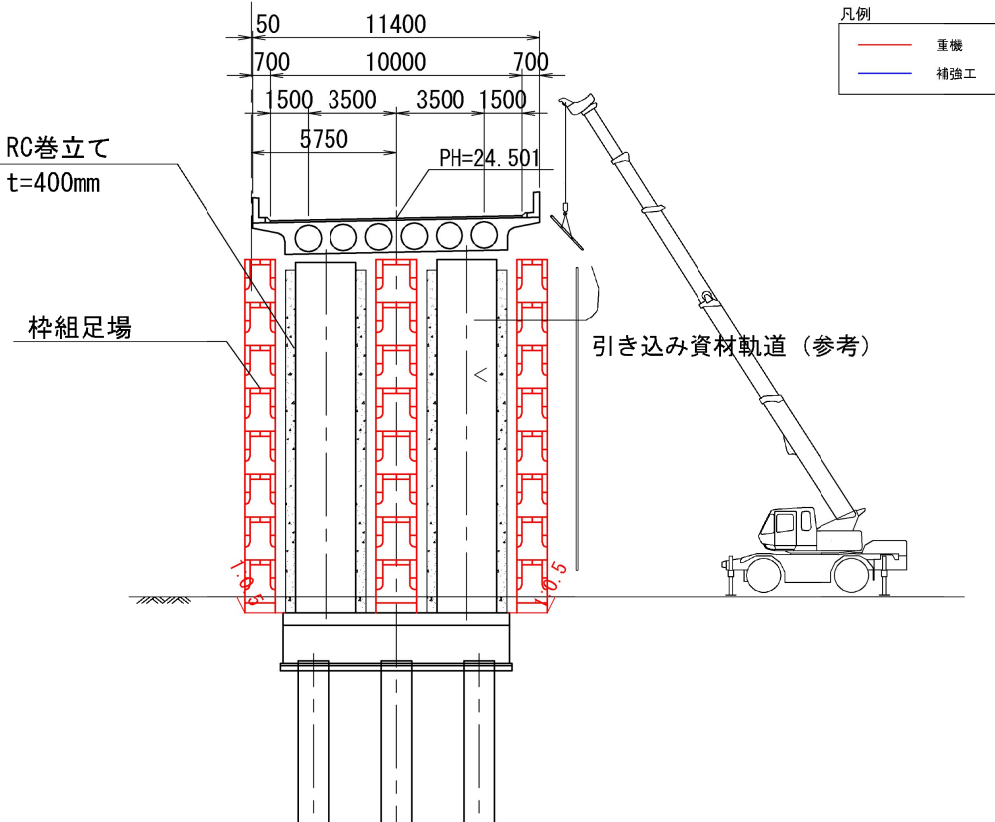
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



断面図 S=1:300



資材搬入手順

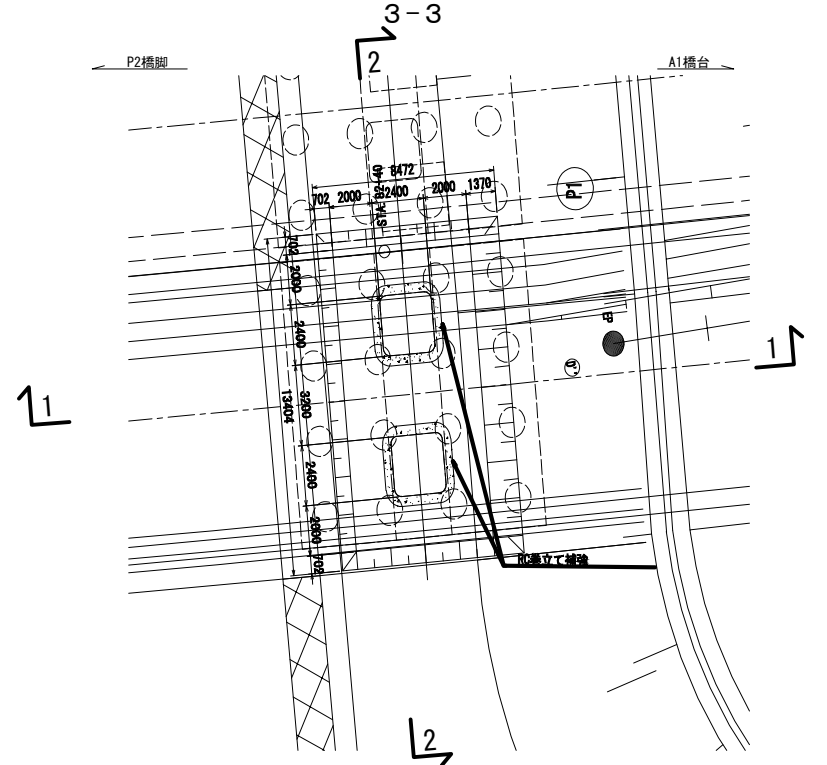
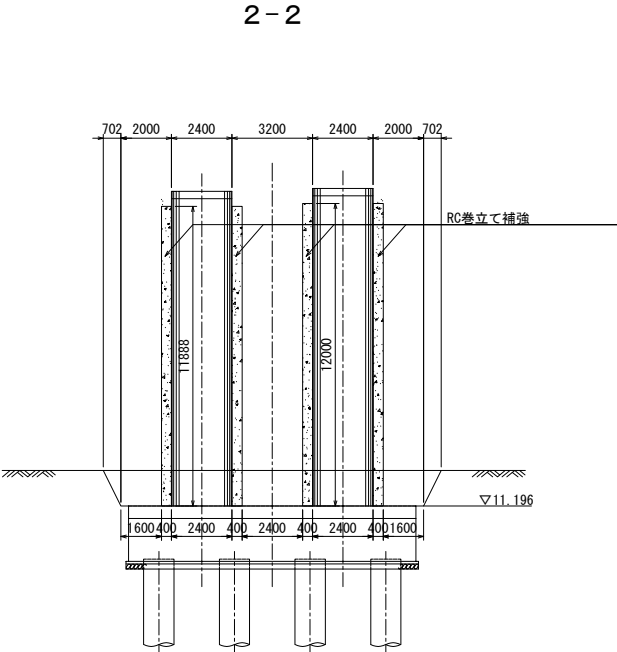
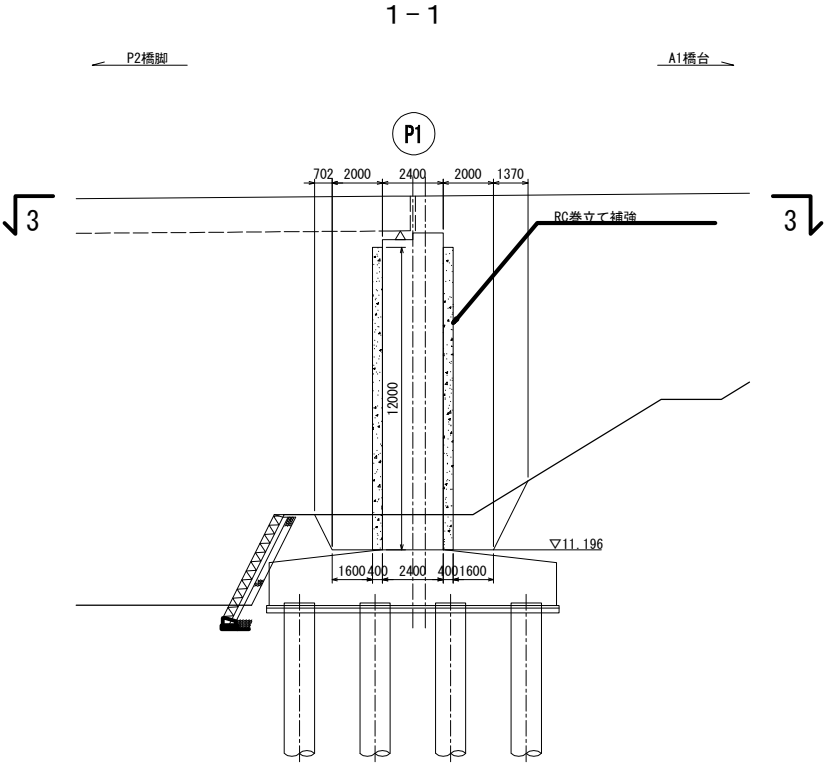
- Ⅱ期線ヤードに配置した10tトラックで資材を搬入する。
- 橋脚側面の足場材を一部撤去し、Ⅱ期線ヤードに配置した16tラフテレーンクレーンで橋脚側面から鉄筋を建て込み、人力およびチェーンブロック、足場ウインチなどで横引きして鉄筋を組み立てる。

（注記）足場設置・解体時およびクレーンでの資材吊り作業時に列車見張員を1名現地に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類		本郷矢部高架橋 P5橋脚 施工計画図（参考）		
縮尺	1：1000	図面番号	／	
設計会社名		日本工営株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P1橋脚 構造物掘削図

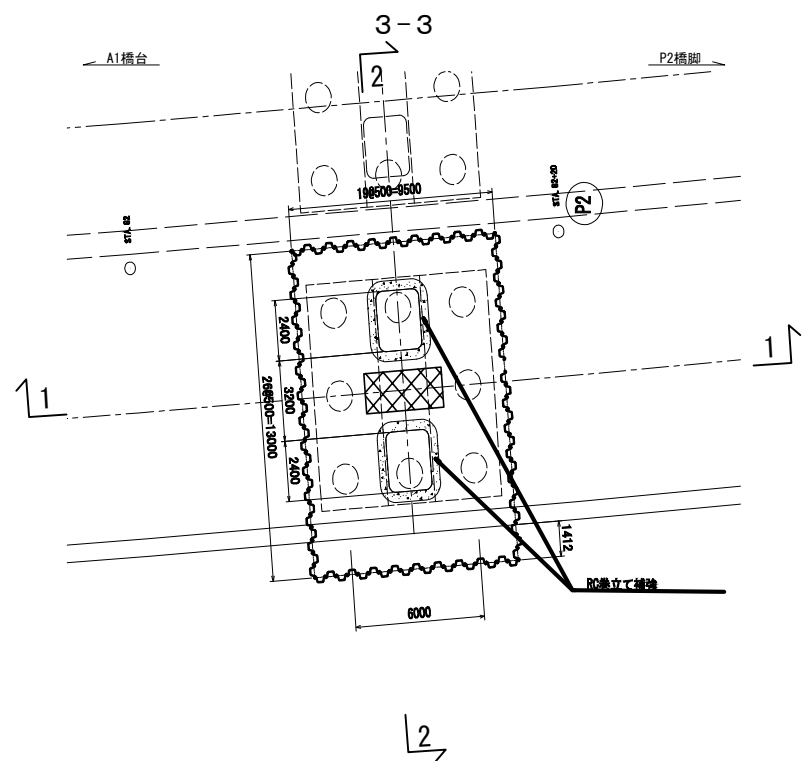
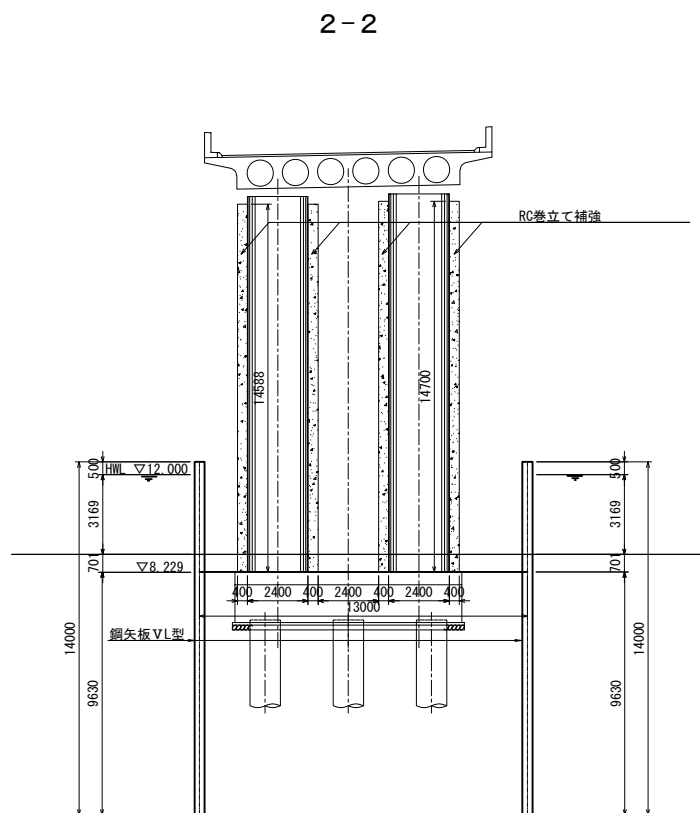
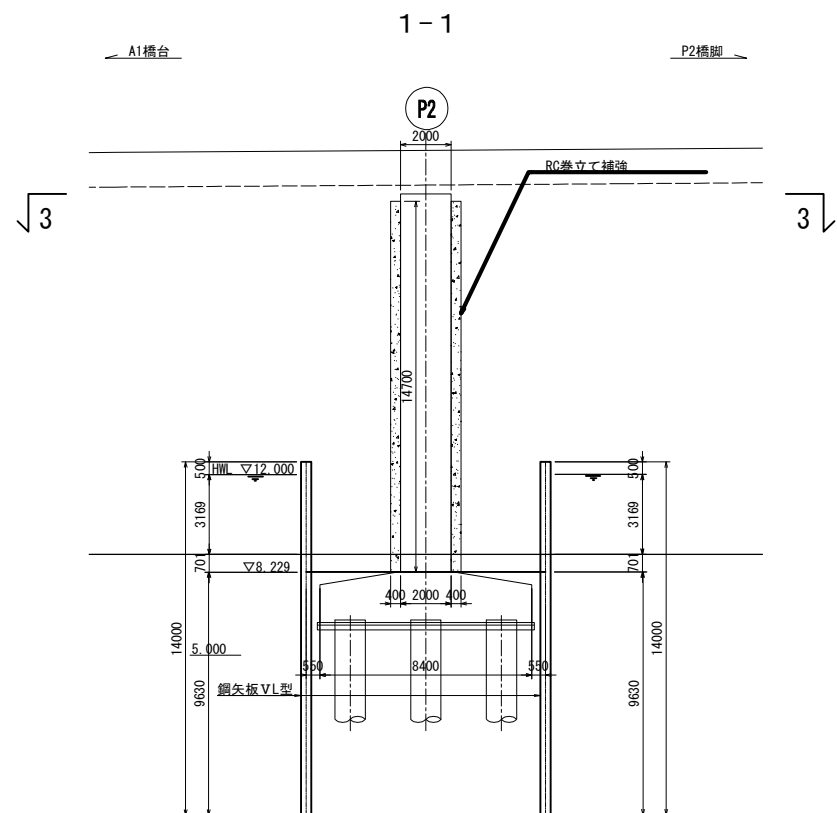
S=1 : 300



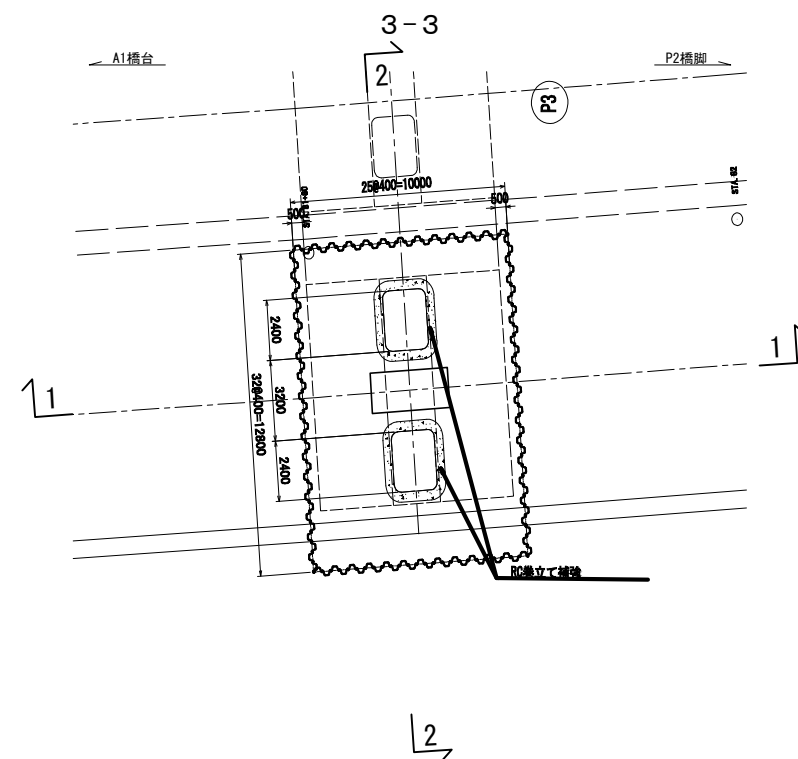
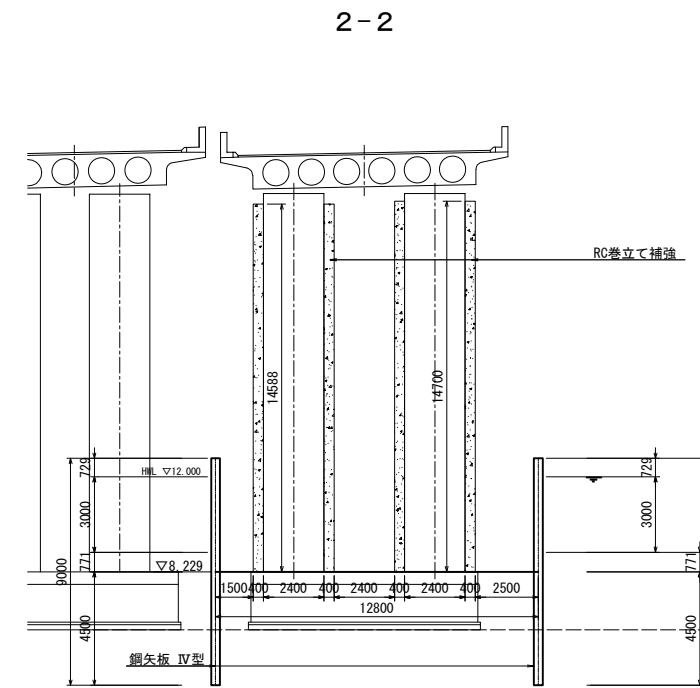
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P1橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P2橋脚 構造物掘削図(特殊部)

S=1 : 300



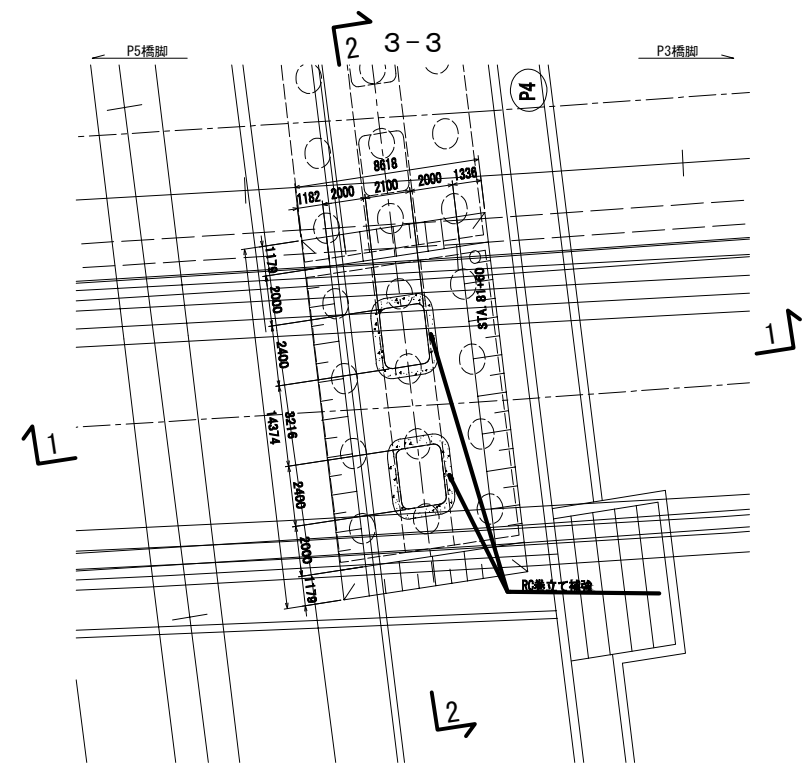
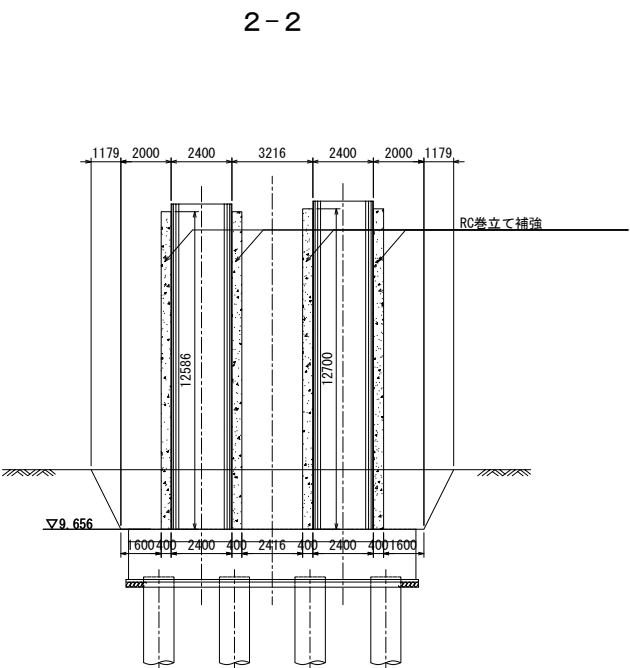
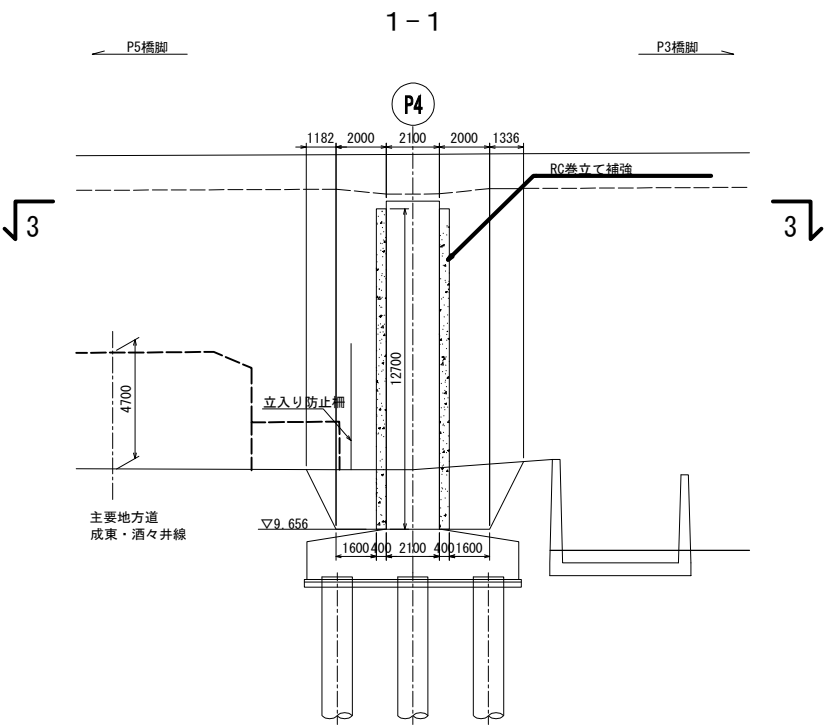
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P2橋脚 構造物掘削図(特殊部)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷支線高架橋 P3橋脚 構造物掘削図 (特殊部)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P4橋脚 構造物掘削図

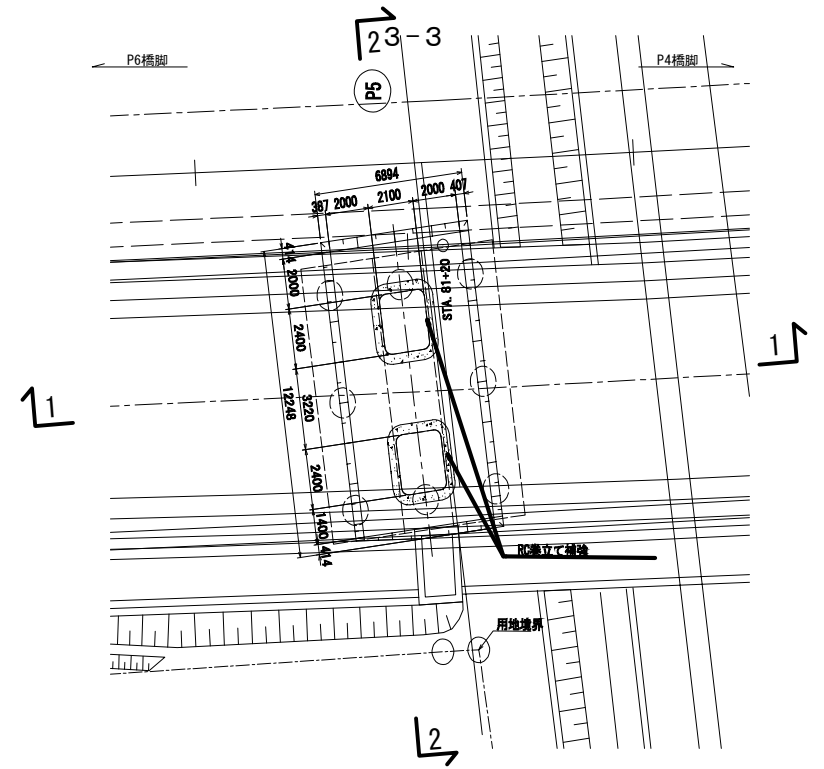
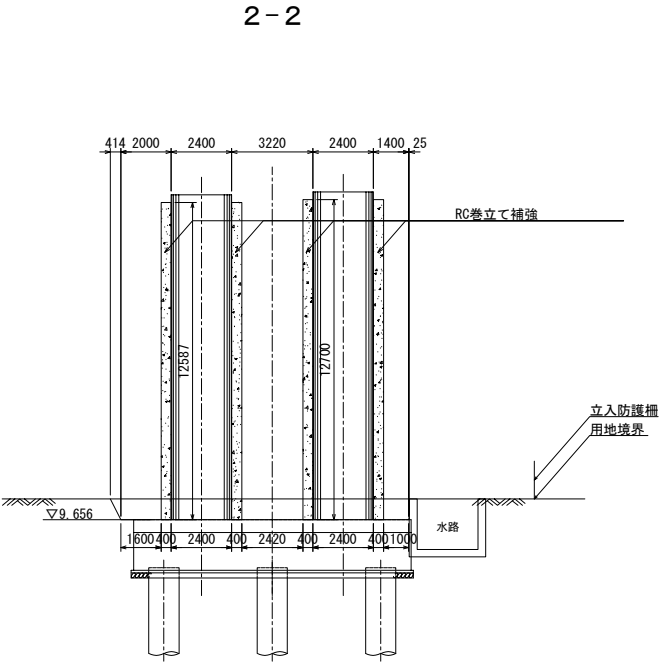
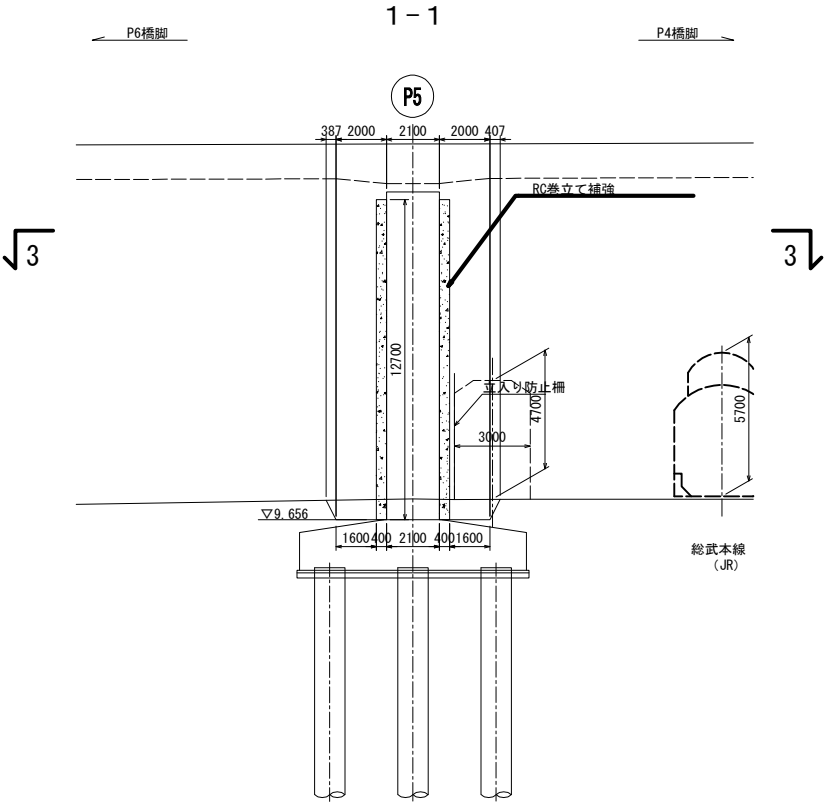
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P4橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P5橋脚 構造物掘削図

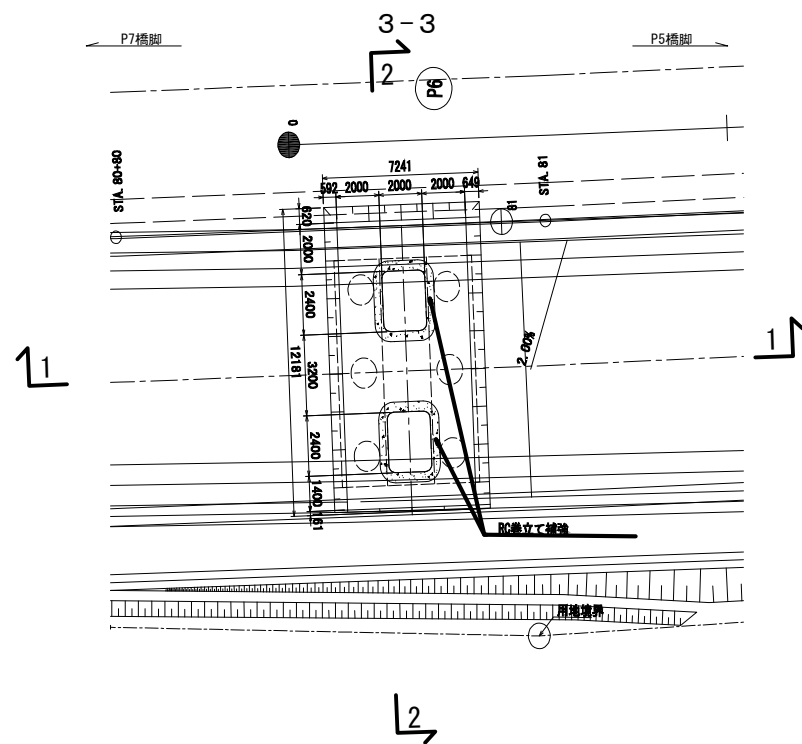
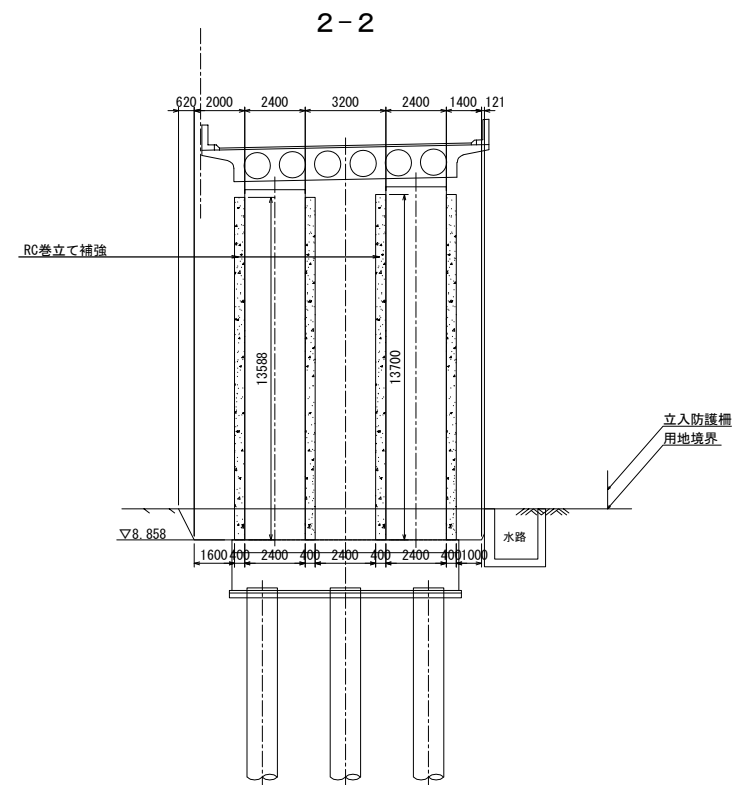
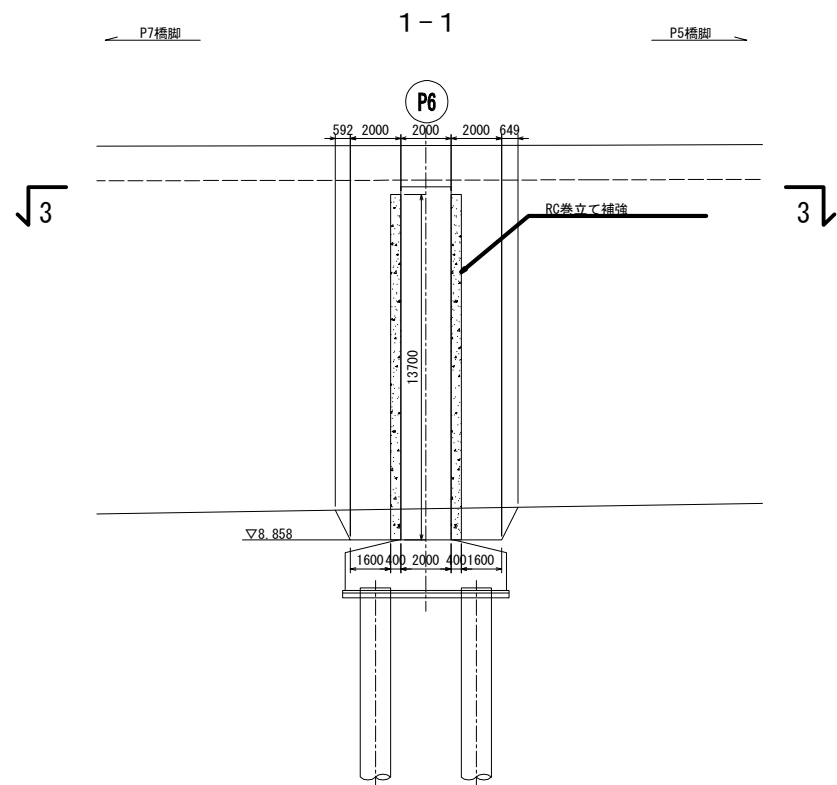
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P5橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P6橋脚 構造物掘削図

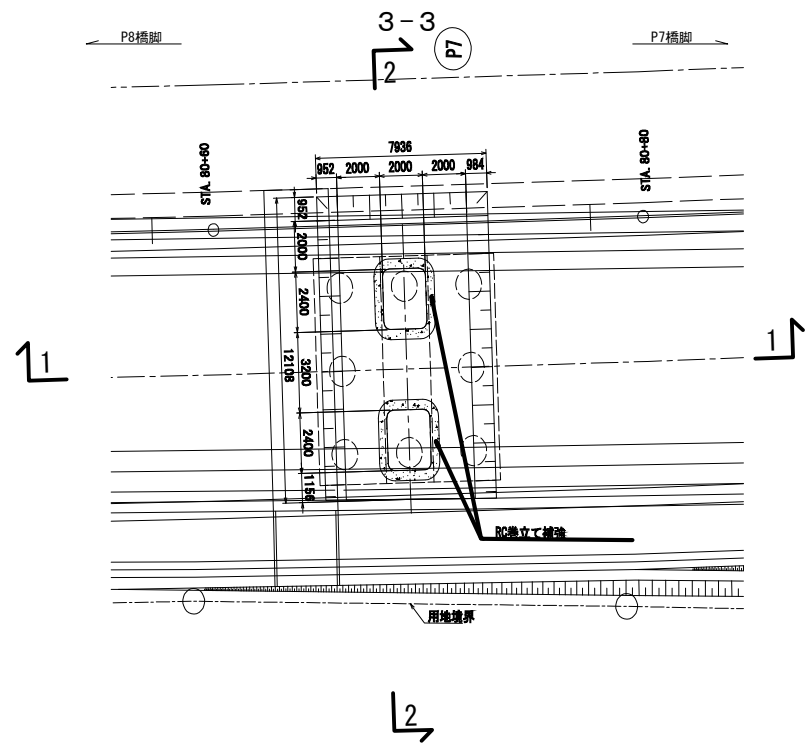
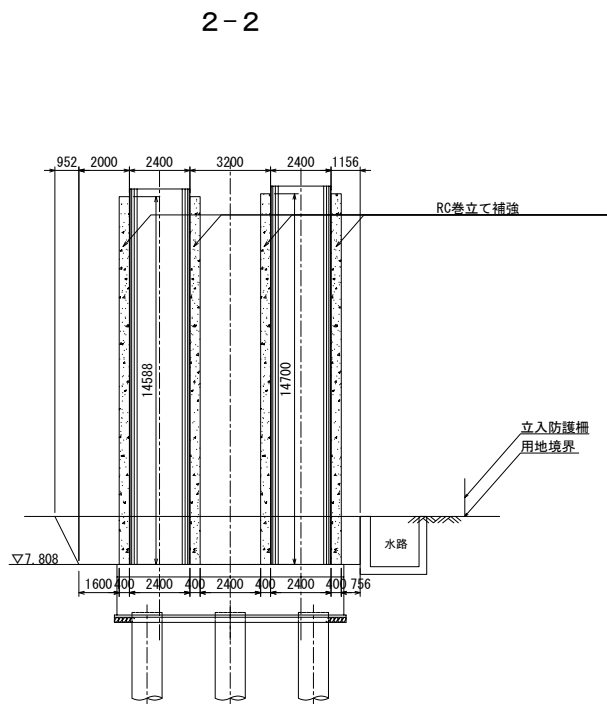
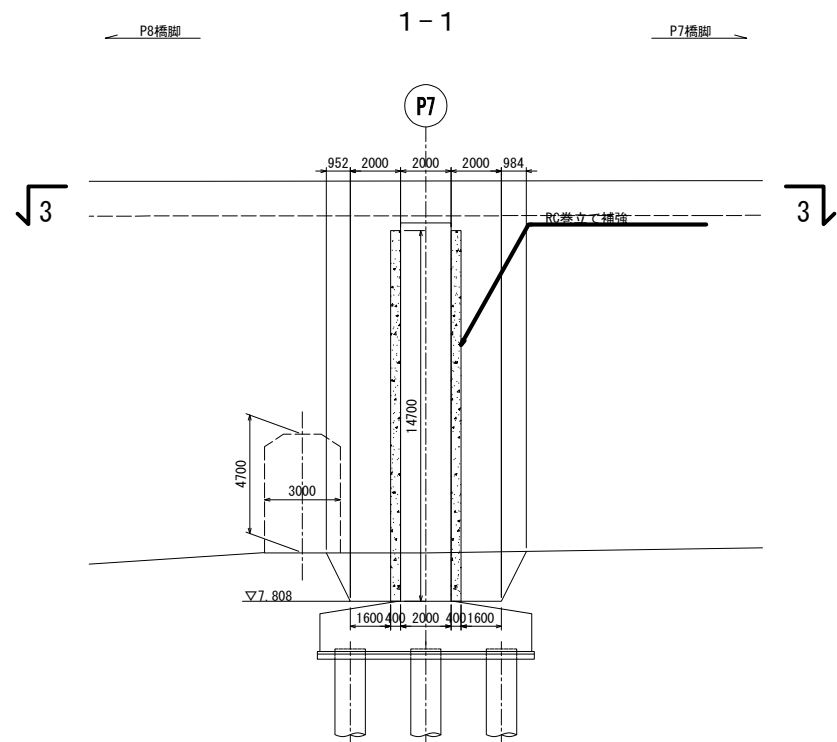
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P6橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P7橋脚 構造物掘削図

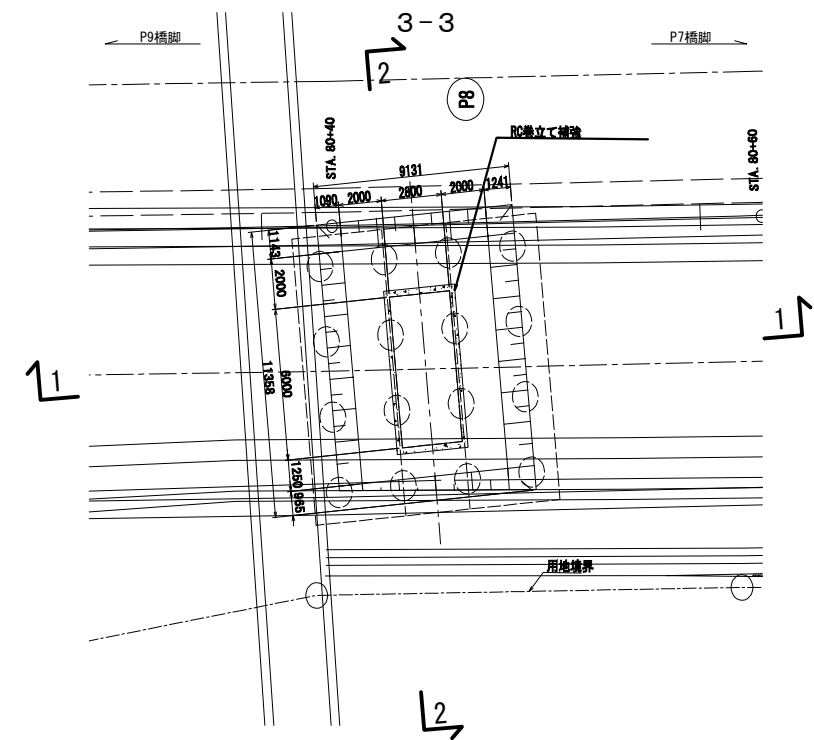
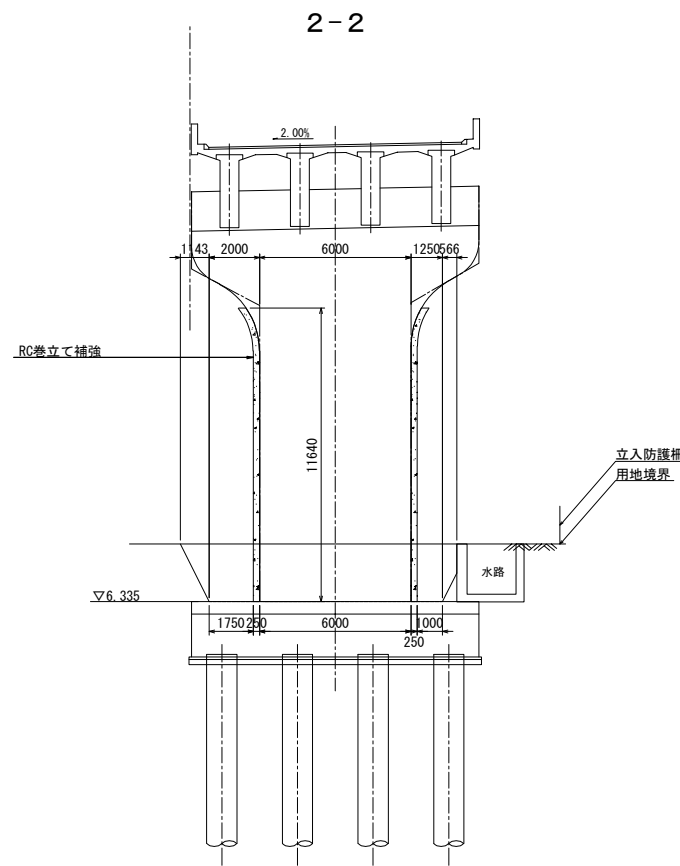
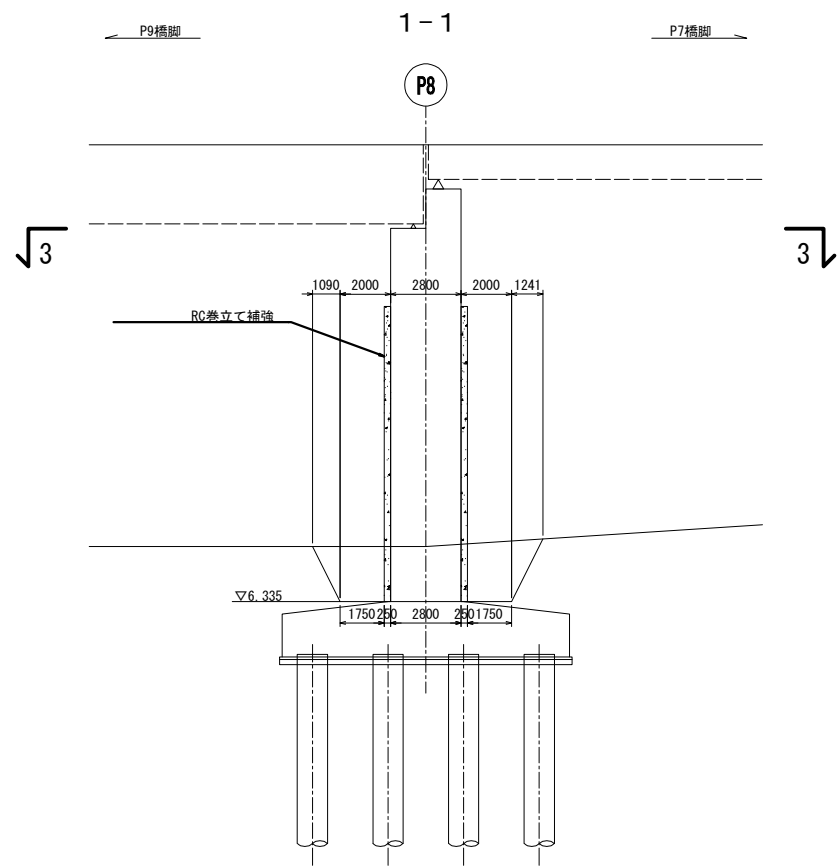
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P7橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P8橋脚 構造物掘削図

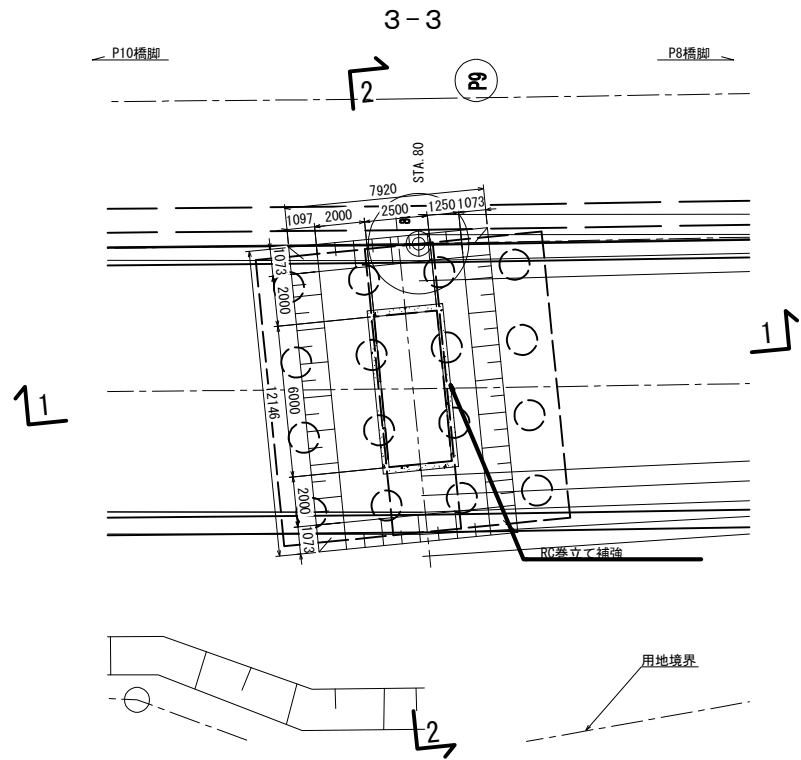
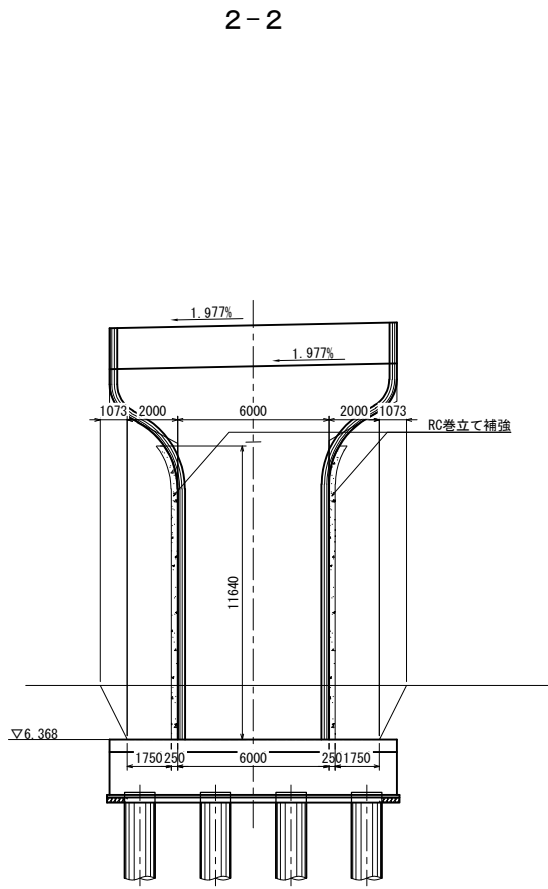
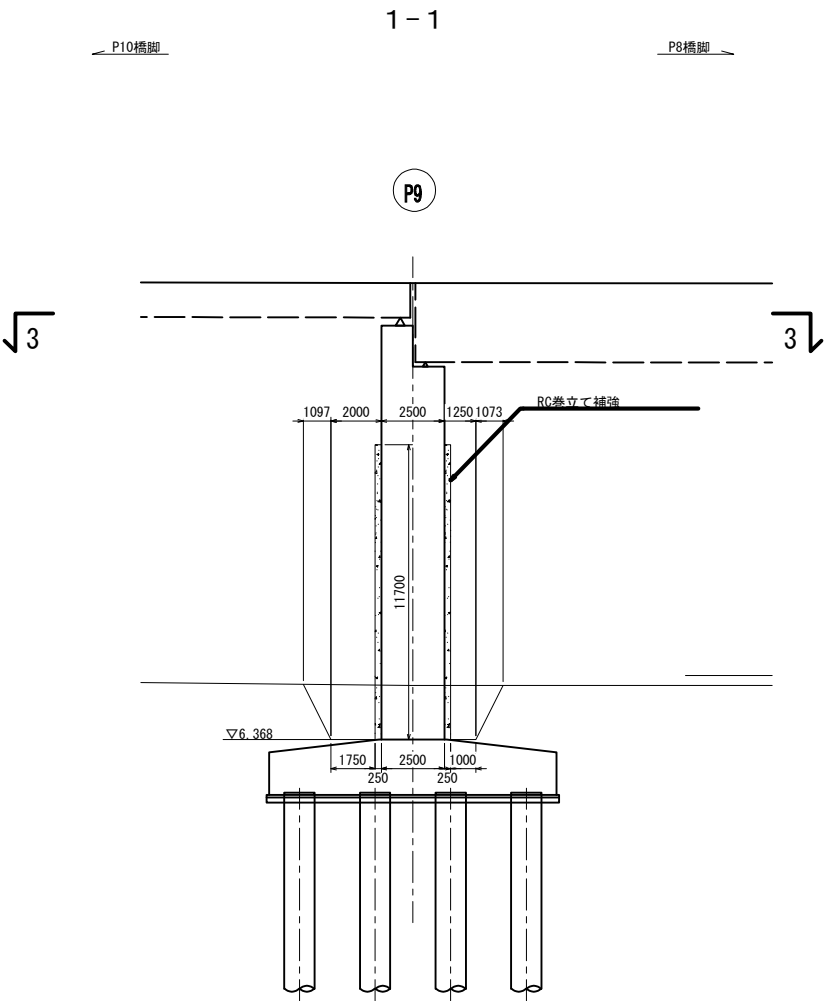
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P8橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P9橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

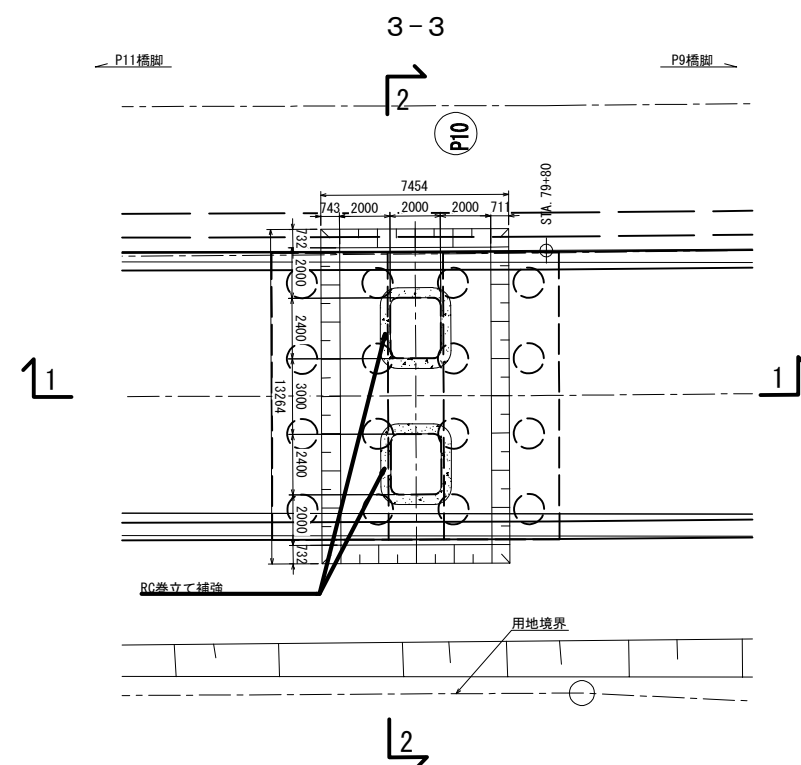
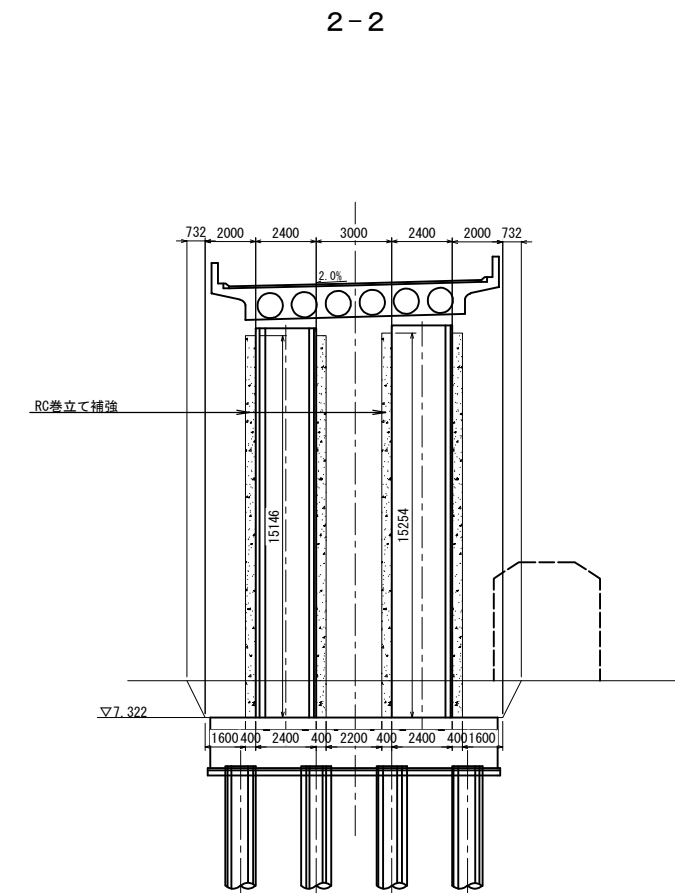
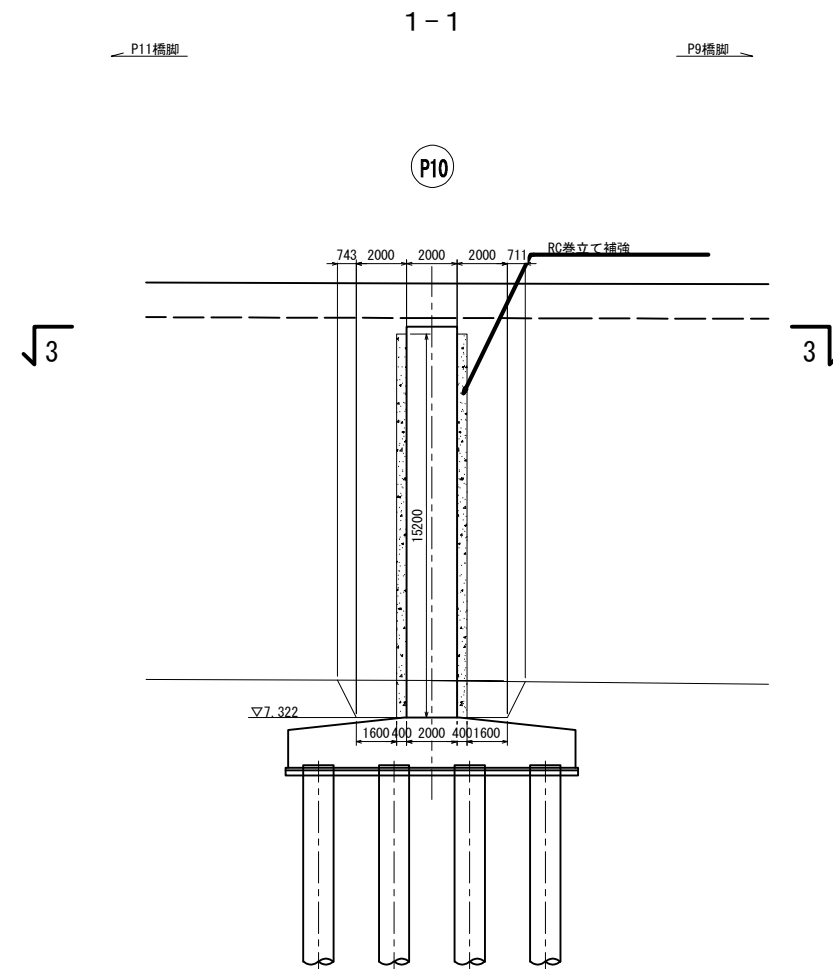


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

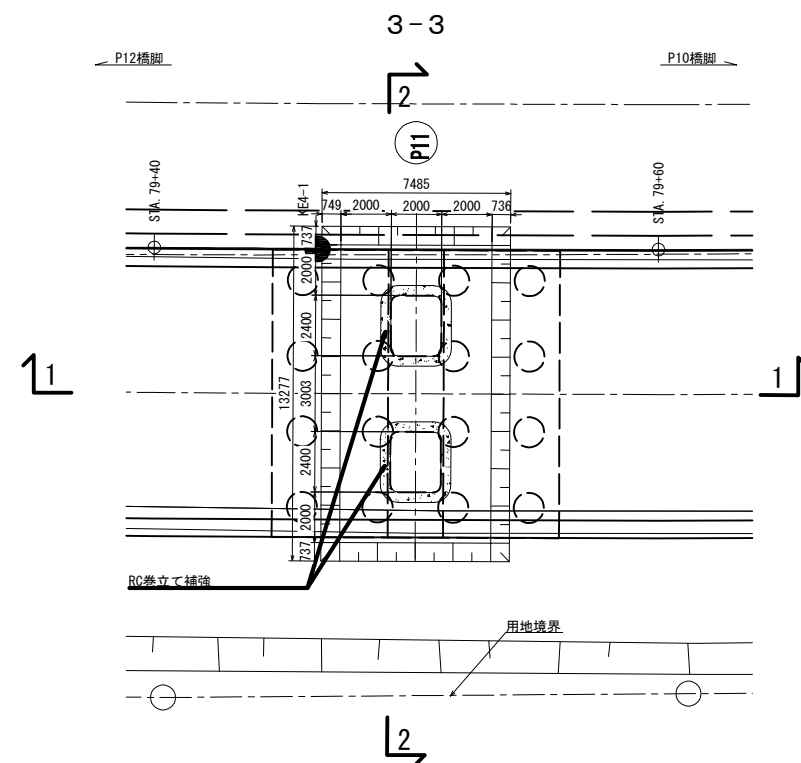
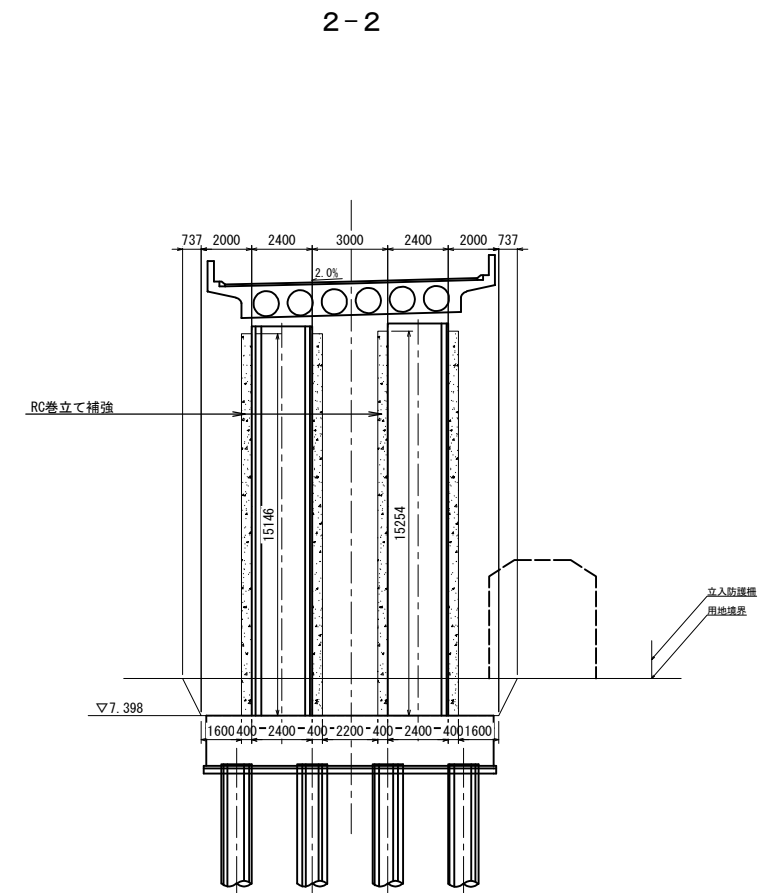
本郷矢部高架橋 P10橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

130 / 179



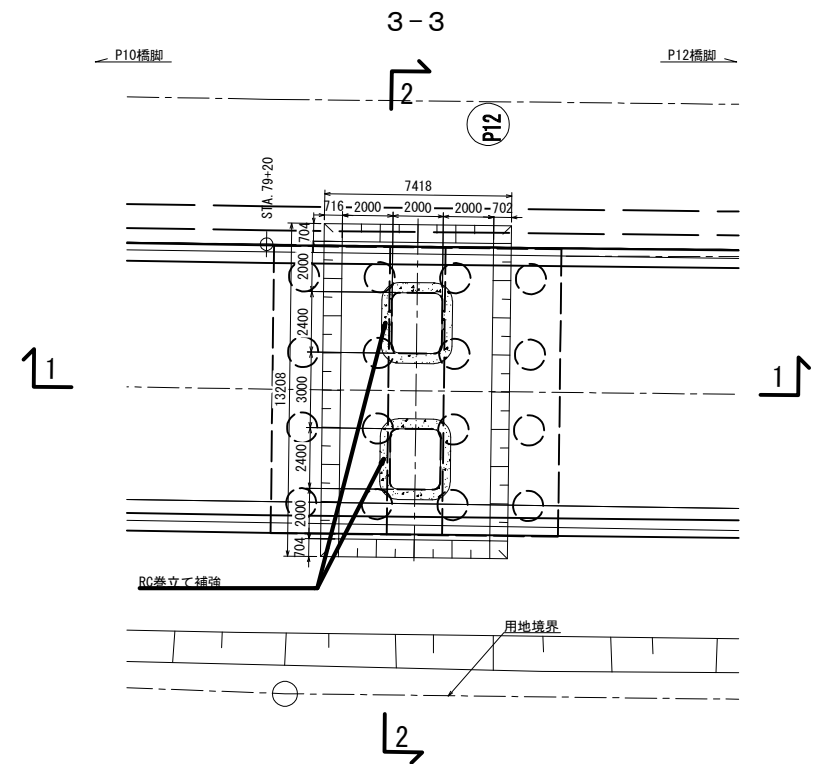
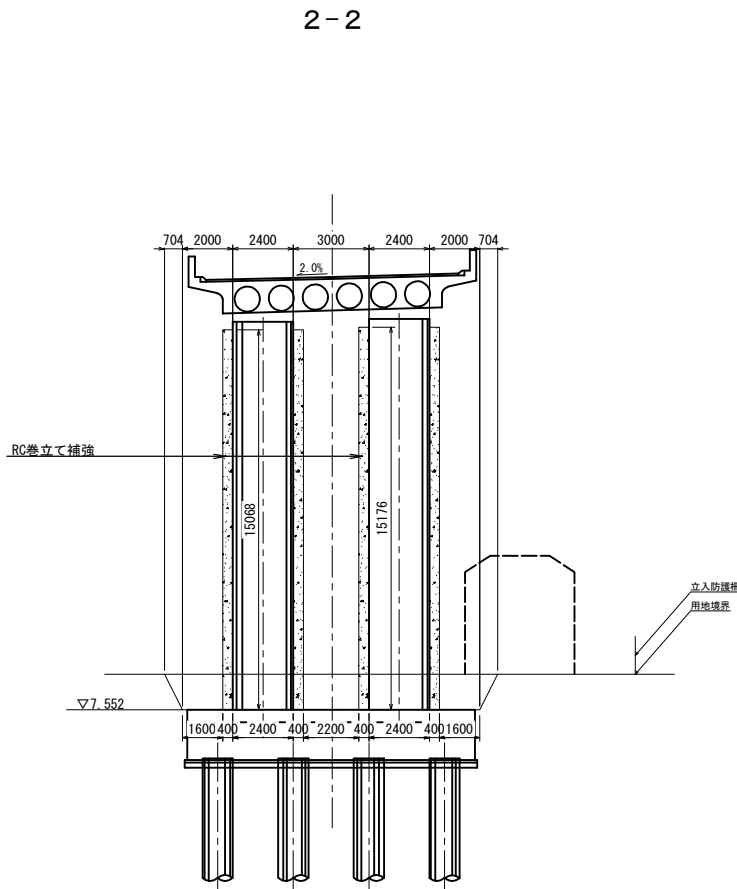
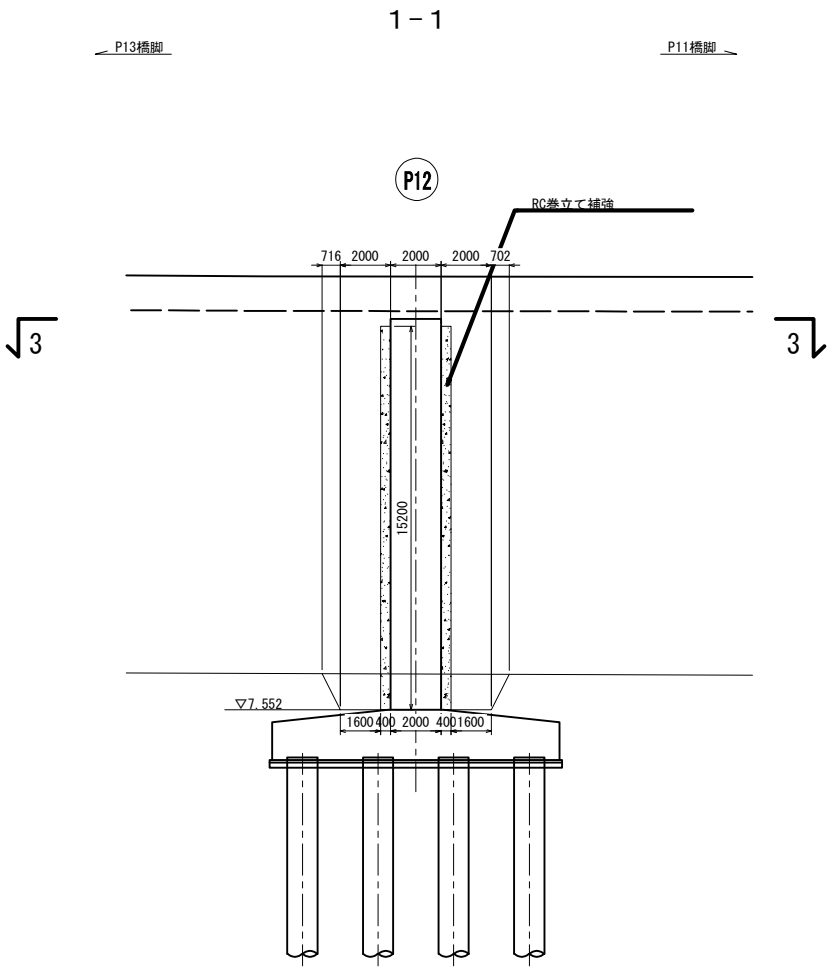
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P10橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		本郷矢部高架橋 P11橋脚	
		構造物掘削図	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P12橋脚 構造物掘削図

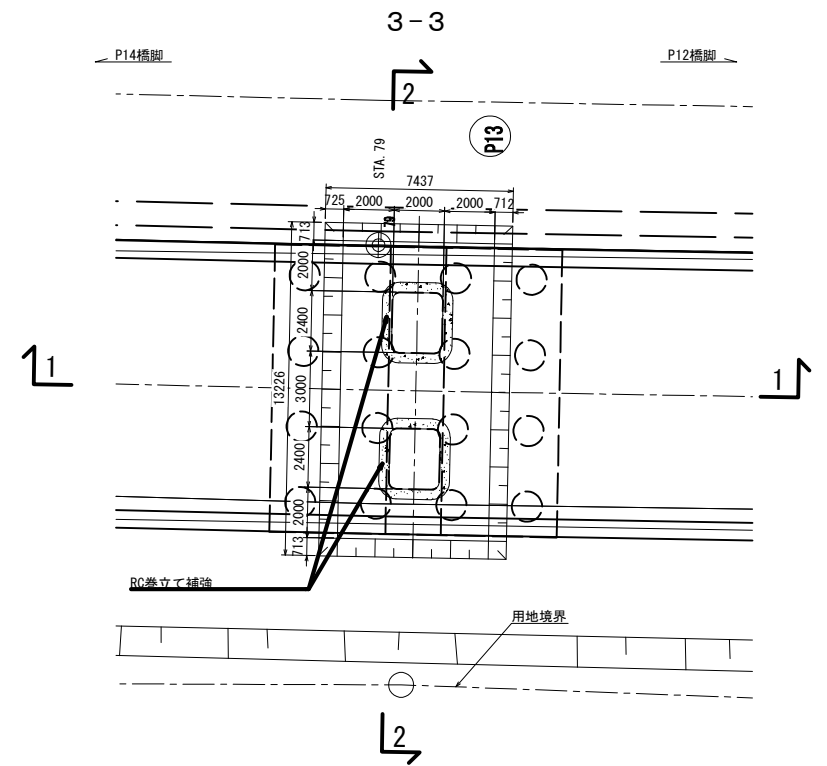
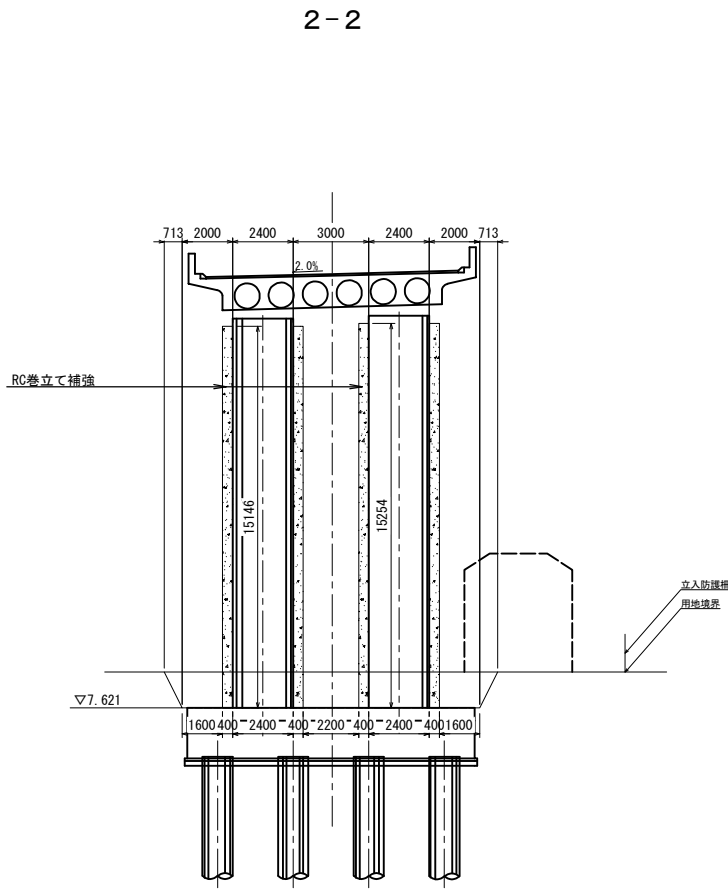
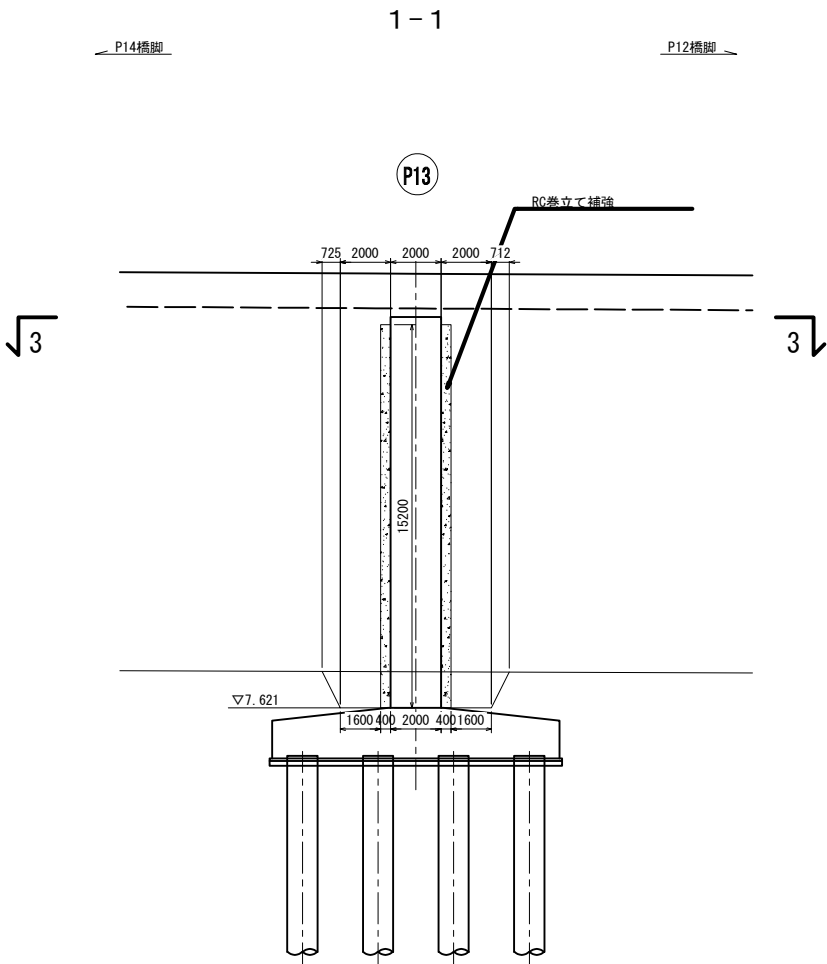
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P12橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P13橋脚 構造物掘削図

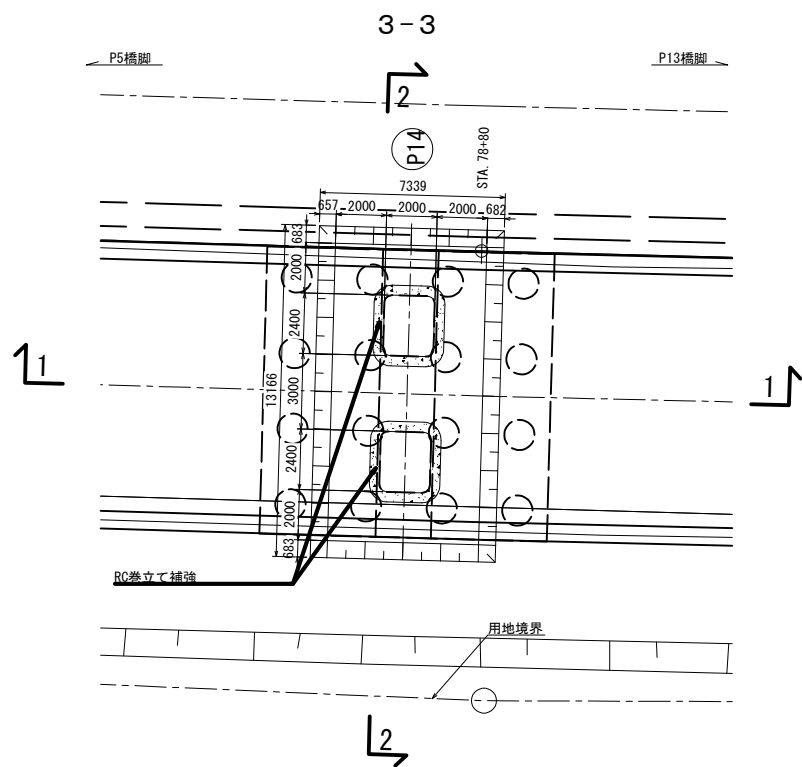
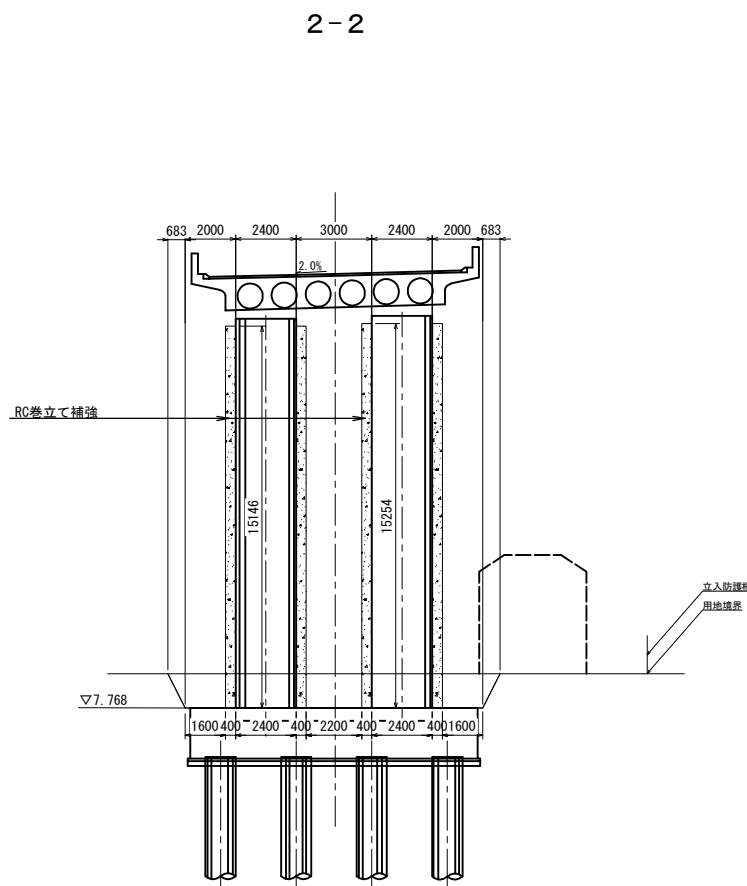
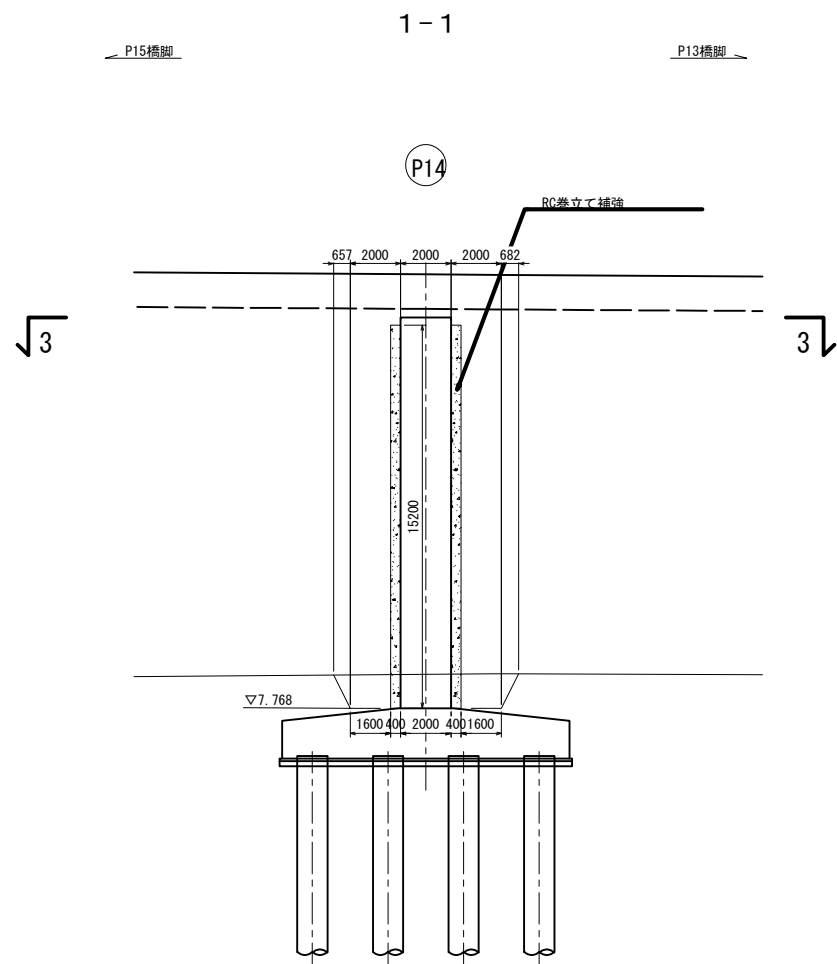
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P13橋脚 構造物掘削図		
	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P14橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

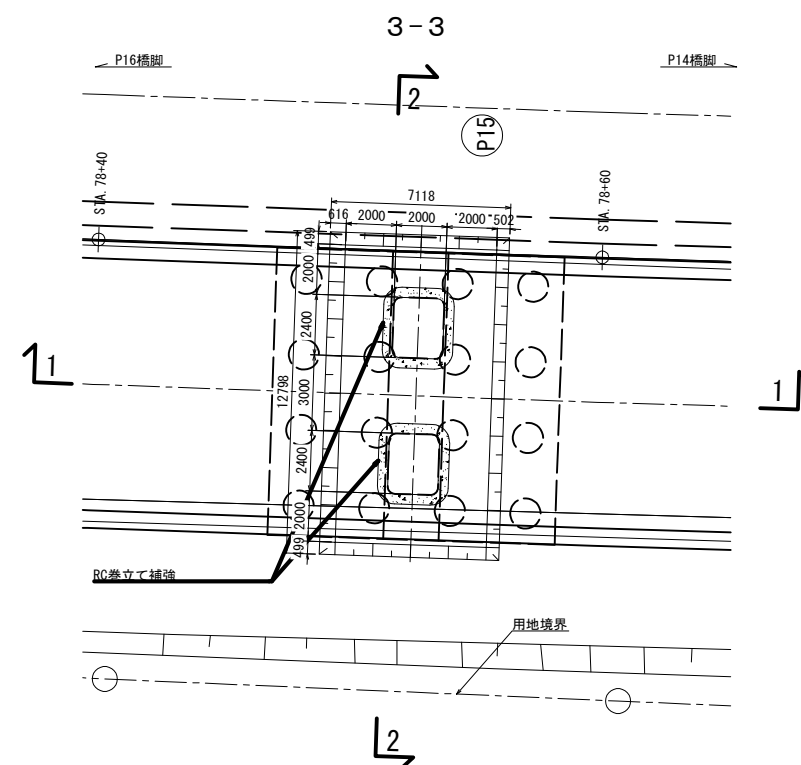
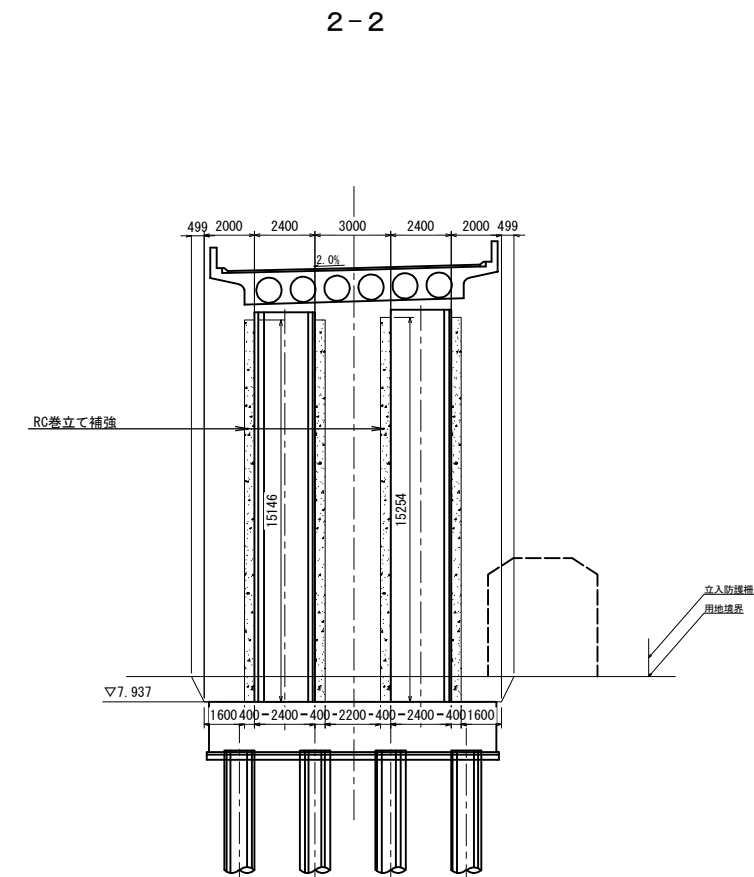
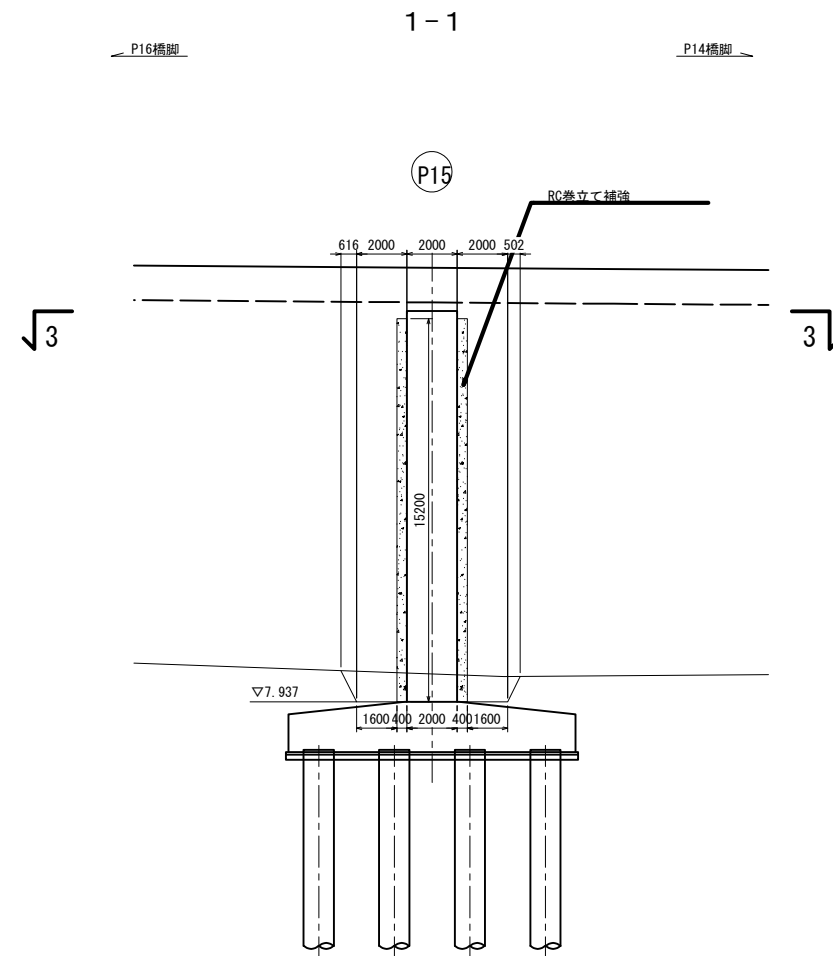


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P14橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P15橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

135 / 179

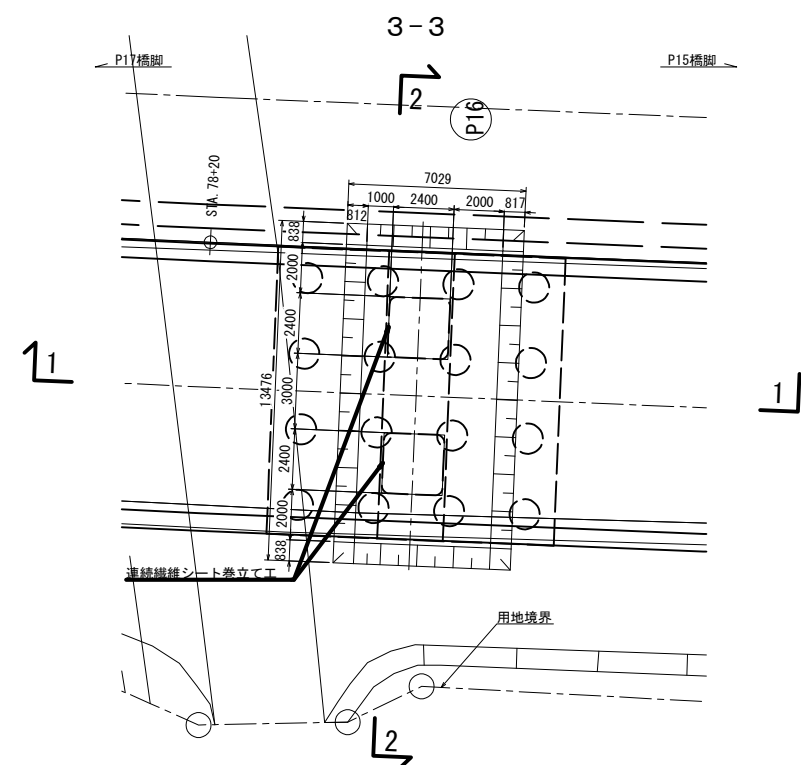
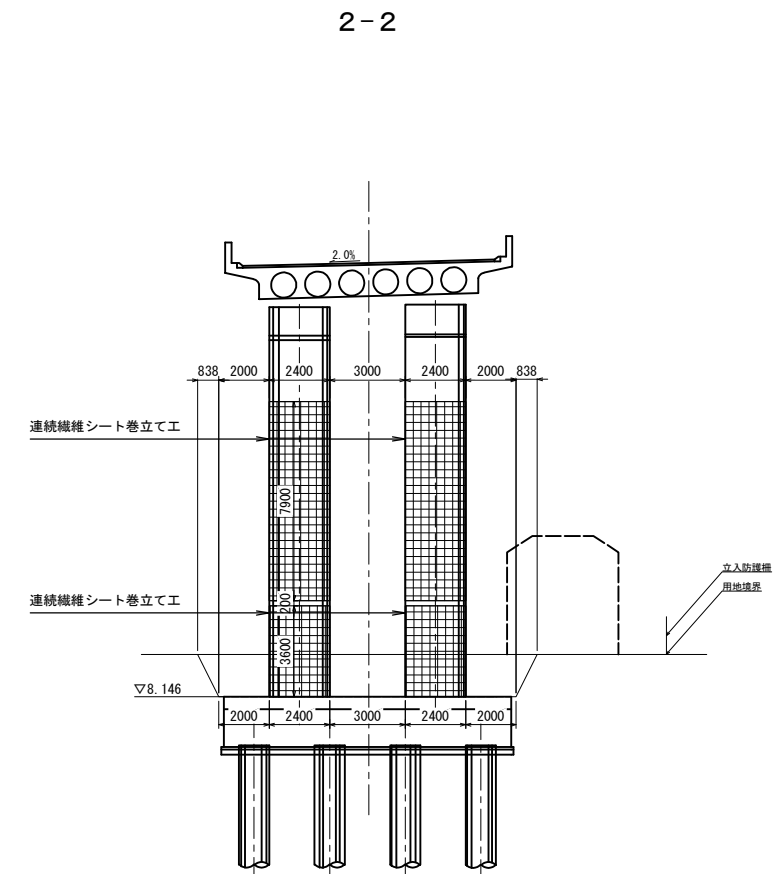
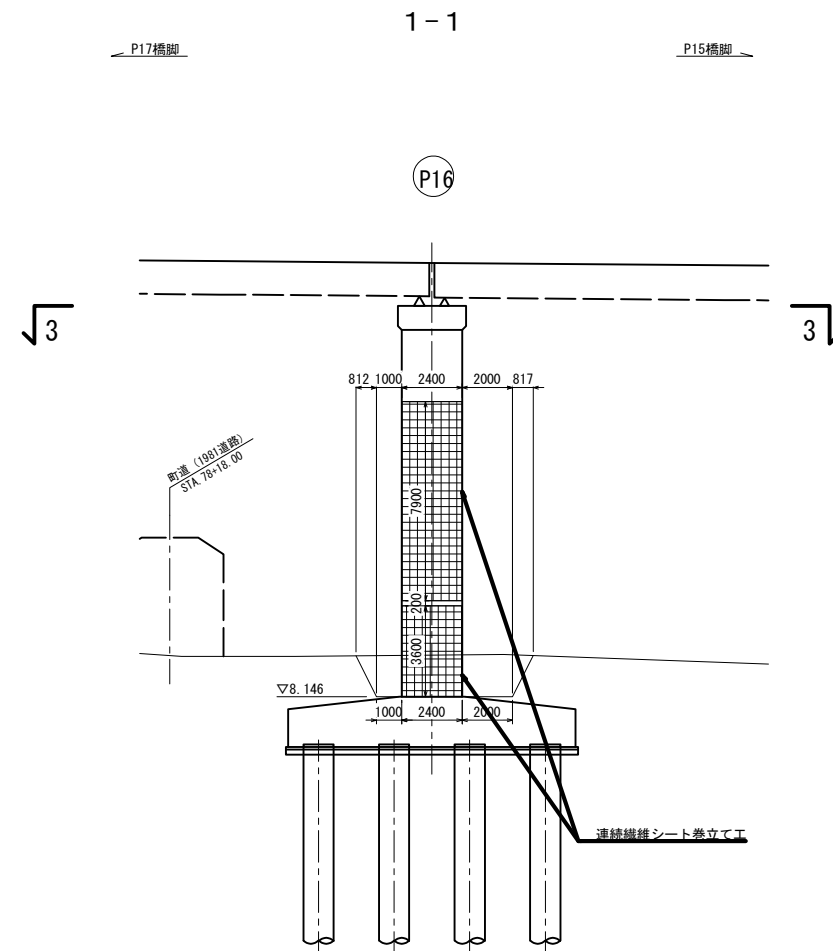


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P15橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P16橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

136 / 179

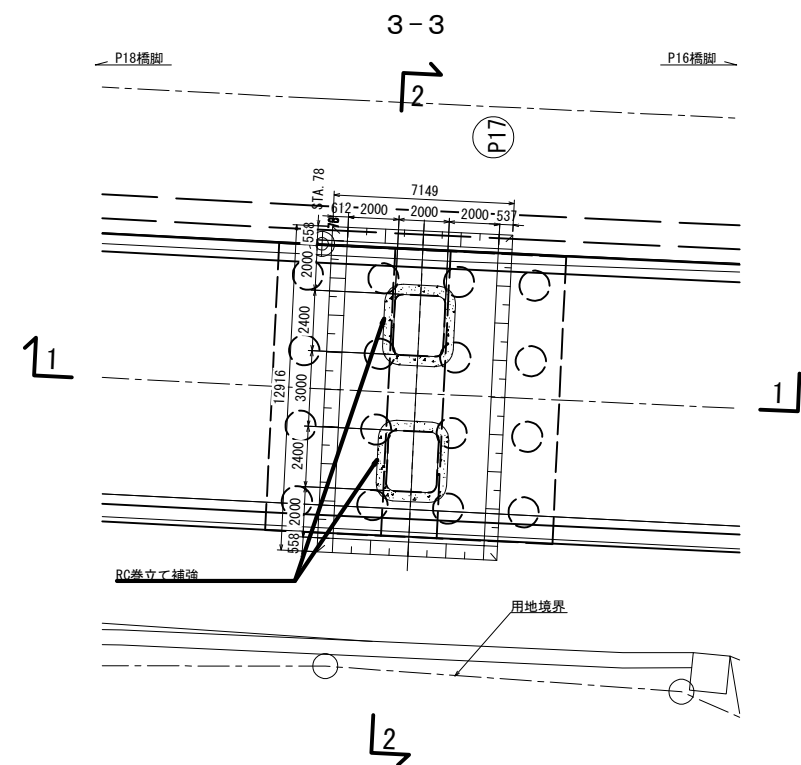
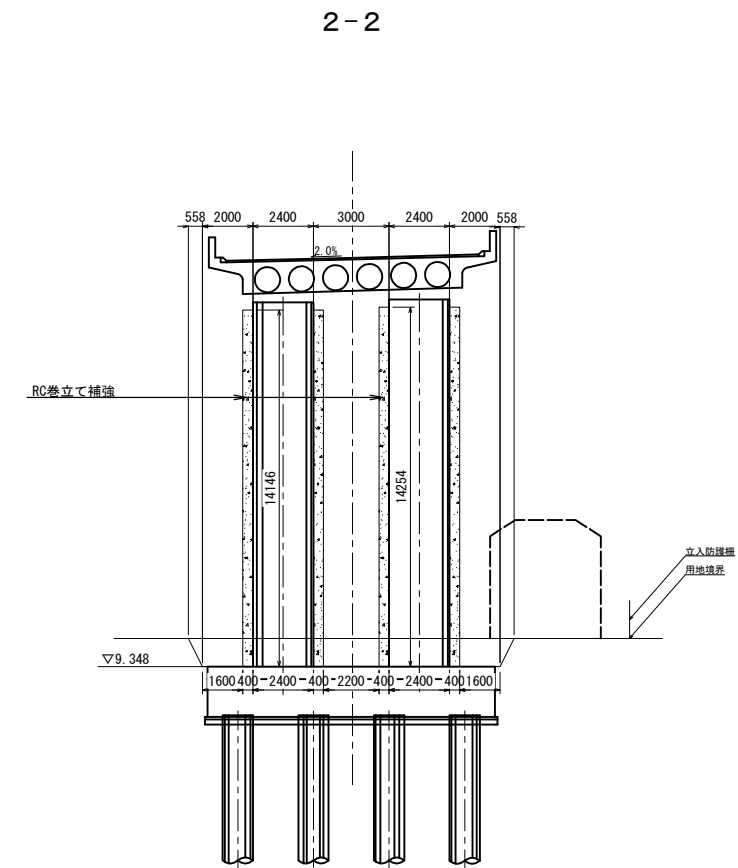
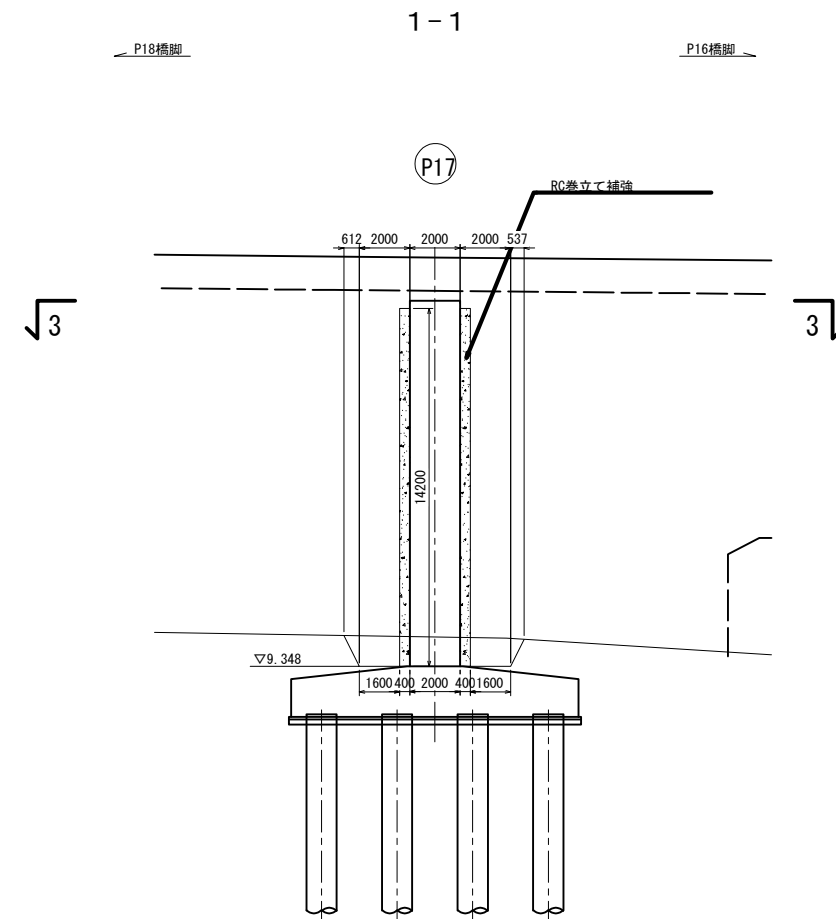


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P16橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P17橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

137 / 179

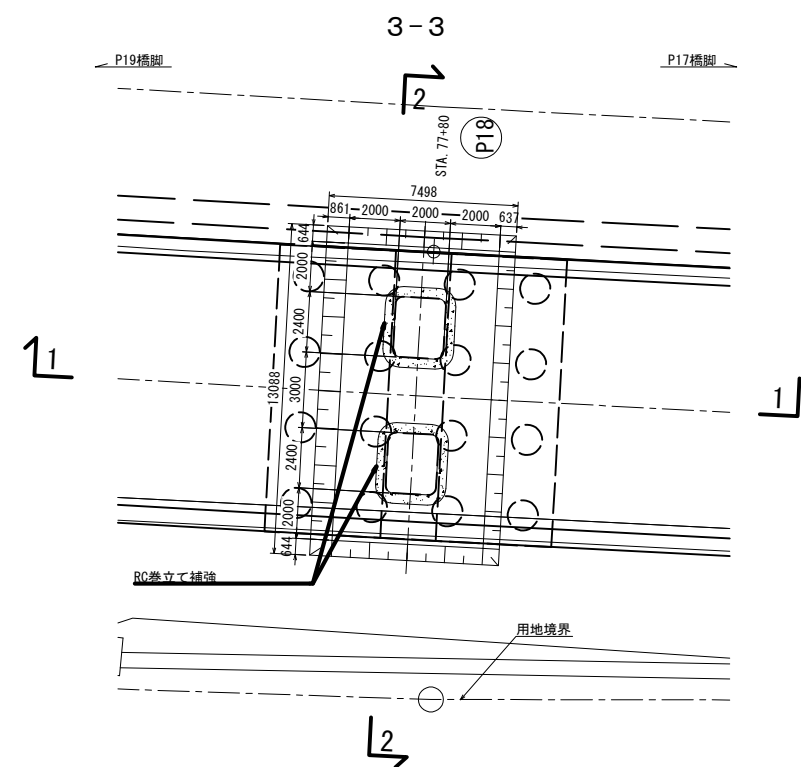
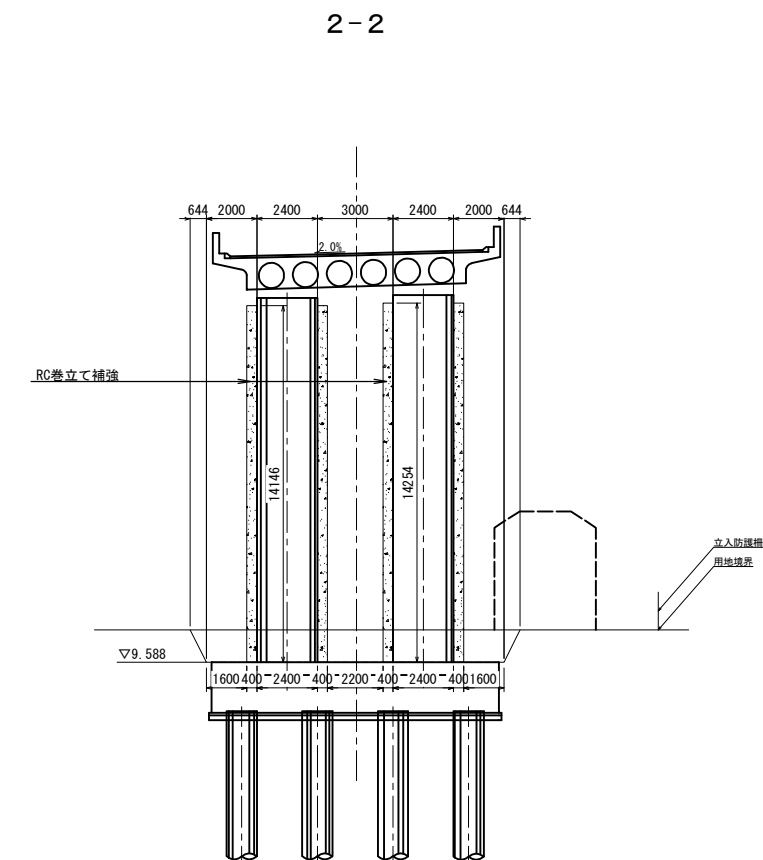
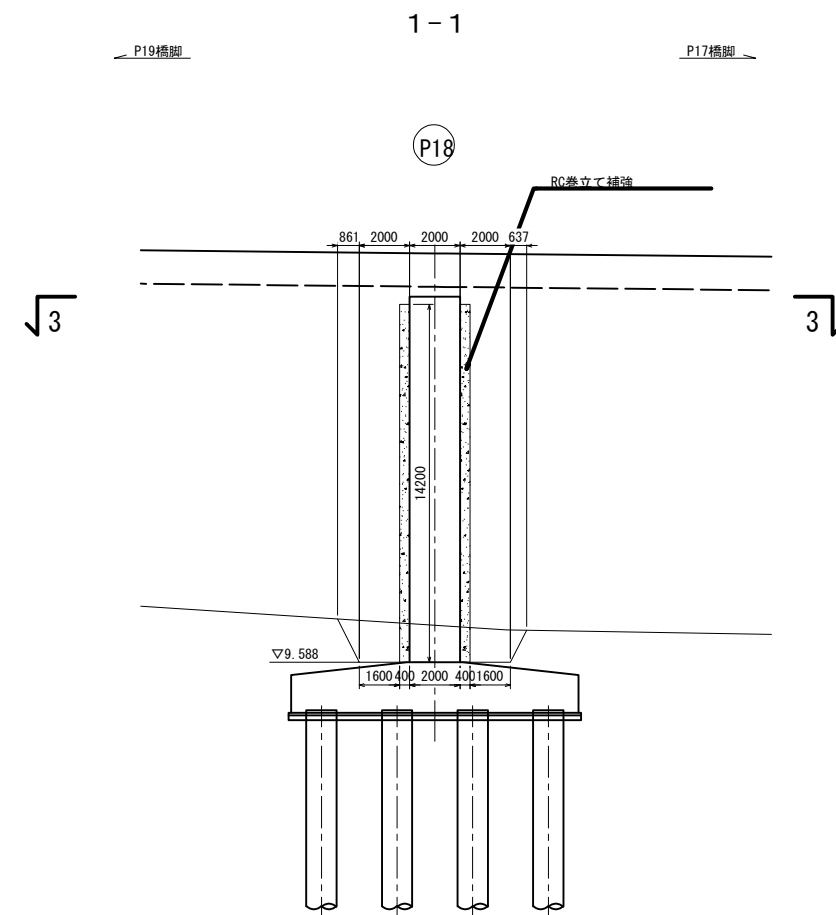


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P17橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P18橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

138 / 179

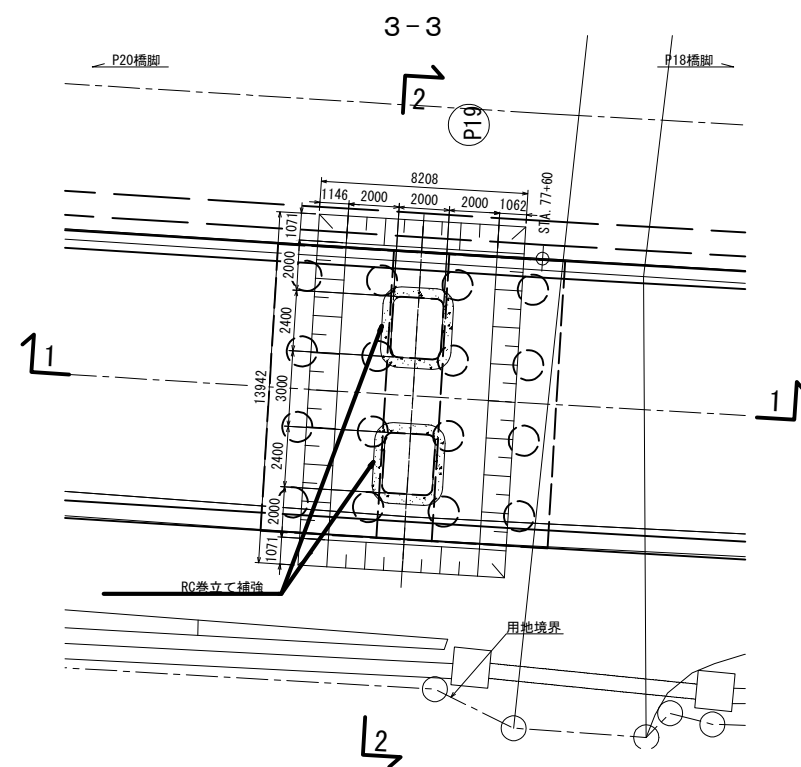
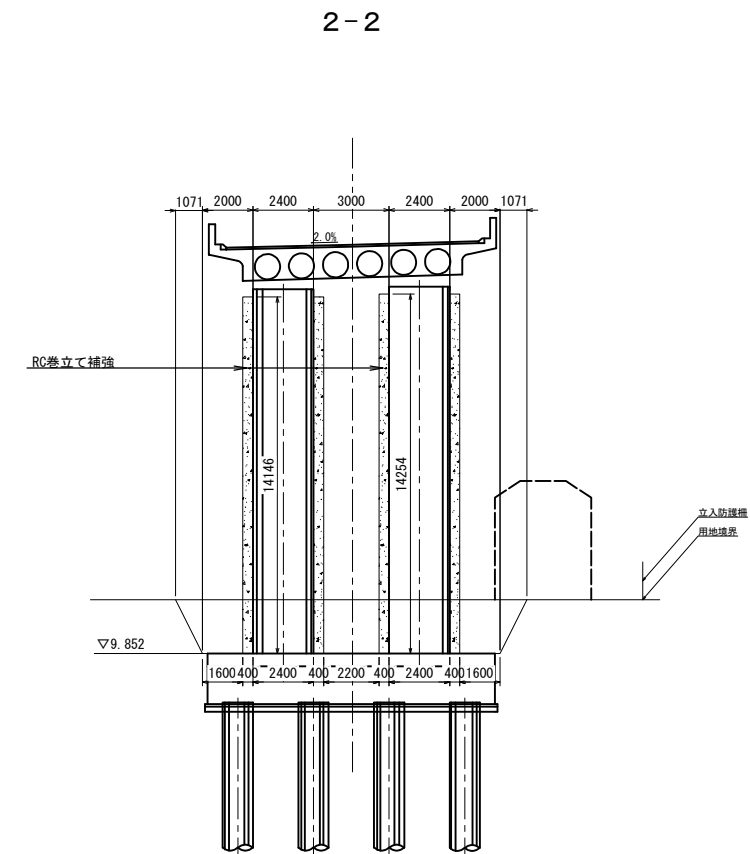
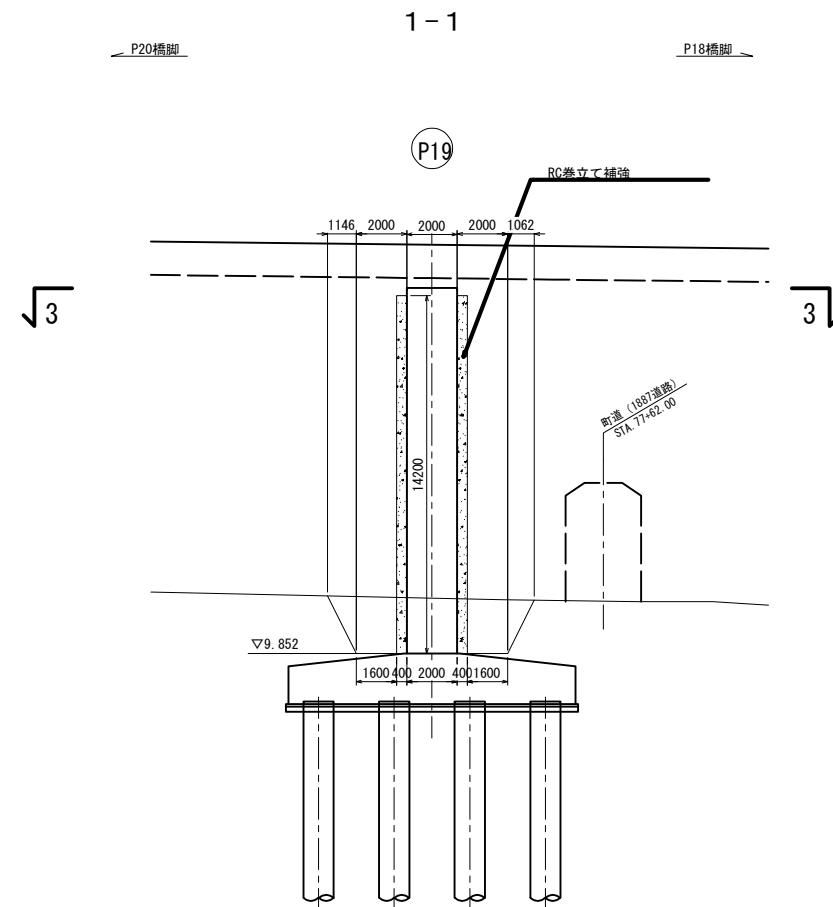


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P18橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P19橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

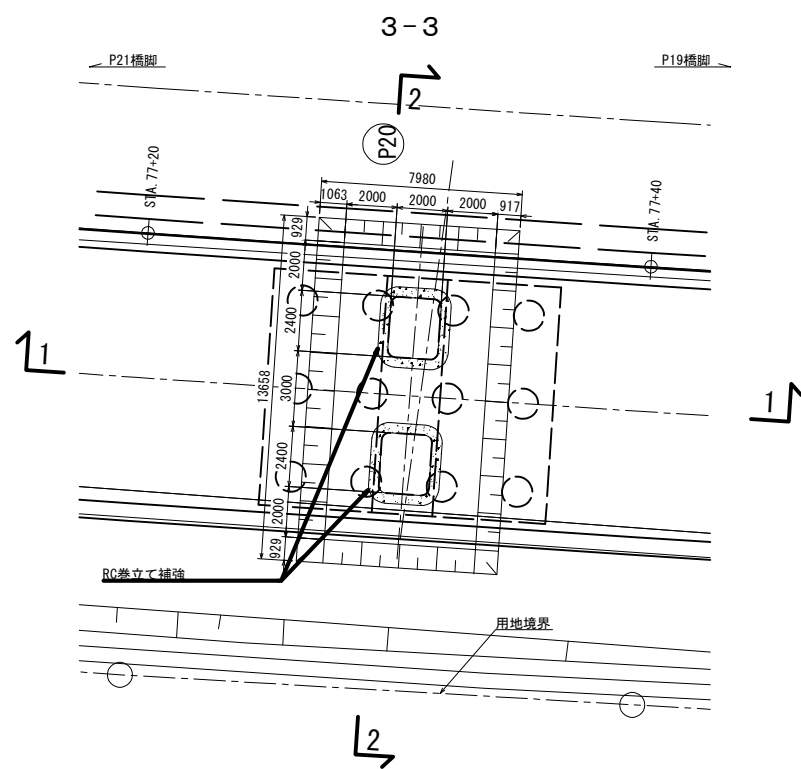
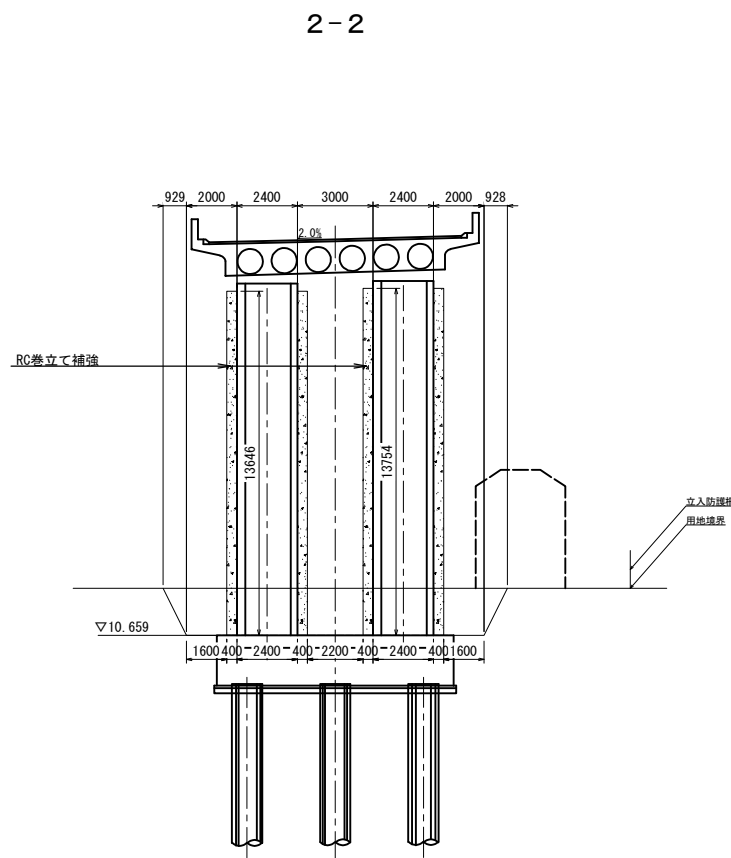
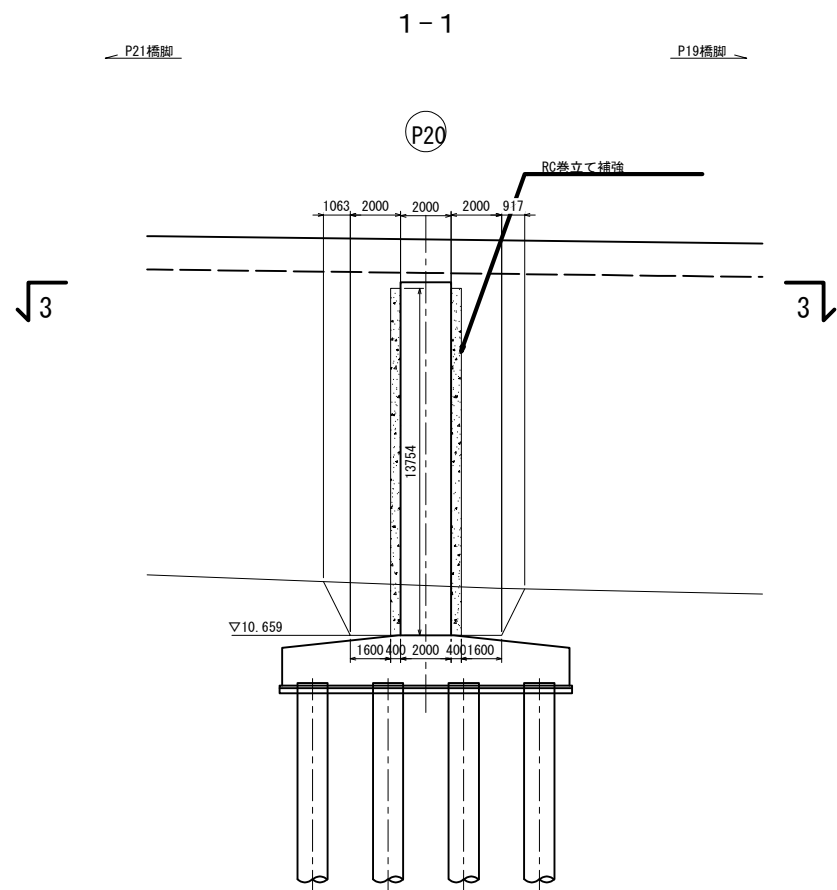
139 / 179



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P19橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P20橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

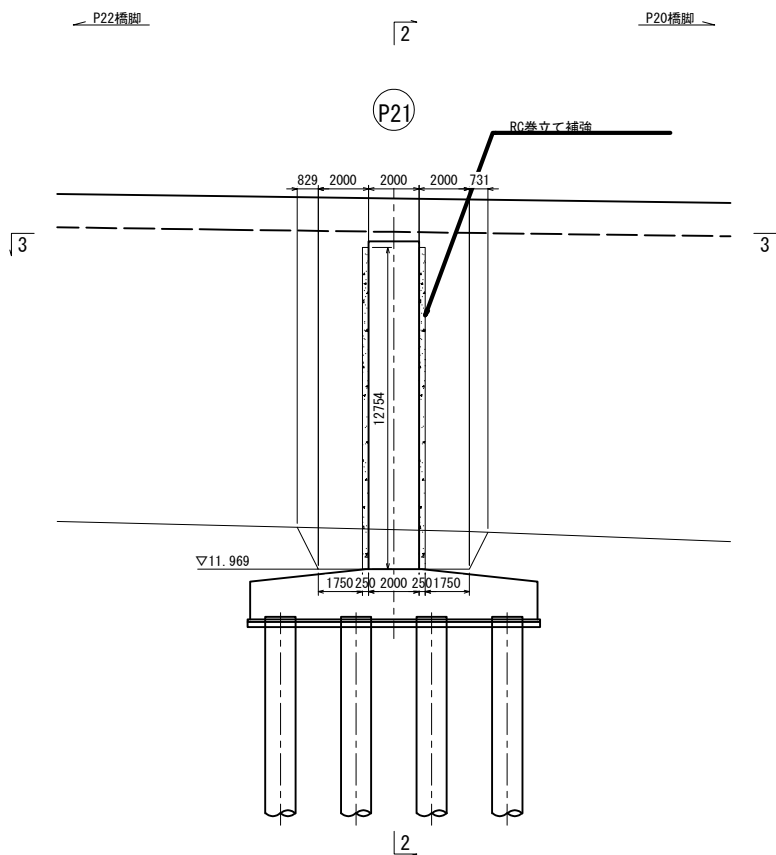


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P20橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

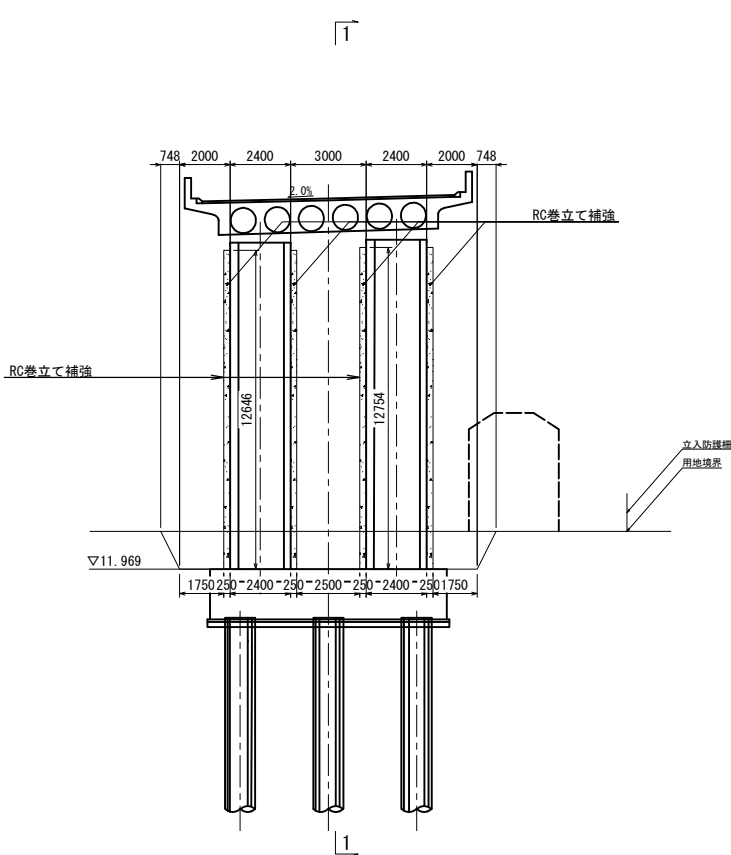
本郷矢部高架橋 P21橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300

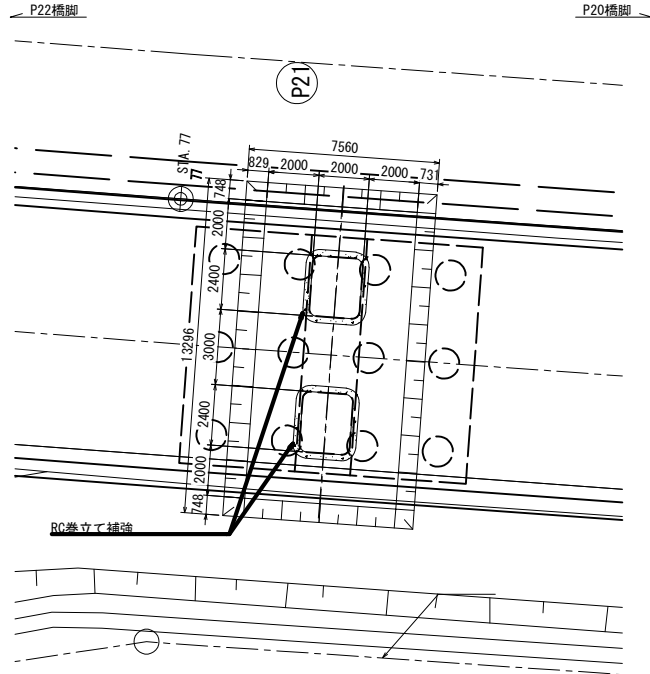
側面図
1-1



正面図
2-2



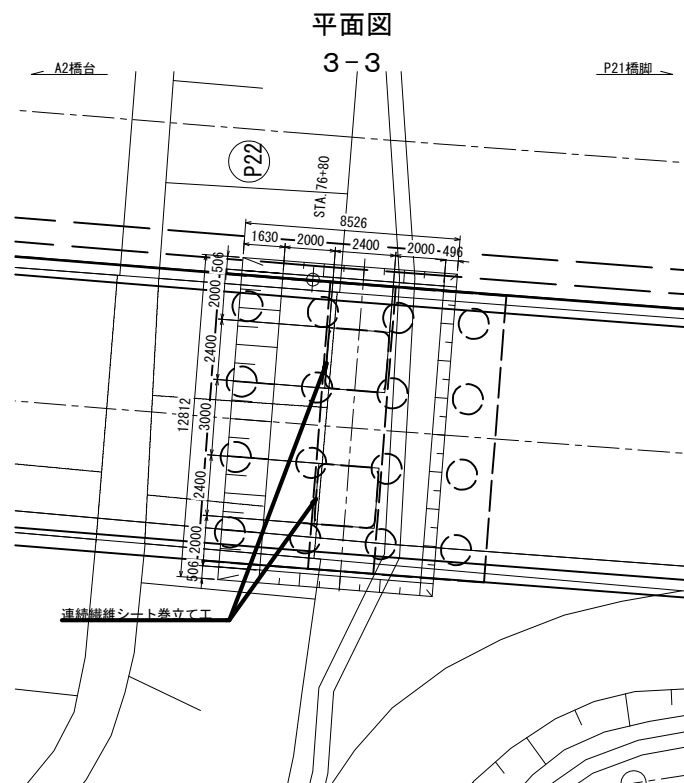
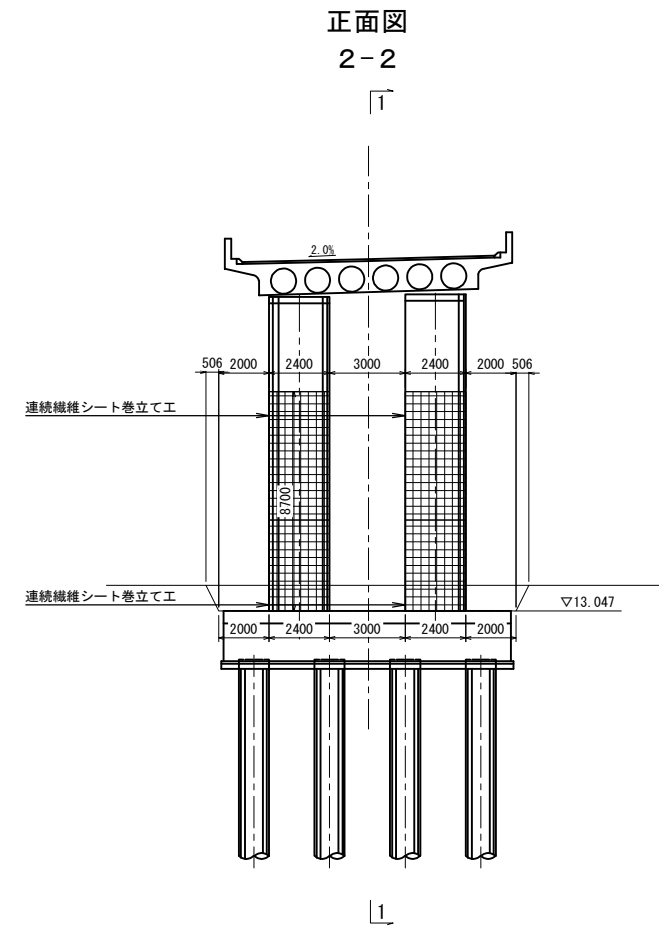
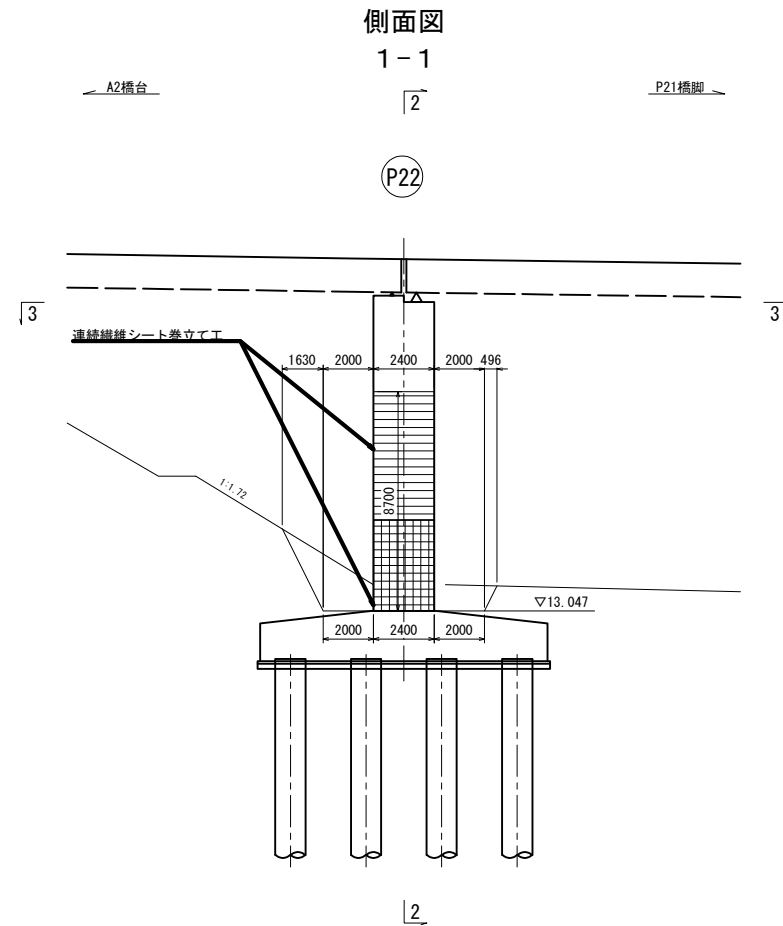
平面図
3-3



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P21橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

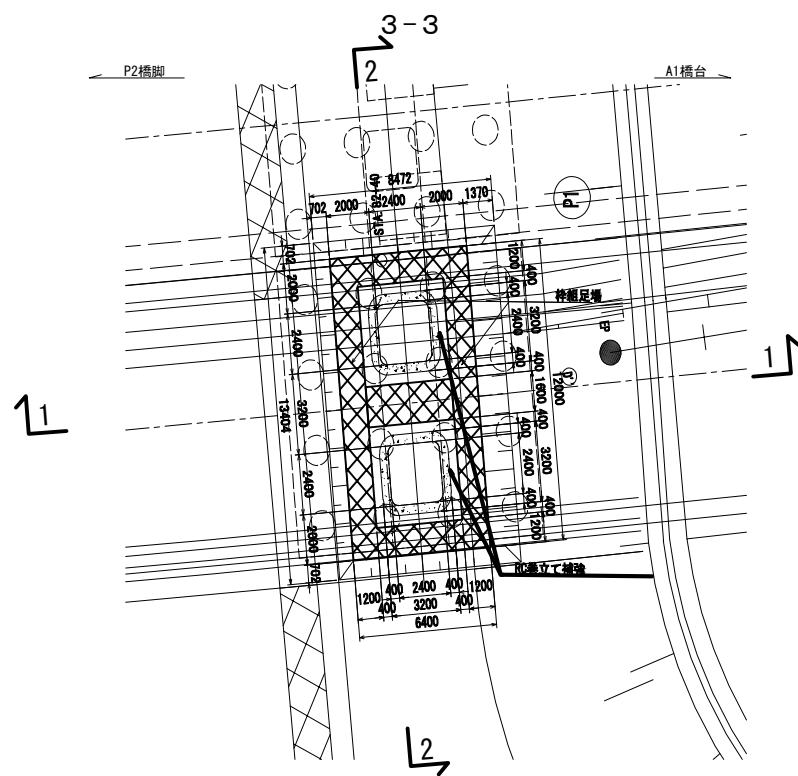
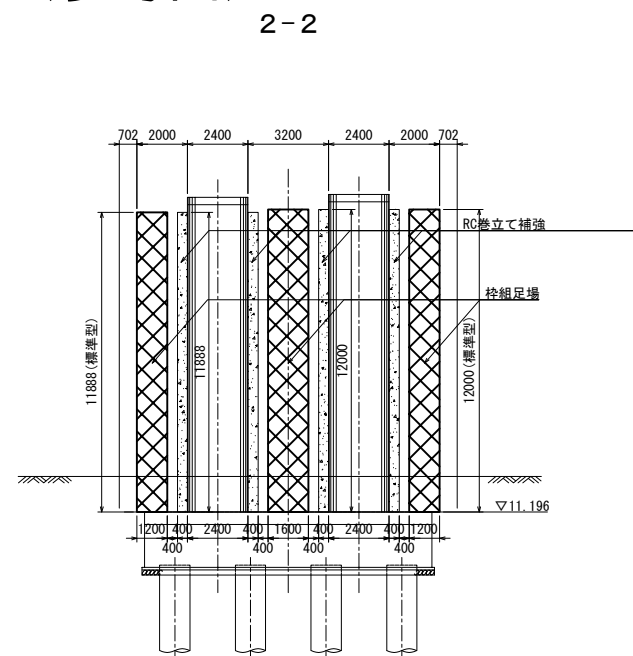
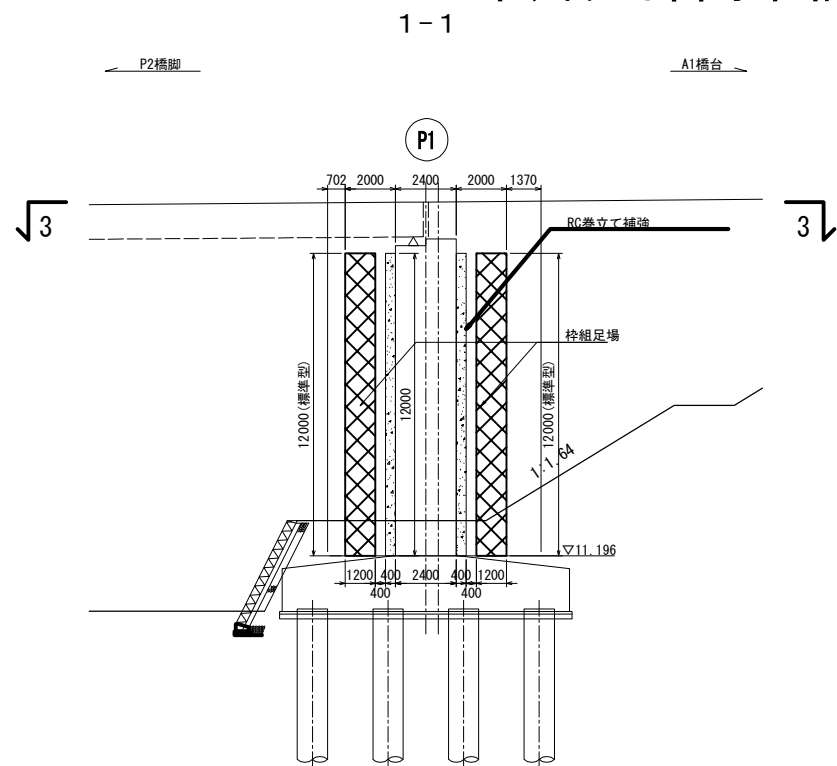
本郷矢部高架橋 P22橋脚 構造物掘削図

S=1 : 300



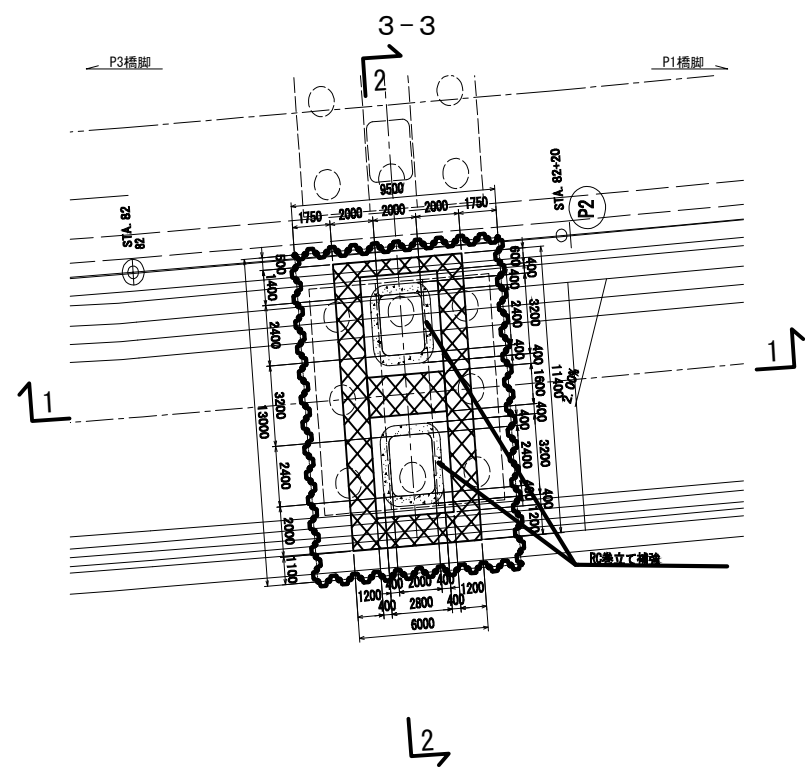
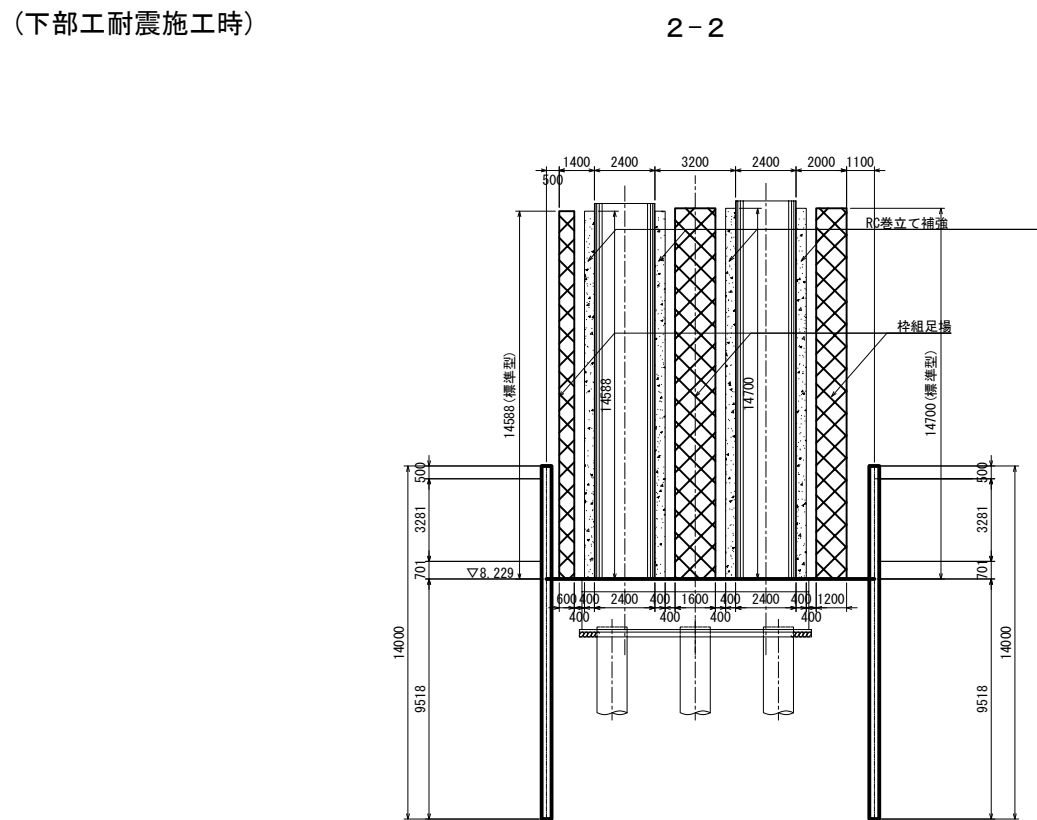
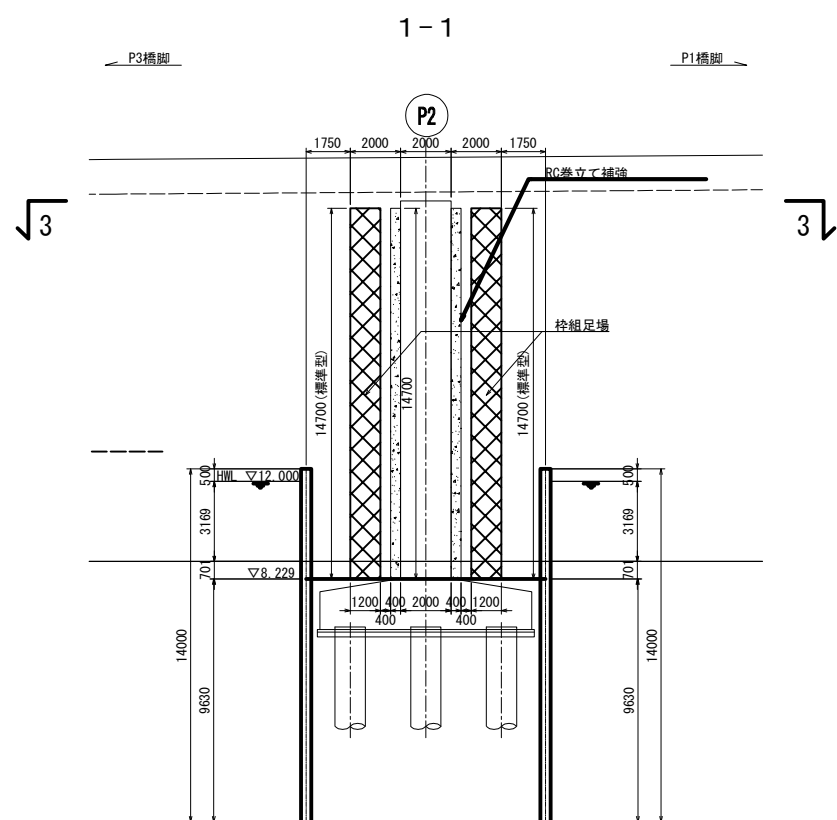
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P22橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P1橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300



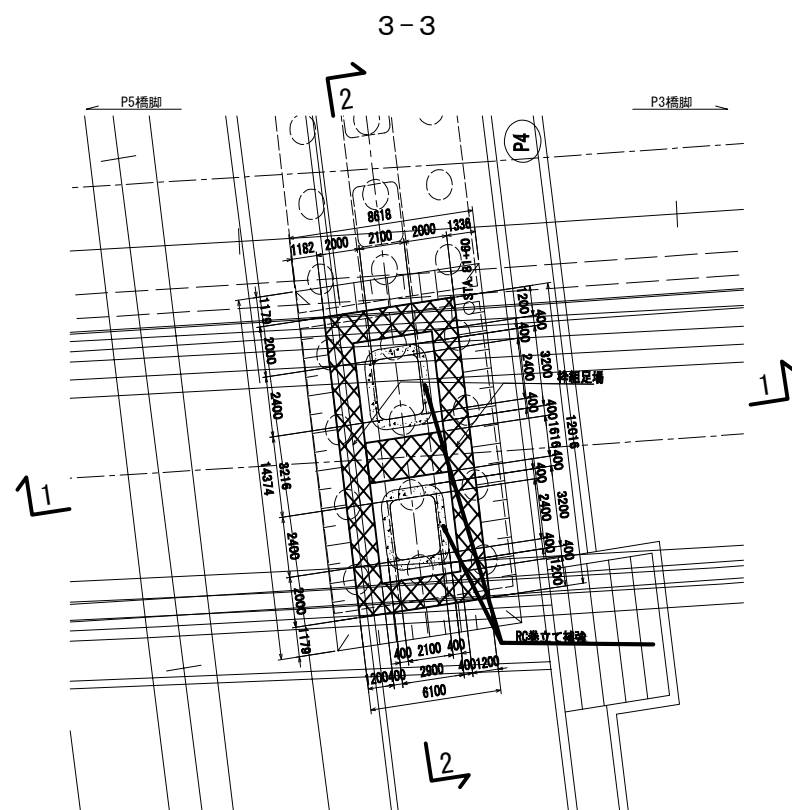
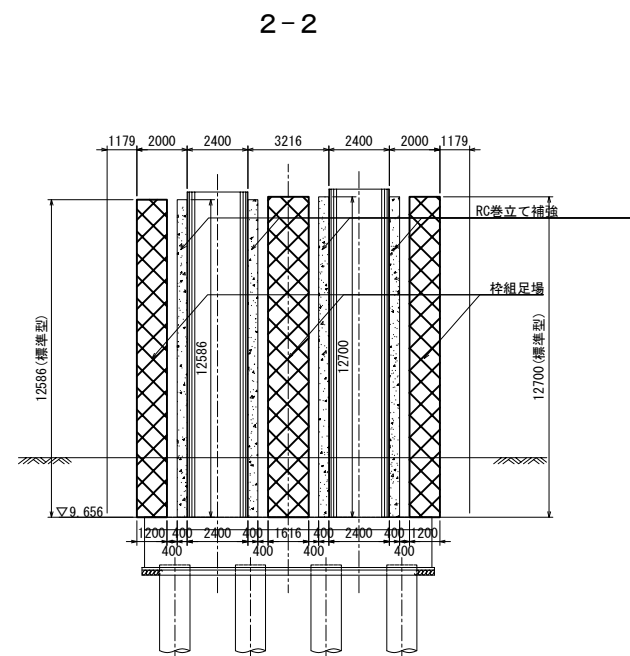
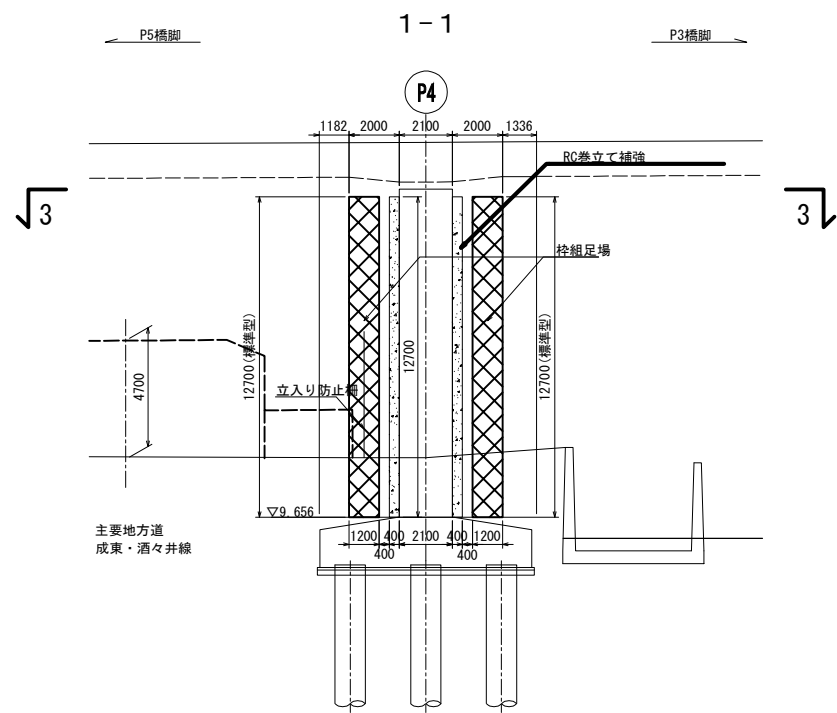
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P1橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P2橋脚 足場工図（参考図） S=1：300



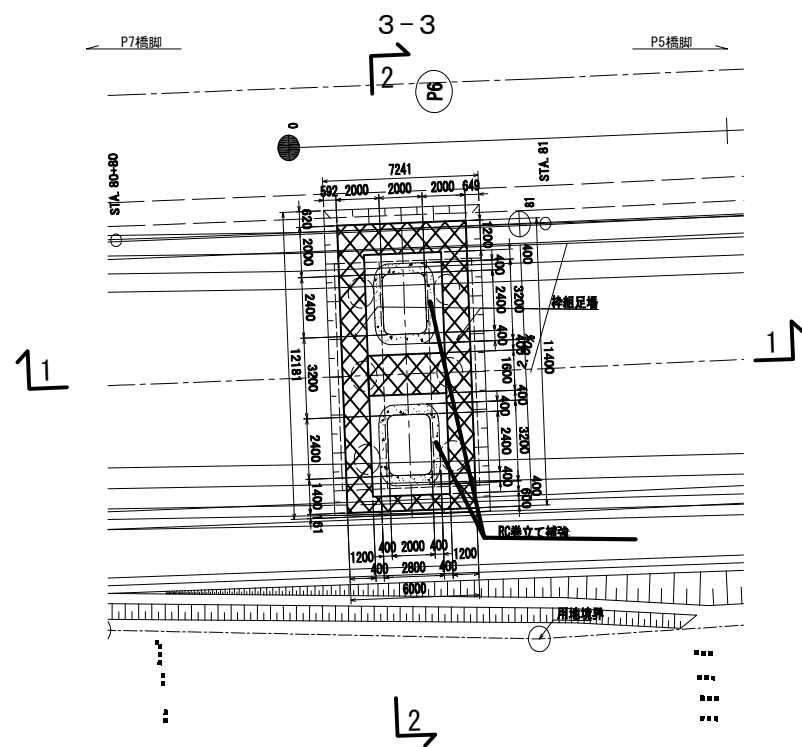
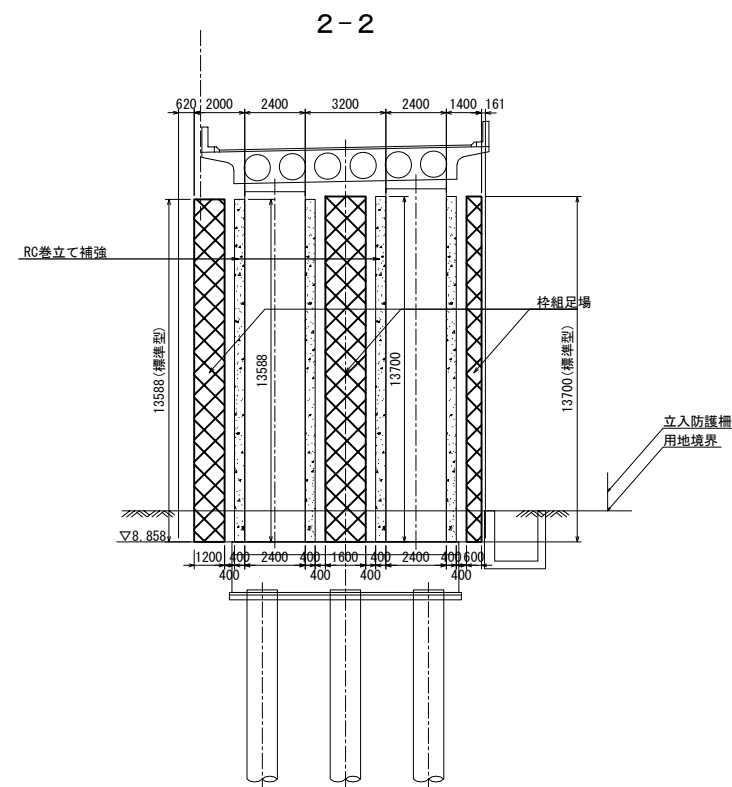
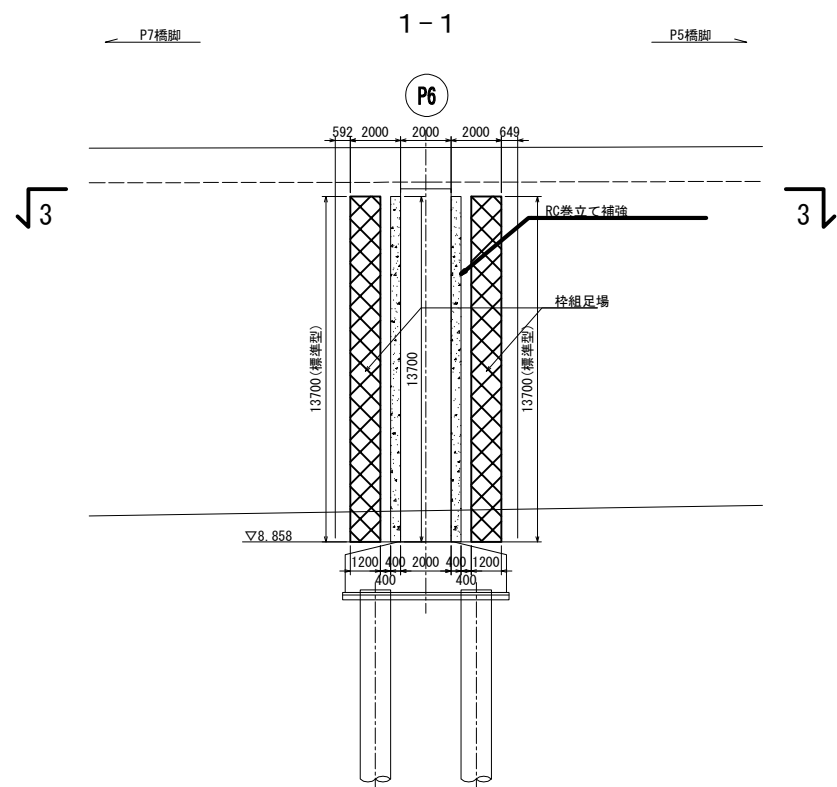
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P2橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P4橋脚 足場工図（参考図） S=1：300



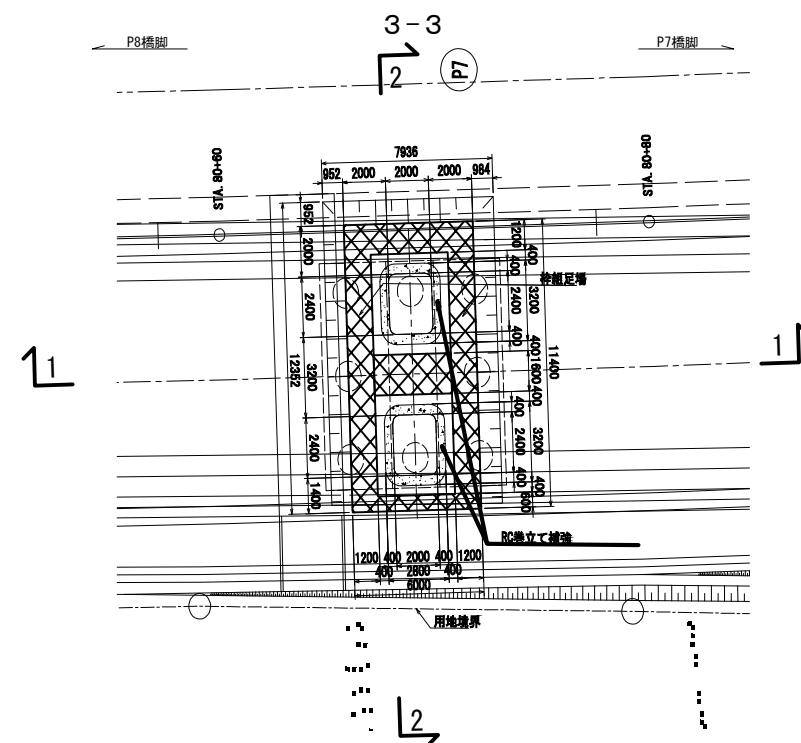
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P4橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P6橋脚 足場工図（参考図） S=1：300
（下部工耐震施工時）



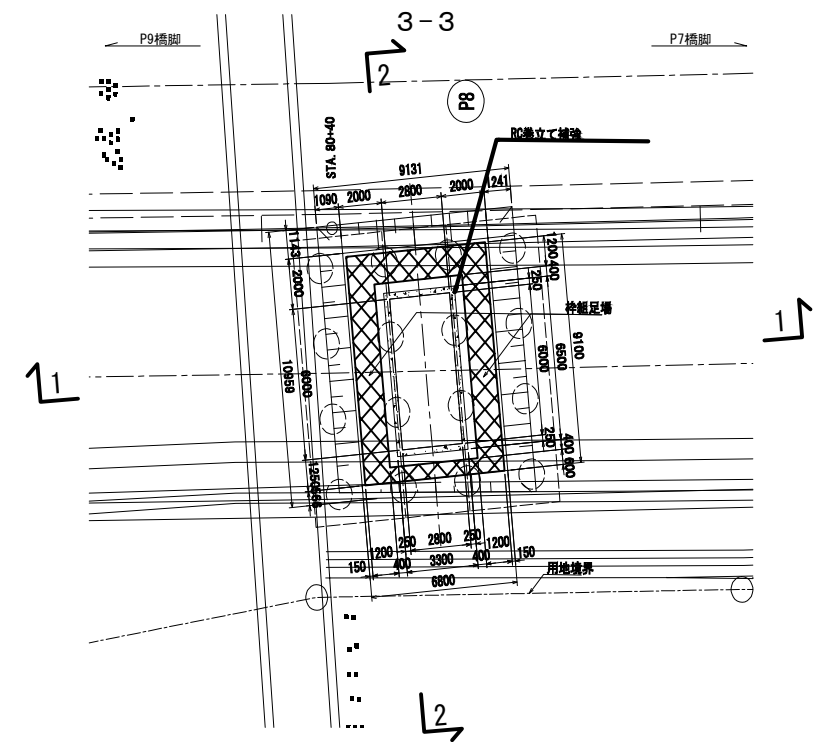
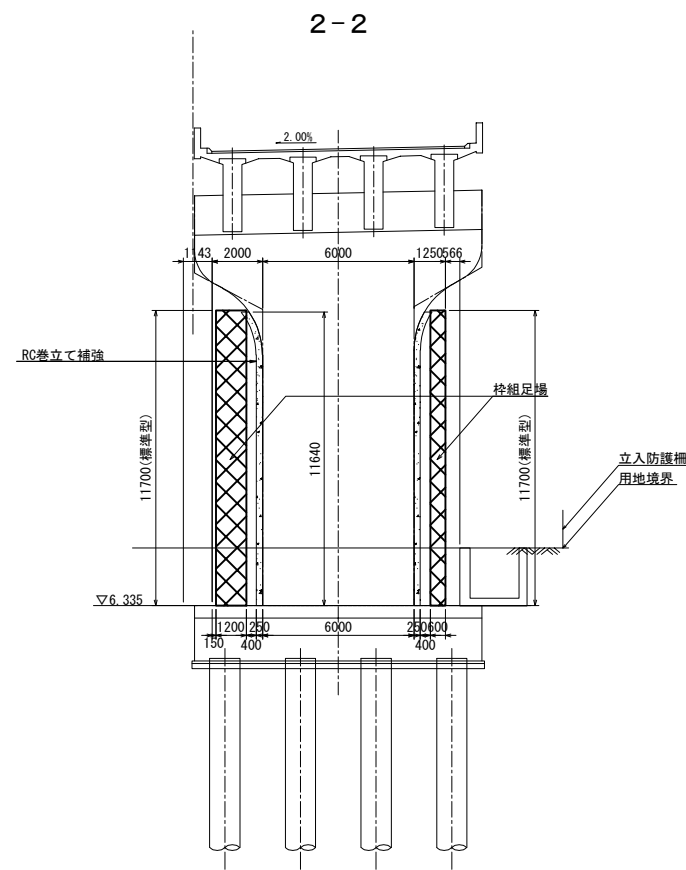
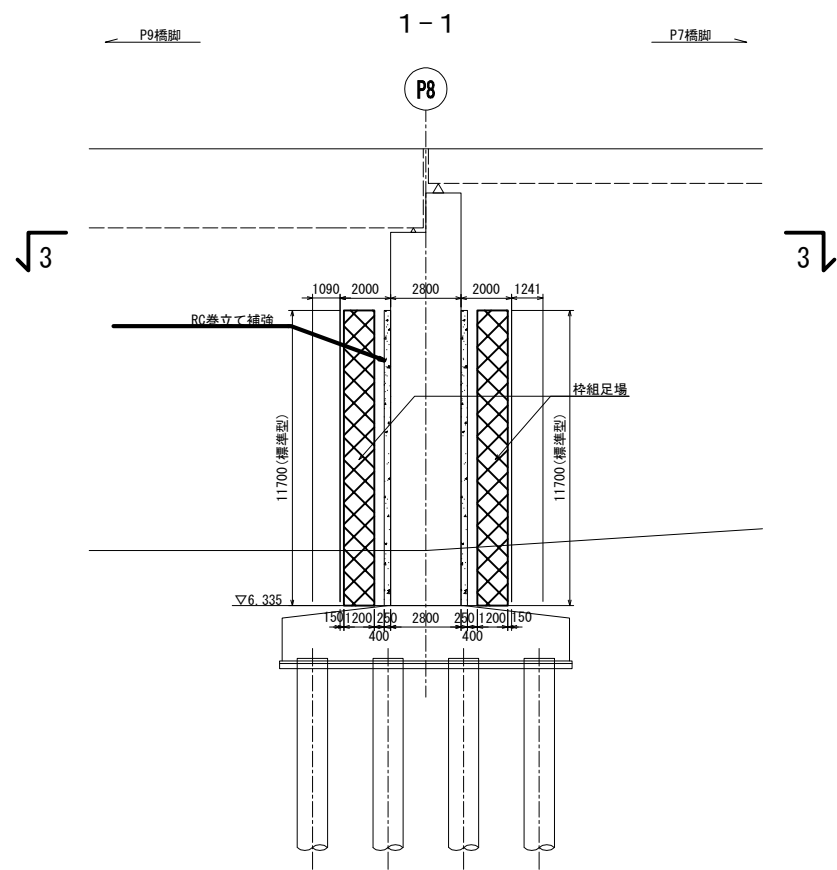
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P6橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

(下部工耐震施工時)



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類	本郷支脚高架橋 P7橋脚 足場工区（参考図）			
縮 尺	図示	図面番号	／	
設計会社名	日本工営株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所			

本郷矢部高架橋 P8橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300
(下部工耐震施工時)

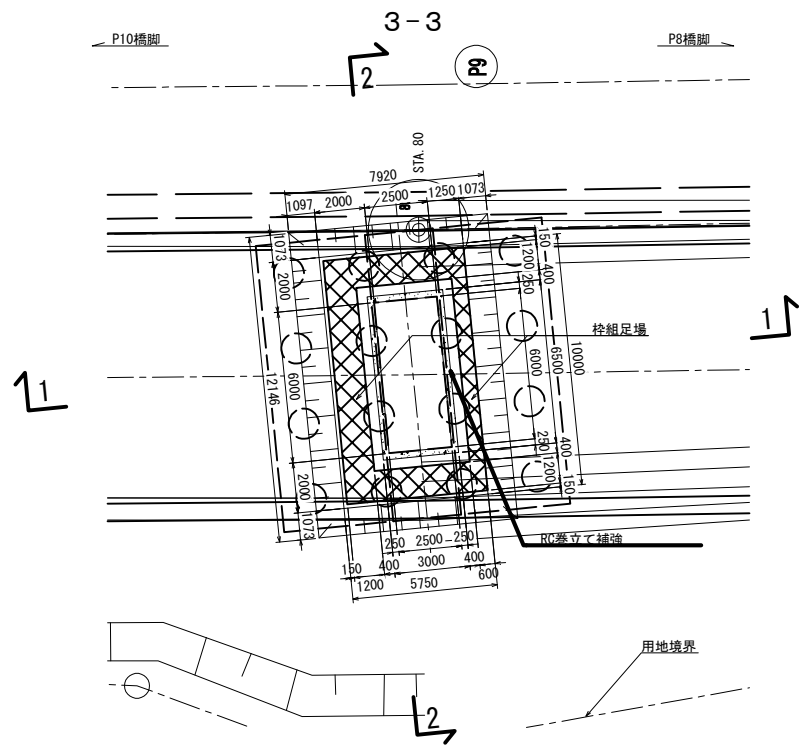
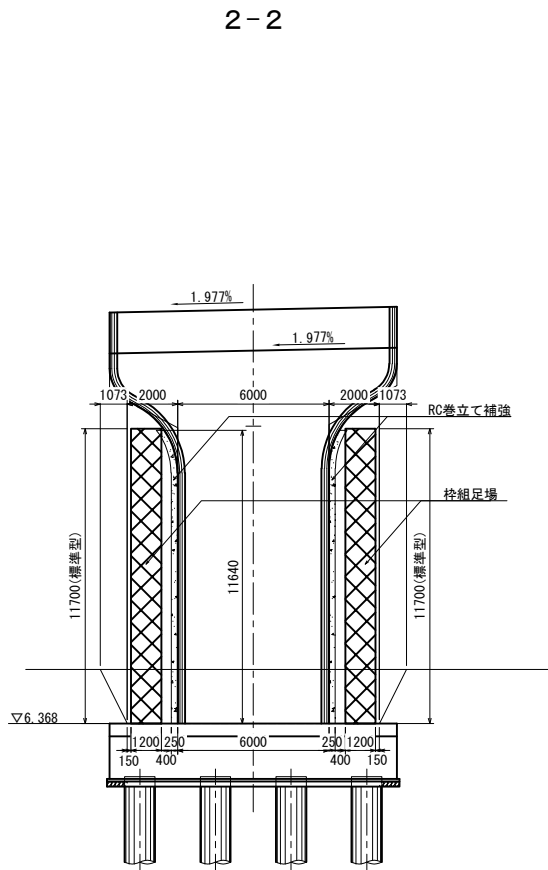
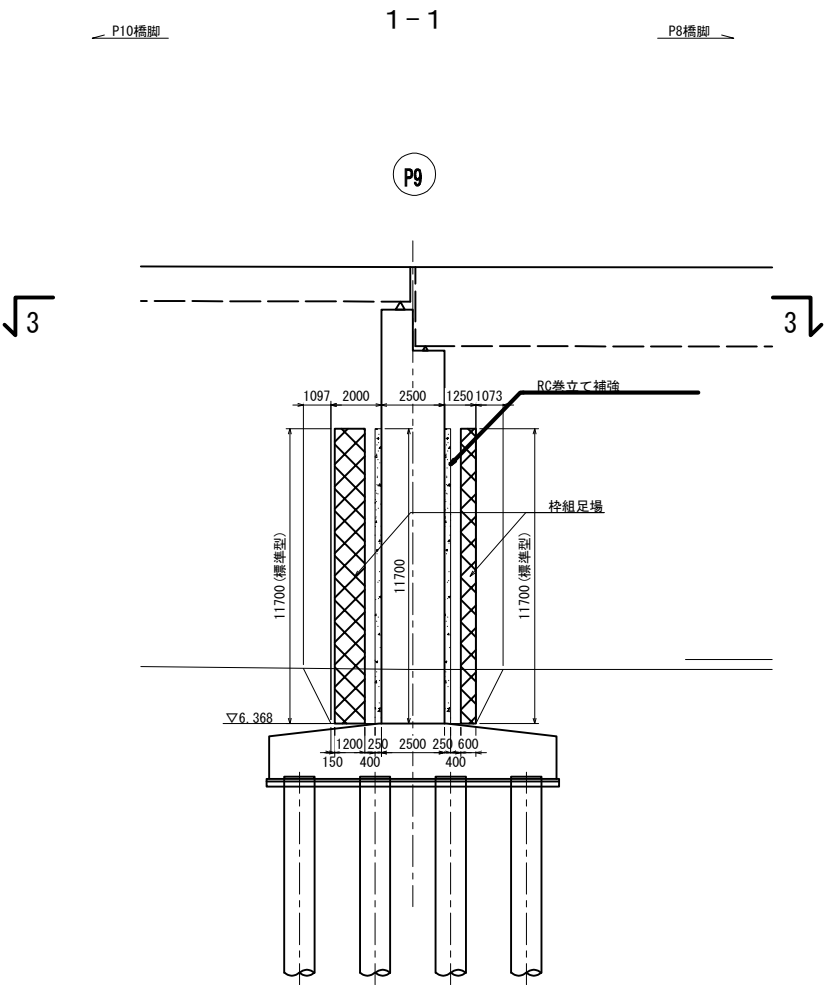


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P8橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P9橋脚 足場工図（参考図）

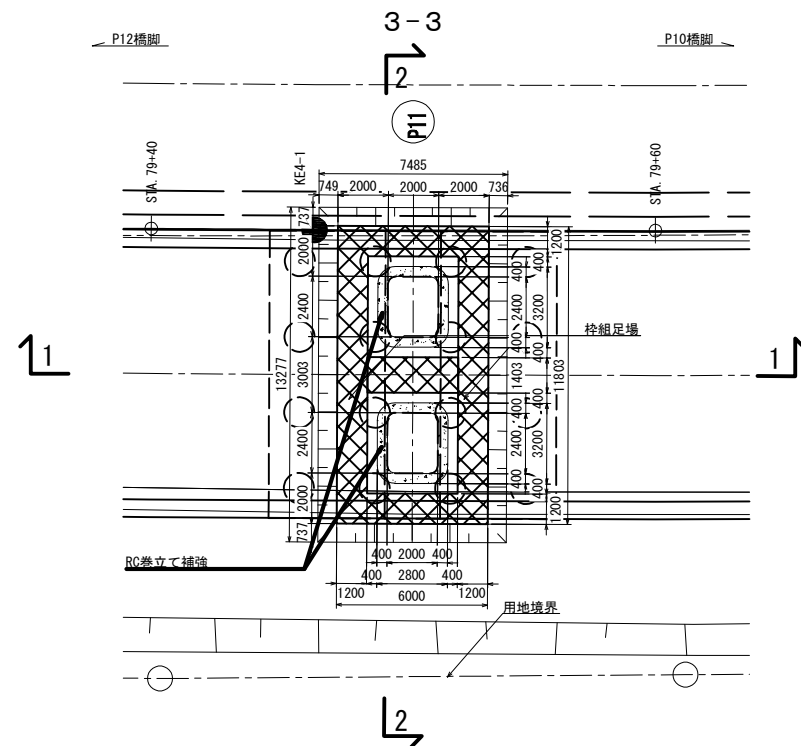
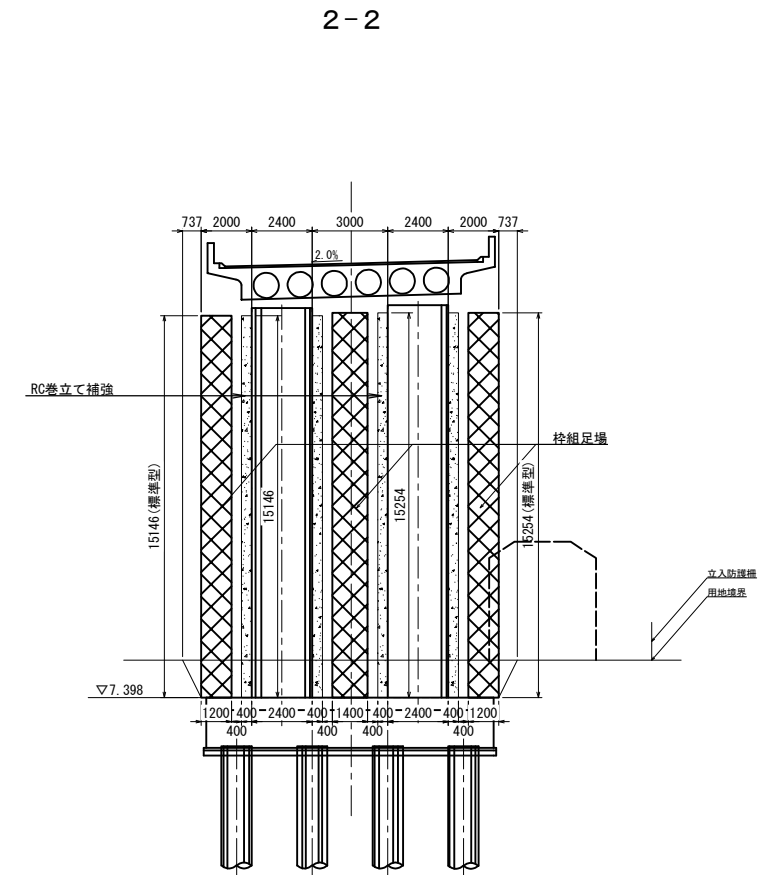
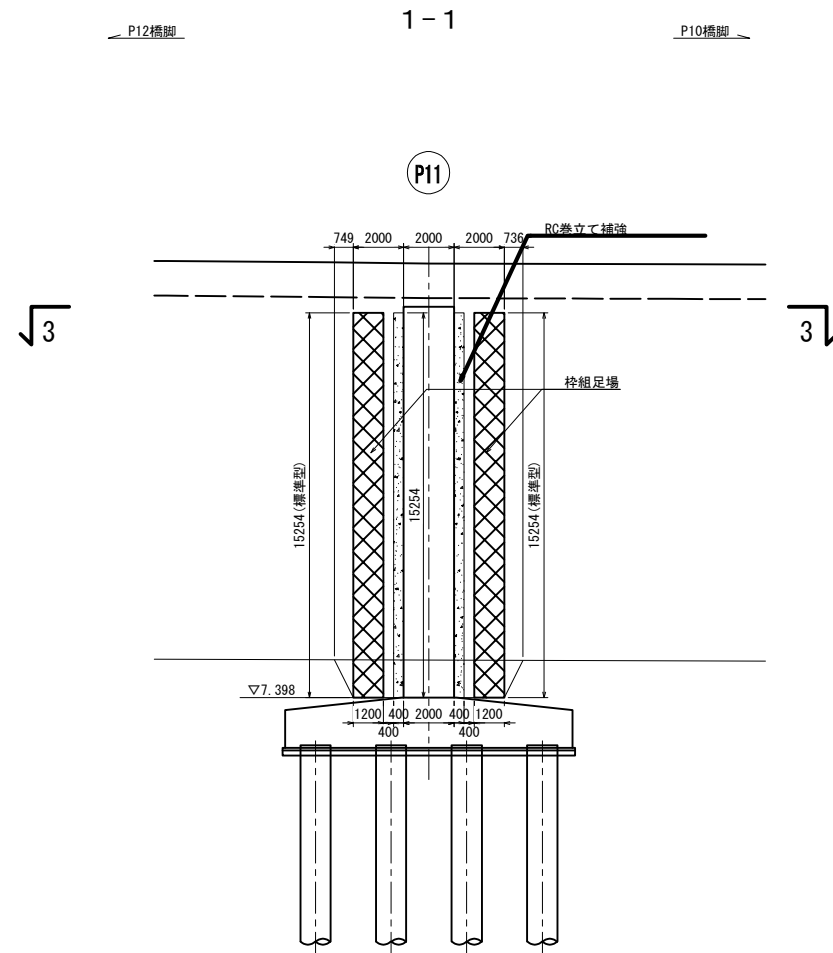
S=1 : 300

(下部工耐震施工時)

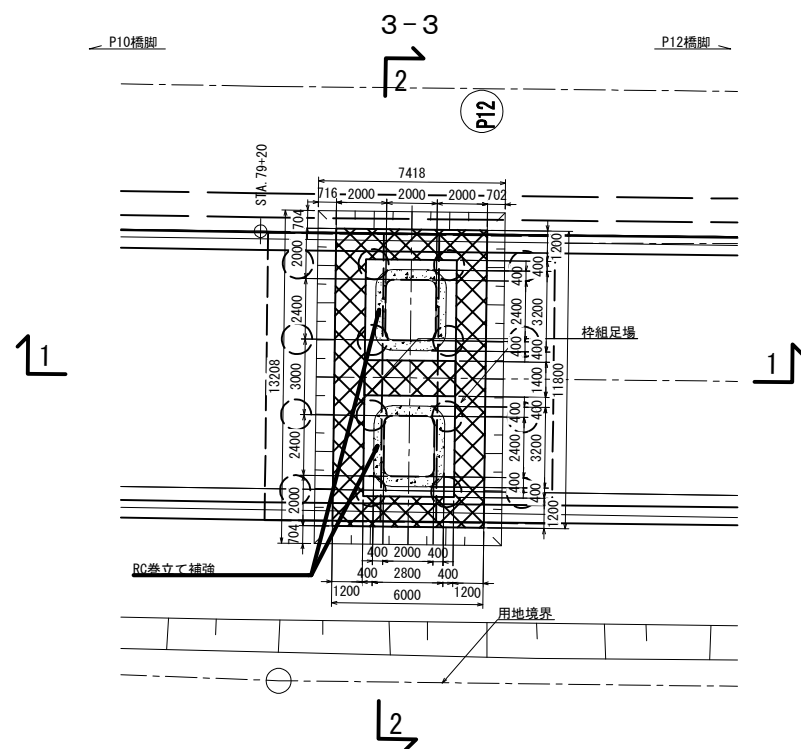
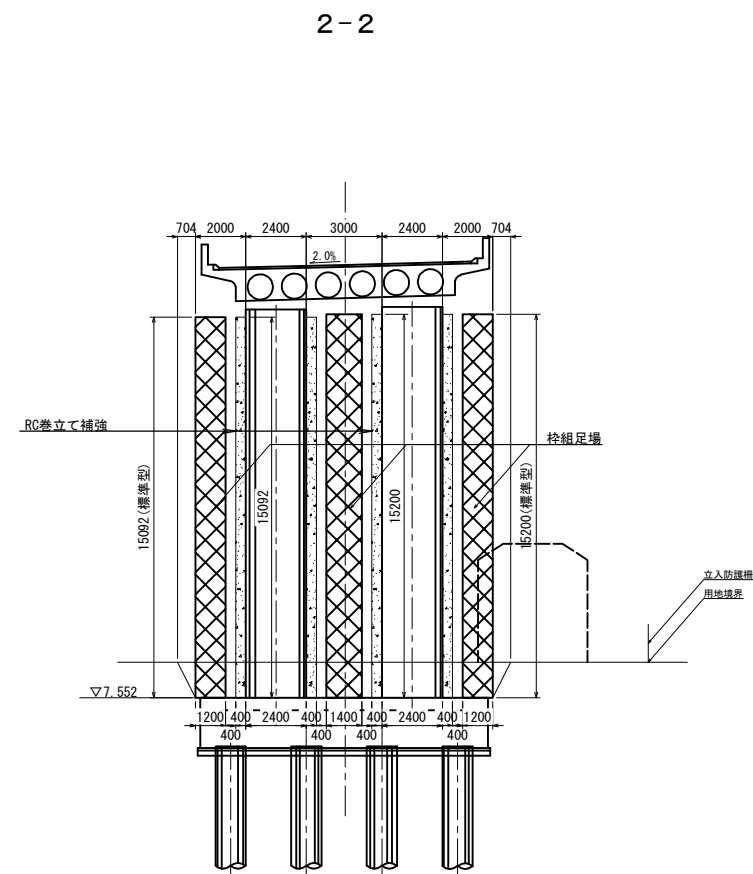
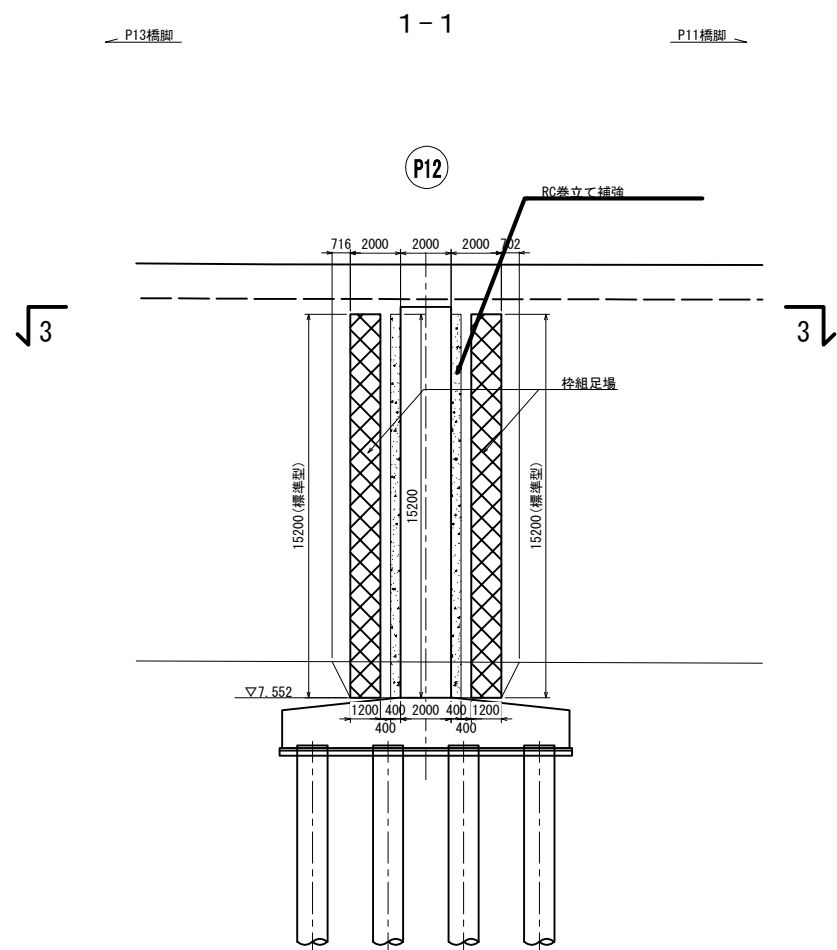


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

(下部工耐震施工時)

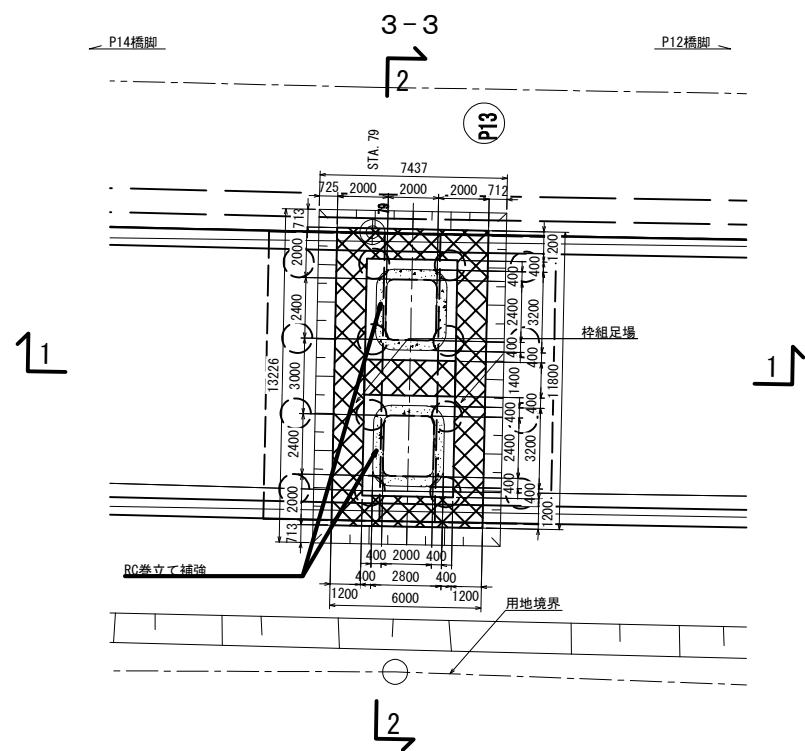
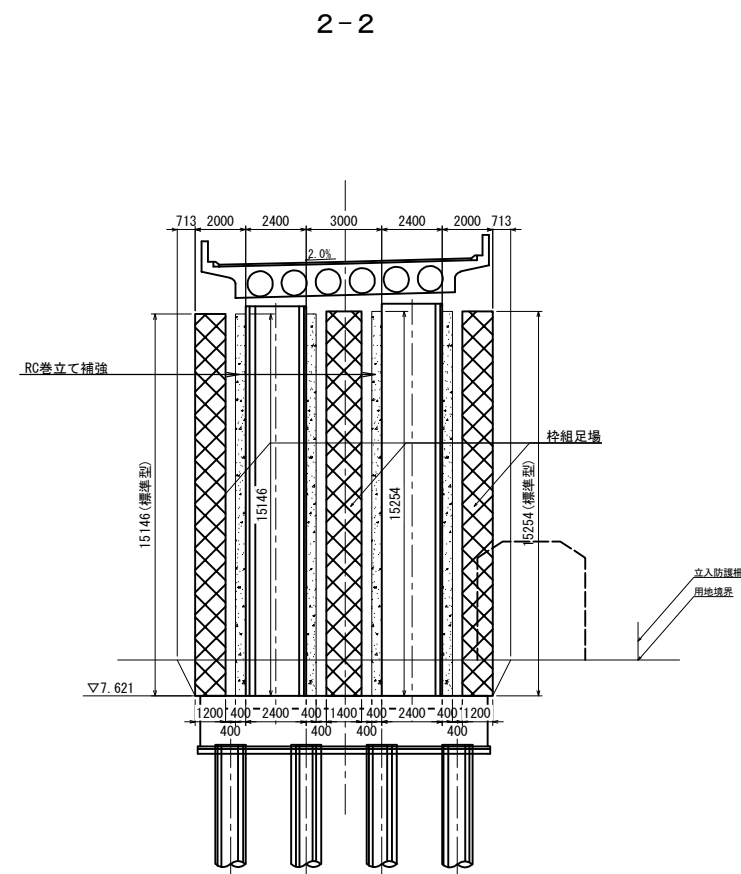
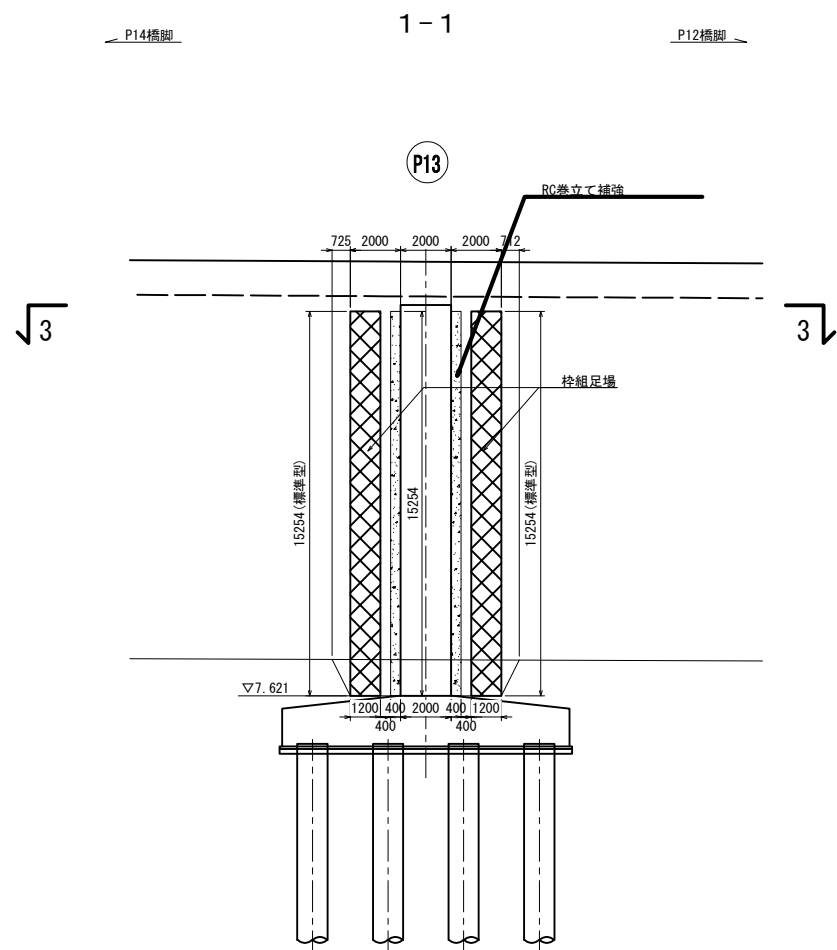


本郷矢部高架橋 P12橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300
(下部工耐震施工時)



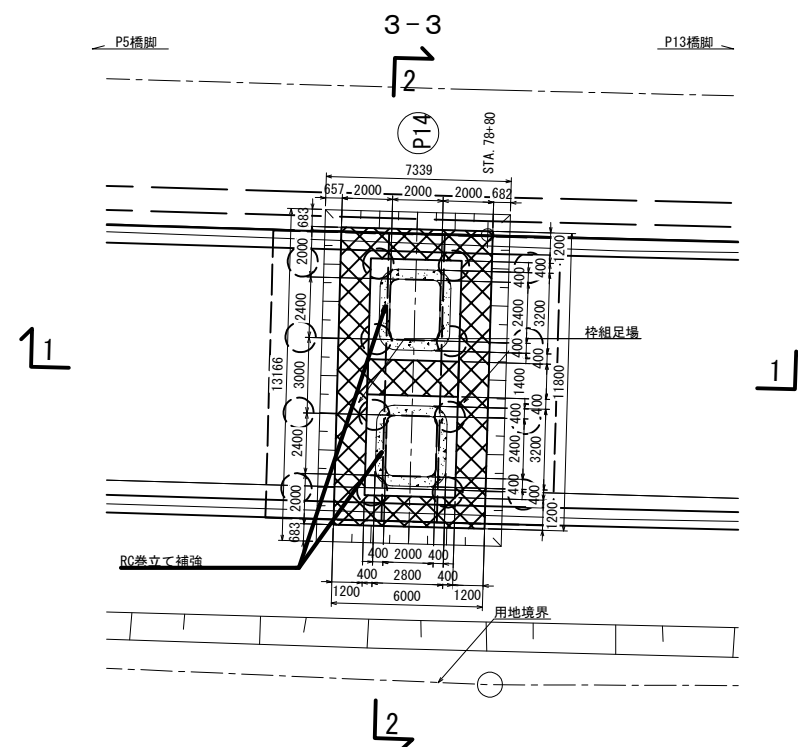
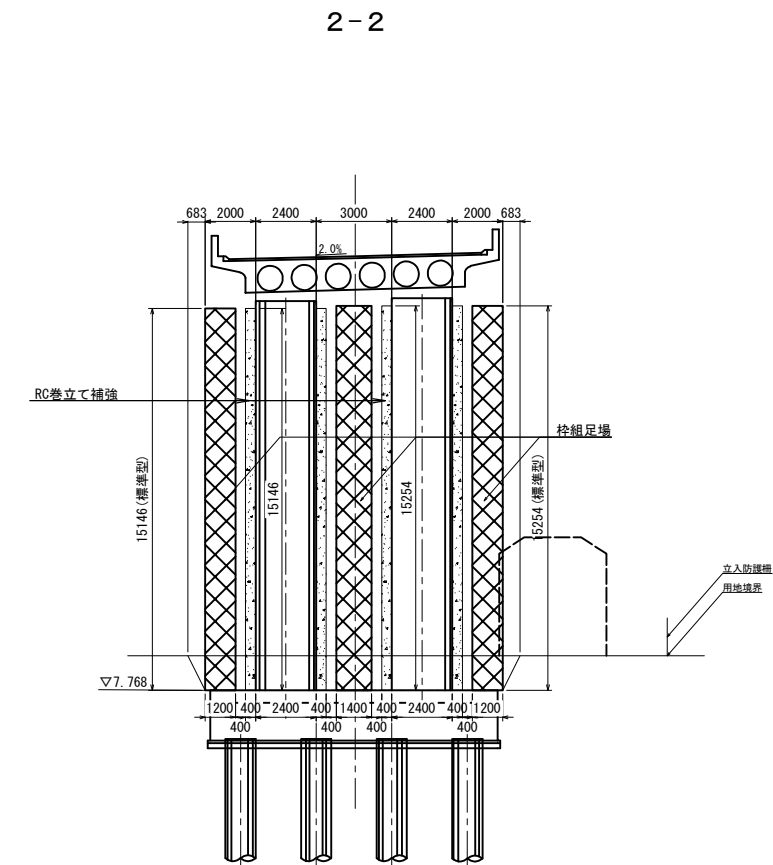
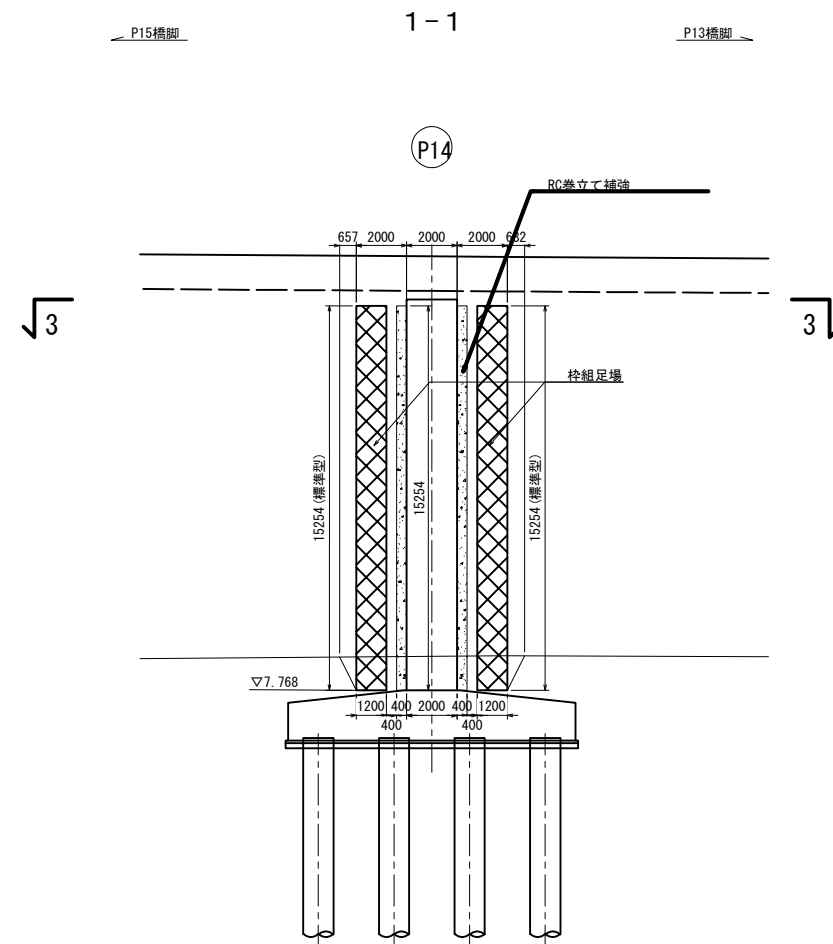
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P12橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P13橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300
(下部工耐震施工時)



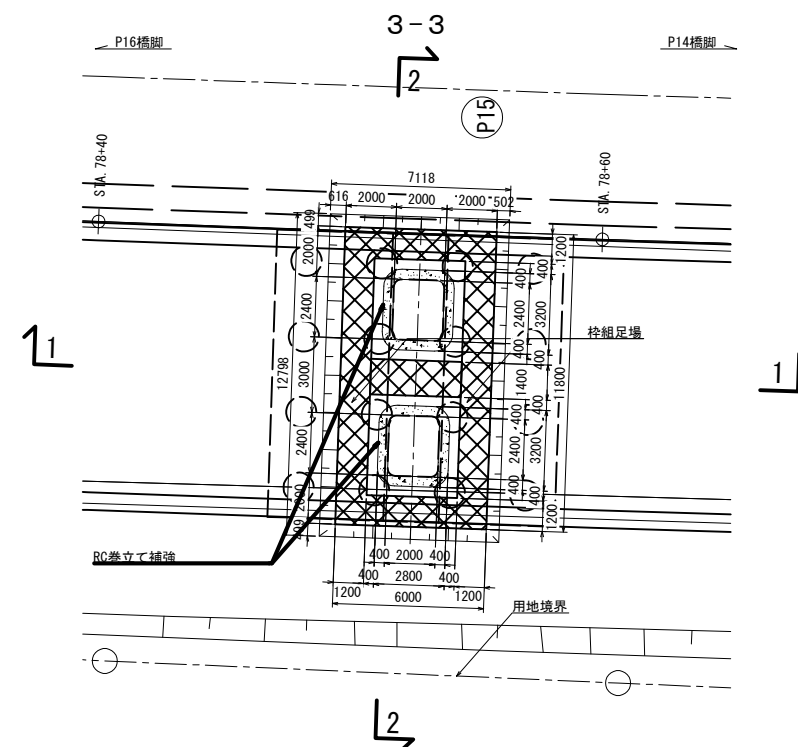
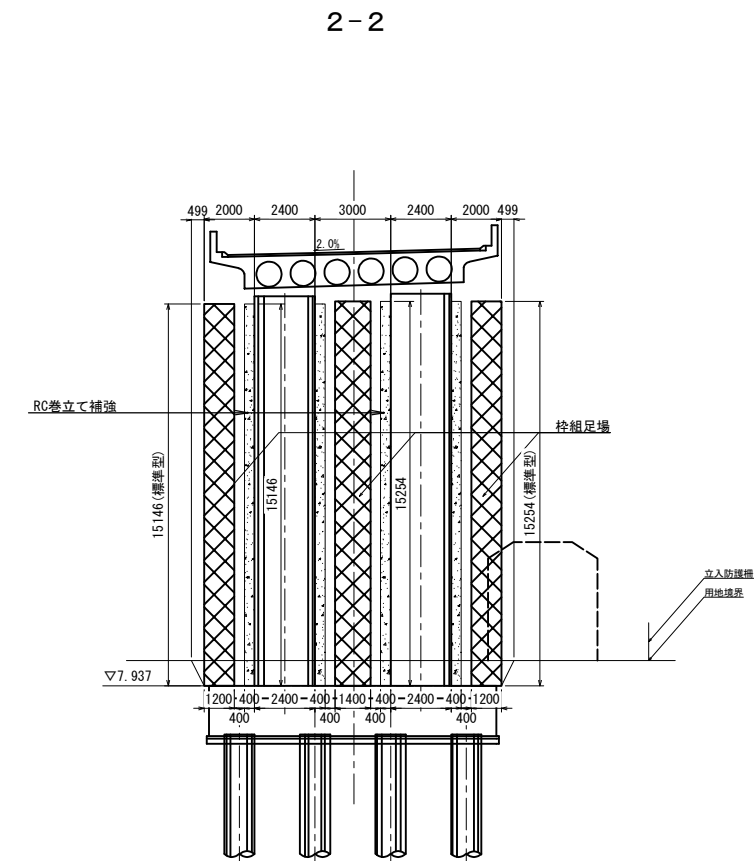
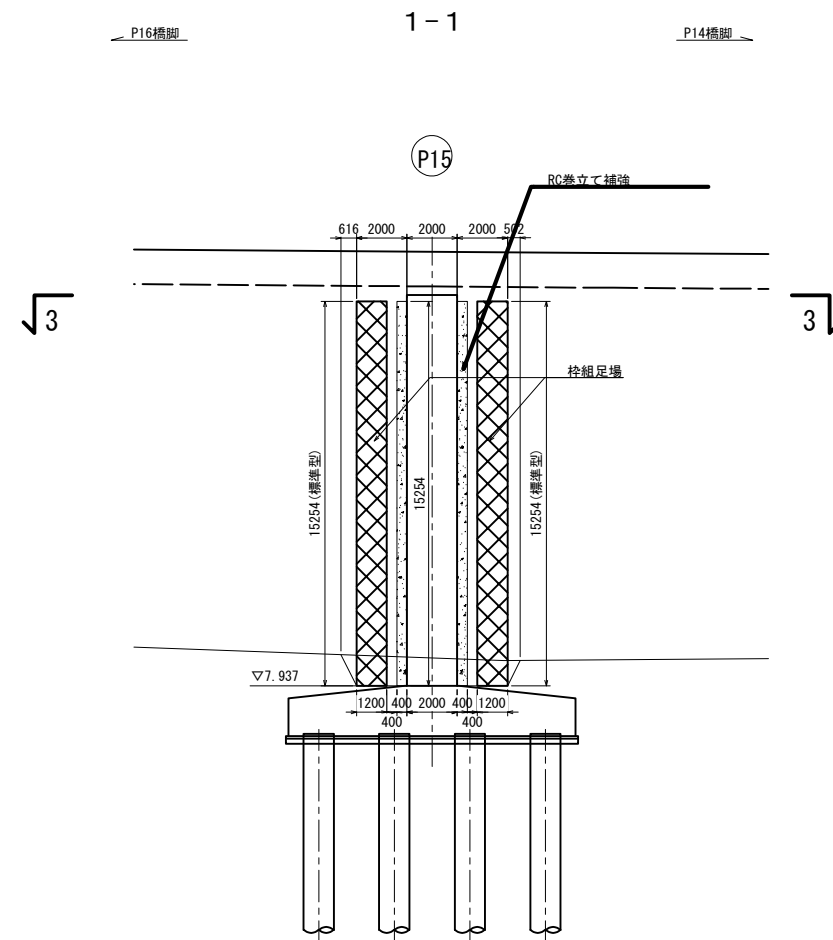
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P13橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

(下部工耐震施工時)



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		本郷矢部高架橋 P14橋脚 足場工図（参考図）	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

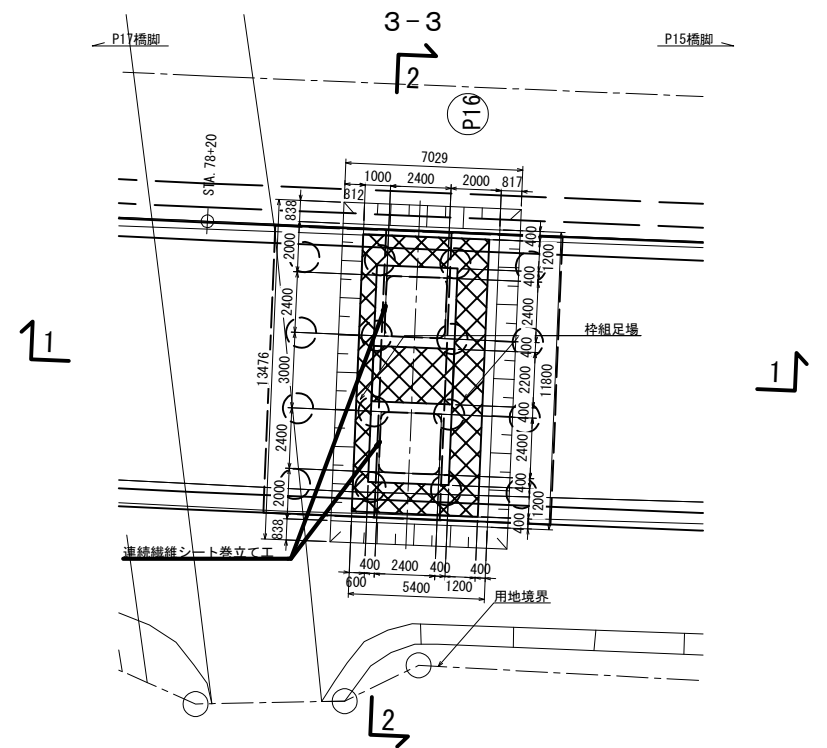
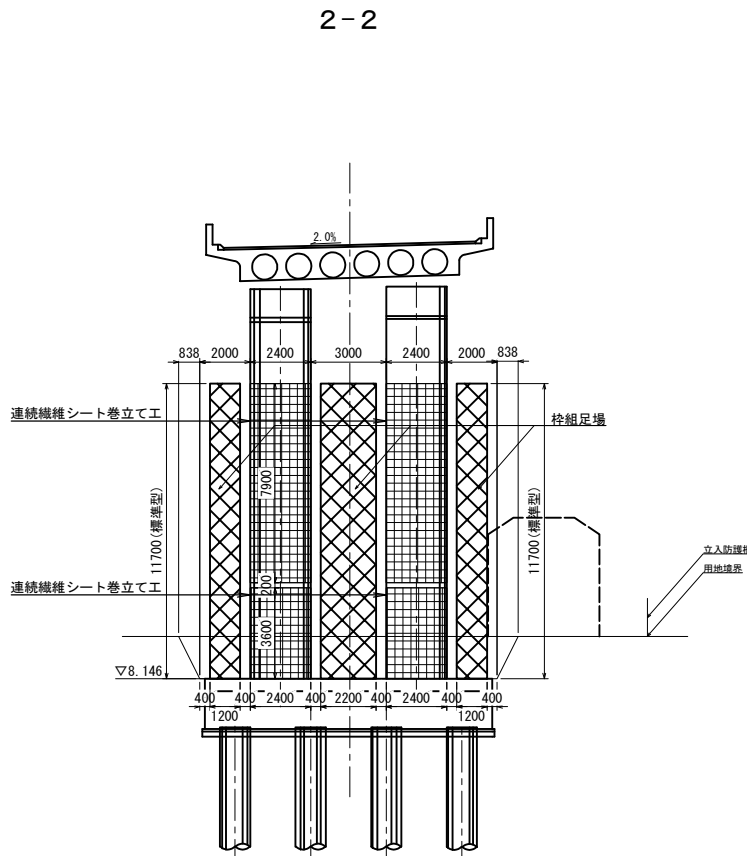
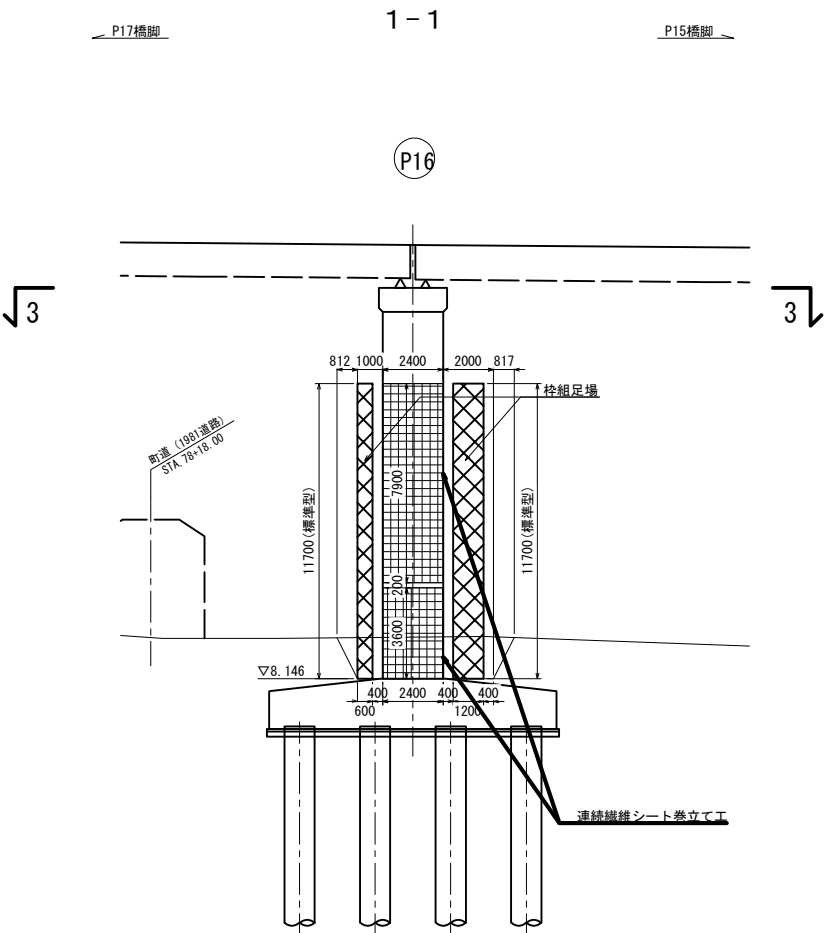
(下部工耐震施工時)



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P15橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P16橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300

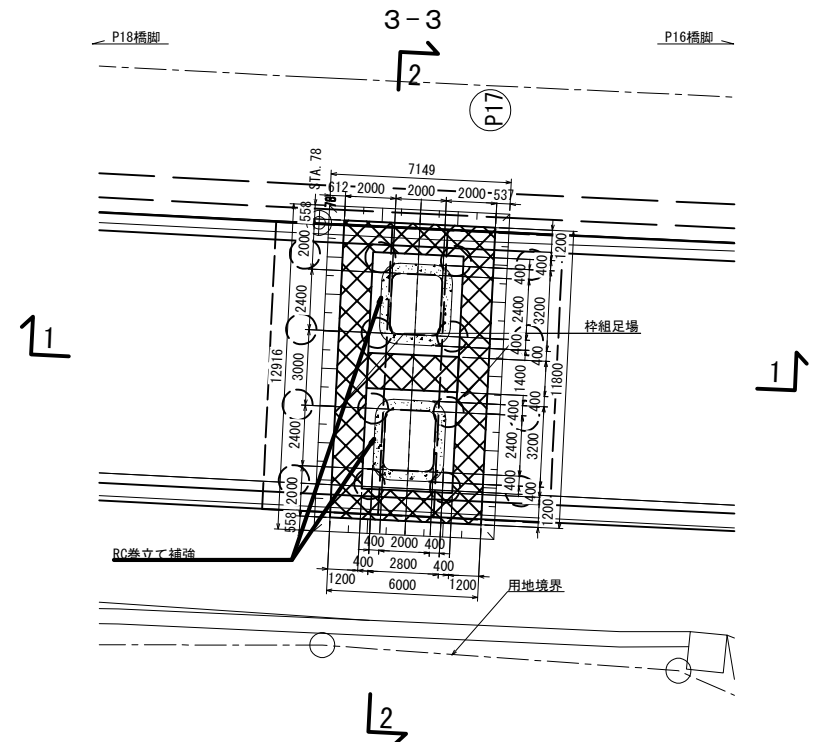
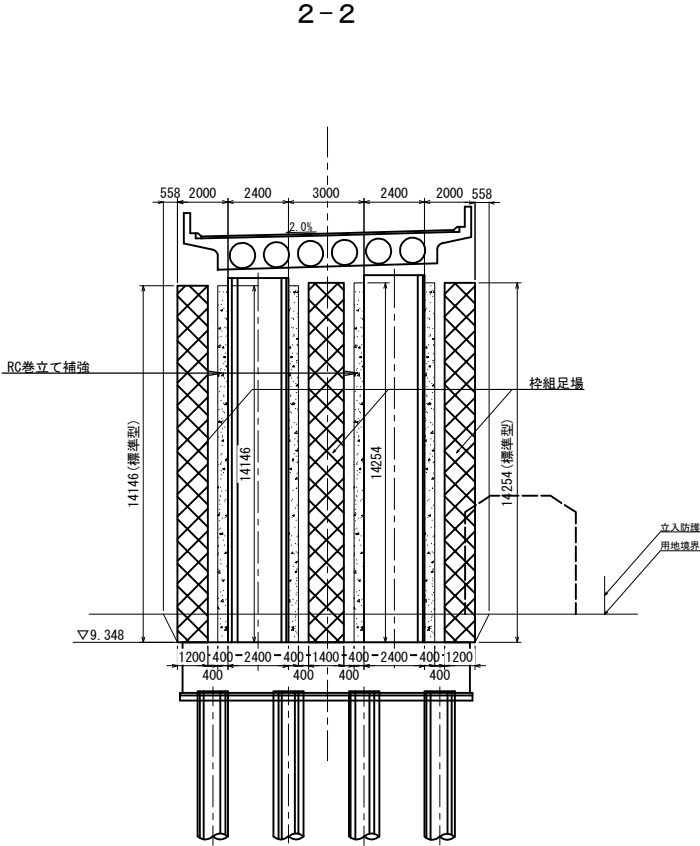
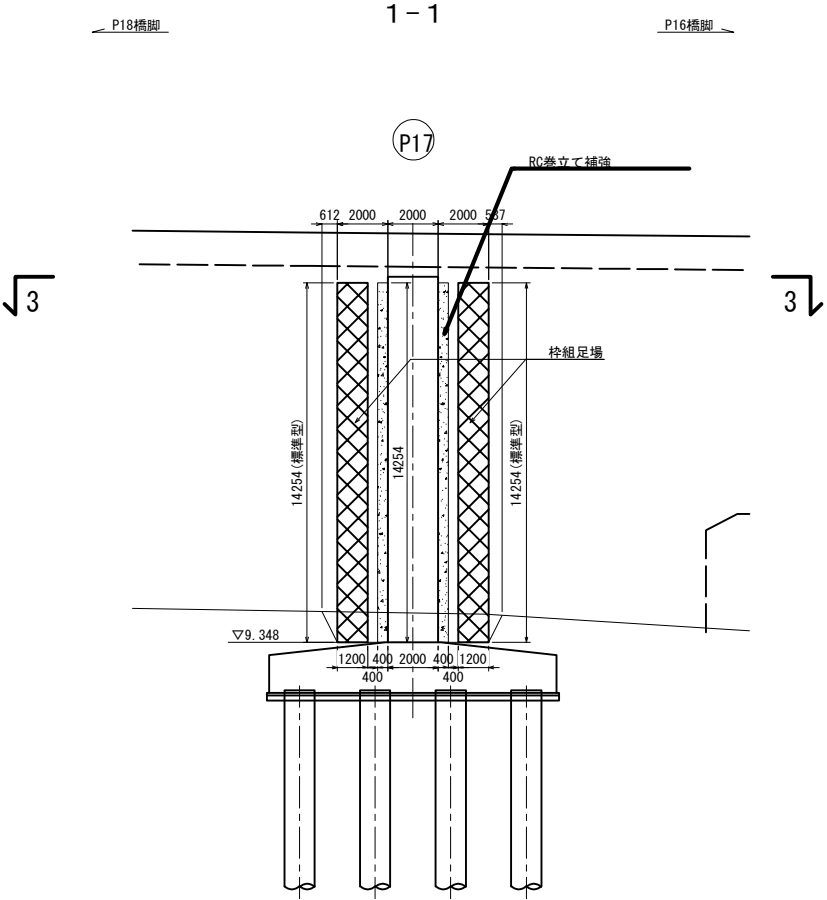
（下部工耐震施工時）



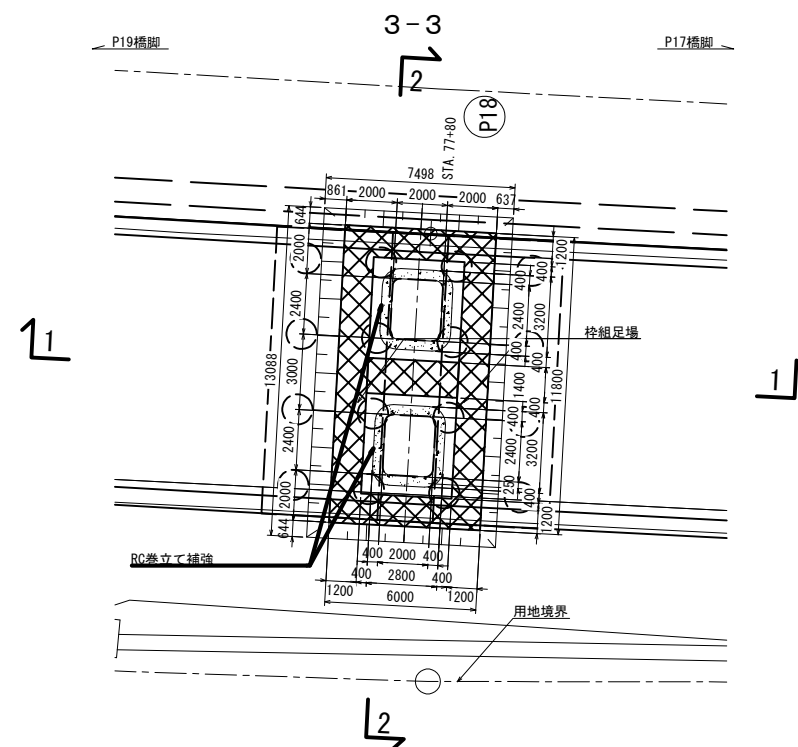
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類	本郷矢部高架橋 P16橋脚 足場工図（参考図）			
	縮	尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社			
施工会社名	東日本高速道路 株式会社			
事務所名	関東支社 市原管理事務所			

本郷矢部高架橋 P17橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300

（下部工耐震施工時）



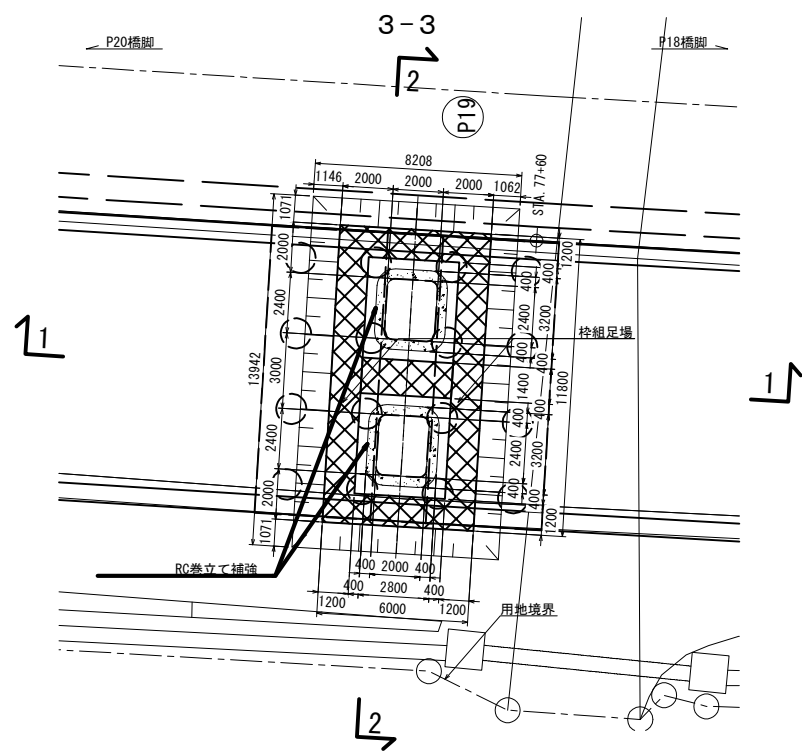
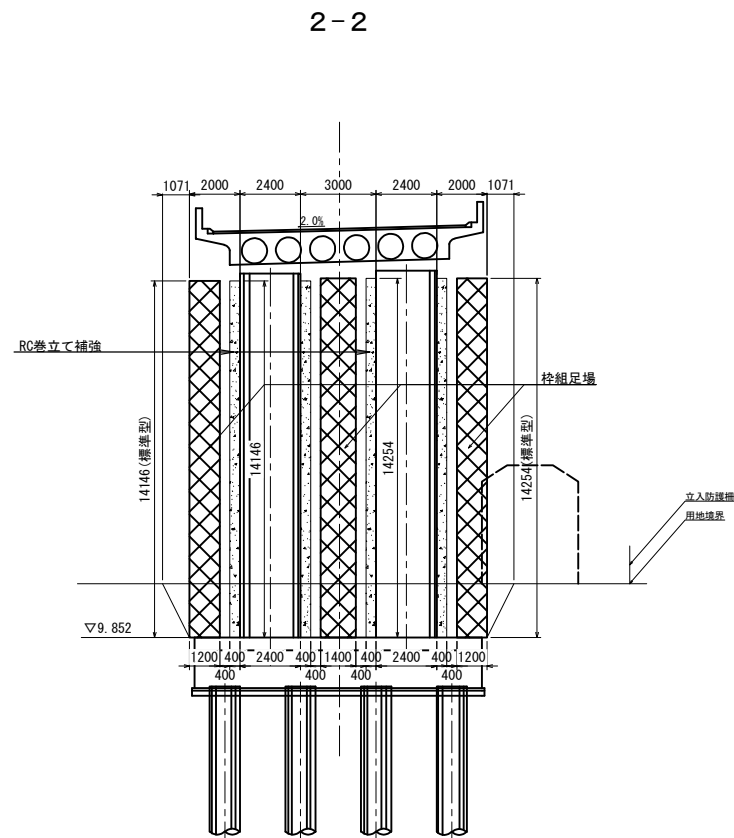
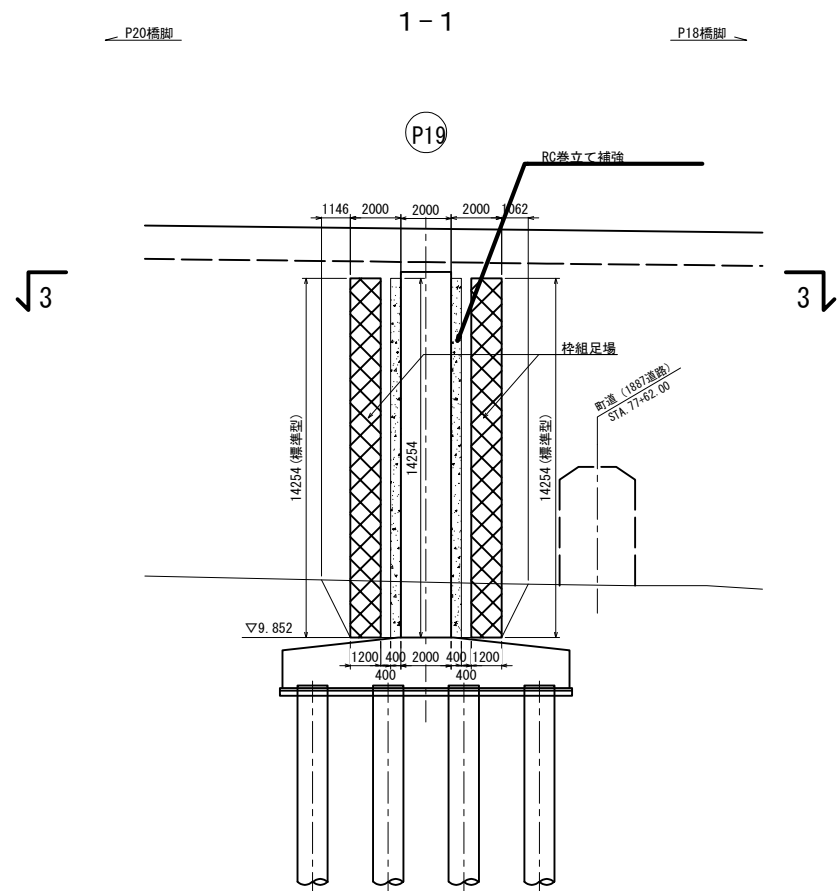
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P17橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 P18橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P19橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300

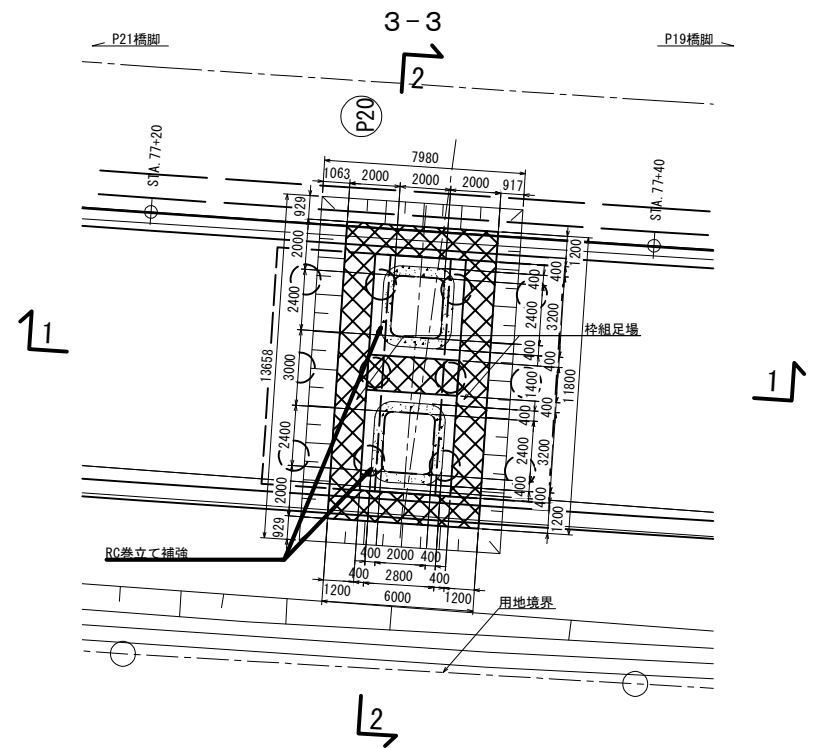
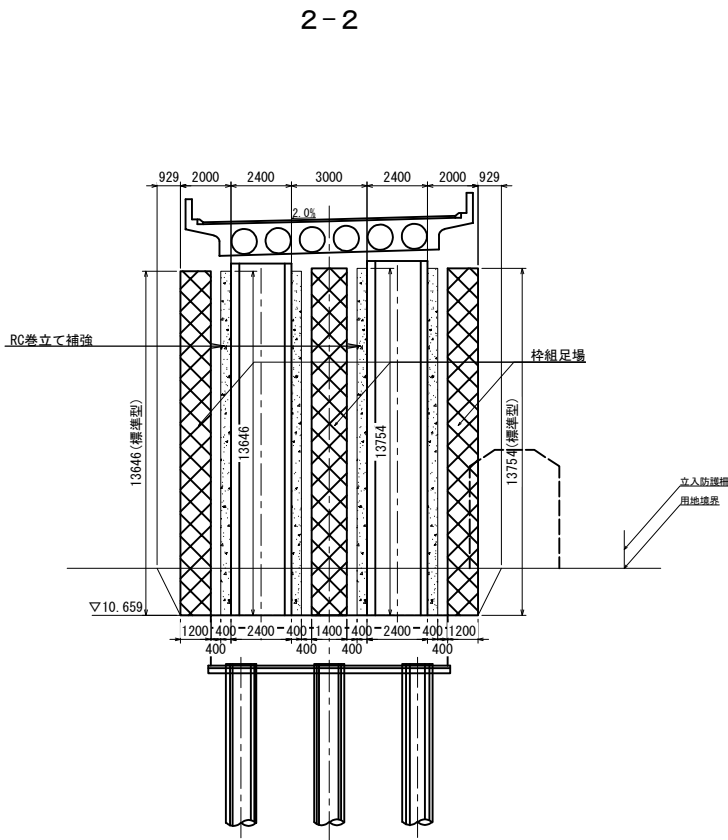
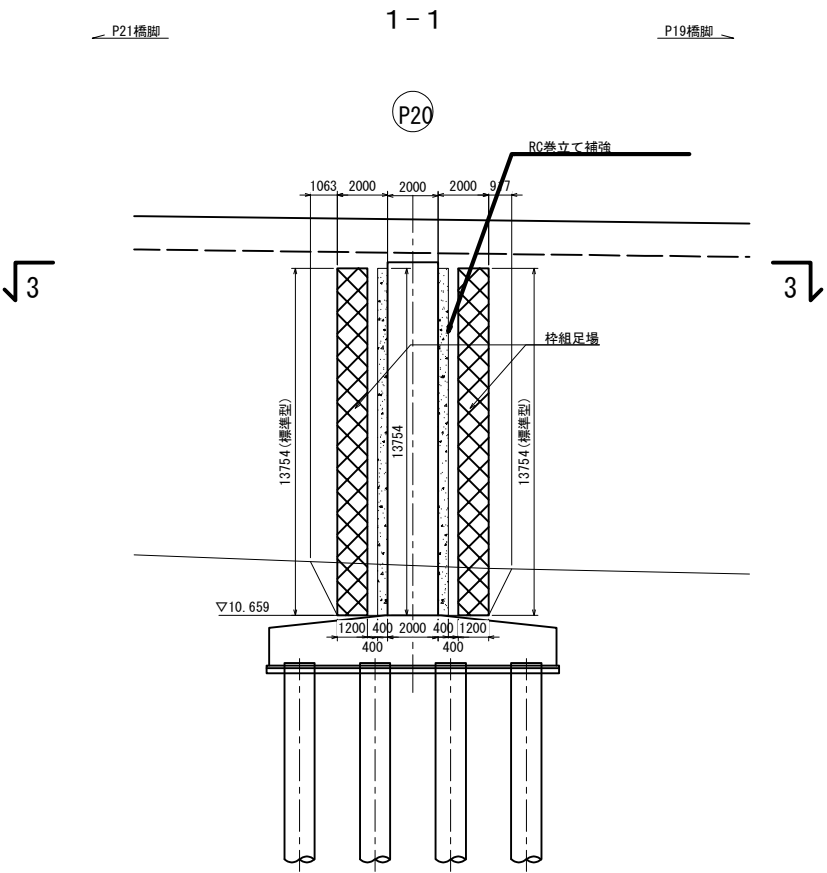
（下部工耐震施工時）



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P19橋脚 足場工図（参考図）		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P20橋脚 足場工図（参考図） S=1：300

（下部工耐震施工時）



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P20橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P21橋脚 足場工図 (参考図) S=1 : 300

側面図

1-1

2

P21

RC巻立て補強

柁組足場

▽11.969

| 2

正面图

2-2

7

控組足場	
------	--

立入防護柵

用地境界

▽11.969

1

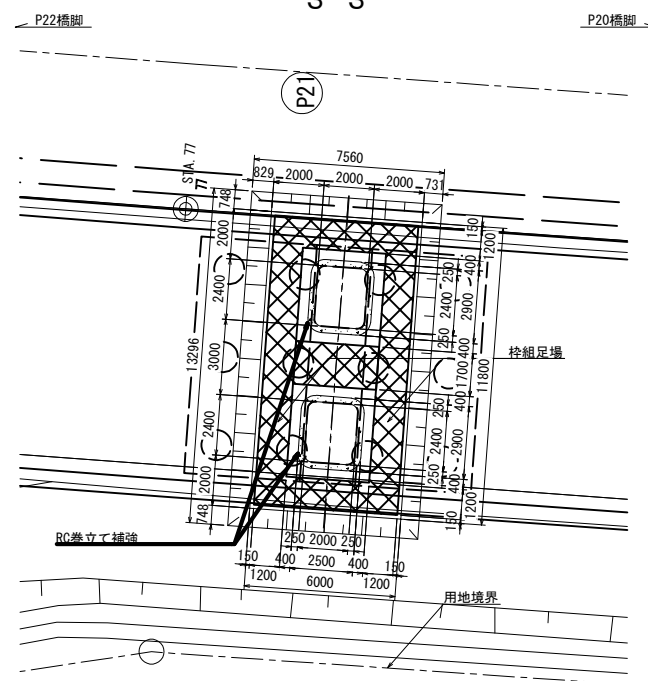
平面图

3-3

—

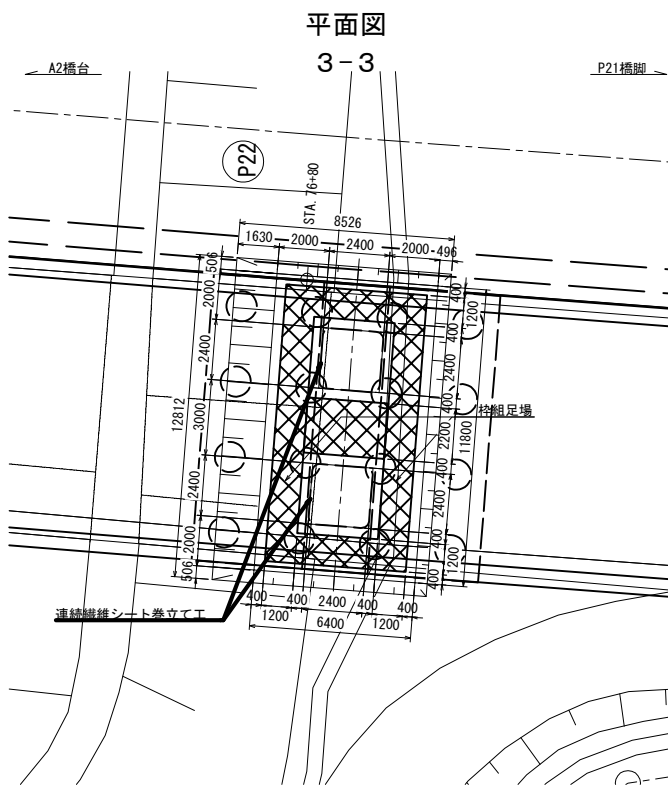
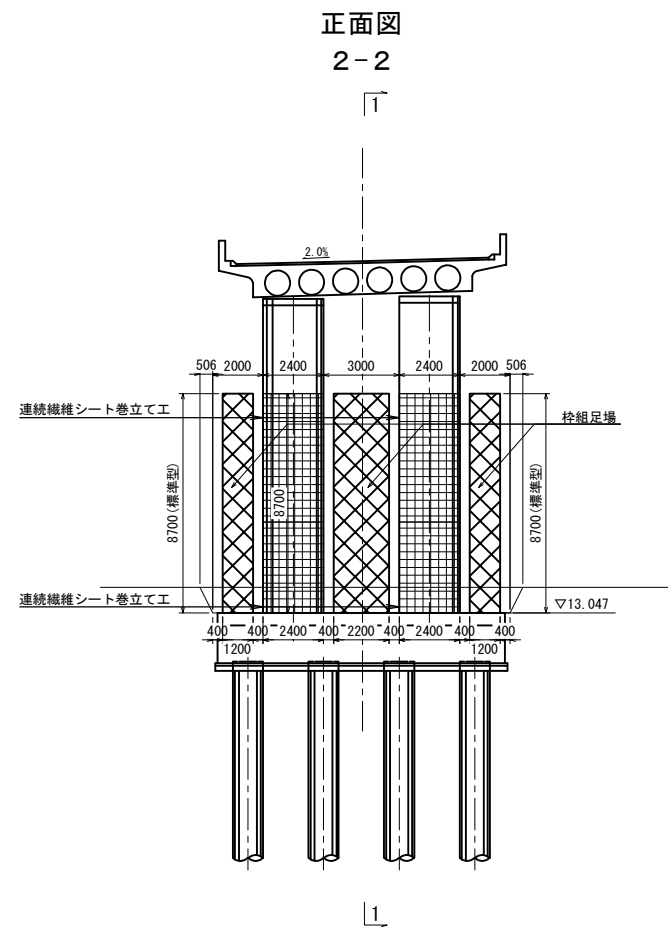
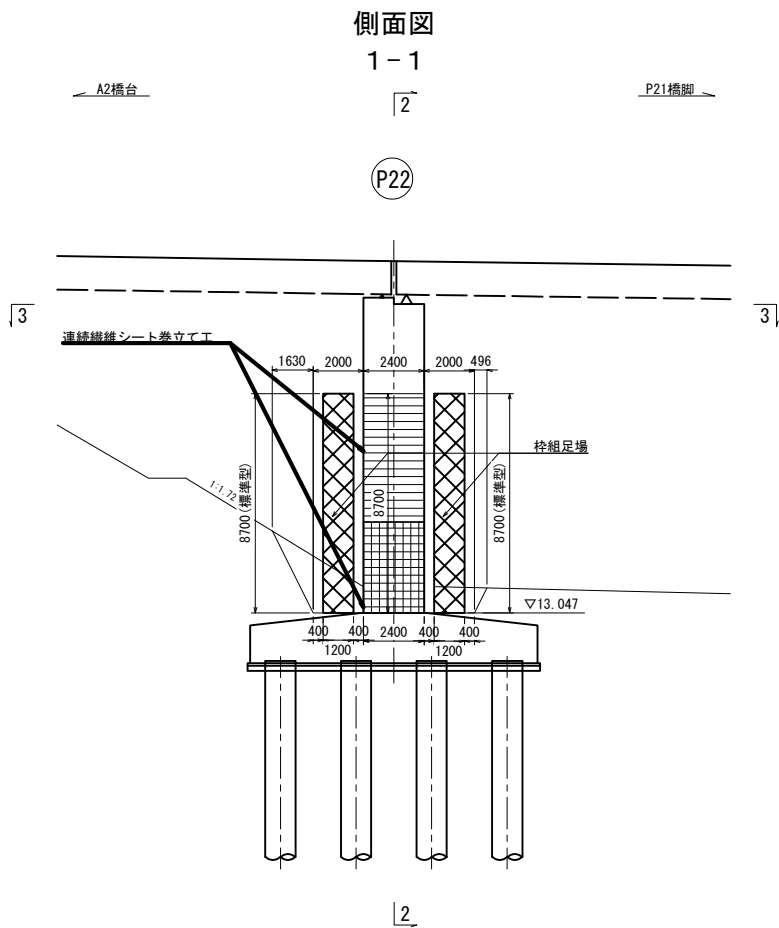
P21

用地境界



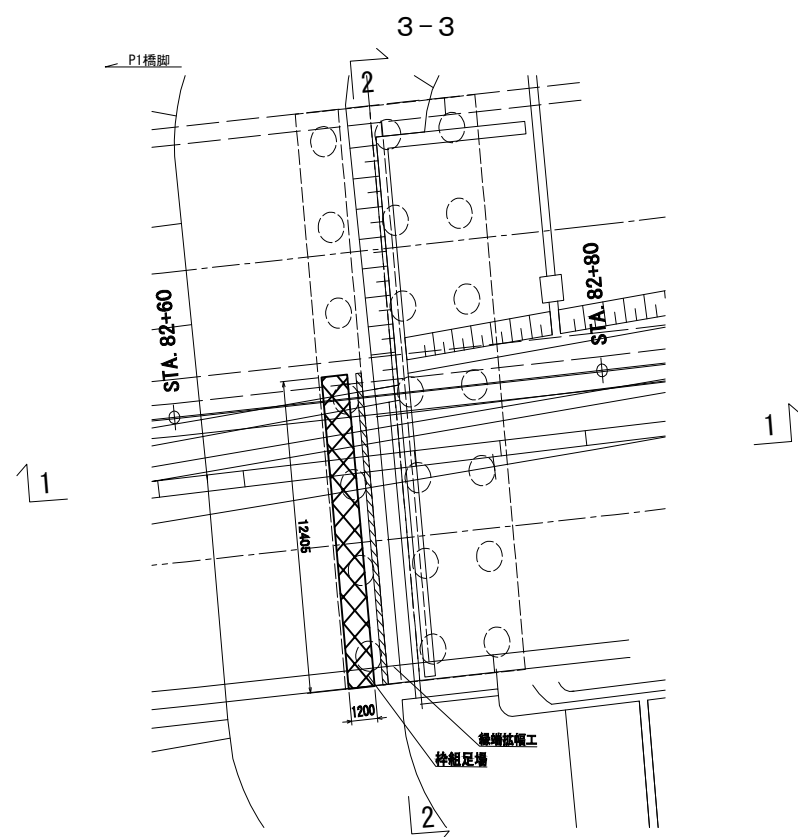
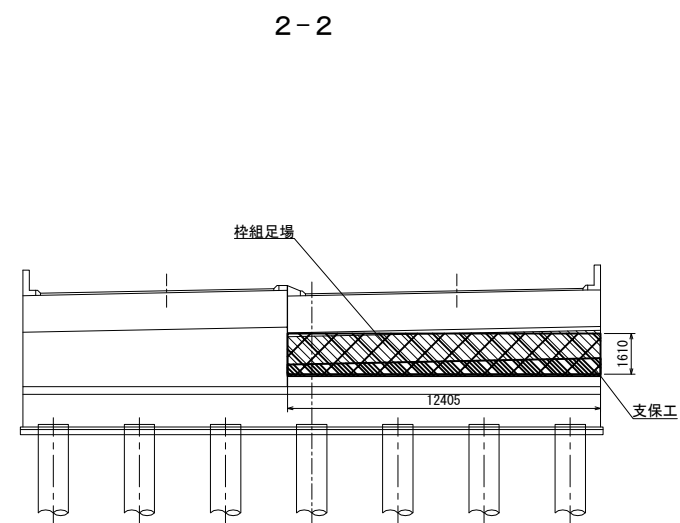
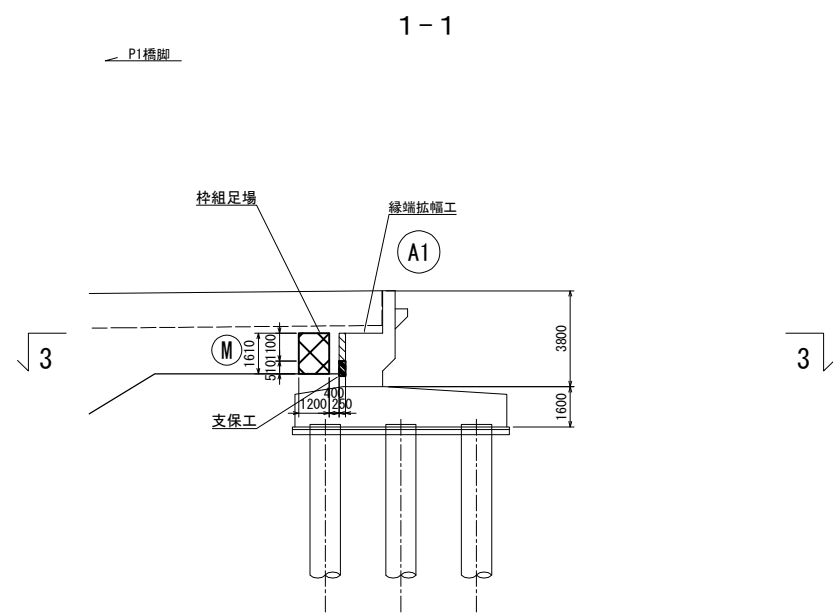
	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 P21橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P22橋脚 足場工図（参考図） S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P22橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

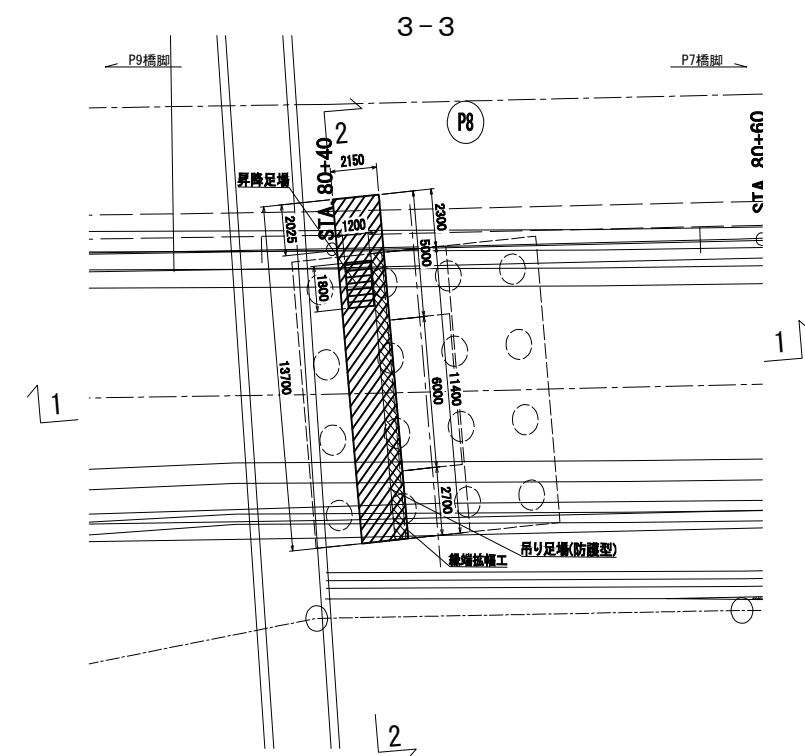
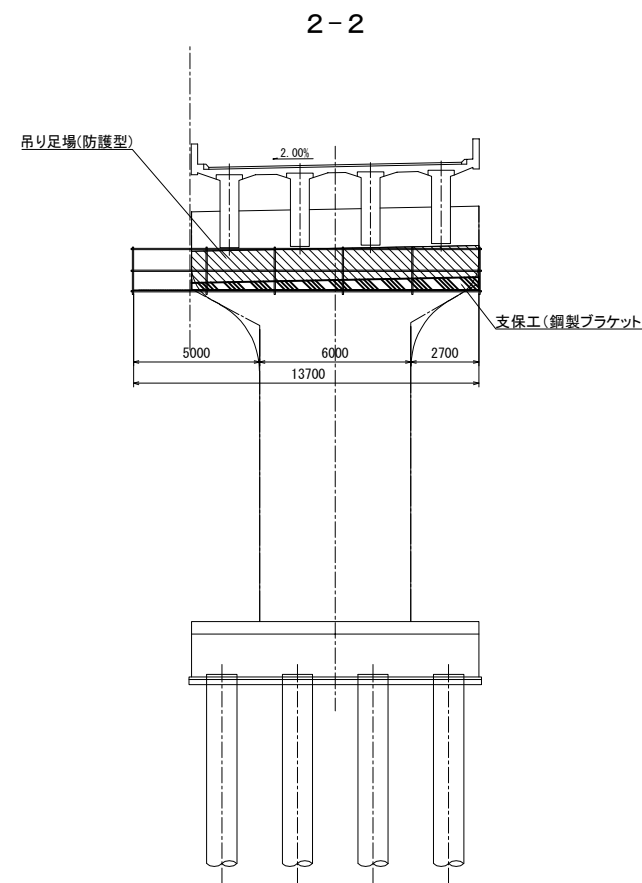
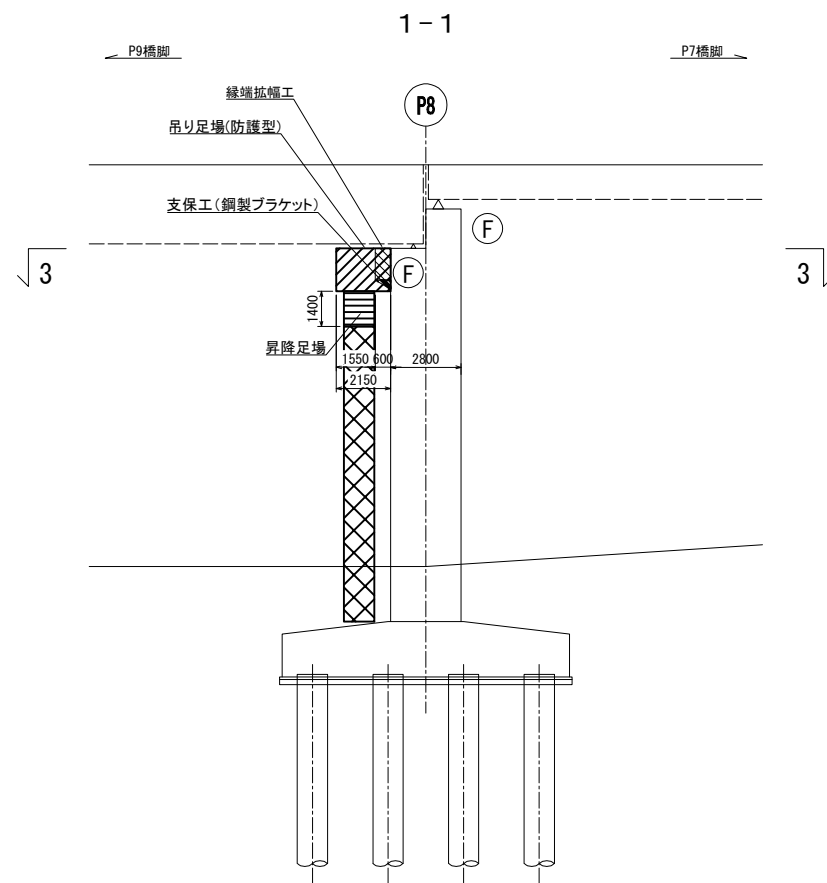
本郷矢部高架橋 A1橋台 上部工施工用足場工図（参考図） S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 A1橋台		
	上部工施工用足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

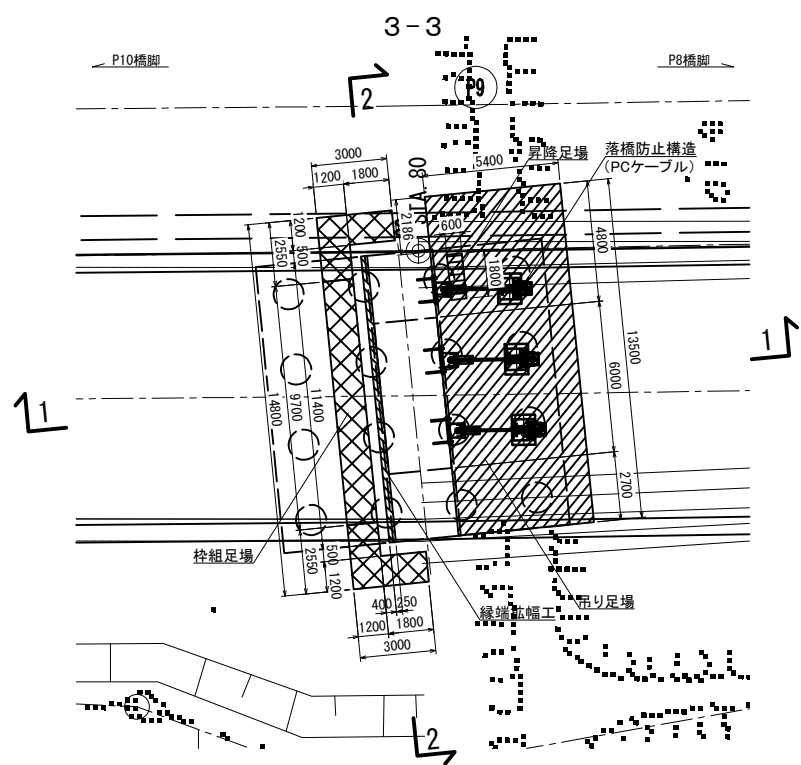
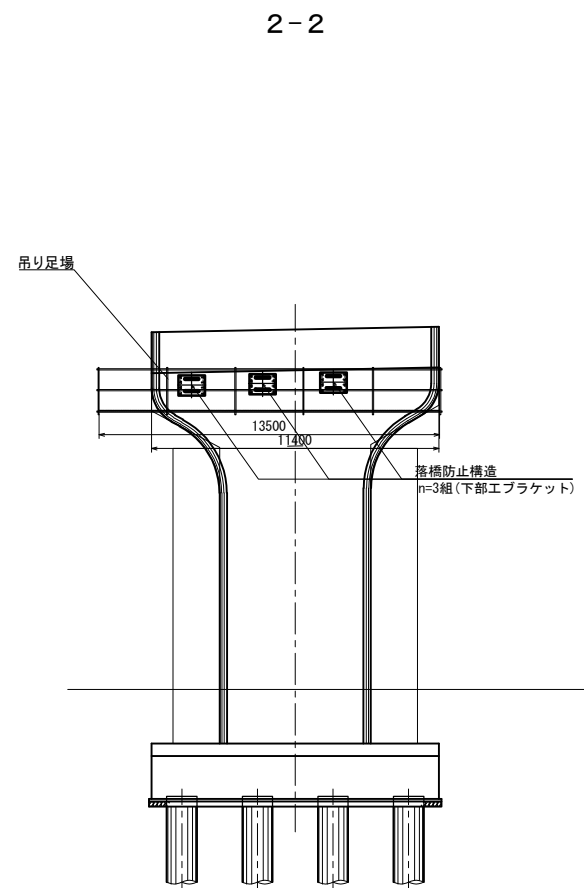
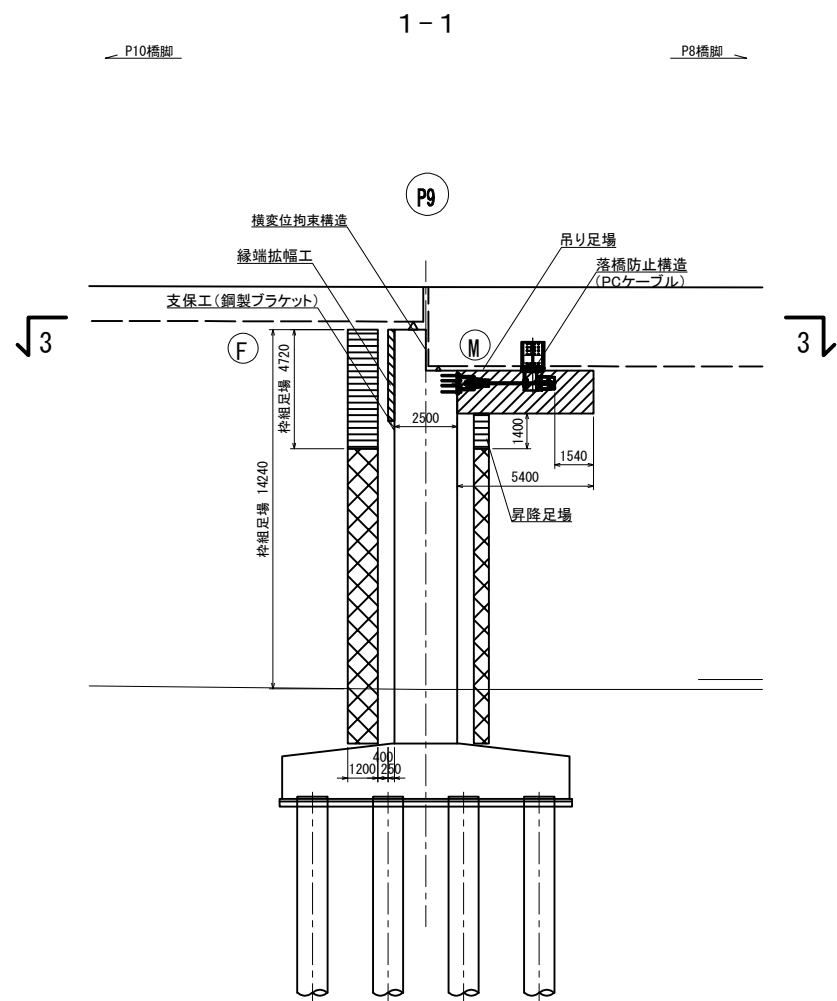
本郷矢部高架橋 P8橋脚 上部工施工用足場工図（参考図） S=1 : 300

166 / 179



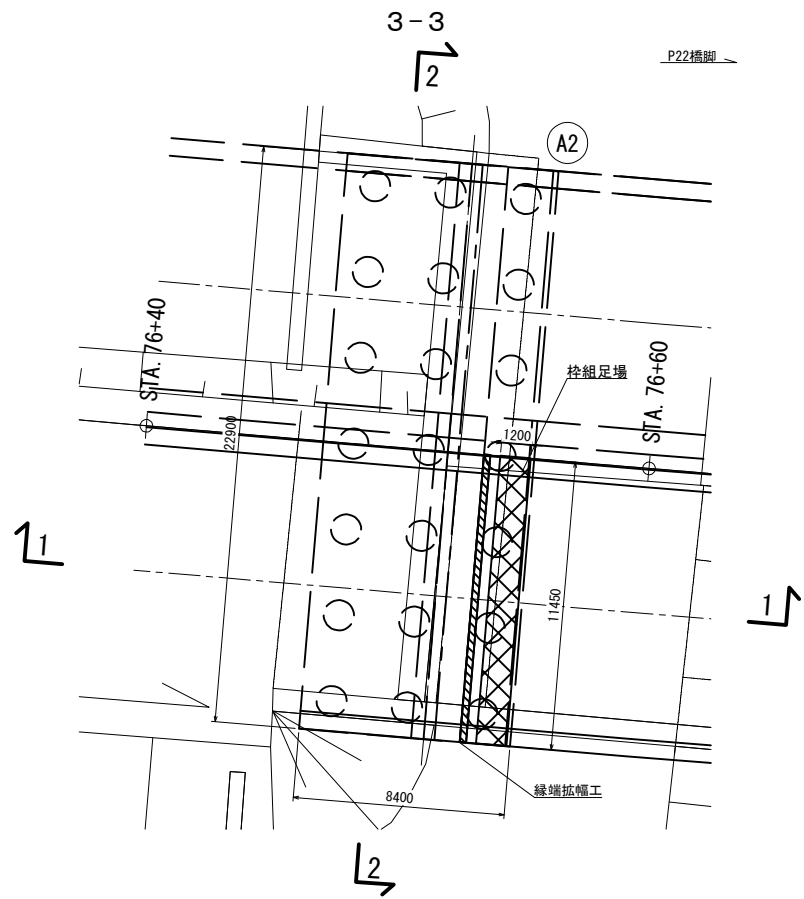
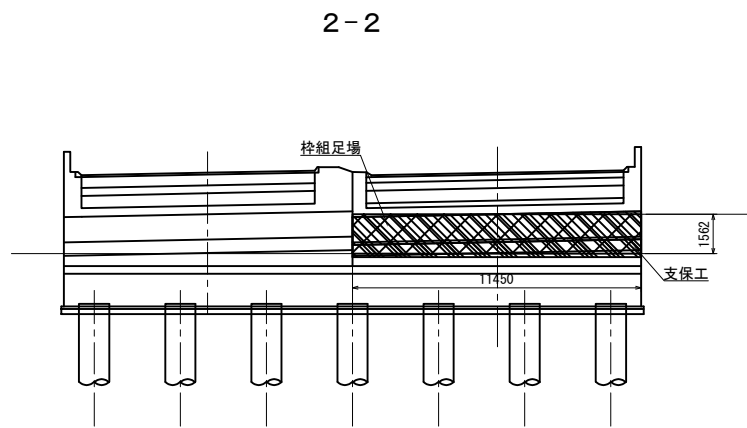
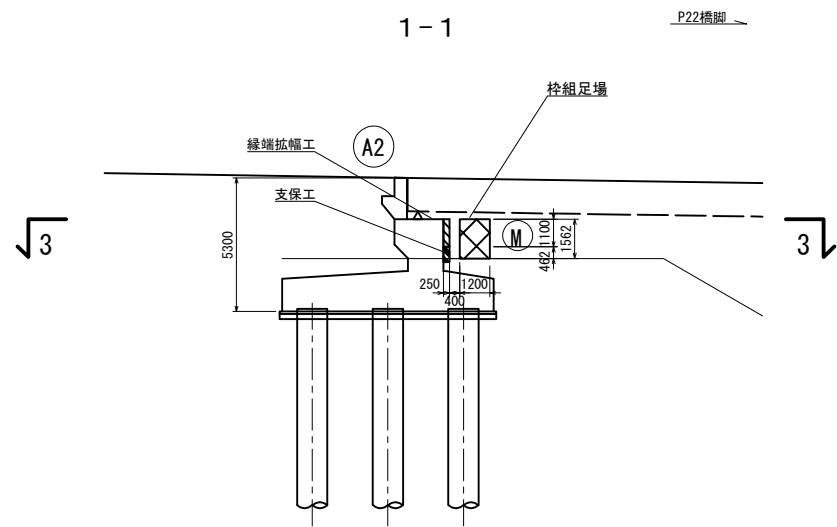
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P8橋脚 上部工施工用足場工図（参考図）		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 P9橋脚 上部工施工用足場工図（参考図） S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P9橋脚 上部工施工用足場工図（参考図）		
	縮	尺	図示
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

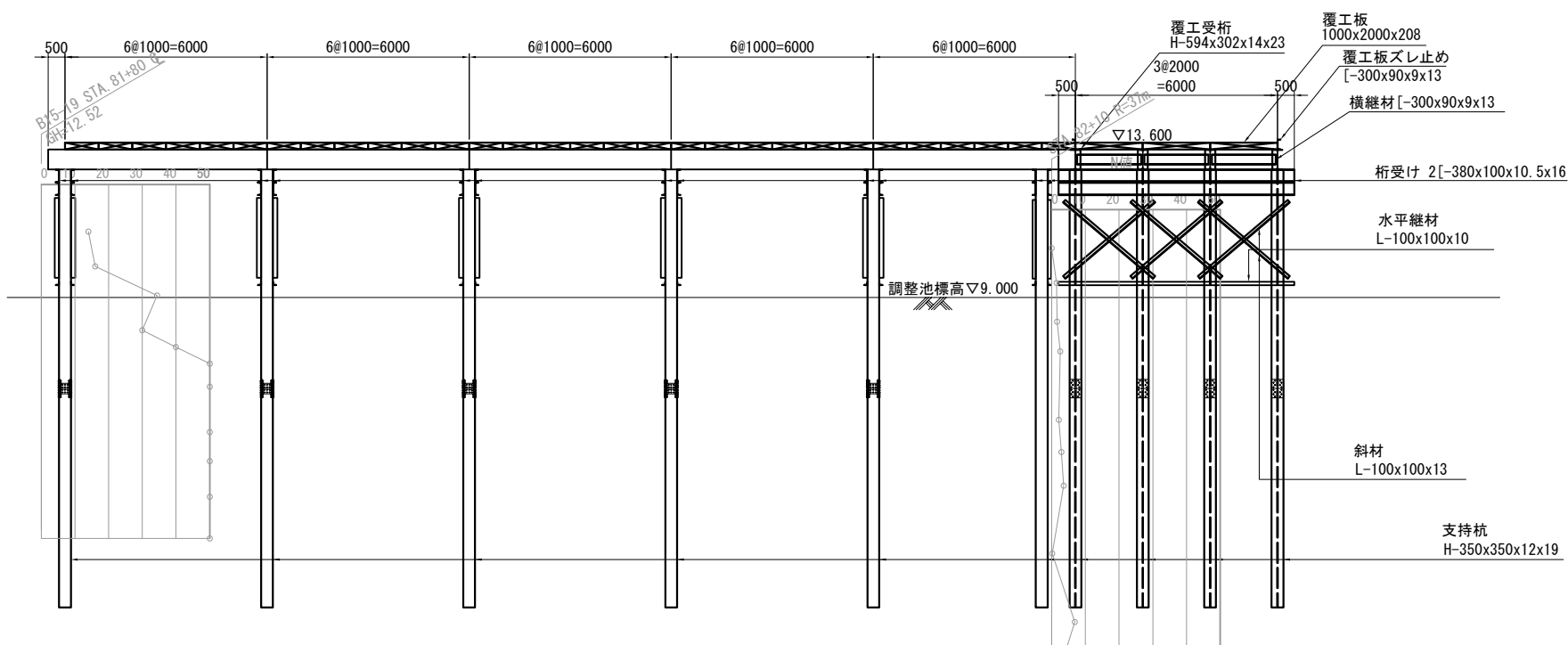
本郷矢部高架橋 A2橋台 上部工施工用足場工図（参考図） S=1 : 300



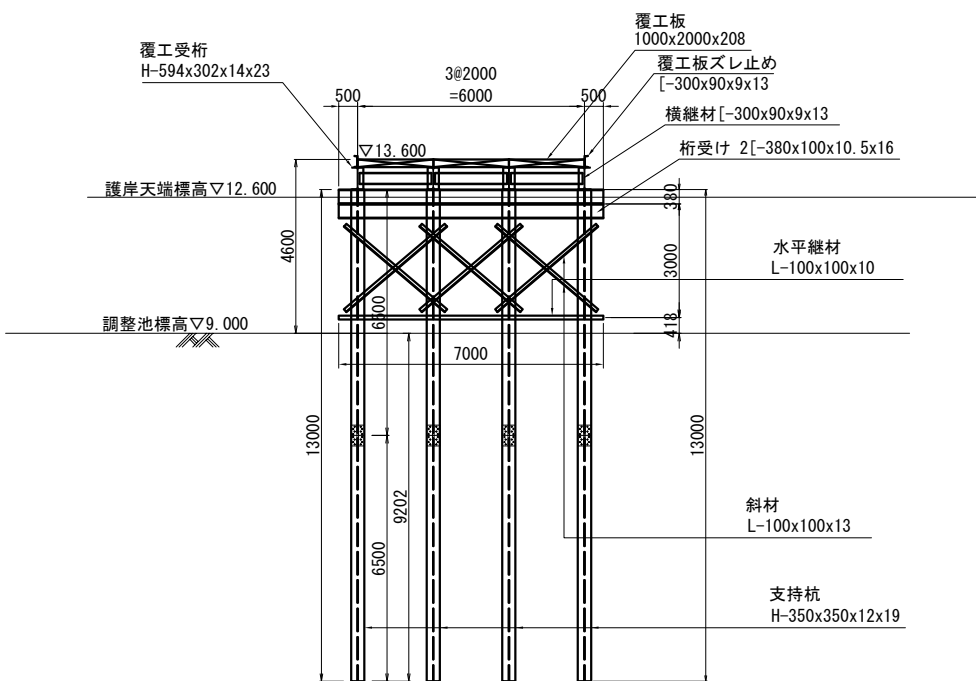
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 A2橋台 上部工施工用足場工図（参考図）		
	縮	尺	図示
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 仮橋詳細図(その1)

側面図 S=1 : 100



標準断面図 S=1 : 100



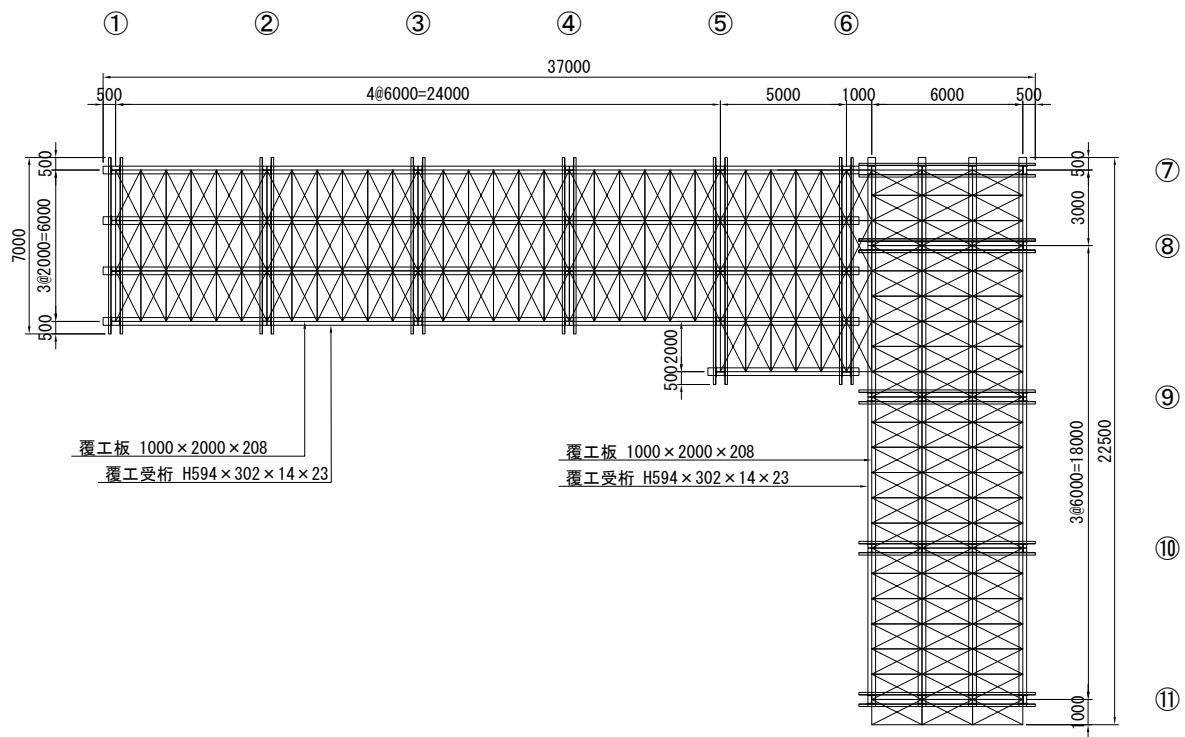
設計条件／工事用棧橋

最大活荷重	90tクローラクレーン
衝撃荷重	i = 0.3 (但し、覆工板は i = 0.40)
たわみ	L/400 以下
支間	6.0m
幅員	6.0m
形式	杭橋脚
支持杭の施工方法	バイプロハンマー工法
許容応力度の割増係数	1.5
準拠規程	道路土工－仮設構造物工指針 社) 日本道路協会 H11.3 道路橋示方書・同解説 I・II 社) 日本道路協会 H24.3 設計要領第二集 橋梁保全編 第9章 仮設構造: R7.7 仮橋標準図集: H17.10

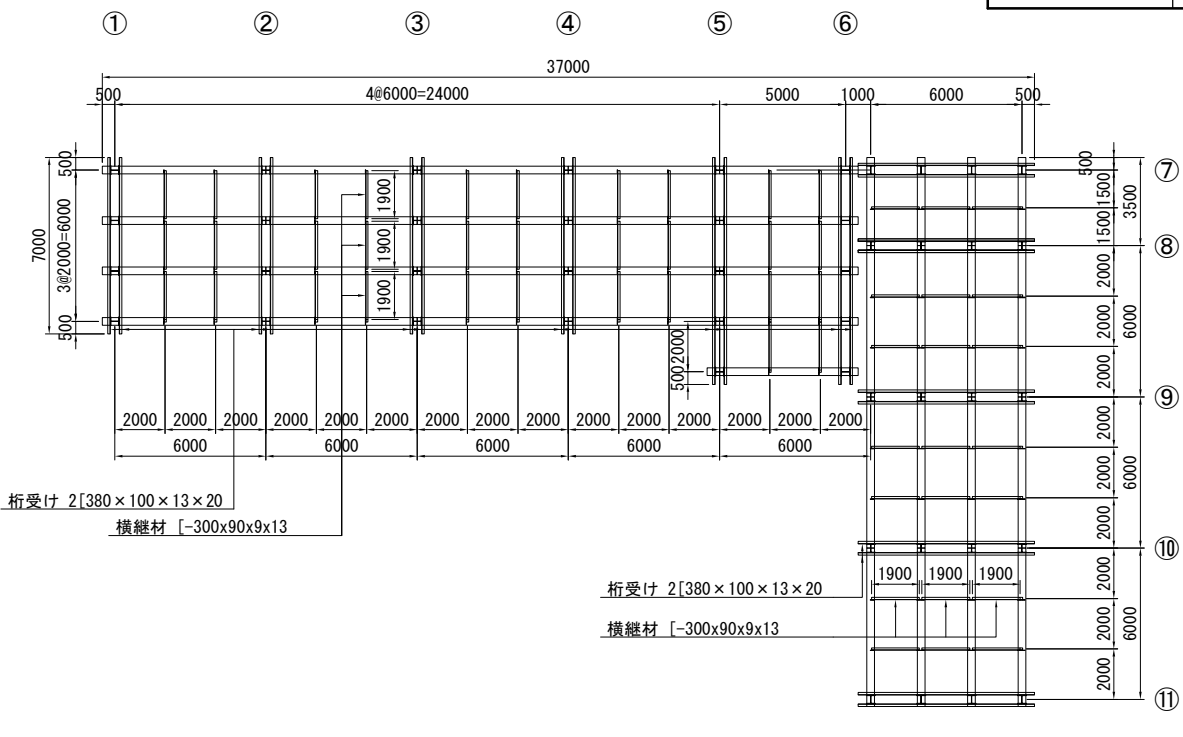
主要材料表

主桁	H-594x302x14x23
桁受	2[-380x100x10.5x16]
水平材	L-100x100x10
斜材	L-100x100x13
支持杭	H-350x350x12x19

覆工平面図 S=1 : 150



覆工受桁平面図 S=1 : 150

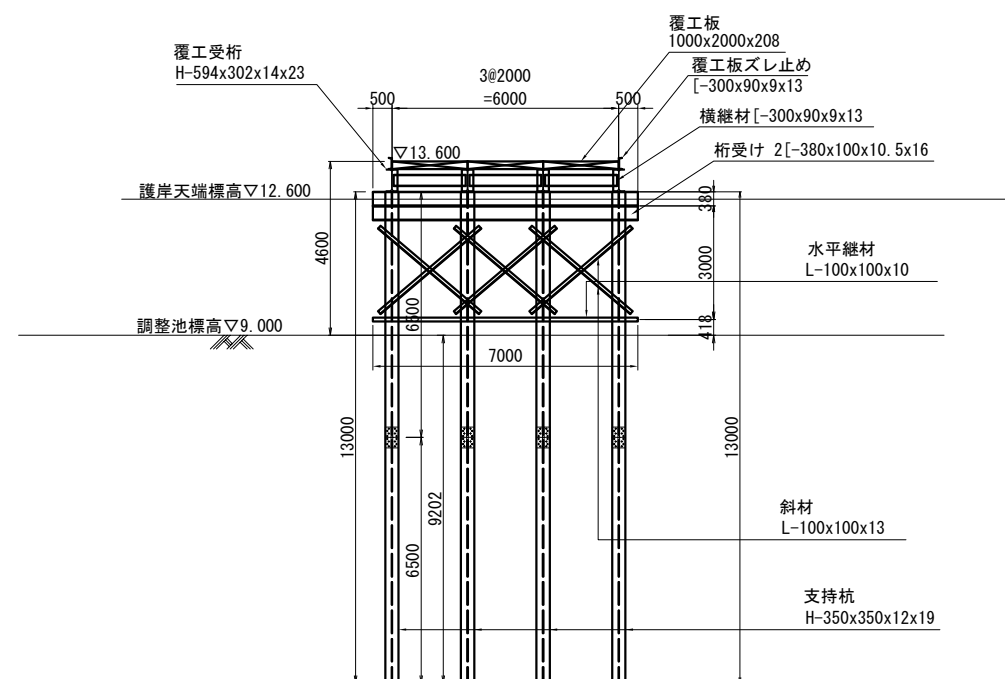


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 仮橋詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

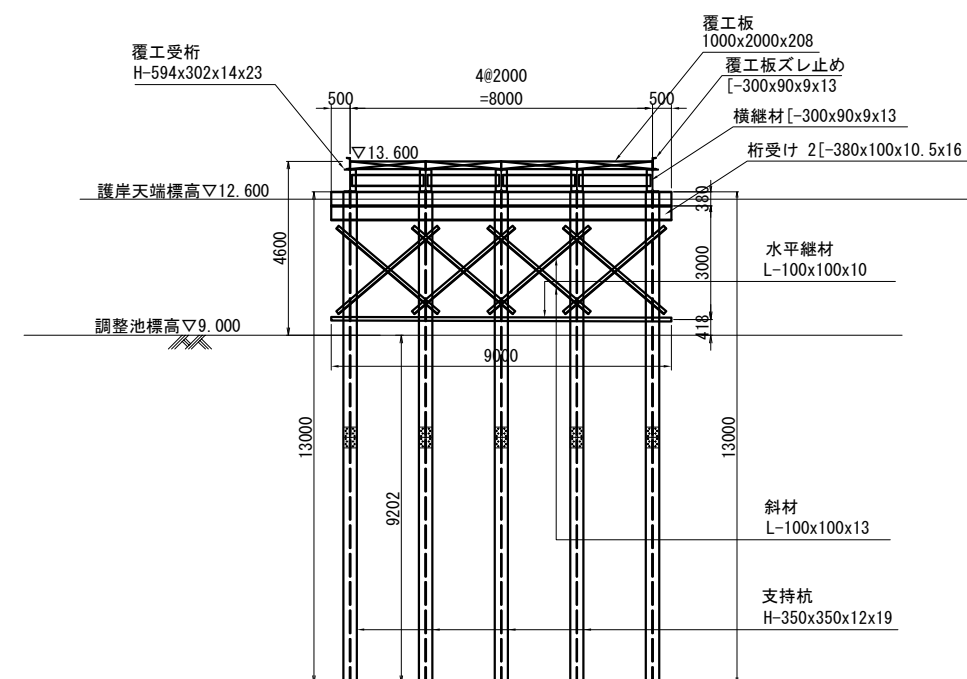
本郷矢部高架橋 仮橋詳細図(その2)

断面图 S=1 : 100

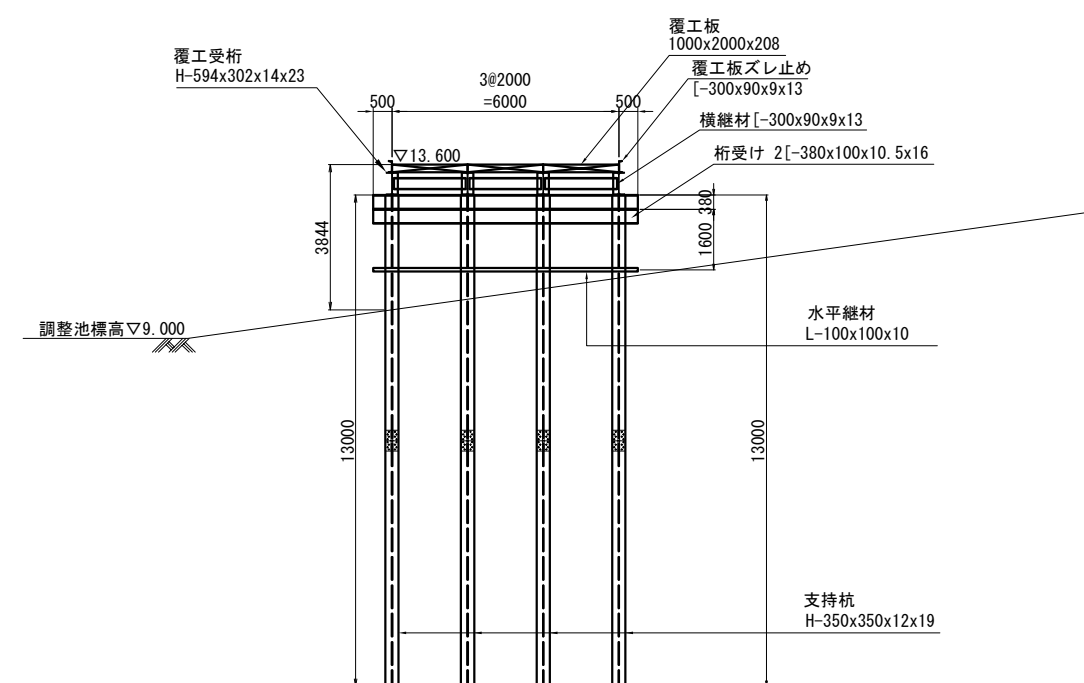
①~④, ⑦~⑨横断図



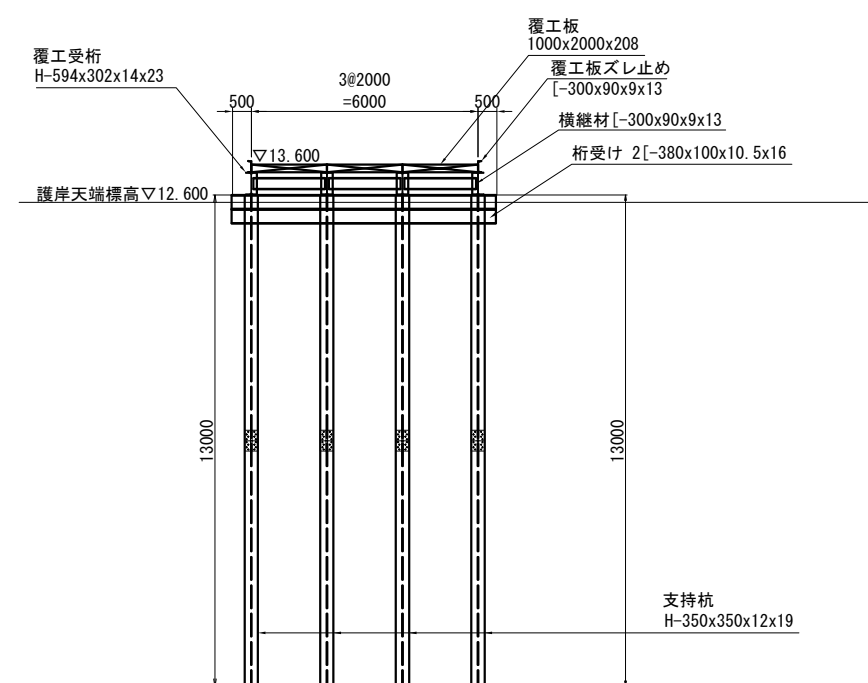
⑤⑥横断図



⑩横断図

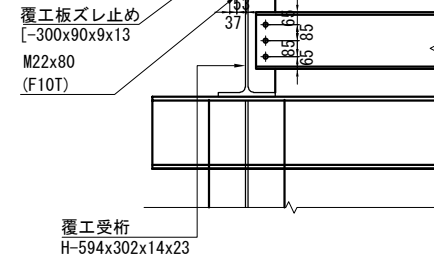


⑪横断図

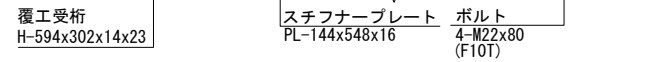


	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷支所高架橋 仮橋詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

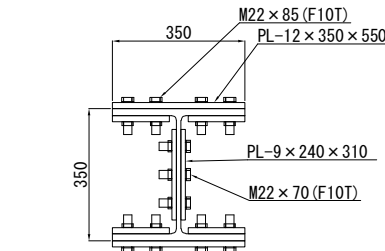
上部端部取付詳細図 S=1:20



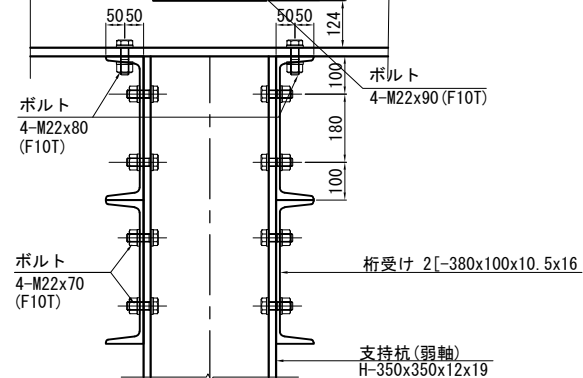
横継材取付部詳細図 S=1:20



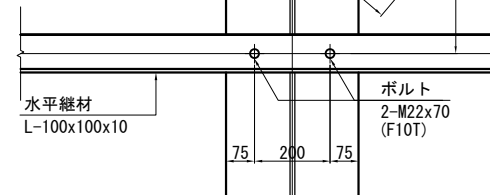
支持杭接合部詳細図 S=1:10



上部取付詳細図 S=1:10



下部取付詳細図 S=1:10



【定格総荷重量表:90tクローラクレーン】
●主ブーム定格総荷重表 単位(t)

●主ブーム定格総荷重表

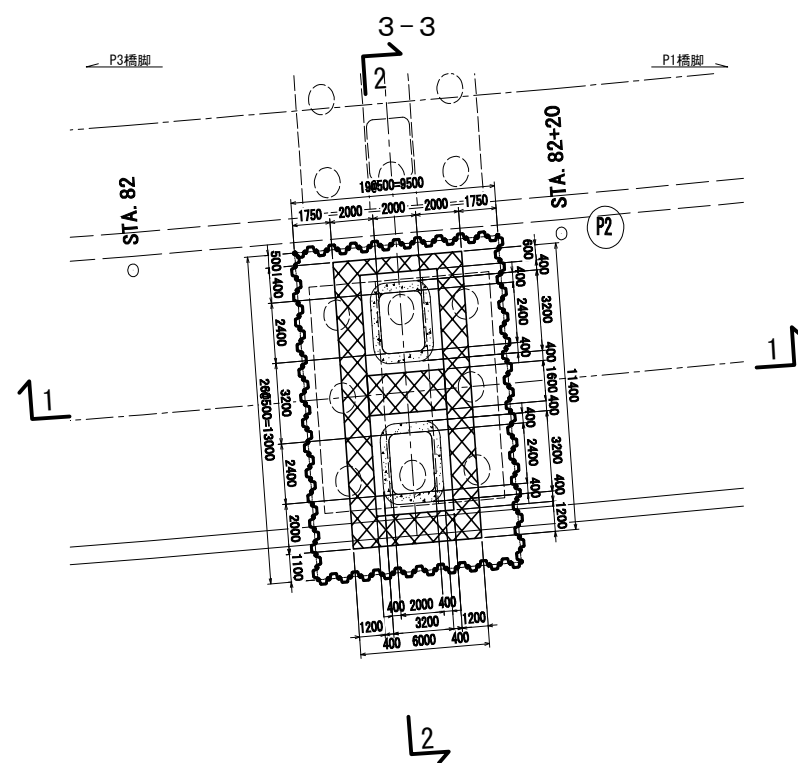
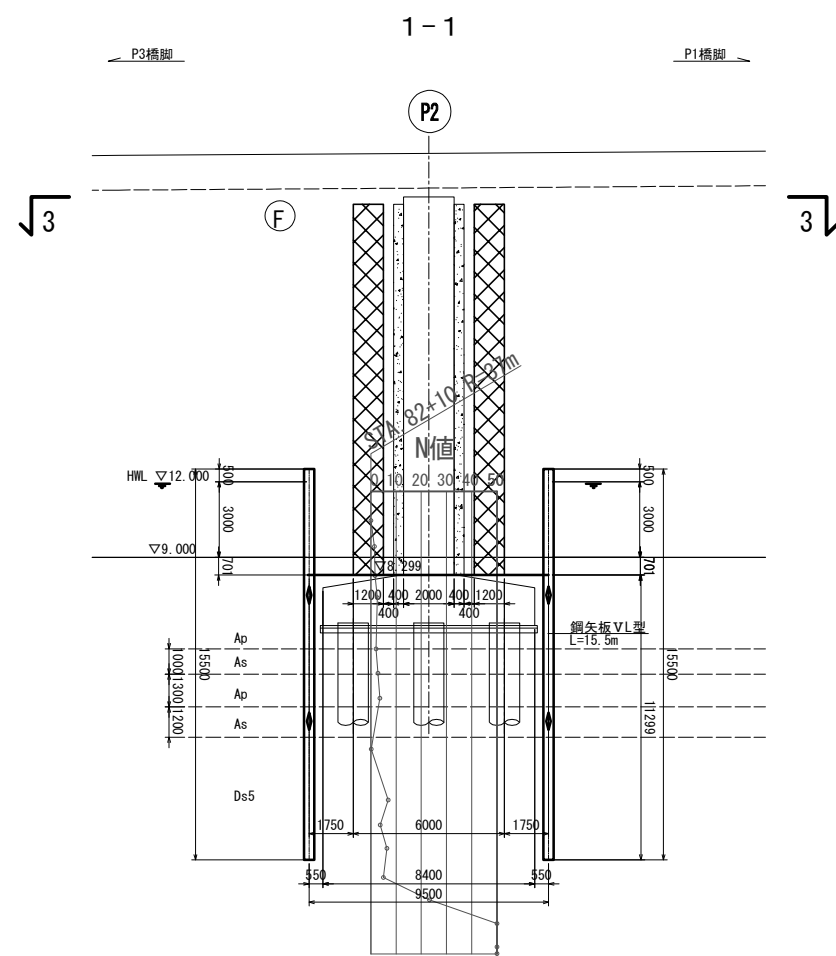
ブーム長さ (m) 作業半径	23.0	26.0
9.0	30.70	30.50
10.0	26.50	26.40
12.0	20.70	20.60

吊り可能重量：①杭引き抜き工(バイプロハンマ)(フック込み) 20.9t
20.9t ≤ 26.5t ∴ OK

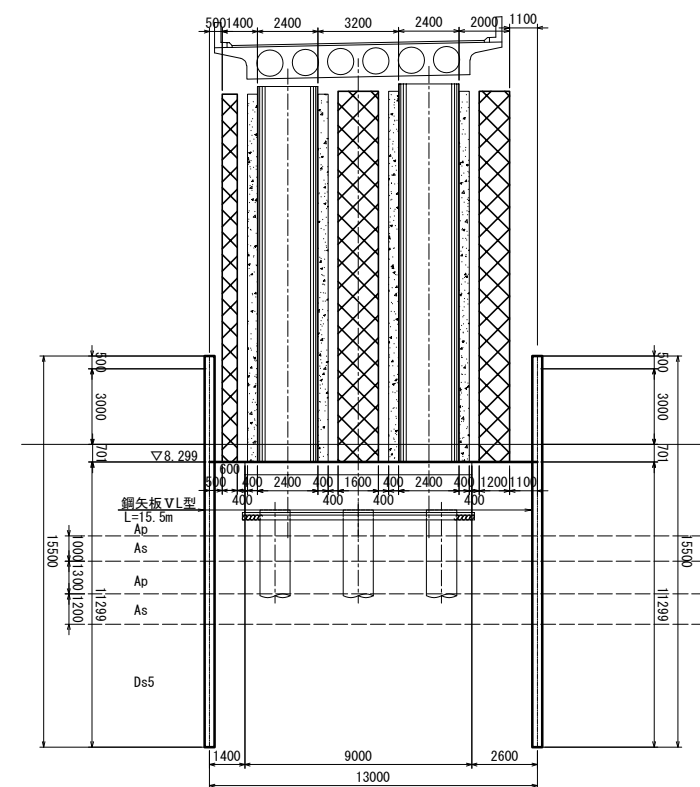
$$20.9t \leq 26.5t \cdot \cdot \cdot OK$$

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類		本郷矢部高架橋 仮橋詳細図 (その3)		
縮	尺	図示	図面番号	／
設計会社名		日本工営株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

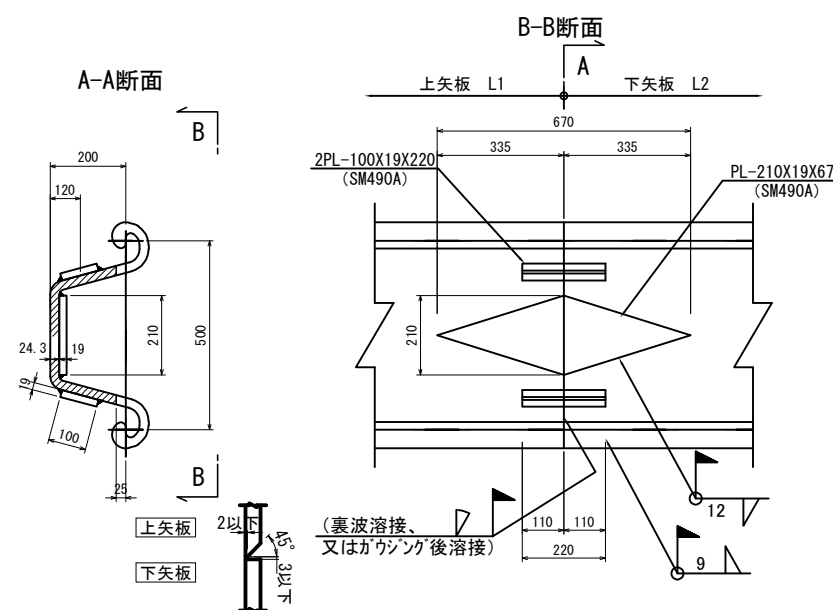
本郷矢部高架橋 P2橋脚仮設構造物詳細図 S=1 : 300



2-2



継手工詳細図 縮尺 1:20



※施工上の留意点

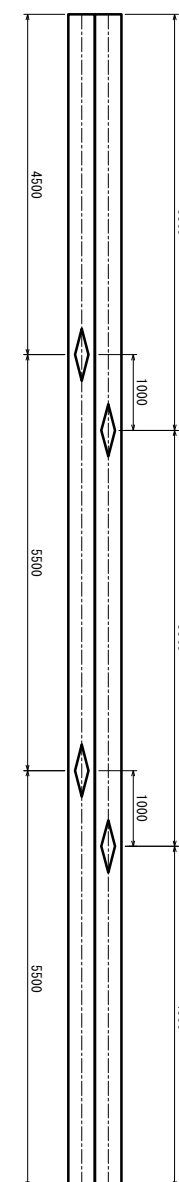
1. 内側菱形補強板は、隅肉サイズ12mmで全周溶接する。
2. 外側矩形補強板は、隅肉サイズ9mmで全周溶接する。
3. 上図斜線部は突合せ溶接する。

材料表

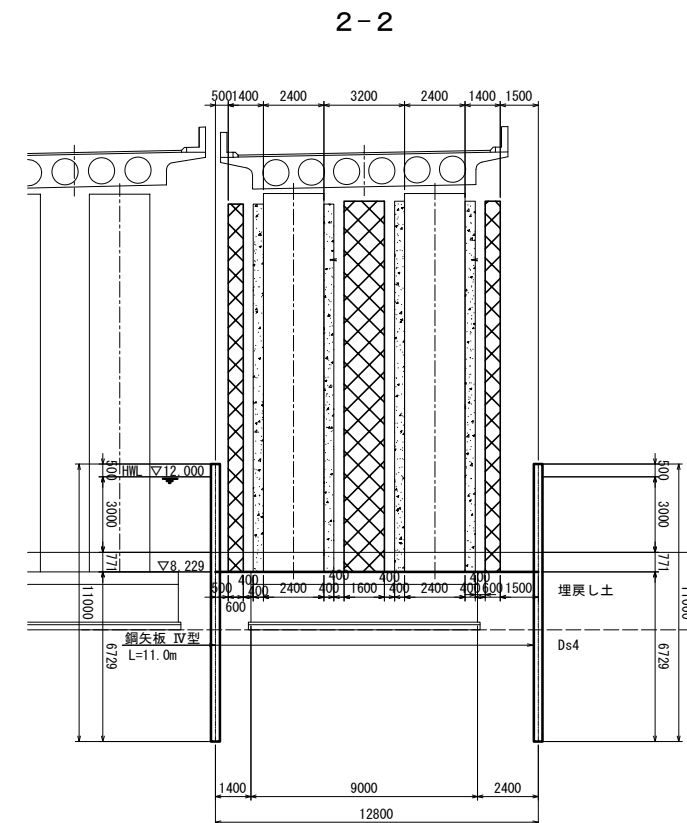
名称	規格・寸法	長さ(m)	枚数(枚)	単位重量	質量(kg)	備考
鋼矢板	ⅤⅠ型(油圧圧入工)	5.500	142	105.0	82.005	(新材)・SY29
	ⅤⅠ型(油圧圧入工)	4.500	71	105.0	33.548	(新材)・SY29
	ⅤⅠ型(バイプロハンマ工)	5.500	38	105.0	21.945	(新材)・SY29
	ⅤⅠ型(バイプロハンマ工)	4.500	19	105.0	8.978	(新材)・SY29
合 計					146.476	kg

名称	規格・寸法	細別	Nmax	圧入・引抜き長	単位	数量	備考
鋼矢板継手箇所	鋼矢板VL型				箇所	90	
鋼矢板打設	油圧圧入工	VL型、L=15.5m、2箇所継	Nmax≤50	25以下	枚	71	
鋼矢板引抜き	油圧圧入工	VL型、L=15.5m、2箇所継		25以下	枚	71	
鋼矢板打設	バイブロハンマ工	VL型、L=15.5m、2箇所継	Nmax≤50	25以下	枚	19	
鋼矢板引抜き	バイブロハンマ工	VL型、L=15.5m、2箇所継		25以下	枚	19	

鋼矢板継手位置図
鋼矢板VL型 S=1 : 100



	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	本郷矢部高架橋 P2橋脚 仮設構造物詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



A-A断面

上矢板
下矢板

PL-80×19×190 (SM490A)

PL-140×19×560 (SM490A)

PL-80×19×190 (SM490A)

170
35
15.5
19
400
80
25

B-B断面

上矢板 L1
下矢板 L2

PL-80×19×190 (SM490A)

PL-140×19×560 (SM490A)

560
280
280
140
190
95
95

(裏波溶接、又ははが'ウジン'後溶接)

2以下
10

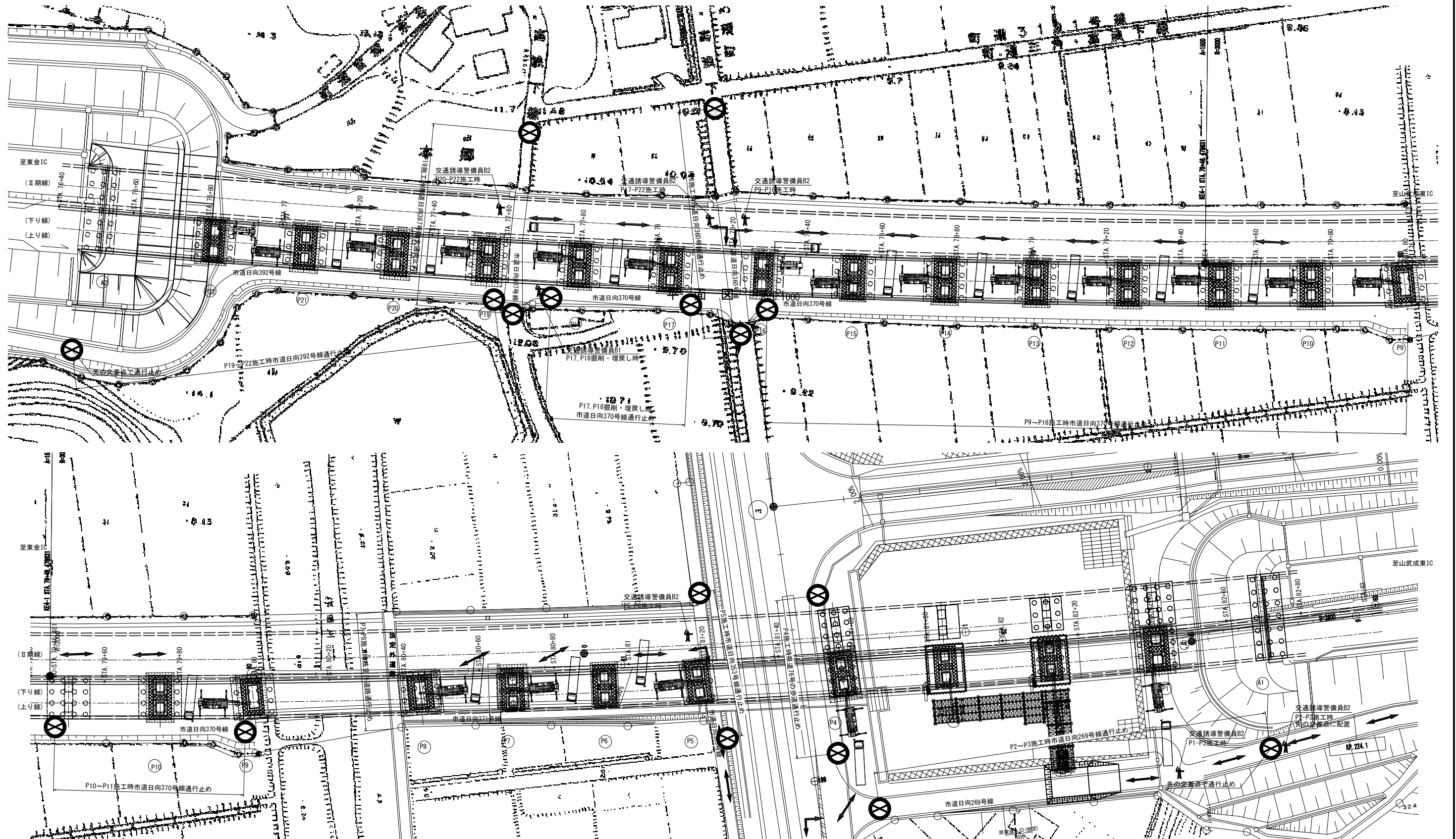
1. 内側菱形補強板は、隅肉サイズ10mmで全周溶接する。
2. 外側矩形補強板は、隅肉サイズ8mmで全周溶接する。
3. 上図斜線部は突合せ溶接する。

名称	規格・寸法	長さ(m)	枚数(枚)	単位重量	質量(kg)	備考
鋼矢板	Ⅳ型(油圧圧入工)	6.000	89	76.1	40.637	(新材)、SY25
	Ⅳ型(油圧圧入工)	5.000	89	76.1	33.865	(新材)、SY25
	Ⅳ型(パイロハンマ工)	6.000	25	76.1	11.415	(新材)、SY25
	Ⅳ型(パイロハンマ工)	5.000	25	76.1	9.513	(新材)、SY25
	合 計				95.430	kg

名称	規格・寸法	細別	Nmax	圧入・引抜き長	単位	数量	備考
鋼失板継手箇所	鋼失板Ⅳ型				箇所	114	
鋼失板打設	油圧圧入工	Ⅳ型、L=9m、1箇所継	50<Nmax≤180	20m以下	枚	89	
鋼失板引抜き	油圧圧入工	Ⅳ型、L=9m、1箇所切斷		20m以下	枚	89	
鋼失板打設	パイプロハンマ工	Ⅳ型、L=9m、1箇所継	50<Nmax≤180	20m以下	枚	25	
鋼失板引抜き	パイプロハンマ工	Ⅳ型、L=9m、1箇所切斷		20m以下	枚	25	

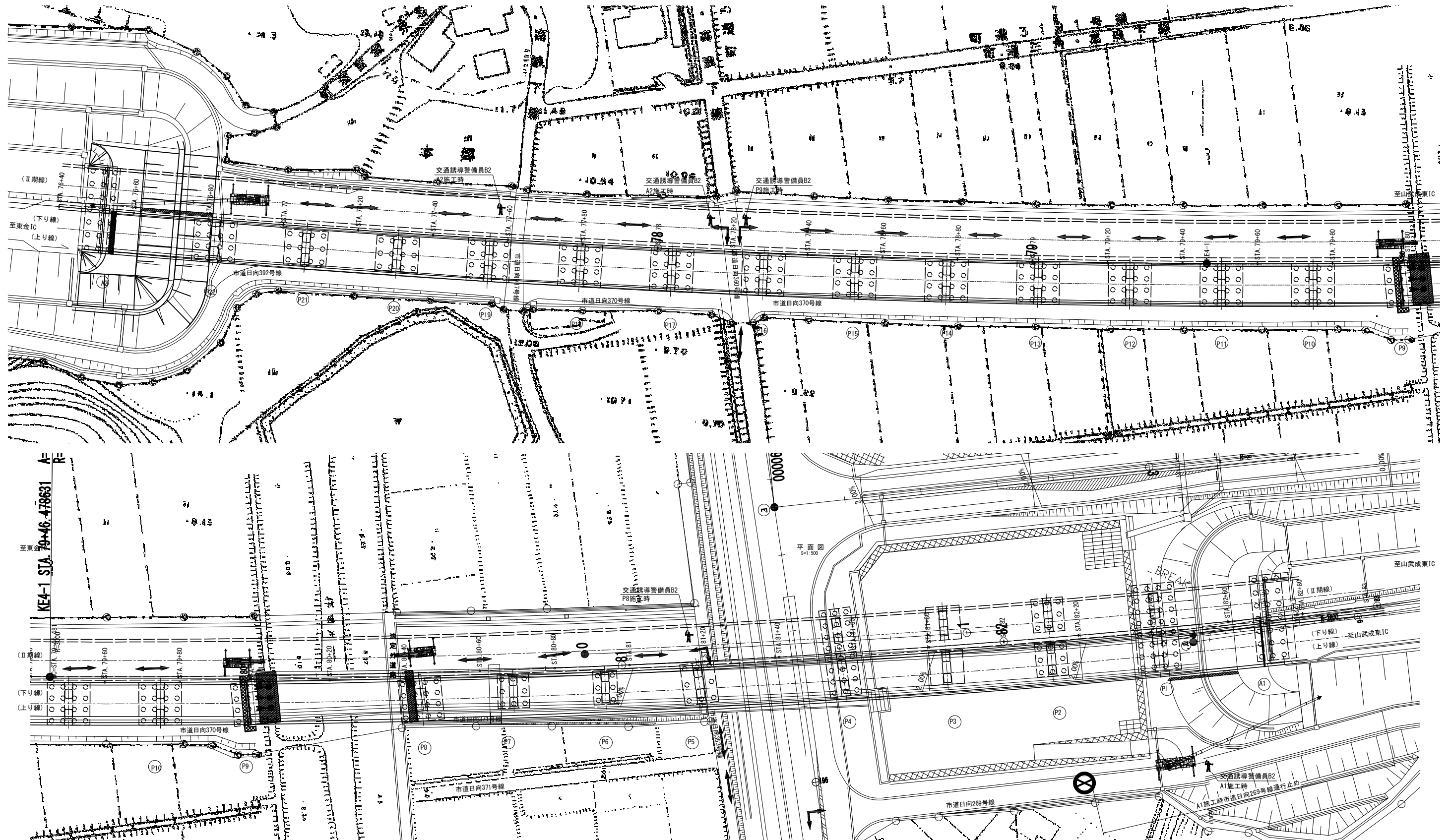
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P3橋脚 仮設構造物詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

下部工補強施工時 S=1:1000



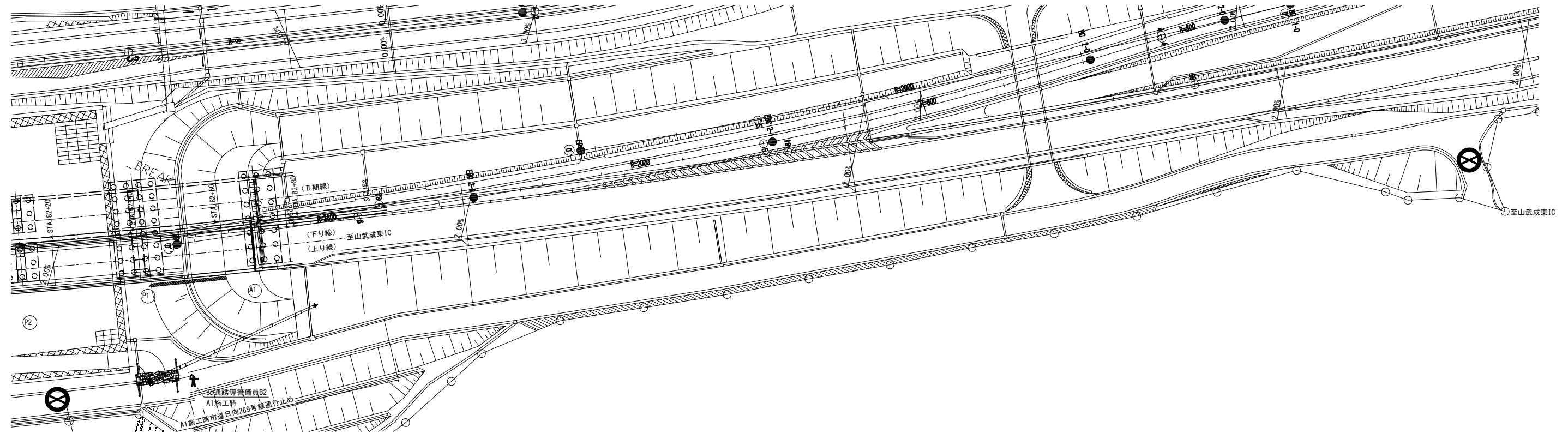
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋		
	交通保安要員配置図(参考図)(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

落橋防止システム設置時 S=1:1000



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋		
	交通保安要員配置図(参考図)(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

下部工補強施工時・落橋防止システム設置時 S=1:1000

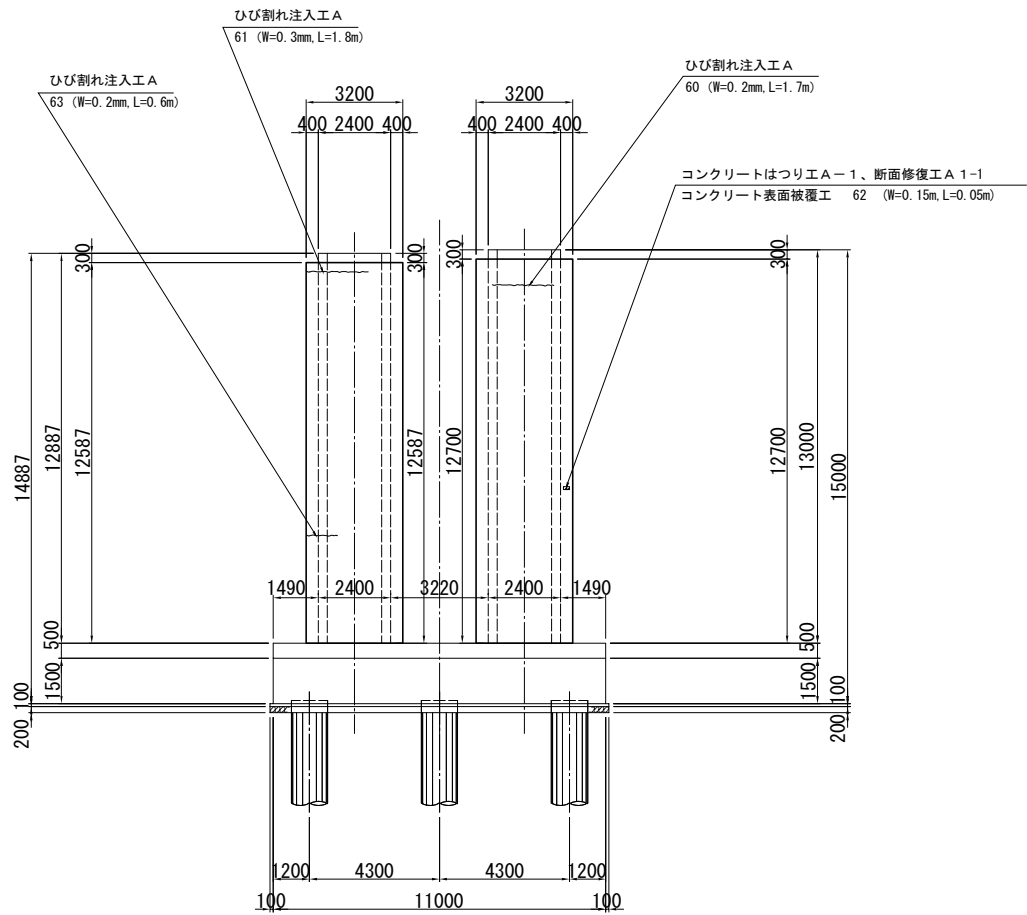


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋		
	交通保安要員配置図(参考図)(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

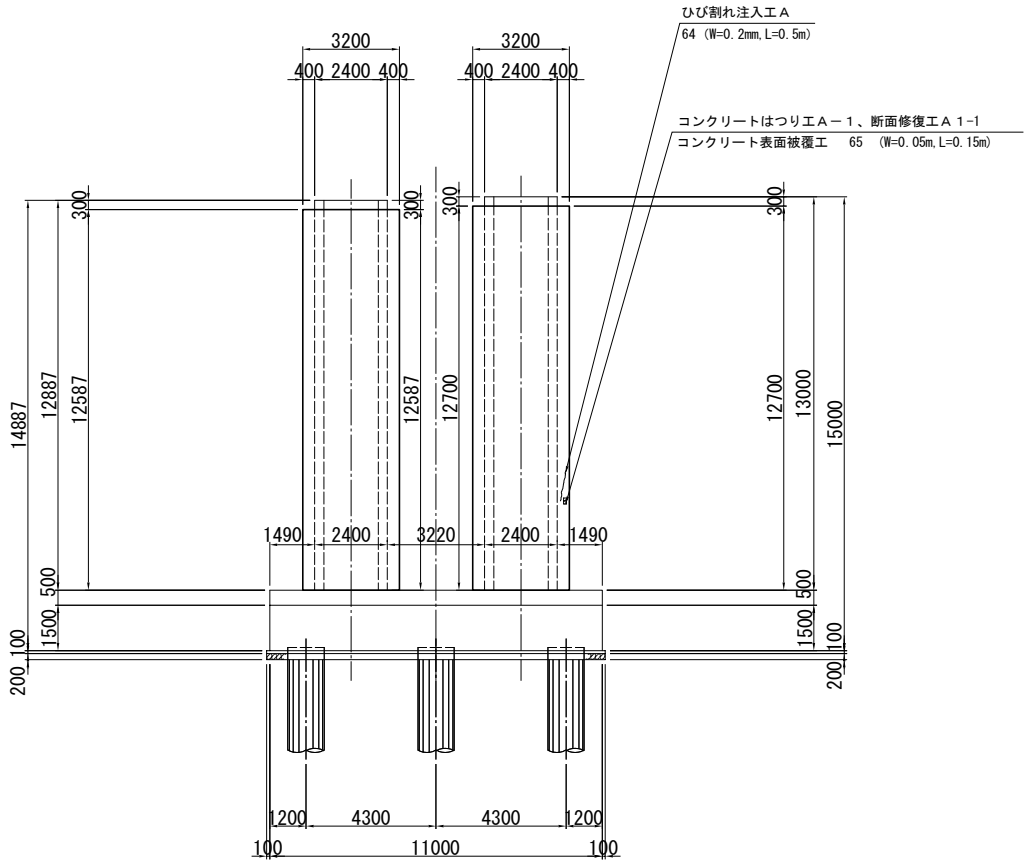
本郷矢部高架橋 P5橋脚 補修図

S=1:250

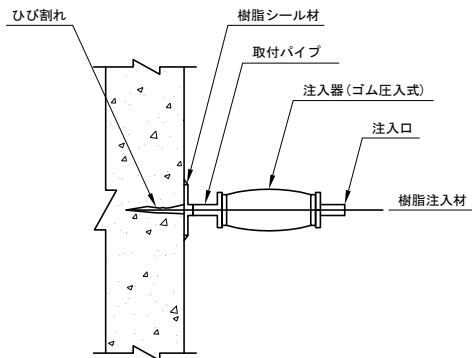
正面図



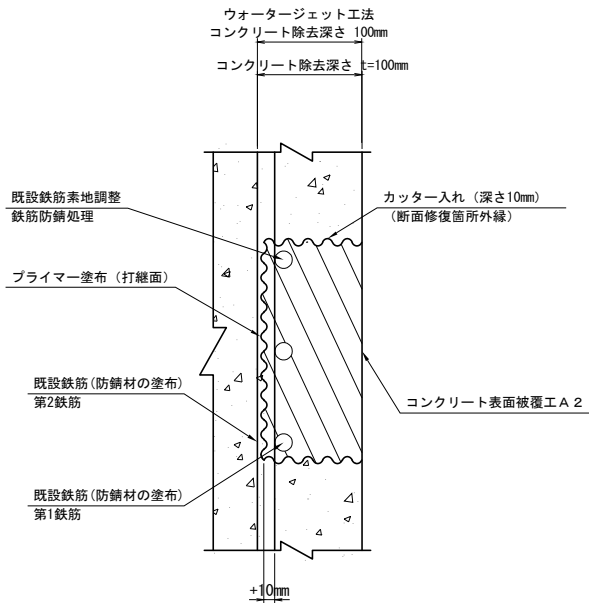
背面図



ひび割れひび割れ注入工 詳細図 (参考図)



断面修復工 詳細図



コンクリートはつり工 A-1、断面修復工 A 1-1、表面保護工 コンクリート表面被覆工 数量内訳表

損傷 番号	部材名	損傷形状	補修寸法			箇所	カッター 延長 (m)	面積 (m ²)	体積 (L)	はつり WJ 工法 数量 (m ²)		備考
			幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)					数量 (m ²)	深さ (m)	
62	橋脚柱	150*50	0.150	0.050	0.100	1	0.400	0.008	0.800	0.008	0.100	
65	橋脚柱	50*150	0.050	0.150	0.100	1	0.400	0.008	0.800	0.008	0.100	
合計							2	0.800	0.016	1.600	0.016	0.100

合計	箇所	2
	カッター延長 (m)	0.800
	コンクリートはつり工 A-1 (m3)	0.0016
	断面修復工 A 1-1 (L)	1.600
合計	表面保護工 コンクリート表面被覆工 (㎡)	0.016

ひび割れ注入工 A 数量内訳表

損傷 番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ 延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
60	橋脚柱	0.2	1.7	1	1.7	
61	橋脚柱	0.3	1.8	1	1.8	
63	橋脚柱	0.2	0.6	1	0.6	
64	橋脚柱	0.2	0.5	1	0.5	
合計				4	4.6	

数量表

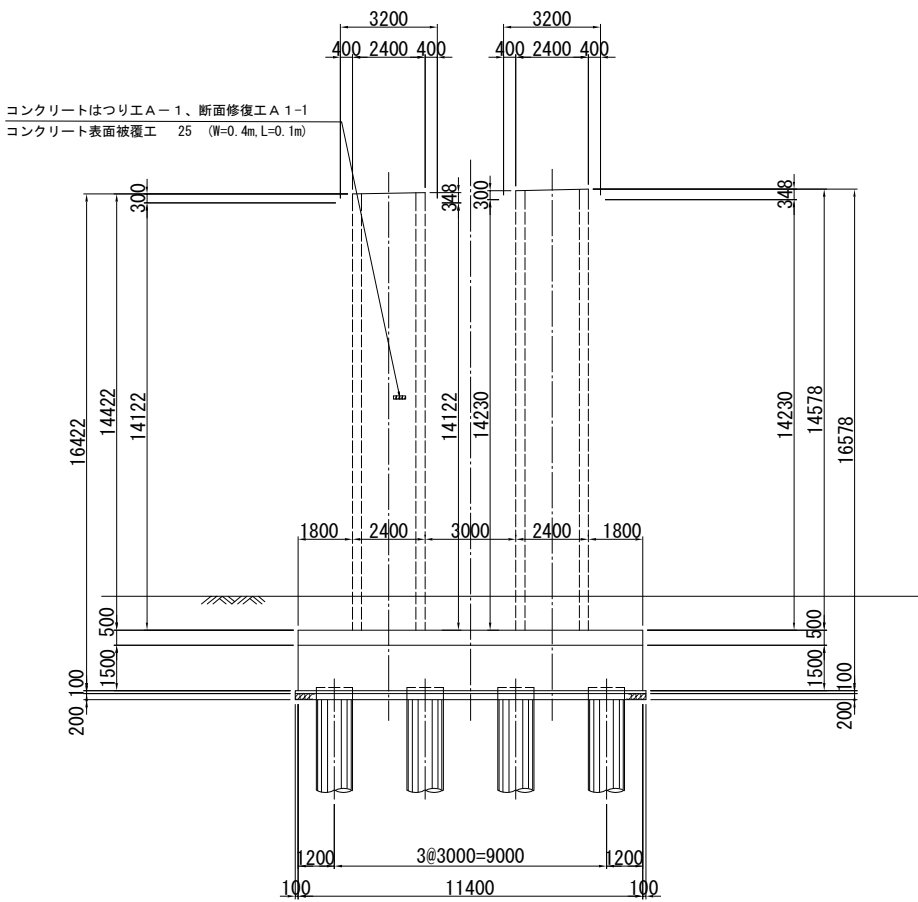
項目	単位	数量
ひび割れ注入工 A	m	4.6
コンクリートはつり工 A-1	m3	0.0016
断面修復工 A 1-1	L	1.600
表面保護工 コンクリート表面被覆工	㎡	0.016

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P5橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

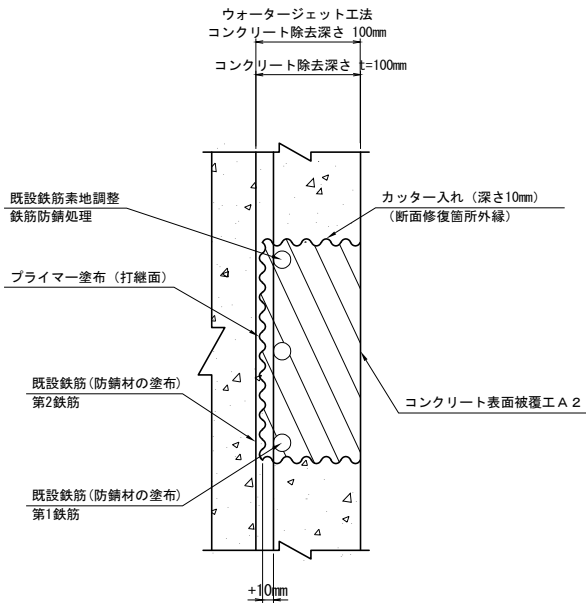
本郷矢部高架橋 P17橋脚 補修図

S=1:250

正面図



断面修復工 詳細図



コンクリートはつりエ A-1、断面修復工 A 1-1、表面保護工 コンクリート表面被覆工 数量内訳表

損傷 番号	部材名	損傷形状	補修寸法			箇所	カッター 延長 (m)	面積 (㎡)	体積 (L)	はつり WJ 工法 数量 (㎡)		備考
			幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)					数量 (㎡)	深さ (m)	
25	橋脚柱	400×100	0.400	0.100	0.100	1	1.000	0.040	4.000	0.040	0.100	
合計						1	1.000	0.040	4.000	0.040	0.100	

合計	箇所	1
	カッター延長 (m)	1.000
	コンクリートはつりエ A-1 (m3)	0.004
	断面修復工 A 1-1 (L)	4.000
	コンクリート表面被覆工 (㎡)	0.040

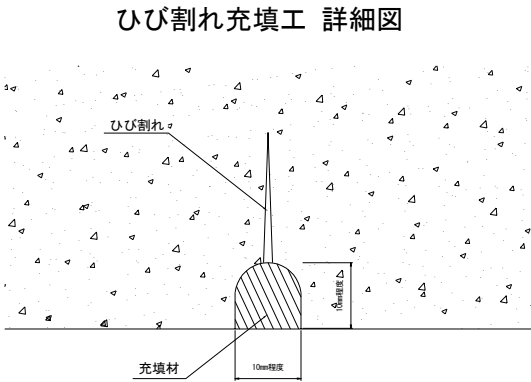
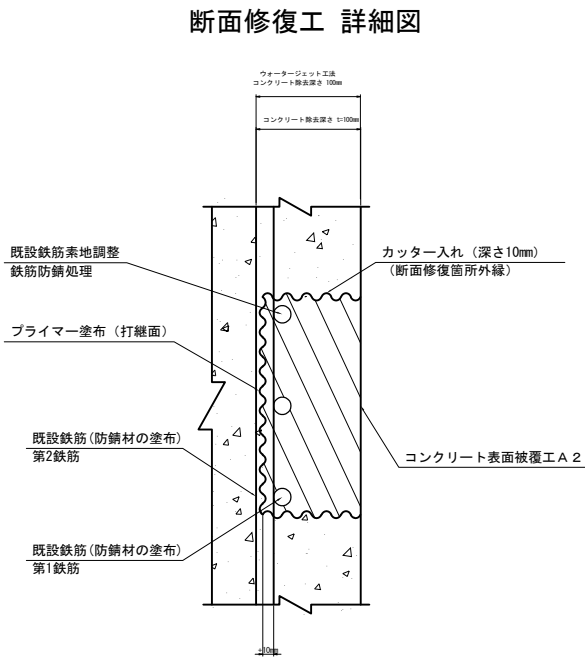
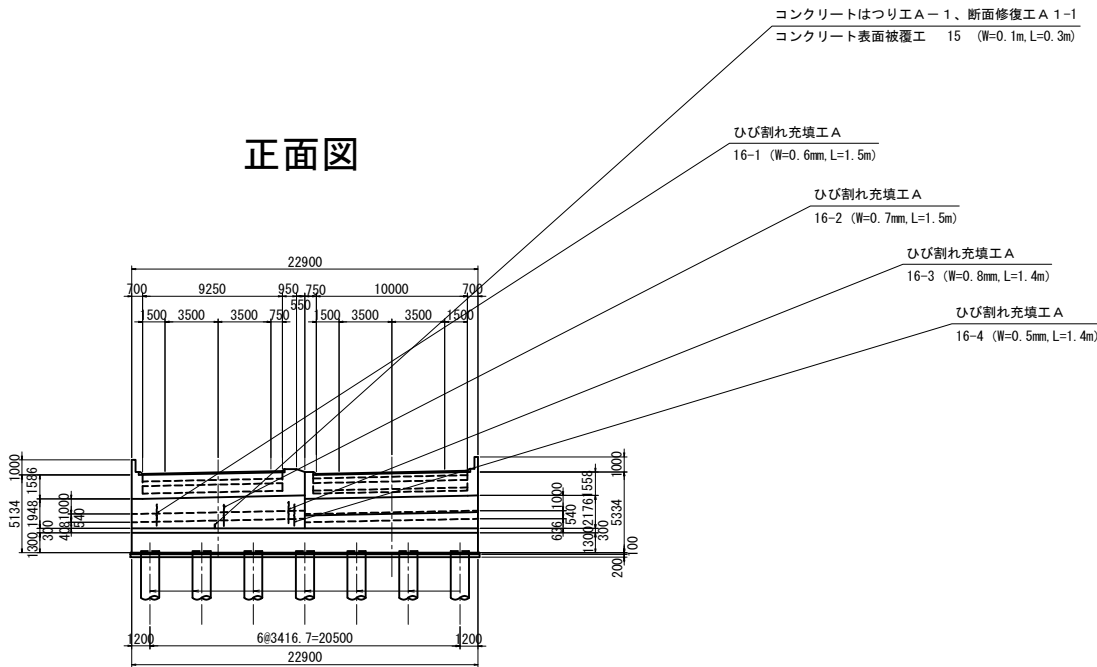
数量表

項目	単位	数量
コンクリートはつりエ A-1	m3	0.004
断面修復工 A 1-1	L	4.000
表面保護工 コンクリート表面被覆工	㎡	0.040

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 P17橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

本郷矢部高架橋 A2橋台 補修図

S=1 : 250



コンクリートはつり工 A-1、断面修復工 A 1-1、表面保護工 コンクリート表面被覆工 数量内訳表

損傷 番号	部材名	損傷形状	補修寸法			箇所	カッター 延長 (m)	面積 (m ²)	体積 (L)	はつり WJ 工法 数量 (m ²)		備考
			幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)					数量 (m ²)	深さ (m)	
15	バラベツ	100*300	0.100	0.300	0.100	1	0.800	0.030	3.000	0.030	0.100	エフロレンセス
合計						1	0.800	0.030	3.000	0.030	0.100	

合計	箇所	1
	カッター延長 (m)	0.800
	コンクリートはつり工 A-1 (m3)	0.003
	断面修復工 A 1-1 (L)	3.000
	コンクリート表面被覆工 (m)	0.030

ひび割れ充填工 A 数量内訳表

損傷 番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ 延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
16-1	橋台前	0.6	1.5	1	1.5	
16-2	橋台前	0.7	1.5	1	1.5	
16-3	橋台前	0.8	1.4	1	1.4	
16-4	橋台前	0.5	1.4	1	1.4	
合計				4	5.8	

数量表

項目	単位	数量
ひび割れ充填工 A	m	5.8
コンクリートはつり工 A-1	m3	0.003
断面修復工 A 1-1	L	3.000
表面保護工 コンクリート表面被覆工	m	0.030

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	本郷矢部高架橋 A2橋台 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		